四国横断自動車道建設に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

第二十六冊

川津一ノ又遺跡Ⅱ

1997.3

香川県教育委員会
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
日本道路公団

四国横断自動車道建設に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

第二十六冊

川津一ノ又遺跡Ⅰ

1997.3

香川県教育委員会
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
日本道路公団

序　　文

四国横断自動車道は，高松～善通寺間が平成４年５月に開通しました。これにより，瀬戸大橋と香川県の高速道路が直結することになり，香川県は本格的な高速交通の時代を迎えております。

香川県教育委員会では，四国横断自動車道（高松～善通寺間）の建設に伴い，昭和63年度から財団法人香川県埋蔵文化財調査センターに委託して，用地内の埋蔵文化財の発掘調査を行ってまいりました。３年６か月の期間を要して28遺跡の発掘調査を実施し，平成３年９月に発掘調査を終了いたしました。また，平成３年度からは同センターにおきまして発掘調査の出土品の整理を順次行っているところであり，平成４年度からは発掘調査報告書の刊行をいたしております。

このたび「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第二十六冊　川津一ノ又遺跡　Ⅰ」として刊行いたしますのは，坂出市川津町一ノ又に所在する川津一ノ又遺跡についてであります。この遺跡の調査では，弥生時代から中世にかけて多くの遺構・遺物が出土しておりますが，そのなかでも今回報告します弥生時代後期から中世にかけての集落の変遷は，丸亀平野における集落遺跡の基準資料になるものと考えられます。

本報告書が，本県の歴史研究の資料として広く活用されるとともに，埋蔵文化財に対する理解と関心が一層深められる一助となれば幸いです。

最後になりましたが，発掘調査から出土品の整理・報告にいたるまでの間，日本道路公団及び関係機関並びに地元関係各位には多大の御協力と御指導をいただきました。ここに深く感謝の意を表しますとともに，今後ともよろしく御支援賜りますようにお願い申し上げます。

平成９年３月

香川県教育委員会

教育長　　田　中　壮一郎

例　　言

1. 本報告書は，四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の第二十六冊で，香川県坂出市川津町字一ノ又に所在する川津一ノ又遺跡（かわついちのまたいせき）Ⅲ区の報告を収録した。

2. 発掘調査は，香川県教育委員会が日本道路公団から委託され，香川県教育委員会が調査主体，財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが調査担当者として実施した。

3. 発掘調査の期間及び担当は以下の通りである。

予備調査　期間　平成２年２月，３月

担当　渡邊茂智，西岡達哉，大林修三，古野徳久，山下平重

本調査　期間　平成２年４月12日～平成３年９月27日

担当　廣瀬直樹，西村尋文，大西義則，岡敦憲，中野昇一，西岡達哉，大谷伸一，真下拓也，片桐孝浩，森下友子，市村拓二，和田素子，山下平重，森下英治，高橋佳緒里，白川悦代，石川ゆかり，尾形ひとみ，松尾優美

4. 調査にあたって，下記の関係諸機関の協力を得た。記して謝意を表したい。（順不同，敬称略）

香川県土木部横断道対策室，同坂出土木事務所横断道対策課，坂出市瀬戸大橋・横断道対策室，坂出市教育委員会，坂出市川津公民館，四国横断自動車道建設坂出市川津連合対策協議会，同西又地区対策協議会，地元自治会

5. 本報告書の作成は，財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが実施した。

本報告書の執筆，編集は山下平重が担当した。

6. 本報告書の作成にあたっては，下記の方に御教示を得た。記して謝意を表したい。（順不同，敬称略）

愛知県陶磁資料館　浅田　員由

7. 本報告書で用いる方位の北は，国土座標系第Ⅳ系の北であり，標高はT.P.を基準としている。

また，遺構は下記の略号により表示している。

ＳＡ　柵列　　ＳＢ　掘立柱建物跡　ＳＤ　溝状遺構　ＳＥ　井戸
ＳＨ　竪穴住居跡　ＳＫ　土坑　　ＳＰ　柱穴　　ＳＴ　埋葬遺構
ＳＸ　不明遺構　　ＳＲ　川跡

8. 石器実測図中の網目は摩滅痕を，輪郭線の回りの点線は潰れ痕，実線は磨滅痕及び研磨痕をそれぞれ表す。剥離面の風化の程度が違う場合，新しい剥離面は黒丸で，古い剥離面は白丸で表している。なお，現代の折損は剥離面を濃く黒で潰している。

9. 挿図の一部に国土地理院地形図　丸亀（1/25,000）及び坂出市都市計画図を使用した。

10. 本遺跡の報告にあたっては，下記の機関に分析を委託した。

樹種同定　　パリノ・サーヴェイ株式会社
プラント・オパール分析　株式会社古環境研究所

11. 弥生時代終末期の時期表記については下記の文献によった。

香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，本州四国連絡橋公団
『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡』1990
古代学協会四国支部『弥生後期の瀬戸内海』1996

12. 遺物量の表記については，概ねコンテナは28リットル入りのもので表し，袋は20 cm×30cmの袋で表している。

13. 土器観察表中の色調は，農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所　色票監修『新版標準土色帖1992年版』を使用して表す。また残存率は遺物の図化部分に占める実物の割合であり，完形品に対する割合ではない。

目　　次

序文

例言

第１章　調査の経緯

第１節　調査にいたる経過……　1

第２節　調査の経過……　5

第２章　遺跡の立地と環境

第１節　地理的環境……　8

第２節　歴史的環境……　10

第３章　調査の成果

第１節　調査の方法……　16

第２節　土層序……　16

第３節　遺構・遺物

1　旧石器時代……　17

2　縄文時代……　31

3　弥生時代前期……　32

4　弥生時代中期……　32

5　弥生時代終末期……　70

6　古墳時代～平安時代……　184

7　中世……　232

8　近世以降……　248

9　出土位置不明の遺物……　250

第４章　自然科学調査の成果

第１節　香川県，川津一ノ又遺跡Ⅲ区におけるプラント・オパール分析……　252

第２節　川津一ノ又遺跡から出土した木製品の樹種……　258

第３節　川津一ノ又遺跡から出土した木材の樹種……263

第５章　まとめ

第１節　遺構の変遷……268

第２節　弥生時代の石器について……276

第３節　灰釉陶器について……277

第４節　帯飾りについて……278

３調査区遺構配置図……279

土器観察表……281

石器観察表……348

金属器観察表……358

写真図版

報告書抄録

付図

挿図目次

第１図　四国横断自動車道埋蔵文化財包蔵地（高松～善通寺）　1
第２図　遺跡位置図(1)　8
第３図　遺跡位置図(2)(1/5,000)　9
第４図　周辺の遺跡(1/25,000)　12
第５図　調査区名図(1/1,500)　16
第６図　石器分布図Ⅲ・Ⅳ区(1/1,500)　17
第７図　石器分布図Ⅲ区(1/400)　18
第８～19図　石器実測図①～⑫(1/2)　20～31
第20図　縄文土器実測図(1/4)　32
第21図　３①(2)ＳＤ０１断面図(1/100)及び出土土器(1/4)　33
第22～26図　３①(2)ＳＤ０１出土石器①～⑤(１/２)　34～38
第27図　３①(2)ＳＤ０１出土石器⑥(1/2,1/3)　39
第28図　３①(2)ＳＤ０１出土石器⑦(1/2)　40
第29図　３②ＳＸ出土土器(1/4)　41
第30図　３調査区川跡(1/800)　41
第31図　１・２調査区川跡(1/800)　42
第32図　１①調査区西壁土層断面図(1/100)　43
第33図　１②調査区北壁・中央畦・南壁土層断面図(1/100)　44
第34図　２①調査区南壁土層断面図(1/100)　45
第35図　２②③調査区中央畦土層断面図(1/100)　46
第36図　３②調査区東壁土層断面図(1/100)　47
第37図　３②調査区西壁土層断面図(1/100)　48
第38図　３②調査区南壁土層断面図(1/100)　49
第39図　３②調査区北壁(東半)土層断面図(1/100)　50
第40図　３②調査区北壁(西半)土層断面図(1/100)　50
第41～43図　１①ＳＲ０２出土土器①～③(1/4)　52～54
第44～46図　１①ＳＲ０２出土石器①～③(1/2)　55～57
第47図　１①ＳＲ０２出土石器④(1/2,1/3)　58
第48図　１②ＳＲ０１出土土器(1/4)　59
第49図　２①ＳＲ０１出土土器①(1/4)　60
第50図　２①ＳＲ０１出土土器②(1/4),２①ＳＲ０２出土土器(1/4)　61
第51図　２①ＳＲ０２肩部出土土器(1/4)・石器(1/2)及び２①ＳＲ０１出土石器①(1/2)　62
第52・53図　２①ＳＲ０２出土石器②･③(1/2)　63･64
第54・55図　３②ＳＲ０２出土土器①･②(1/4)　65･66
第56図　３②ＳＲ０２出土土器③(1/4)・石器①(1/2)　67
第57図　３②ＳＲ０２出土石器②(1/2, 1/3)　68
第58図　３②ＳＲ０２出土石器③(1/2)　69
第59図　２④⑤ＳＨ０１平・断面図(1/100)及び出土土器(1/4)・石器(1/2)　71
第60図　２④⑤ＳＨ０２平・断面図(1/100)及び出土土器①(1/4)　72
第61図　２④⑤ＳＨ０２出土土器②(1/4)・石器①(1/2)　73
第62図　２④⑤ＳＨ０２出土石器②(1/2,1/3)　74
第63図　２④⑤ＳＨ０４平・断面図(1/100)及び出土土器①(1/4)　75
第64図　２④⑤ＳＨ０４出土土器②(1/4)　76
第65図　２④⑤ＳＨ０４出土土器③(1/4)　77
第66図　２④⑤ＳＨ０４出土石器①(1/2)　78
第67図　２④⑤ＳＨ０４出土石器②(1/2,1/3)　79
第68図　２④⑤ＳＨ０５平・断面図(1/100)及び出土土器①(1/4)　80
第69図　２④⑤ＳＨ０５出土土器②(1/4)・石器(1/2)　81
第70図　２④⑤ＳＨ０６，ＳＨ０７平・断面図(1/100)及び出土土器①(1/4)　83
第71図　２④⑤ＳＨ０６，ＳＨ０７出土土器②(1/4)・石器(1/2)　84
第72図　２④⑤ＳＨ０８平・断面図(1/100)　85
第73図　２④⑤ＳＨ０８上層・下層平面図,変遷図(1/150)及び出土土器(1/4)　86
第74図　２④⑤ＳＨ０９出土石器(1/2)　87
第75図　２④⑤ＳＨ１０平・断面図(1/100)及び出土土器(1/4)・石器(1/2)　87
第76図　２④⑤ＳＫ２０平・断面図(1/100)　88
第77図　２④⑤ＳＢ０５平・断面図(1/100)及び出土土器(1/4)・石器(1/2)　89
第78図　２④⑤ＳＫ２２平・断面図(1/50)及び出土土器(1/4)　89
第79図　２④⑤ＳＫ２６平・断面図(1/50)及び出土石器(1/2)　89
第80図　２④⑤ＳＫ２４平・断面図(1/50)及び出土土器(1/4)・石器(1/2)　90
第81図　２④⑤ＳＫ２７平・断面図(1/50)　91
第82図　２④⑤ＳＸ０１平・断面図(1/50)　91

第83図　3②ＳＫ０１，ＳＫ０２，ＳＫ０３，ＳＫ０４平・断面図(1/50)及び出土土器(1/4)・石器(1/2，1/3)　92
第84図　2④⑤ＳＤ０３断面図(1/50)及び出土土器①(1/4)　94
第85～89図　2④⑤ＳＤ０３出土土器②～⑥(1/4)　95～99
第90・91図　2④⑤ＳＤ０３出土石器①・②(1/2)　100・101
第92図　2④⑤ＳＤ０８断面図(1/50)及び出土土器(1/4)・石器(1/2)　102
第93図　2④⑤ＳＤ１２断面図(1/50)及び出土土器①(1/4)　103
第94図　2④⑤ＳＤ１２出土土器②(1/4)　104
第95図　2④⑤ＳＤ１２出土土器③(1/4)・石器(1/2)　105
第96図　3①(2)ＳＤ０１出土土器(1/4)　106
第97図　3①(2)ＳＤ０１出土石器(1/2)，弥生後期の落ち出土土器(1/4)　107
第98図　3①ＳＤ０４出土土器(1/4)　108
第99図　1③調査区川跡断面図(1/100)　108
第100図　3①ＳＤ０２断面図(1/50)及び出土土器①(1/4)　109
第101～103図　3①ＳＤ０２出土土器②～④(1/4)　110～112
第104～110図　1②ＳＲ０１出土土器①～⑦(1/4)　113～119
第111図　1②ＳＲ０１出土土器⑧(1/4)・石器①(1/2)　120
第112～116図　1②ＳＲ０１出土石器②～⑥(1/2)　121～125
第117～124図　1③ＳＲ０１出土土器①～⑧(1/4)　126～133
第125図　1③ＳＲ０１出土土器⑨(1/4)・石器①(1/2)　134
第126図　1③ＳＲ０１出土石器②(1/2)　135
第127図　2①ＳＲ０１出土土器①(1/4)　136
第128図　2①ＳＲ０１出土土器②(1/4)・石器①(1/2)　137
第129～131図　2①ＳＲ０１出土石器②～④(1/2)　138～140
第132図　2③ＳＲ０２断面図(1/100)　141
第133・134図　2②③ＳＲ０１・ＳＲ０２出土土器①・②(1/4)　142・143
第135～161図　2②③ＳＲ０２出土土器①～㉗(1/4)　144～170
第162図　2②③ＳＲ０２出土土器㉘(1/4)・石器①(1/2)　171
第163～166図　2②③ＳＲ０２出土石器②～⑤(1/2)　172～175
第167図　2②③ＳＲ０２出土石器⑥(1/2)，鉄器(1/2)　176
第168図　3②ＳＲ０１断面図(1/100)　178
第169図　3②ＳＲ０１出土土器①(1/4)　179
第170図　3②ＳＲ０１出土土器②(1/4・1/6)　180
第171図　3②ＳＲ０１出土土器③(1/4)　181
第172図　3②ＳＲ０１出土土器④(1/4)・石器①(1/2)　182
第173図　3②ＳＲ０１出土石器②(1/2)　183
第174図　3②ＳＲ０１出土石器③(1/2)・木器(1/6)　184
第175図　2④⑤ＳＨ０３・ＳＤ１３平・断面図(1/100)　185
第176図　2④⑤ＳＨ０３・ＳＤ１３出土土器(1/4)・石器(1/2)　186
第177図　2④⑤ＳＨ０９平・断面図(1/100)及び出土土器(1/4)　187
第178図　2④⑤ＳＢ０１平・断面図(1/100)　187
第179図　2④⑤ＳＢ０２平・断面図(1/100)及び出土土器(1/4)・石器(1/2)　188
第180図　2④⑤ＳＢ０３平・断面図(1/100)及び出土鉄器(1/2)　189
第181図　2④⑤ＳＢ０４平・断面図(1/100)　189
第182図　2④⑤ＳＢ０６平・断面図(1/100)　190
第183図　2④⑤ＳＢ０８平・断面図(1/100)　190
第184図　2④⑤ＳＢ０９平・断面図(1/100)　191
第185図　2④⑤ＳＢ１０平・断面図(1/100)及び出土土器(1/4)　191
第186図　2④⑤ＳＢ１１平・断面図(1/100)及び出土土器(1/4)　192
第187図　2④⑤ＳＢ１２平・断面図(1/100)及び出土石器(1/2)　193
第188図　2④⑤ＳＢ１３平・断面図(1/100)及び出土土器(1/4)　194
第189図　2④⑤ＳＢ１４平・断面図(1/100)及び出土土器(1/4)　194
第190図　2④⑤ＳＢ１５平・断面図(1/100)　195
第191図　2④⑤ＳＢ１６平・断面図(1/100)及び出土土器(1/4)　195
第192図　1①ＳＫ０１平・断面図(1/50)　196
第193図　1①ＳＫ０２平・断面図(1/50)　196
第194図　1①ＳＫ０３平・断面図(1/50)　196

第195図　1①ＳＫ０４平・断面図(1/50)　196
第196図　2②ＳＫ０１・ＳＸ０１平・断面図(1/50)
及び2②ＳＫ０１出土土器(1/4)　197
第197図　2③ＳＫ０１平・断面図(1/50)　198
第198図　2④⑤ＳＫ０６平・断面図(1/50)　198
第199図　2④⑤ＳＫ０７平・断面図(1/50)
及び出土土器(1/4)　199
第200図　1①ＳＸ０１平・断面図(1/50)　199
第201図　1①ＳＸ０２平・断面図(1/50)
及び出土石器(1/2)　200
第202図　2④⑤ＳＸ０２平・断面図(1/20)
及び出土土器(1/4)　201
第203図　2④⑤ＳＤ１０出土土器(1/4)
・石器(1/2)　201
第204図　2④⑤ＳＤ０７断面図(1/50)
及び出土土器(1/4)・石器(1/2)
・ガラス玉(1/2)　202
第205図　2④⑤ＳＤ１１断面図(1/50)　203
第206図　2④⑤ＳＤ１８断面図(1/50)　203
第207図　古代水田跡平面図(1/500)　204
第208図　1①調査区下層水田跡平面図(1/200)　205
第209～211図　1①ＳＲ０１出土土器①～③
(1/4)　206～208
第212図　1①ＳＲ０１出土土器④(1/4)
・石器①(1/2)　209
第213図　1①ＳＲ０１出土石器②(1/2)
・鉄器(1/2)　210
第214・215図　1②③ＳＲ０１出土土器①・②
(1/4)　211・212
第216・217図　1②③ＳＲ０１出土土器③・④
(1/4・1/6)　213・214
第218図　1②③ＳＲ０１出土土器⑤(1/4)
・木器(1/6)・鉄器(1/2)　215
第219図　2①調査区第３面遺構平面図(1/400)　216
第220図　2①調査区第４面水田跡　平面図
(1/200)　217
第221～223図　2①ＳＲ０１出土土器①～③
(1/4)　218～220
第224図　2①ＳＲ０１出土土器④(1/4)
・木器(1/6)・鉄器(1/2)　221
第225図　2①ＳＲ０１出土土器⑤(1/4)
・石器(1/2)　222
第226図　2③調査区水田跡平面図(1/200)　223
第227図　2③ＳＲ０１断面図(1/100)及び
出土土器(1/4)・鉄器(1/2)　224
第228図　2③調査区出土土器(1/4)
・鉄器(1/2)・銅銭(1/2)　225
第229図　3調査区水田跡平・断面図(1/200)　227
第230図　3調査区畦畔及び溝跡断面図
(1/100, 1/50)　228
第231図　3②木樋平・断面図(1/50)　229
第232図　3②調査区出土土器(1/4)　230
第233図　3②調査区出土石器(1/2)
・木器(1/6)・青銅器(1/2)　231
第234図　2④⑤調査区柱穴出土土器(1/4)
・石器(1/2)・鉄器(1/2)　233
第235図　1③ＳＫ０３平・断面図(1/50)
及び出土土器(1/4)　234
第236図　1③ＳＫ０４平・断面図(1/50)
及び出土土器(1/4)　235
第237図　2④⑤ＳＫ０２平・断面図(1/50)　235
第238図　2④⑤ＳＫ０１平・断面図(1/50)
及び出土土器(1/4)　236
第239図　2④⑤ＳＫ０３平・断面図(1/50)
及び出土土器(1/4)　239
第240図　2④⑤ＳＫ０４平・断面図(1/50)　238
第241図　2④⑤ＳＫ０５平・断面図(1/50)　238
第242図　2④⑤ＳＫ１１平・断面図(1/50)
及び出土鉄器(1/2)　238
第243図　2④⑤ＳＫ１５平・断面図(1/50)
及び出土鉄器(1/2)　239
第244図　2④⑤ＳＫ１６平・断面図(1/50)　239
第245図　2④⑤ＳＫ１７平・断面図(1/50)　240
第246図　2④⑤C20ＳＰ０５７平・断面図
(1/20)及び出土土器(1/4)　240
第247図　1①ＳＤ０１・02・03平面図(1/200)
・断面図(1/50)及び出土土器(1/4)　241
第248図　1②・2①ＳＤ０１断面図(1/50)　242
第249図　2①ＳＤ０１平面図(1/50)及び
出土土器(1/4)・石器①(1/2)　243
第250図　2①ＳＤ０１出土石器②(1/2)
・鉄器(1/2)　244
第251図　1②ＳＤ０２断面図(1/50)　245
第252図　2④⑤ＳＤ０１断面図(1/50)
及び出土土器(1/4)・石器(1/2)　245
第253図　2④⑤ＳＤ０２断面図(1/50)
及び出土土器(1/4)　246
第254図　2④⑤ＳＤ０４断面図(1/50)　246
第255図　2④⑤ＳＤ０５断面図(1/50)　246
第256図　2④⑤ＳＤ０６断面図(1/50)　246
第257図　2④⑤ＳＤ１７断面図(1/50)　247

第258図　1②・2①調査区ピット群平面図
（1/400）及び出土石器（1/2）　247
第259図　2④⑤ＳＫ０８・０９・１０
平・断面図（1/50）　248
第260図　2④⑤ＳＫ１２平・断面図（1/50）　249
第261図　2④⑤ＳＫ１３平・断面図（1/50）
及び出土土器（1/4）　249
第262図　2④⑤ＳＫ１８平・断面図（1/50）
及び出土土器（1/4）　250
第263図　2④⑤ＳＫ２１平・断面図（1/50）　250
第264図　2④⑤調査区出土土器（1/4）
・石器（1/2）他　251
第265図　川津一ノ又遺跡（１－①）における
プラント・オパール分析結果　255
第266図　川津一ノ又遺跡（３－②）における
プラント・オパール分析結果　256
第267・268図　木材の顕微鏡写真（1）・（2）　260・261
第269図　木材の顕微鏡写真（3）　265
第270～272図　古墳時代～平安時代の建物
変遷図（1）～（3）（1/500）　270～272
第273～275図　遺構変遷図（1）～（3）
（1/1,250）　273～275
第276図　灰釉陶器・山茶碗（1/4）　277
第277図　３調査区上層遺構配置図（1/400）　279
第278図　３調査区下層遺構配置図（1/400）　280

付図　川津一ノ又遺跡Ⅲ区１・２調査区
遺構配置図（1/200）

図版目次

図版１　遺跡遠景
図版２　１①調査区　空中写真
１①調査区全景　東から
図版３　１②調査区西半　空中写真
１②調査区東半上層　空中写真
図版４　１②調査区東半下層　空中写真
１②調査区東半下層全景　北から
図版５　１③調査区上層　空中写真
１③調査区上層全景　北から
図版６　１③調査区下層　空中写真
２①調査区上層　空中写真
図版７　２①調査区下層　空中写真
２①調査区下層全景　南から
図版８　２②調査区，２④⑤調査区東半　空中写真
２③調査区上層　空中写真
図版９　２③調査区下層　空中写真
２③調査区下層全景　南から
図版10　２④⑤調査区東半　空中写真
２④⑤調査区西半　空中写真
図版11　２④⑤調査区西半全景　北から
３①(1)調査区全景　南から
図版12　３①(2)調査区上層　空中写真
３①(2)調査区下層　空中写真
図版13　３①(3)調査区　空中写真
３①(3)調査区全景　西から
図版14　３②調査区上層　空中写真
３②調査区上層全景　西から
図版15　３②調査区下層　空中写真
３②調査区下層全景　西から
図版16　１①調査区西壁断面
１②調査区北端トレンチ　南壁断面
図版17　２③調査区北壁断面
２③調査区西壁断面
図版18　３②調査区南壁断面
３②調査区西壁断面
図版19　２④⑤竪穴住居跡群検出状況　南から
２④⑤ＳＨ０１完掘状況　西から
図版20　２④⑤ＳＨ０２断面　北から
２④⑤ＳＨ０２床面検出状況　北から
図版21　２④⑤ＳＨ０２炉跡断面　北から
２④⑤ＳＨ０４遺物出土状況　南から
図版22　２④⑤ＳＨ０４完掘状況　南から
２④⑤ＳＨ０４炉跡断面　南東から
図版23　２④⑤ＳＨ０５完掘状況　西から
２④⑤ＳＨ０５炉跡断面　南西から
図版24　２④⑤ＳＨ０５壁面際出土土器　北から
２④⑤ＳＨ０６・０７床面検出状況
南から
図版25　２④⑤ＳＨ０６・０７完掘状況　南から
２④⑤ＳＨ０６・０７炉跡完掘状況
北から
図版26　２④⑤ＳＨ０６・０７ピット７遺物
出土状況　南から
２④⑤ＳＨ０６・０７周溝土器出土状況
北から
図版27　２④⑤ＳＨ０８上層完掘状況　南東から
２④⑤ＳＨ０８下層完掘状況　南東から
図版28　２④⑤ＳＨ０８炉跡断面　東から
２④⑤ＳＨ０８張り出し部土器出土
状況　北から
図版29　２④⑤ＳＨ１０完掘状況　南から
２④⑤ＳＨ１０炉跡土器出土状況　北西から
図版30　２④⑤ＳＢ０５完掘状況　北から
２④⑤ＳＤ０３上層遺物出土状況　北から
図版31　２④⑤ＳＤ０３下層遺物出土状況　南から
２④⑤ＳＤ１２上層遺物出土状況　南から
図版32　２④⑤ＳＤ１２土器出土状況　東から
３①(2)ＳＤ０２遺物出土状況　北西から
図版33　１③調査区川跡遺物出土状況　南から
２①調査区川跡断面　南から
図版34　２④⑤ＳＨ０３完掘状況　南から
２④⑤ＳＢ０２柱痕検出状況　南から
図版35　２④⑤ＳＢ０３柱痕検出状況　南から
２④⑤ＳＢ０４柱痕検出状況　西から
図版36　２④⑤ＳＢ０６完掘状況　東から
２④⑤ＳＢ１４完掘状況　西から
図版37　２④⑤ＳＢ１５柱痕検出状況　西から
２④⑤ＳＫ０６断面　北から
図版38　１②ＳＸ０１断面　東から
２④⑤ＳＸ０２土器出土状況　北東から
図版39　１①調査区水田跡　南から
１②調査区川底遺物出土状況　東から
図版40　２①調査区水田跡　南から
２③調査区水田跡　東から

図版41　３②調査区水田跡　西から
３②大畦畔断面　北から
図版42　３②木樋断面　西から
３②木樋完掘状況　東から
図版43　１③ＳＫ０３断面　東から
２④⑤ＳＫ０１断面　南西から
図版44　２④⑤ＳＫ０２断面　北東から
２④⑤ＳＫ０３遺物出土状況　南から
図版45　２④⑤ＳＫ０４完掘状況　北から
２④⑤ＳＫ１７人骨出土状況　西から
図版46　２④⑤ＳＫ１７人骨出土状況(拡大)
西から
２④⑤C20ＳＰ０５７　鍋出土状況　西から
図版47　２④⑤C20ＳＰ０５７　鍋内土器出土状況
西から
１②ＳＤ０１完掘状況　東から
図版48　２①ＳＤ０１断面　東から
２①調査区ピット群検出状況　南西から
図版49～111　(土器写真)
図版112　線刻土器
図版113　墨書土器，土馬
図版114～116　緑釉陶器
図版117　灰釉陶器
図版118　褐釉陶器
図版119・120　中国産青磁
図版121～123　中国産白磁
図版124　翼状剥片他
図版125～127　スクレイパー
図版128～130　横長剥片
図版131　縦長剥片
図版132　石核
図版133　石核・敲打痕ある石器
図版134　ブランティングチップ，細石刃核他
図版135　石鏃，石匙，有舌尖頭器
図版136・137　石錐
図版138～141　石槍
図版142～152　石庖丁
図版153　スクレイパー
図版154～156　石斧
図版157　磨製石斧
図版158・159　太型蛤刃石斧
図版160　石製品
図版161　石庖丁，木器
図版162　木器，鉄器
図版163　鉄刀，帯金具，石帯，銅銭，ガラス玉

表目次

第１表　四国横断自動車道建設に伴う発掘調査の概要(1)　3
第２表　四国横断自動車道建設に伴う発掘調査の概要(2)　4
第３表　発掘調査・整理調査体制　6
第４表　遺跡文献一覧表(1)　13
第５表　遺跡文献一覧表(2)　14
第６表　遺跡文献一覧表(3)　15
第７表　石器一覧表　19
第８表　川津一ノ又遺跡のプラント・オパール分析結果　254
第９表　木製品の樹種同定結果　259
第10表　樹種同定結果　264
第11表　弥生時代石器　276
第12表　サヌカイト石器重量　276
第13表　香川県内出土の灰釉陶器　277
第14表　香川県内出土の帯飾り　278
第15～81表　土器観察表(1)～(67)　281～347
第82～92表　石器観察表(1)～(11)　348～358
第93表　金属器観察表　358

第1章　調査の経緯

第1節　調査にいたる経過

四国横断自動車道高松～善通寺間の建設は，同善通寺～豊浜間に引き続き，昭和57年1月8日に整備計画決定され，昭和59年11月30日に建設大臣から日本道路公団総裁に対して施工命令が下された。

香川県教育委員会では，この間路線内の埋蔵文化財包蔵地の確認を目的に国庫補助事業として分布調査(1)を実施し，これをもとに調査対象面積を39万m^2余りと判断した。路線内に所在する埋蔵文化財包蔵地の取り扱いについては，日本道路公団と文化庁の協議により，基本的には記録保存で対応することが決定した。

香川県教育委員会では，これを受けて香川県の担当課である土木部横断道対策室及び日本道路公団高松建設局高松工事事務所と昭和62年度から調査体制等について協議を開始した。

協議の結果，昭和63年度当初から2か年の予定で本調査を実施すること，整理報告は発掘調査の終了後に実施すること等が決定した(2)。これを受けて香川県教育委員会では調査体制の充実を図ることを目的に，昭和62年11月に財団法人香川県埋蔵文化財調査センターを設置すると同時に，専門職員の増員等の措置を実施した。

平成元年には，坂出市川津町に所在する埋蔵文化財包蔵地の具体的な内容を把握するため，日本道路公団と協議の上，用地買収の進捗にあわせて予備調査を実施した。予備調査の着手に当たっては，地元関係者，四国横断自動車道・南進自動車道対策協議会，同中塚地区対策協議会，同西又地区対策協議会，坂出市都市開発部瀬戸大橋・四国横断道対策室，香川県坂出土木事務所横断道対策課等の多大な協力を得た。

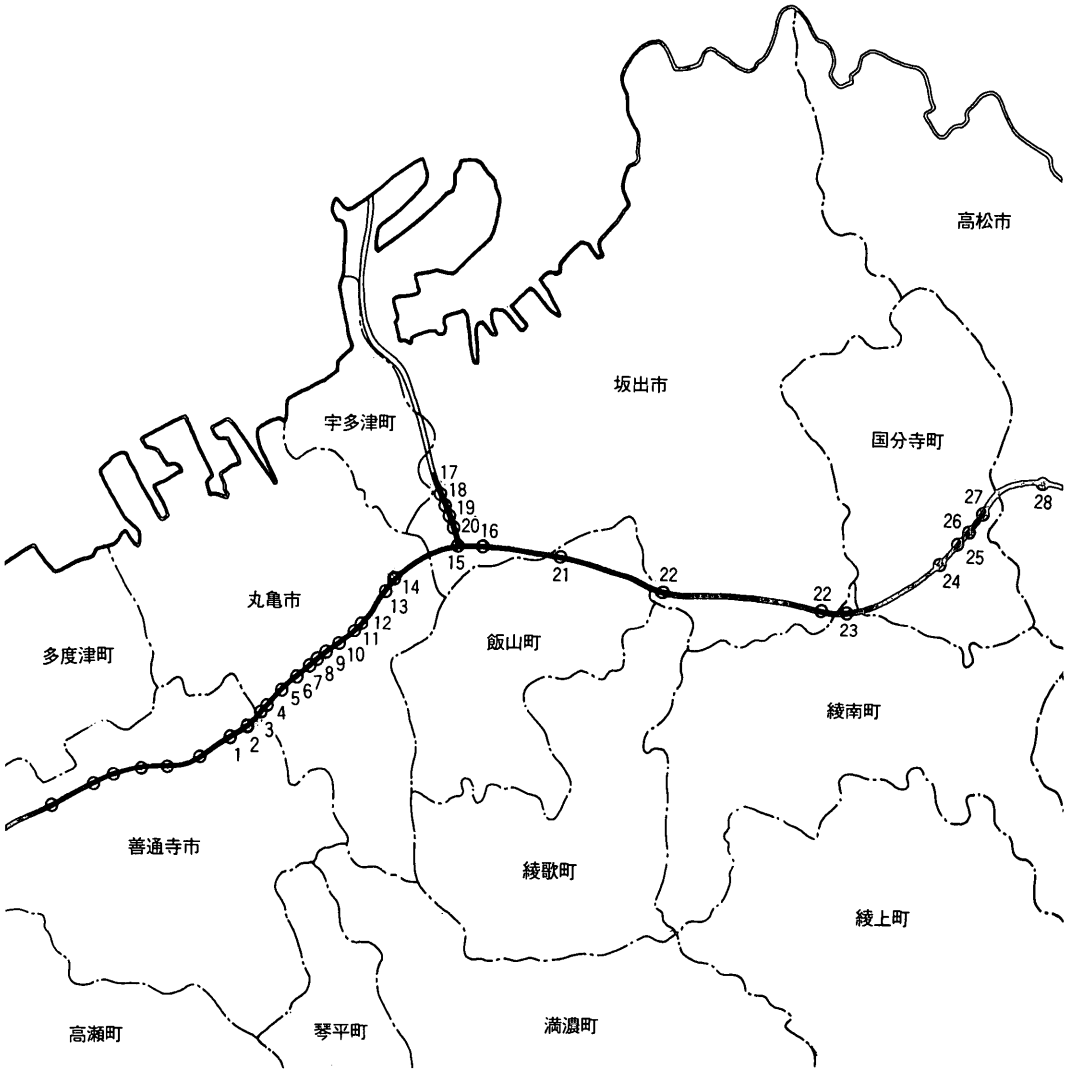
予備調査の結果，川津一ノ又遺跡を始めとする集落跡を中心とした6遺跡についての内容を把握し，同地区での本調査対象面積を111,750m^2に確定した。

(1)香川県教育委員会『国道バイパス及び四国横断自動車道建設予定地内埋蔵文化財詳細分布・試掘調査概報』1987

(2)最終的に，用地買収・家屋退去等の関係で調査期間は3年6か月を要し，本調査面積は，予備調査による遺跡内容の確定を随時実施したことから，319,201m^2になった。

今回報告する川津一ノ又遺跡は，調査対象面積は36,510 m²である。本調査は都合上，調査区をⅠ区からⅣ区に分けて行い，平成２年４月12日に着手し，平成３年９月27日に終了した。

調査は，香川県教育委員会が日本道路公団高松建設局から委託を受け，財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが調査担当者として実施された。



第１図　四国横断自動車道埋蔵文化財包蔵地（高松～善通寺）

No	遺跡名	所在地	調査面積(m²)	調査期間	遺構	遺物
1	龍川五条遺跡	善通寺市原田町	12,300 10,200	元．6.26～2．3.31 2．4．9～2．12．5	弥生時代（環濠，竪穴住居，溝），古代溝，中世建物，近世井戸	弥生土器，土師器，須恵器，石器，木製品
2	龍川四条遺跡	善通寺市原田町・木徳町	20,200 1,700 300	元．7．1～2．3.31 2．5.28～2．12．5 3．4．4～3．6.18	古代掘立柱建物，中世建物，溝，土坑墓，自然河川	縄文土器，土師器，須恵器，瓦器，磁器，中世鏡
3	三条番ノ原遺跡	丸亀市三条町中村	12,041 1,300	63．4.18～元．2.10 元．4.10～2．3.31	弥生時代竪穴住居，溝，自然河川	弥生土器ほか
4	三条黒島遺跡	丸亀市三条町黒島	7,677	63．6.15～63.11.26	ユニット，溝，建物	旧石器，弥生土器，陶磁器
5	郡家原遺跡	丸亀市三条町黒島・郡家町原	17,099 2,600	63．4.18～元．3.31 元．4.10～2．3.31	竪穴住居，掘立柱建物，溝	弥生土器，土師器，須恵器，緑釉陶器，斎串ほか
6	郡家一里屋遺跡	丸亀市郡家町八幡上	14,067 6,450	63．4.18～元．3.31 元．4.10～2．3.31	掘立柱建物，溝，自然河川	弥生土器，土師器，須恵器，緑釉陶器，灰釉陶器，有舌尖頭器ほか
7	郡家大林上遺跡	丸亀市郡家町大林上	11,175	63．6.15～元．3.22	掘立柱建物，溝，自然河川	須恵器，斎串ほか
8	郡家田代遺跡	丸亀市郡家町田代	12,741	63．6.15～元．2.17	掘立柱建物，溝，火葬墓	弥生土器，須恵器，近世陶磁器，ナイフ形石器
9	川西北・原遺跡	丸亀市川西町北・原	3,033	63.12.12～元．3.25	掘立柱建物，溝	
10	川西北・七条Ⅰ遺跡	丸亀市川西町北・七条	4,034	63.12.13～元．3.27	溝，自然河川	土師器，須恵器
11	川西北・七条Ⅱ遺跡	丸亀市川西町北・七条	4,760	元．2．2～元．3.31	掘立柱建物，溝	土師器
12	川西北・鍛冶屋遺跡	丸亀市川西町北	12,208	元．4.10～元．8.11	中世掘立柱建物，溝，自然河川	土師器，須恵器，近世陶磁器
13	飯野・東二瓦礫遺跡	丸亀市飯野町東二瓦礫	3,366	63.12.13～元．3.27	掘立柱建物，溝，自然河川	土師器，須恵器
14	飯野・東分山崎南遺跡	丸亀市飯野町	300	2．3．1～2．3.31		

第１表　四国横断自動車道建設に伴う発掘調査の概要(1)

No	遺跡名	所在地	調査面積(m²)	調査期間	遺構	遺物
15	川津東山田遺跡	坂出市川津町 飯山町東坂元	28,100 500	2．8．2～3．3.20 3．9．2～3．9．4	弥生時代竪穴住居，古墳時代竪穴住居，柱穴	弥生土器，土師器，須恵器
16	川津川西遺跡	坂出市川津町	5,400	2．5.10～3．1.17	古墳時代竪穴住居，古代～中世建物，溝	縄文土器，土師器，須恵器，墨書土器，土馬，耳環
17	川津中塚遺跡	坂出市川津町	15,290 5,700	2．5.10～3．2.28 3．4．4～3．9.13	弥生時代竪穴住居，古代～中世掘立柱建物，溝，土坑，土坑墓	弥生土器，土師器，須恵器，耳環，鉄小刀
18	川津下樋遺跡	坂出市川津町	9,650 200	2．5.10～3．1.31 3．7．1～3．7.16	弥生時代（水田，井堰），溝，自然河川	縄文晩期土器，弥生土器，石器（打製石庖丁ほか），木製品
19	川津二代取遺跡	坂出市川津町	10,400	2．5.10～3．3．8	弥生時代（溝，自然河川），中世（建物，溝）	弥生土器，土師器，石器
20	川津一ノ又遺跡	坂出市川津町	35,160 1,350	2．4.12～3．3.28 3．7.18～3．9.27	弥生時代自然河川，弥生時代～古墳時代（竪穴住居，掘立柱建物，土坑），古代～中世（溝，水田）	弥生土器，土師器，須恵器，石器，木製品，帯金具
21	飯山一本松遺跡	飯山町	2,200	元．4.17～元．5.16		弥生土器，土師器，須恵器
22	府中地区	坂出市府中町	3,000	2．10.30～2．12.26	土坑	須恵器
23	綾南奥下池南遺跡	綾南町	2,900	元．5.22～元．7.24	須恵器窯跡	須恵器
24	国分寺下日名代遺跡	国分寺町福家	11,350	元．8.19～2．2.28	弥生時代溝，水田，動物足跡	弥生土器，土師器，須恵器
25	国分寺楠井遺跡	国分寺町福家	4,400	2．4.11～2．10．2	古墳時代横穴式石室，中世窯，建物	土師器，須恵器，瓦質土器，耳環
26	国分寺六ツ目古墳	国分寺町福家	900	元．9．1～元．12.28	前方後円墳（主体部3基）	古式土師器，鉄器
27	国分寺六ツ目遺跡	国分寺町福家	5,600	元．10．1～2．2.28	中近世建物	弥生土器，近世陶磁器，石器
28	中間西井坪遺跡	高松市中間町	11,600 8,680 1,270	元．8.19～2．3.25 2．5.10～3．3.25 3．4．5～3．7.18	旧石器ブロック，弥生時代～近世建物，埴輪焼成土坑，古墳，溝，土坑	弥生土器，土師器，須恵器，埴輪，陶棺，ナイフ形石器，船底形石器

第2表　四国横断自動車道建設に伴う発掘調査の概要(2)

第2節　調査の経過

1　調査の経過

川津一ノ又遺跡の発掘調査は，本調査区画をⅠ区からⅣ区に分けて実施した。Ⅲ・Ⅳ区部分については，平成2年3月に予備調査を行い，本調査は平成2年4月にⅢ区，5月にⅣ区を着手した。Ⅰ区，Ⅱ区は予備調査を平成2年4月に行い，Ⅰ区については予備調査トレンチの成果から判断して，この区画については予備調査をもって調査を終了し，改めて本調査は実施しなかった。Ⅱ区については旧地形の復元を目的に，平成2年7月5日～17日に本調査を行った。Ⅰ・Ⅱ区合わせて調査面積は14,550 m^2である。調査方式は直営方式である。Ⅲ区は調査面積9,220 m^2で，2か年に分けて調査を行った。平成2年度は調査面積7,870 m^2で，調査期間は平成2年4月12日から平成3年3月8日までである。直営方式で調査を行った。平成3年度は調査面積1,350 m^2で，調査期間は平成3年7月18日から，平成3年9月27日までである。Ⅳ区のみ工事請負方式で行い，調査面積12,740 m^2である。平成2年5月10日に調査を開始し，平成3年3月28日を終了した。発掘調査の概要は平成2年度と3年度の概報及び当センター年報(1)で報告している。

整理作業はⅠ区からⅢ区については，平成7年4月1日から開始し，1年6か月の期間をかけて平成8年9月30日に終了した。整理作業の概要は平成7年度及び8年度の当センター年報(2)で報告あるいは報告予定である。Ⅳ区については平成8年度，9年度の2年間で行う予定である。

(1)香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団高松建設局『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成2年度』1991
香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団高松建設局『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成3年度』1992
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報　平成2年度』1991
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報　平成3年度』1992
(2)財団法人香川県埋蔵文化財調査センター『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報　平成7年度』1996
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報　平成8年度』1997に報告予定。

2　発掘調査及び整理作業の体制

第3表のとおり。

香川県教育委員会　文化行政課				
	平成2年度	平成3年度	平成7年度	平成8年度
総括	課長 太田 彰一	課長 中村 仁	課長 高木 尚	課長 藤原 章夫
	課長補佐 菅原 良弘	主幹 菅原 良弘	（～10.23）	課長補佐 高木 一義
	副主幹 野網朝二郎	課長補佐 小原 克己	課長 藤原 章夫	課長補佐 北原 和利
		（6.1～）	（10.24～）	副主幹 渡部 明夫
		副主幹 野網朝二郎	主幹 小原 克己	
		（～5.31）	課長補佐 高木 一義	
			副主幹 渡部 明夫	
総務	係長 宮内 憲生	係長 宮内 憲生	係長 源田 和之	係長 山崎 隆
	主任主事 横田 秀幸	主任主事 横田 秀幸	（～5.31）	主査 星加 宏明
	主事 水本久美子	（～5.31）	係長 山崎 隆	主事 國方 秀子
	（～5.31）	主事 櫻木 新士	（6.1～）	（～5.31）
	主事 石川恵美子	（6.1～）	主査 星加 宏明	主事 打越 和美
	（6.1～）	主事 石川恵美子	主事 高倉 秀子	（6.1～）
埋蔵文化財	係長 大山 真充	係長 藤好 史郎	主任技師 森下 英治	文化財専門員 木下 晴一
	主任技師 岩橋 孝	主任技師 岩橋 孝	技師 塩崎 誠司	技師 塩崎 誠司
	技師 北山健一郎	主任技師 北山健一郎		
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター				
総括	所長 十川 泉	所長 十川 泉	所長 大森 忠彦	所長 大森 忠彦
	次長 安藤 道雄	次長 安藤 道雄	次長 真鍋 隆幸	次長 小野 善範
総務	係長(事務) 加藤 正司	係長(事務) 加藤 正司	係長(事務) 前田 和也	係長(事務) 前田 和也
	主査(土木) 山地 修	（～5.31）	主査(事務) 大西 健司	主任主事 西川 大
	主事 三宅 浩司	係長(事務) 土井 茂樹	（～5.31）	
	（～5.31）	（6.1～）	主任主事 西川 大	
	主事 斎藤 政好	主査(土木) 山地 修	（6.1～）	
	（6.1～）	（～5.31）		
		係長(土木) 今田 修		
		（6.1～）		
		主任主事 斎藤 政好		
調査	参事 見勢 護	係長 渡部 明夫	主任文化財専門員 廣瀬 常雄	主任文化財専門員 廣瀬 常雄
	係長 渡部 明夫	係長 真鍋 昌宏	主任技師 山下 平重	文化財専門員 山下 平重
	係長 藤好 史郎	主任技師 大西 義則		
	係長 真鍋 昌宏	主任技師 西岡 達哉		
	文化財専門員 廣瀬 直樹	主任技師 真下 拓也		
	主任技師 西村 尋文	技師 森下 英治		
	主任技師 岡 敦憲	調査技術員 白川 悦代		
	主任技師 大西 義則			
	主任技師 中野 昇一			
	技師 大谷 伸一			
	技師 片桐 孝浩			
	技師 森下 友子			
	技師 市村 拓二			
	技師 和田 素子			
	技師 山下 平重			
	調査技術員 高橋佳緒里			
	調査技術員 石川ゆかり			
	調査技術員 尾形ひとみ			
	調査技術員 松尾 優美			

第3表　発掘調査・整理調査体制

調査に携わった方々は以下のとおりである。

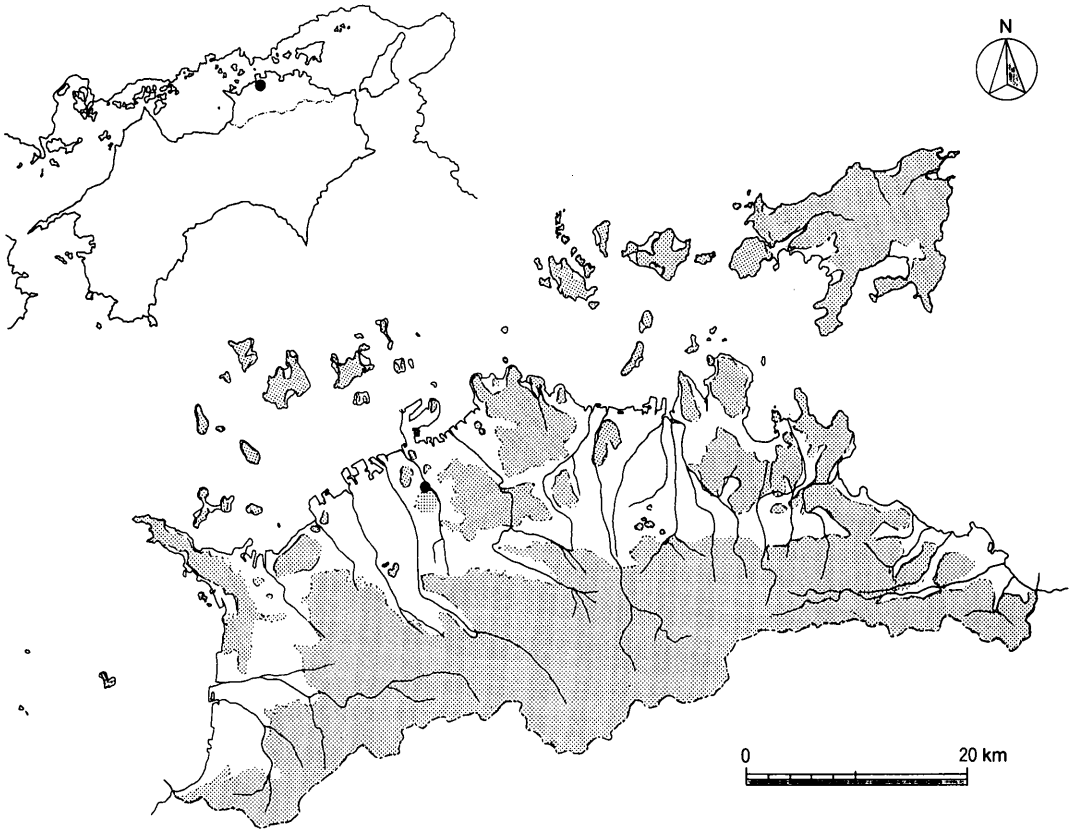
調査補助員	福本正道
現場整理作業員	山地真理子，香川桂子，山本明美
現場事務員	大井由紀子
普通作業員	饗庭澄夫，東祐介，岡田義昭，大西武，河西哲生，佐藤春夫，塩田浩一，進藤豊，杉原喬，瀬川皐月，高岸春雄，竹内近夫，谷数夫，奈良保男，沼野正一，濱岡岩夫，引田逸雄，藤井勝，松原忠俊，三村旺，六車肇，森井和夫，山崎正直，山下和信，山下和博，横井等
軽作業員	浅尾静代，池田敬子，池田やよい，井下タツ子，浦野房子，大林チエ子，岡崎愛子，小野春代，香川貞美，唐住和子，川北綾子，北村シヲリ，木下シズ，黒川フジエ，小林クニコ，小林巳代子，佐藤文美，佐藤紀江，下河ヒトミ，正嘉代子，杉崎春子，高木一江，塚原とし子，津川秀子，中居シズエ，中村八重子，橋詰ヒサ子，林佐智子，平池真知子，深井豊子，福家スエミ，藤井悦子，堀家千代子，前堀磯江，松井美智子，真室静枝，水澤チエコ，山口ハルミ，山崎美智子，山下千代子，山下初代，山下ヒロ子，山地カズエ，山地フジ子，山地ミドリ，山本ユキエ，由佐久子，横田八重子，吉井絢子，吉岡愛子
整理員	葛西薫
整理補助員	石川ゆかり，西山佳代子，白玖昇子，三谷和子
整理作業員	荒木美千子，小林里美，藤川裕子，赤熊久子，谷純子，磯崎泰子，太田潤子，鈴木奈穂子

第２章　立地と環境

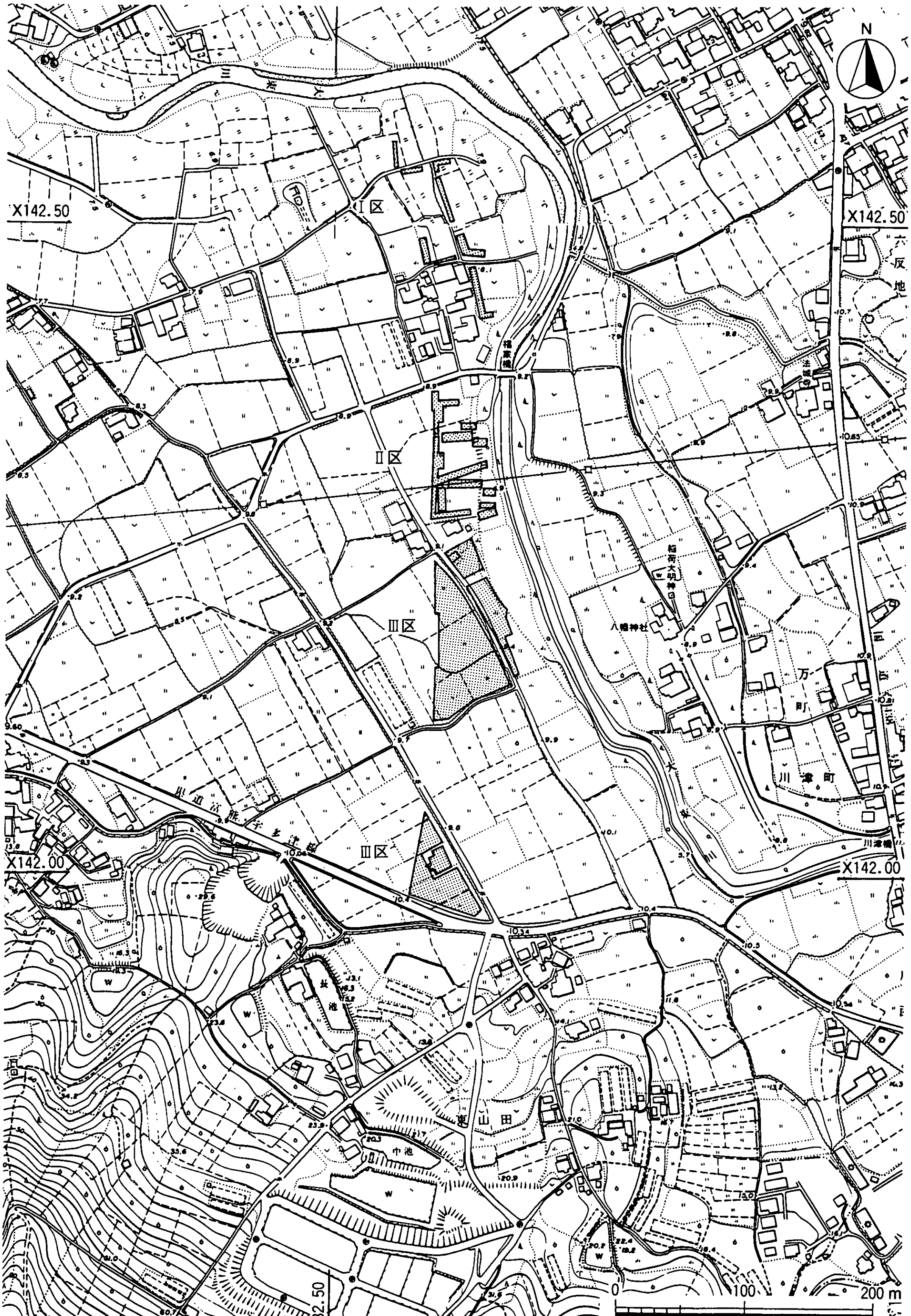
第１節　地理的環境（第２～４図参照）

川津一ノ又遺跡は丸亀平野東部，飯野山北麓に位置する。現在の標高は９ｍ前後である。調査前の土地利用は水田であった。調査地周辺の地形については，木下晴一氏が詳しく述べている(1)のでそれを参照されたい。Ⅲ区（北部）は，大束川のすぐ西岸にあり，調査区東端と調査区外は比高差1.2m程度の段丘崖となっている。また調査区内の現地割には部分的に蛇行するところがあり，調査の結果，この蛇行部分は弥生時代の川跡で形成された低地部分が，現在でも完全には埋没していないことに起因する事が判明した。

（１）木下晴一「第２章　遺跡の立地と環境」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第十六冊　川津二代取遺跡』香川県教育委員会，財団法人香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団1995



第２図　遺跡位置図(1)



第3図　遺跡位置図(2)（1/5,000）

第２節　　歴史的環境（第４図参照）

この地域の歴史的環境については，下川津遺跡と川津中塚遺跡の報告[1]に詳しい記述があるので，ここではそれ以後の調査成果の追加して，歴史的環境の記載とする。また，各遺跡の文献については一覧表（第４～６表）を参照されたい。

旧石器時代

依然として，遺構が検出された遺跡は現在のところない。石器が採集されているのみである。

縄文時代

晩期の土器が，下川津遺跡，川津中塚遺跡及び川津下樋遺跡で出土している。川津下樋遺跡では，弥生時代前期の水田跡の水田土壌から出土している。

弥生時代

弥生時代前期の遺跡としては，西又遺跡と川津元結木遺跡のほかに，川津下樋遺跡及び川津二代取遺跡が追加された。川津二代取遺跡では，溝跡及び川跡が検出され，川津下樋遺跡では，弥生時代前期の井堰を伴う川跡及び水田跡が検出されている。

弥生時代中期の遺跡は当遺跡で竪穴住居跡，溝跡等が検出されている。またこの時期の高地性集落として，飯野山山頂遺跡が知られていたが，近年坂出市教育委員会の調査により，常山遺跡が発見されている。竪穴住居跡及び磨製石器等が検出されている。

弥生時代後期の遺跡としては，川津中塚遺跡，川津二代取遺跡及び川津東山田遺跡等がある。また西又遺跡においても弥生時代後期の土器溜まりが検出されている。

（１）香川県教育委員会，（財）香川県埋蔵文化財調査センター，本州四国連絡橋公団『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡』1990
香川県教育委員会，財団法人香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第十四冊　川津中塚遺跡』1994

古墳時代

古墳時代については，前期の遺構遺物は，上述の弥生時代後期の遺跡の大部分で検出されている。古墳時代中期の遺跡については，追加資料はないようである。古墳時代後期の遺跡には，川津中塚遺跡，川津川西遺跡及び川津元結木遺跡がある。いずれも集落跡が確認されている。

奈良時代

下川津遺跡及び当遺跡で集落跡が検出されている。また，当遺跡の大束川河川改修工事に伴う調査部分では，この時期の竈付きの竪穴住居跡が検出されている。川津川西遺跡で大溝が検出されている。西又遺跡では，坂出市教育委員会が調査した部分で奈良時代から平安時代頃の掘立柱建物跡が検出されている。

平安時代

この時期の集落跡は，川津元結木遺跡，川津中塚遺跡及び下川津遺跡で検出されている。

鎌倉時代

下川津遺跡，川津中塚遺跡及び川津二代取遺跡で集落跡が検出されている。

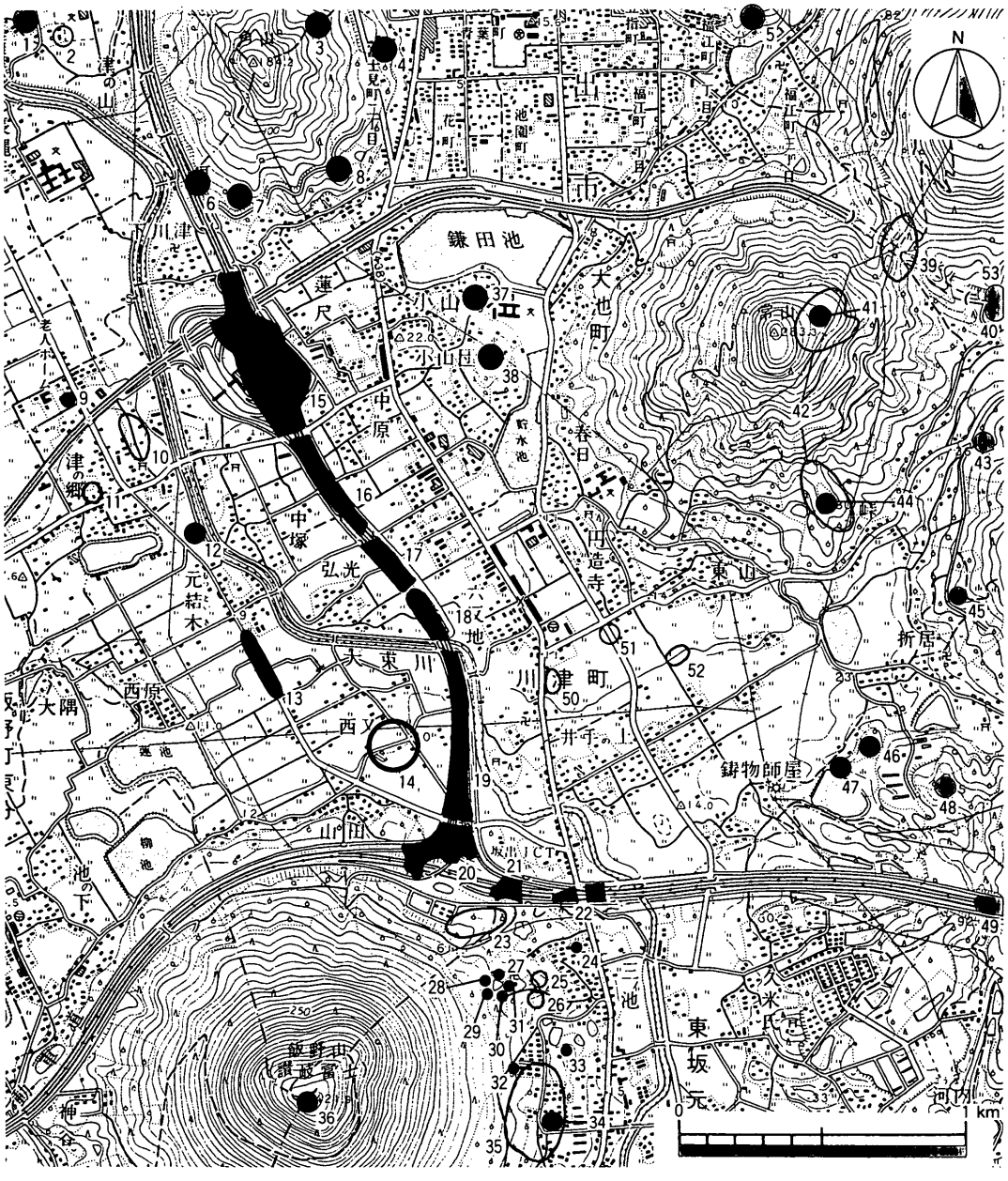
室町時代

下川津遺跡及び川津川西遺跡で集落跡が検出されている。

近世以降

この時期については新しい調査事例はないようである。

第4図の遺跡分布図の作成に当たっては，第4～6表の文献の他に下記の文献を参照した。
文化庁『全国遺跡地図 37 香川県』1977
瀬戸内海歴史民俗資料館『瀬戸内海歴史民俗資料館だより第16号』1983
香川県教育委員会『昭和58年度埋蔵文化財詳細分布調査概報』1984
飯山町教育委員会『城山古墳群発掘調査報告書』1992
丸亀市教育委員会『青ノ山南麓における埋蔵文化財調査概報』1980
宇多津町教育委員会『青ノ山宇多津5号墳調査報告』1983



1．岩屋古墳　2．岩屋遺跡　3．潮見場古墳　4．富士見町遺跡
5．笠山遺跡　6．岡宮古墳　7．山田古墳　8．下川津１号墳
9．津之郷塚　10．本村東遺跡　11．法楽寺跡　12．川津元結木遺跡
13．西又遺跡　14．西又遺跡　15．下川津遺跡　16．川津中塚遺跡
17．川津下樋遺跡　18．川津二代取遺跡　19．川津一ノ又遺跡　20．川津東山田遺跡Ⅰ区
21．川津東山田遺跡Ⅱ区　22．川津川西遺跡　23．天日池古墳群　24．喜田荒神古墳
25．岩倉遺跡　26．滝古墳　27．やかじ古墳　28．お四国池西２号墳
29．お四国池西古墳　30．三ノ池西古墳　31．三ノ池古墳　32．大谷古墳
33．西の宮古墳　34．絶頂池１・２号墳　35．秋常古墳群　36．飯野山山頂遺跡
37．小山古墳　38．蓮尺茶臼山古墳　39．ヒコシ峠遺跡　40．金山古墳
41．常山遺跡　42．常山城跡　43．長者原古墳　44．峠石棺墓
45．折居古墳　46．西田１号墳　47．西田２号墳　48．向山古墳
49．飯山一本松遺跡　50．川津六反地遺跡　51．井手の上遺跡　52．井手の上遺跡
53．長者原遺跡

第４図　周辺の遺跡（1/25,000）

遺跡番号	遺跡名	文献名	発行者	発行年
5	笠山遺跡	『坂出市内遺跡発掘調査報告書　平成４年度国庫補助事業報告書』	坂出市教育委員会	1993
6	岡宮古墳	『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報（Ⅶ）　下川津遺跡・岡宮古墳・聖通寺城跡』	香川県教育委員会，本州四国連絡橋公団	1986
6	岡宮古墳	「岡宮古墳」『香川県埋蔵文化財調査年報昭和59年度～昭和62年度』	香川県教育委員会	1988
10	本村東遺跡	『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第14冊川津中塚遺跡』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団	1994
12	川津元結木遺跡	「元結木遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報昭和63年度』	香川県教育委員会	1989
12	川津元結木遺跡	「元結木遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成元年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1990
12	川津元結木遺跡	『中小河川大束川改修工事（津ノ郷橋～弘光橋間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　川津元結木遺跡』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター	1992
12	川津元結木遺跡	「川津元結木遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成３年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1992
14	西又遺跡	「西又遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報昭和63年度』	香川県教育委員会	1989
14	西又遺跡	「西又遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報平成元年度』	香川県教育委員会	1990
14	西又遺跡	『西又遺跡発掘調査概報－県道富熊宇多津線道路改修工事に伴う発掘調査－』	香川県教育委員会	1990
14	西又遺跡	「西又遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報平成２年度』	香川県教育委員会	1991
14	西又遺跡	『四国電力株式会社高松支店東丸亀線鉄塔建替工事に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　川津西又遺跡調査概要報告書』	坂出市教育委員会	1992
15	下川津遺跡	『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報（Ⅶ）　下川津遺跡・岡宮古墳・聖通寺城跡』	香川県教育委員会，本州四国連絡橋公団	1986
15	下川津遺跡	『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報（Ⅷ）　下川津遺跡』	香川県教育委員会，本州四国連絡橋公団	1987
15	下川津遺跡	語りかける埋蔵文化財下川津遺跡	香川県教育委員会	1987
15	下川津遺跡	「第２編原始第４章第６節飯山町の弥生時代」『飯山町誌』	飯山町	1987
15	下川津遺跡	「第六章第六節一，農業と土地利用」『香川県史１原始・古代』	香川県	1988
15	下川津遺跡	『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報（Ⅸ）　下川津遺跡』	香川県教育委員会，本州四国連絡橋公団	1988
15	下川津遺跡	「下川津遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報昭和59年度～昭和62年度』	香川県教育委員会	1988
15	下川津遺跡	「下川津遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報1988年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1989
15	下川津遺跡	『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡』	香川県教育委員会，本州四国連絡橋公団	1990
15	下川津遺跡	「下川津遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成元年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1990
15	下川津遺跡	「第３章第三節古代村落の成立」『新編丸亀市史１　自然・原始・古代・中世編』	丸亀市	1995
16	川津中塚遺跡	「川津中塚遺跡Ⅰ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成２年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991
16	川津中塚遺跡	「川津中塚遺跡Ⅱ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成２年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991
16	川津中塚遺跡	「川津中塚遺跡Ⅰ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成２年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1991
16	川津中塚遺跡	「川津中塚遺跡Ⅱ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成２年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1991

第４表　遺跡文献一覧表(1)

遺跡番号	遺跡名	文献名	発行者	発行年
16	川津中塚遺跡	「川津中塚遺跡Ⅰ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成3年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1992
16	川津中塚遺跡	「川津中塚遺跡Ⅰ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成3年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1992
16	川津中塚遺跡	「川津中塚遺跡Ⅱ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成4年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1993
16	川津中塚遺跡	「川津中塚遺跡Ⅰ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成4年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1993
16	川津中塚遺跡	『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第14冊　川津中塚遺跡』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団	1994
16	川津中塚遺跡	「川津中塚遺跡Ⅱ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成5年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1994
17	川津下樋遺跡	「川津下樋遺跡」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成2年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991
17	川津下樋遺跡	「川津下樋遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成2年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1991
17	川津下樋遺跡	「川津下樋遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成3年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1992
17	川津下樋遺跡	「川津下樋遺跡」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成3年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1992
17	川津下樋遺跡	「川津下樋遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成6年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1995
17	川津下樋遺跡	『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第二十一冊　川津下樋遺跡』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団	1996
18	川津二代取遺跡	「川津二代取遺跡」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成2年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991
18	川津二代取遺跡	「川津二代取遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成2年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1991
18	川津二代取遺跡	「川津二代取遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成5年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1994
18	川津二代取遺跡	『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第十六冊　川津二代取遺跡』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団	1995
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡Ⅳ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成2年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡Ⅰ・Ⅱ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成2年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1991
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡Ⅲ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成2年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1991
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡Ⅳ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成2年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1991
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡Ⅱ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成2年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡Ⅰ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成2年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991

第5表　遺跡文献一覧表(2)

遺跡番号	遺跡名	文献名	発行者	発行年
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡Ⅲ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成２年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報平成３年度』	香川県教育委員会	1992
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡Ⅲ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成３年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1992
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡Ⅲ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成３年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1992
19	川津一ノ又遺跡	『中小河川大束川河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　川津一ノ又遺跡　平成４年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター	1993
19	川津一ノ又遺跡	「川津一ノ又遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成４年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1993
20	川津東山田遺跡	「川津東山田遺跡Ⅰ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成２年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1991
20	川津東山田遺跡	「川津東山田遺跡Ⅰ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成２年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991
20	川津東山田遺跡	「川津東山田遺跡Ⅰ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成３年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1992
20	川津東山田遺跡	「川津東山田遺跡Ⅰ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成３年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1992
21	川津東山田遺跡	「川津東山田遺跡Ⅱ区」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成２年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1991
21	川津東山田遺跡	「川津東山田遺跡Ⅱ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成２年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991
22	川津川西遺跡	「川津川西遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成２年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1991
22	川津川西遺跡	「川津川西遺跡」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成２年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1991
24	喜田荒神古墳	「第２編原始第５章第５節飯山町の古墳時代」『飯山町誌』	飯山町	1987
31	三ノ池古墳	「第２編原始第５章第５節飯山町の古墳時代」『飯山町誌』	飯山町	1987
36	飯野山山頂遺跡	「第３章第二節弥生文化の展開」『香川県史１原始・古代』	香川県	1988
41	常山遺跡	「常山遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報平成４年度』	香川県教育委員会	1993
45	折居古墳	「川津折居古墳」『香川県埋蔵文化財調査年報昭和63年度』	香川県教育委員会	1989
48	向山古墳	『新編香川叢書』考古編	香川県教育委員会	1983
49	飯山一本松遺跡	「飯山一本松遺跡」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成元年度』	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	1990
49	飯山一本松遺跡	「飯山一本松遺跡」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成元年度』	香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，日本道路公団高松建設局	1990
51,52	井手の上遺跡	山元敏裕「坂出市川津町井手の上出土の土器について」『香川考古』第２号	香川考古刊行会	1993
53	長者原遺跡	「長者原遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報』	香川県教育委員会	1979

第６表　遺跡文献一覧表(3)

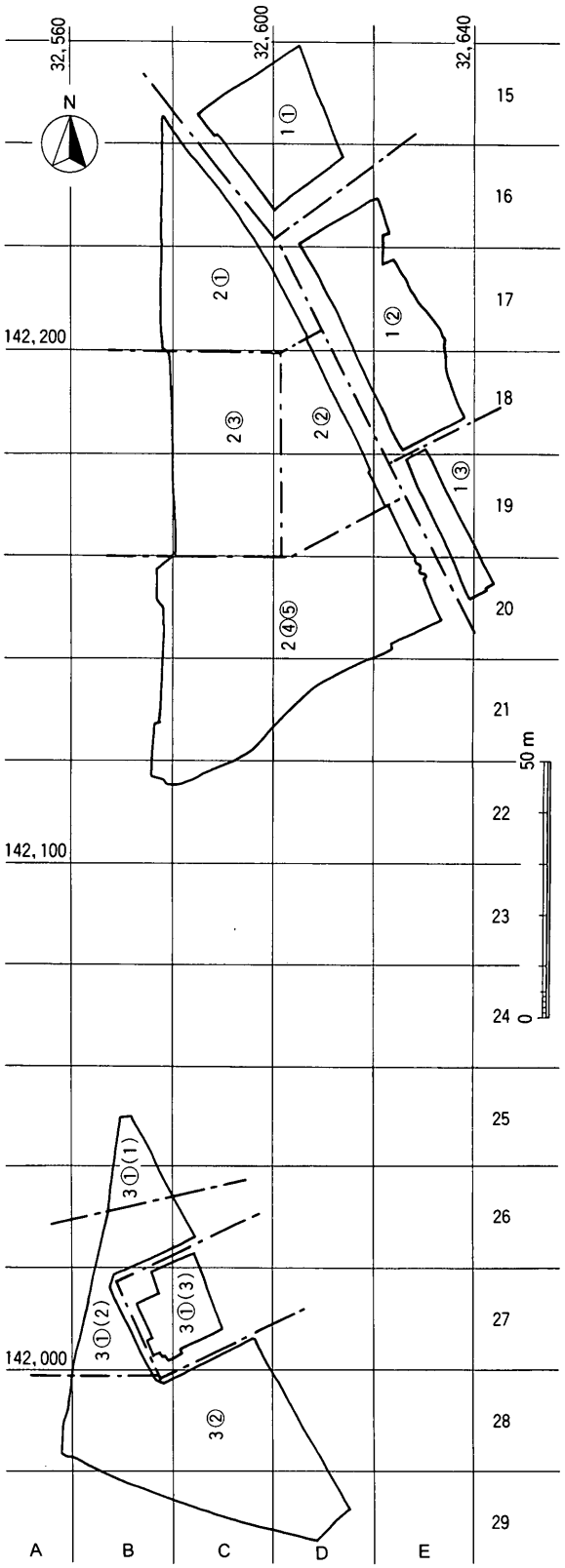
第３章　調査の成果

第１節　調査の方法

調査工程及び現在の地割に従い，調査区を第５図のように設定した。また調査地全体を覆うような形で，国土座標第Ⅳ系に沿う20ｍ四方の小区画を第５図のように設定した。遺構名付け及び遺物の取り上げにおいては，調査区名と小区画名を使用している。遺構平面の測量はヘリコプターによる航空測量で行い，一部の平面図及び断面図の作成を手書きで行った。

第２節　土層序

１③及び２④⑤調査区においては，耕作土直下で弥生時代以降の基盤層である白黄色シルト層が現れる。他の地区においては，川跡部分については弥生時代終末期あるいは古墳時代後期に埋没が始まり，奈良時代には水平な低地として水田とされている。その後さらに埋没が進み現在にいたるが，中世にも水田とされたようである。また，川跡の弥生時代終末期頃の黒色土系遺物包含層より下の砂礫層からは部分的に弥生時代中期の土器が出土している。



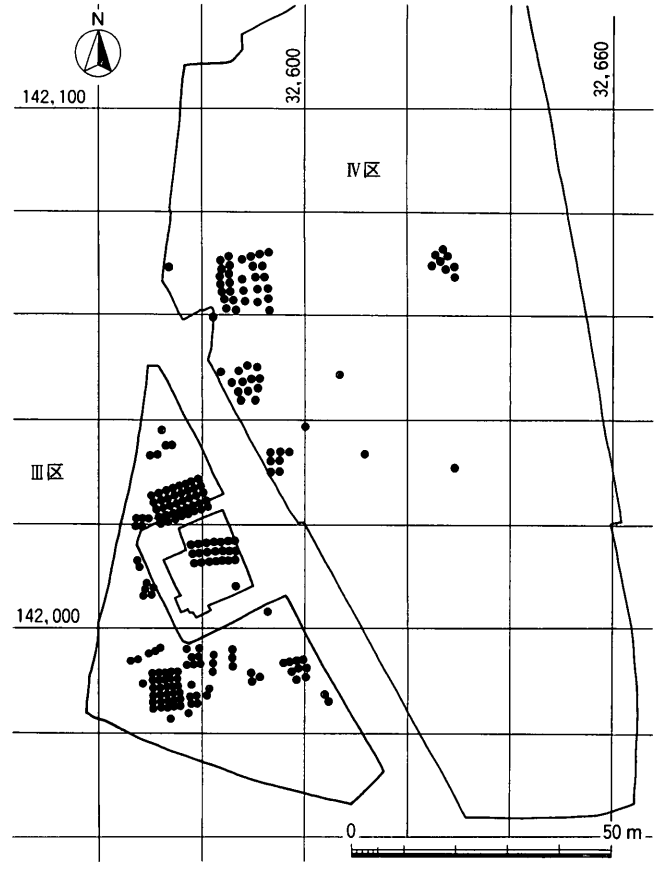
第５図　調査区名図（1/1,500）

第３節　遺構と遺物

１　旧石器時代（第６～19図）

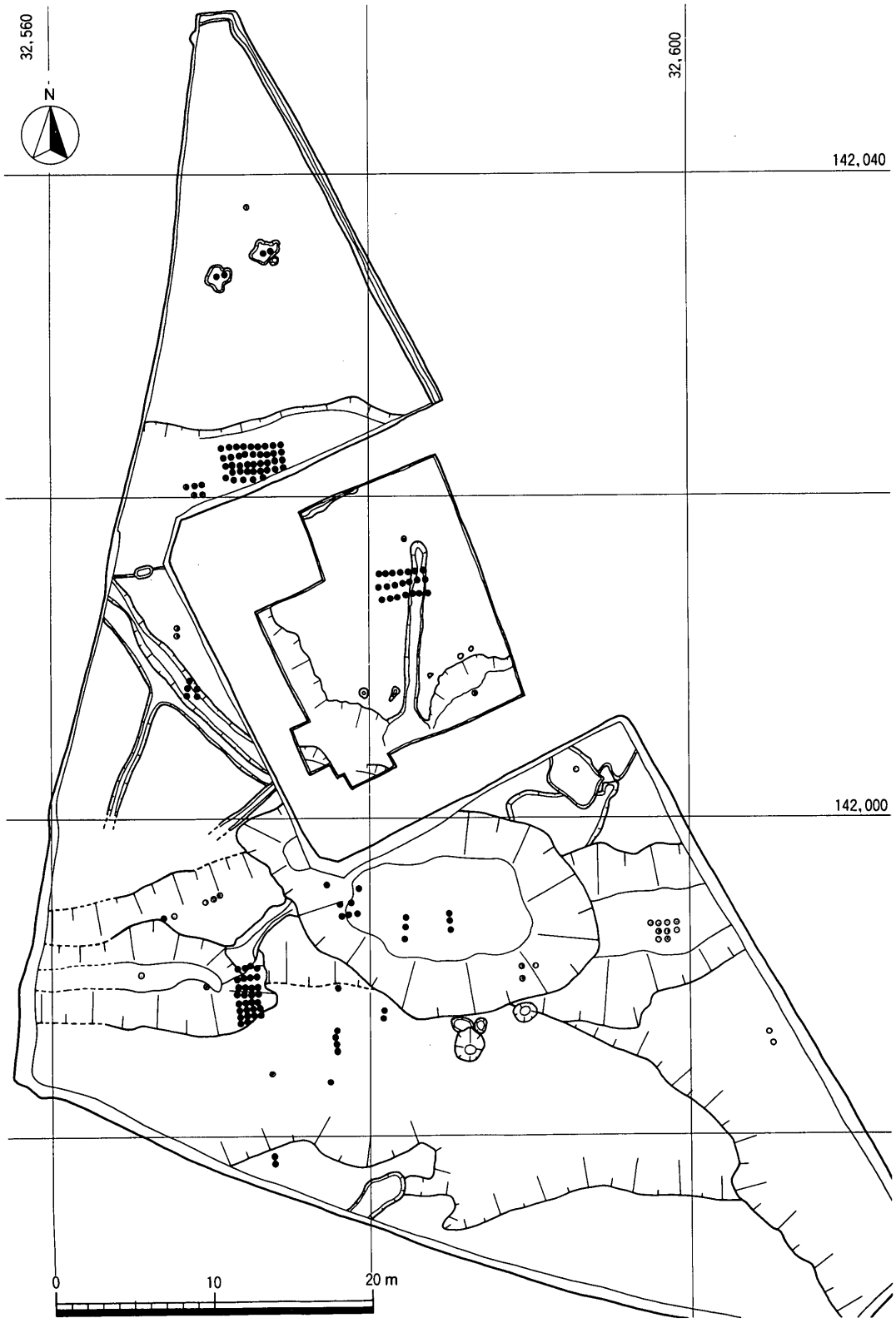
風化の進んだサヌカイトが出土しているが，出土位置は後世の遺構や包含層からであり，すべての遺物は移動していると考えられるので，出土状態から遺物の時期を推定することは困難である。出土遺物のなかには，旧石器時代のものと考えられる遺物がある。風化の進んだサヌカイト剥片については，ここでまとめて報告する。

出土点数は217点である。このうち，160点が３調査区からまとまって出土しており，ローリングによる磨滅を受けていないことから，この調査区には本来石器ブロックが存在していたのではないかと考えられる。また接合関係はないものの同一母岩と考えられる剥片がほぼ同じ場所からまとまって出土していることもこれを傍証する。また，剥片の出土位置は正確には把握できていないが，大まかな精度で，図上に出土地点を記入したのが，第６・７図である。この図から見れば，おそらく３①調査区に石器ブロックの存在していた可能性が考えられる。またこれは，隣接するⅣ区のうち，当調査区に近い部分から石器が出土していることからも傍証される。出土した石器の内訳は，第７表のとおりである。このうち113点を図化した。以下，図化した石器について報告する。



第６図　石器分布図Ⅲ・Ⅳ区（1/1,500）

１～89は，３調査区から出土した風化した石器である。１～６は打面部に二次加工あるいは打面



第７図　石器分布図Ⅲ区（1/400）

3区

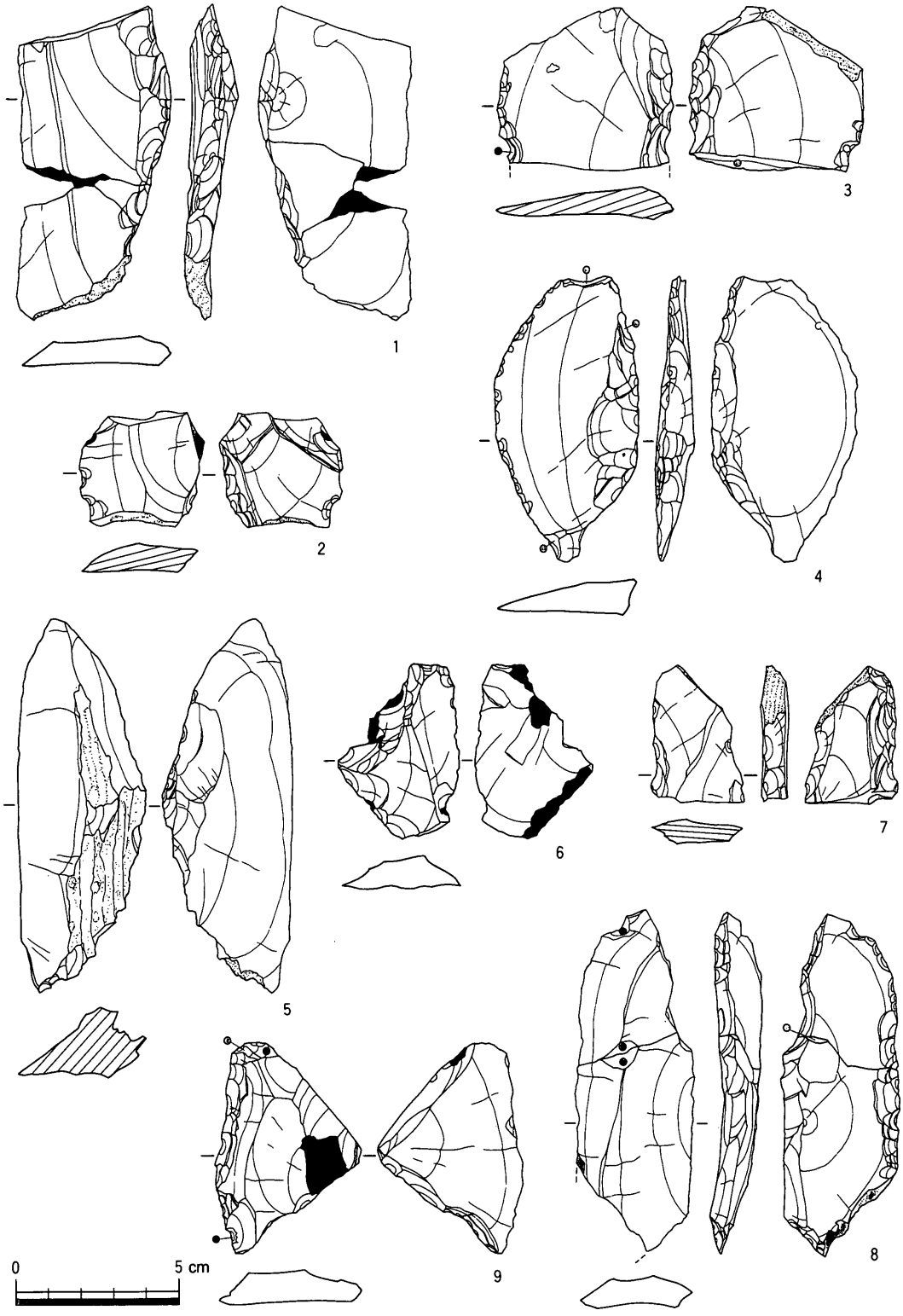
スクレイパー			13
楔形石器			15
石核	横長剥片石核	円盤状	2
		交互剥離石核	0
		その他	10
	縦長剥片石核	細石刃石核	1
		その他	2
横長剥片	翼状剥片		5
	打面調整剥片		19
	ブランティングチップ		0
	盤状剥片		1
	その他		48
縦長剥片			11
二次加工			12
使用痕			1
その他			20
計			160

全体

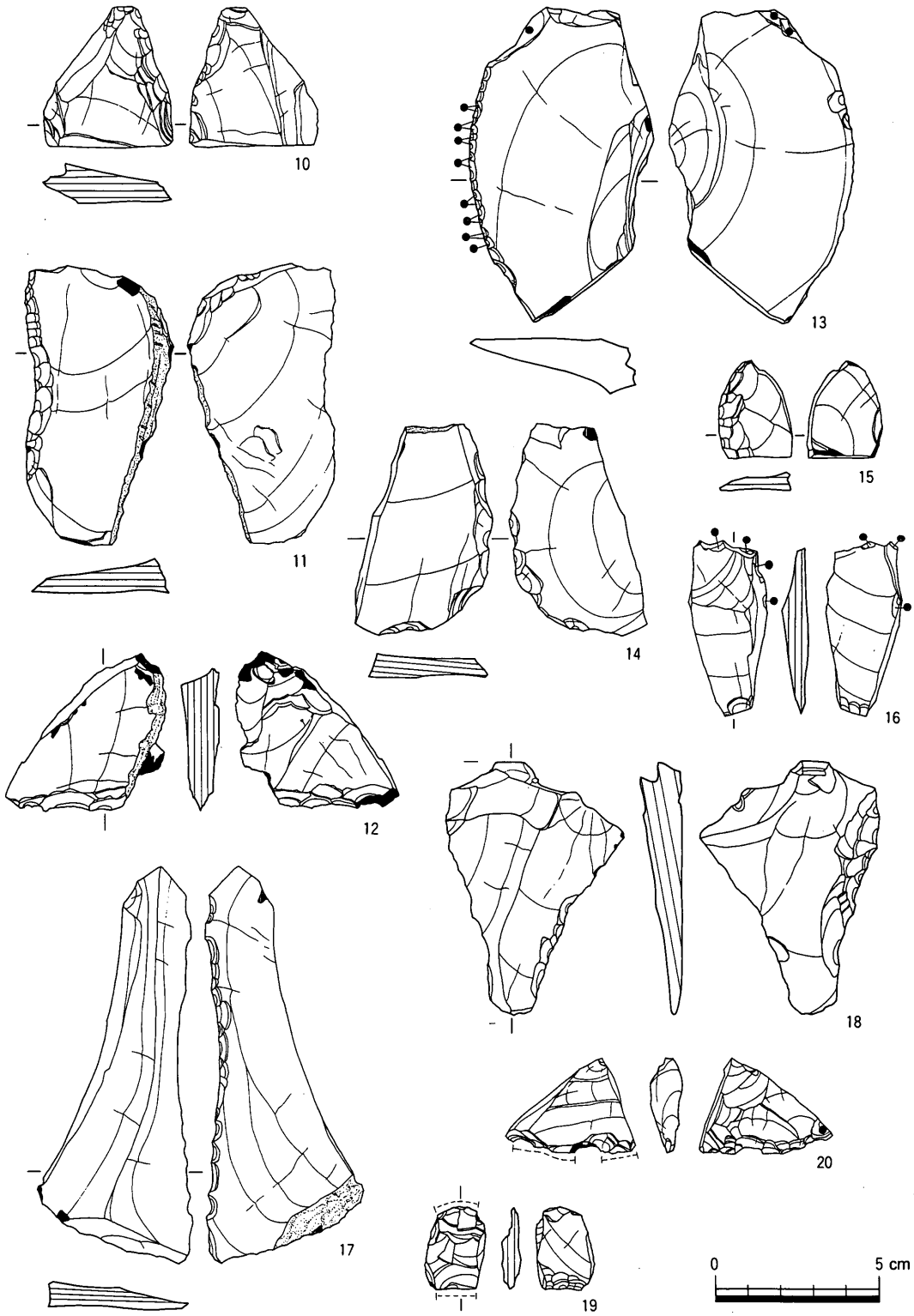
スクレイパー			20
楔形石器			18
石核	横長剥片石核	円盤状	2
		交互剥離石核	1
		その他	10
	縦長剥片石核	細石刃石核	1
		その他	6
横長剥片	翼状剥片		7
	打面調整剥片		26
	ブランティングチップ		1
	盤状剥片		1
	その他		61
縦長剥片			17
二次加工			16
使用痕			1
その他			30
計			218

第7表　石器一覧表

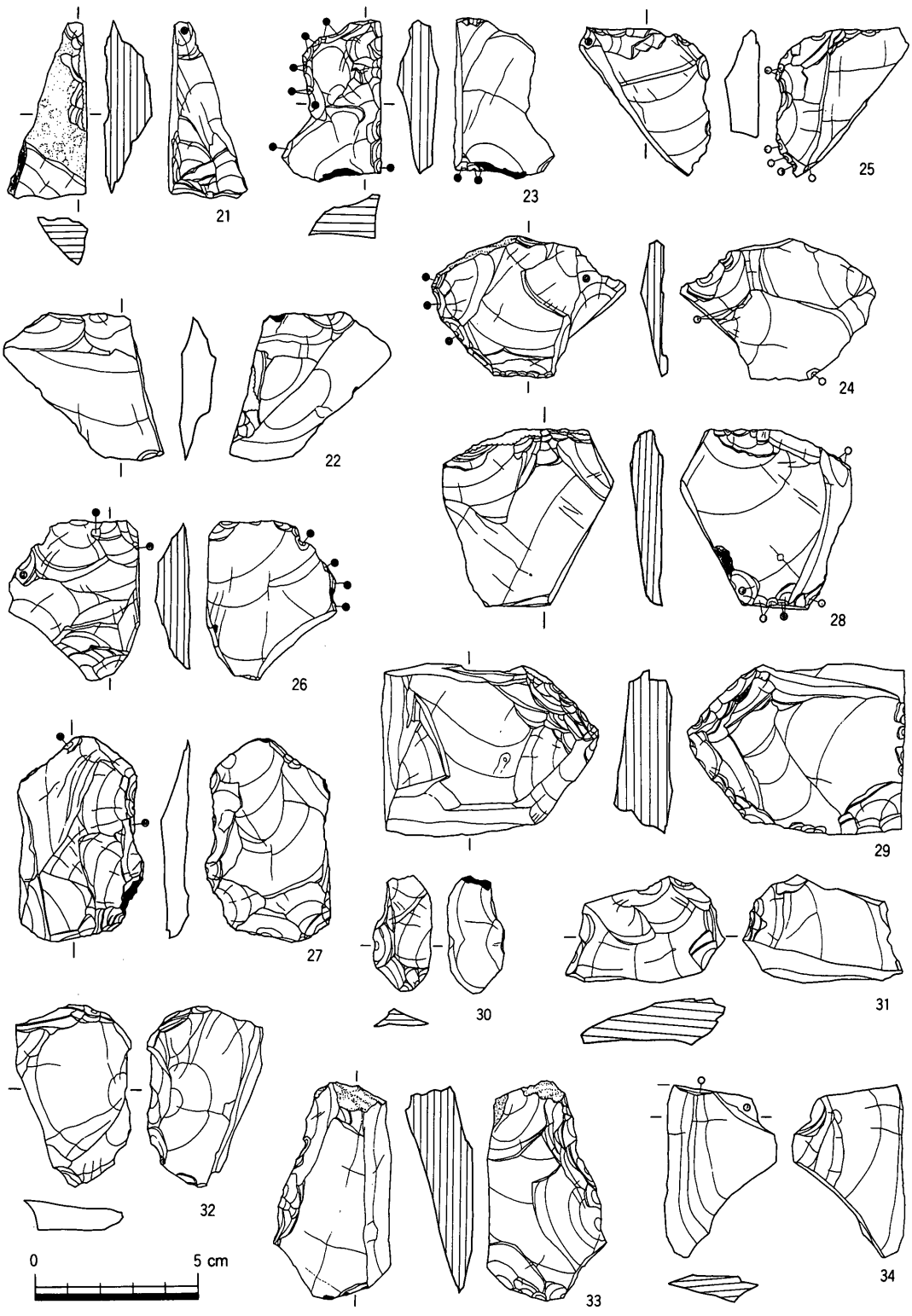
縁調整が見られる剥片である。1は大型の翼状剥片を素材にしているが，打面部への二次加工あるいは打面縁調整は小さいものにとどまる。2は折損ため確実ではないが，翼状剥片を素材としていると考えられる。3には打面部に交互剥離の調整剥離が見られる。4の打面部には緩斜度調整の剥離が見られる。打面縁調整であろう。6はあまり二次加工がされていない。7～18はスクレイパーである。7は底面剥離方向が通常とは逆であるが，翼状剥片を素材にしている。打面部への二次加工は見られない。8は翼状剥片を素材にしているが，打面部への二次加工は見られない。9は並列剥離剥片を素材にしている。10は石核を転用したものであろう。18は縦長剥片を素材にしている。19～29は楔形石器とした。30～33は，二次加工ある剥片である。34～37は翼状剥片の可能性がある剥片である。34と35は折損のため確実ではないが，翼状剥片であろう。36も打面部の調整が典型的ではないが，翼状剥片の可能性がある。37は底面が存在していないが，翼状剥片剥離時のミスによるものである可能性がある。38～64は横長剥片である。そのうち38～45は目的的剥片の可能性があるものである。38は調整打面及び先行剥片剥離痕を持つが，打点位置はずれている。主要剥離面端部は階段状をなす。42～45は調整打面を持たない。46～64は，刃部に礫面が存在したり，刃縁が不整形であったり，主要剥離面と石理の方向が，大きく食い違うなど，目的剥片ではなく，調整剥片と考えられる。65～72は縦長剥片である。65と66は打



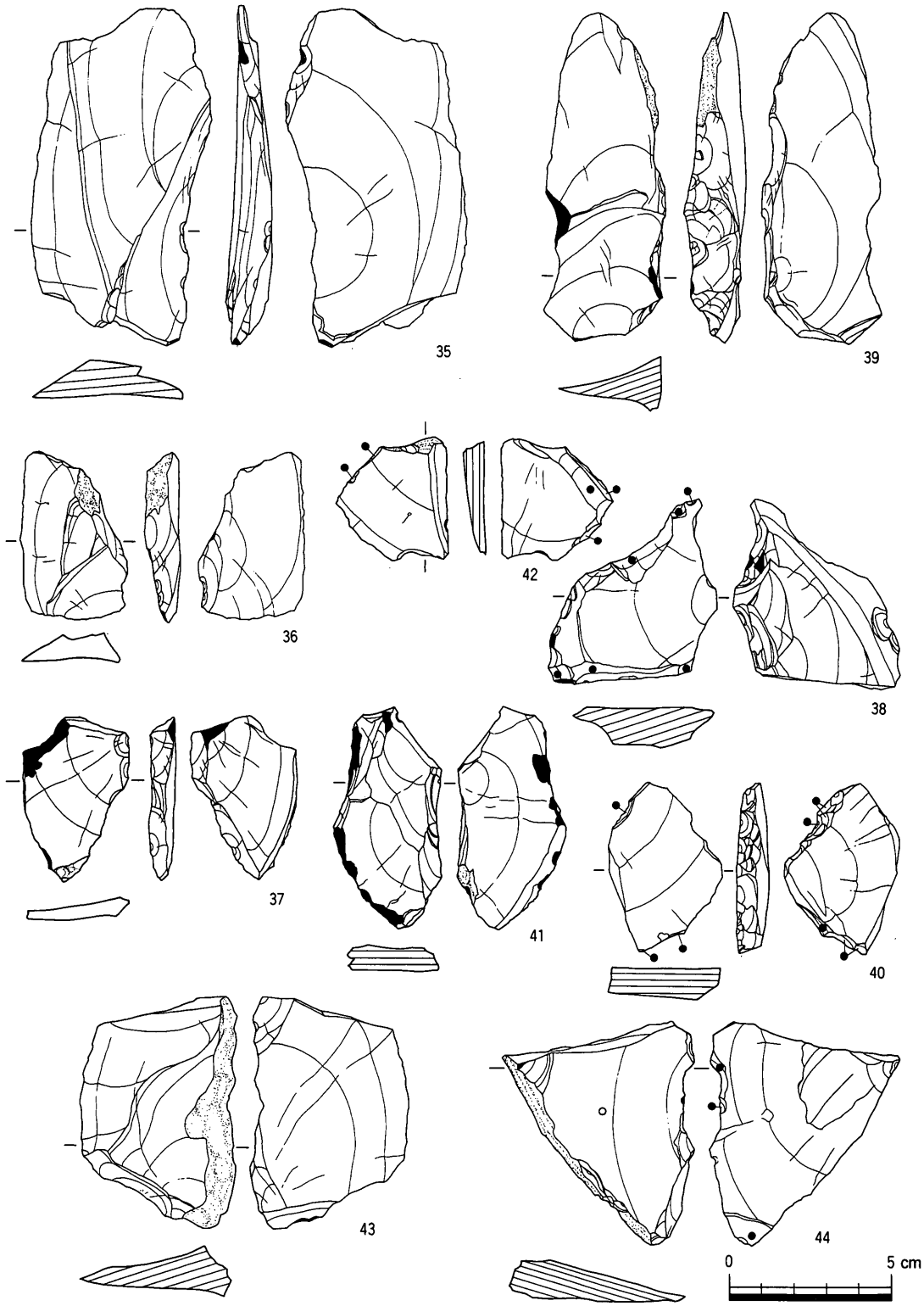
第8図　石器実測図①（1/2）



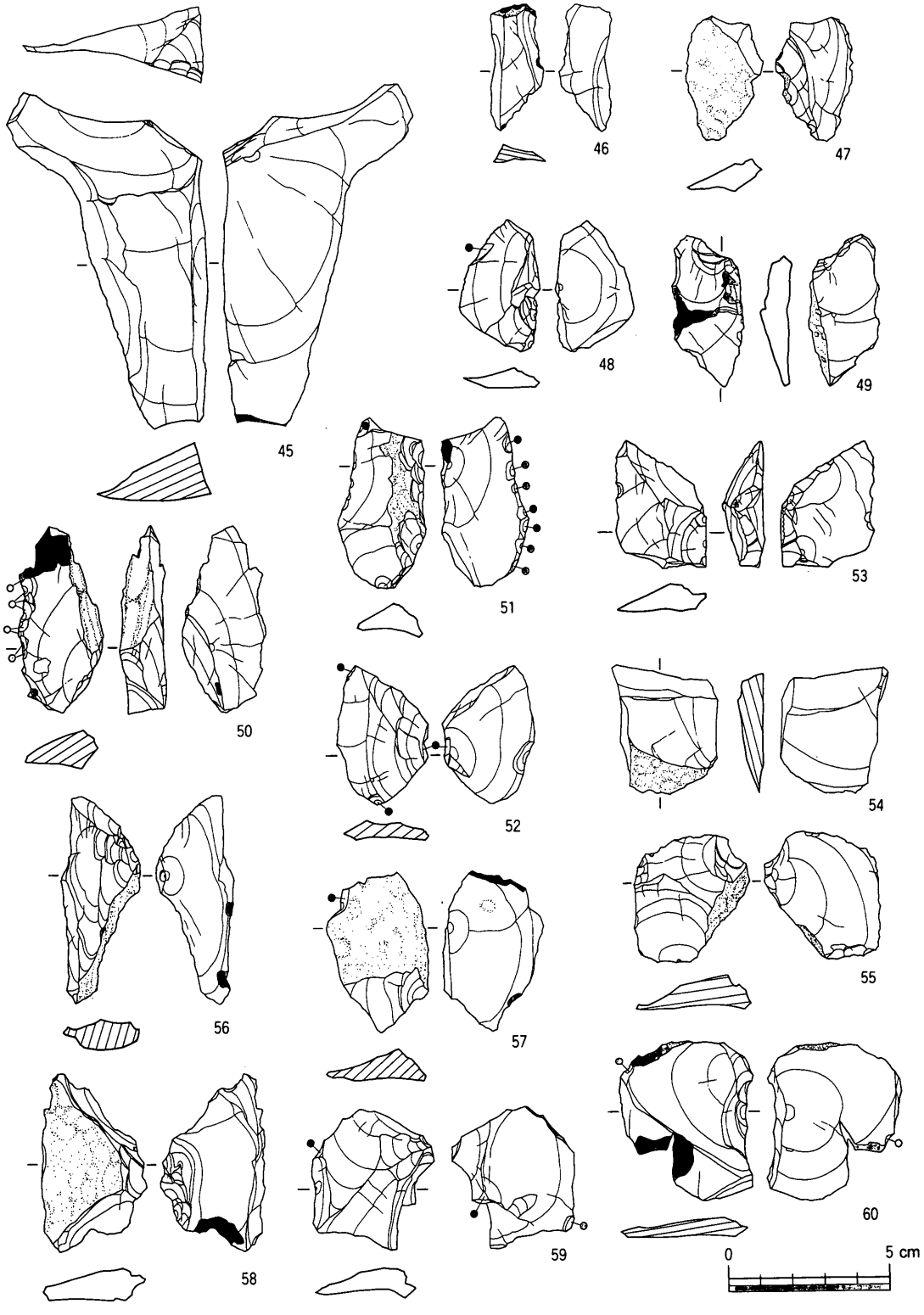
第９図　石器実測図②（1/2）



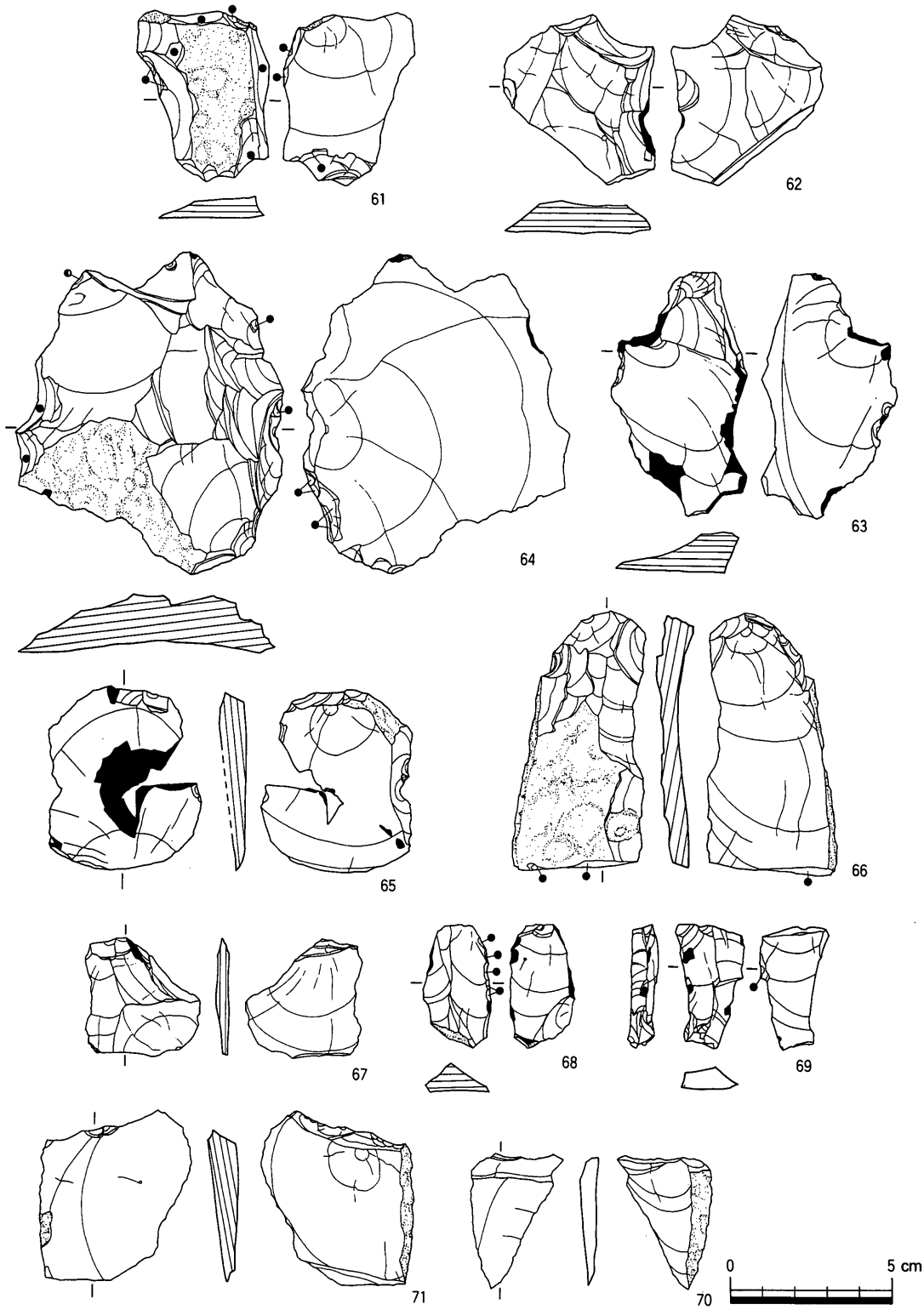
第10図　石器実測図③（1/2）



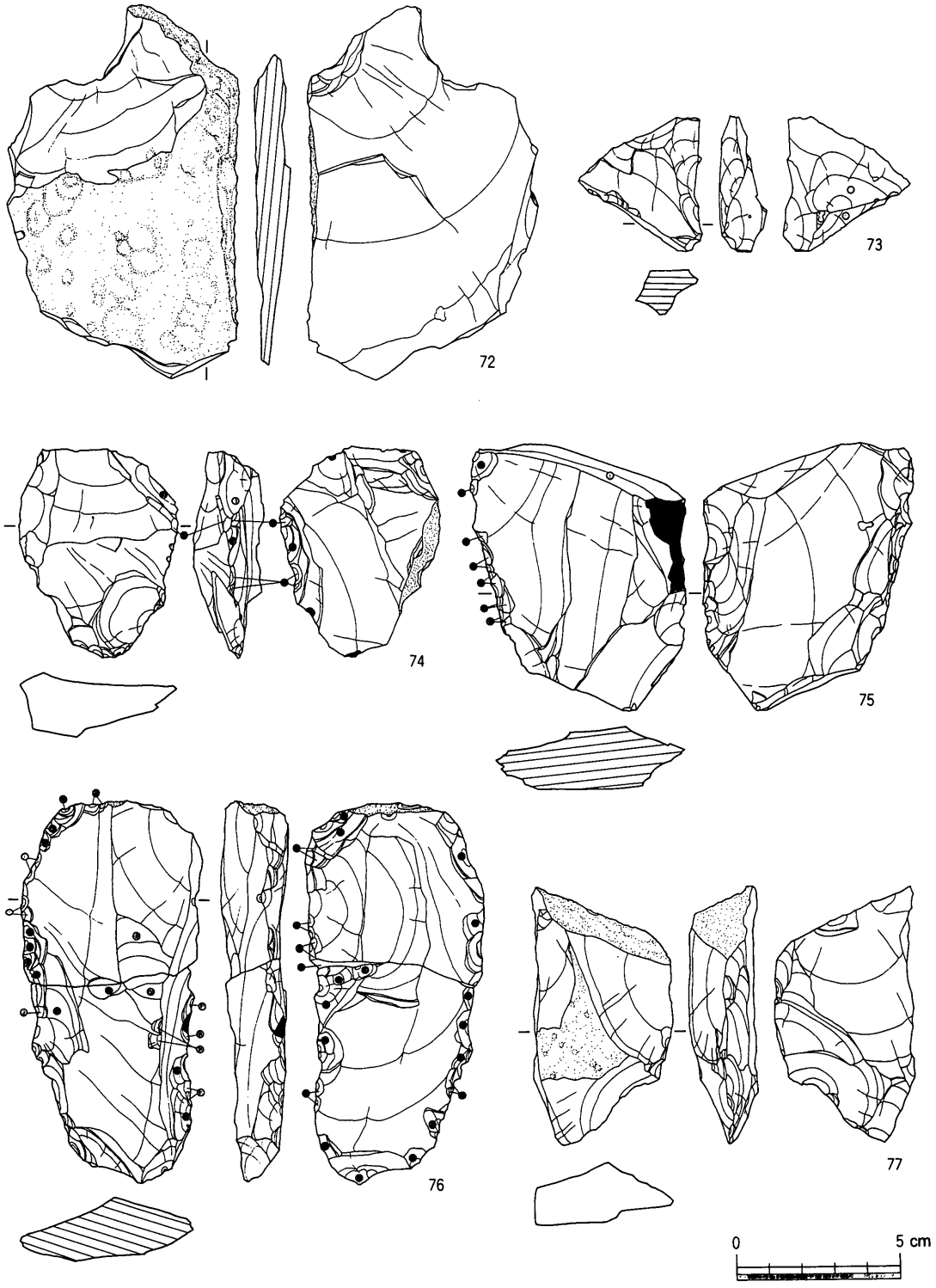
第11図　石器実測図④（1/2）



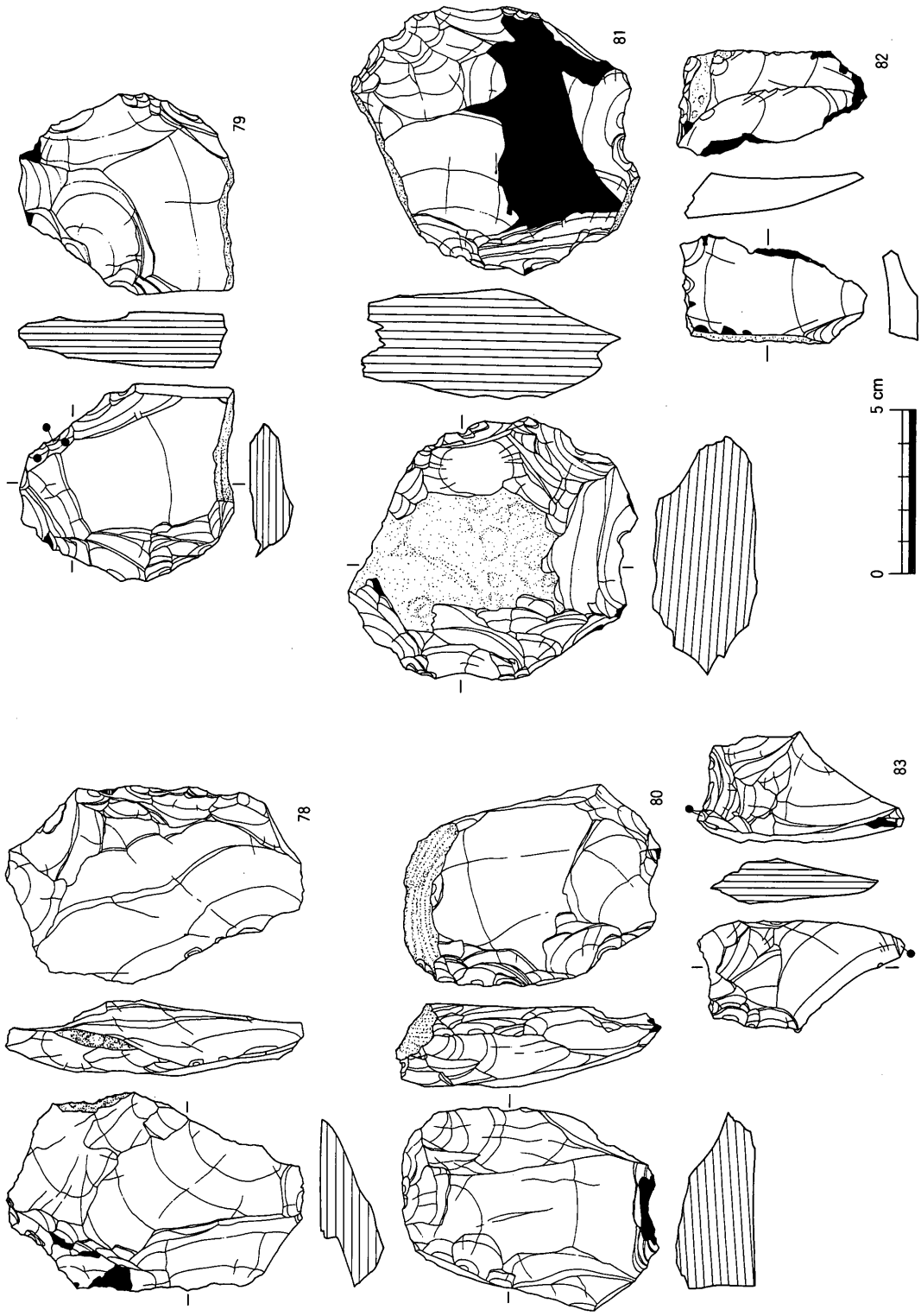
第12図　石器実測図⑤（1/2）



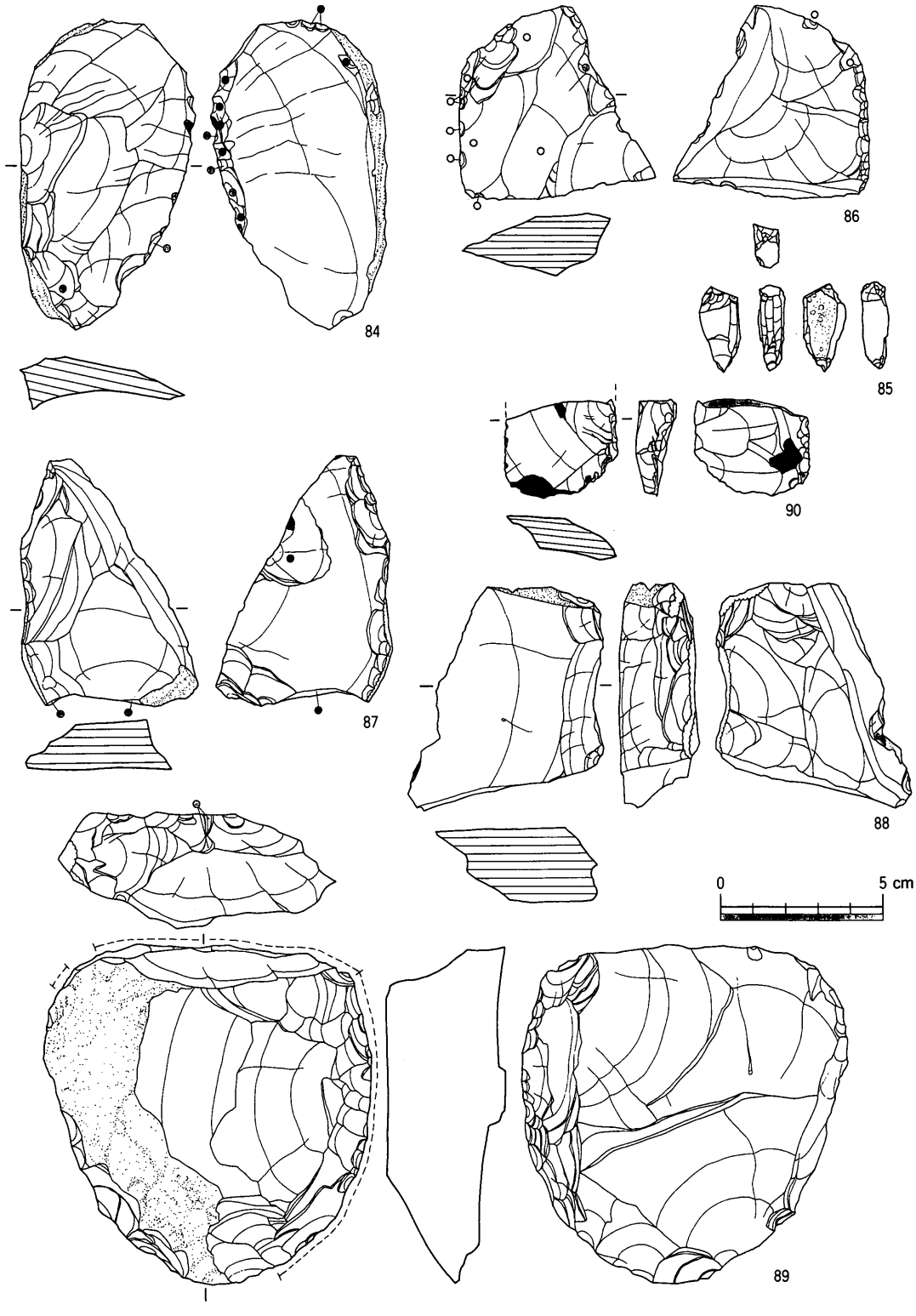
第13図　石器実測図⑥（1/2）



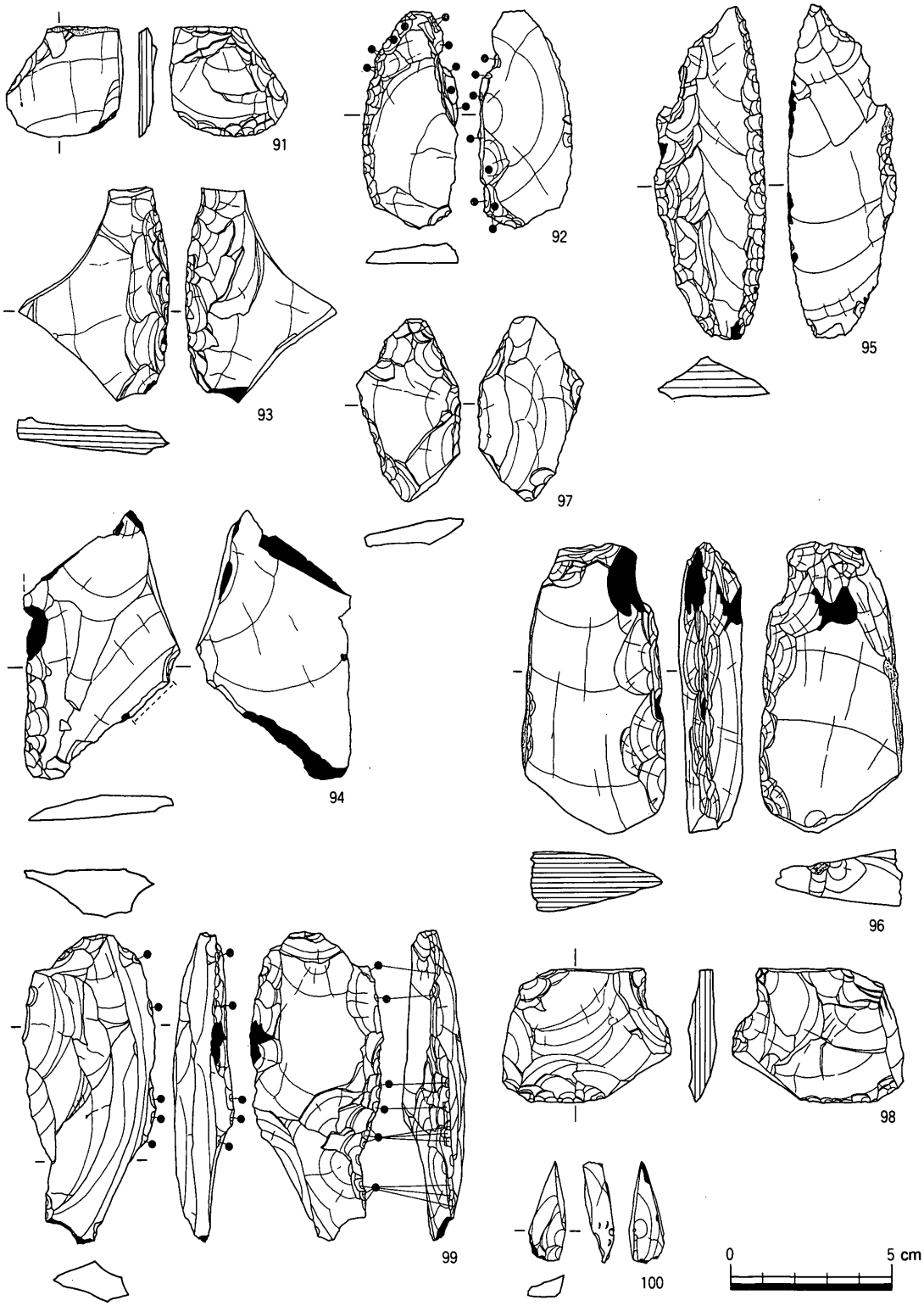
第14図　石器実測図⑦（1/2）



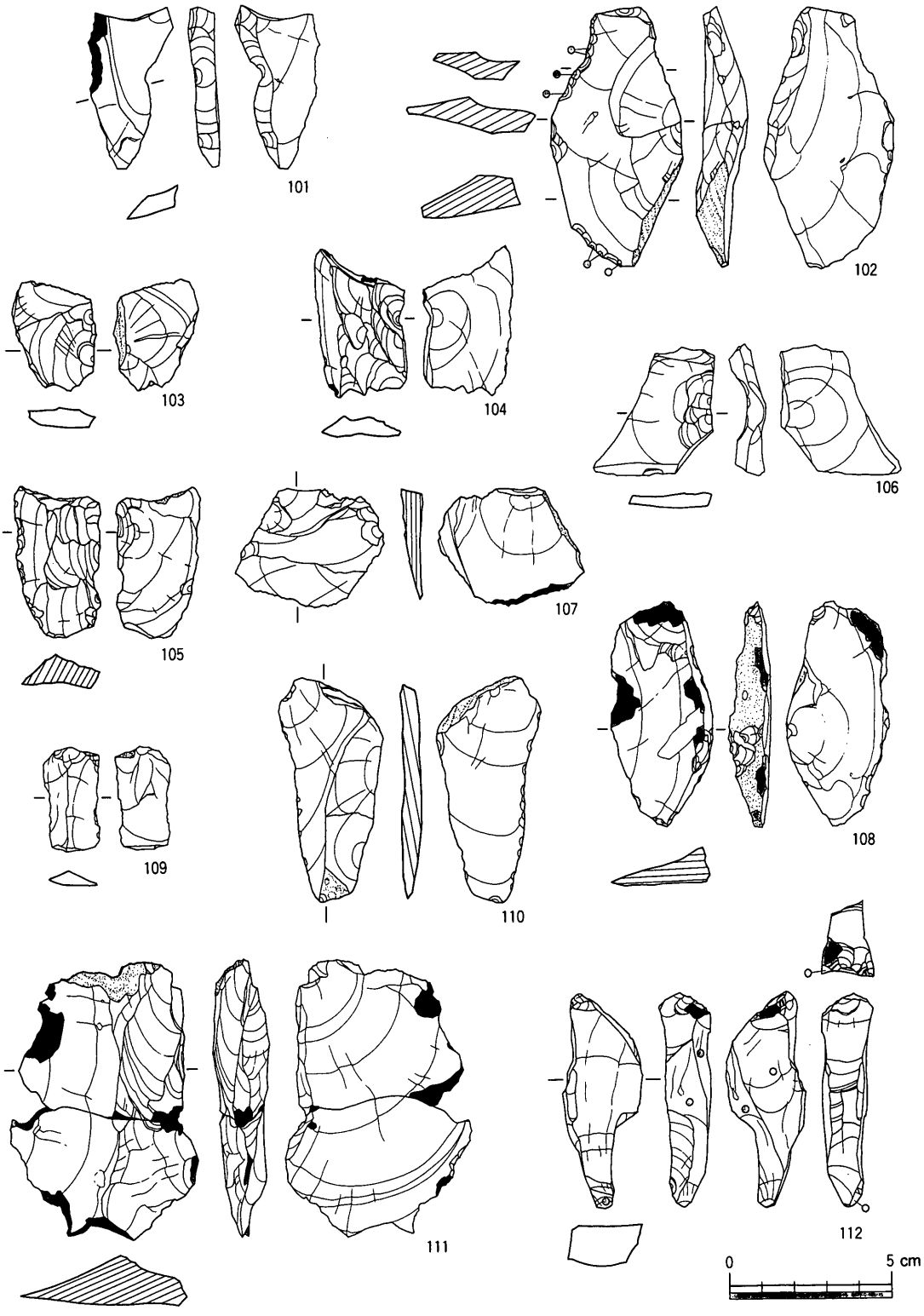
第15図　石器実測図⑧（1/2）



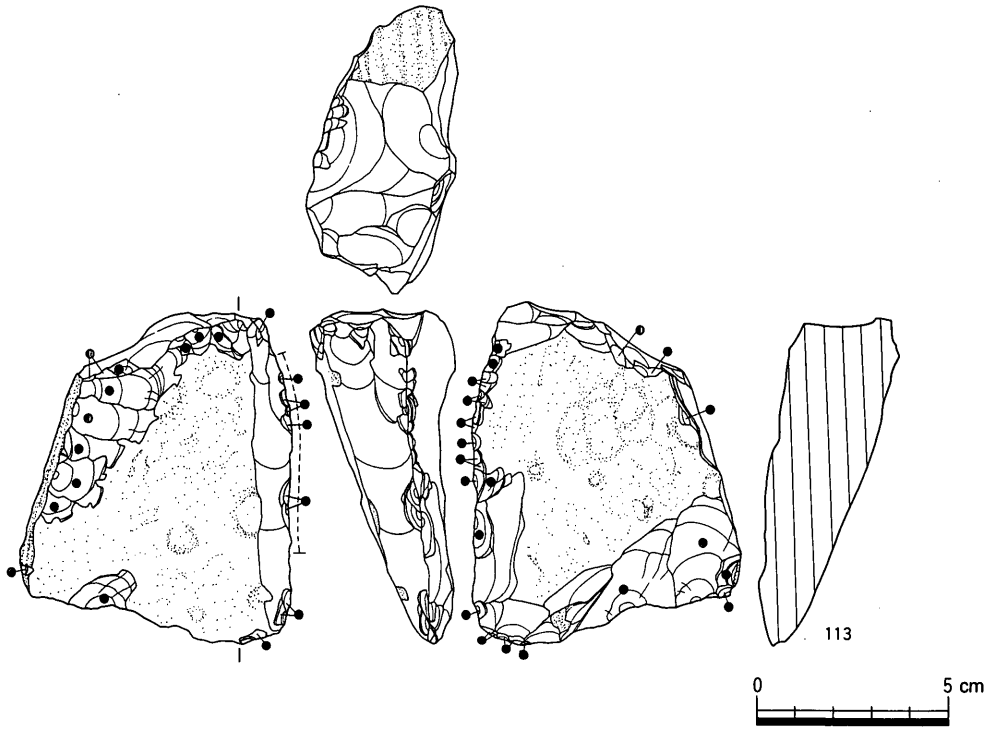
第16図　石器実測図⑨（1/2）



第17図　石器実測図⑩（1/2）



第18図　石器実測図⑪（1/2）



第19図　石器実測図⑫（1/2）

面が山形をなしている。

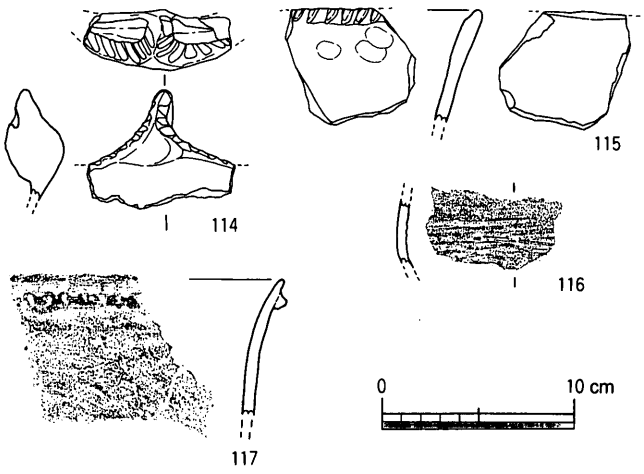
73～85は石核とした。73～76は横長剥片石核である。77～81は多方向剥離の石核である。82は良質サヌカイトである。85は細石刃石核の作業面再生剥片と考えられる。86は使用による小剥離痕のある石器である。87～89は敲打痕のある石器である。

90～113は３調査区以外から出土した石器である。90～96はスクレイパーである。96は縦長剥片石核を素材にしている。97と98は楔形石器とした。99は二次加工ある石器である。100はナイフ形石器製作時のブランティングチップである。101と102は翼状剥片である。102はローリングを受けている。103～108は横長剥片である。108は山形になった礫面を打面としている。109～111は縦長剥片である。いずれも背面に先行剥片剥離痕を持つ。110はややローリングを受けている。112と113は縦長剥片石核である。

2　縄文時代（第20図）

遺構は検出されていない。後・晩期の土器が出土しているのみである。３②及び１②調査区の川跡埋土から出土している。114と115は縄文時代後期の土器である。114は後期前

半の松ノ木式，115は類例を知らないが後期中葉の永井Ⅰ式頃のものと考えられる。116と117は縄文時代晩期の凸帯文土器である。



第20図　縄文土器実測図（1/4）

3　弥生時代前期

遺構はなく遺物が出土しているのみである。

4　弥生時代中期

溝跡及び川跡が検出されている。2④⑤調査区の土坑には弥生時代中期に遡る可能性をもつものがあるが，これについては弥生時代終末期の部分でまとめて報告する。

溝跡

3①(2)ＳＤ０１（第21～28図）

B26・B27区画に位置する。埋土下層からコンテナ約2箱の弥生時代中期土器が出土している。上層からは弥生時代終末期の土器が出土している。

土器，土製紡錘車及び多数のサヌカイト剥片を含む石器が出土している。サヌカイト剥片には風化の進んだものがあり，それについては前に報告した。埋土は砂層である。土器は118～120がⅢ期前半頃のものであろう。122は底部に2孔1対の穿孔がある鉢である。岡山県南方遺跡で，Ⅱ期後半の例が知られている(1)。121は，Ⅰ期に遡るものであろう。第22～28図は，石器である。127～130は楔形石器とした。131は石匙である。風化が進んでおり，縄文時代の遺物の可能性がある。134は石庖丁としたが，明瞭な抉り及び二次加工が見られず製品ではないかもしれない。139～159はスクレイパーとした。160～168は石斧とした。169は石核とした。170及び171は調整痕ある剥片である。172は，二次加工ある剥片である。173は敲打痕ある石器である。背面中央部は摩滅している。174は太型蛤刃石斧である。溝状の抉りが見られる。175は砥石としたが，顕著な摩滅痕は見られない。176は全体が摩滅している不明石器である。

(1)正岡睦夫「備前地域」『弥生土器の様式と編年－山陽・山陰編－』木耳社1992

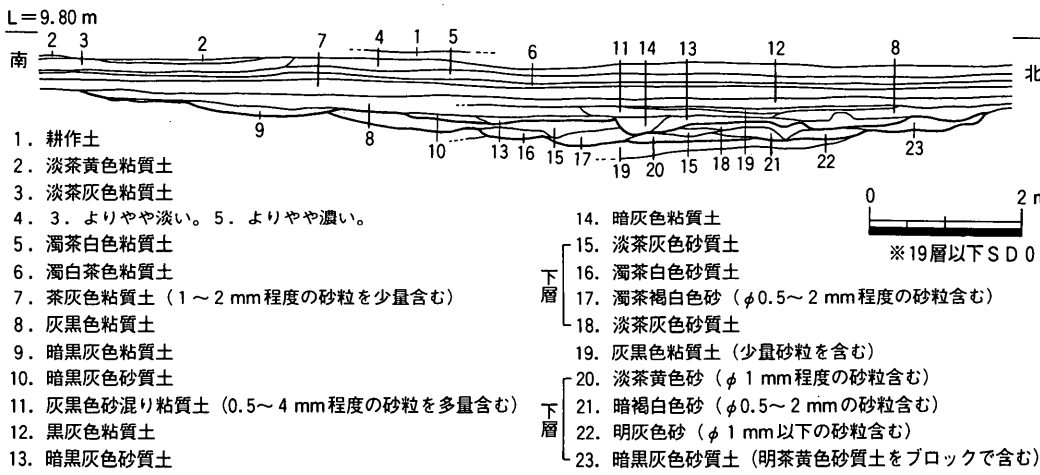
不明遺構

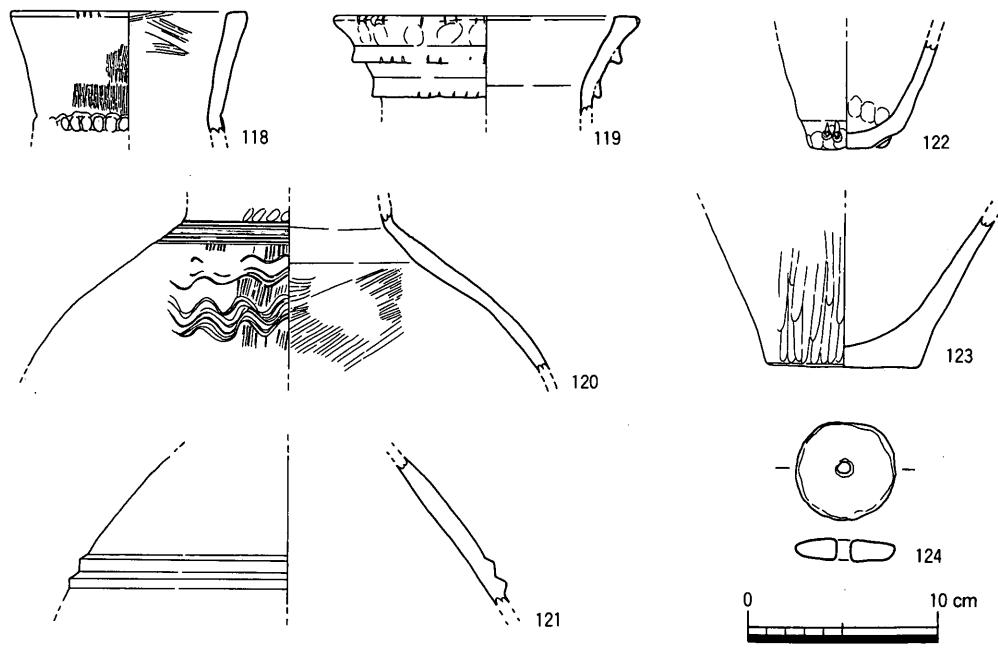
3②ＳＸ（第29図）

C27区画に位置する。平面図のみしか記録がないので，詳細は不明であるが，弥生時代Ⅲ期の土器が出土している。出土遺物量は約２袋である。

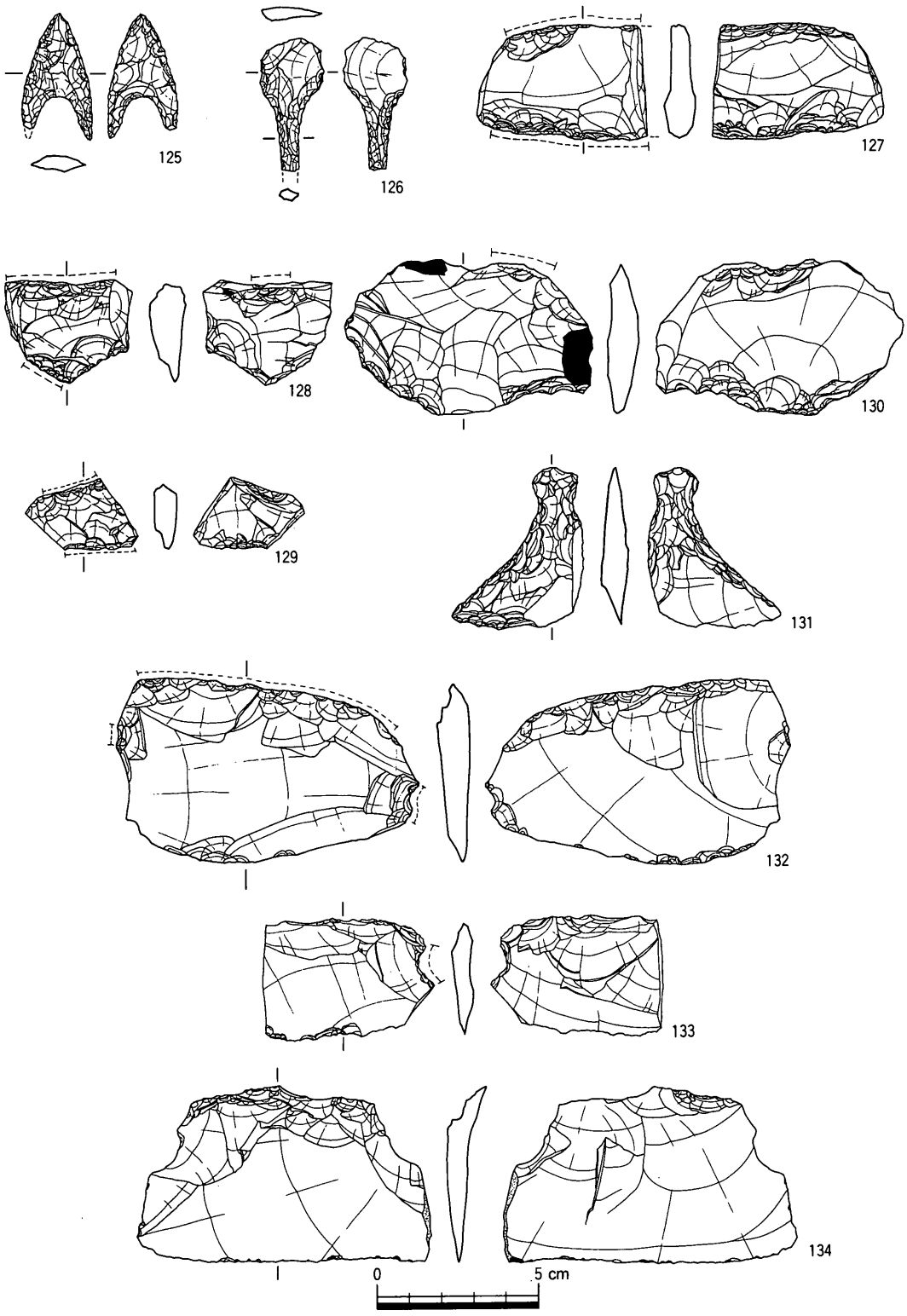
川跡（第38～58図）

１・２調査区において弥生時代終末期の土器が出土する川跡（ＳＲ０１）の黒色粘質土の下層は流水による砂層の堆積（ＳＲ０２）がみられる。この砂層中から弥生時代中期の

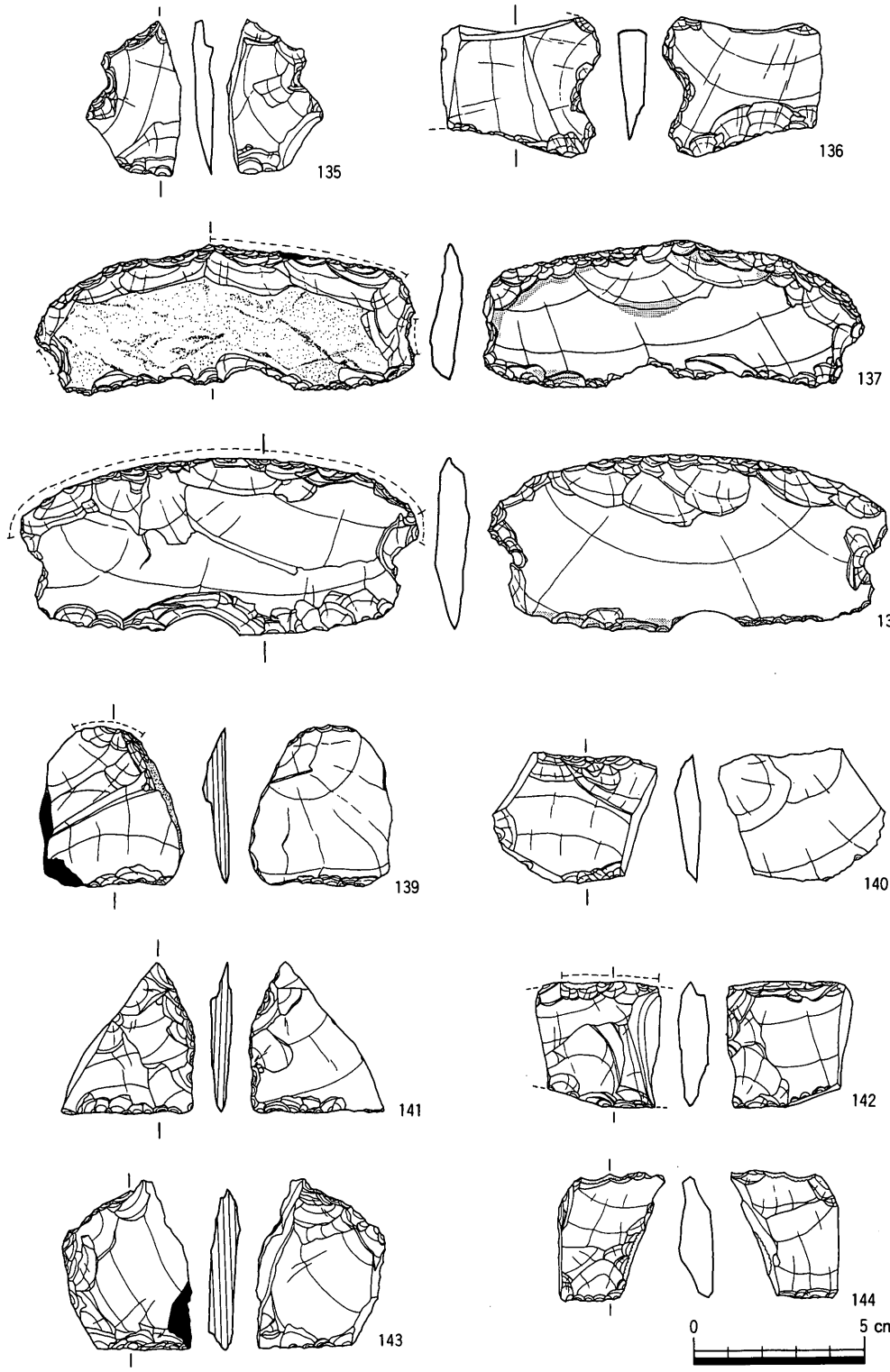




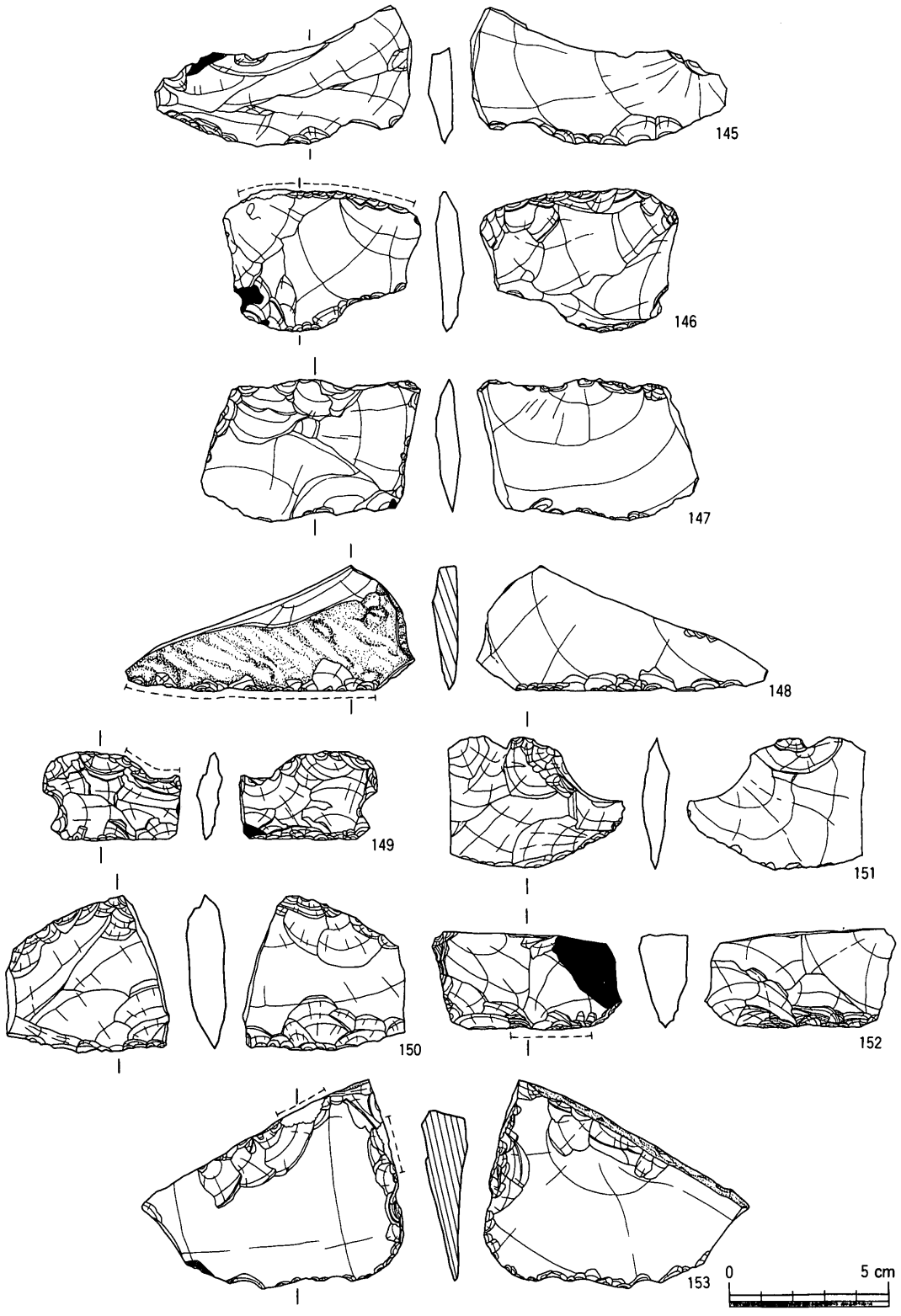
第21図　3①(2)ＳＤ０１断面図（1/100）及び出土土器（1/4）



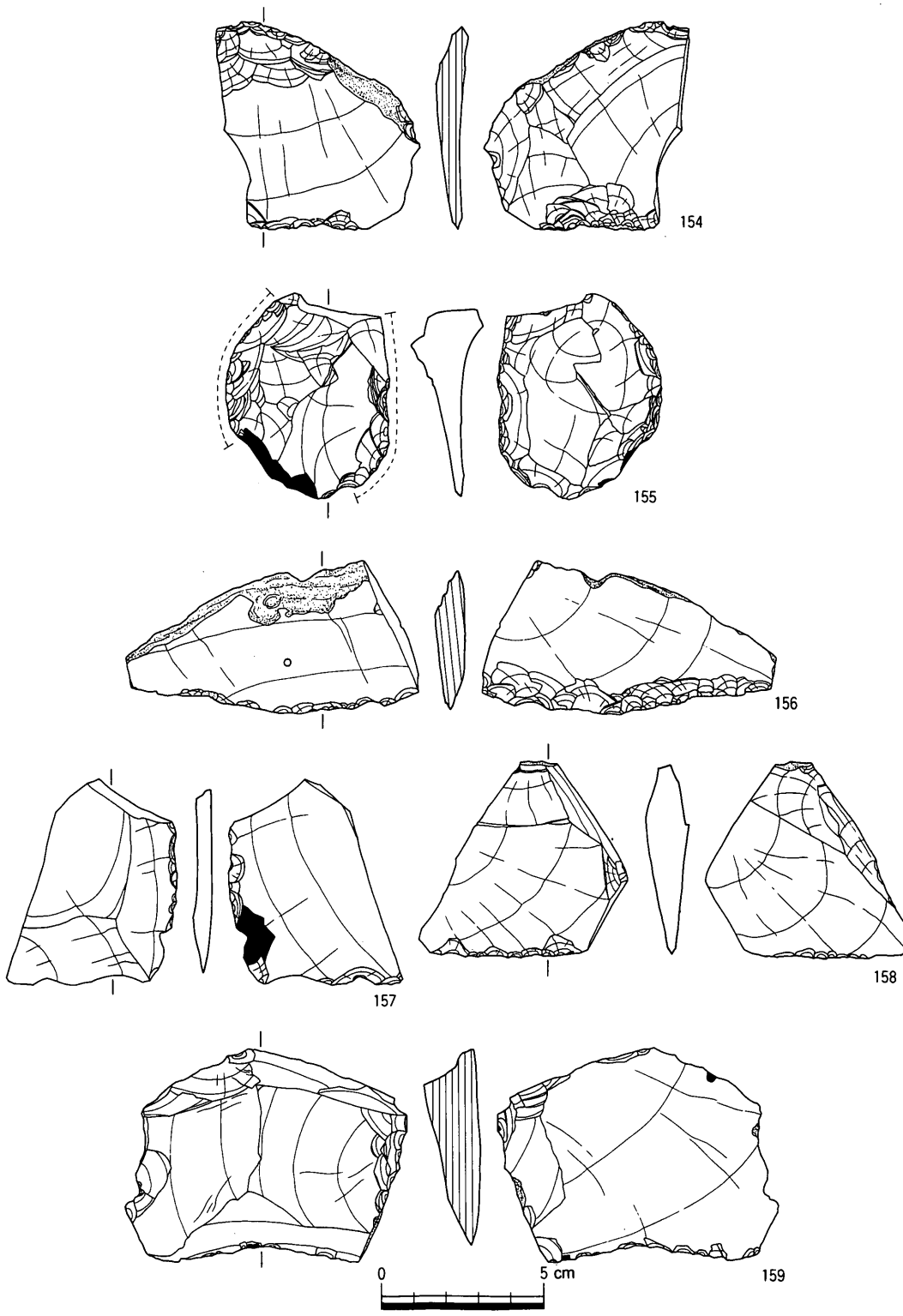
第22図　3①(2)ＳＤ０１出土石器①（1/2）



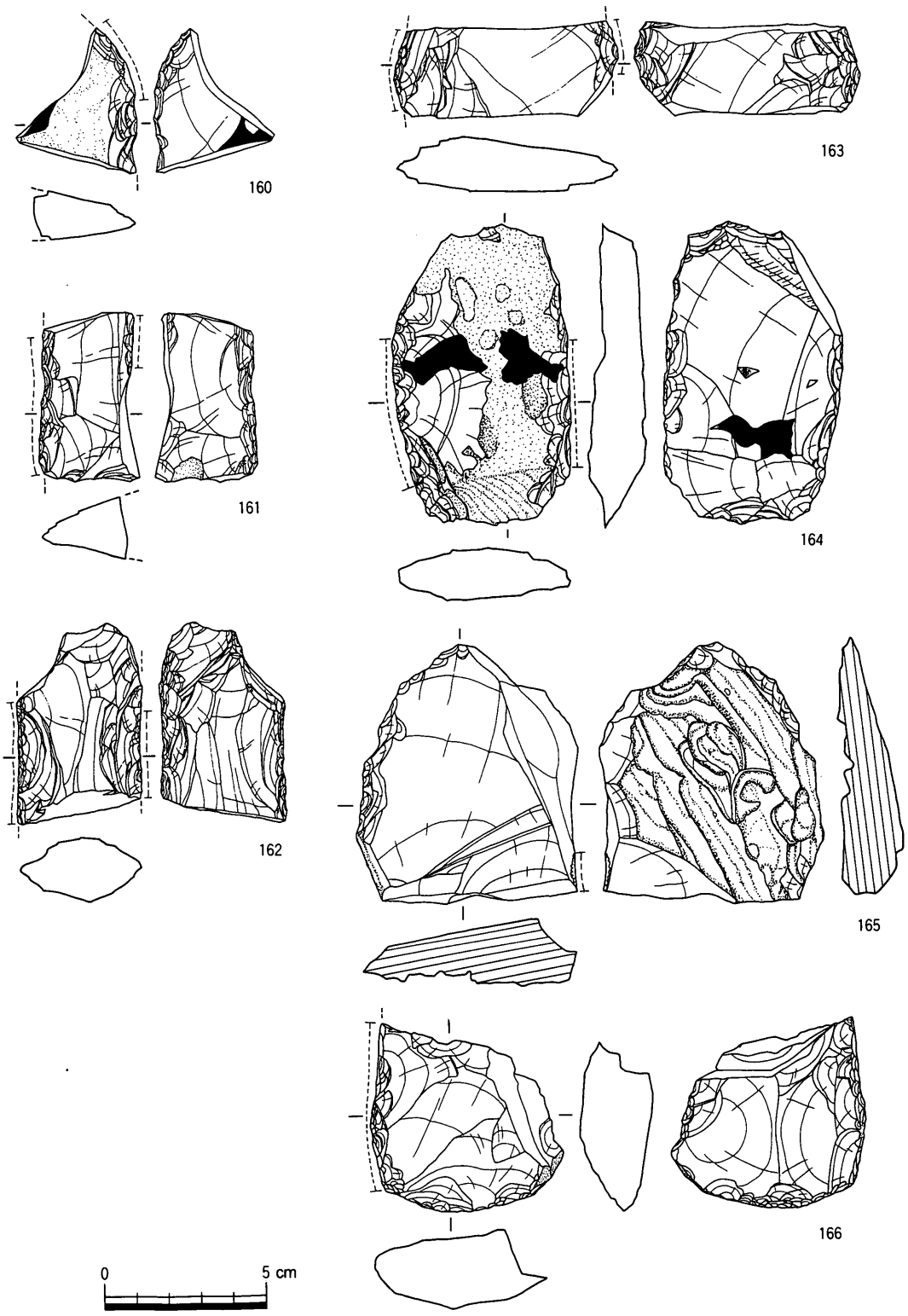
第23図　3①(2) S D 0 1 出土石器② (1/2)



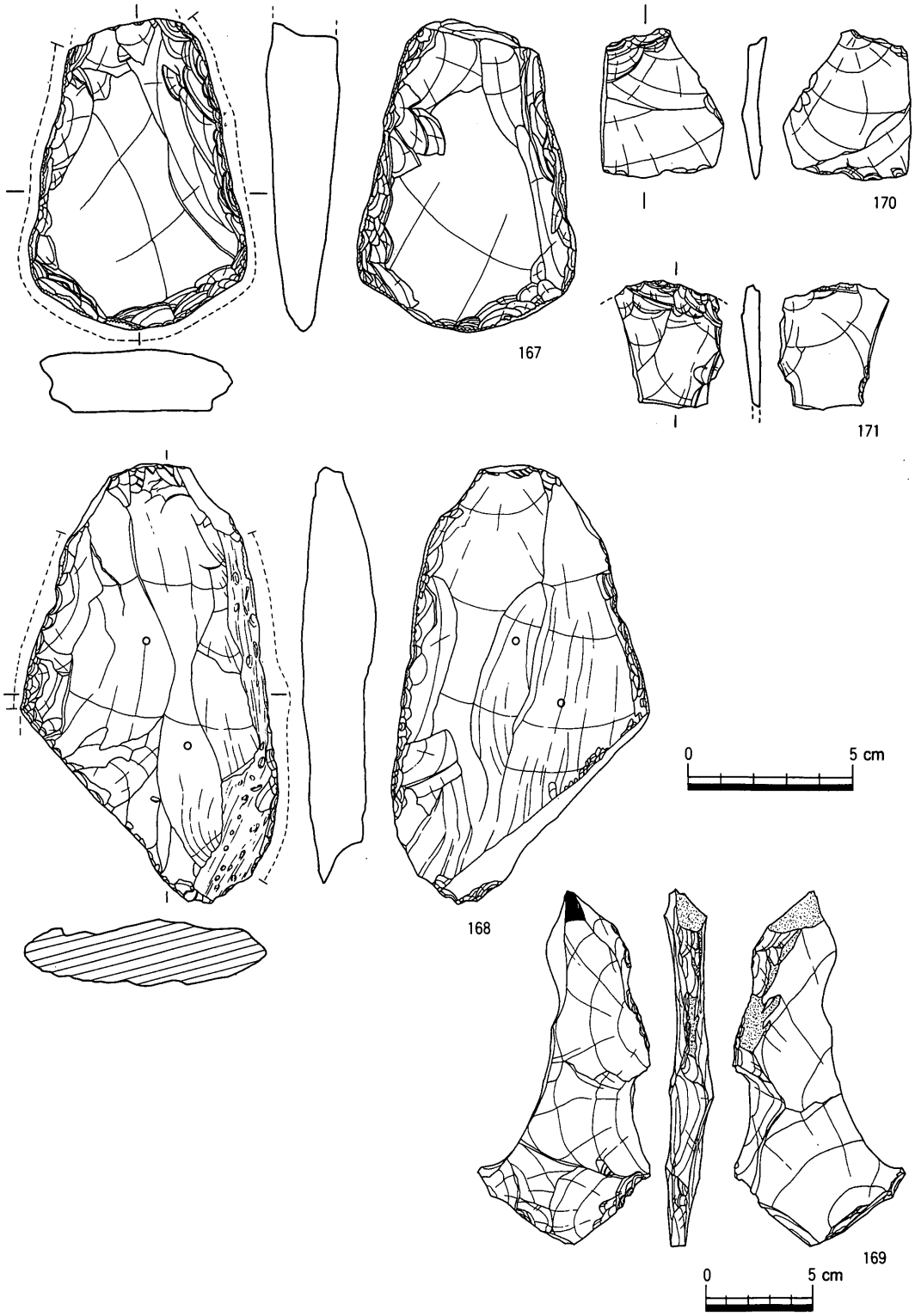
第24図　3①(2) S D 0 1 出土石器③ (1/2)



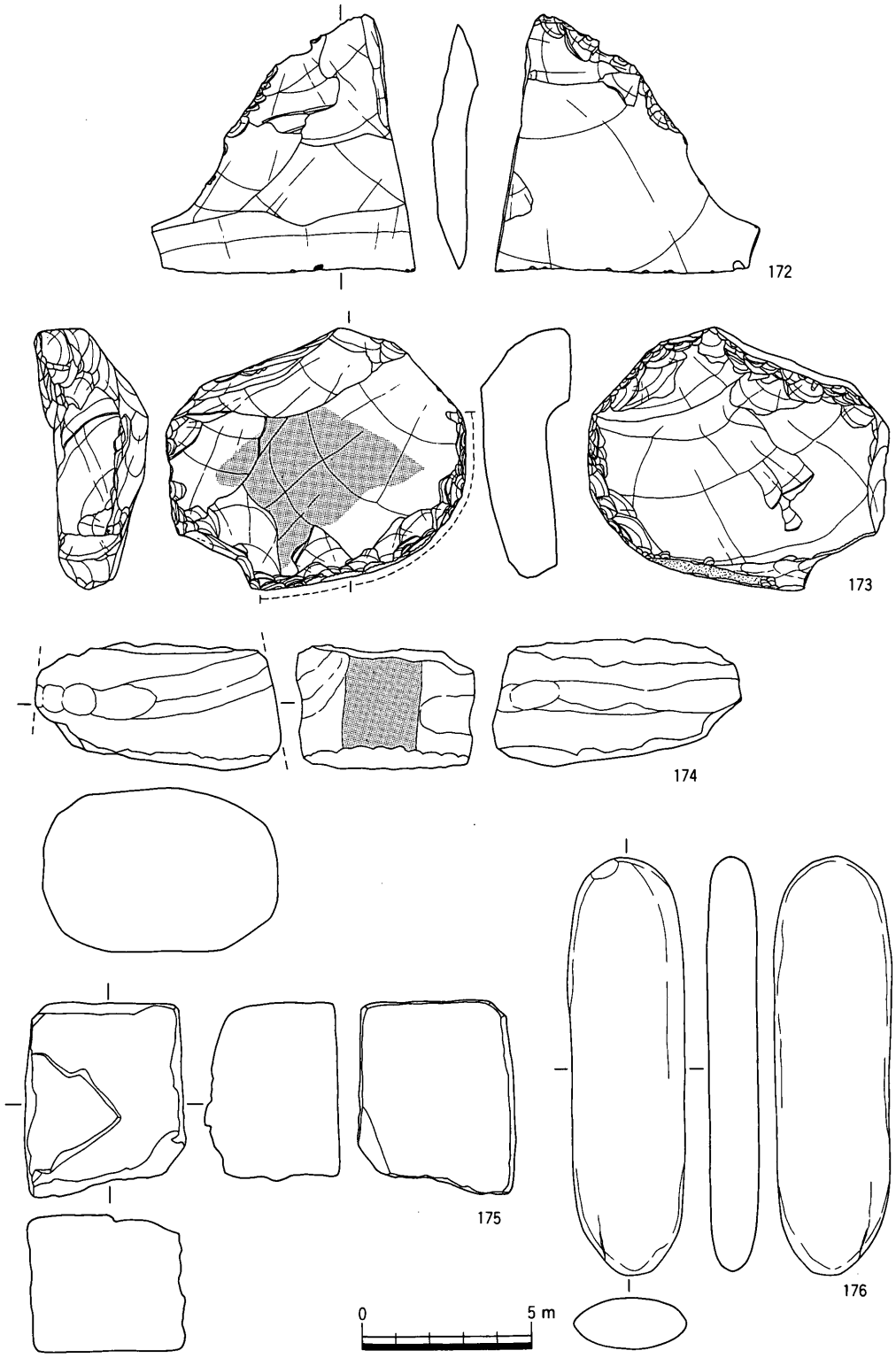
第25図　3①(2) S D 0 1 出土石器④ (1/2)



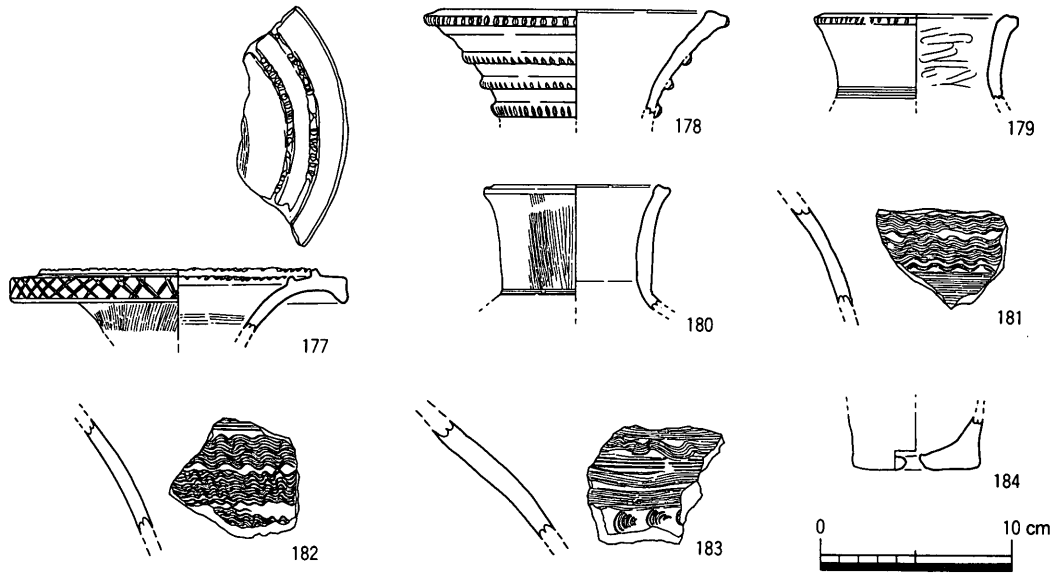
第26図　3①(2)ＳＤ０１出土石器⑤（1/2）



第27図　3①(2)ＳＤ０１出土石器⑥（1/2,1/3）

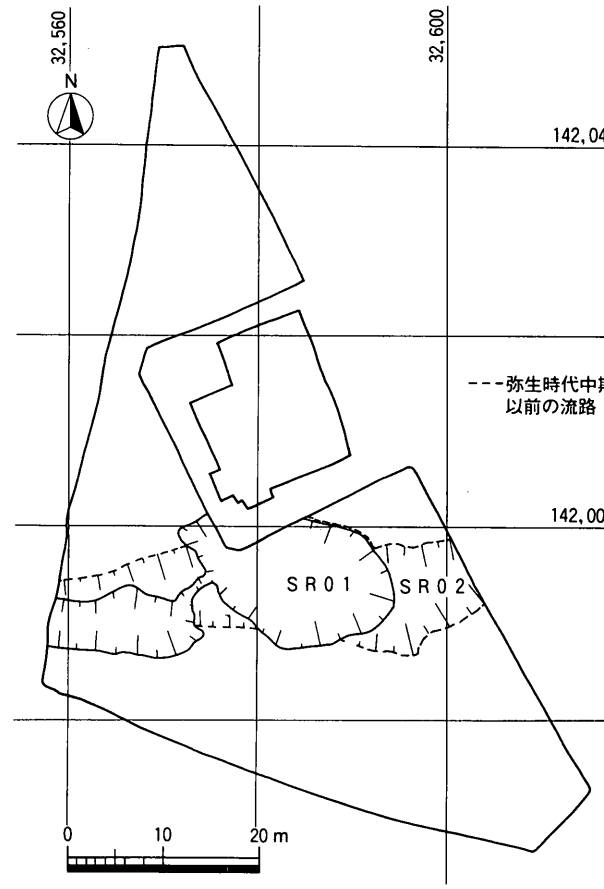


第28図　3①(2)ＳＤ０１出土石器⑦（1/2）



第29図　3②ＳＸ出土土器（1/4）

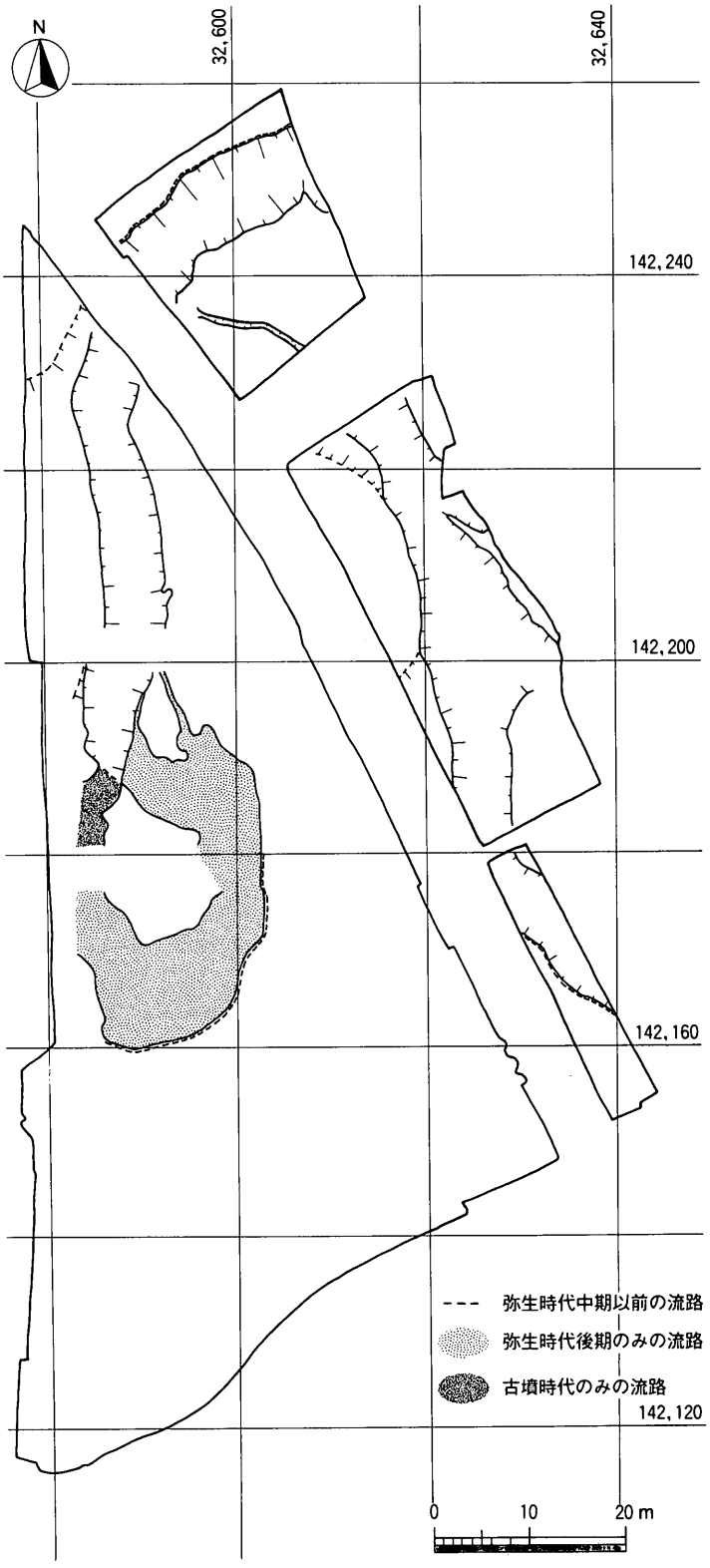
土器が出土している。中でも１①調査区からはまとまって同一層からコンテナ２箱の土器が出土している。また１②調査区川跡の底部粗砂層からも，弥生時代終末期の土器が若干混じるものの，少量の弥生時代中期の土器が出土している。２①調査区においても，弥生時代中期の流路（ＳＲ０２）及び弥生時代中期の土器を出土する粗砂層があり，これは１①調査区の弥生時代中期の粗砂層（ＳＲ０２）と同一層であろう。ここからは約３箱程度の土器が出土している。なお弥生時代中期以前の川跡（ＳＲ０２）の肩部が確認されたのは，調査時の下層確認が十分でなかったことから，調査区の一部分（第31図）にすぎないが，おおむね



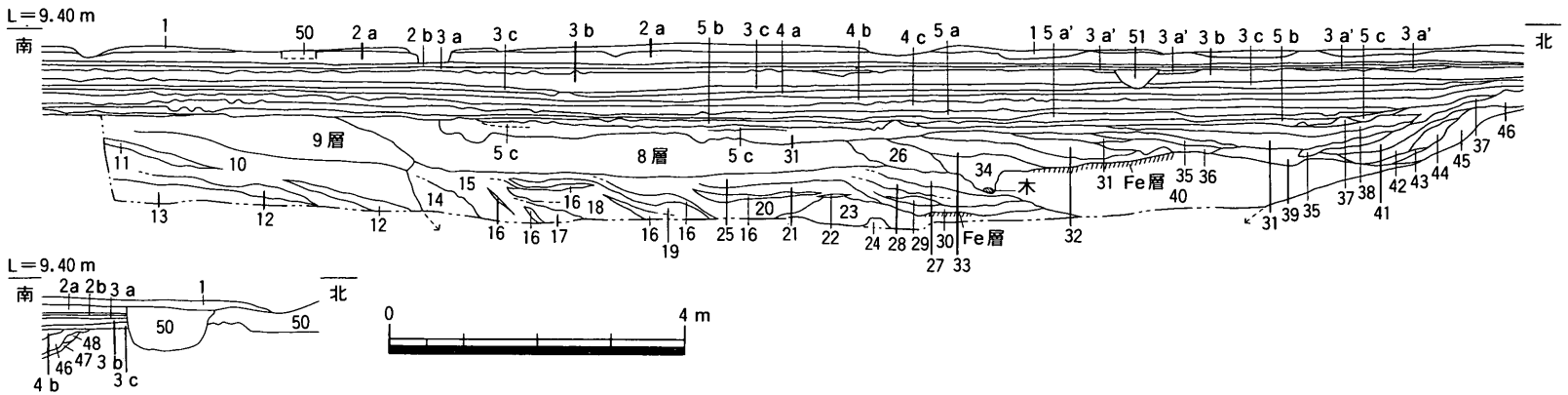
第30図　3調査区川跡（1/800）

弥生時代終末期の低地部分（ＳＲ０１）と弥生時代中期の流路（ＳＲ０２）はほぼ一致するものと考えられる。３調査区においても弥生時代終末期の低地部の黒色粘質土の下層には流水による砂層の堆積が見られる。砂層中から弥生時代中期の土器が出土することから，弥生時代中期には流水を伴う流路が存在していたといえる。流路の方向は東西方向である。現在の地形から考えれば東から西への流水方向が考えられる。コンテナ約１箱の土器が出土している。

第41～43図は，１①ＳＲ０２から出土した弥生時代中期の土器である。この土器群は弥生時代後期の土器が出土する黒色粘質土層の下の砂層（９層，ＳＲ０２）中から出土したものである。出土位置は正確には把握できないが，出土した土器は，凹線文及び内面ヘラケズリの見られないおおむね弥生時代Ⅲ期前半の時期と考えることができる。第44～47図は石器である。255～259は石庖丁である。260～

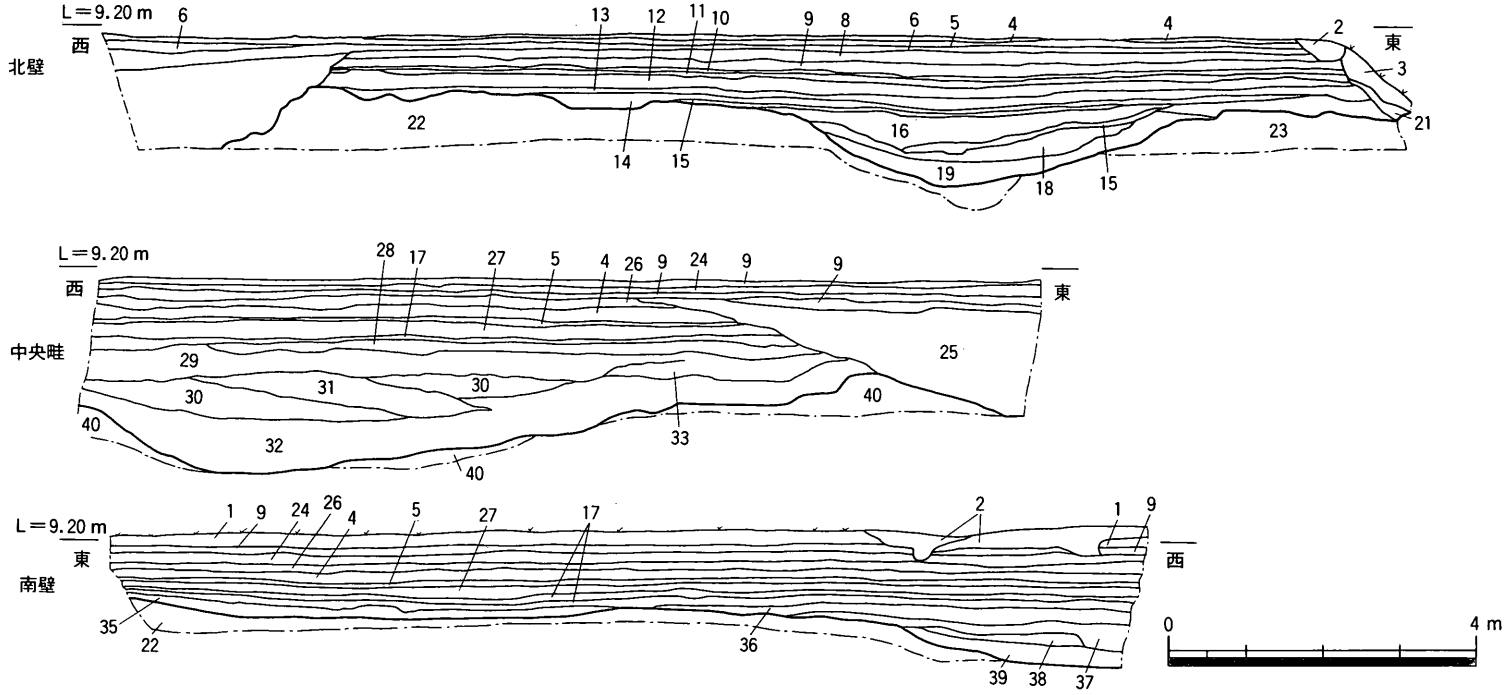


第31図　１・２調査区川跡（1/800）



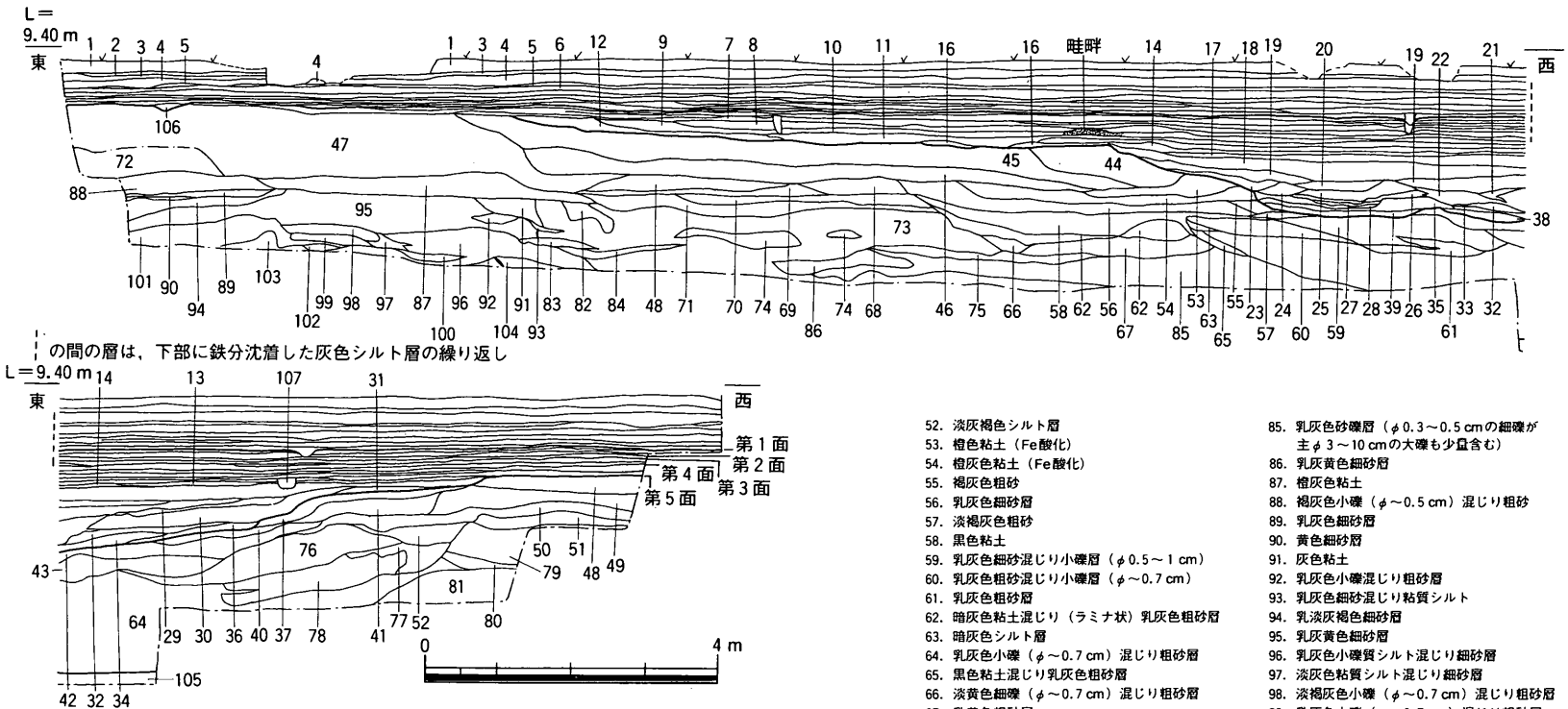
第32図　1①調査区西壁土層断面図（1/100）

1　．耕作土
2a．明黄白色土
2b．橙色土
3a．紫褐色粘質土（Mnが密に沈着する）
3a'．灰褐色粘質土
3b．淡灰褐色粘質土
3c．灰褐色粘質土
4a．橙灰色砂質土（Feが密に沈着する）
4b．灰褐色砂質土（Mnが密に沈着する）
4c．灰黄色砂質シルト
5a．暗灰褐色砂質シルト（Mnがうすく沈着する）
5a'．5aと土色土質は同じであるが，5a'の上位にうすいFeの沈着がみられる
5b．灰褐色砂質シルト（褐灰色シルトや，灰白色砂が，ブロック状に混じる）
5c．淡灰黄色粘質シルト
8層．淡灰黄色粘質シルト（Mn沈着が特に顕著）
9層．茶灰色粗砂（中層ブロック混，弥生土器を最も多く包含する）
10　．暗灰色粗砂（弥生土器を最も多く包含する）
11．灰黄色細砂
12．灰白色細砂
13．灰色～暗灰褐色粗砂
14．暗灰色粗砂混細砂
15．明黄灰色細砂（中砂層をラミナ状に含む）
16．灰色シルト
17．明黄白色粗砂
18．灰色粗砂・中砂の互層
19．灰色粗砂混中砂
20．淡灰黄色細礫混中砂
21．淡灰色中砂
22．暗灰色シルト
23．灰色粗砂
24．灰青色粘土
25．橙灰色砂質シルト（Fe多い）
26．明灰黄色砂質シルト
27．淡灰色粗砂～中砂
28．淡灰色中砂～細砂
29．灰白色砂
30．灰色シルト（砂層がラミナ状に堆積）
31．淡茶褐色粘土
6・7層
32．暗黒灰紫色粘土
33．灰色粘土
34．淡灰黄色粘質シルト
35．赤茶褐色砂混粘土
36．淡黒色粘土
37．淡灰褐色粘質シルト（基盤層土ブロック）
38．暗茶褐色粘土
6・7層
39．灰黒色礫混粗砂
40．淡灰色粗砂（9層）
6・7層
41．黒褐色粘土
42．淡黒褐色粘土
43．灰黄色～灰緑色粘土
44．淡灰黄色粘土
45．淡灰褐色粘土
46．黄色ブロックを含む黒色粘土
47．暗灰黒色粘土
48．黄色・褐色土ブロック土
49．暗褐色粘土（堅くしまる，ベース層）
50．撹乱
51．淡灰黄砂質シルト



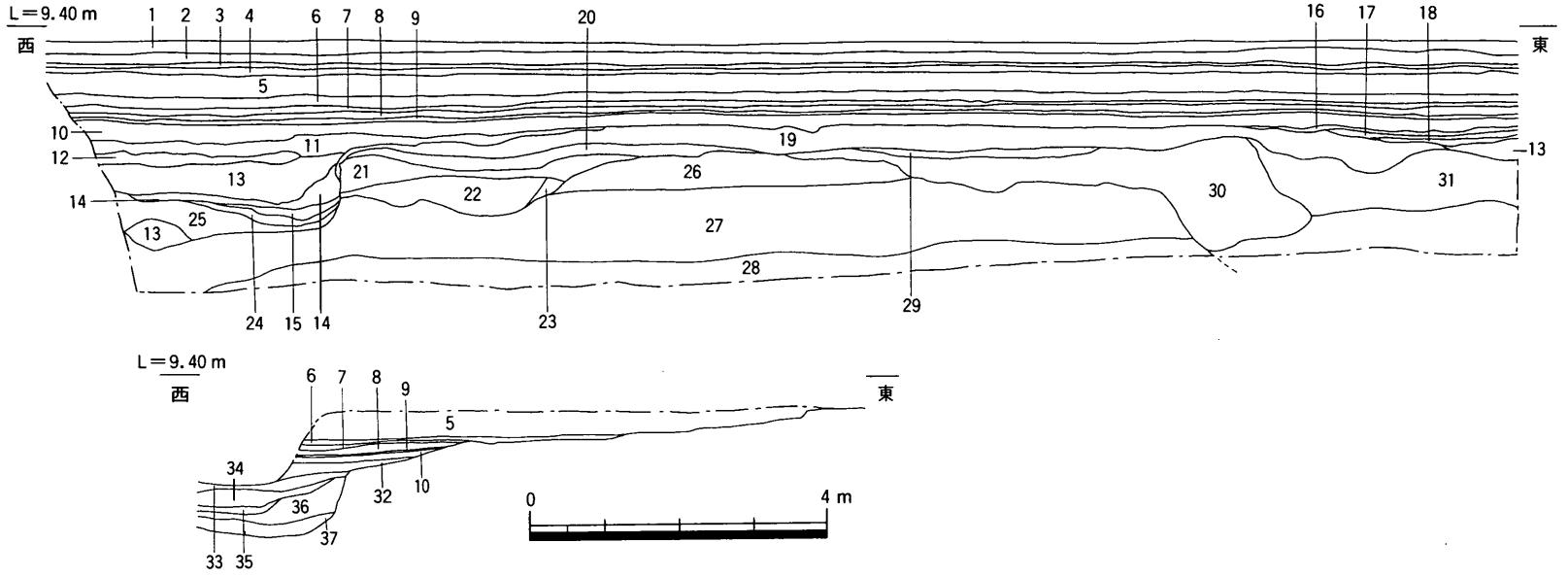
1．耕作土
2．攪乱
3．表土
4．灰白色シルト
5．灰白色シルト，Fe
6．白灰色シルト，白色細礫，Mn含む。下部Fe沈着
7．白灰色シルトブロック，黄褐色シルトブロック含む
8．白灰色細砂
9．白灰色シルト
10．白灰色シルト，Fe
11．白灰色細砂混シルト
12．淡黄灰色細砂
13．淡茶灰色シルト
14．淡黄灰色細砂
15．淡茶灰色シルト
16．灰茶色及び黄褐色シルトブロック層
17．茶色シルト
18．灰色粘土と白灰色粗砂～細礫のラミナ
19．灰黒色シルト
20．灰茶色シルト
21．淡茶灰色シルト
22．淡黄灰色シルト層（基盤層土，Mn多く含む）
23．基盤層土，白黄色粗砂層
24．黄褐色シルト（Fe）
25．茶黒色シルトブロック，粗砂混，白灰色シルト
26．灰黄色細砂
27．淡茶灰色細砂～シルト
28．茶色シルトブロック混淡黄灰色砂層
29．茶色淡茶灰色シルト，ブロック層
30．淡青灰色シルトブロックを含む灰色粘土層
31．淡青灰色シルトブロック層
32．灰色粘土層
33．黒茶色シルト層
34．淡青灰色シルト，白色細砂ラミナ状堆積
35．黒色シルト
36．灰茶色シルト，白黄色シルトブロック含む
37．茶黒色シルトブロック状
灰色，茶色，灰黒色シルトブロック混合層
38．茶灰色シルト
39．黒灰色シルト，西へ向かうにつれラミナ状をなす
40．砂礫層

第33図　1②調査区北壁・中央畦・南壁土層断面図（1/100）



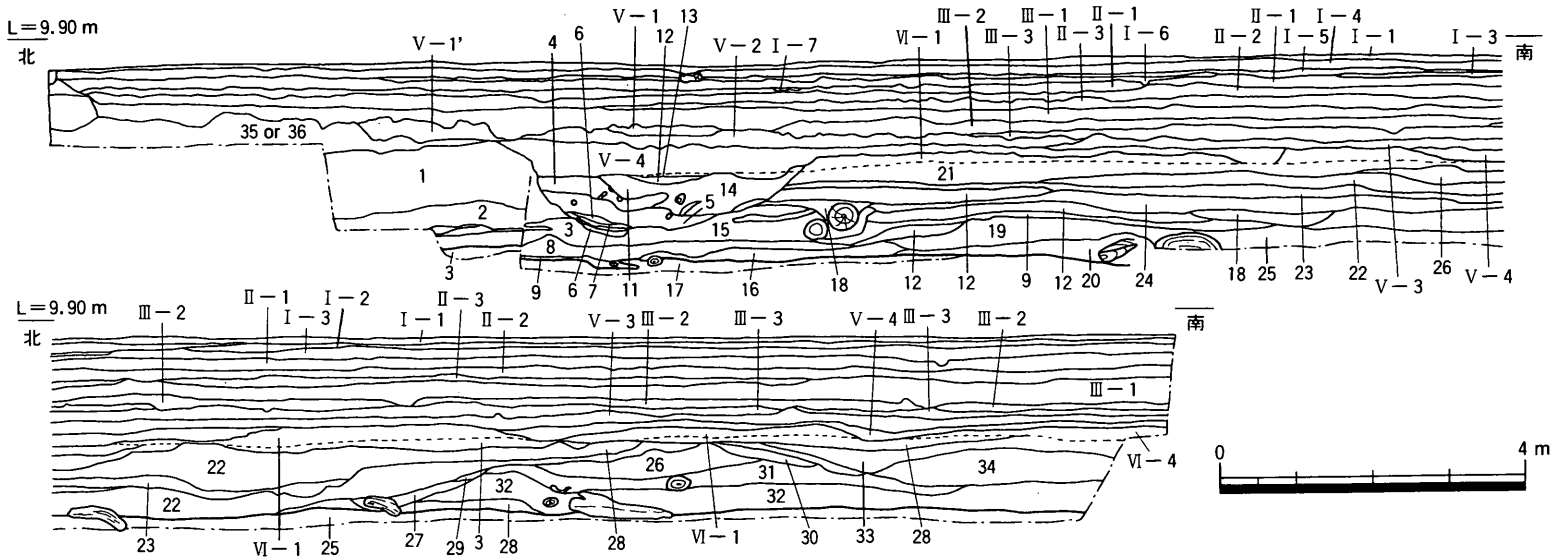
1．耕作土
2．乳灰色細礫混じり（φ～0.5 cm）粘質シルト
3．赤橙色細礫混じり（φ～0.5 cm）粘質シルト
4．灰色細礫混じり（φ～0.5 cm）粘質シルト
5．灰橙色細砂
6．灰橙色粘質シルト
7．灰色粘質シルト
8．淡橙灰色細砂（水田耕土洪水砂）
9．灰褐色粘質シルト
10．橙色粘質シルト
11．灰橙色粘質シルト
12．橙灰色粘質シルト
13．橙色粘質シルト
14．暗灰褐色粘土
15．黒褐色粘土
16．暗灰色粘土（Mn斑，Fe含む）
17．濁灰褐色細砂混じり粘質シルト
（橙色，黒褐色ブロックを多量に含む）
18．濁黒褐色細砂混じり粘質シルト
（橙色，灰色ブロックを多量に含む）
17層よりも粘性強い。
19．黒褐色粘土
20．黒褐色粗砂混じり粘土
21．暗褐色小礫（φ～0.5 cm）混じり粘土
22．暗褐色小礫（φ～0.5 cm）混じり粗砂
23．淡黄灰色細砂
24．暗褐色小礫（φ～0.5 cm）混じり粘土
25．淡灰色小礫（φ～0.5 cm）混じり粗砂
26．褐灰色細砂混じり黒色粘土
27．褐灰色細砂
28．暗灰色粘土混じり細砂
29．黒茶色小礫（φ～0.5 cm）混じり粘土
30．黒色粘土
31．暗灰色粘土（Mn斑，Fe斑多量含む）
32．暗灰色粘土
33．暗灰色粘土
34．灰色細砂混じり粘土
35．淡褐灰色小礫（φ～0.5 cm）混じり粗砂層
36．灰色粘土
37．濁淡灰褐色粘質シルト混じり細砂
38．黒色粘土
39．黒色粘土混じり（ラミナ状）細礫層
40．灰色粘土混じり淡褐灰色細砂
41．淡橙色小礫混じり粗砂
42．淡灰色小礫（φ～0.5 cm）混じり粗砂層
43．淡黄灰色小礫（φ～0.7 cm）混じり粗砂層
44．濁淡灰褐色シルト（Mn斑多量に含む）
45．濁淡灰褐色粘質シルト（Mn斑多量に含む）
46．濁淡灰褐色粘土（Mn斑多量に含む）
47．濁淡黄灰色シルト
48．濁黄色細砂（Mn斑多量に含む）
49．濁淡灰褐色細砂（Mn斑多量に含む）
50．淡灰黄色シルト質細砂
51．淡灰色小礫（φ～0.5 cm）混じり粗砂
52．淡灰褐色シルト層
53．橙色粘土（Fe酸化）
54．橙灰色粘土（Fe酸化）
55．褐灰色粗砂
56．乳灰色細砂層
57．淡褐灰色粗砂
58．黒色粘土
59．乳灰色細砂混じり小礫層（φ0.5～1 cm）
60．乳灰色粗砂混じり小礫層（φ～0.7 cm）
61．乳灰色粗砂層
62．暗灰色粘土混じり（ラミナ状）乳灰色粗砂層
63．暗灰色シルト層
64．乳灰色小礫（φ～0.7 cm）混じり粗砂層
65．黒色粘土混じり乳灰色粗砂層
66．淡黄色細礫（φ～0.7 cm）混じり粗砂層
67．乳黄色粗砂層
68．橙灰色シルト層
69．淡灰色粗砂層
70．黄褐色細砂層
71．乳灰色細砂層（暗灰色粘土をラミナ状に含む）
72．濁淡褐灰色粘質シルト
73．淡褐灰色砂礫層（φ～1 cm）
74．暗灰青色粘土
75．乳灰黄色細砂層
76．淡褐灰色小礫層（φ0.3～0.5 cm，1 cm）
77．暗灰色粘質シルト
78．乳灰色粗砂（φ0.1～0.2 cm）混じり
小礫層（φ～1.0 cm）
79．褐色～淡灰色小礫（φ～0.5 cm）混じり粗砂
51層より礫の量多い
80．暗灰色粘土（ラミナ）混じり淡灰黄色細砂
81．淡灰褐色小礫層
82．灰色粘土
83．暗灰色粘質シルト
84．乳灰色小礫（φ0.5 cm）混じり粗砂層
85．乳灰色砂礫層（φ0.3～0.5 cmの細礫が
主φ3～10 cmの大礫も少量含む）
86．乳灰黄色細砂層
87．橙灰色粘土
88．褐灰色小礫（φ～0.5 cm）混じり粗砂
89．乳灰色細砂層
90．黄色細砂層
91．灰色粘土
92．乳灰色小礫混じり粗砂層
93．乳灰色細砂混じり粘質シルト
94．乳淡灰褐色細砂層
95．乳灰黄色細砂層
96．乳灰色小礫質シルト混じり細砂層
97．淡灰色粘質シルト混じり細砂層
98．淡褐灰色小礫（φ～0.7 cm）混じり粗砂層
99．乳灰色小礫（φ～0.7 cm）混じり粗砂層
100．淡黄灰色粗砂層
101．黒色粘土混じり（ラミナ状）乳灰色細砂層
102．黒色粘土（自然木含む）
103．乳灰黄色粗砂，砂礫層（φ～0.5 cm）
104．乳灰色細砂層
105．黒色粘土（基盤層土）
106．灰黄色粘質シルト
107．淡黄灰色シルト

第34図　2①調査区南壁土層断面図（1/100）



1．白灰色シルト　下部にMn沈着
2．白灰色シルト
3．白灰色シルト　Fe
4．灰白色シルト
5．Fe沈着層帯　6層ほどのFe層（灰白色シルト）
6．白灰色シルト
7．白灰色シルト　Fe
8．灰色シルト
9．灰色シルト　Fe
10．灰色シルト
11．茶色シルト　白色粗砂含む
12．白灰色シルト
13．灰黒色シルト
14．細砂混灰色シルト　木質遺体含む
15．青灰色シルトと細砂のラミナ
16．茶色シルト　白灰色シルトと斑点状
17．白灰色シルト
18．茶色シルト　白灰色シルトと斑点状
19．灰白色シルト　Mn
20．黄褐色細砂
21．白灰色シルト～細砂
22．灰黒色シルトと灰白色中～細砂のラミナ
23．灰白色細砂
24．灰色粗砂
25．淡灰黄色粗砂～細砂
26．淡茶色～灰白色中～粗砂
27．黄褐色～白灰色粗砂～細礫
28．淡青灰色細砂
29．黄褐色シルト
30．灰色シルト，灰白色粗砂，淡茶色粗砂のラミナ
31．灰色シルトと灰白色粗砂のラミナ
32．淡灰色シルト　白色粗砂少ない
33．淡茶色シルト
34．茶色シルト
35．黒色粘土
36．灰黒色粘土層
37．黒灰色シルト　炭化物を含む

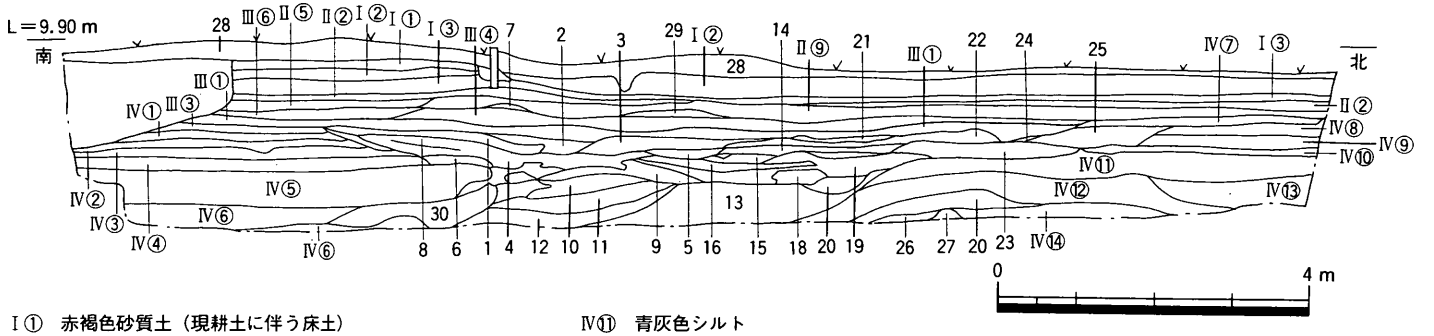
第35図　2②③調査区中央畦土層断面図（1/100）



第36図　3②調査区東壁土層断面図（1／100）

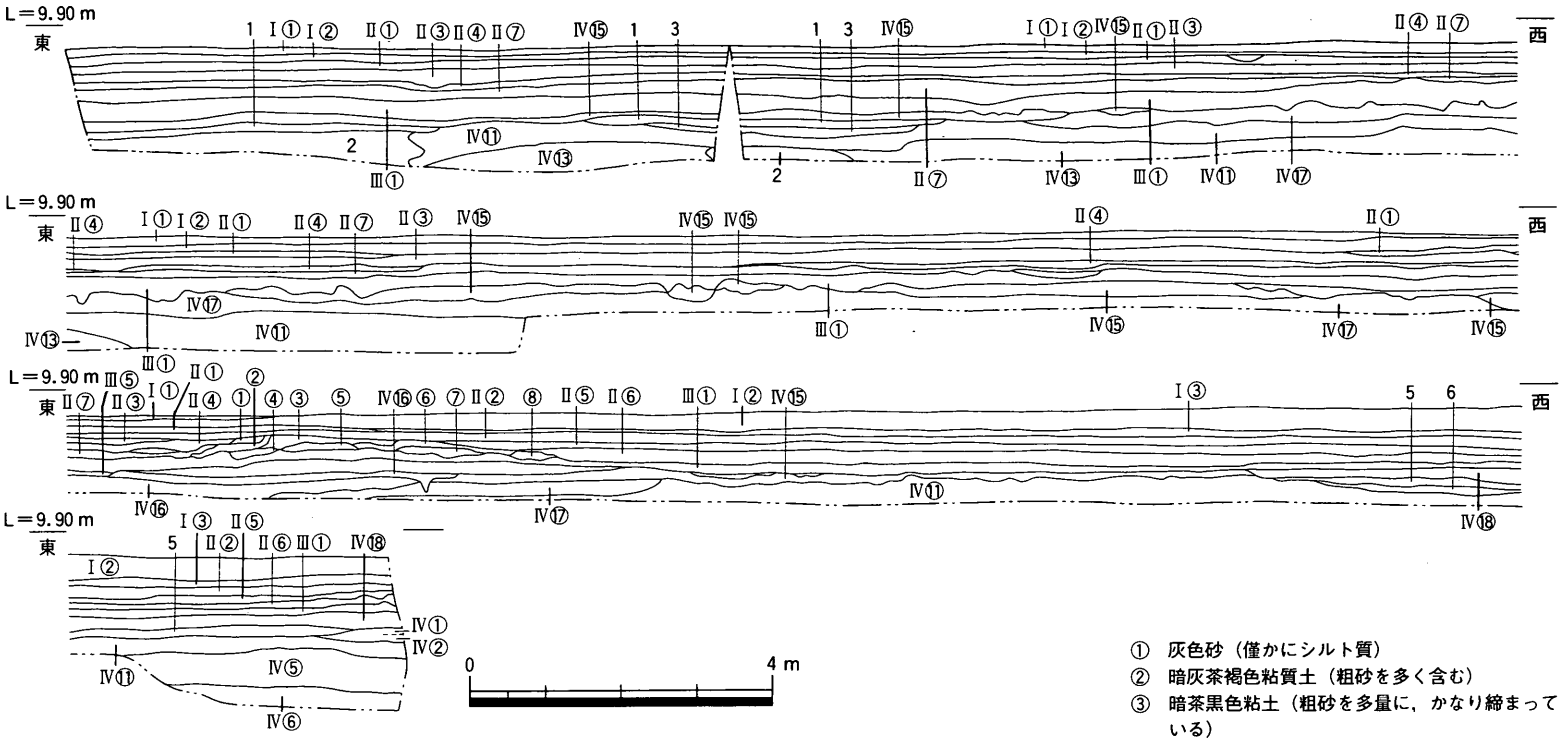
I－1　黄灰色砂質土（上部にFe・Mn溜まる）
I－2　黄灰色砂質土（1より黄色が強い）
I－3　黄灰色砂質土（2より黄色が強い）
I－4　（黄）灰色砂質土（やや灰色が強い）
I－5　黄灰色砂質土
I－6　赤茶灰色砂質土
II－1　褐灰色粘土（砂含，Fe，Mn含）
II－2　（暗）褐色粘土（上面にFe多く沈着，上層より褐色が強くやや暗い）
II－3　褐暗灰色粘土
II－4　褐灰色粘土（II－1に似ているが，それより粘く，灰色がかる）
III－1　暗褐灰色粘土
III－2　黒灰色粘土（細砂少し混）
III－3　暗灰色粘土
IV－1　黄灰色シルト（やや砂っぽい）
V－1　暗灰色粗砂（青味がかる。Fe所々含）
V－1'　暗灰色細砂（1より灰色がやや強い）
V－2（3と色調同じ，細砂が多い）
V－4　青灰色中砂混シルト
VI－1　褐色粗砂十青灰色粗砂（まだらに入る）

1．青灰色シルト
2．青灰色粗砂
3．暗青灰色砂
4．灰色シルト
5．淡黒色シルト（細砂・有機質のラミナ状堆積を含む）
6．淡青灰色細砂
7．淡黒色有機質土
8．暗青灰色粘土
9．灰色砂
10．淡黒褐色粘土（有機質を多量に含む）
11．灰白色砂
12．暗灰色砂
13．暗灰色シルト
14．灰褐色砂と淡黒色砂のラミナ状堆積
15．灰褐色砂と有機質の互層
16．青灰色砂
17．淡黒茶褐色粘土（有機質を多量に含む）
18．黒色有機土
19．暗灰砂と粗砂とのラミナ状堆積
20．淡青灰色砂
21．淡黒色砂
22．淡黒色粗砂十淡灰褐色砂とのラミナ状堆積
23．淡灰褐色細砂（有機質を多量に含む）
24．淡黄灰色粗砂
25．淡青灰色砂十黄褐色砂とのラミナ状堆積
26．淡灰黄色砂
27．淡灰色砂
28．淡黒色粗砂
29．淡灰茶色細砂
30．淡灰黄色細砂
31．灰褐色粗砂（砂と粗砂とのラミナ状堆積あり）
32．淡黒色粗砂十淡灰褐色砂とのラミナ状堆積（部分的に木材片を含む）
33．淡灰褐色砂（粗砂と砂とのラミナあり）
34．淡灰褐色砂（粗砂・砂・黒色粘土とのラミナ状堆積あり）
35．黄黒褐色粘土（いわゆる基盤層土）
36．暗黄灰色シルト（35に類似）
37．黒灰色粘土（細砂多量に含む）



第37図　3②調査区西壁土層断面図（1/100）

Ⅰ①　赤褐色砂質土（現耕土に伴う床土）
Ⅰ②　乳灰褐色砂質土（中・近世耕土層）
Ⅰ③　乳茶色砂質土
Ⅱ②　砂混り灰褐色粘土（多量の砂とMnの斑点を含む）
Ⅱ⑤　砂混り暗灰色粘質土（Mn・Feの斑点を含む）
Ⅱ⑥　砂混り暗灰褐色粘質土（Mn・Feの斑点を含む　⑤と類似）
Ⅱ⑨　淡茶褐色粘土
Ⅲ①　淡黒灰色粘土（水田耕土・粗砂を含む）
Ⅲ③　黒色粘土（粗砂を含む）
Ⅲ④　淡黒色粘土（上面マンガン）
Ⅳ①　粗砂混暗灰色シルト（粗砂を大量に含む）
Ⅳ②　粗砂混青灰色シルト（粗砂を大量に含む）
Ⅳ③　淡灰褐色砂
Ⅳ④　淡青灰色細砂（わずかにシルト質）
Ⅳ⑤　灰褐色砂（ラミナ状に堆積）
Ⅳ⑥　暗黒色粗砂（5 mm台の砂）
Ⅳ⑦　暗黄黒褐色粘土（Ⅳ⑧に類似，⑧に比べ濁っている）
Ⅳ⑧　黄黒褐色粘土（基盤層土）
Ⅳ⑨　暗黄灰色シルト（Ⅳ⑧に類似）
Ⅳ⑩　暗黄色シルト
Ⅳ⑪　青灰色シルト
Ⅳ⑫　淡青灰色細砂（Ⅳ⑪に類似）
Ⅳ⑬　暗青灰色シルト
Ⅳ⑭　青灰色粗砂
1．砂混り黒色粘土
2．淡黒色粘土（砂を含む）
3．淡黒色粘土（2．に類似，灰色粘土，淡黄色等の粘土ブロックを含む）
4．淡黒色粘土（2．に類似，灰色，青灰色粘土ブロックを多量に含む）
5．淡黄灰色砂と淡黒色シルトのラミナ状堆積
6．黒色粗砂
7．暗茶褐色粘土
8．灰色粘土ラミナ層
9．淡黄灰色粗砂
10．淡青灰色粗砂
11．淡青灰色砂
12．淡黒灰色粘土
13．淡黒灰色粘土
14．青灰色シルト
15．砂混り暗青灰色粘土
16．淡黒色砂
17．砂混り青灰色粘土
18．淡青灰色粘土
19．青灰褐色粘土
20．暗青灰色シルト
21．粗砂混り黒色粘土
22．淡黒色粘土
23．青灰褐色砂
24．淡灰褐色細砂
25．黄青灰色細砂
26．暗灰色砂
27．暗灰色シルト（有機質を含む）
28．現耕作土
29．灰茶色粘土（マンガン斑点を含む）
30．淡青灰色シルト（有機質を含む）

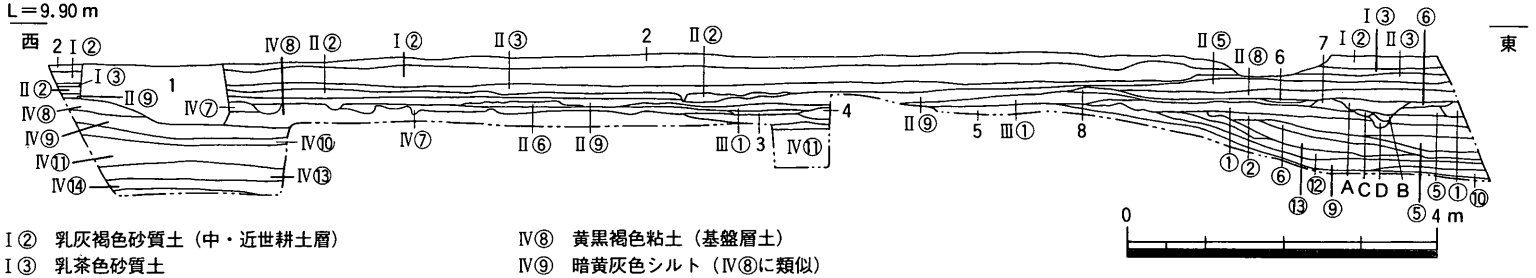


第38図　3②調査区南壁土層断面図（1/100）

Ⅰ① 赤褐色砂質土（現耕土に伴う床土）
Ⅰ② 乳灰褐色砂質土（中・近世耕土層）
Ⅰ③ 乳茶色砂質土
Ⅱ① 灰褐色粘質土（上面Mn沈着，Ⅰ②の床土層？）
Ⅱ② 砂混り灰褐色粘土（多量の砂と，Mnの斑点を含む）
Ⅱ③ 暗灰色砂質土（粗砂を多量に含む）
Ⅱ④ 粗砂混り暗灰色粘質土（粗砂を多量に，Mn粒を含む）
Ⅱ⑤ 砂混り暗灰色粘質土（Mn・Feの斑点を含む）
Ⅱ⑥ 砂混り暗灰褐色粘質土（Mn・Feの斑点を含む ⑤と類似）
Ⅱ⑦ 灰色粘土（粗砂を含む）
Ⅲ① 淡黒灰色粘土（水田耕土・粗砂を含む）
Ⅲ③ 黒色粘土（粗砂を含む）
Ⅲ⑤ 黒色粘土（黄色粘土ブロックを含む）
Ⅳ① 粗砂混暗灰色シルト（粗砂を大量に含む）
Ⅳ② 粗砂混暗青灰色シルト（粗砂を大量に含む）
Ⅳ⑤ 灰褐色砂（ラミナ状に堆積）
Ⅳ⑥ 暗黒色粗砂（5 mm台の砂）
Ⅳ⑪ 青灰色シルト
Ⅳ⑬ 暗青灰色シルト
Ⅳ⑮ 暗灰茶色シルト（黄黒色・茶色粒を多量に含み，濁っている）
Ⅳ⑯ 暗灰褐色シルト
Ⅳ⑯' ⑯に比べ，僅かに暗い
Ⅳ⑰ 淡黄色シルト（基盤層土に類似）
Ⅳ⑱ 黒灰褐色粗砂

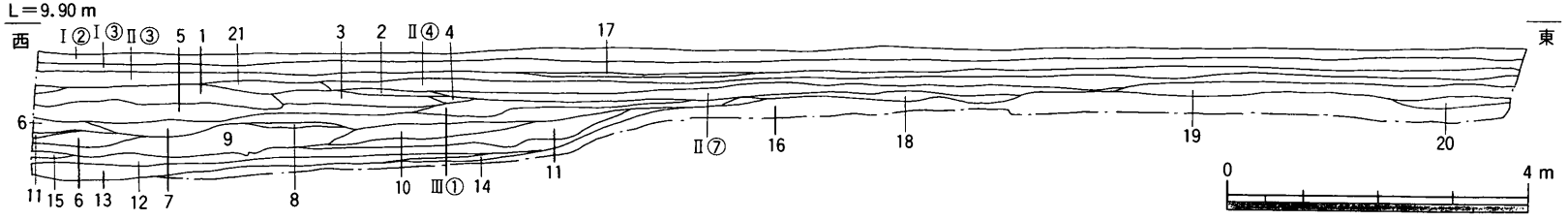
① 灰色砂（僅かにシルト質）
② 暗灰茶褐色粘質土（粗砂を多く含む）
③ 暗茶黒色粘土（粗砂を多量に，かなり締まっている）
④ 黒茶褐色粘土（Mn・Fe粒を多量に含む。⑤に類似⑤と比べ砂が少ない）
⑤ 灰茶褐色粘土（Mn・Fe粒，粗砂を多量に含む。かなり締まっている）
⑥ 暗黒色粘土
⑦ 黒色粘土（粗砂を多量に含む）
⑧ 淡黒色粘土（砂を少量含む）
1．灰褐色砂質土
2．暗灰色粗砂
3．灰色砂質土
4．黒灰色シルト
5．淡灰黄色粗砂（Ⅳ⑱に類似）
6．黄灰色シルト

第39図　3②調査区北壁（西半）土層断面図（1/100）



Ⅰ②　乳灰褐色砂質土（中・近世耕土層）
Ⅰ③　乳茶色砂質土
Ⅱ②　砂混り灰褐色粘土（多量の砂と，Mnの斑点を含む）
Ⅱ③　黒灰色砂質土（粗砂を多量に含む）
Ⅱ⑤　砂混り暗灰色粘質土（Mn・Feの斑点を含む）
Ⅱ⑥　砂混り暗灰褐色粘質土（Mn・Feの斑点を含む。⑤と類似）
Ⅱ⑧　灰褐色粘質土（Mn粒を含む。粗砂を多量に含む）
Ⅱ⑨　淡茶褐色粘土
Ⅲ①　淡黒灰色粘土（水田耕土・粗砂を含む）
Ⅳ⑦　暗黄黒褐色粘土
Ⅳ⑧　黄黒褐色粘土（基盤層土）
Ⅳ⑨　暗黄灰色シルト（Ⅳ⑧に類似）
Ⅳ⑩　暗黄色シルト
Ⅳ⑪　青灰色シルト
Ⅳ⑬　暗青灰色シルト
Ⅳ⑭　青灰色粗砂
①　淡黒褐色シルト
②　淡黒色シルト
⑤　②と同一
⑥　暗灰色粘土（硬質）
⑨　砂混り淡黒色シルト
⑩　粗砂混り暗灰褐色シルト（遺物を多量に含む）
⑫　淡黒色シルト（⑥に類似）
⑬　黒灰色シルト（灰色粘土粒を多量に含む）
A．淡灰色シルト（白色細砂を多量に含む）
B．淡灰色粘土（上面にMn）
C．黒色粘土ブロックを含む。D層
D．淡灰色シルト（白色砂を含む）
1．試掘トレンチ
2．現耕作土
3．黒色シルト
4．暗褐色シルト
5．暗灰黒色砂質土
6．淡灰色細砂
7．暗灰色シルト（砂強）
8．灰茶色細砂（Mnを多量に含む）

第40図　3②　調査区北壁（東半）土層断面図（1/100）



Ⅰ②　乳灰褐色砂質土（中・近世耕土層）
Ⅰ③　乳茶色砂質土
Ⅱ③　暗灰色砂質土（粗砂を多量に含む）
Ⅱ④　粗砂混り暗灰色粘質土（粗砂を多量にMn粒を含む）
Ⅱ⑦　灰色粘土（粗砂を含む）
Ⅲ①　淡黒灰色粘土（水田耕土，粗砂を含む）
1．淡黒色，黄色，茶褐色粘質土ブロック層（大畦部）
2．暗灰色シルト
3．暗灰褐色シルト（2に類似）
4．灰色シルト
5．淡黒褐色シルト
6．淡黒色シルト
7．黒青灰色シルト
8．暗青灰色シルト
9．暗灰色粘土（硬質）
10．暗灰・黒色粘土ブロック層（黒色シルト中に11の暗灰色粘土ブロックが多量に混入）
11．暗灰色粘土
12．砂混り淡黒色シルト
13．粗砂混り暗灰褐色シルト（遺物を多量に含む）
14．灰色シルト
15．淡黒色シルト（6に類似）
16．青灰色シルト
17．灰黄色砂質土
18．黒黄色粘土（黄色シルトがブロック状に混入）
19．暗黄灰色シルト（黄色シルトがブロック状に混入）
20．黄灰色シルト
21．灰黄色砂（木樋内の埋土）

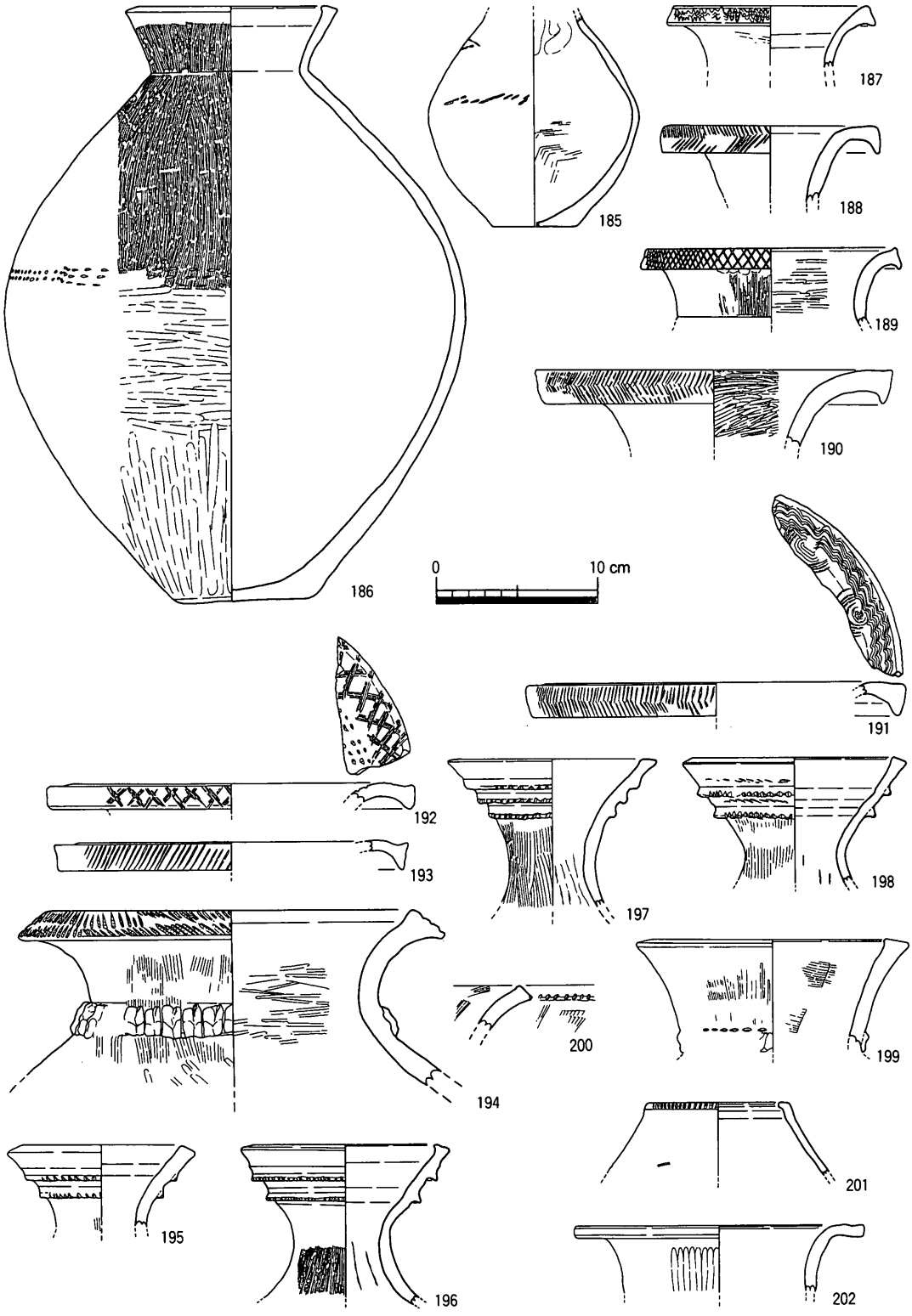
275はスクレイパーである。276は石斧である。277は使用痕と考えられる摩滅痕がある石器である。278はサヌカイト原石である。279は勾玉状の石製品である。

第48図は，１②調査区川跡底部粗砂層（ＳＲ０１）から出土した土器である。290は底部穿孔が貫通していない。弥生時代Ⅲ期前半の資料と考えられる。

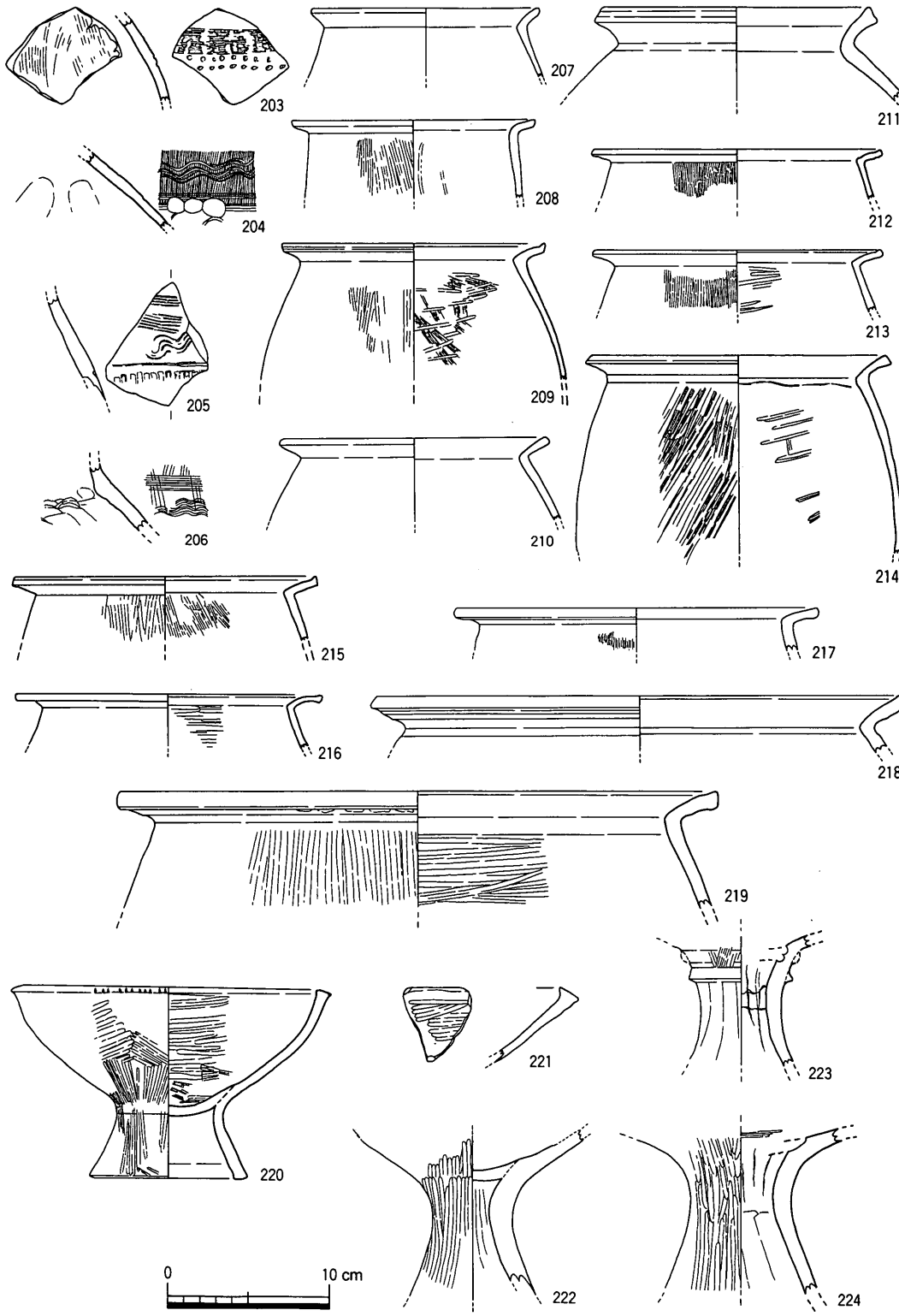
第49～51図は，２①調査区ＳＲ０１下層粗砂及びＳＲ０２から出土した土器である。このうち，328～333は調査時には土坑とされていた部分から出土した土器であるが，埋土及び形状からＳＲ０２の肩部分と判断できるので，ここではＳＲ０２出土の遺物として報告する。293～318はＳＲ０１下層粗砂層から出土した土器である。309は，Ⅰ期に遡るものかもしれない。302は頸部に連続刺突があることからⅤ期初頭の資料の可能性がある。他は概ねⅢ期前半の資料であろう。319～327は，ＳＲ０２から出土した土器である。319はⅣ期の資料であろう。他はⅢ期前半とすることができよう。328～333は，ＳＲ０２肩部から出土した土器である。調査時に土坑としたように，ほぼ同じ地点から出土している。330はⅠ期末～Ⅱ期の資料であろう。328はⅡ期からⅢ期前半の資料である。他はⅢ期前半の資料である。第51～53図は，２①調査区ＳＲ０１下層粗砂層，ＳＲ０２及びＳＲ０２肩部から出土した石器である。340～348は石庖丁である。349～353はスクレイパーである。338は石槍である。355は縁辺に摩滅痕のある剝片である。

３②調査区では，弥生時代終末期頃の黒色粘質土より下の砂層から弥生時代中期の土器が出土するが，遺物の出土状況にはやや混乱があるようで後世の遺物も混じっている。ここでは遺物量の多い流路３の資料を図示するが，遺物の時期は弥生時代中期頃と終末期頃に大きく分かれる。終末期頃の遺物は，上層の溜まりの資料とあわせて考慮する必要がある。356はⅡ期～Ⅲ期前半の土器であろう。357～363はⅢ期前半の土器であろう。364は矢ノ塚遺跡(1)で類例がみられる。365はⅣ期前半の資料であろう。366については上下及び時期とも不明である。367～390は弥生時代終末期以降の土器である。377～389は線刻のある土器である。上層の溜まり１の資料も含んでいるが同一個体かと思われる。390は製塩土器である。また391～394は，弥生時代終末期の川跡埋土除去後，微高地部分や基盤層から出土したもので，弥生時代中期以前に遡る可能性をもつものもある。第56～58図は石器である。395はナイフ形石器としたが，石匙のつまみ部分が欠損したものかもしれない。

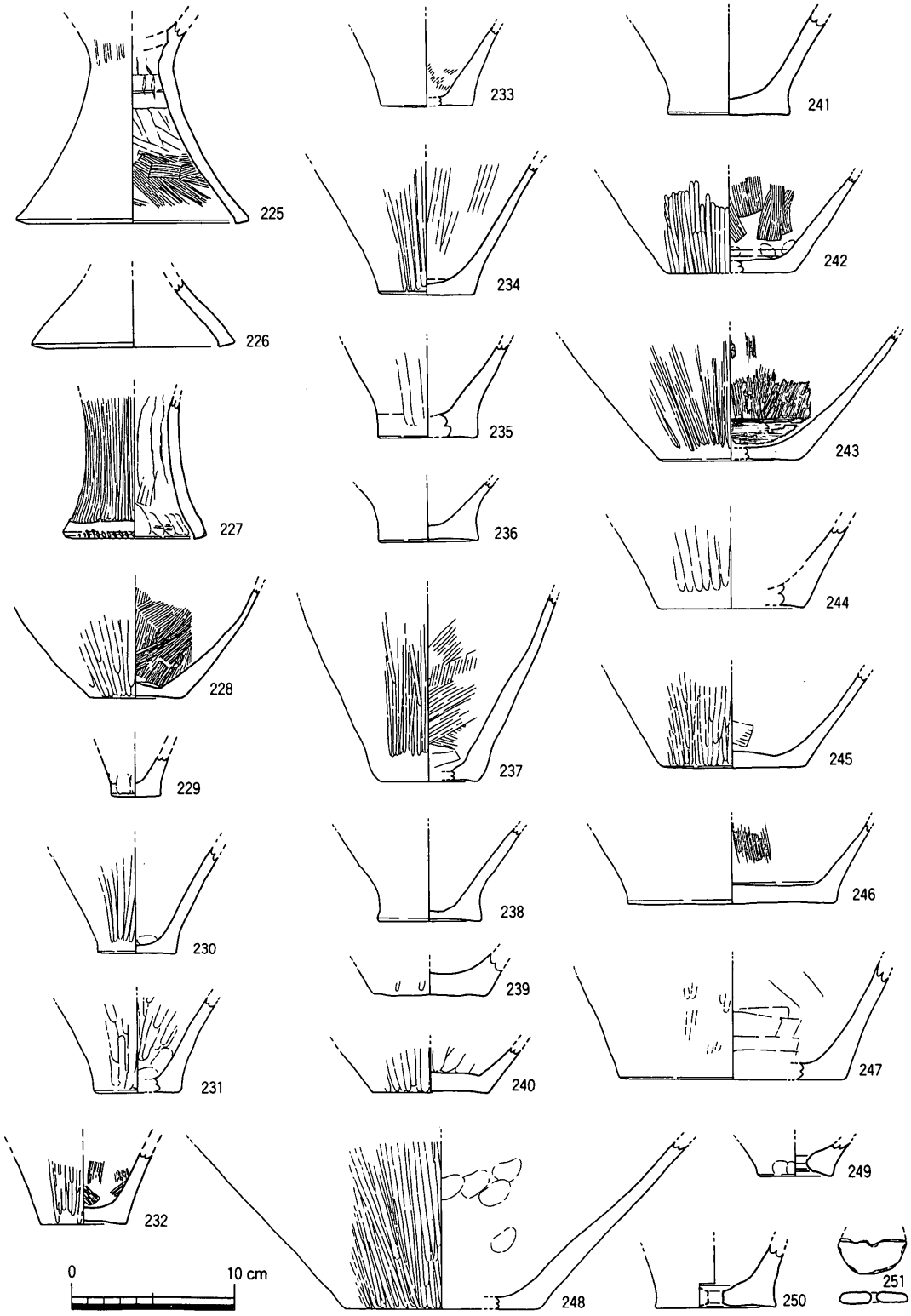
(１)香川県教育委員会，日本道路公団『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第三冊　矢ノ塚遺跡』1987



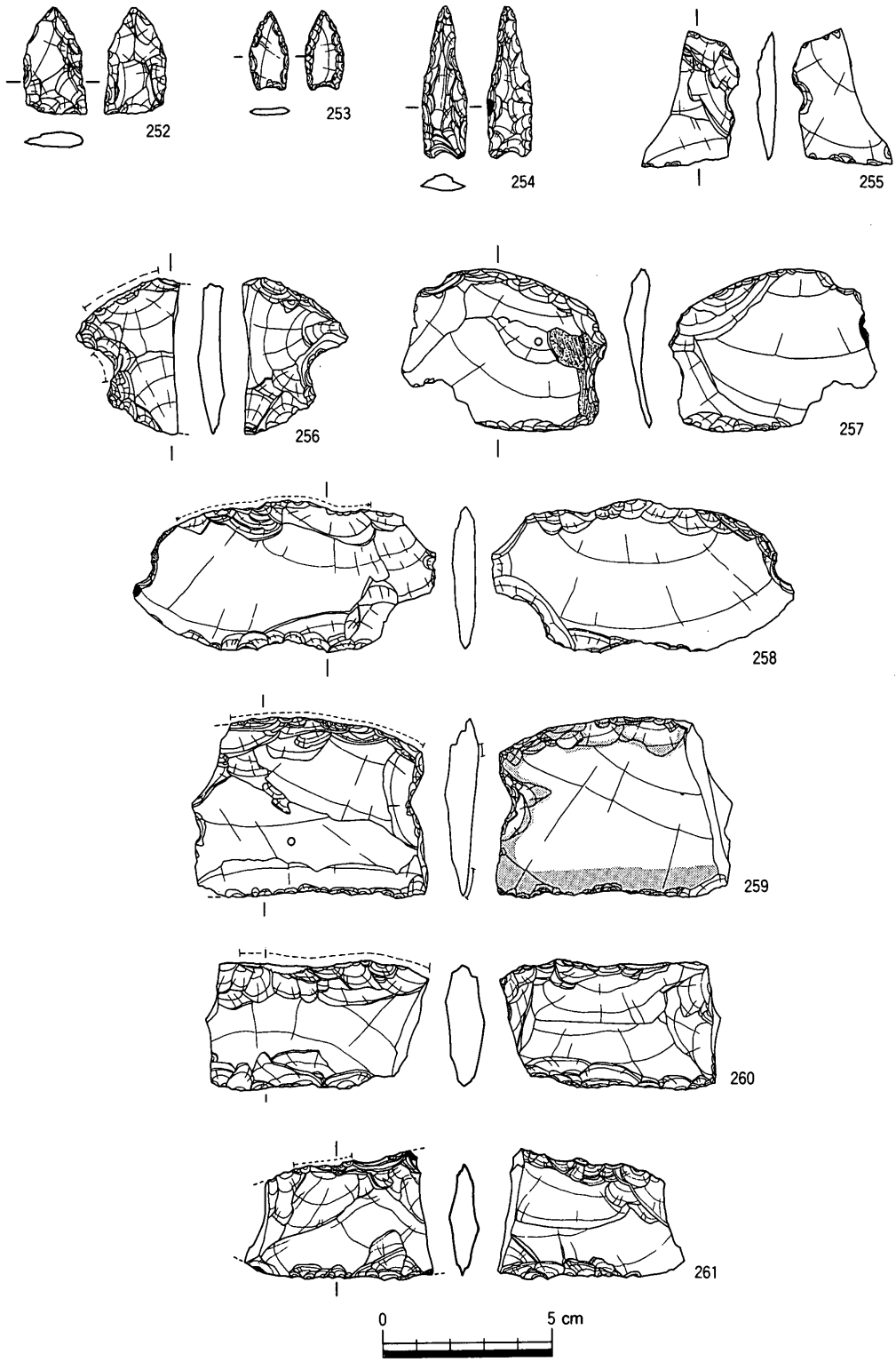
第41図　1①ＳＲ０２出土土器①（1/4）



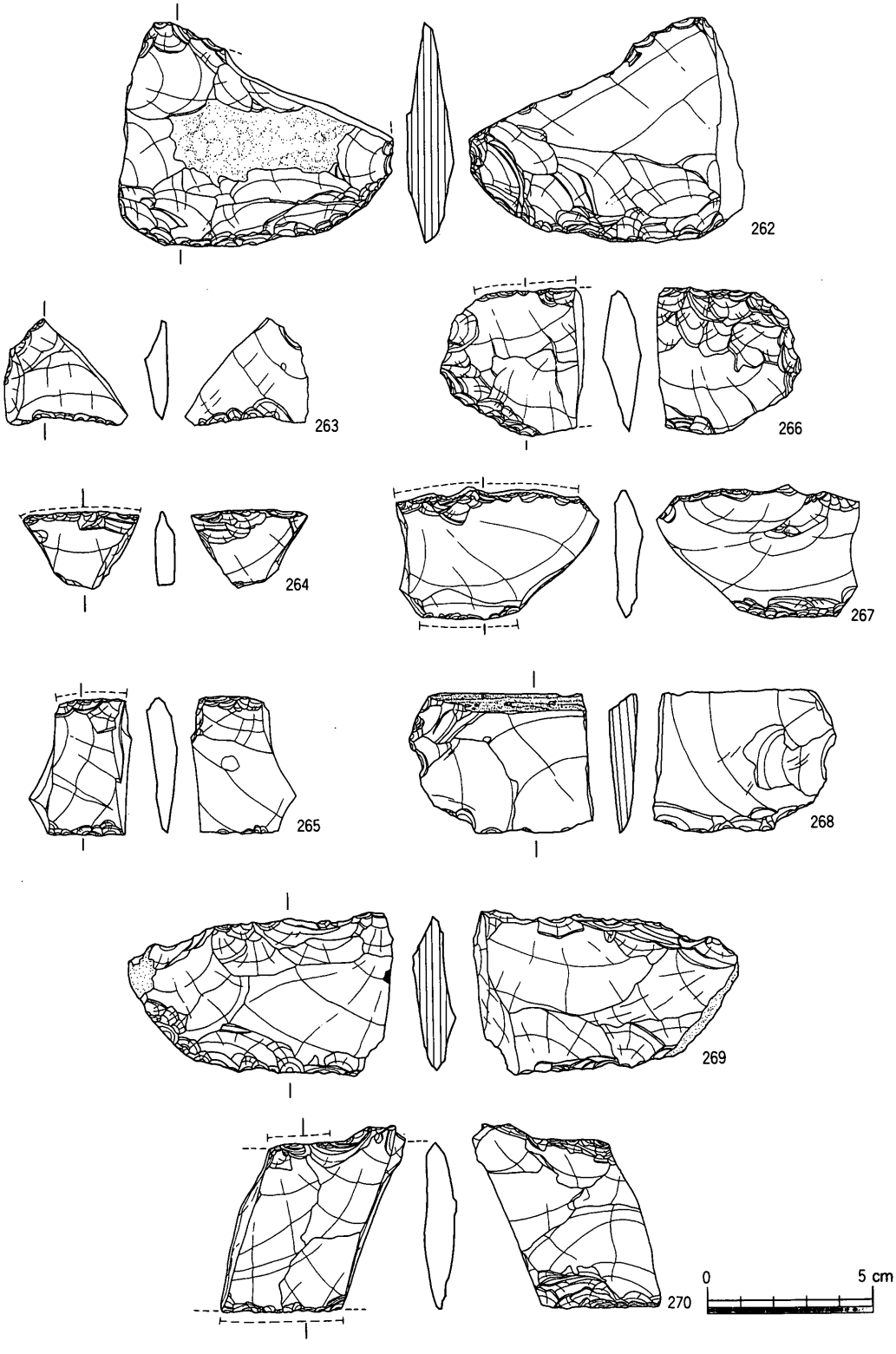
第42図　１①ＳＲ０２出土土器②（1/4）



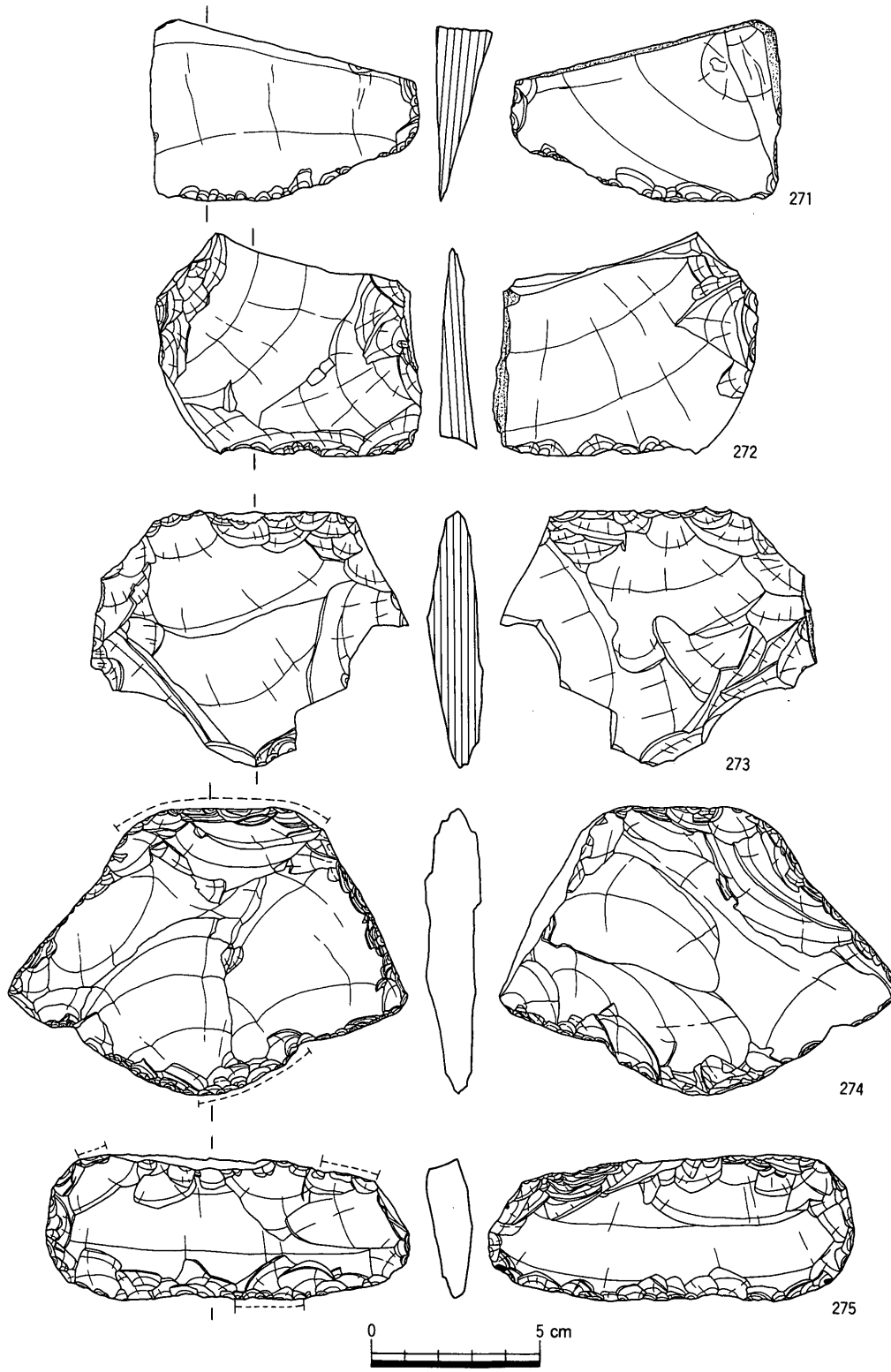
第43図　１①ＳＲ０２出土土器③（1/4）



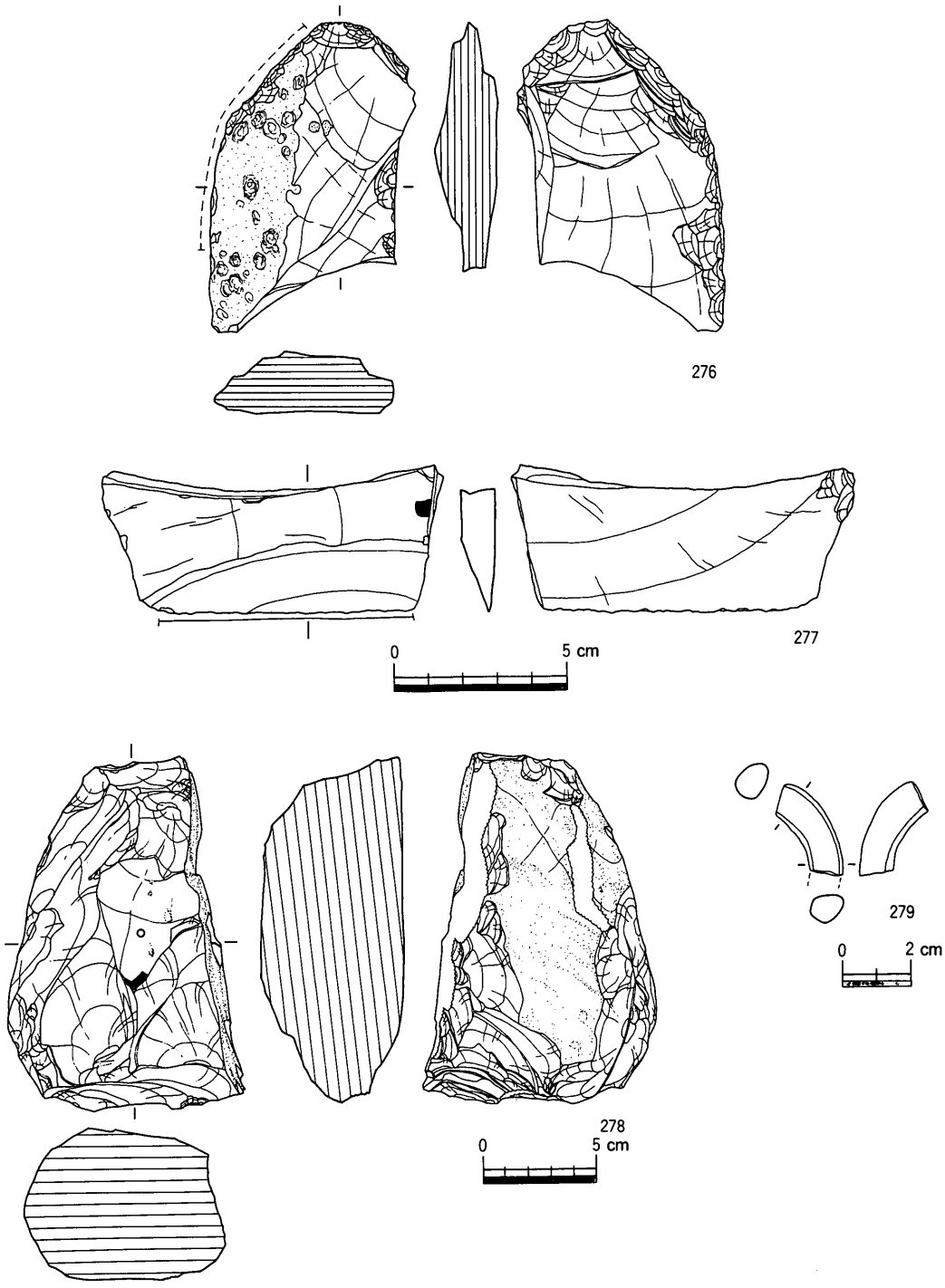
第44図　1①ＳＲ０２出土石器①（1/2）



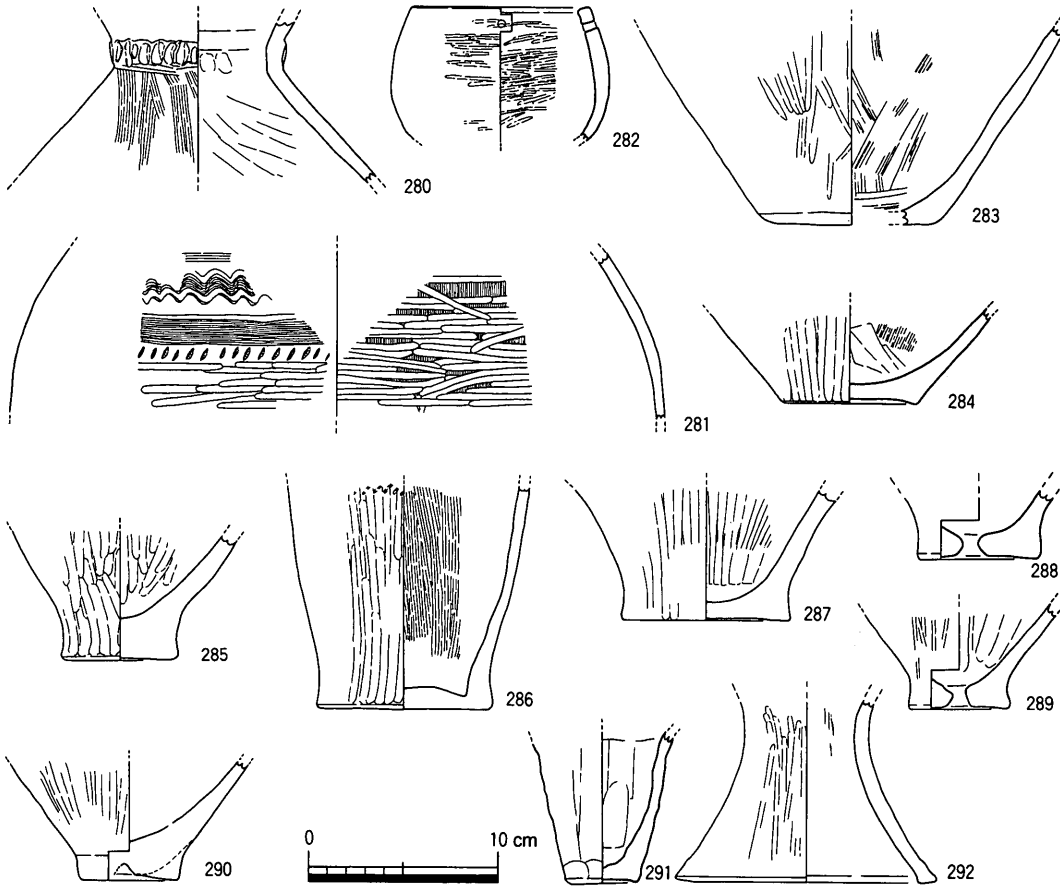
第45図　1①ＳＲ０２出土石器②（1/2）



第46図　1①ＳＲ０２出土石器③（1/2）

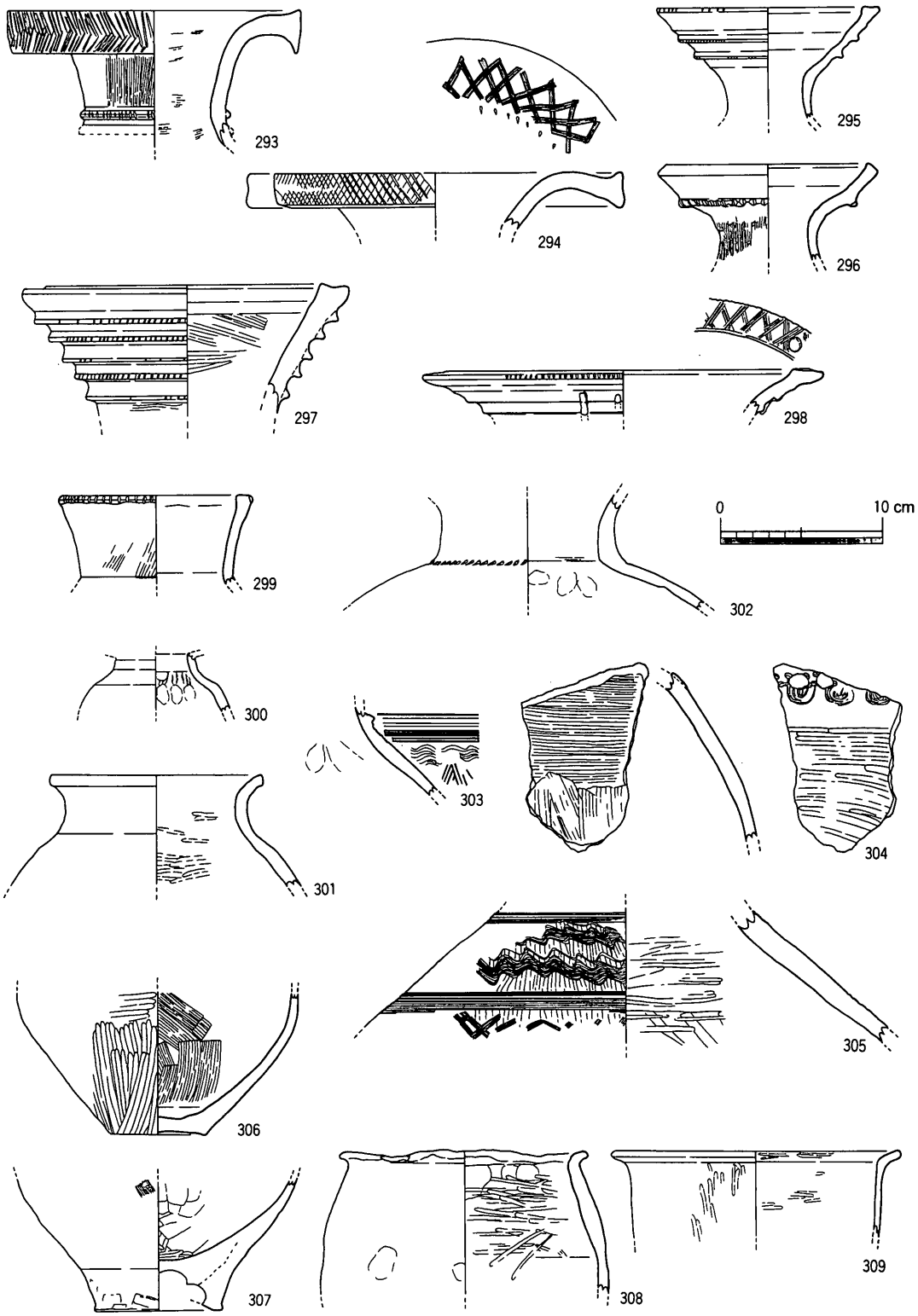


第47図　1①ＳＲ０２出土石器④（1/2，1/3）

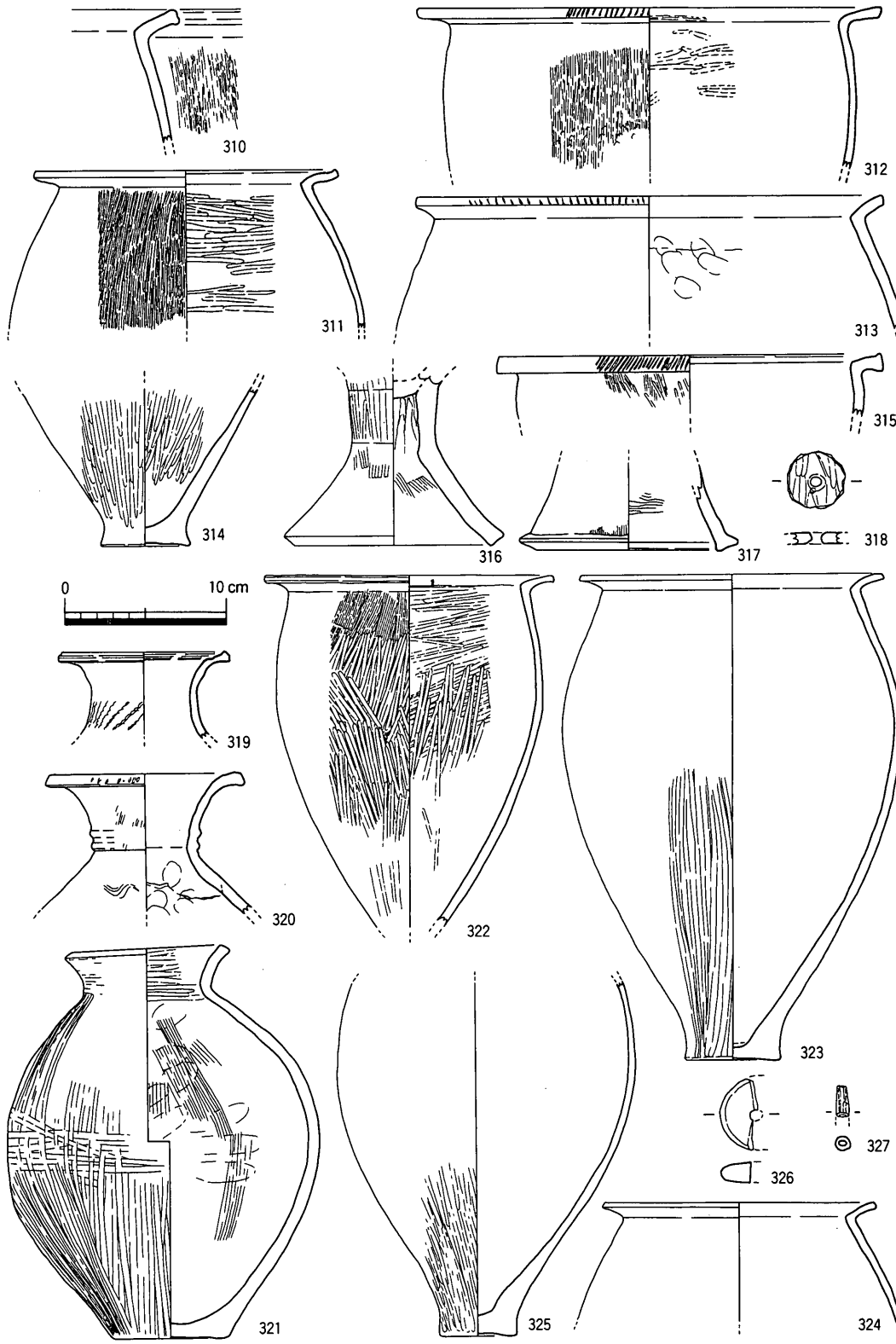


第48図　1②ＳＲ０１出土土器（1/4）

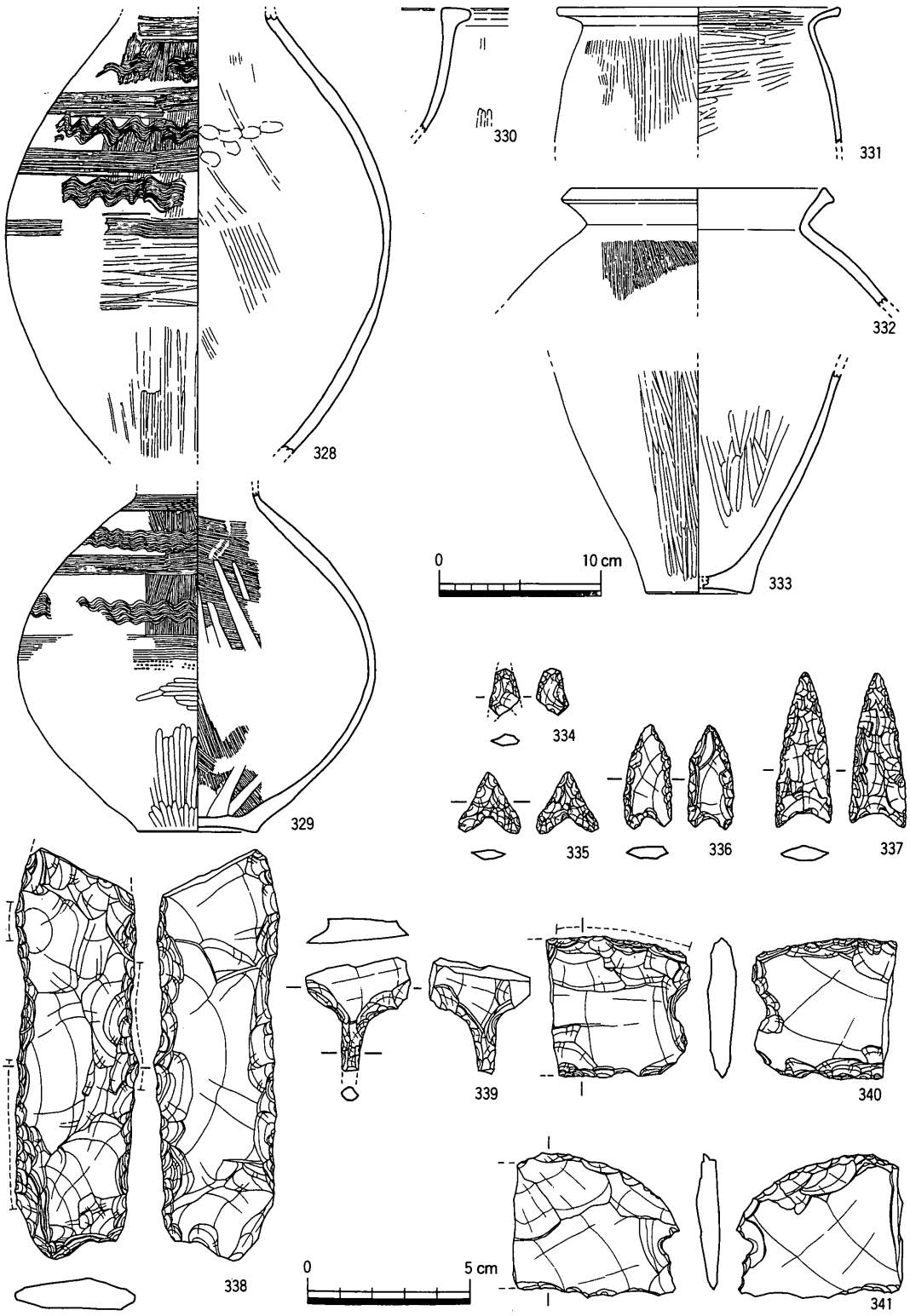
396～400は石庖丁である。401は石槍である。402は石核である。403は摩滅痕のある石器である。408は，部分的に面取り加工のある木器である。



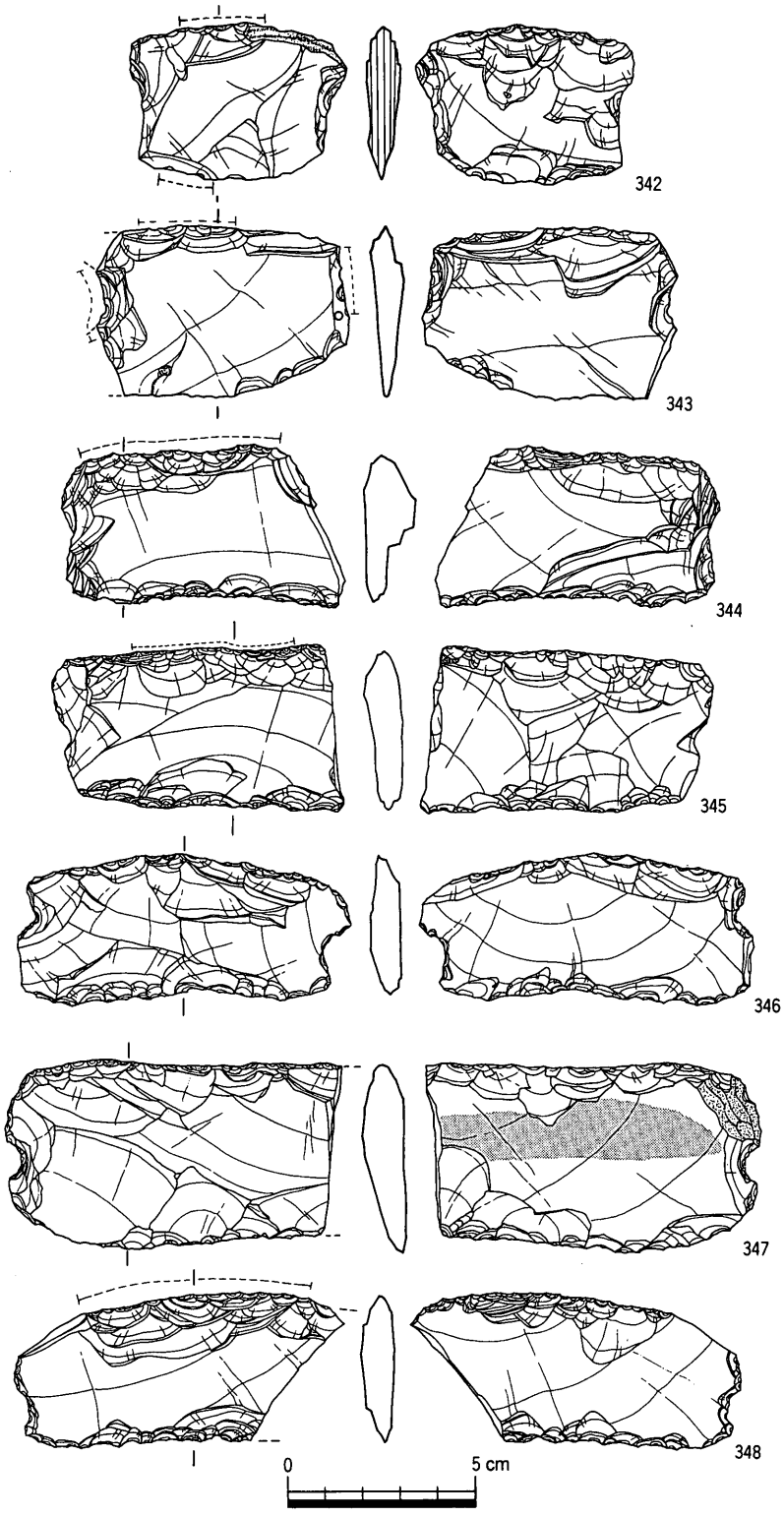
第49図　２①ＳＲ０１出土土器①（1/4）



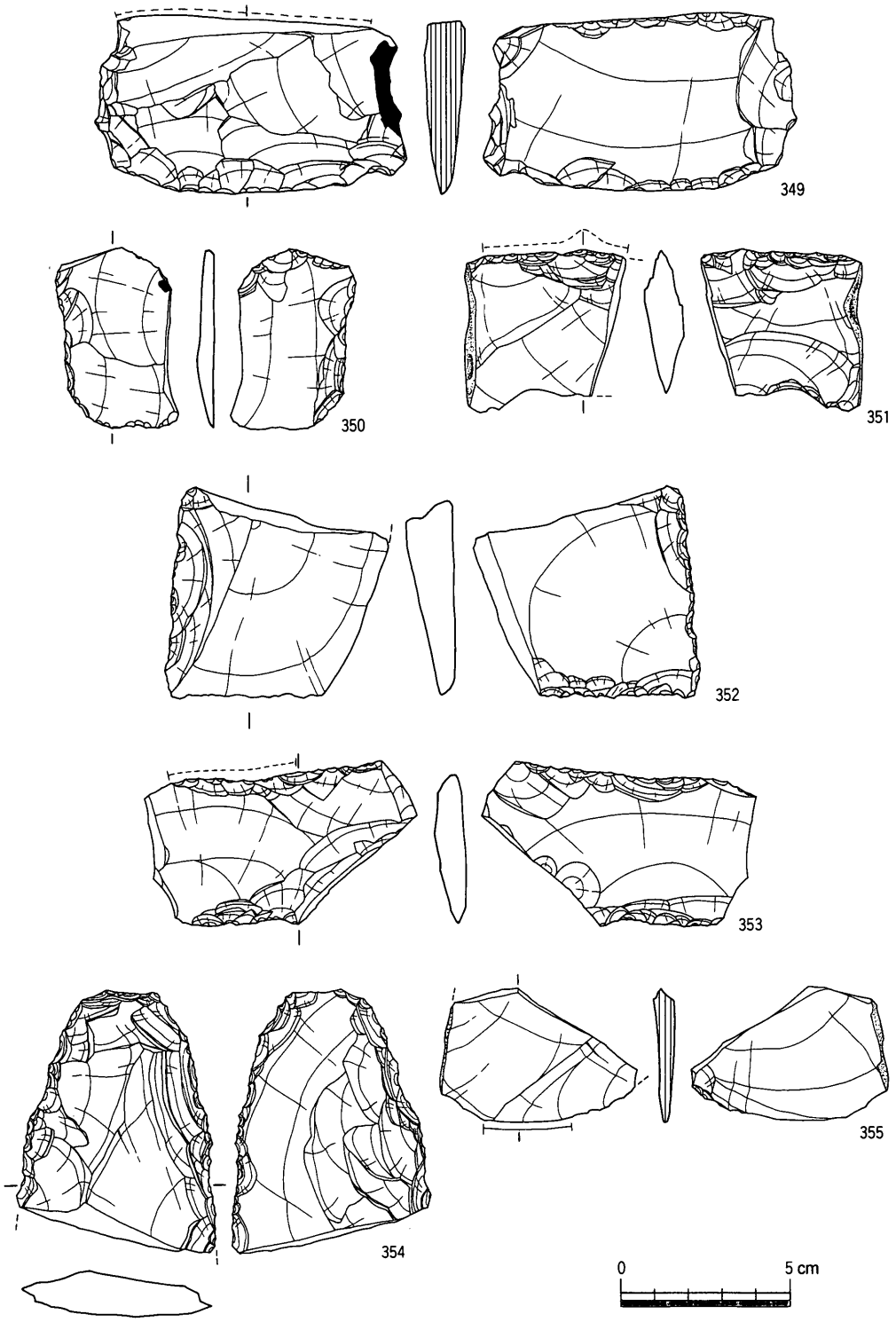
第50図　２①ＳＲ０１出土土器②（1/4），２①ＳＲ０２出土土器（1/4）



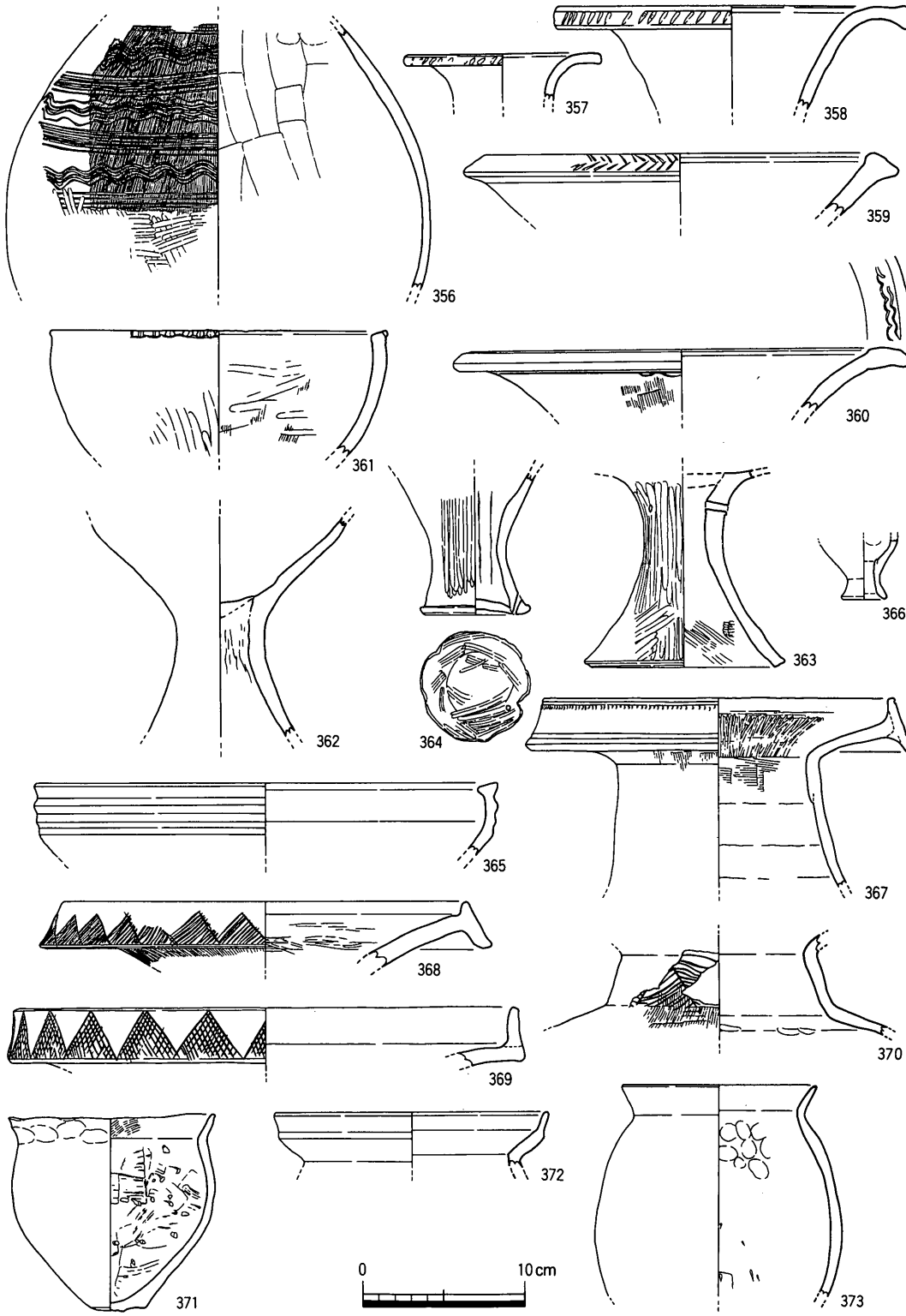
第51図　２①ＳＲ０２肩部出土土器（1/4）・石器（1/2），２①ＳＲ０１出土石器①（1/2）



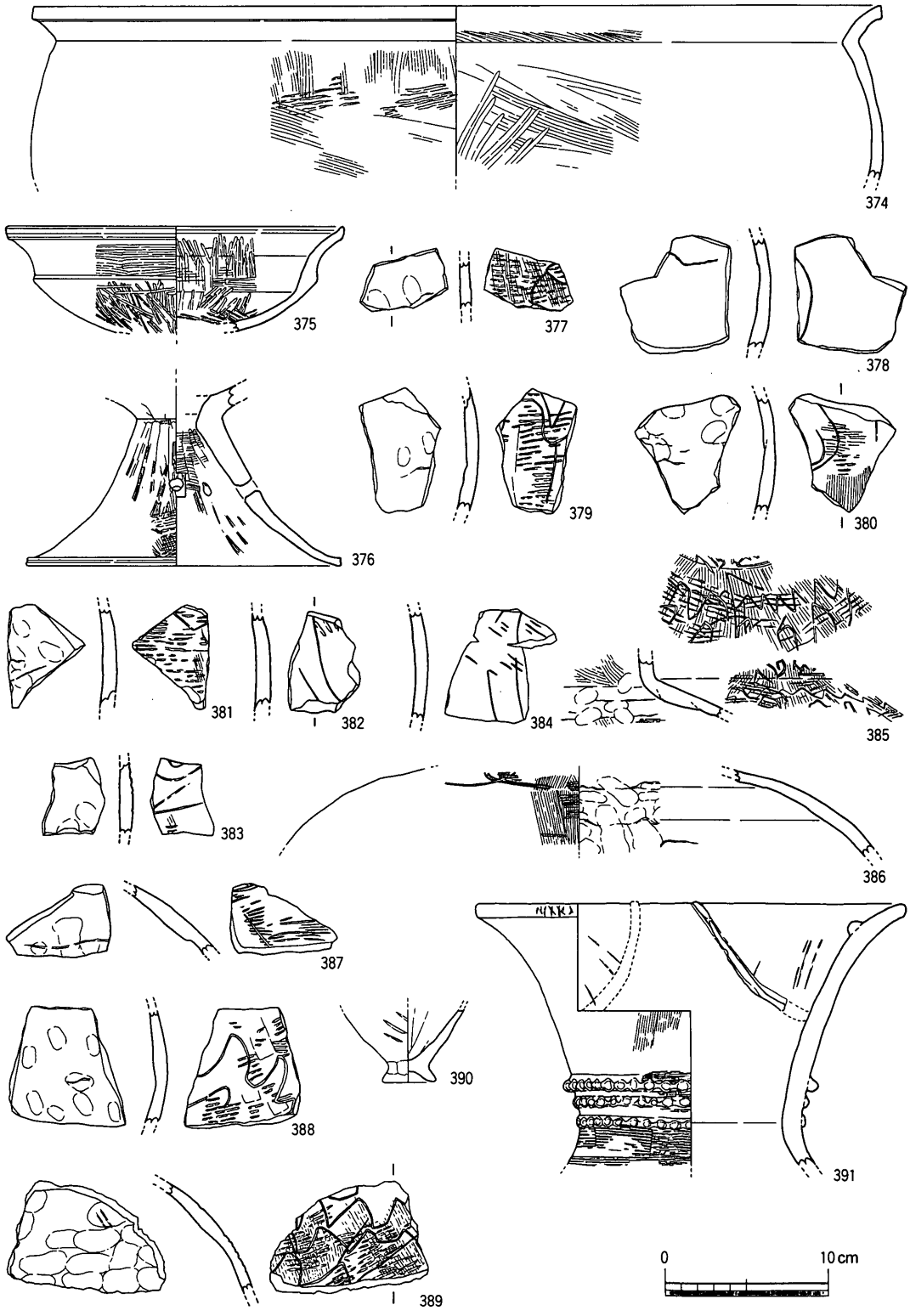
第52図　２①ＳＲ０２出土石器②（1/2）



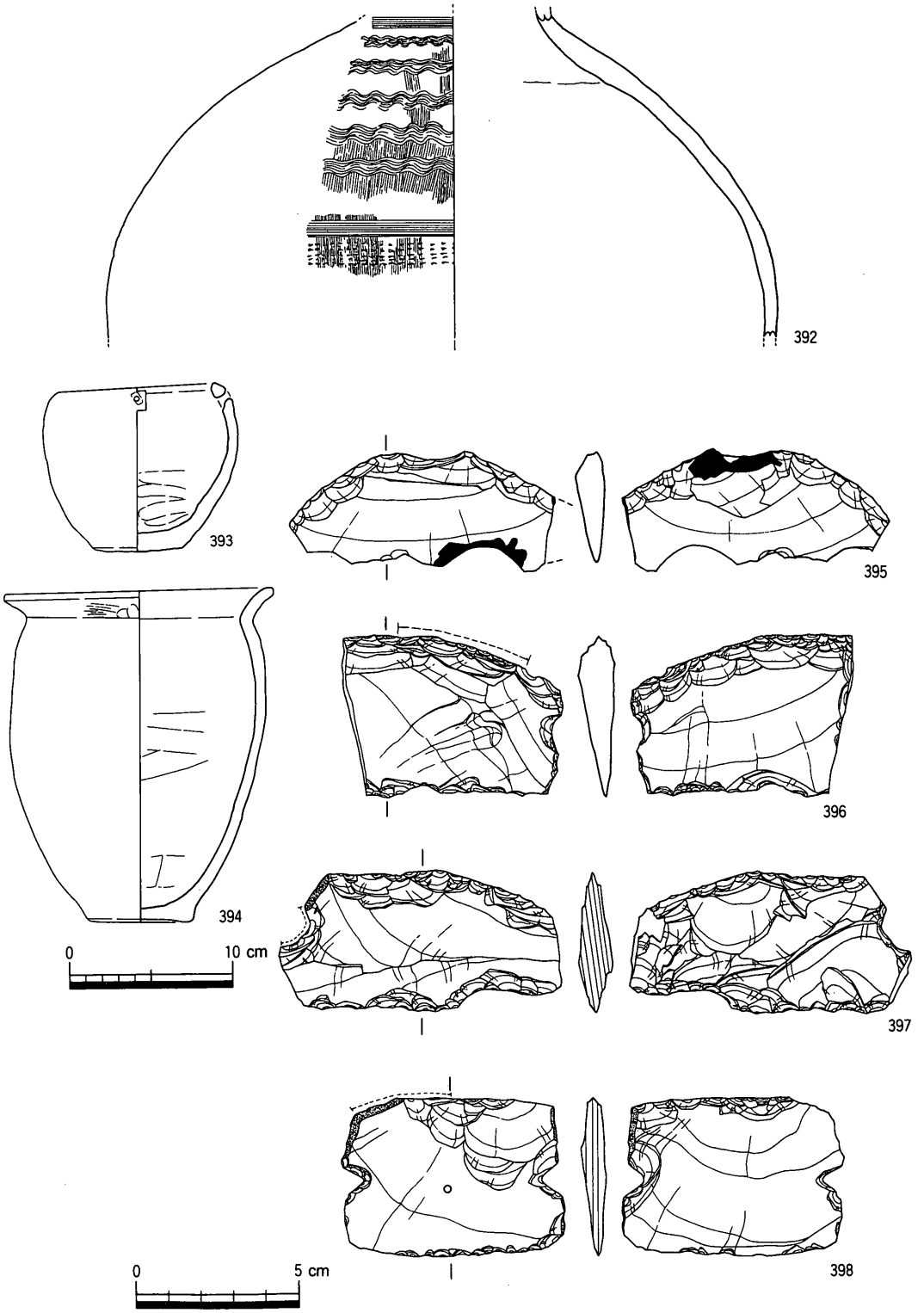
第53図　2①ＳＲ０２出土石器③（1/2）



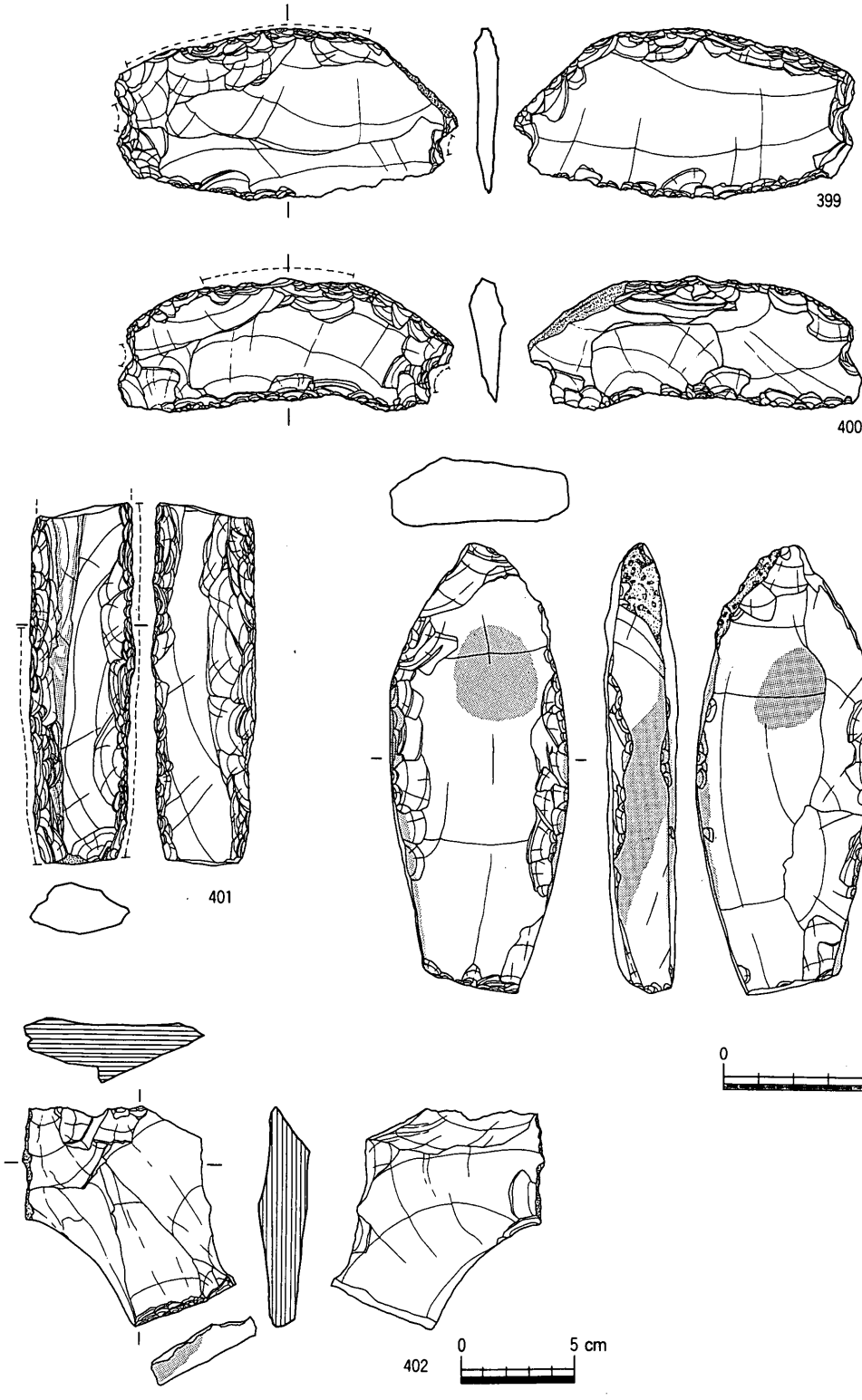
第54図　3②ＳＲ０２出土土器①（1/4）



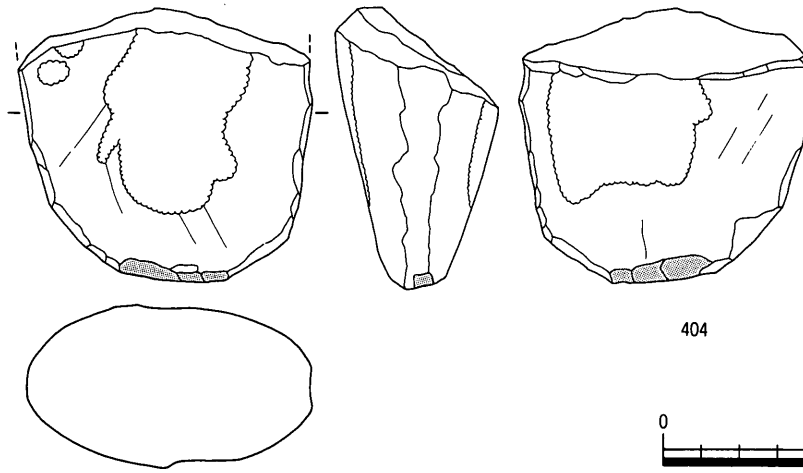
第55図　3②ＳＲ０２出土土器②（1/4）

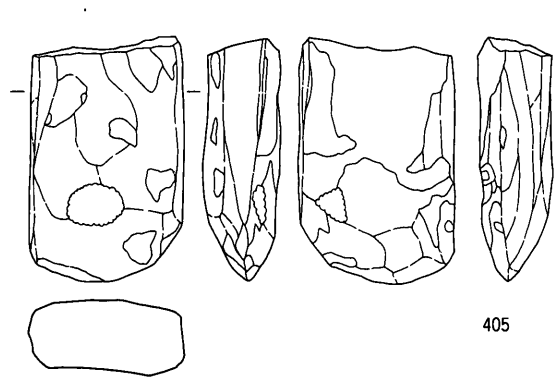


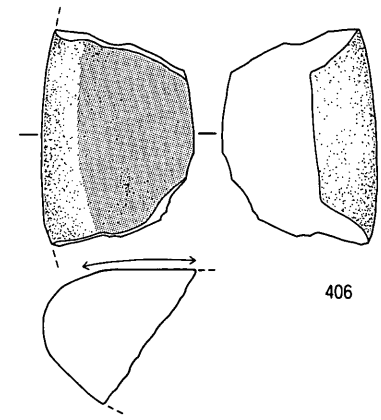
第56図　3②ＳＲ０２出土土器③（1/4）・石器①（1/2）

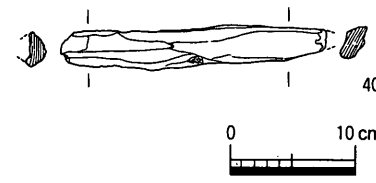


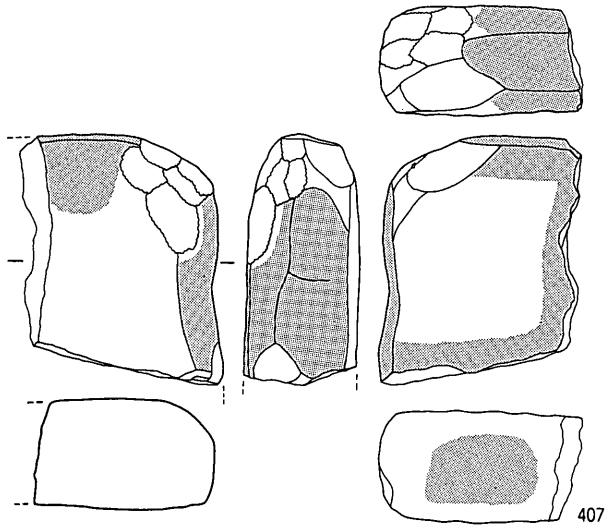
第57図　3②ＳＲ０２出土石器②（1/2，1/3）











第58図　3②ＳＲ０２出土石器③（1/2）・木器（1/6）

5　弥生時代終末期

竪穴住居跡

竪穴住居跡は２④⑤調査区のみで検出した。

２④⑤ＳＨ０１（第59図）

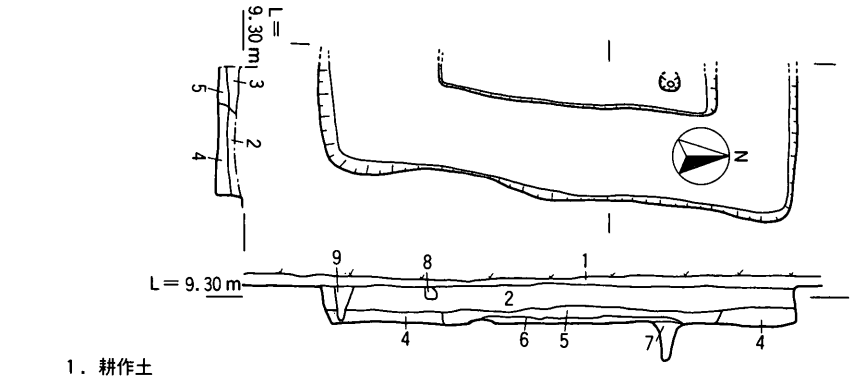
B21区画に位置する。耕作土直下で検出した。一部分のみが調査区内に位置する。埋土は基盤層土粒を含む土であり，埋め戻されたものであろう。北東隅の主柱穴１つを確認した。基盤層に類似した土を盛土したベッド状遺構を持つ。遺物は，コンテナ約1/2箱出土した。

409はベッド状遺構から出土したことから，築造時期の上限を示す資料と言える。下川津Ⅳ式頃であろう。またこの土器の破片は，ＳＨ０３埋土からも出土している。410～413は埋土から出土した土器である。413は弥生時代中期の土器であるので，埋没年代は410～412の小型鉢及び小型台付壺が示しており，下川津Ⅴ式頃であろう。412は下川津Ｂ類土器である。414～418は予備トレンチ掘削時に出土した遺物である。419～423は石器である。422は石錐である。423は背面に礫面を持つ横長剥片である。

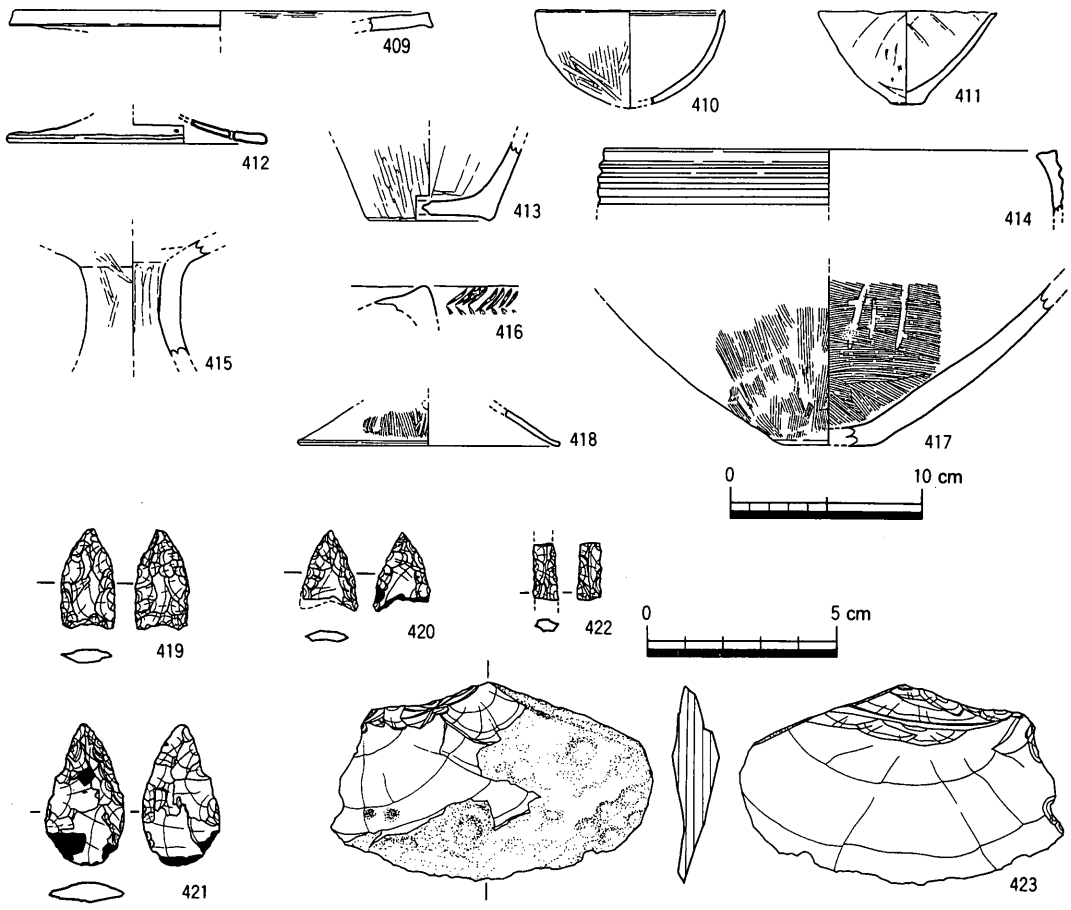
２④⑤ＳＨ０２（第60～62図）

C21区画に位置する。耕作土直下で検出した。南西部に張り出しを持つ方形竪穴住居跡である。壁溝は幅広く，はっきりと検出できた。ベッド状遺構を持つ。中央やや南よりに小型長方形の炉を持つ。床面検出時にＳＤ０８から続くと考えられる溝跡を検出したが，この溝の埋土は基盤層類似の土であり，竪穴住居跡が機能していたときには埋められていたと考えられる。ＳＤ０８の最終埋土は黒褐色土であり，最終埋土はＳＨ０２の少し手前までしか広がっておらず，ＳＨ０２にはつながっていない。おそらくＳＨ０２とＳＤ０８が全く無関係と考えることはできないであろうから，ＳＨ０２掘削に関連した溝跡であろう。遺物はコンテナ約２箱出土した。

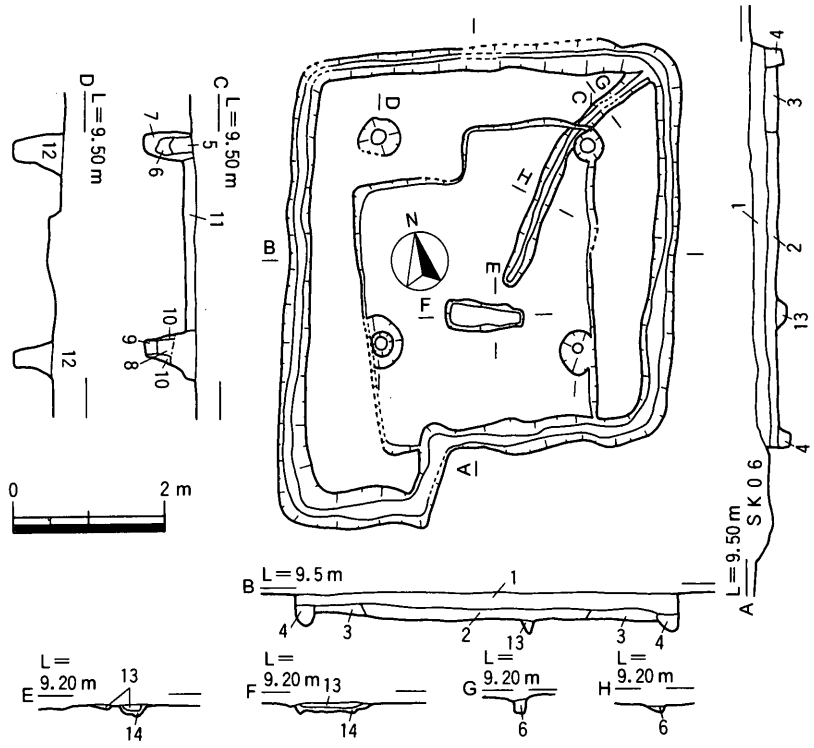
424～428は床面で出土した土器である。425は床面で３か所に離れた地点から出土し，さらにＳＨ０１埋土から出土した破片とも接合した。424は中期の土器であるが，他は下川津Ⅱ・Ⅲ式期頃であろう。429～440は埋土から出土した土器である。436・439・440は下川津Ⅴ式頃であろう。437は内面に赤色顔料が付着している。441～454は石器である。441と451は壁溝から出土した。448は石槍である。449は石錐とした。450・451はスクレイパーである。452は横長剥片である。453は太型蛤刃石斧の破片である。454は敲打痕のある石器である。



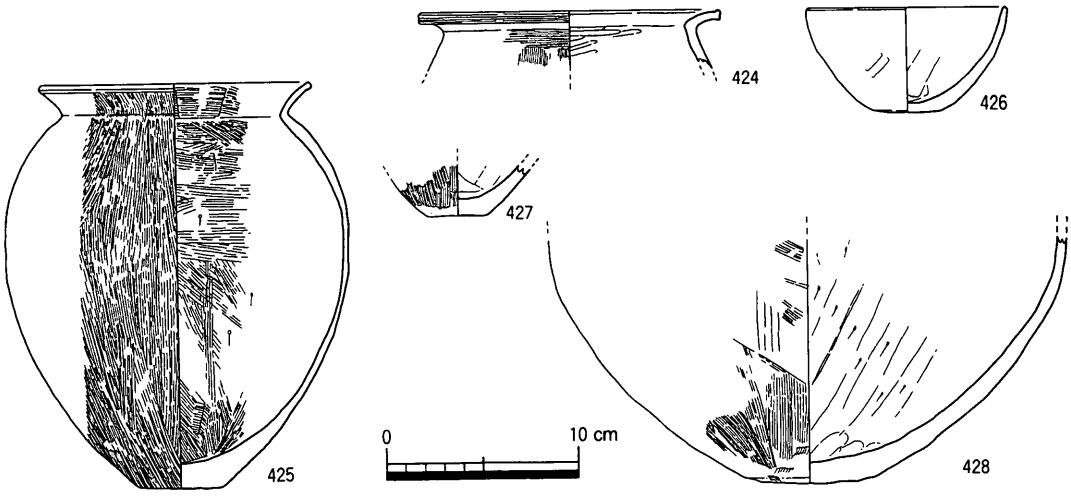
1．耕作土
2．基盤層土（白黄色シルト）粒混茶灰色シルト上部にMn多し
3．2．より基盤層土粒少なし
4．白黄色シルト，茶灰色シルト粒含む，基盤層土盛土（ベッド状遺構）
5．淡茶灰色シルト，基盤層土粒を含む。
6．灰色シルト
7．灰色シルトと基盤層土（白黄色シルト）がブロック状に混じりあう（主柱穴）
8．灰色シルト
9．淡灰茶色シルト



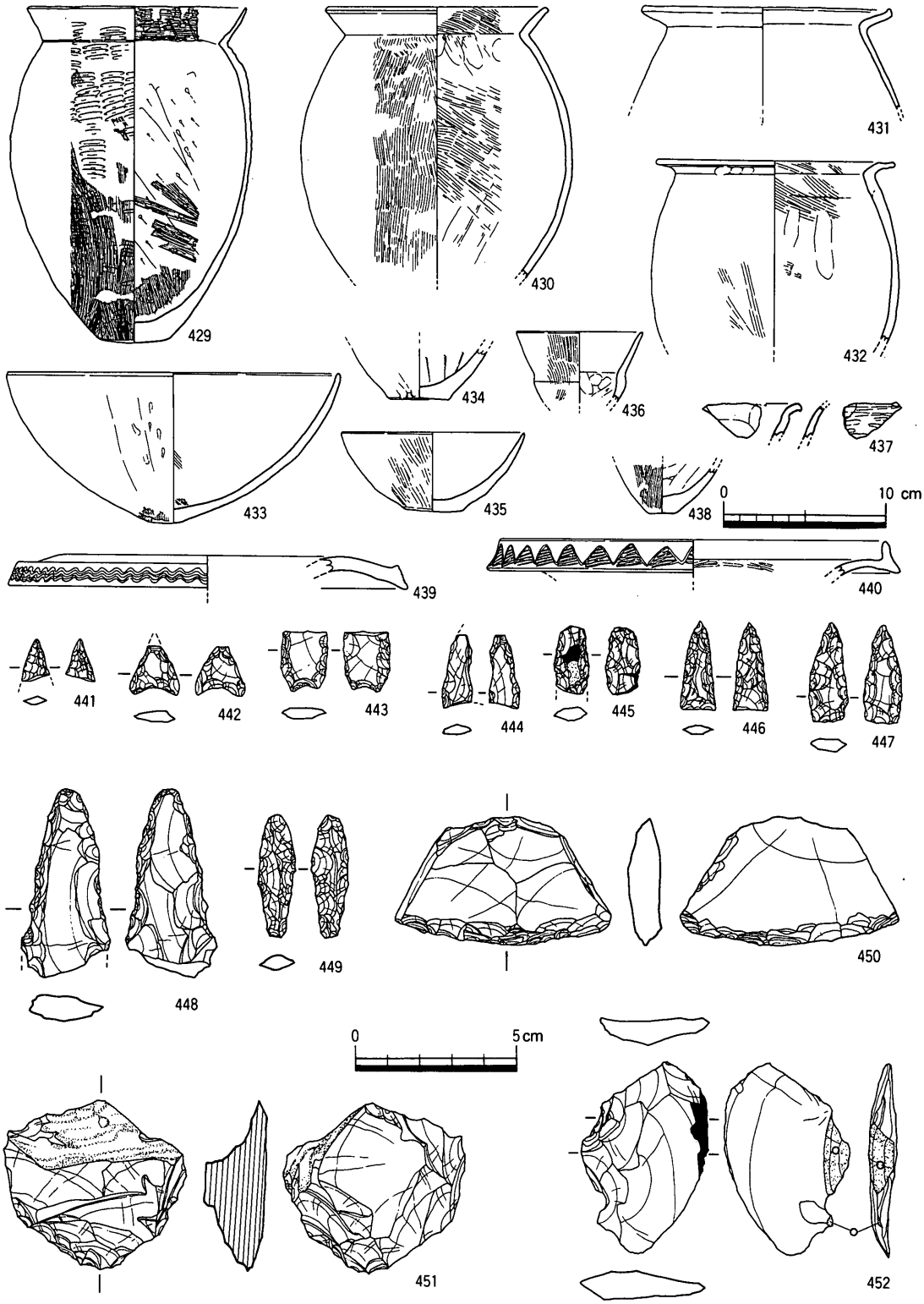
第59図　2④⑤ＳＨ０１平・断面図（1/100）及び出土土器（1/4）・石器（1/2）



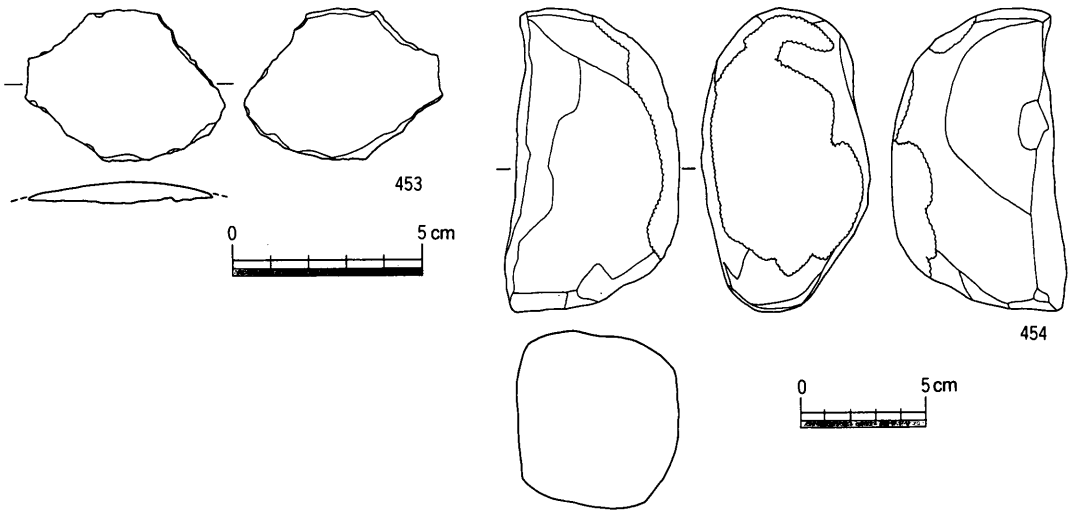
1．灰色シルト，基盤層土（白黄色シルト）粒混　Mn含
2．淡灰色シルト
3．白黄色シルト（基盤層土盛土，ベッド状遺構）
4．淡白灰色細砂（壁溝）
5．灰色シルトMn　Fe
6．基盤層土混多　灰色シルト
7．基盤層土ブロック層
8．基盤層土多量混　灰色シルト
9．灰色シルト層
10．基盤層土ブロック
11．白黄色シルト（ベッド状遺構）
12．基盤層土混　淡茶灰色シルト　Mn
13．基盤層土（白黄色シルト）混灰色シルト
14．炭層



第60図　２④⑤ＳＨ０２平・断面図（1/100）及び出土土器①（1/4）



第61図　２④⑤ＳＨ０２出土土器②（1/4）・石器①（1/2）



第62図　２④⑤ＳＨ０２出土石器②（1/2，1/3）

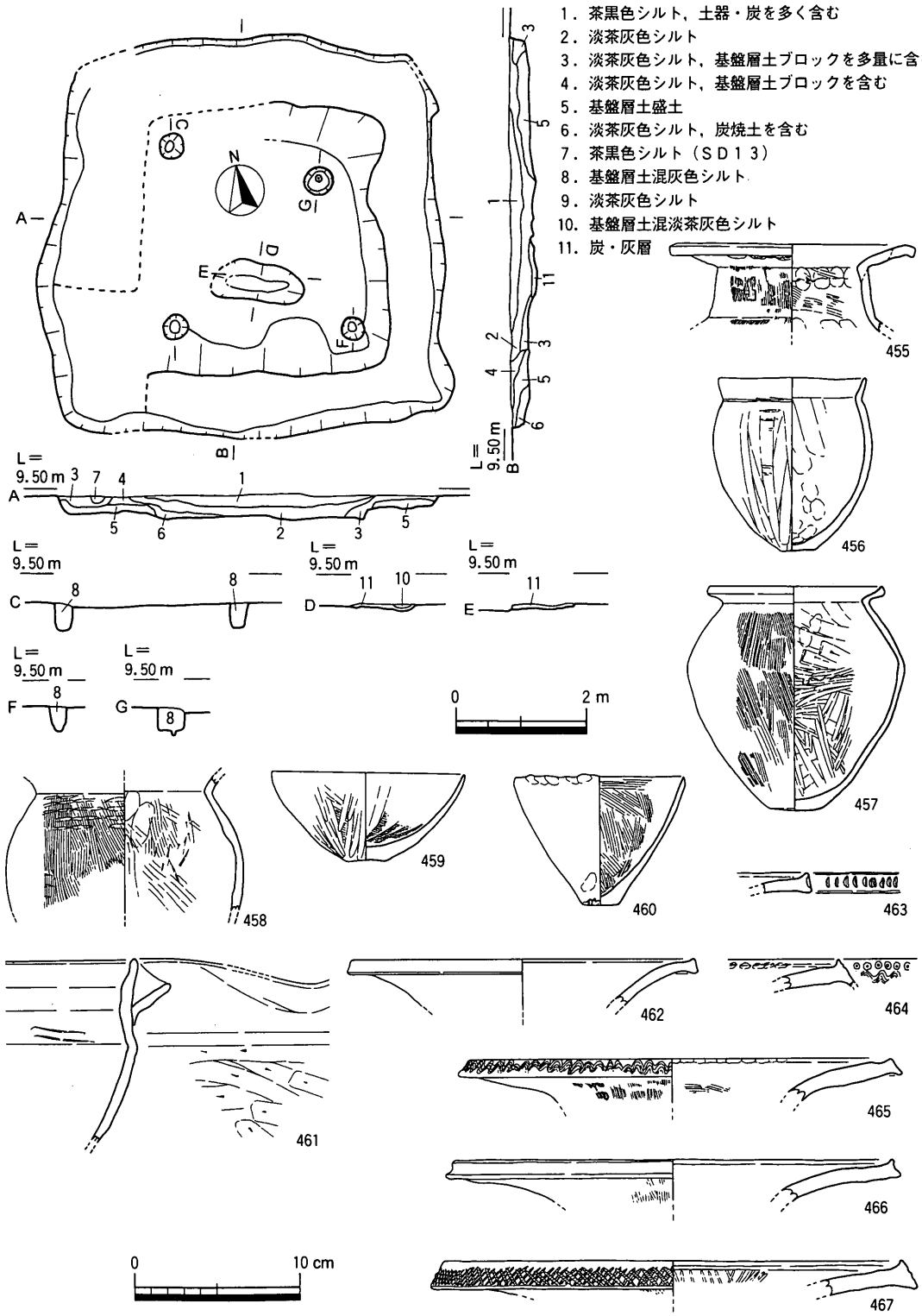
２④⑤ＳＨ０４（第63～67図）

C20区画に位置する。耕作土直下で検出した。北東隅の柱穴がややずれているが，４つの主柱穴であろう。基盤層盛土によるベッド状遺構を伴うが，調査時には十分ベッド状遺構を認識しないまま掘り下げてしまったので，ベッド状遺構の平面形は断面図及び遺構検出時の写真からの推定である。南西部にはベッド状遺構が存在しなかったと考えられる。中央やや南よりに炉跡がある。また，床面から台石状の石が出土している。住居跡埋土断面図から中央部が土器片や炭を多く含む落ち込み状の堆積であり，竪穴住居跡廃絶後，ゴミの廃棄所として利用されていることがわかる。遺物はコンテナ約７箱出土している。

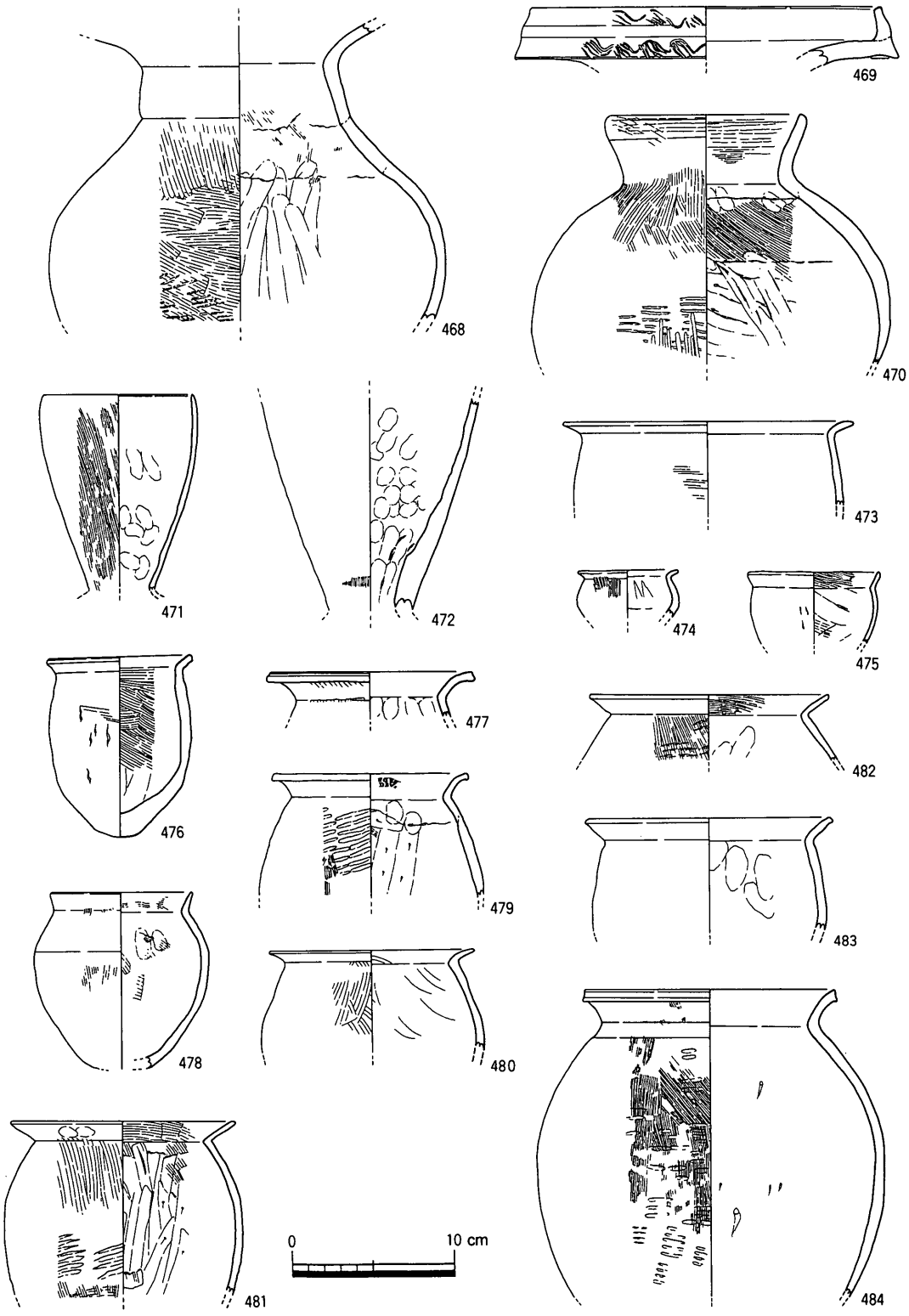
455～461は床面出土土器である。462～505は埋土から出土した土器である。462～500は埋土下層（２層以下）から出土した土器である。484はＳＨ０３出土の破片と接合できた。501～503は埋土上層（１層）から出土した土器である。504と505は，出土層位不明である。506～529は石器である。517～519は石庖丁である。520～526はスクレイパーとした。527と528は石斧とした。529は一部に摩滅痕があることから，石皿であろう。

２④⑤ＳＨ０５（第68～69図）

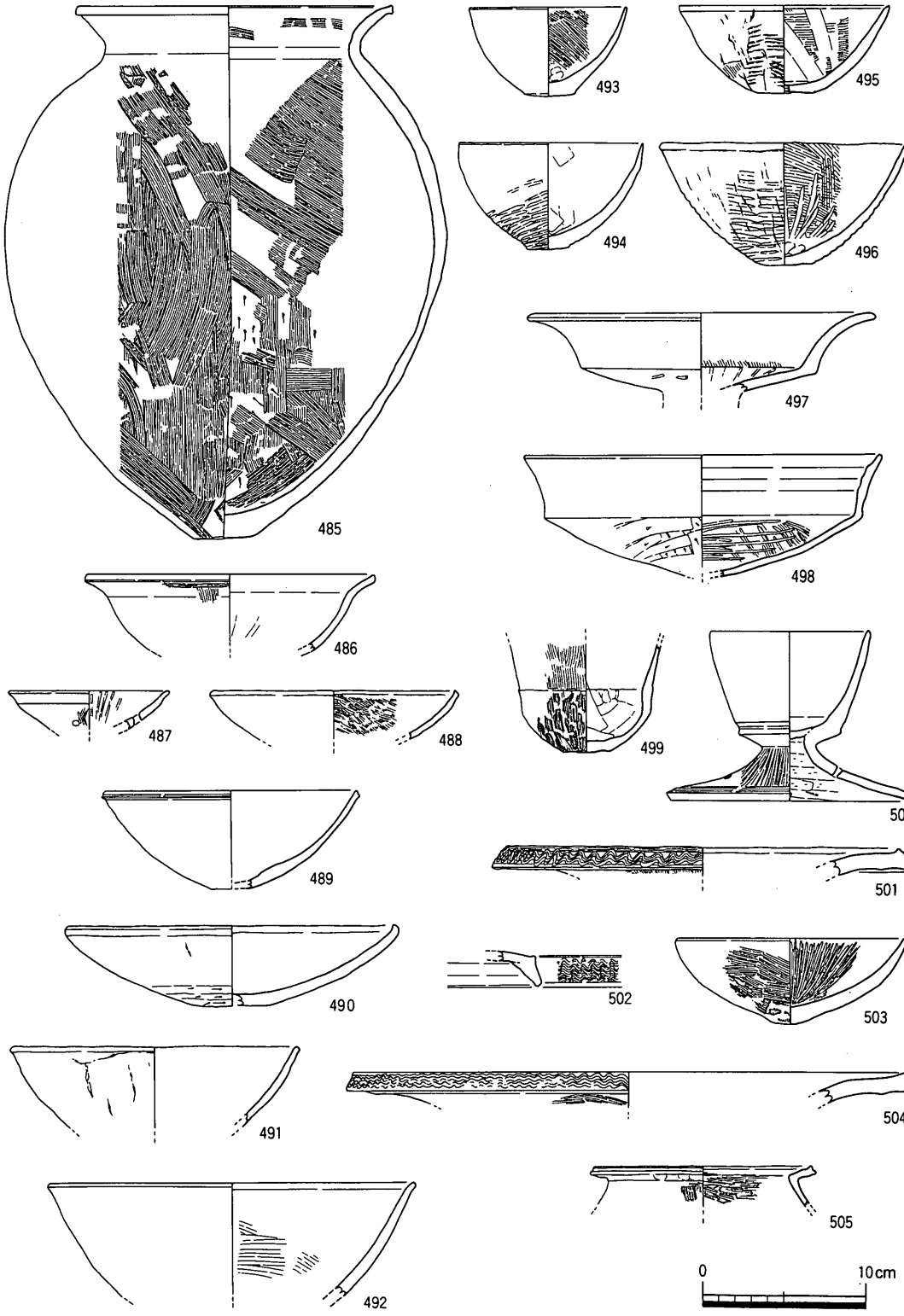
C20区画に位置する。北側を川跡の埋没に伴う基盤層の流出で削られているので全形は不明であるが，張り出し付きの円形竪穴住居跡である。埋土は，上層が土器片を多く含む茶黒色シルト層で，下層が基盤層土粒を含む淡茶色シルトであることから，床面近くについては埋め戻されたものと考えることができる。また張り出し部分周辺には下層埋土の直上に，



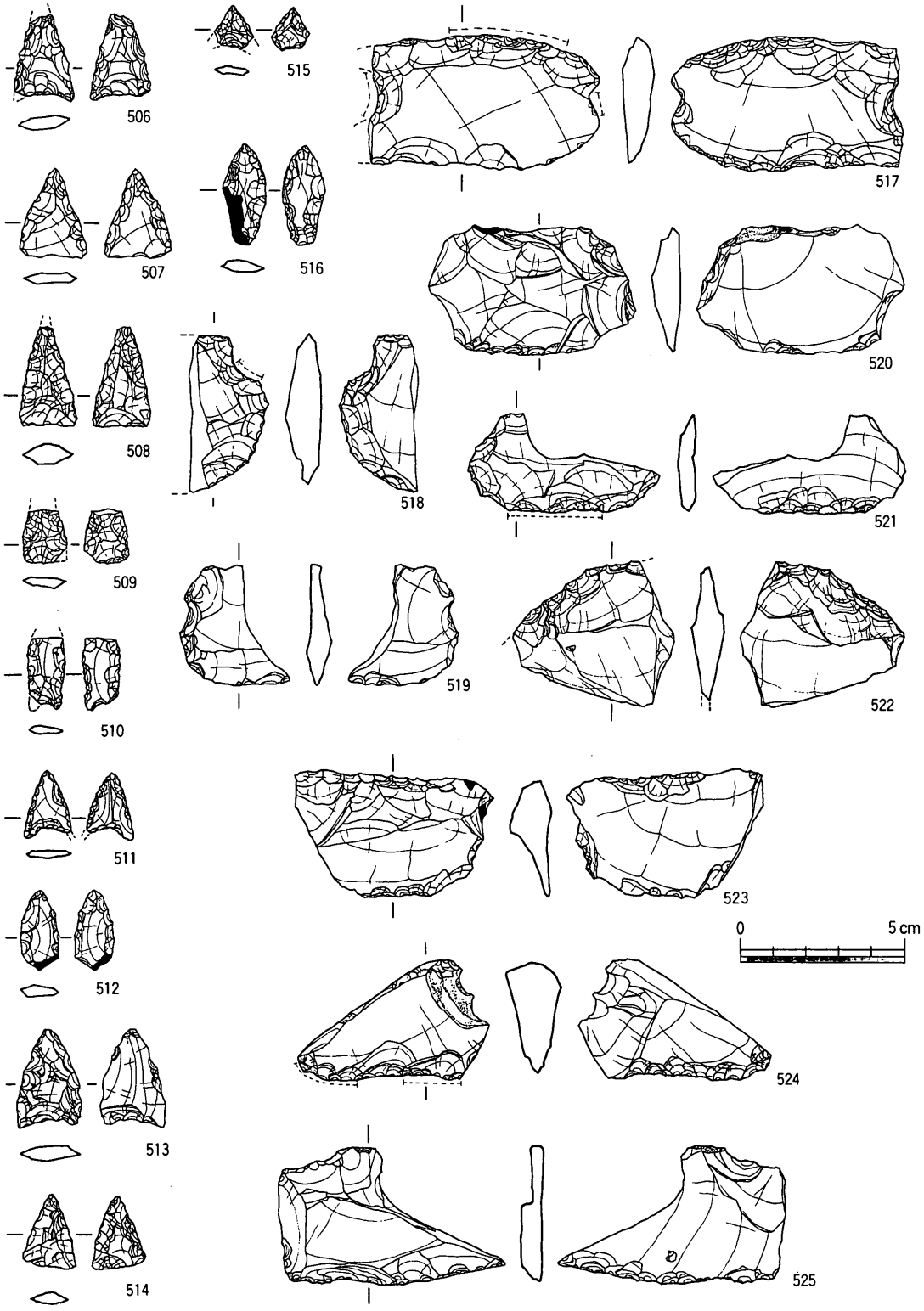
第63図　２④⑤ＳＨ０４平・断面図（1/100）及び出土土器①（1/4）



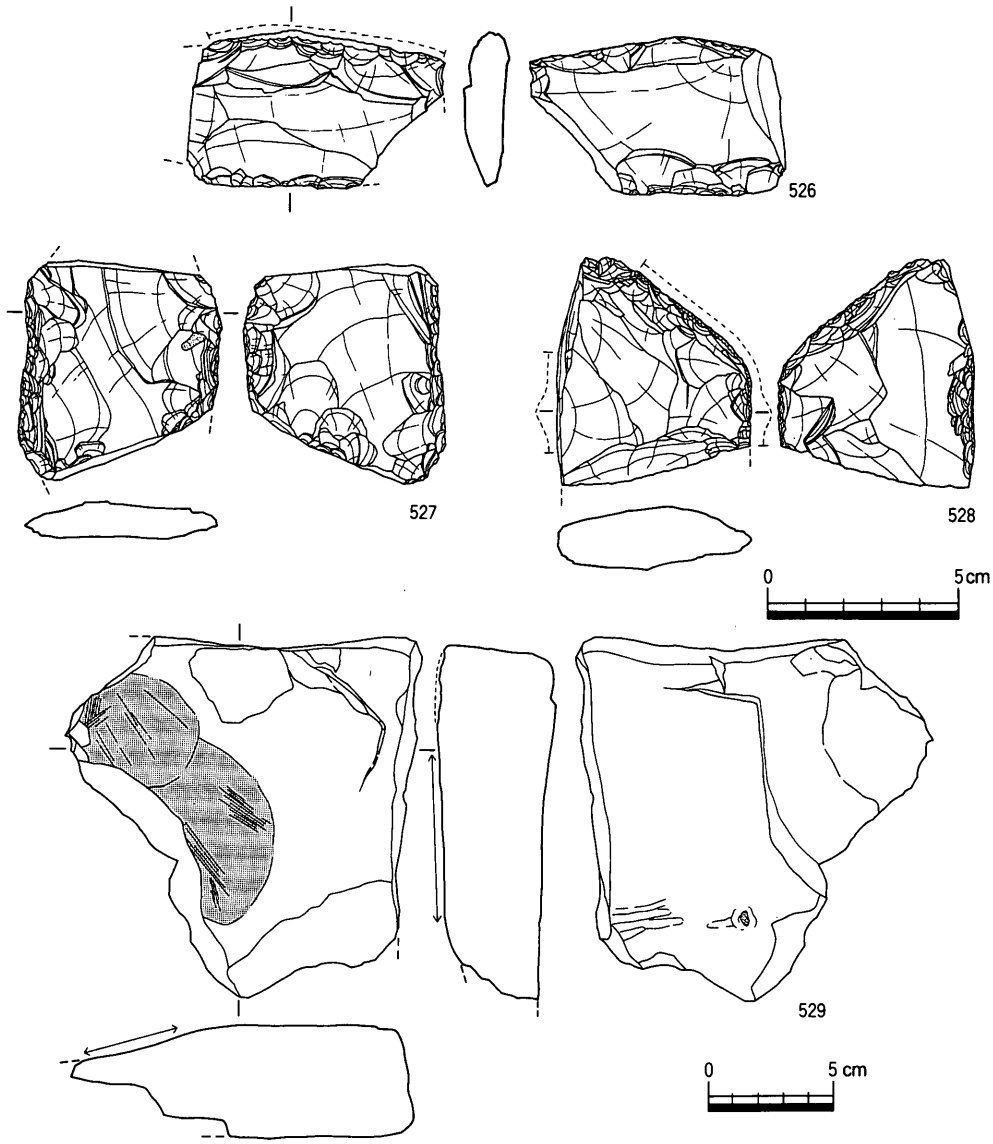
第64図　２④⑤ＳＨ０４出土土器②（1/4）



第65図　２④⑤ＳＨ０４出土土器③（1/4）

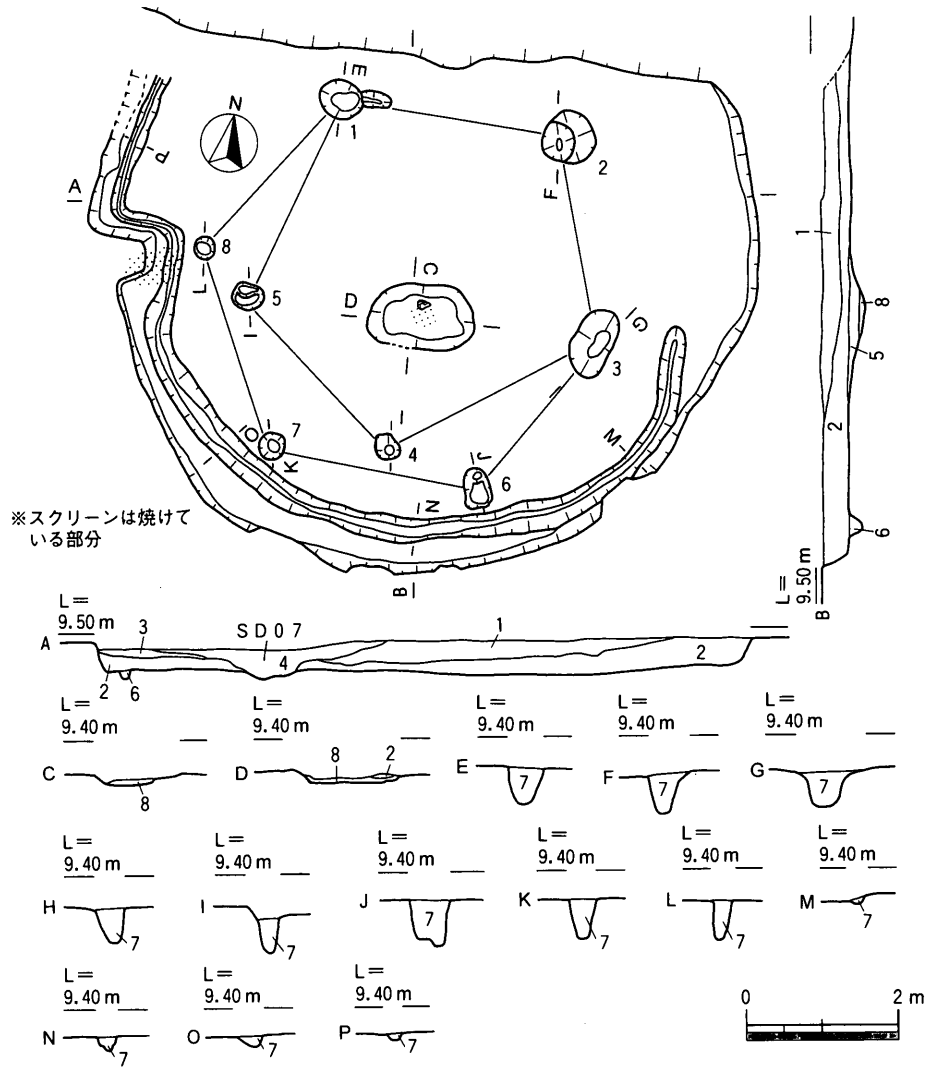


第66図　２④⑤ＳＨ０４出土石器①（1/2）

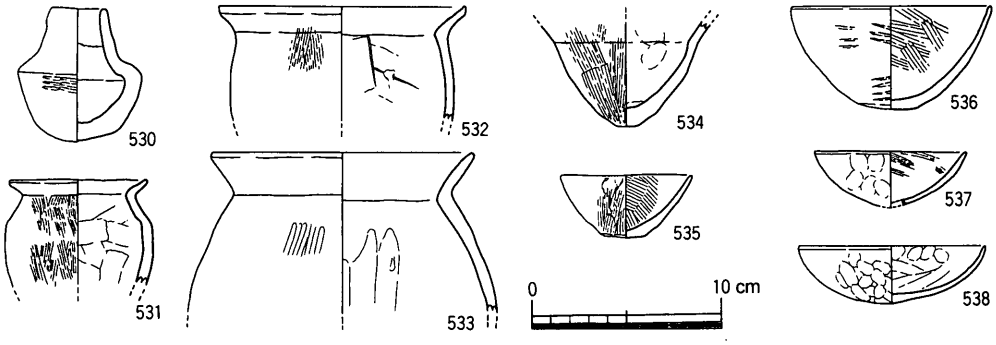


第67図　2④⑤ＳＨ０４出土石器②（1/2，1/3）

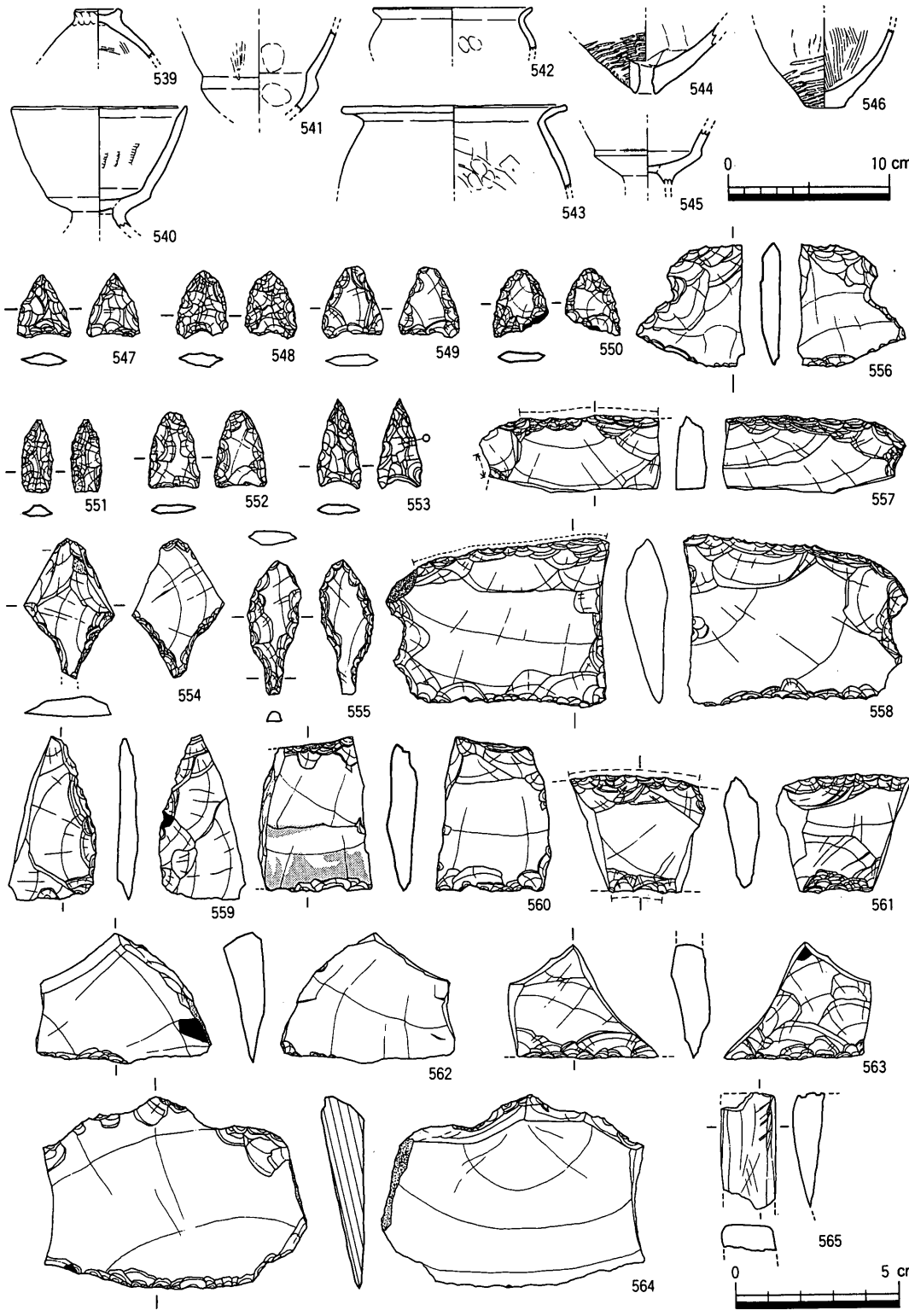
炭や焼土を大量に含む層が存在した。張り出し部分の南端の壁は熱で赤変していた。また埋土２層中の壁際からはミニチュアの壺と鉢が並んで出土している。炉跡は中央やや南よりにあり，炉底中央部は赤変していた。壁溝は１条であるが，壁際からは部分的に離れている。これを床面の拡張によるものと考えれば，主柱穴の配置も考えやすくなる。つまり，柱穴１－２－３－４－５の組合せと１－２－３－６－７－８の組合せである。両組合せとも柱間距離は約275cmで等しい。つまり，住居の拡張に伴い柱数を１本増やして対応し，その時既存の柱のうち３本はそのままで使ったのであろう。遺物はコンテナ約５箱出土している。



1．茶黒色シルト，土器片多し
2．淡茶色シルト，基盤層土（白黄色シルト）粒混炭を含む
3．焼土，基盤層土（白黄色シルト）ブロック，炭を大量に含む，淡茶色シルト
4．茶色シルト（ＳＤ０７）
5．焼土，炭，基盤層土（白黄色シルト）ブロックを含む，淡茶色シルト層（炉跡）
6．基礎層土（白黄色シルト）ブロックを含む，灰茶色シルト（壁溝）
7．基盤層土混灰色シルト
8．炭層



第68図　２④⑤ＳＨ０５平・断面図（1/100）及び出土土器①（1/4）



第69図　２④⑤ＳＨ０５出土土器②（1/4）・石器（1/2）

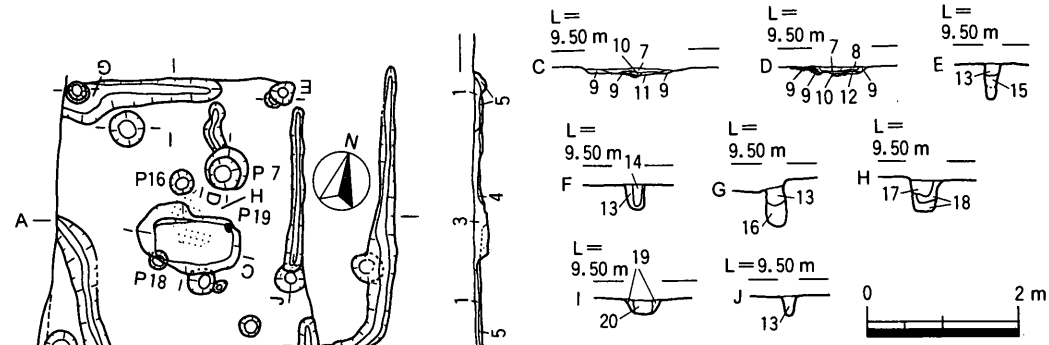
530～541は，埋土下層から出土した土器である。530と535は壁際で出土したミニチュア土器である。542～545は上層出土土器である。546は出土層位不明である。547～565は石器である。565は柱状片刃石斧の刃部に近い部分の破片を加工したものであろう。

２④⑤ＳＨ０６，ＳＨ０７（第70～71図）

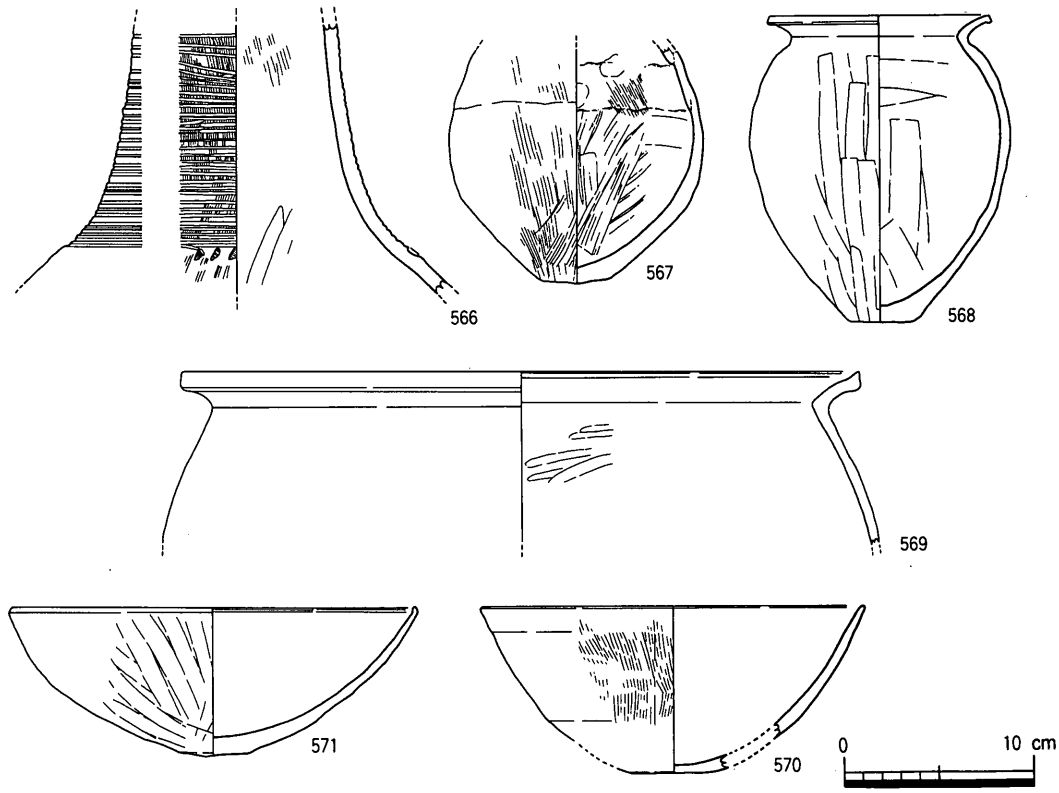
D20区画に位置する。調査時に２つの住居跡の壁溝が重なっているものとして考え，西側をＳＨ０６，東側をＳＨ０７とした。しかしながら，遺構の残存している深さが約５～10cmと浅いことの影響もあり，壁溝の新旧関係や住居跡に伴う柱穴も明確ではない。ここでは，２つの住居跡が重なっているものか，あるいは１つの住居跡でベット状遺構があるものかは，判断できない。確実にこの住居跡に伴う遺構は，壁溝，ピット７及び炉跡であろう。Ｐ16は床面出土の土器と重なることから，竪穴住居跡廃絶時以前の遺構であり，竪穴住居跡に伴う遺構である可能性がある。Ｐ18及びＰ19は炉跡完掘後に検出されているので，これも竪穴住居跡に関連する可能性がある。なお図面には，西側壁溝は記録されていないが，床面検出時の写真には壁溝状のものが写っているので，これを西側の壁溝として報告しておく。コンテナ２箱の遺物が出土している。570は，ＳＨ０５埋土下層から出土した破片と接合したもので，炉跡，床面及びＰ７から出土している。567は壁溝埋土から出土した。572は炉跡，壁溝，床面から出土したものが接合した。568はＰ７から出土した。577は石庖丁である。578はスクレイパーとした。

２④⑤ＳＨ０８（第72～74図）

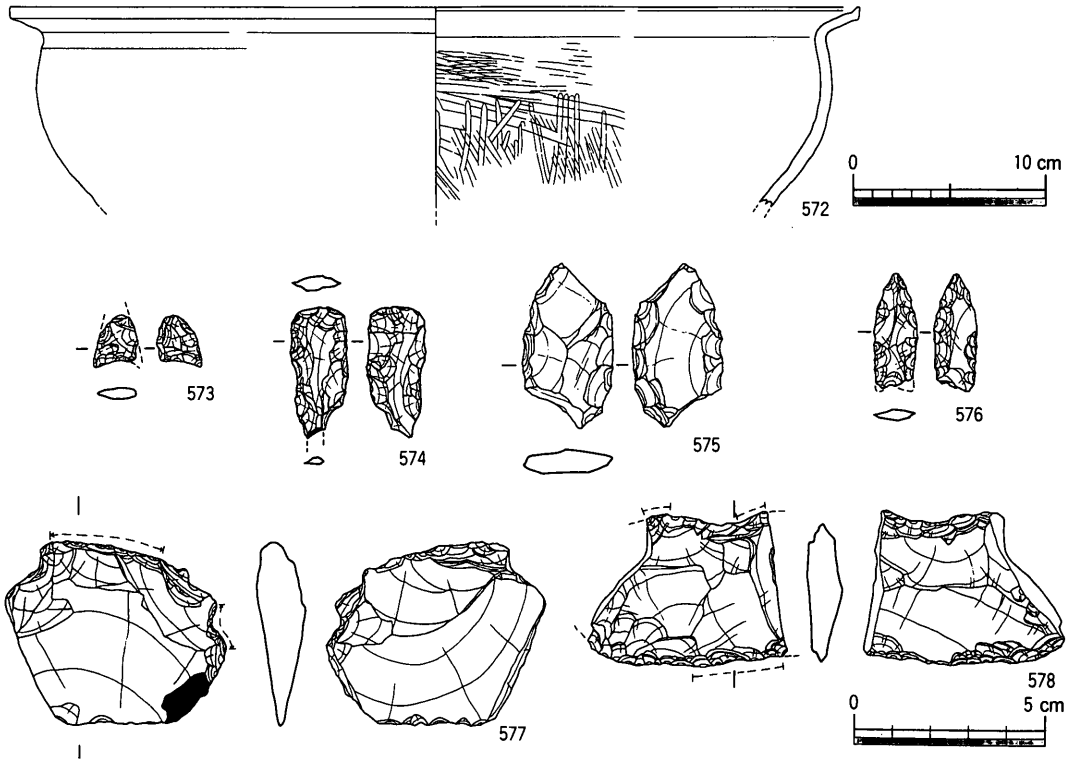
B20・C20区画に位置する。中央部分はＳＤ１２により，破壊されている。埋土は，基盤層土を多量に含んでいる。床面は２回にわたり検出作業を行った。上面で検出した状況が，第73図ａである。この時点でも複数の壁溝及び柱穴を検出し，建物の拡張等が想定できた。上面調査後，部分的に断面で下位の遺構が確認されたので，上位床面をさらに掘り下げていったところ，第73図ｂのように遺構が検出できた。なお上位部分から掘り下げたところは主に上位床面のベット状遺構と考えられる周囲の高い部分である。このことから，当初方形に壁溝が巡る住居跡が存在し，以後住居跡を拡張して最終的に張り出し付きの円形住居跡に変化したものと考えられる。柱穴及び壁溝の層位的な関係から柱穴の組合せの変遷を復元したのが，第73図ｃ～ｆである。当初は４本の主柱穴で，後のこのうちの３主柱穴を利用したうえで２主柱穴を追加した５主柱穴，そして最終的に６主柱穴へ変化した



1．濁黄灰褐色粘質土
2．濁黄灰色粘質土
3．暗黄褐灰色粘質土，焼土，炭を多く含む
4．黒灰色粘質土
5．濁灰黄色粘質土，基礎層土に似る
6．濁灰褐黄色砂質土，基盤層土に似るが遺物を含む壁溝埋土
7．暗黄褐灰色粘質土，焼土塊，炭を多く含む
8．暗黄褐灰色粘質土，焼土塊を多く含む部分
9．黒灰色粘質土
10．濁褐黄灰色砂質土，炭土器を多く含む
11．濁白黄灰色砂質土，炭を含む
12．濁黄灰色砂質土，炭を少量含む，基盤層土が撹乱
13．黄灰茶褐色砂質土
14．暗灰褐色粘質土
15．暗灰褐色粘質土，砂が混じる
16．灰色粘質シルト
17．暗茶褐色粘質土，黄灰色基盤層土を多く含む
18．暗茶褐色粘質土，炭を多く含む
19．黄灰褐色粘質土
20．暗茶灰褐色粘質土



第70図　2④⑤ＳＨ０６，ＳＨ０７平・断面図（1/100）及び出土土器①（1/4）



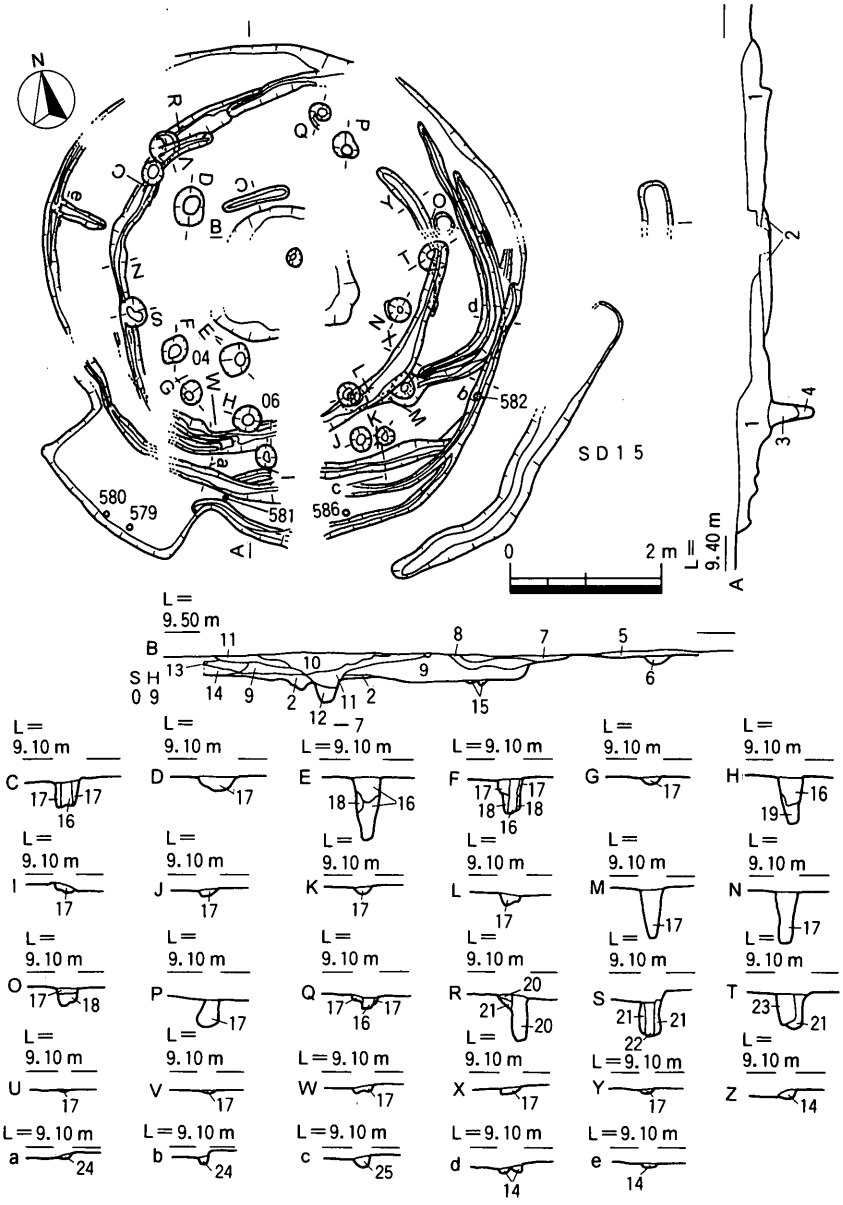
第71図　２④⑤ＳＨ０６，ＳＨ０７出土土器②（1/4）・石器（1/2）

と考えられる。おそらく５主柱穴の段階で平面形は円形へと変化したのであろう。なお，最終的な平面形の柱穴の組合せの復元においては，ＳＰ０４とＳＰ０６が張り出し部分と関連すると考えて，柱穴の配置を復元した。炉跡中央部にはピットが存在する。コンテナ２箱の遺物が出土している。なおＳＤ１５は，ＳＨ０８に関連する溝かもしれない。

579～582は床面から出土した土器であり，579と580は張り出し部分から出土した。また，581は壁際からつぶれた状態で出土した。582も壁際から出土した。これらはいずれも最終床面廃絶時の遺物と考えられる。下川津Ⅲ式頃であろう。583は炉跡から出土した。584～586は埋土から出土した。587～592は石器である。

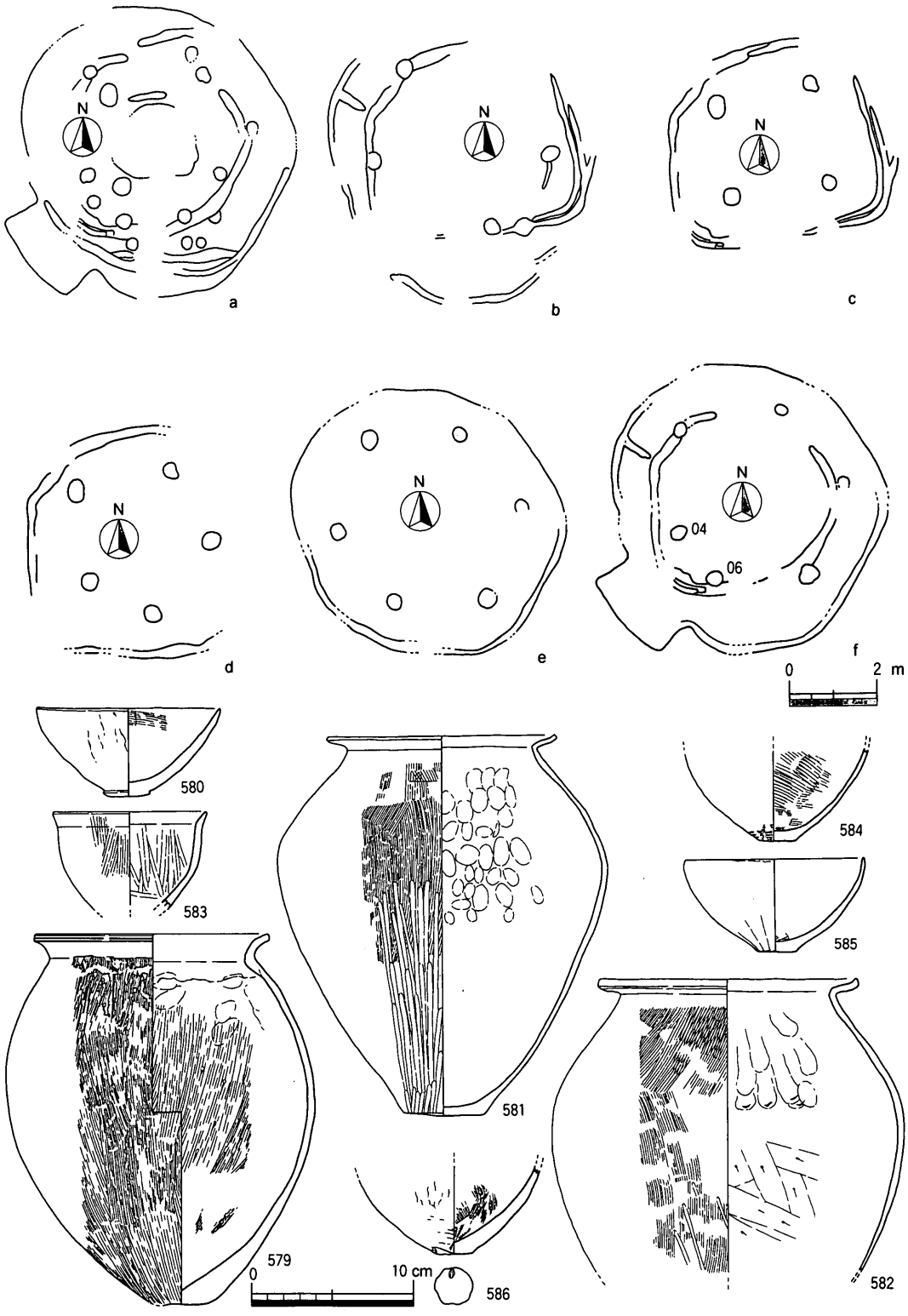
２④⑤ＳＨ１０（第75図）

E19・E20区画に位置する。後世の削平により残存状況は悪く，平面形は明確につかめなかった。中央に炭を多量に含む炉跡のほかに，炭を少量含む浅い土坑がある。これも炉跡と考えると，住居跡の立て替えが想定され，これが平面形の不明瞭さの一因であるとすることもできる。主柱穴については，後世の掘立柱建物跡の柱穴が同じような位置にあることから明確にはわからないが，埋土・深さ等から４主柱穴と考えたい。遺物は，コンテナ１箱出土している。

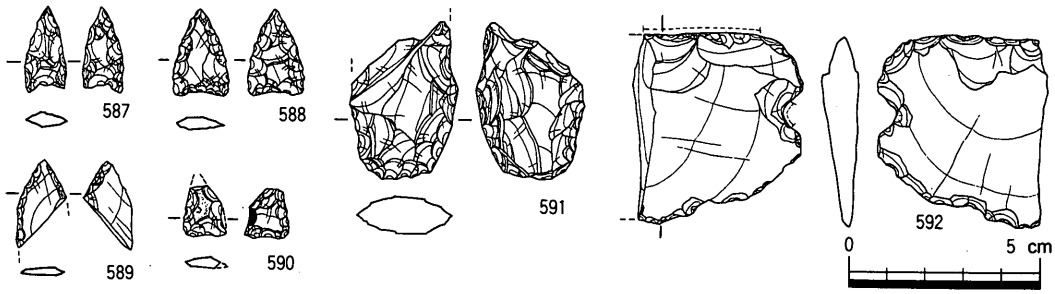


1．茶灰色シルト（基盤層土ブロックを多量に含む）
2．炭，灰，焼土層（炉跡）
3．淡茶灰色シルト，基盤層土ブロック少量混入
4．淡灰色シルト，基盤層土ブロック多量混入
5．茶灰色シルト，Mn含む
6．基盤層土（白黄色シルト）混灰茶色シルト
7．灰茶色シルト
8．灰茶色シルト，基盤層土混
9．茶灰色シルト，基盤層土ブロックを多量に含む
10．茶黒色シルト，土器片多量に含む（ＳＤ１２）
11．（淡茶色）灰色シルト，炭を若干含む（ＳＤ１２）
12．灰色シルト，上部に炭を多量に含む（ＳＤ１２）
13．基盤層土ブロックを多量に含む黒茶色シルト層（ＳＨ０９）
14．灰色シルト，基盤層土ブロックを含む（ＳＨ０９）
15．基盤層土（白黄色シルト）ブロック混灰色シルト
16．淡茶灰色シルト，基盤層土ブロック少量混入
17．淡茶灰色シルト，基盤層土ブロック多量混入
18．白黄色シルト（基盤層土）
19．淡灰色シルト基盤層土ブロック多量混入
20．基盤層土ブロック混灰色シルト
21．基盤層土ブロック層
22．基盤層土（白黄色シルト）ブロック混黒灰色シルト
23．基盤層土（白黄色シルト）ブロック混灰色シルト
24．灰茶色シルト，基盤層土ブロック混入
25．灰茶色シルト，基盤層土ブロック多量混入

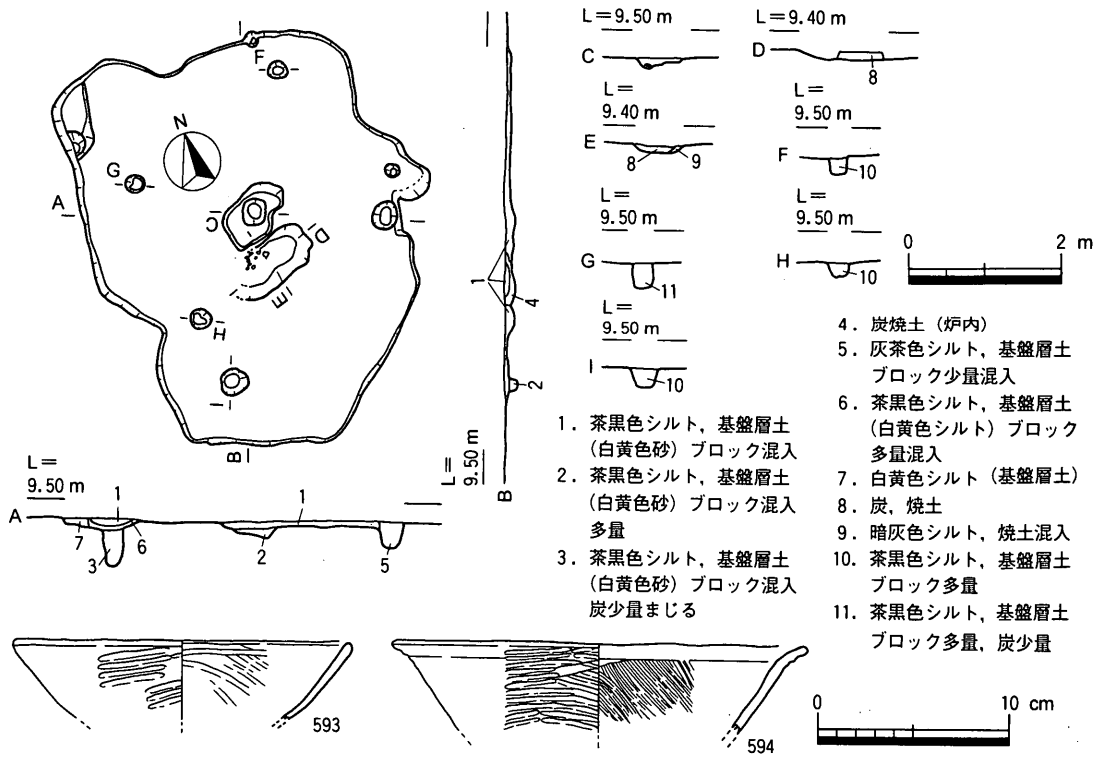
第72図　２④⑤ＳＨ０８平・断面図（1/100）



第73図　2④⑤ＳＨ０８上層・下層平面図，変遷図（1/150）及び出土土器（1/4）

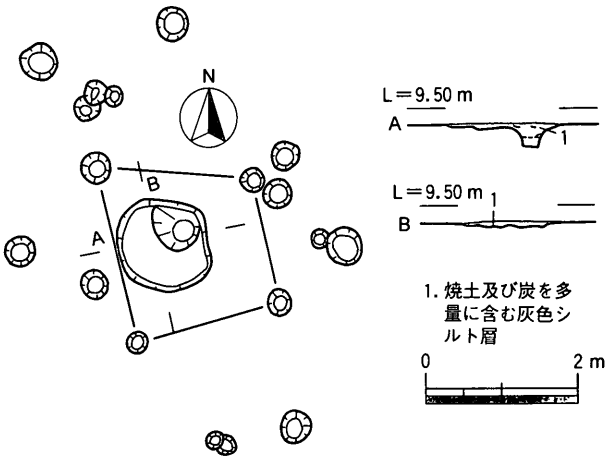


第74図　２④⑤ＳＨ０８出土石器（1/2）



第75図　２④⑤ＳＨ１０平・断面図（1/100）及び出土土器（1/4）・石器（1/2）

593は，炉跡から出土した。594は，炉跡及びその周囲から出土した。598は砥石である。



第76図　２④⑤ＳＫ２０平・断面図（1/100）

２④⑤ＳＫ２０（第76図）

D20区画に位置する。削平により，壁は消失し，炉跡のみが残存した竪穴住居跡であろう。炉跡部分をＳＫ２０として調査を行った。炉跡は一部分がピット状にくぼむものである。主柱穴は，出土遺物及び規模等から４つであろう。約１袋の遺物が出土しているが，図化できる遺物はない。

２④⑤ＳＢ０５（第77図）

C21区画に位置する。埋土から須恵器を出土しないこと及びＳＤ０３に沿うような方向であることから弥生時代終末期の掘立柱建物跡とした。主軸方位は，Ｎ２°Ｅである。柱間距離は約3.1～3.5ｍとやや大きい。埋土はいずれも基盤層土を多く含む。いずれの柱穴からも弥生土器が出土した。599と600はC21ＳＰ３７３から出土した小型の壺である。601はC21ＳＰ４１４から出土した石鏃である。

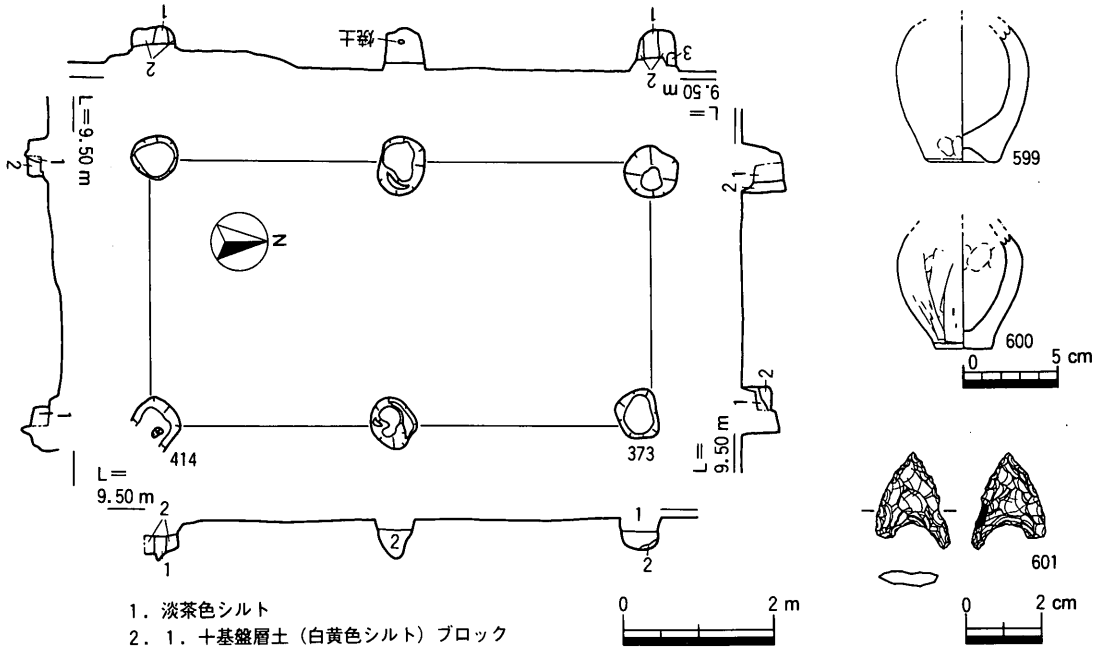
土坑

２④⑤ＳＫ２２（第78図）

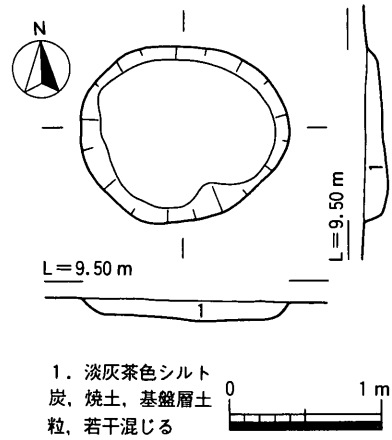
C20区画に位置する。ＳＨ０４より新しい。埋土は少量の炭及び焼土が混じる。出土遺物には中世の瓦器椀が１点あるが，埋土から考えて混入品であろう。他はすべて弥生土器であることから弥生時代終末期頃の遺構としておくが，602は弥生時代中期の土器である。

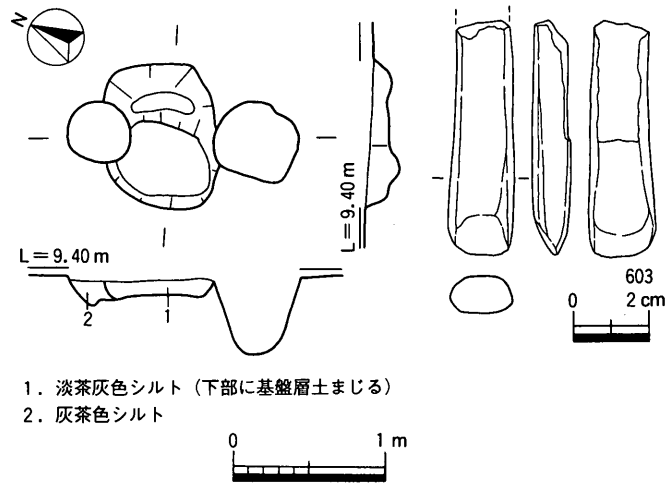
２④⑤ＳＫ２４（第80図）

C20区画に位置する。弥生土器約50片が出土した。浅い土坑で，埋土には少量の炭や焼土を含む。弥生時代中期に遡る可能性がある。604は弥生時代Ⅲ期前半頃の壺であろう。

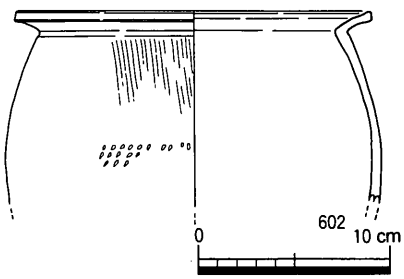


第77図　２④⑤ＳＢ０５平・断面図（1/100）及び出土土器（1/4）・石器（1/2）

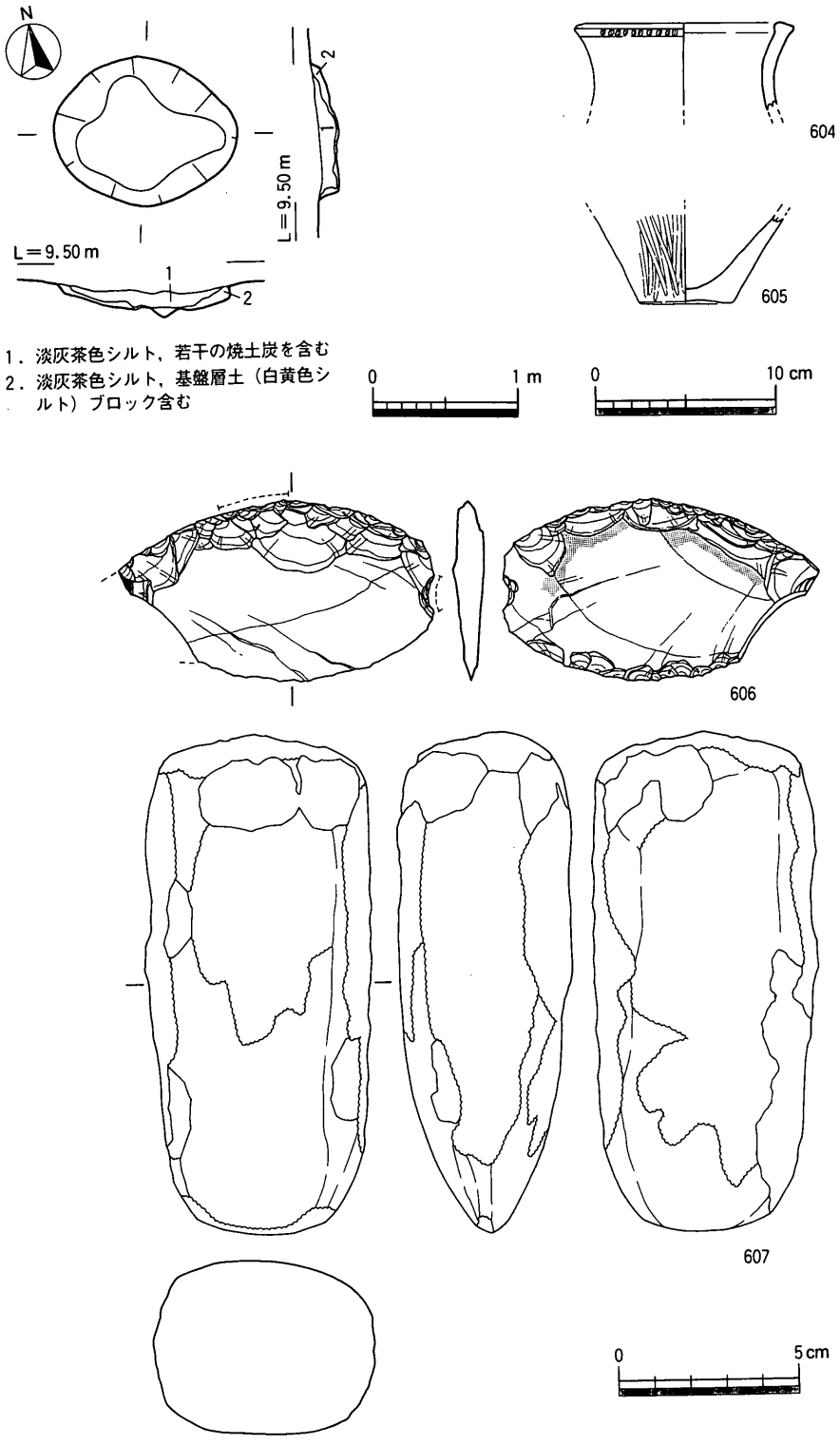




第79図　２④⑤ＳＫ２６平・断面図（1/50）
及び出土石器（1/2）



第78図　２④⑤ＳＫ２２平・
断面図（1/50）及び
出土土器（1/４）

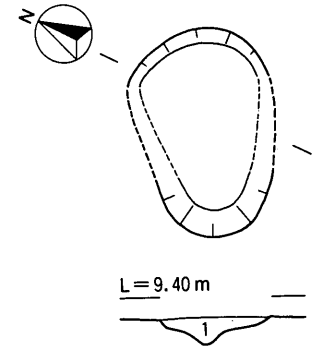


第80図　２④⑤ＳＫ２４平・断面図（1/50）及び出土土器（1/4）・石器（1/2）

606は石庖丁である。607は太型蛤刃石斧である。

２④⑤ＳＫ２６（第79図）

B20・C20区画に位置する。出土遺物が少ないため，時期はやや疑問が残るが，弥生土器のみ出土していること，後世の掘立柱建物跡より古いことから当時期とする。603は扁平片刃石斧である。



第81図　２④⑤ＳＫ２７ 平・断面図（1/50）

２④⑤ＳＫ２７（第81図）

D19区画に位置する。浅い土坑である。出土遺物はわずかの弥生土器にすぎないため，詳細な時期は不明であるが，ＳＤ１８より古いことから当時期として報告する。

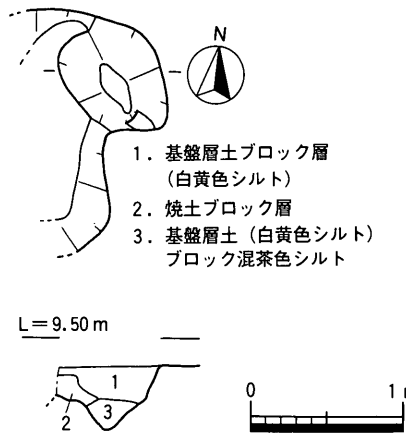
３②ＳＫ０１，ＳＫ０２，ＳＫ０３，ＳＫ０４（第83図）

C28区画に位置する。弥生時代終末期の包含層除去後に検出された遺構である。埋土は砂及びシルトあるいは両者のラミナ状堆積であることから，流水により形成された窪地であろう。したがって，弥生時代終末期の溜まりの遺物として報告した方が適当であろうが，ここで報告しておく。ＳＫ０２から弥生時代終末期の土器が２袋程度出土したが，他からは数片のみの出土である。608～610は，ＳＫ０２出土土器である。611はＳＫ０４出土土器である。612はＳＫ０２から出土した二次加工ある剥片である。613はＳＫ０１から出土した扁平片刃石斧の破片である。

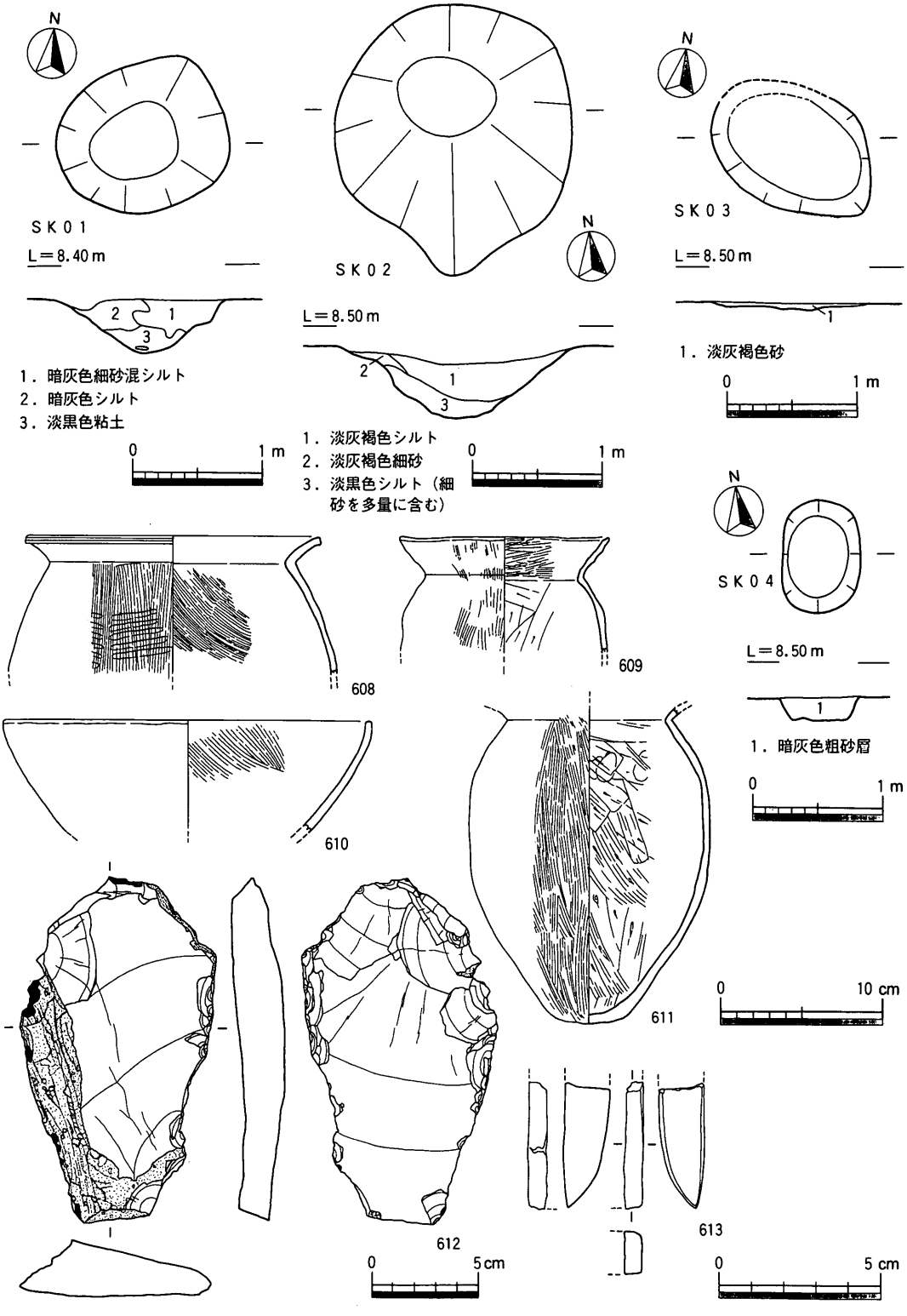
不明遺構

２④⑤ＳＸ０１（第82図）

C20区画に位置する。ＳＤ１２に破壊されている。基盤層に挟まれたように焼土を検出した。十分な検討を行わないまま調査を終えてしまい，性格はつかめなかった。おそらく基盤層土で埋められた焼失家屋ではなかったかと考えられる。弥生土器が２片出土している。



第82図　２④⑤ＳＸ０１ 平・断面図（1/50）



第83図　3②ＳＫ０１・ＳＫ０２・ＳＫ０３・ＳＫ０４平・断面図（1/50）
及び出土土器（1/4）・石器（1/2・1/3）

溝跡

２④⑤ＳＤ０３（第84～91図）

C20・C21区画の東端に位置する。北側は川跡に流れ込んでいる。埋土は大きく３層に分かれ，上層は黒茶色シルト層であり，多量の土器片を含む。中層は茶灰色シルト層であり，大量の土器片を含む。下層は基盤層土を中心とする堆積である。なお溝の南部分では上層土の堆積は見られない。土層断面から判断すれば，上層及び中層は再掘削された溝の埋土と判断される。コンテナ約20箱の弥生時代終末期の土器が出土している。なお出土した土器には完形のものも多い。

出土土器については，層を越えて接合した遺物については下の層出土の遺物として掲載している。614～650は上層出土土器である。651～703は中層出土土器である。651は弥生時代中期の土器である。704～722は下層出土土器である。723～726は出土層位不明の土器である。726は弥生時代中期の高坏である。741は縄文時代草創期の有舌尖頭器である。745は刃部が２つある石錐か。751～753はスクレイパーとした。754と755は楔形石器とした。756は横長剥片である。757は石錘である。758は熱を受けている。759は敲打痕ある石器である。

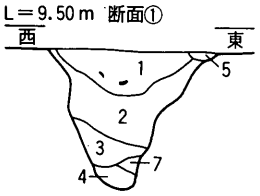
２④⑤ＳＤ０８（第92図）

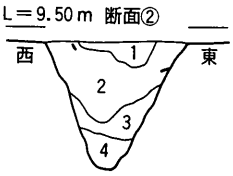
C21区画に位置する。ＳＨ０２のところでも報告したが，ＳＤ０３から分岐してＳＨ０２にとりつくようにのびている。最終埋没土はＳＨ０２にはのびていないが，初期の掘削時にはＳＨ０２までのびていたようである。埋土は大きく２層に分かれ，上層は茶灰色シルト層で，ＳＤ０３の中層に対応する。下層は基盤層を中心とする土層で，ＳＤ０３の下層に対応する。コンテナ２箱の遺物が出土している。

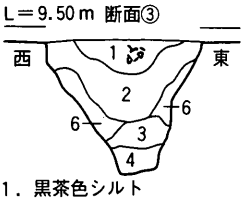
760・761は上層出土土器である。762～766は下層出土土器である。767～770は出土層位不明である。770はＳＤ０８に重なる後世の掘立柱建物跡の柱穴から出土したと記録されているが，おそらくＳＤ０８起源のものと考え，ここで掲載しておく。771は楔形石器である。

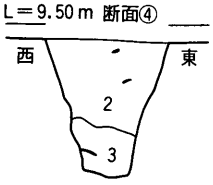
２④⑤ＳＤ１２（第93～95図）

C20区画に位置する。ＳＨ０１とＳＨ０４からのびる溝跡が合流し，最終的に川跡に流れ込むものである。ＳＨ０４とＳＤ１２の関係はＳＨ０２とＳＤ０８の関係と同様で，最終埋没土はつながらないものの，掘削時には溝跡と住居跡がつながっていたと考えられる。

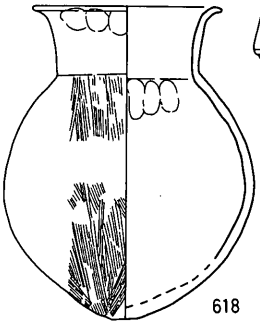


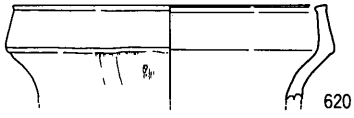


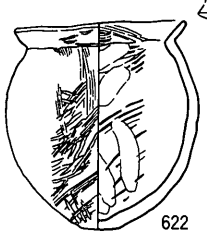


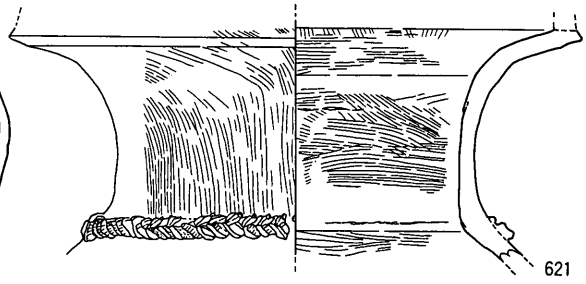


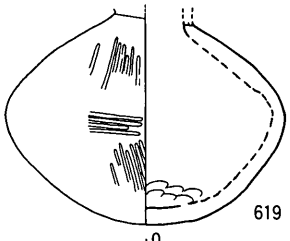
1．黒茶色シルト
2．茶灰色シルト層，灰色シルト＋Mn
　沈着多数
3．白黄色粘土層（基盤層土）
4．基盤層土（白黄色粘土）混茶灰色シルト層
5．灰白色シルト
6．基盤層土（淡灰黄色細砂）ブロックを多量に含む茶灰色シルト層
7．白灰色中～細砂層

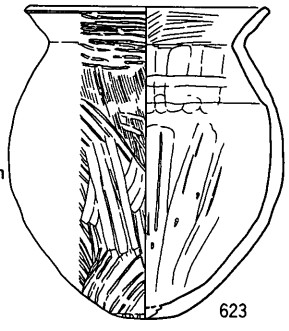


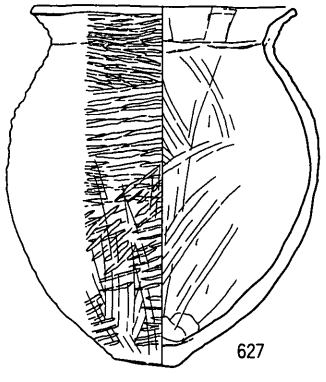


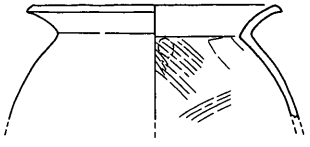


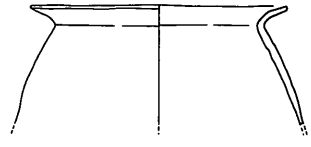


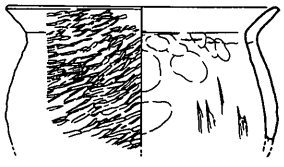


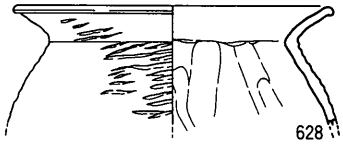


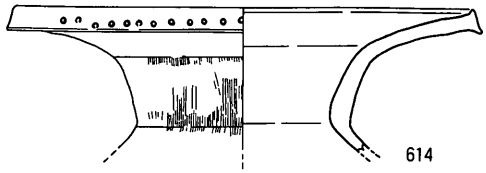


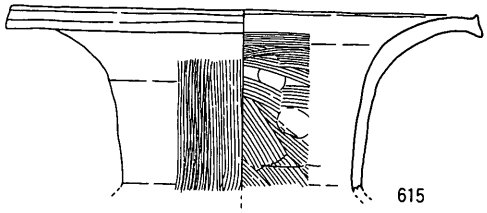


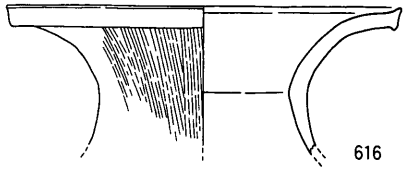


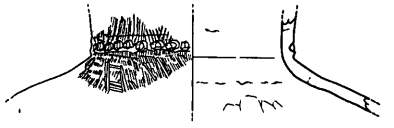


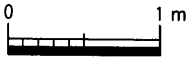




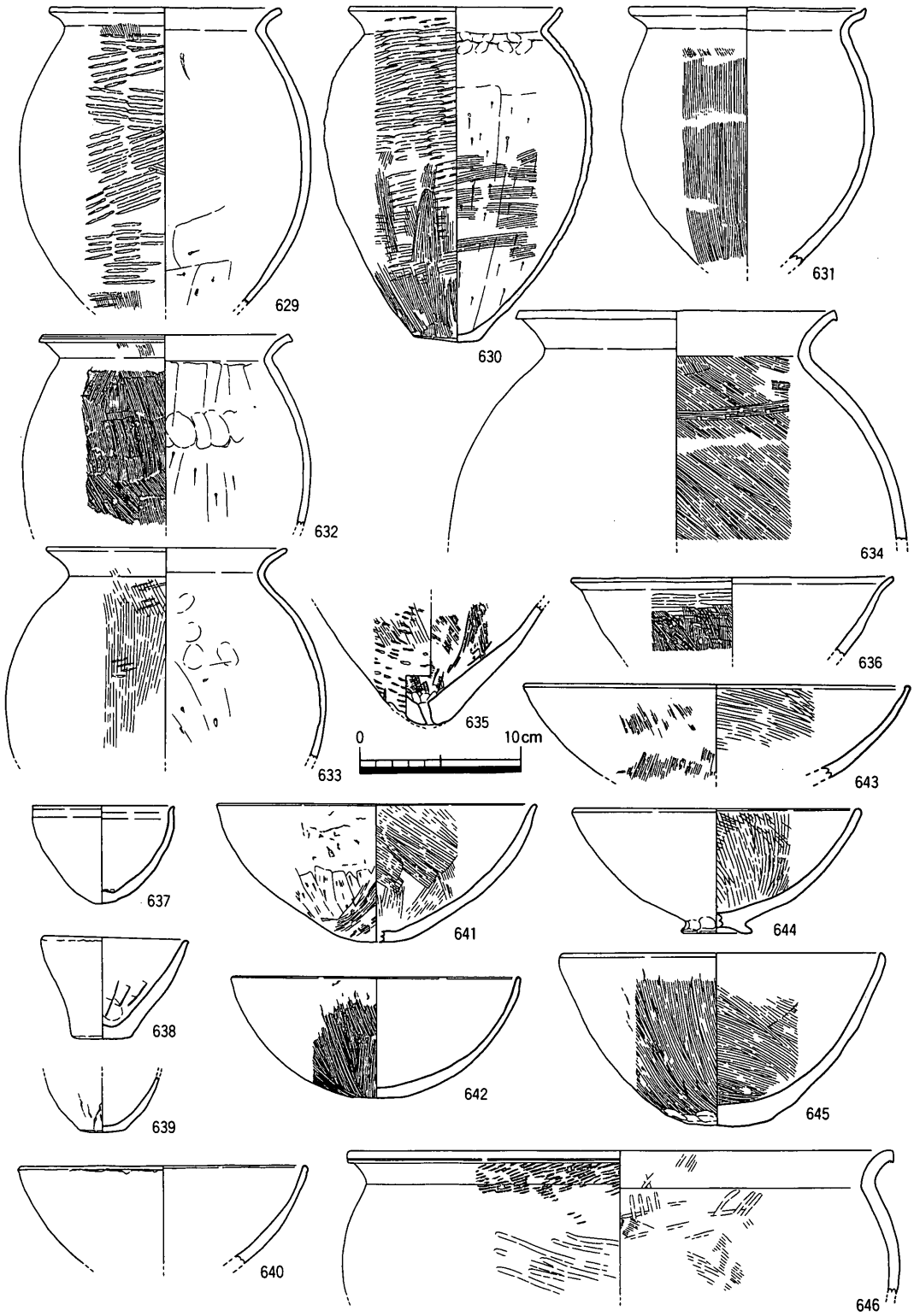




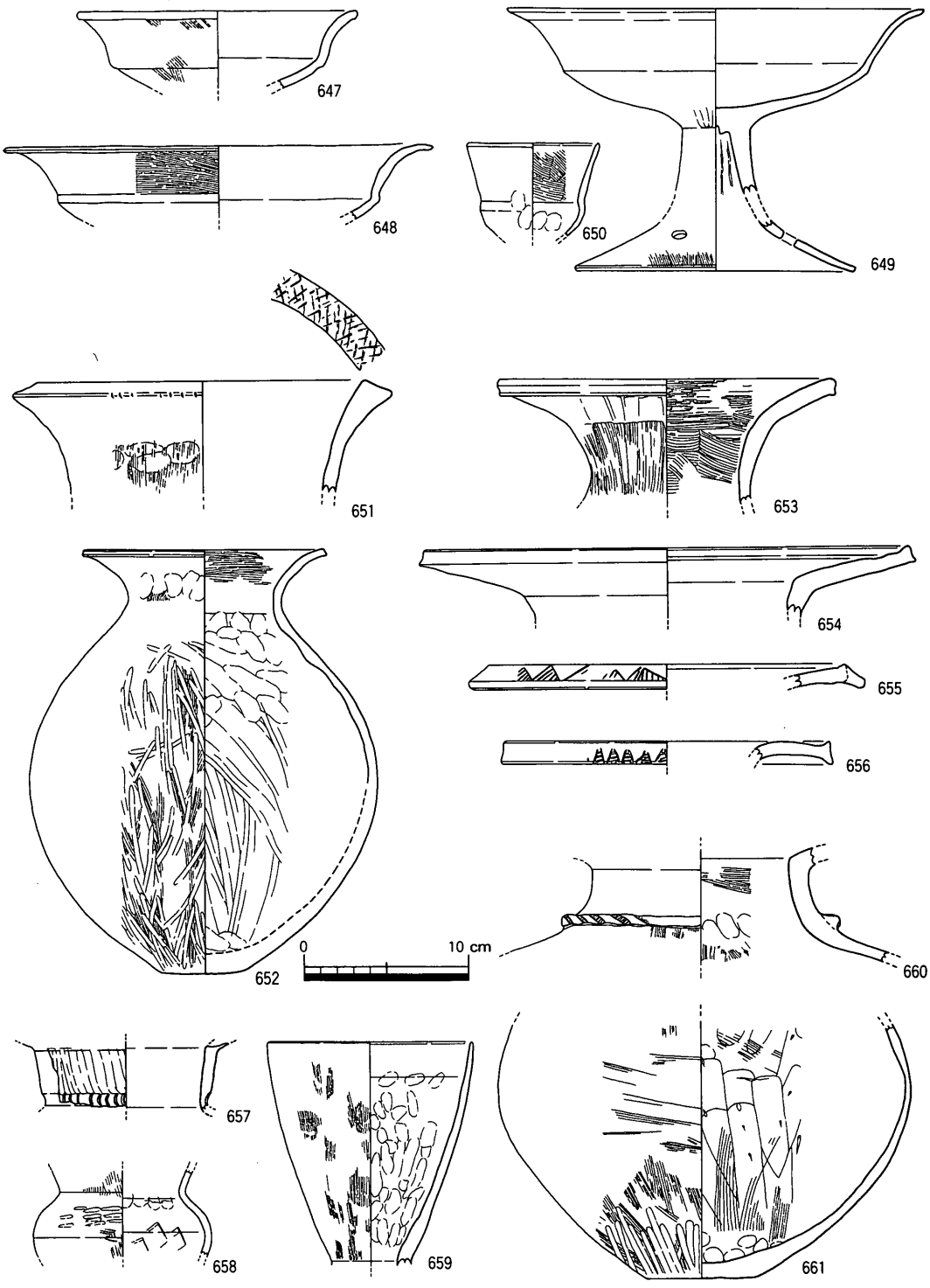




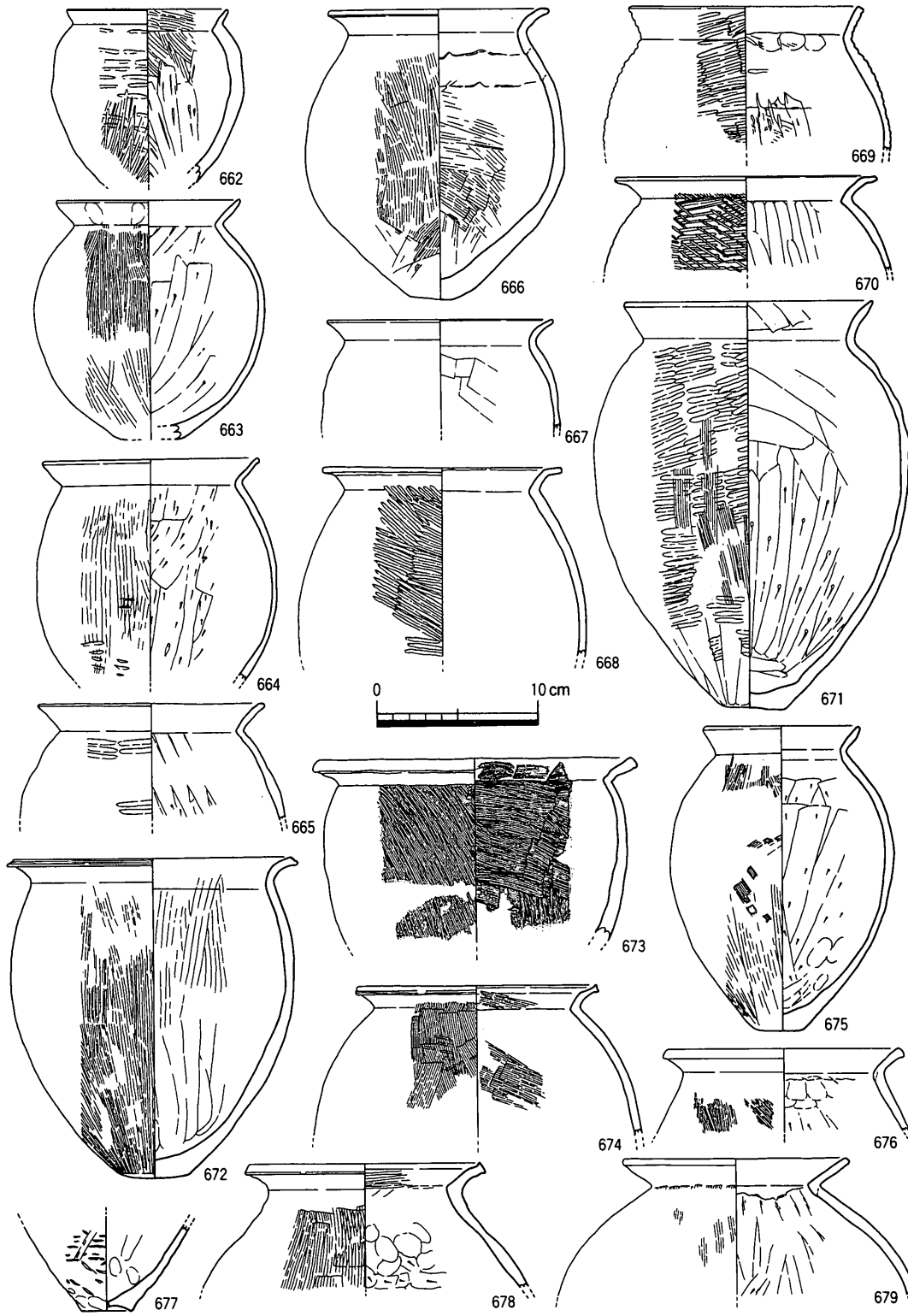
第84図　２④⑤ＳＤ０３断面図（1/50）及び出土土器①（1/4）



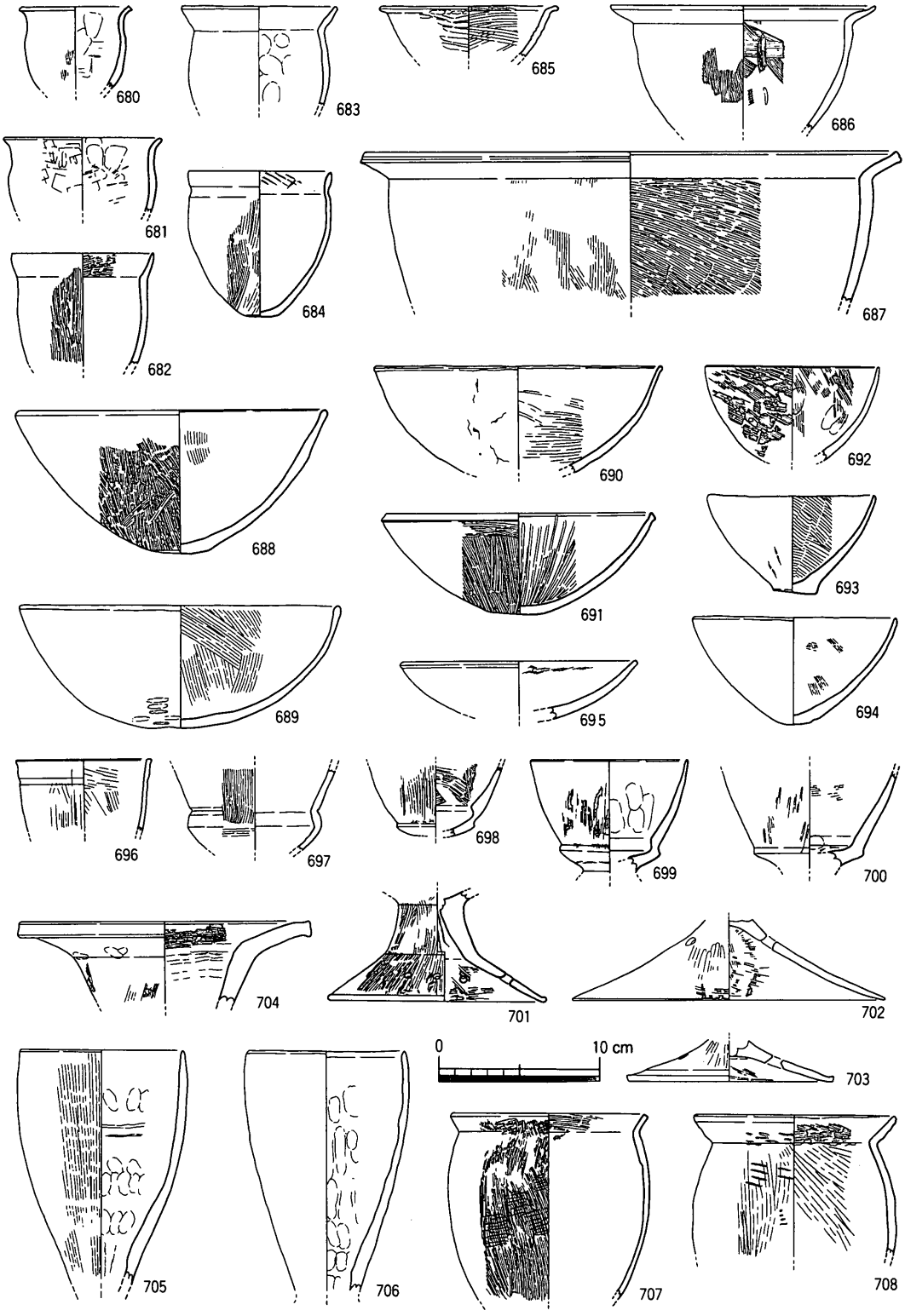
第85図　２④⑤ＳＤ０３出土土器②（1/4）



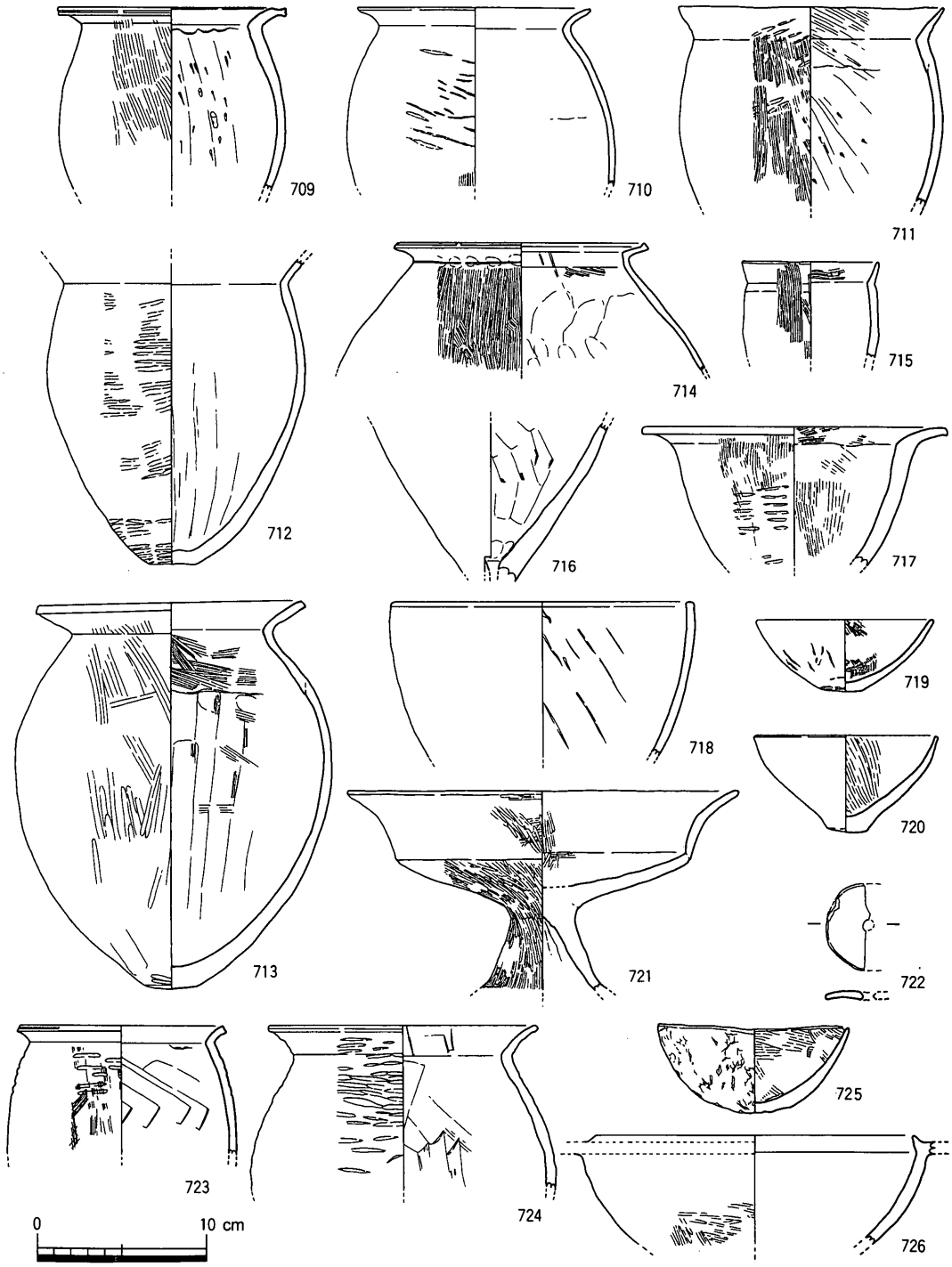
第86図　２④⑤ＳＤ０３出土土器③（1/4）



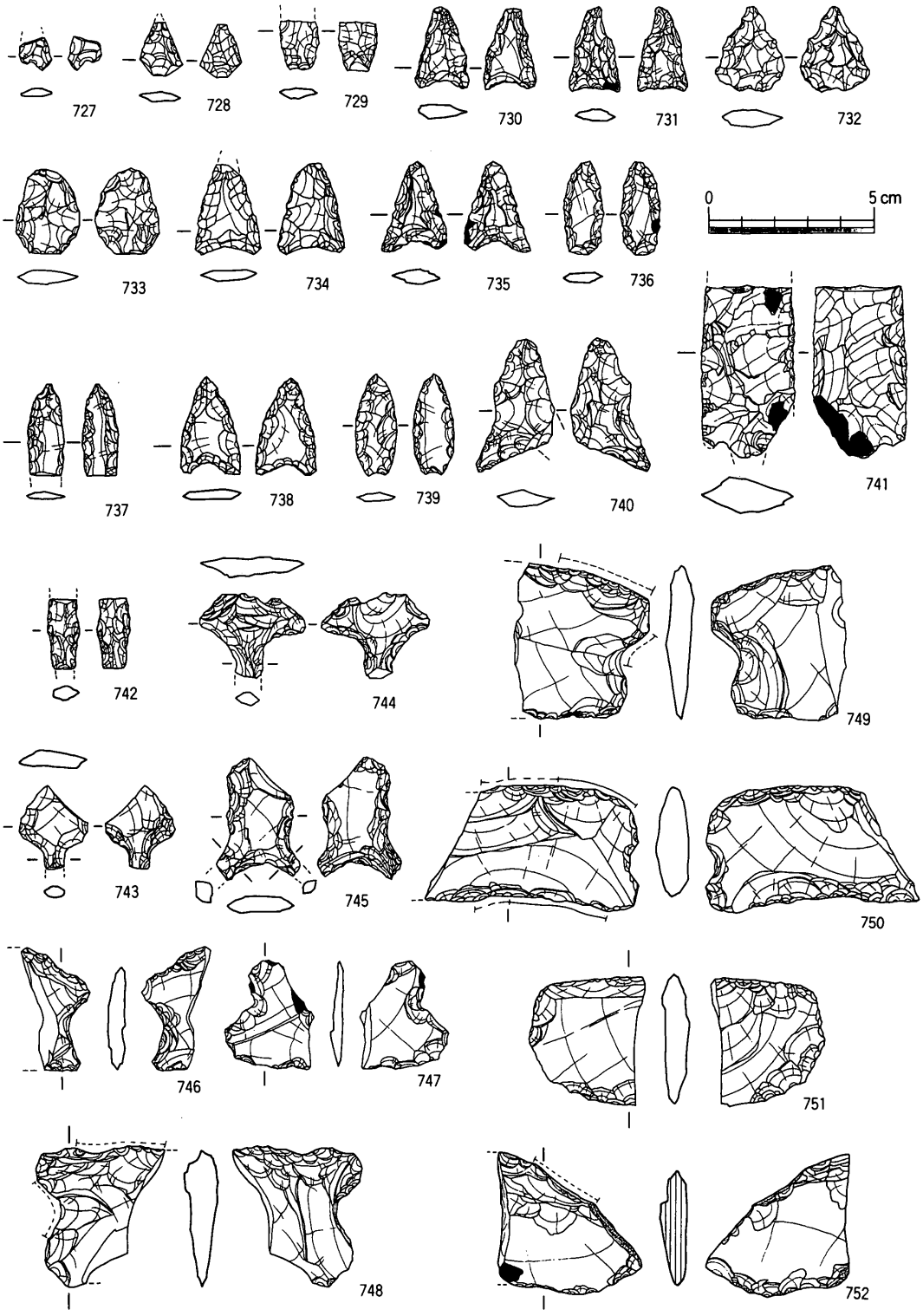
第87図　２④⑤ＳＤ０３出土土器④（1/4）



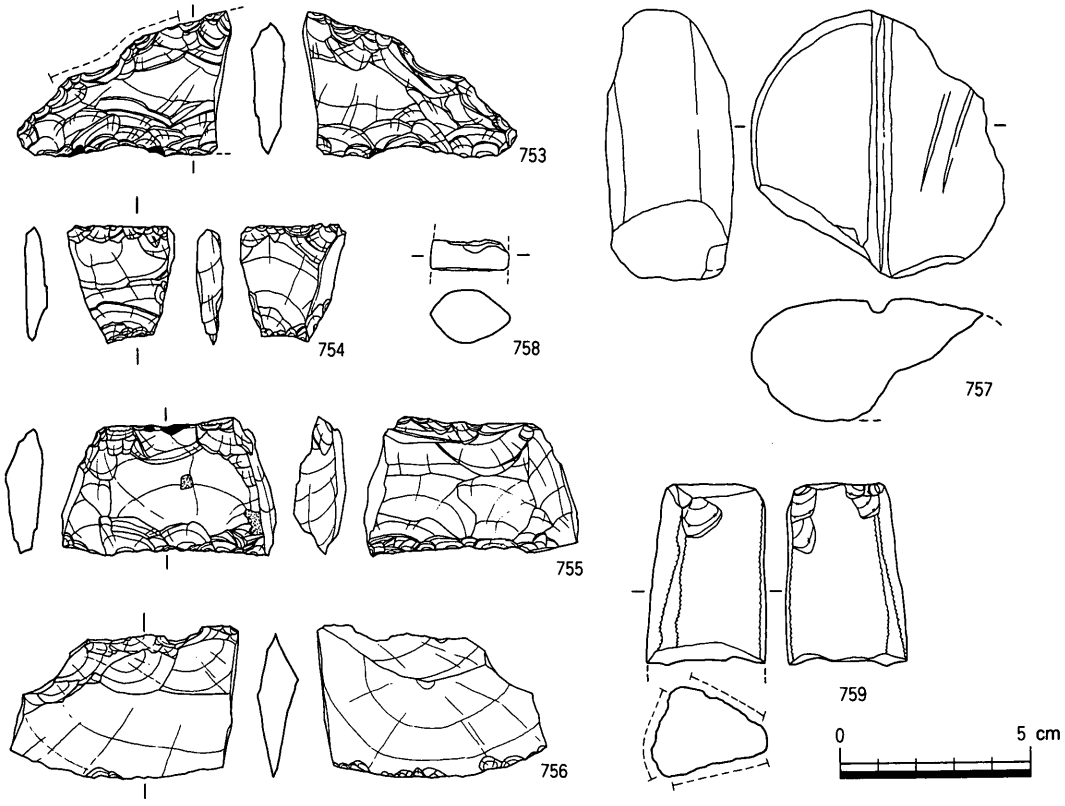
第88図　２④⑤ＳＤ０３出土土器⑤（1/4）



第89図　２④⑤ＳＤ０３出土土器⑥（1/4）



第90図　２④⑤ＳＤ０３出土石器①（1/2）



第91図　２④⑤ＳＤ０３出土石器②（1/2）

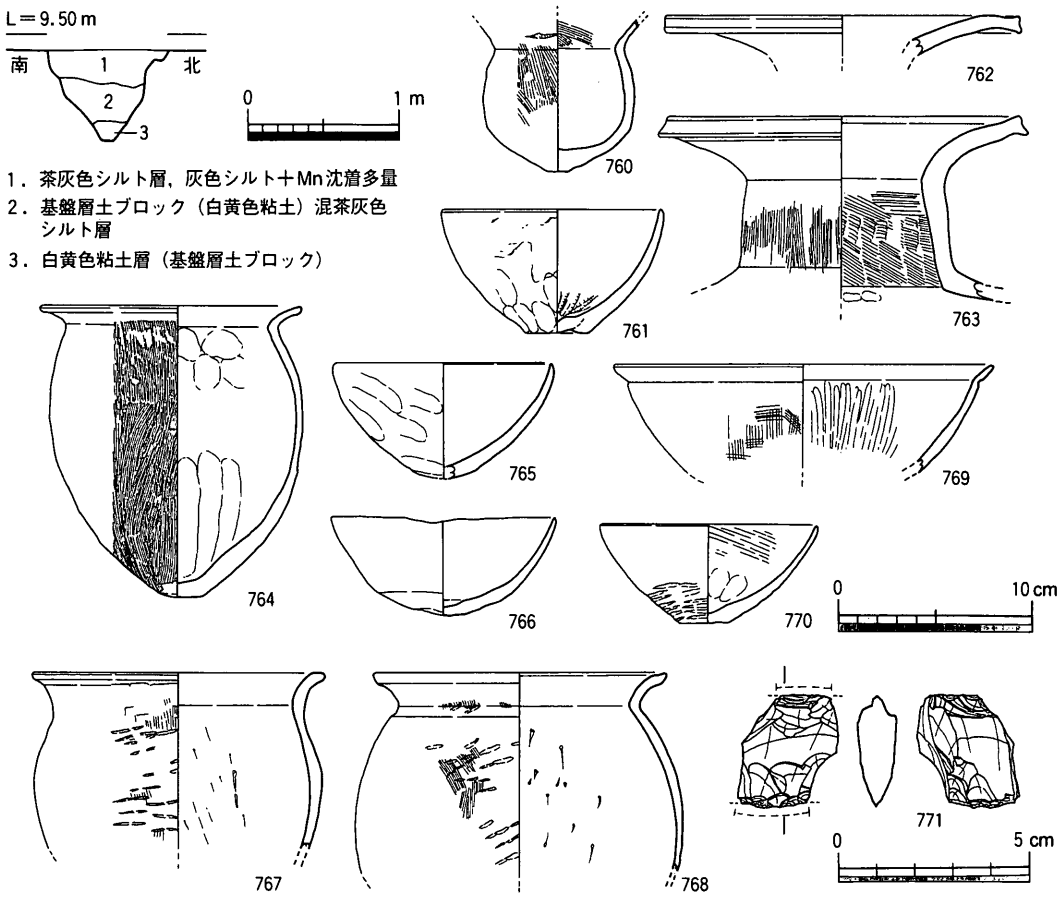
埋土は大きく３層に分かれる。上層は茶黒色シルト層で，土器片を多量に含み，北部のＳＨ０８付近のみに広がる。中層は灰茶色シルトである。下層は基盤層土を中心とする埋土である。層序はＳＤ０３に類似する。コンテナ７箱の遺物が出土している。

772～795は上層出土土器である。壺・甕は，口縁端部が水平に折れ曲がるものが目に付く。796～806は，中層出土土器である。796は弥生時代中期の土器である。807～810は出土層位不明である。815は側辺部に敲打痕が見られることから，石庖丁とした。816～818はスクレイパーとしたが，818は刃部が不整形であり，石核の可能性もある。819は石斧とした。820は楔形石器とした。

３①(２)ＳＤ０１（第96・97図）

B26・B27区画に位置する。先に報告したように，下層は弥生時代中期の遺物を包含する。弥生時代終末期の遺物が出土するのは，黒色系の粘質土からである。遺物はコンテナ約９箱出土している。

821は弥生時代中期の土器である。844は石庖丁である。845～847はスクレイパーとした。



第92図　２④⑤ＳＤ０８断面図（1/50）及び出土土器（1/4）・石器（1/2）

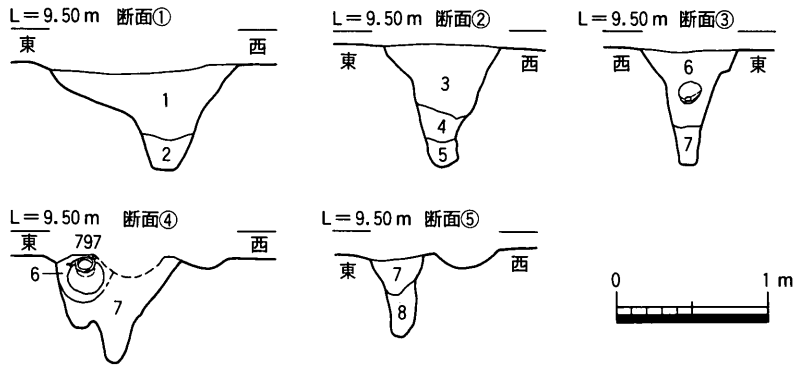
848は縦長剥片である。849～851は弥生時代後期の落ちとして取り上げられた遺物である。おそらく３①(2)ＳＤ０１あるいは３①(2)ＳＤ０２の遺物であろうと考えられるので，ここで掲載する。

３①(2)ＳＤ０２（第100～103図）

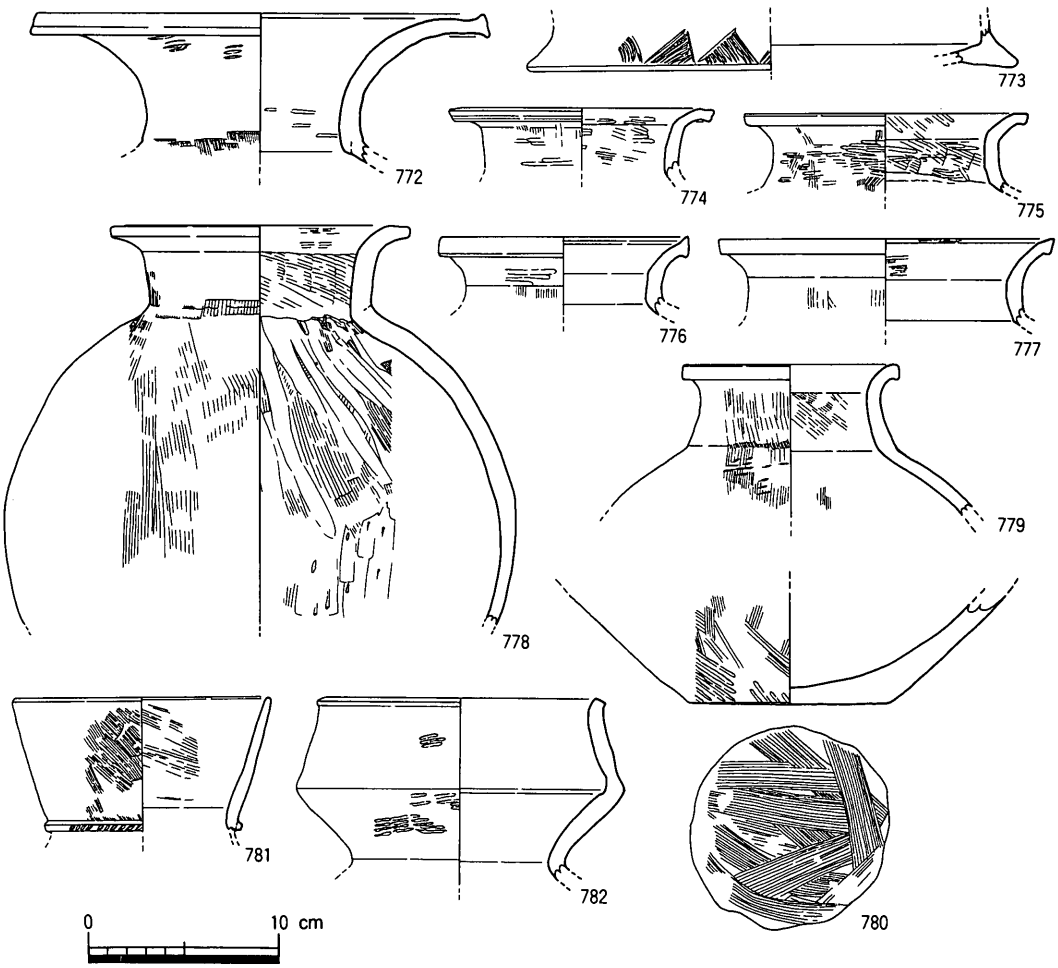
B27区画に位置する。約コンテナ20箱の弥生時代終末期の土器がまとまって出土した。埋土は黒色系の粘質土である。

３①ＳＤ０３，０４（第98図）

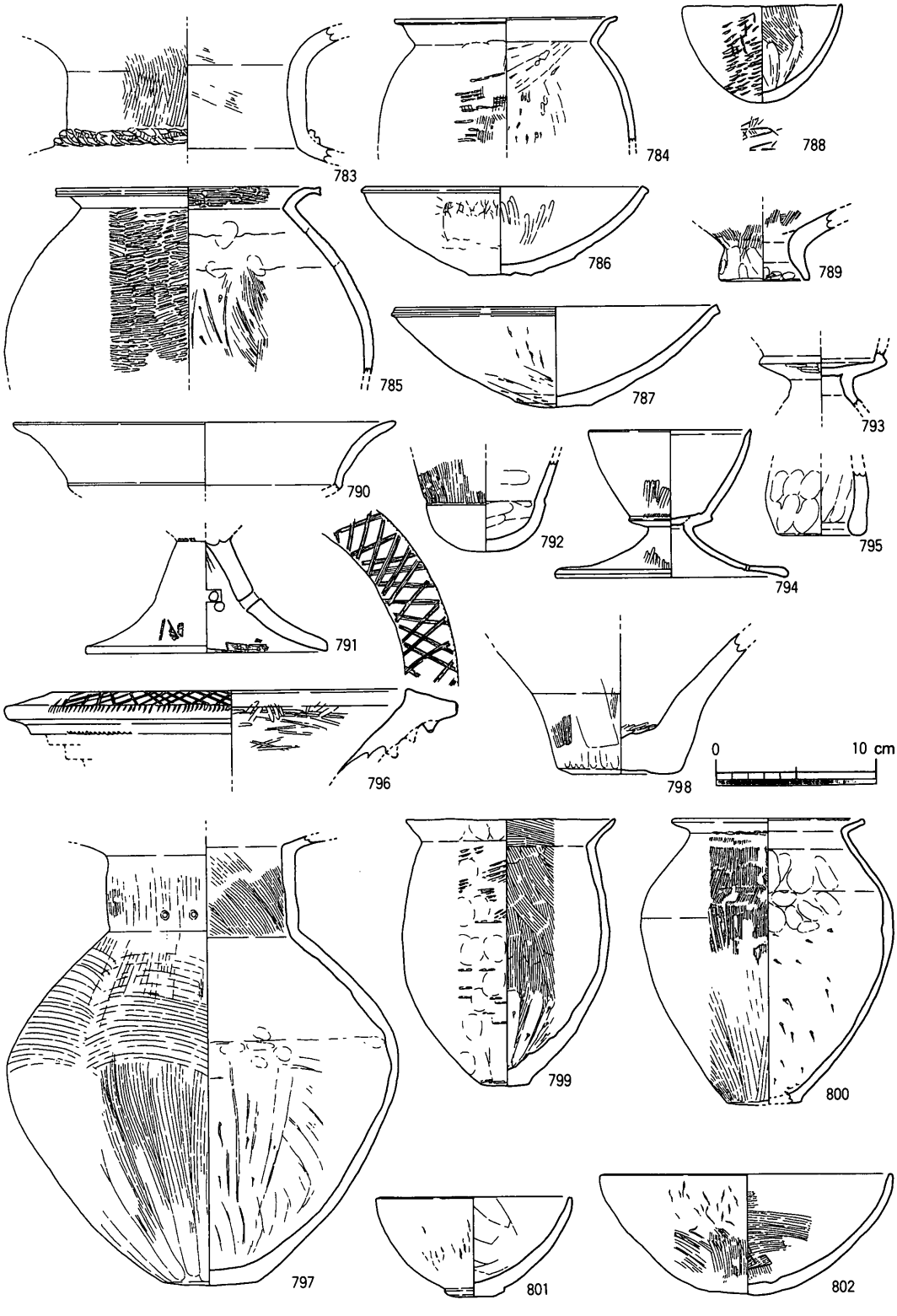
B27区画に位置する。いずれもＳＤ０２とつながる溝跡であるが，底面標高からはＳＤ０２へ流れ込むのか，ＳＤ０２から川跡の方へ流れていたのかはわからない。埋土は黒色系の粘質土である。出土遺物は少量である。ＳＤ０４から弥生土器の鉢が出土している。



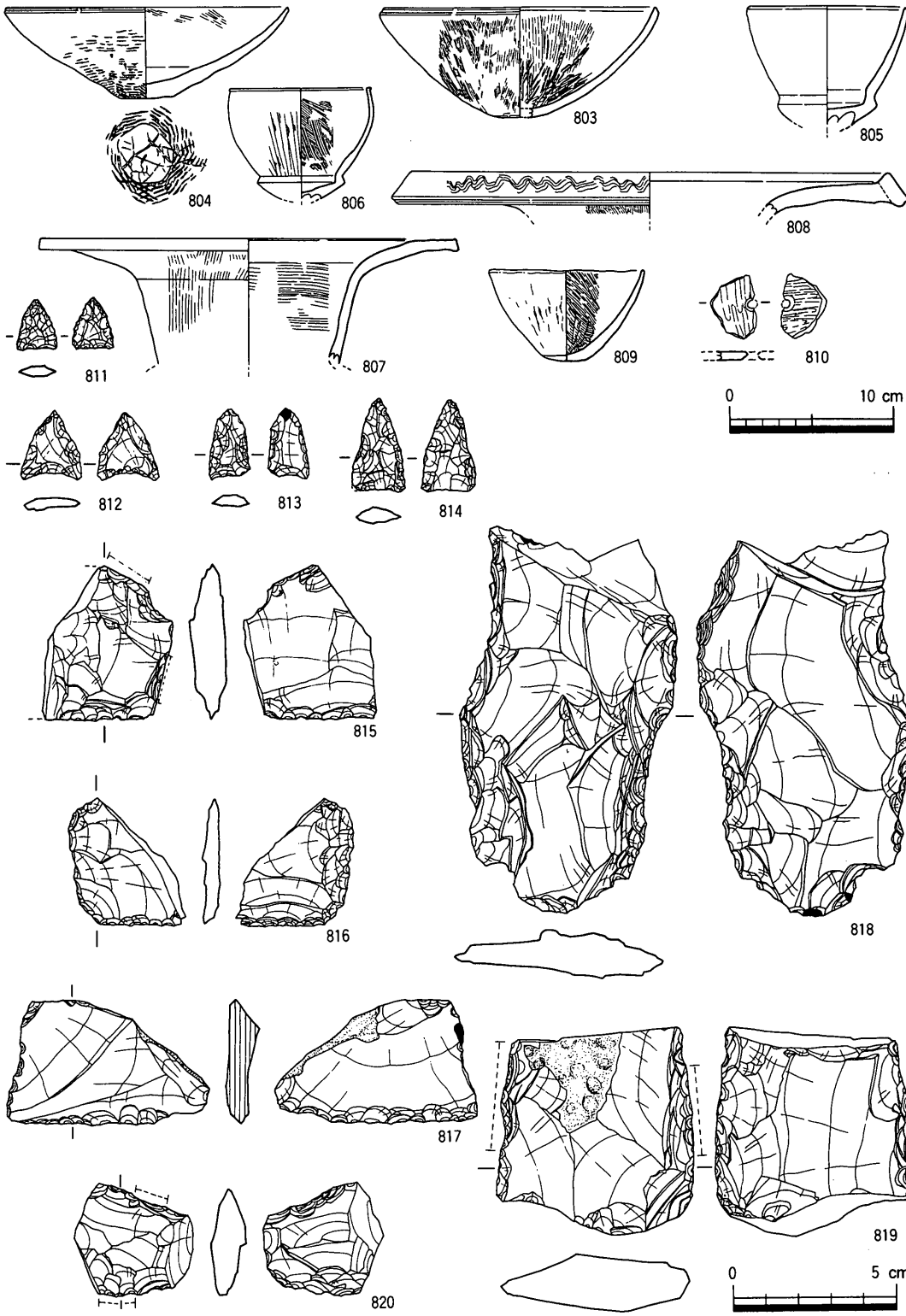
1．淡茶灰色シルト，炭、基盤層土粒を含む（中層）
2．淡茶灰色シルト，基盤層土ブロックを多く含む。上面に炭多し（下層）
3．灰茶色シルト，若干の基盤層土（白黄色シルト）ブロックを含む（中層）
4．灰茶色シルト，多量の基盤層土（白黄色シルト）ブロックを含む（下層）
5．暗灰色シルト，焼土・炭を含む（下層）
6．淡灰茶色シルト，基盤層土ブロック含む（中層）
7．淡灰茶色シルト，基盤層土ブロックを多量に含む（下層）
8．淡茶灰色シルト，基盤層土ブロックを微量に含む（下層）



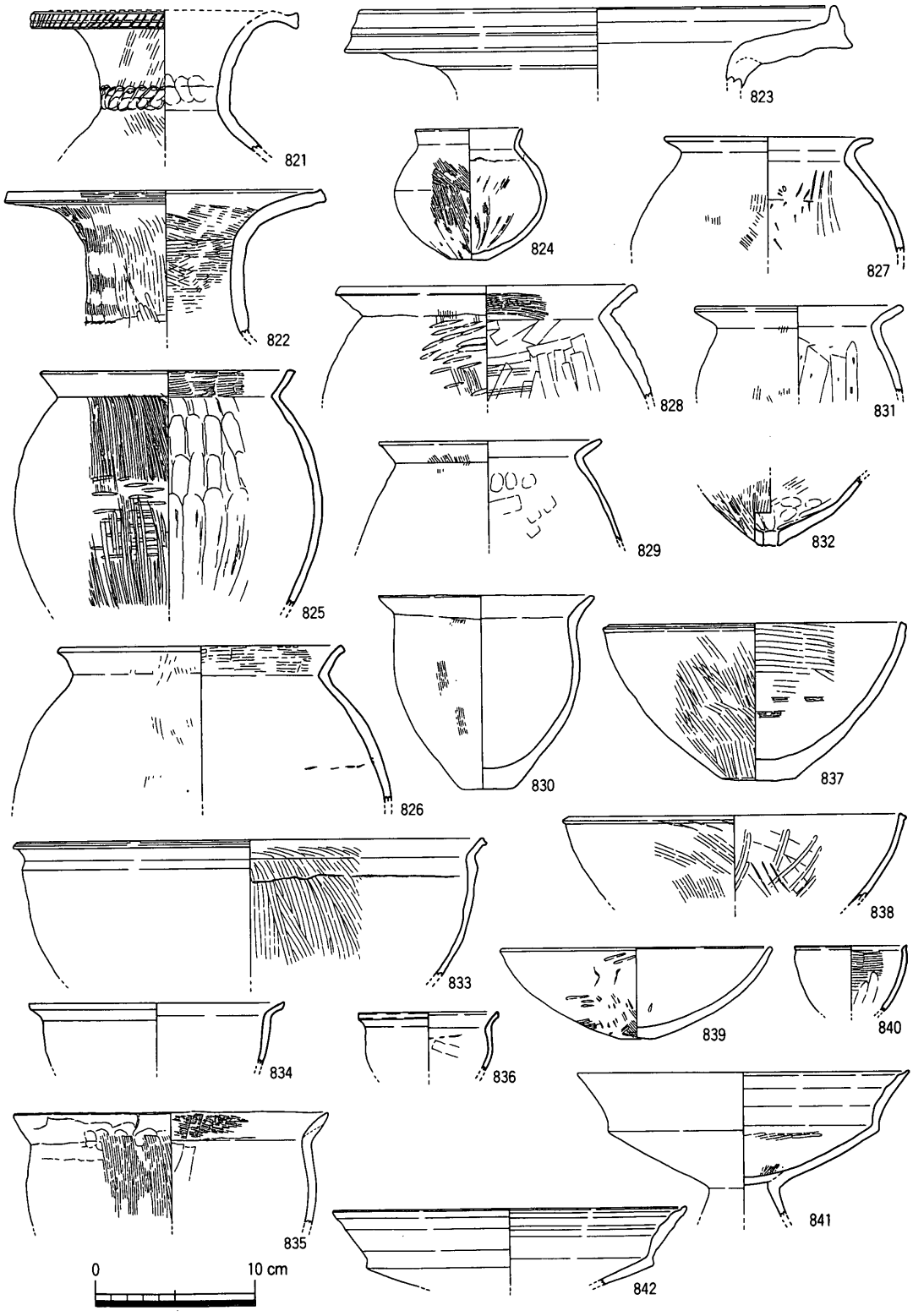
第93図　２④⑤ＳＤ１２断面図（1/50）及び出土土器①（1/4）



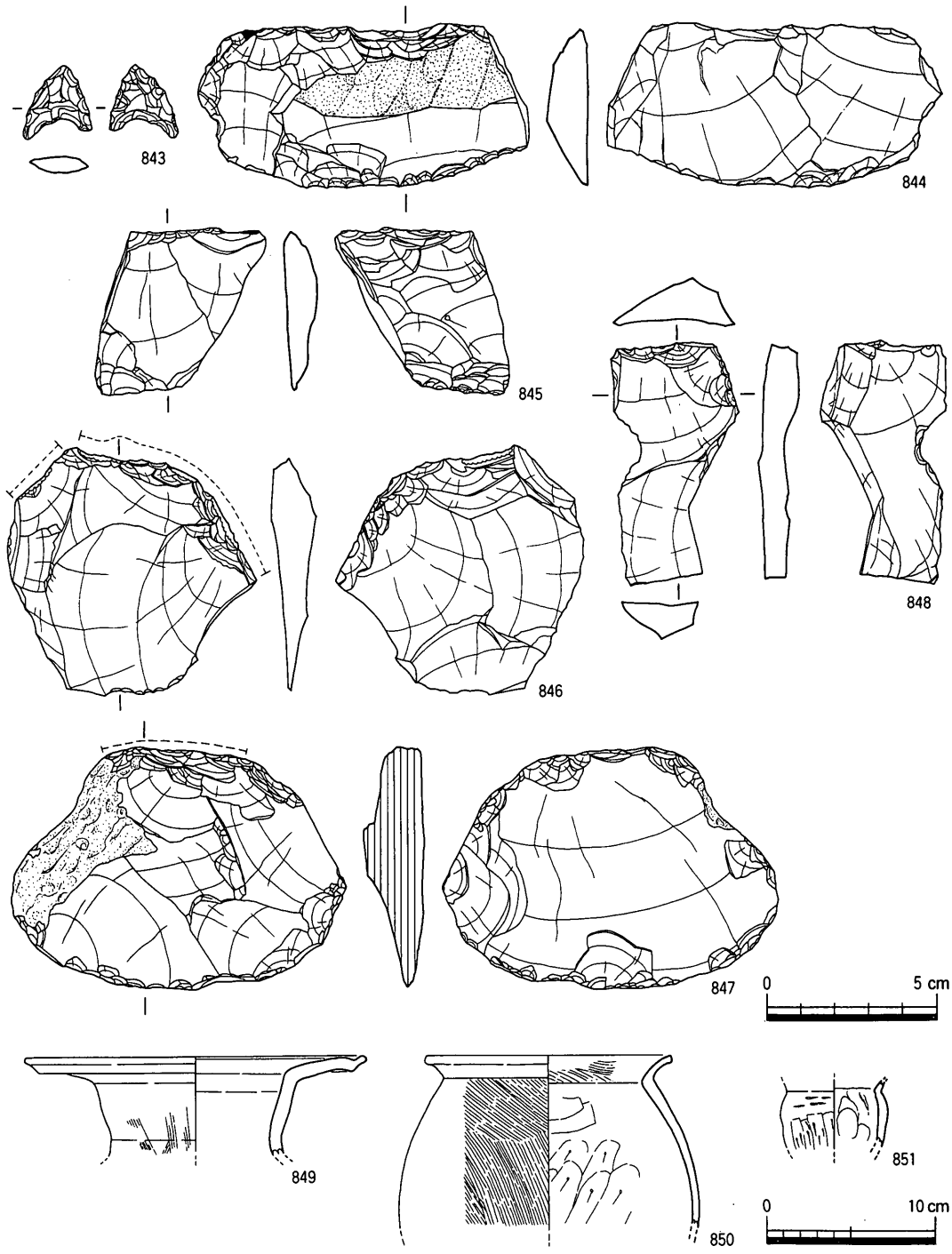
第94図　２④⑤ＳＤ１２出土土器②（1/4）



第95図　２④⑤ＳＤ１２出土土器③（1/4）・石器（1/2）



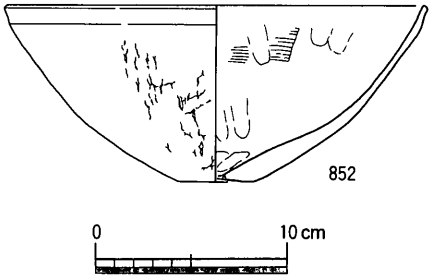
第96図　3①(2)ＳＤ０１出土土器（1/4）



第97図　3①(2)ＳＤ０１出土石器（1/2），弥生後期の落ち出土土器（1/4）

川跡

弥生時代終末期には，どの調査区の川跡の底にも黒色系粘質土の堆積が見られ，川跡が流水を停止し埋まり始めたことがわかる。この黒色系粘質土から多量の土器が出土した。以下各調査区ごとに，出土遺物を報告していく。



第98図　3①ＳＤ０４出土土器（1/4）

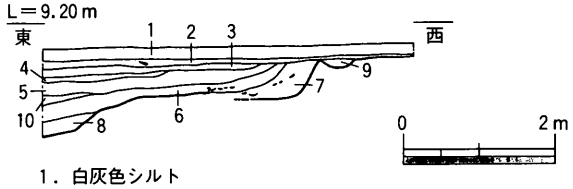
１②調査区（第104～116図）

弥生時代終末期に埋没し始めた川跡は古墳時代後期に一度流水の痕跡を残している。そのため層位ごとに取り上げた遺物でも両時代のものが混在し，十分な一括性を認めることは困難であるので，ここでは弥生時代終末期の出土遺物のみを報告する。１①調査区のＳＤ０４はこの川跡の痕跡と考えることができる。

915～1018は，１②調査区出土の土器である。このうち915～960は，わずかに須恵器を含むが取り上げ時に同時性が高いと考えた一群である。961～1018は須恵器と混じって出土したものである。このうち961～970は弥生時代中期の土器である。971～1018は弥生時代後期から終末期の土器である。1013と1014は同一個体の可能性がある。1013には赤色顔料が見られる。1018は支脚である。1019～1059は石器である。1022～1025は石槍とした。1026～1028は石錐とした。1029～1040は石庖丁である。1041は石鎌である。1042～1049はスクレイパーとした。1050・1051は石斧とした。1052～1054は楔形石器とした。1055は側面に使用痕と考えられる敲打痕のある石器である。1056は石錘とした。1057～1059は摩滅痕のある石器である。

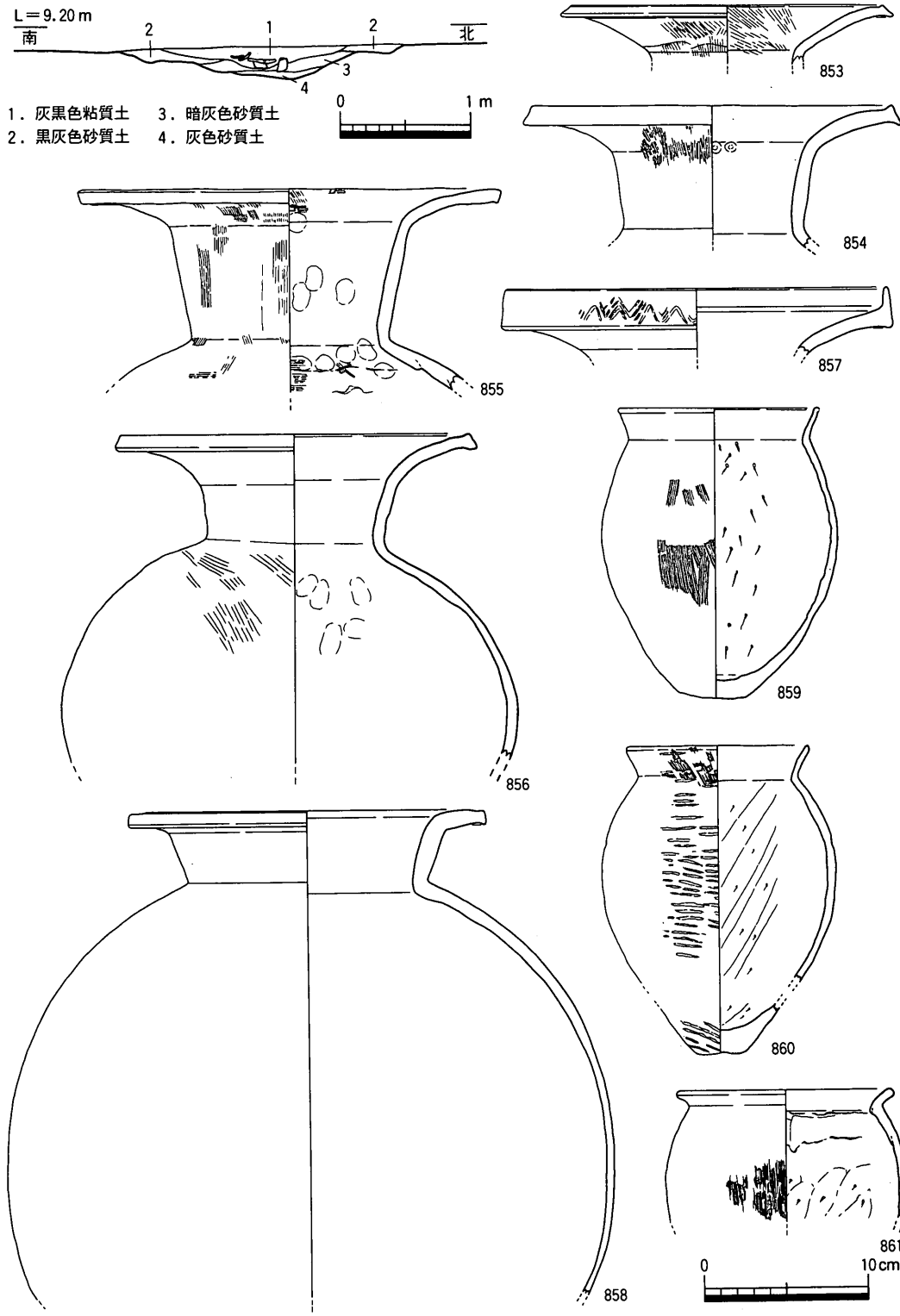
１③調査区（第99，117～126図）

この調査区では，川跡の西岸からまとまって，廃棄されたと考えられる状況で多量の土器が出土した。若干古墳時代後期の土器が混入しているが，弥生時代終末期の一括出土資料と考えることができる。1060～1126は黒色系粘質土から出土した土器である。1073は

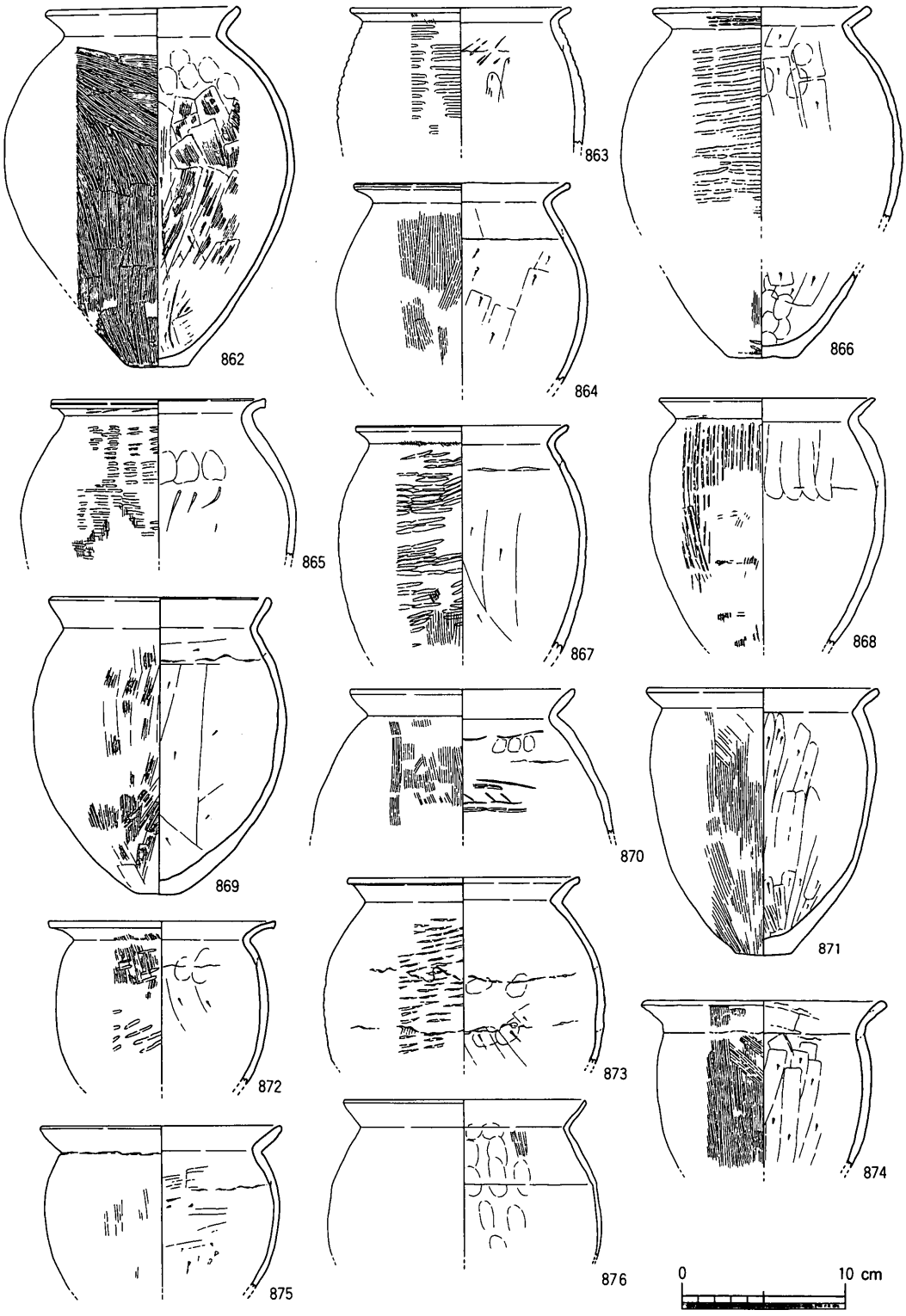


1．白灰色シルト
2．白灰色シルト層，Fe
3．淡茶灰色シルト，Mn
4．灰白色シルト
5．淡灰茶色シルト
6．茶黒色シルト
7．淡灰茶色シルト，基盤層土ブロックを含む
8．白灰色シルト
9．白灰色シルト
10．淡茶灰色シルト層

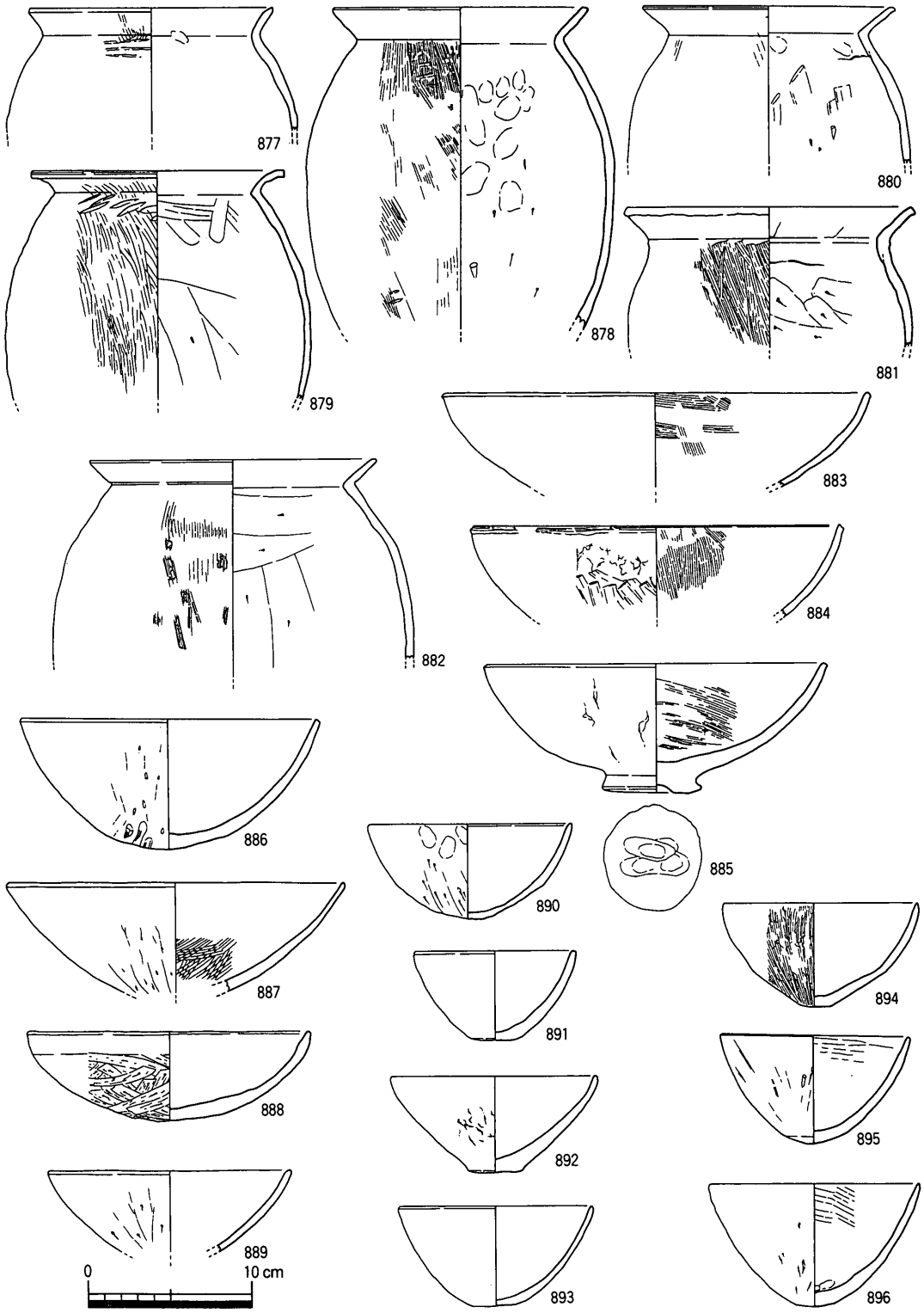
第99図　１③調査区川跡断面図（1/100）



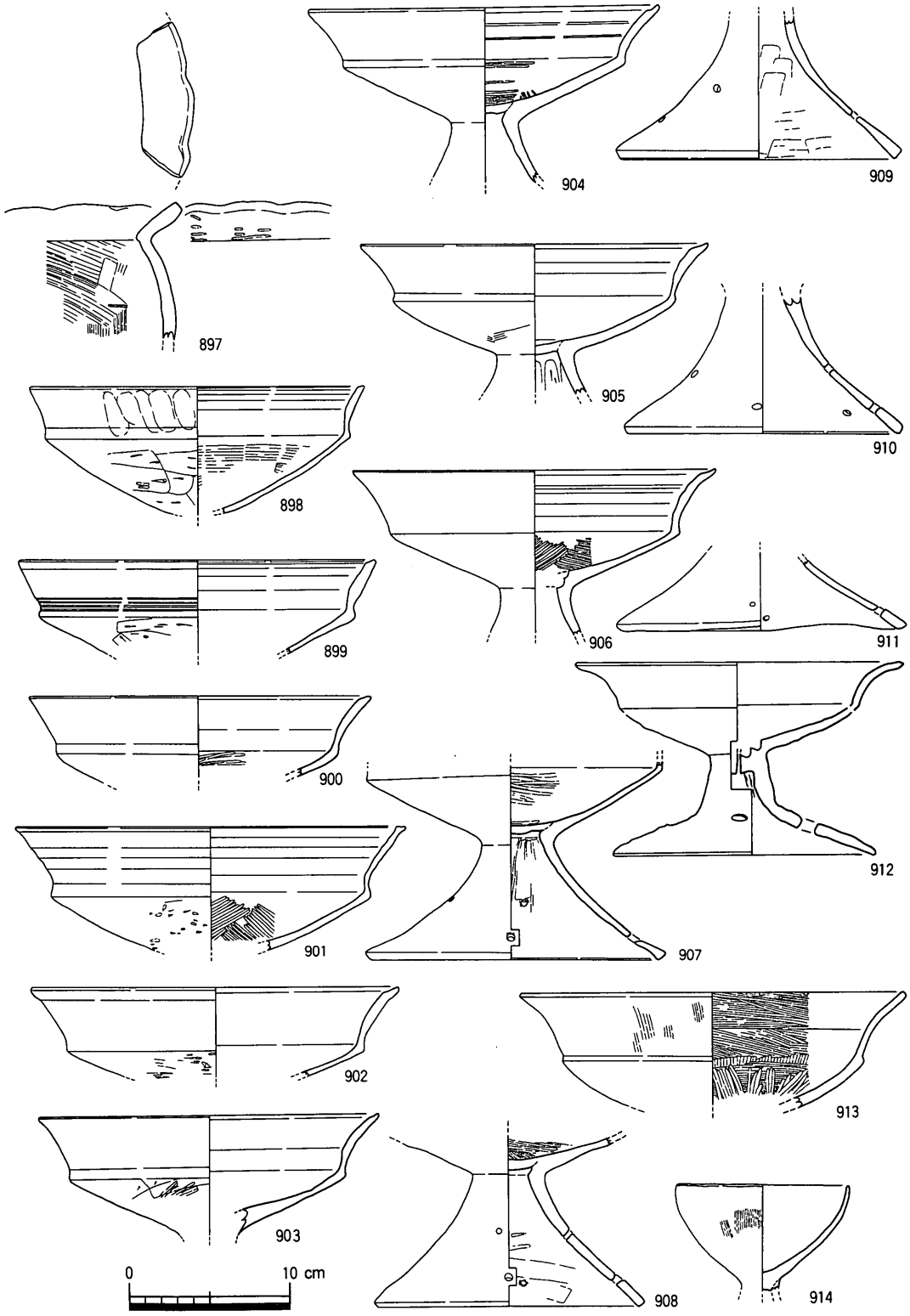
第100図　3①(2) ＳＤ０２断面図（1/50）及び出土土器①（1/4）



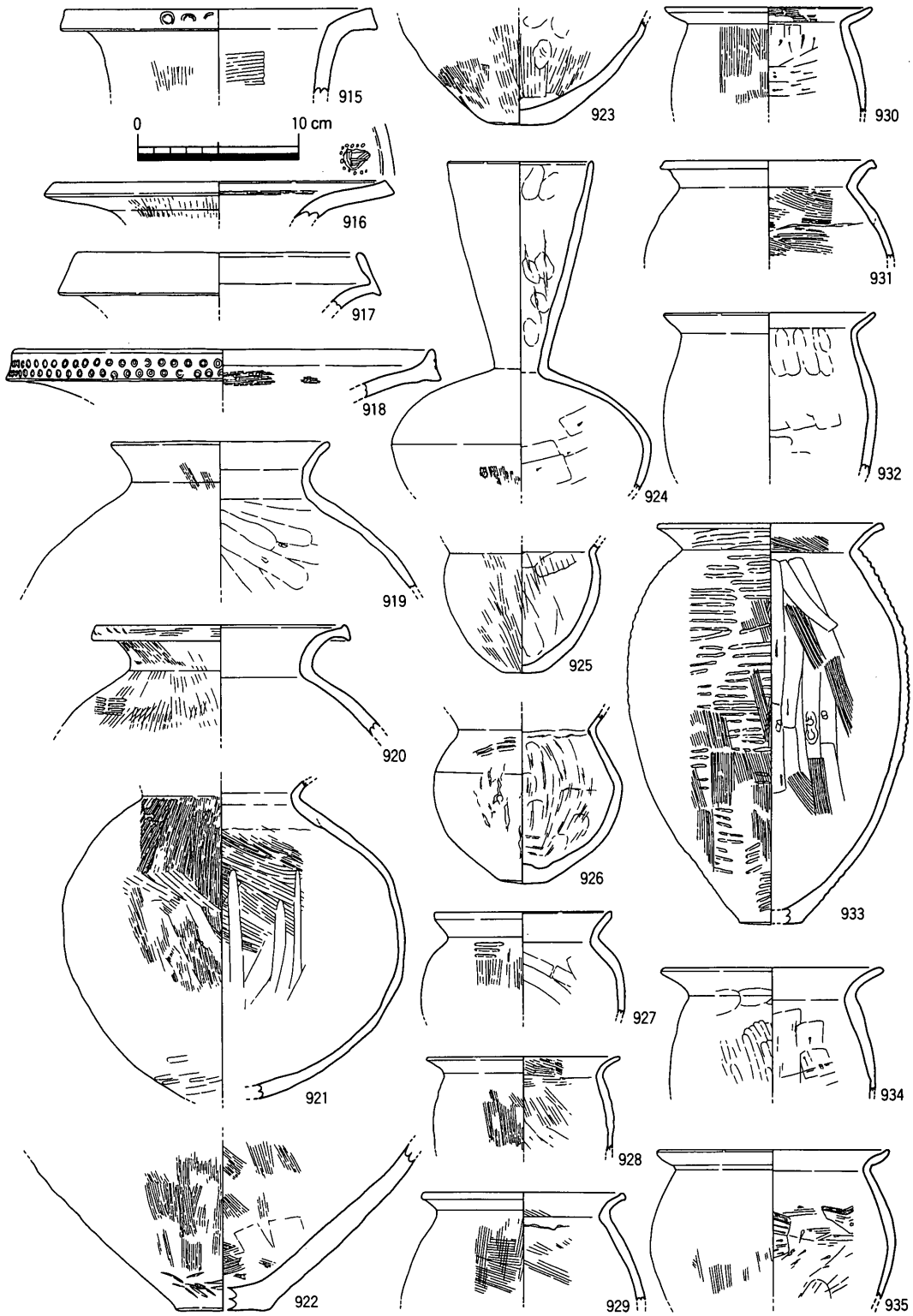
第101図　3①(2)ＳＤ０２出土土器②（1/4）



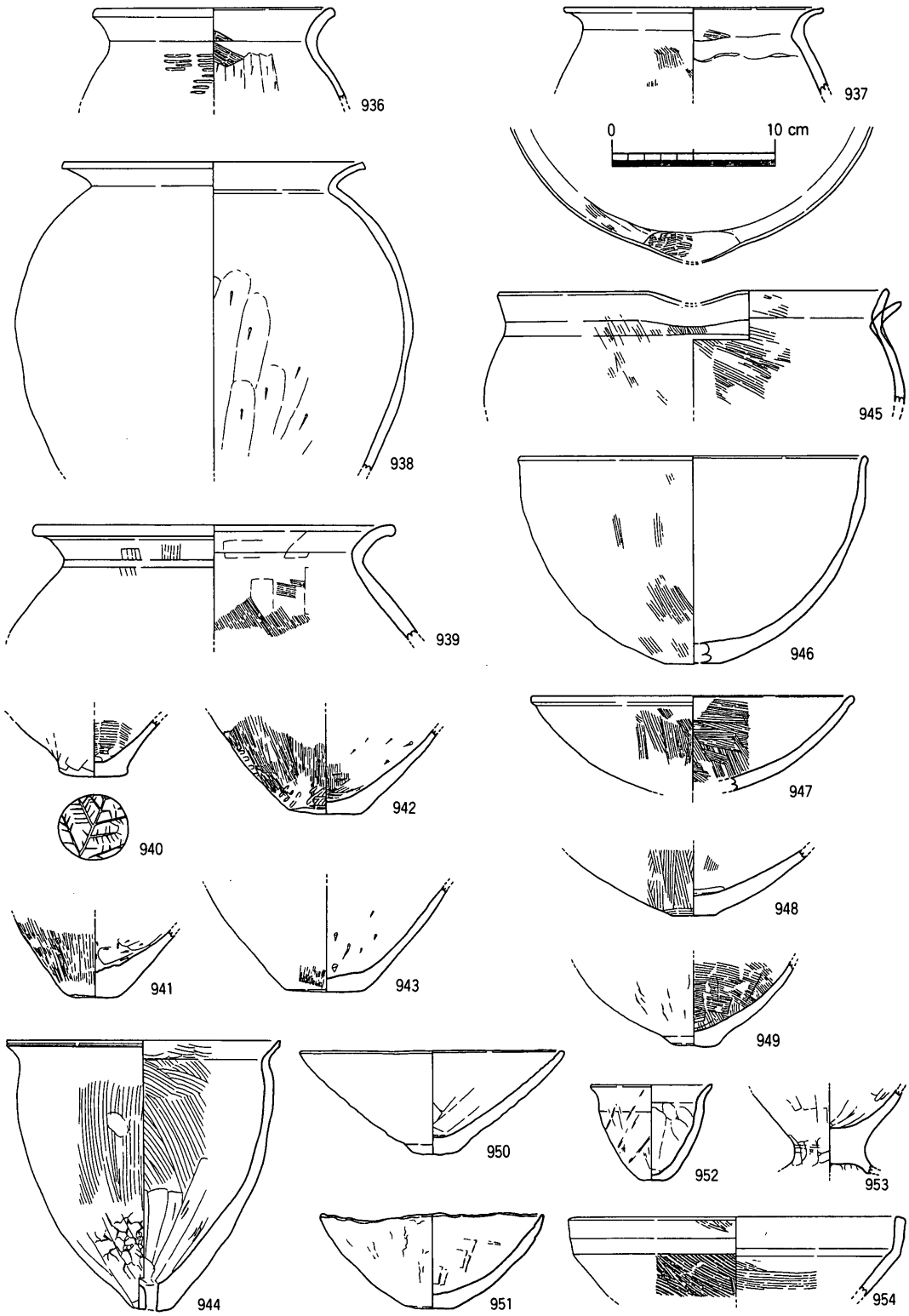
第102図　3①(2)ＳＤ０２出土土器③（1/4）



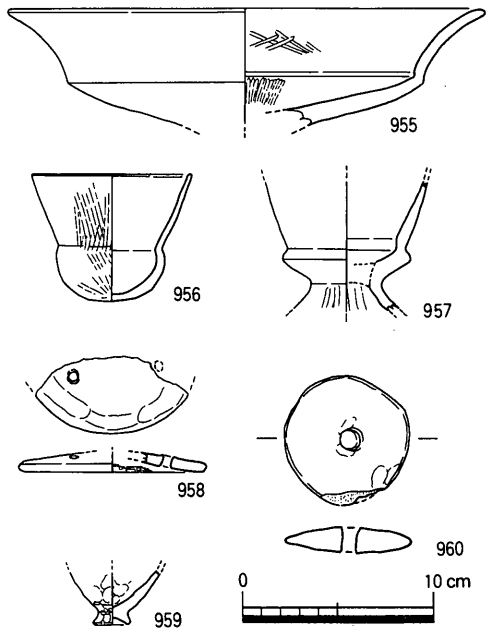
第103図　3①(2)ＳＤ０２出土土器④（1/4）



第104図　1②ＳＲ０１出土土器①（1/4）



第105図　1②ＳＲ０１出土土器②（1/4）



第106図　1②ＳＲ０１出土土器③（1/4）

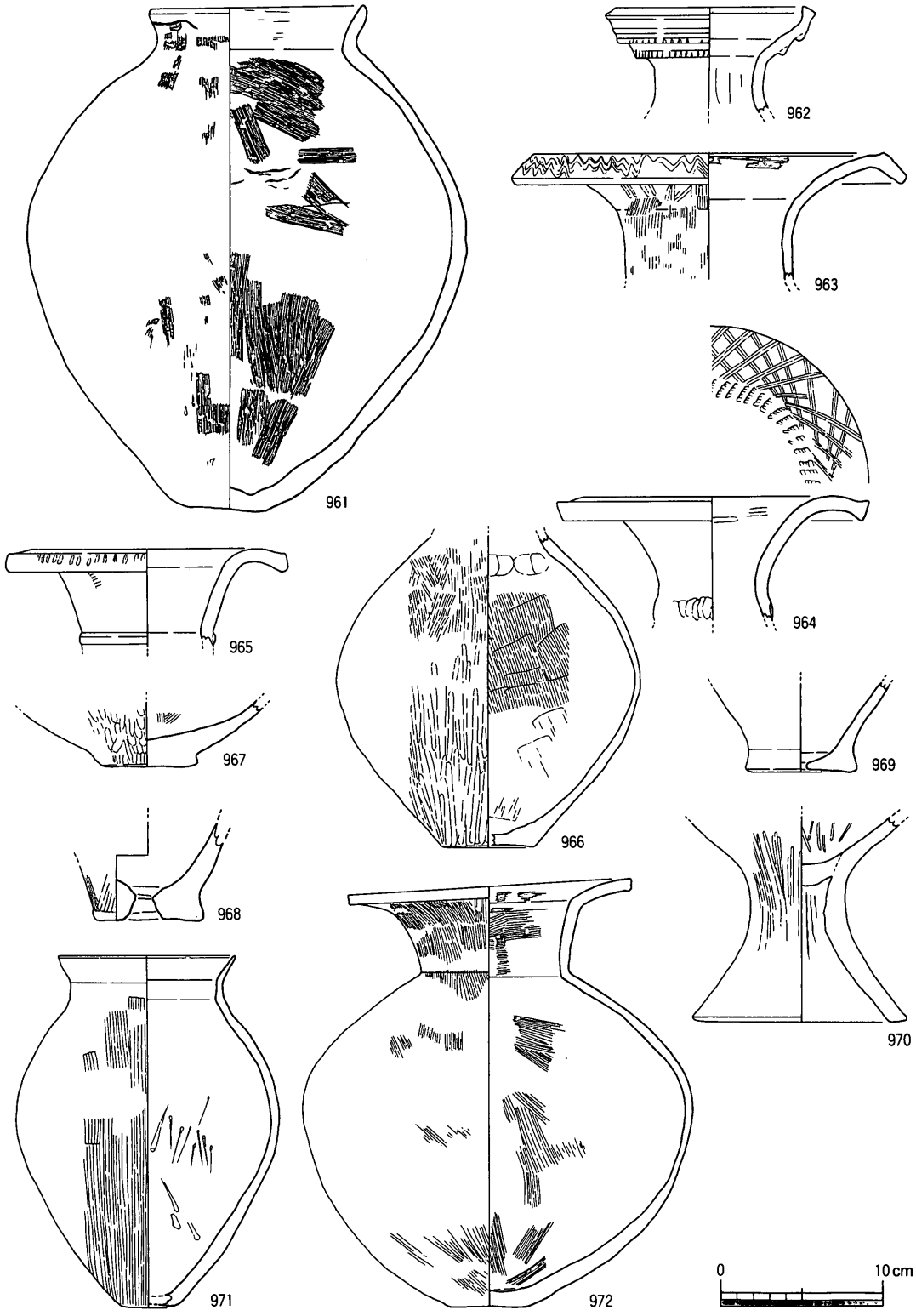
弥生時代中期の甕である。1106は小型の甑である。1126は製塩土器である。1128～1176は，調査時に黒色系粘質土の下層の砂層として取り上げたものであるが，黒色系粘質土が部分的に砂とのラミナ状を呈することから，層位的に明確に上層と区別はできない。1159は鉢としたが，口縁部に孔があり，形態も２③調査区川跡出土の1501に似ていることから，甑の可能性がある。1176は製塩土器である。1177～1182は出土層位不明である。1180と1181は製塩土器である。1182は土錘である。1183～1190は１③調査区出土石器である。1183は石槍である。摩滅が見られる。1184は石匙である。1187はスクレイパーとしたが，明瞭な調整刃部はない。背部につぶれがある。1188は楔形石器である。1189は摩滅痕のある石器である。1190は砥石とした。

２①調査区（第127～131図）

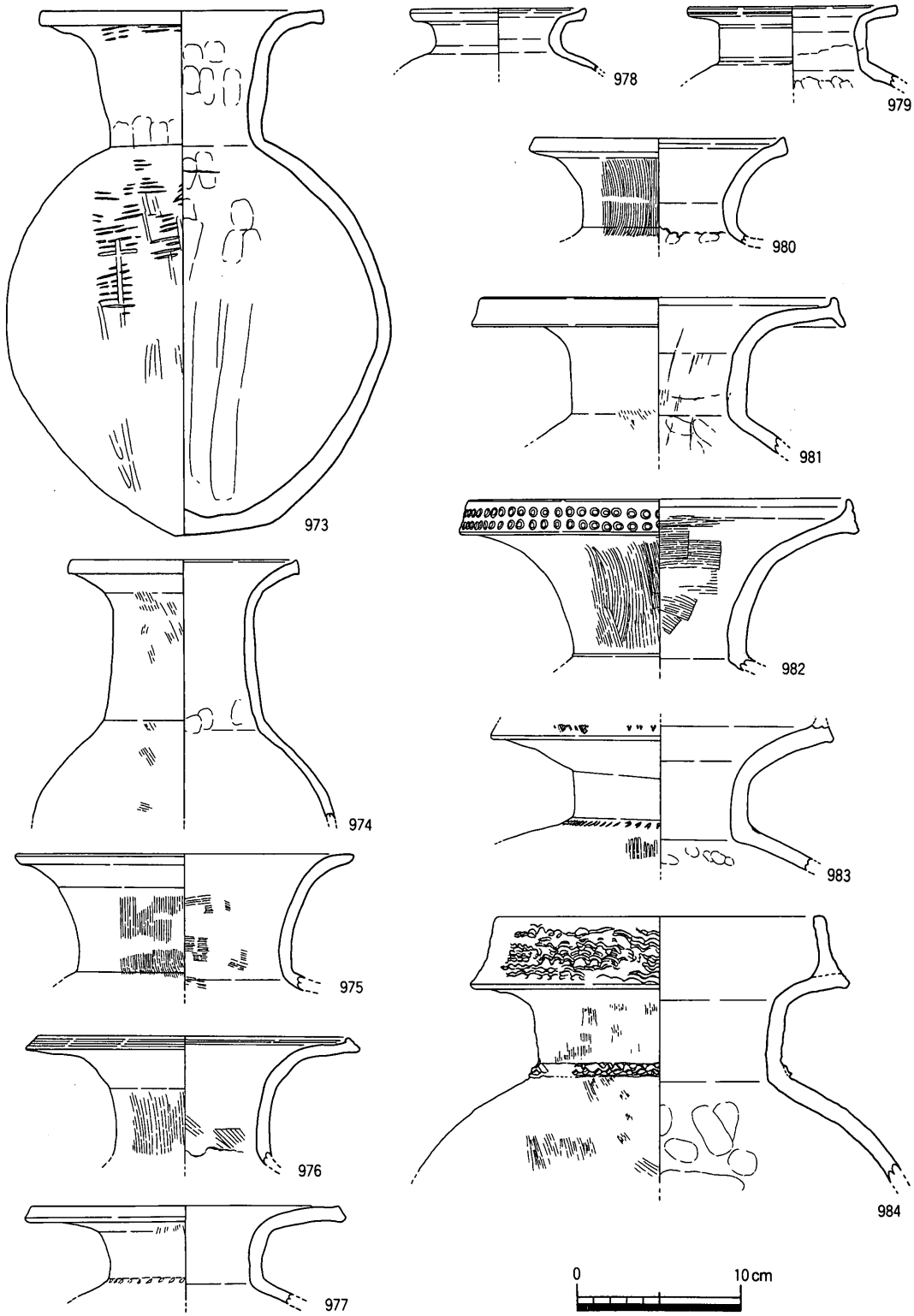
１①調査区から続く川跡である。弥生時代終末期に埋没し始めたが，１②③調査区同様古墳時代後期に再び流水が存在したため，川跡からは２時期の遺物が混在して出土した。ここでは弥生時代の遺物のみを報告する。またトレンチ掘削時及び上部の包含層出土の土器もここであわせて報告する。1191は弥生時代前期に遡る可能性がある。1192～1195は弥生時代中期の土器である。1196～1201は壺であるが，丸底になっているものが多い。1202は長胴で薄い平底という特異な器形である。1208～1230は石器である。ここでは一部２③ＳＲ０１出土の石器も同時に掲載している。1208～1210は石槍とした。1222は石鎌とした。1223～1226はスクレイパーとした。1226は刃部に摩滅痕がある。1224は調整刃部ではないので，別に分類すべきかもしれない。1227と1228は石斧とした。1229は背面に多方向からの大きな剥離痕をもつ横長剥片である。1230は摩滅痕ある石器である。

２②③調査区（第132～167図）

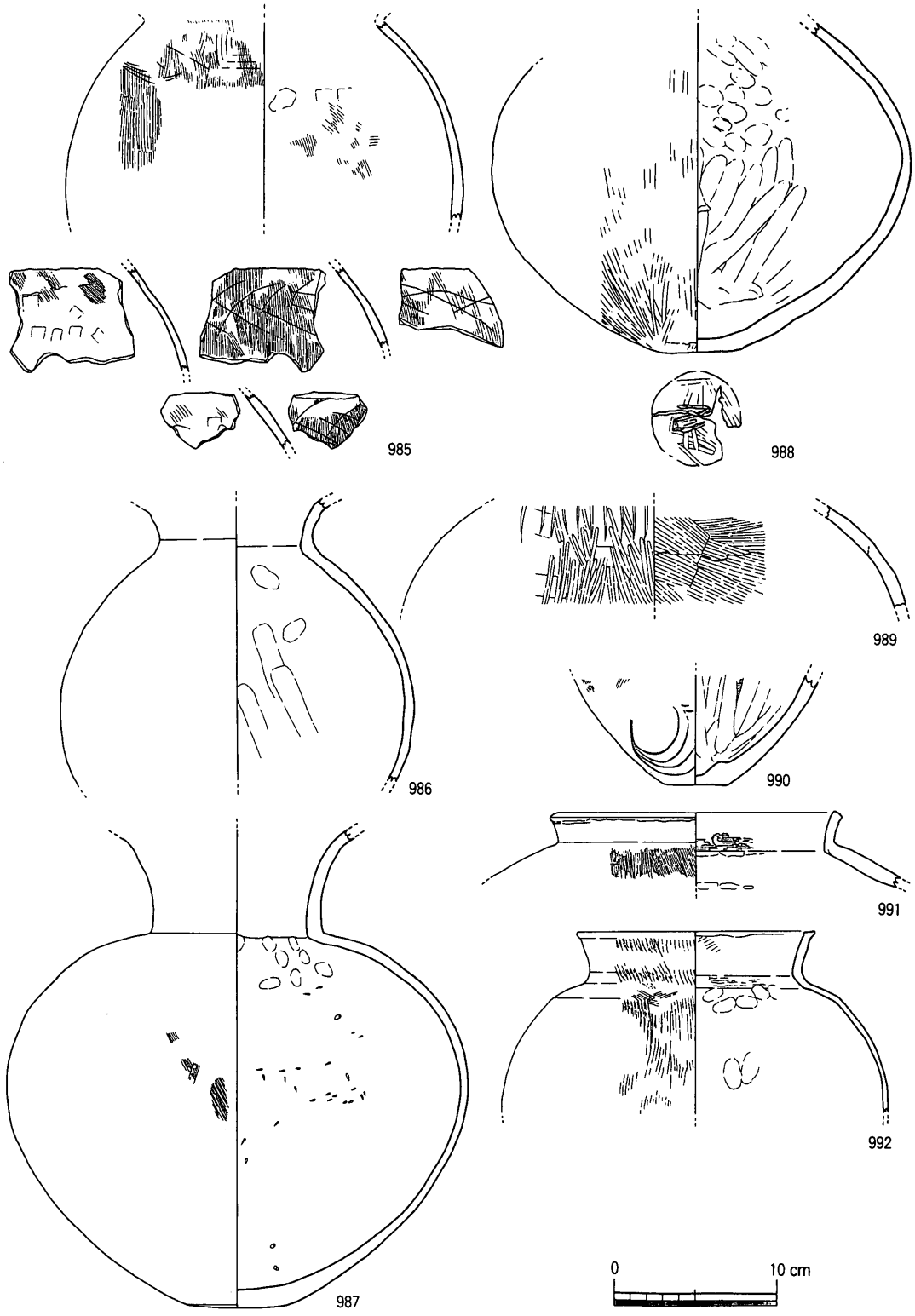
この調査区で，弥生時代終末期頃に埋没を始めた流路と，古墳時代後期の流路が分かれ



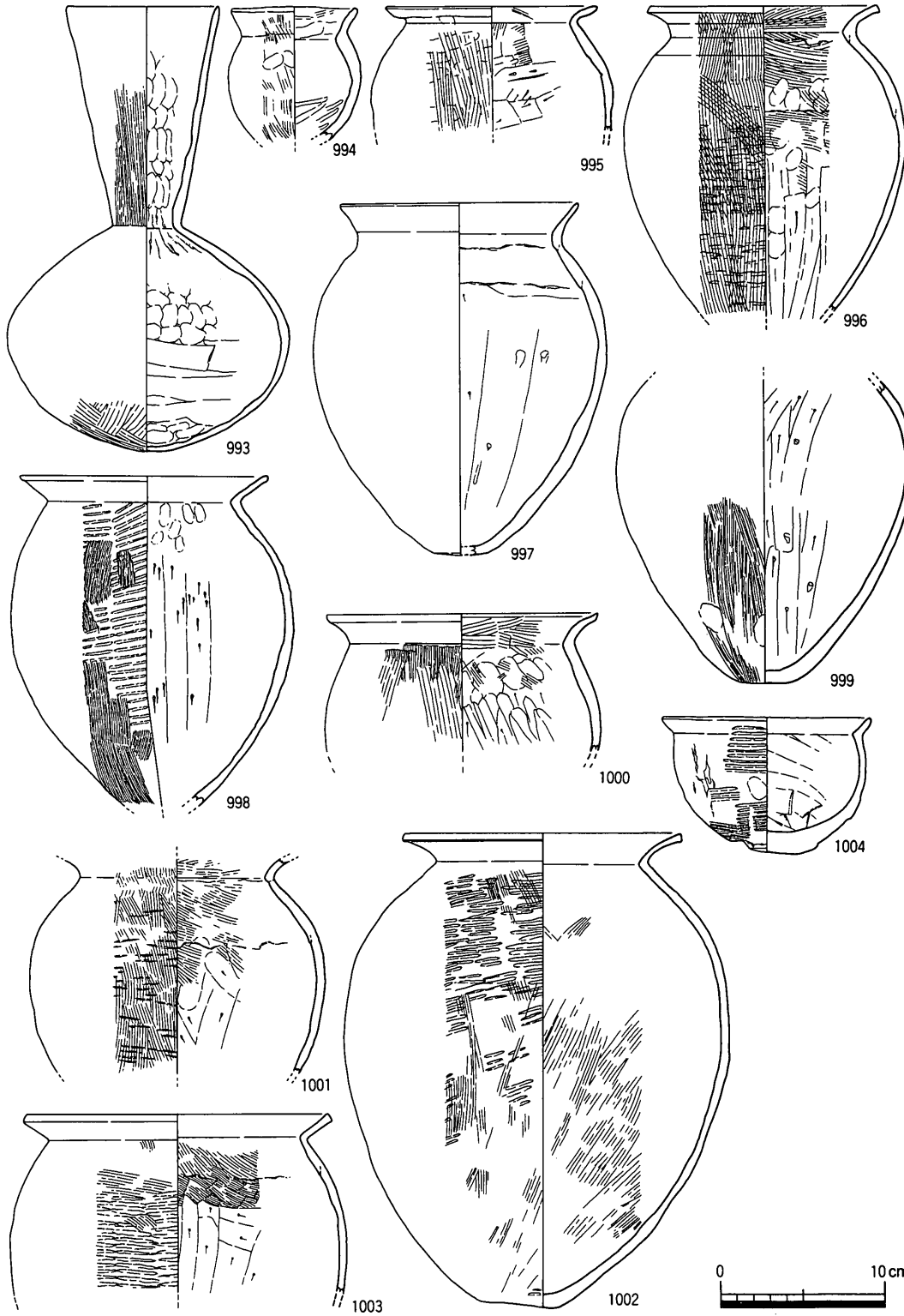
第107図　1②ＳＲ０１出土土器④（1/4）



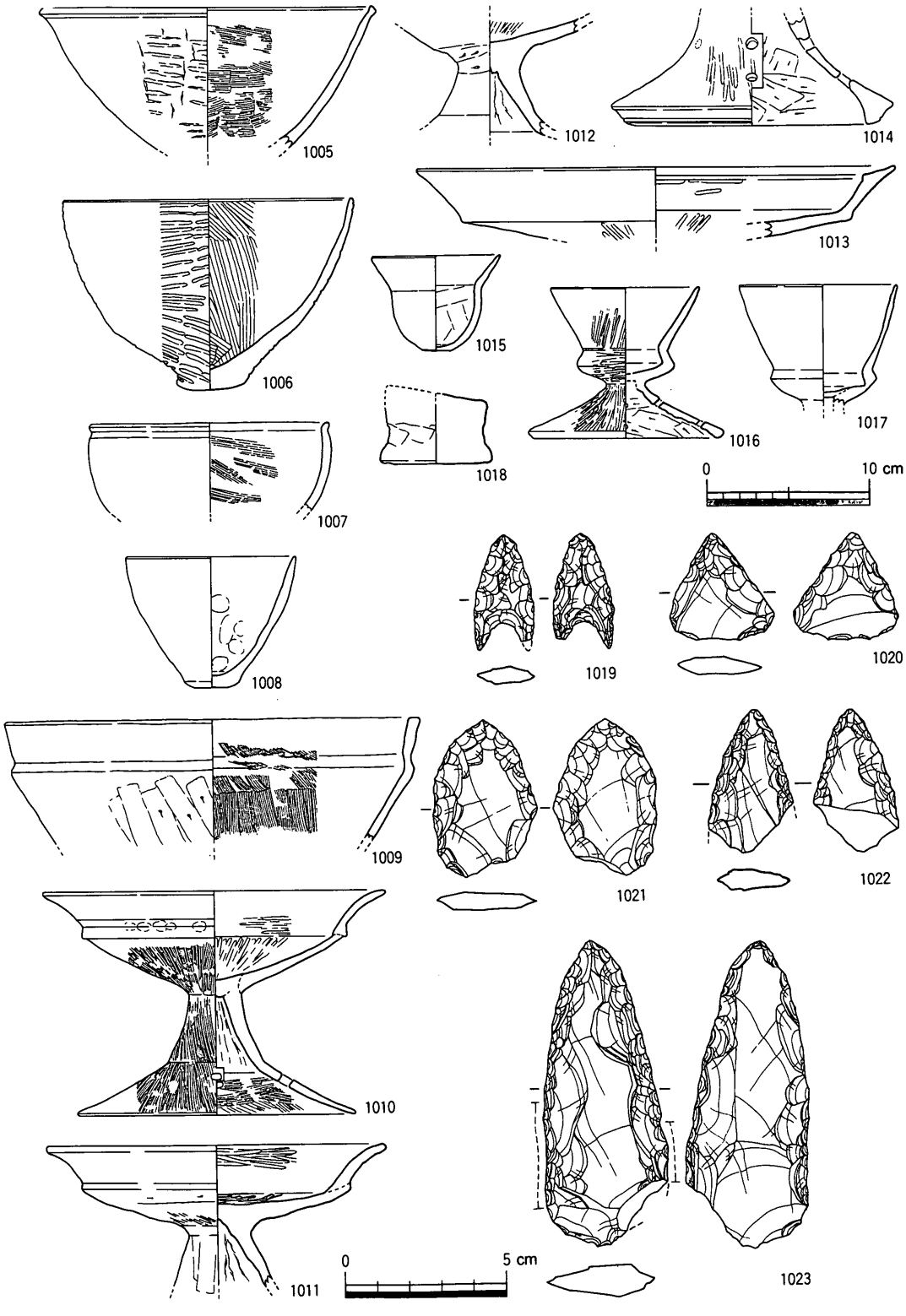
第108図　1②ＳＲ０１出土土器⑤（1/4）



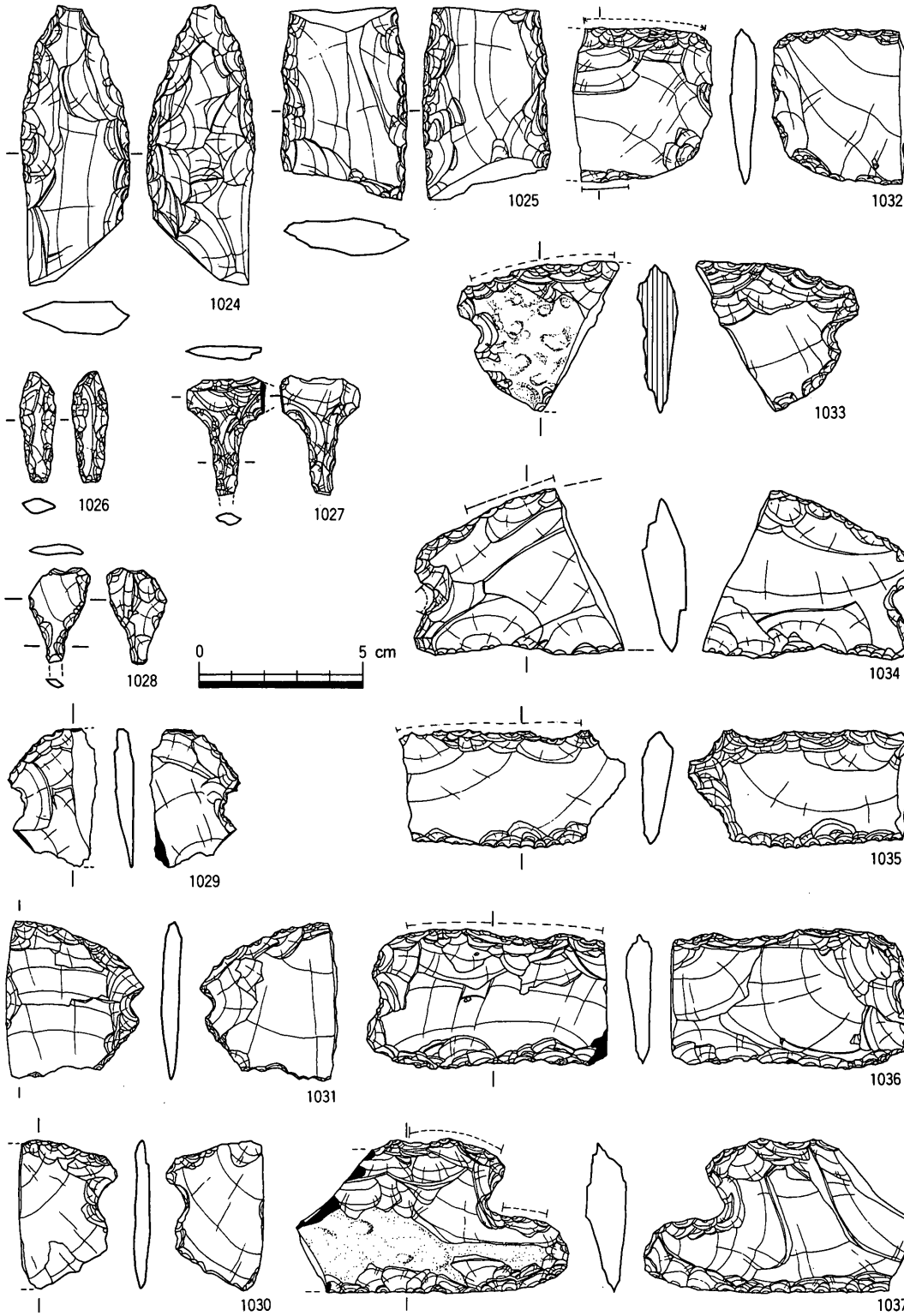
第109図　1②ＳＲ０１出土土器⑥（1/4）



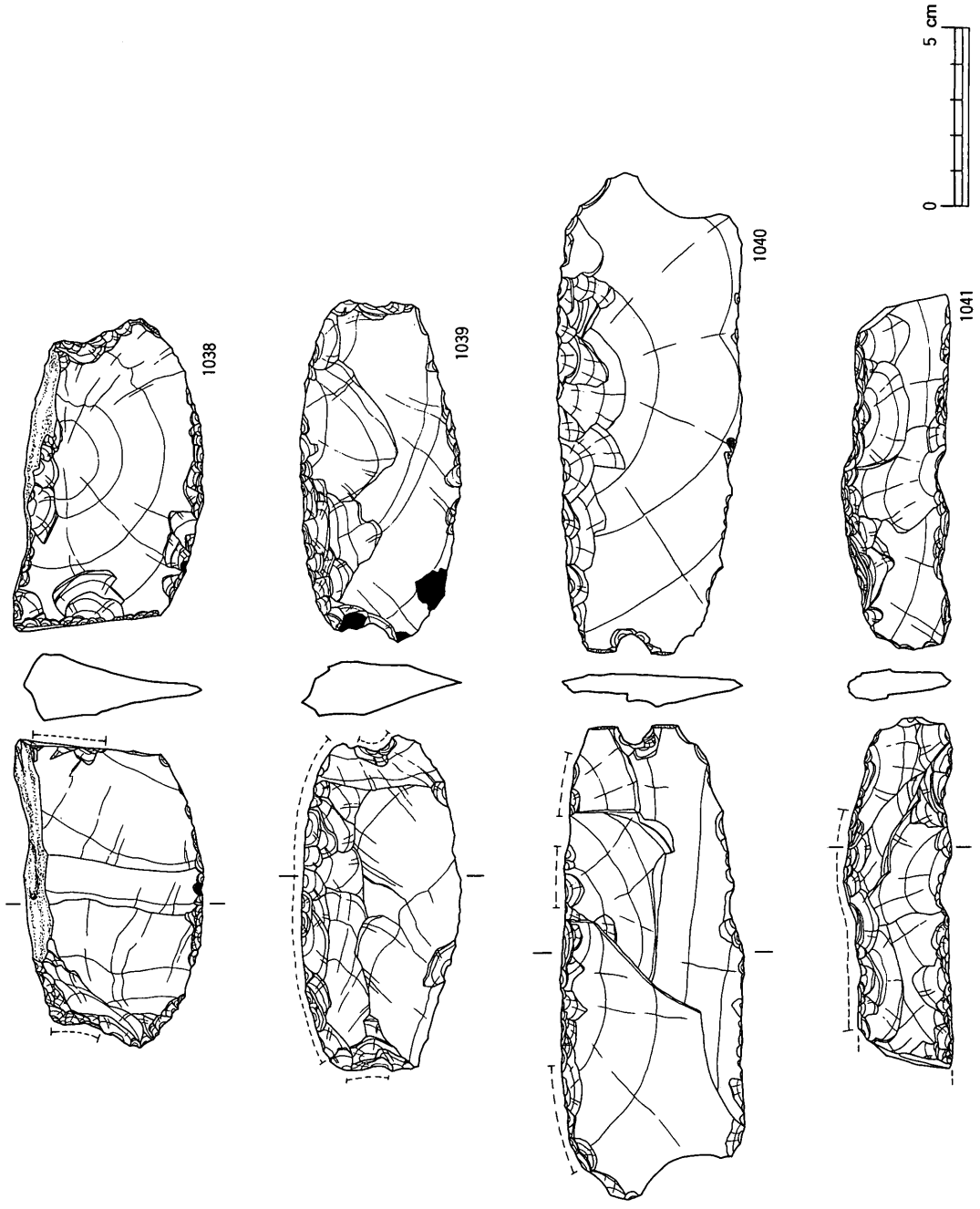
第110図　1②ＳＲ０１出土土器⑦（1/4）



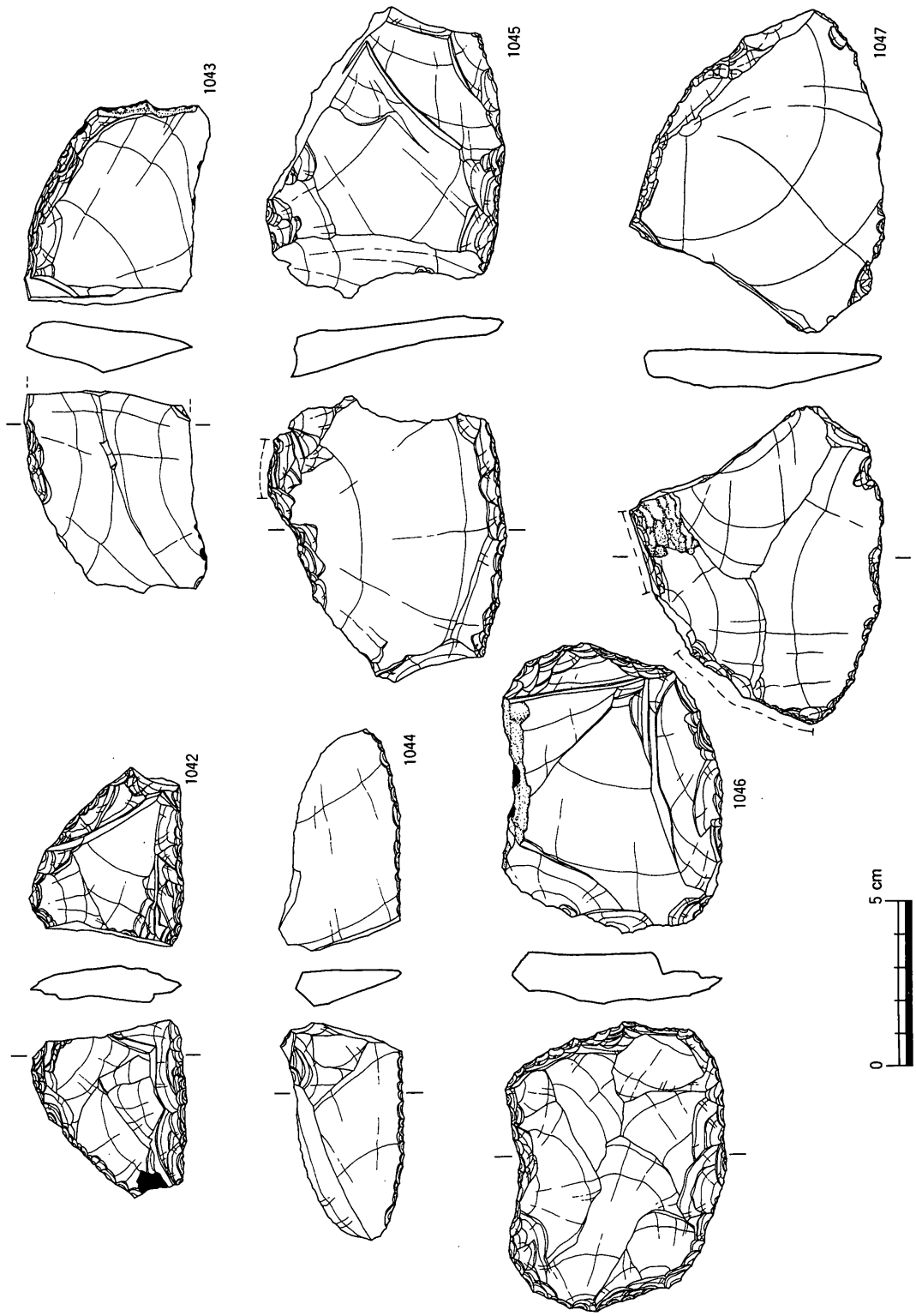
第111図　1②ＳＲ０１出土土器⑧（1/4）・石器①（1/2）



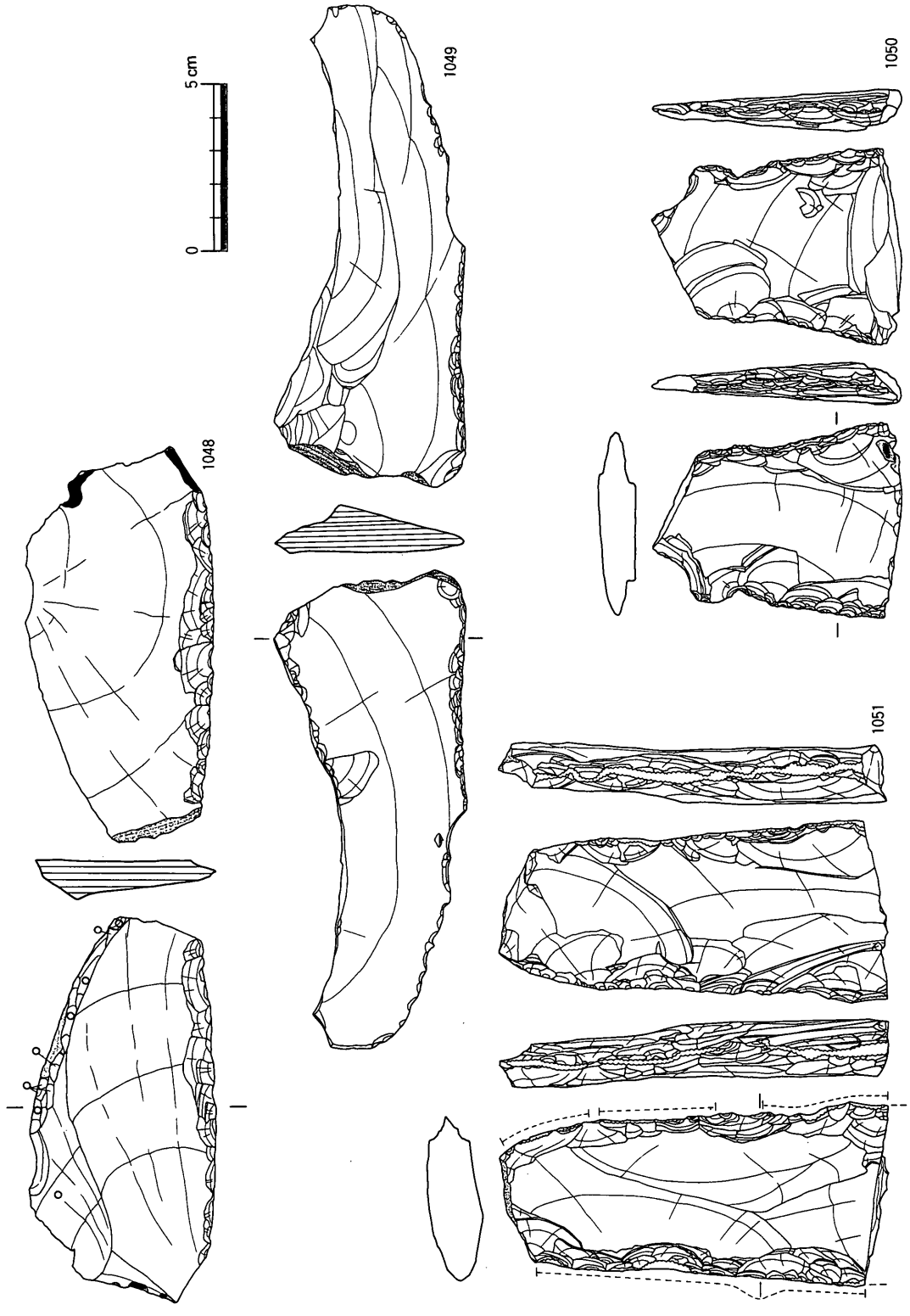
第112図　１②ＳＲ０１出土石器②（1/2）



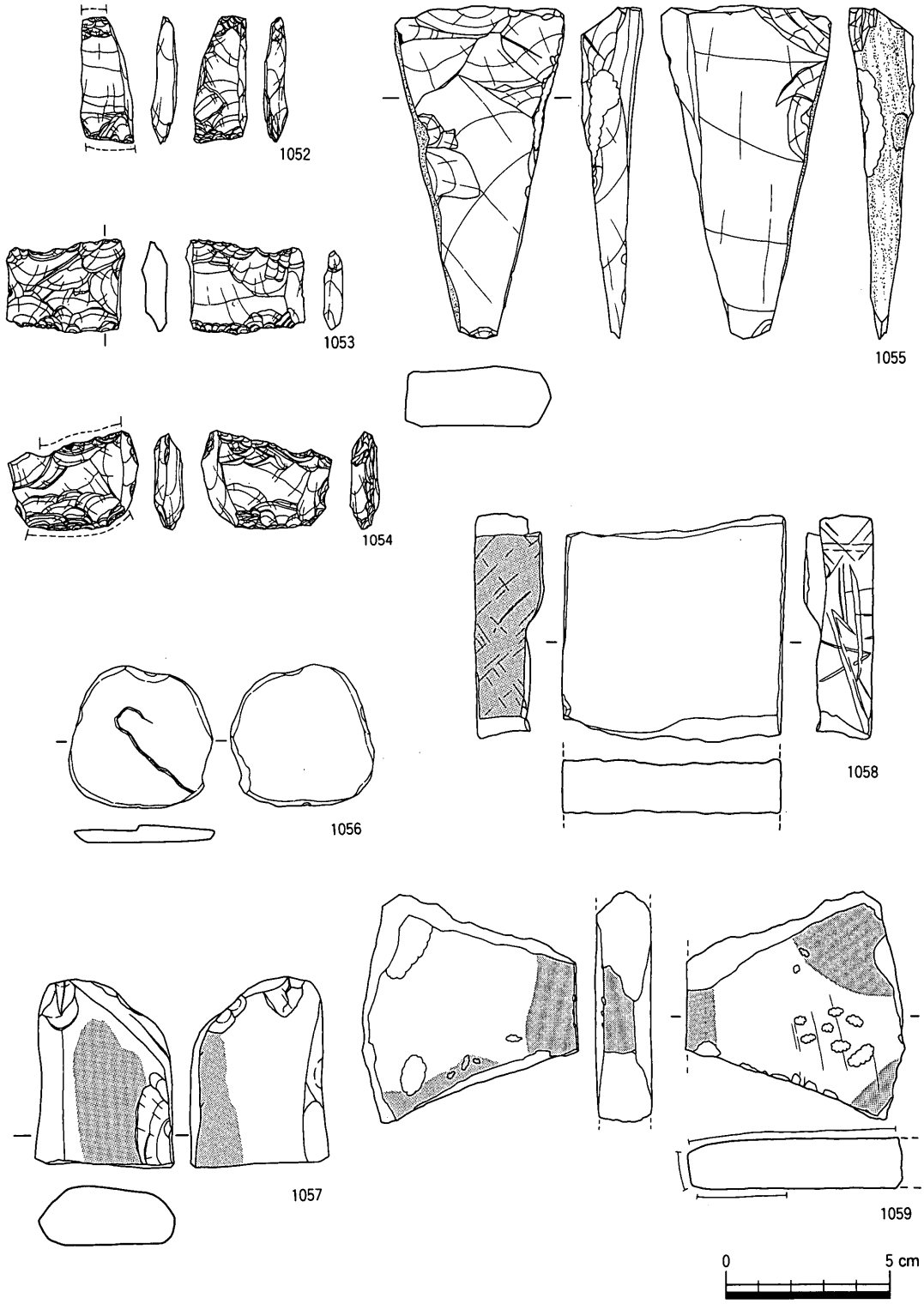
第113図　1③ＳＲ０１出土石器③（1/2）



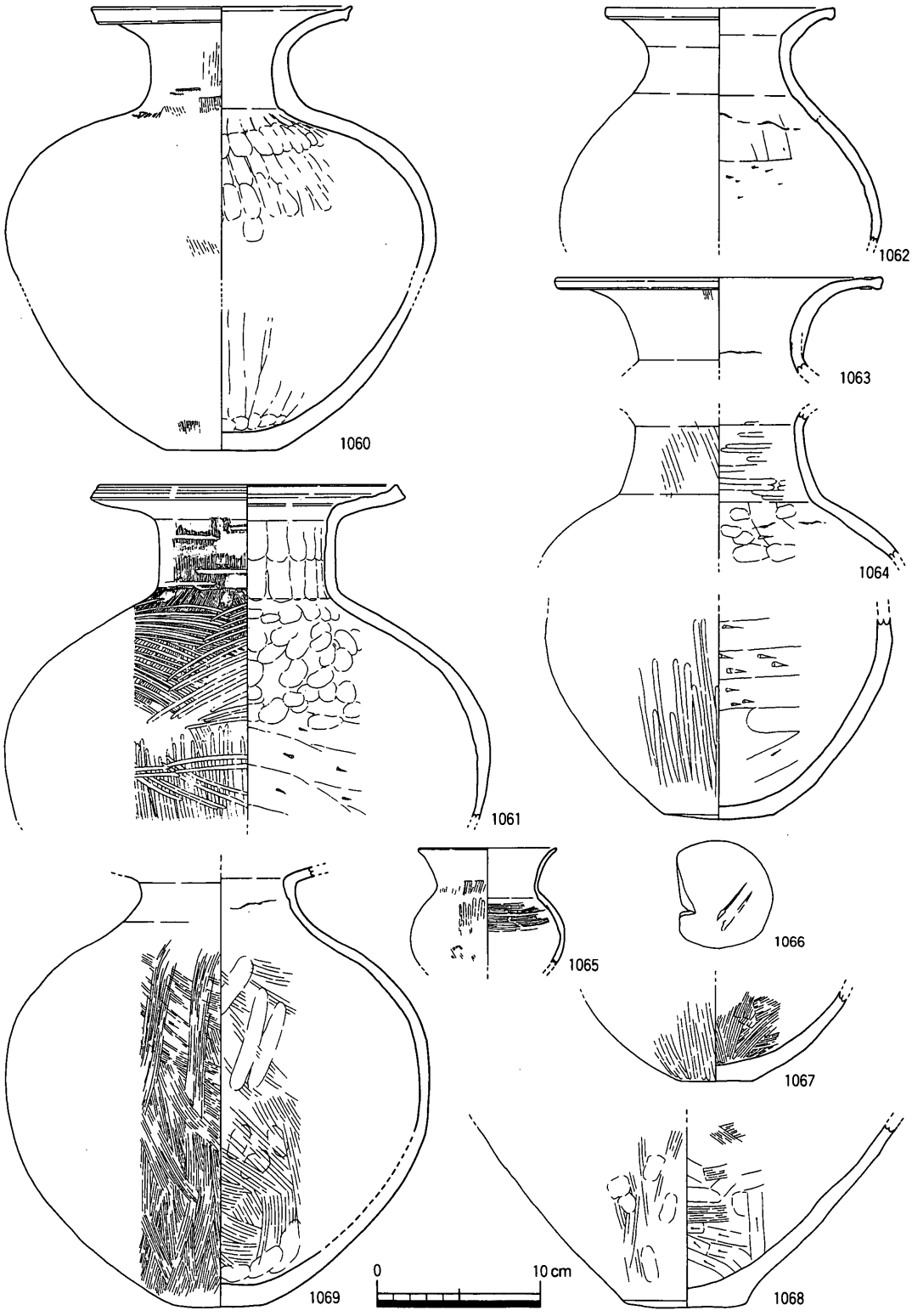
第114図　1③ＳＲ０１出土石器④（1/2）



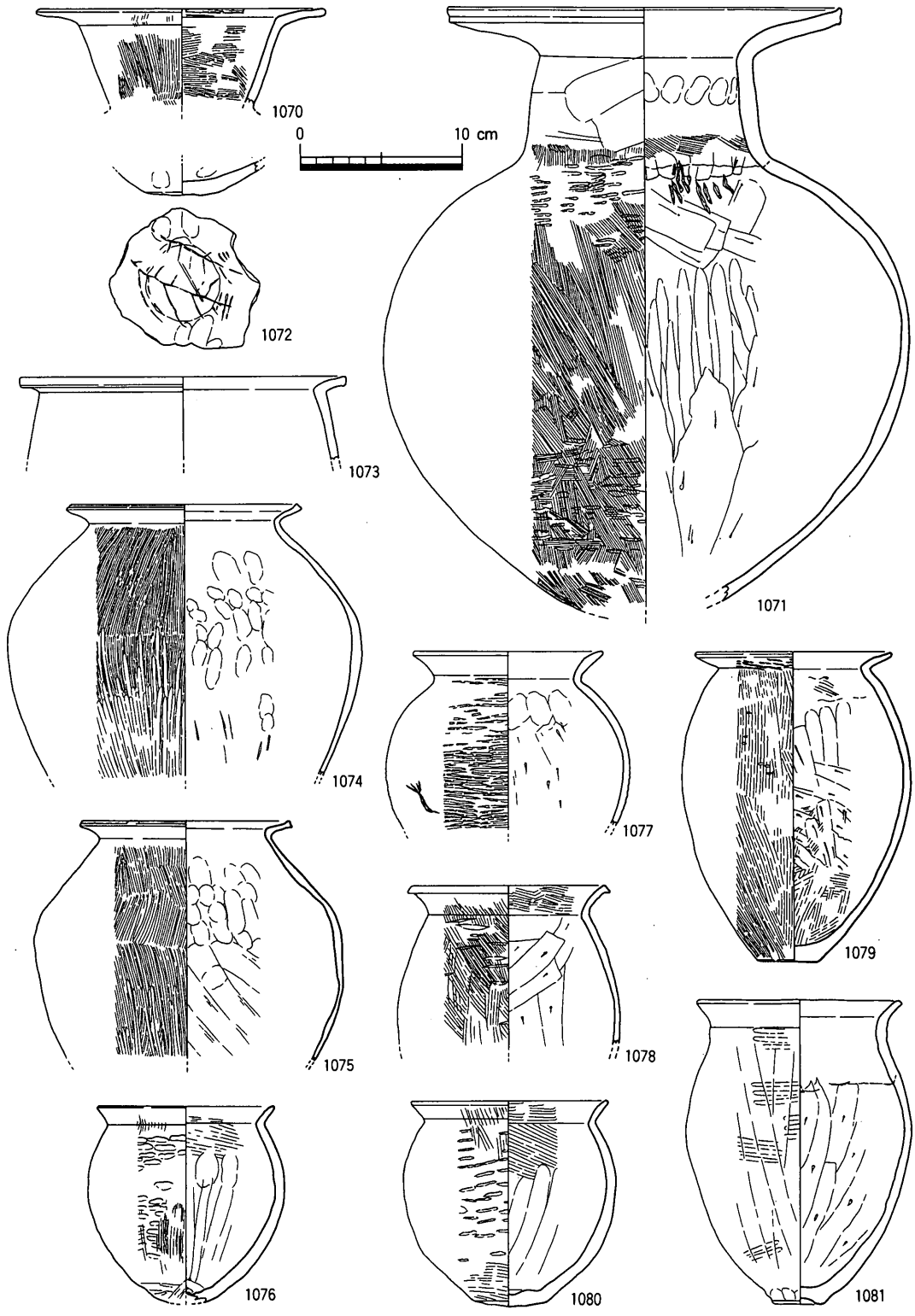
第115図　1②ＳＲ０１出土石器⑤（1/2）



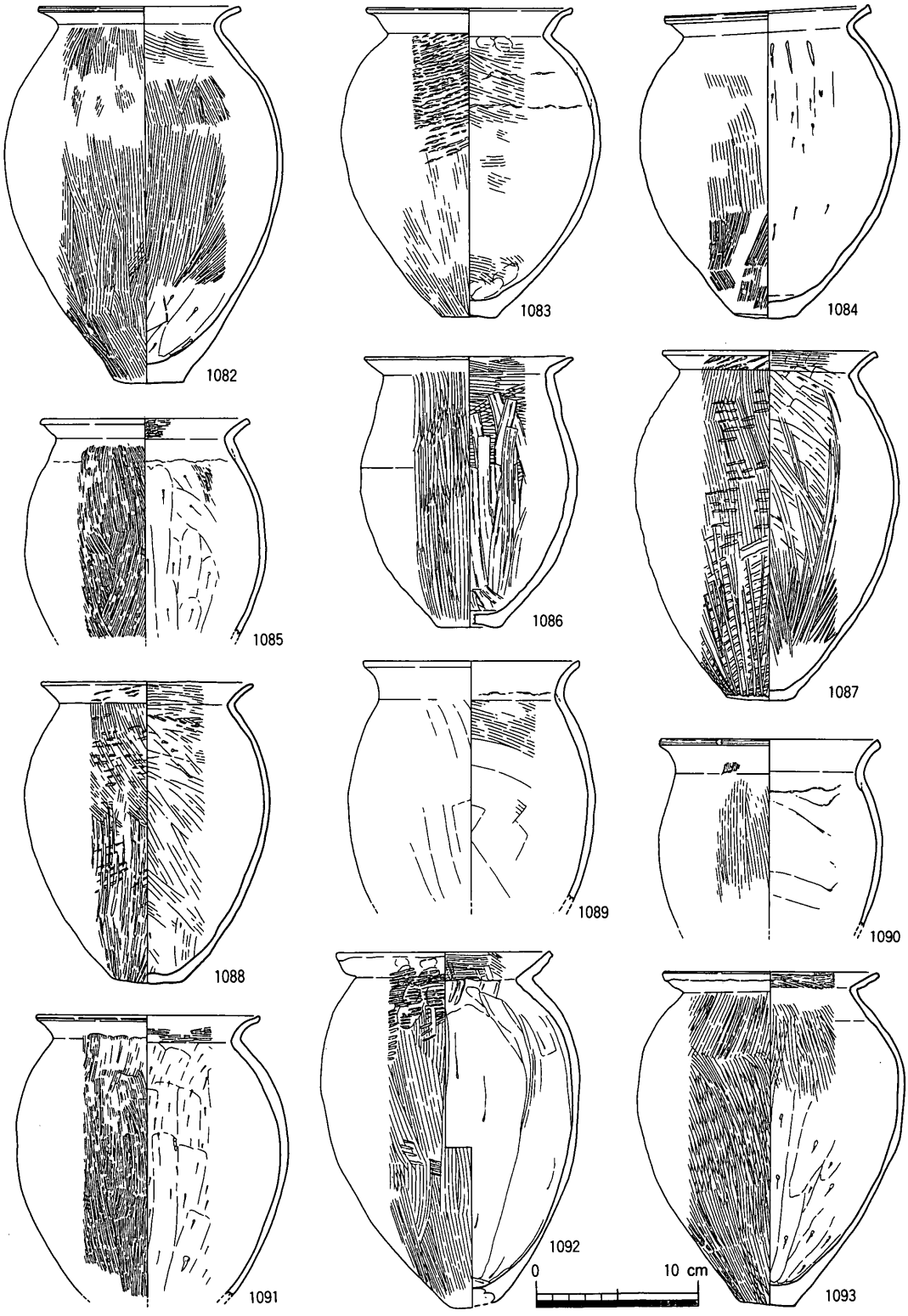
第116図　1②ＳＲ０１出土石器⑥（1/2）



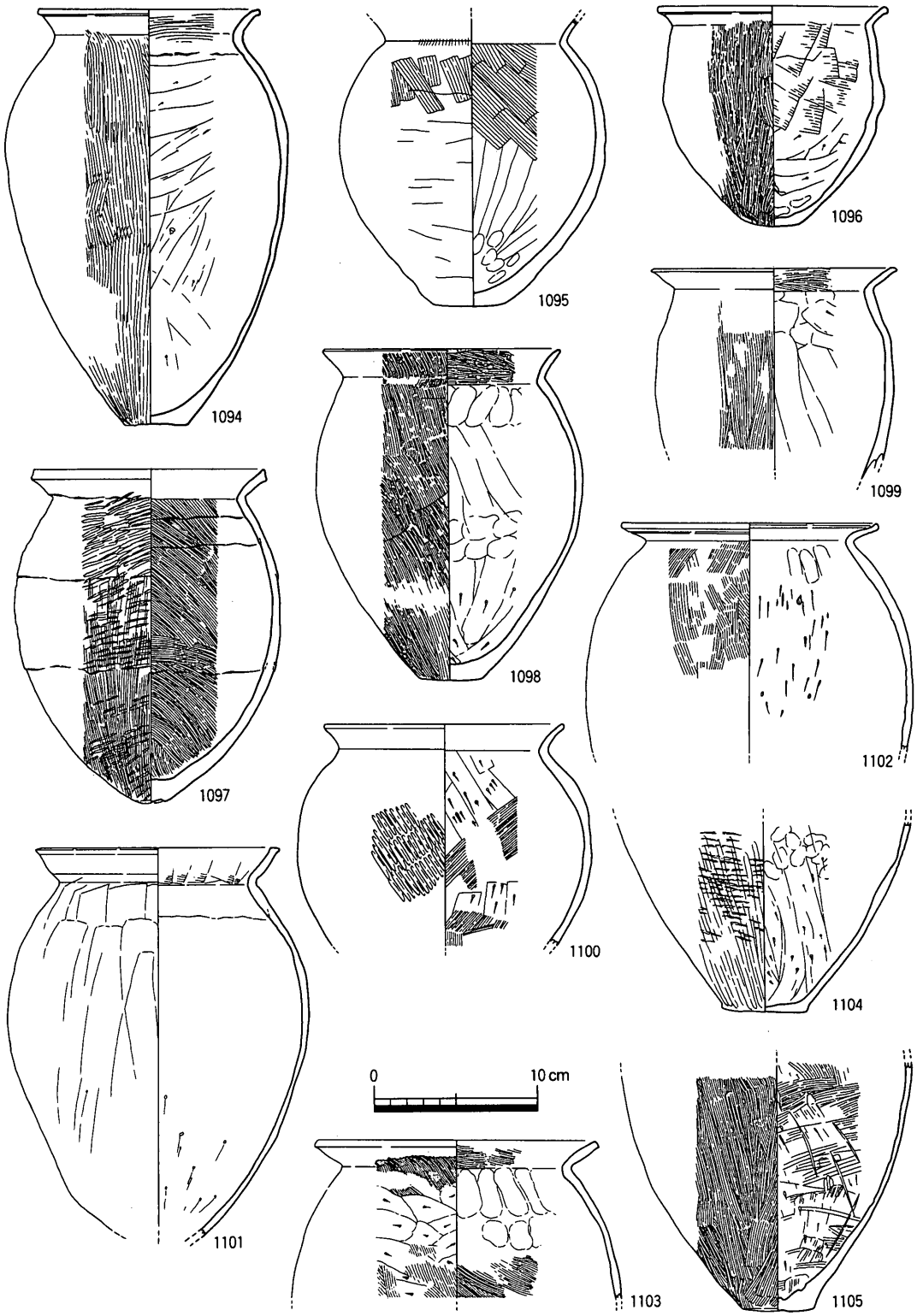
第117図　１③ＳＲ０１出土土器①（1/4）



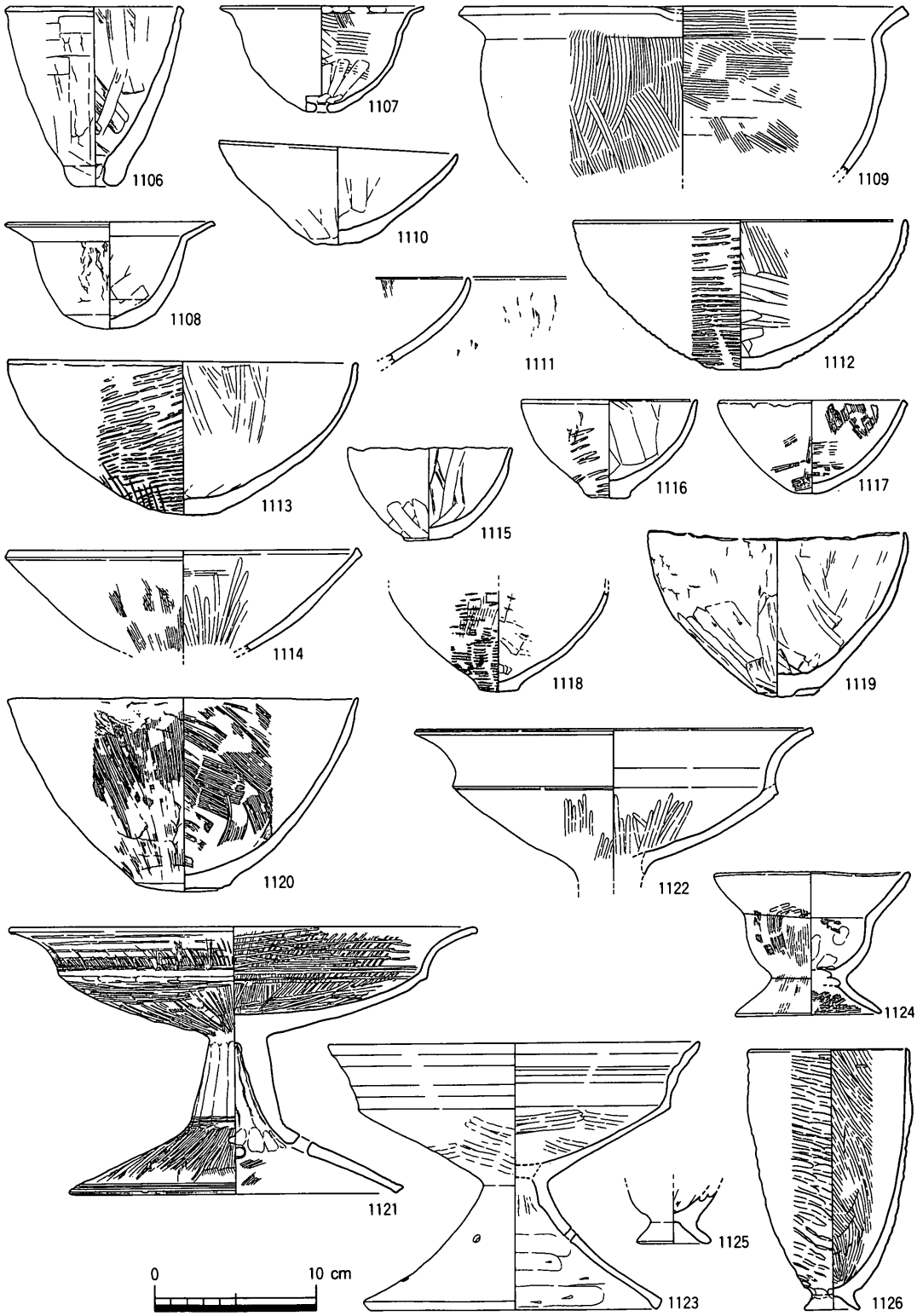
第118図　１③ＳＲ０１出土土器②（1/4）



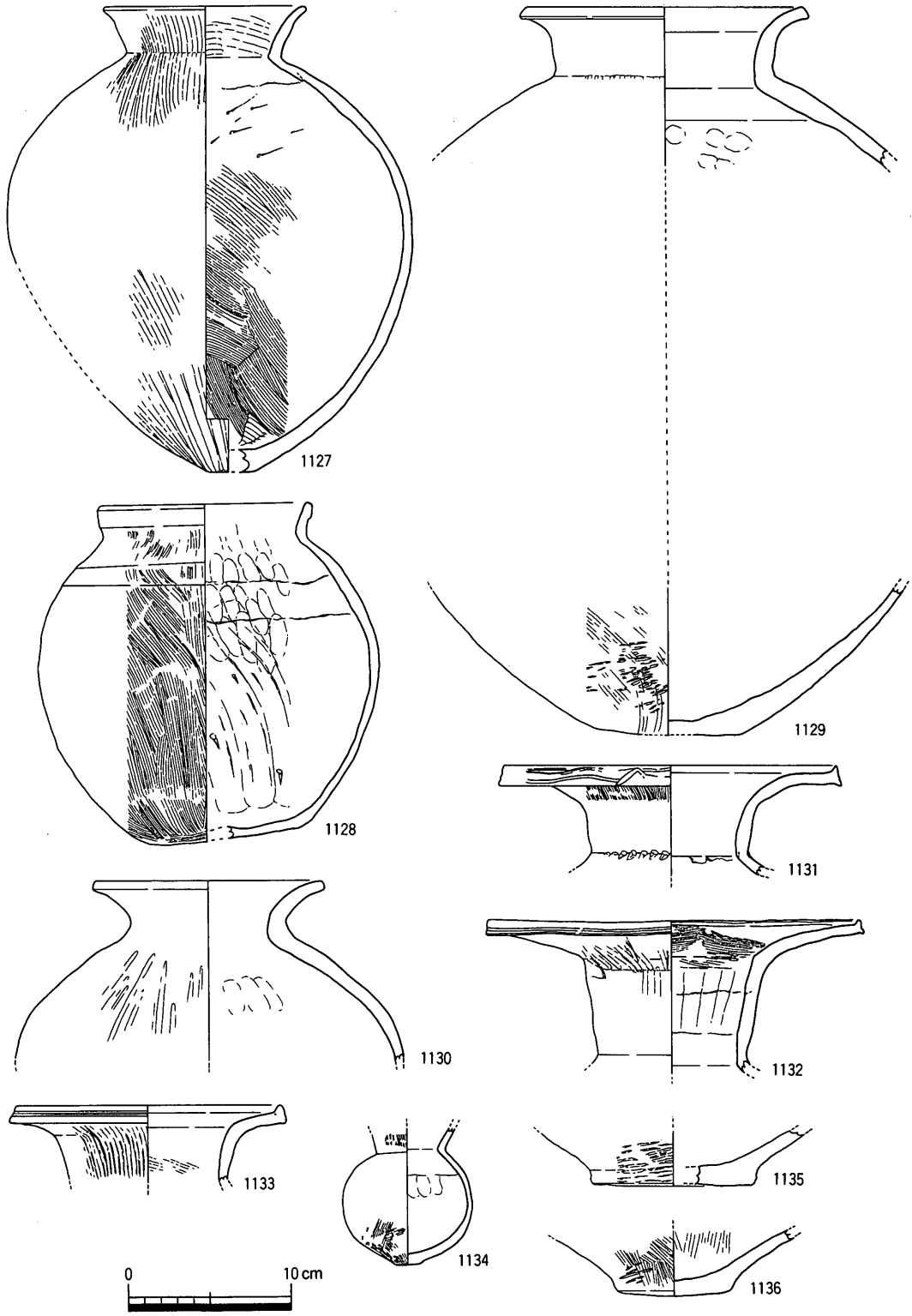
第119図　1③ＳＲ０１出土土器③（1/4）



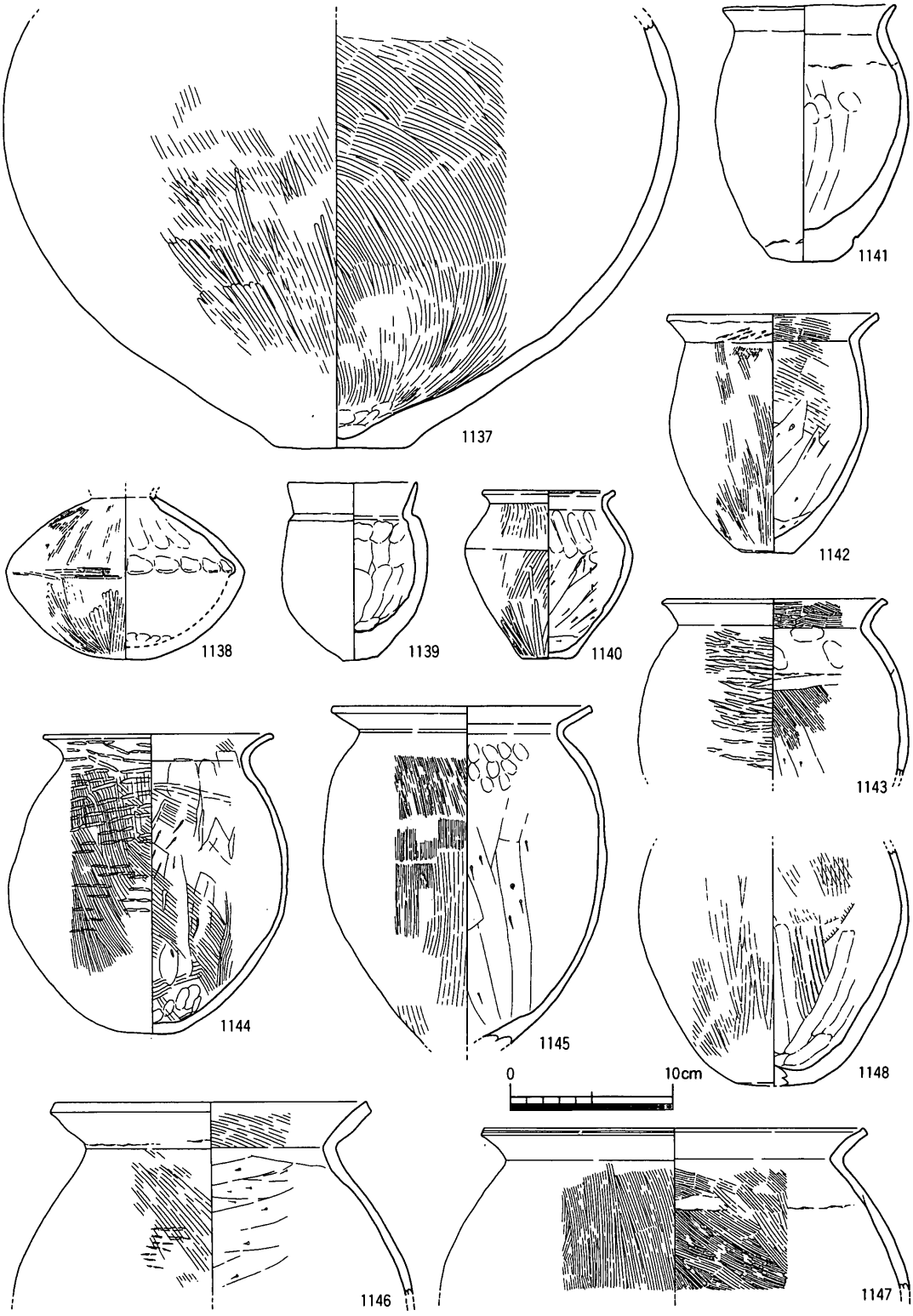
第120図　１③ＳＲ０１出土土器④（1/4）



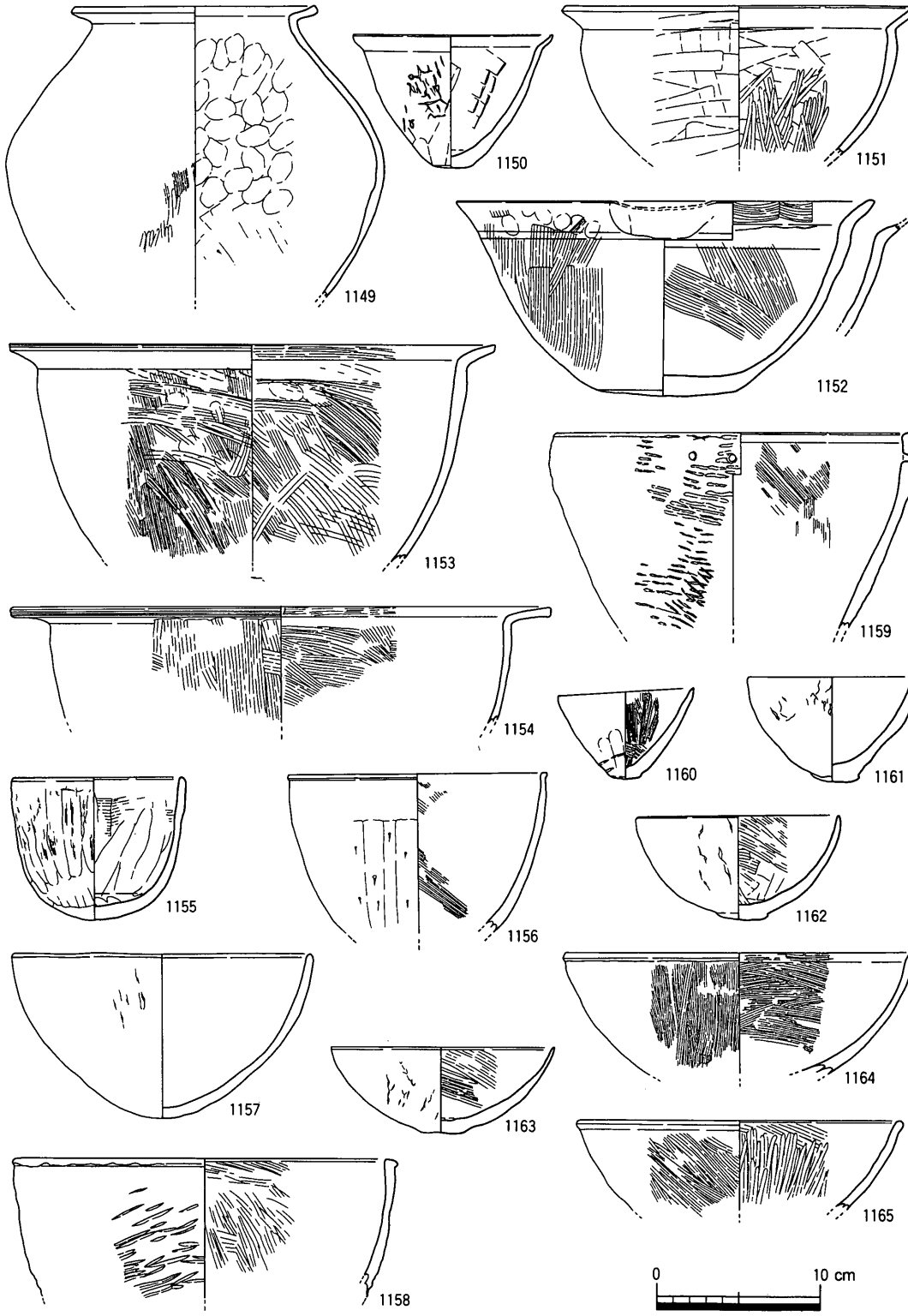
第121図　1③ＳＲ０１出土土器⑤（1/4）



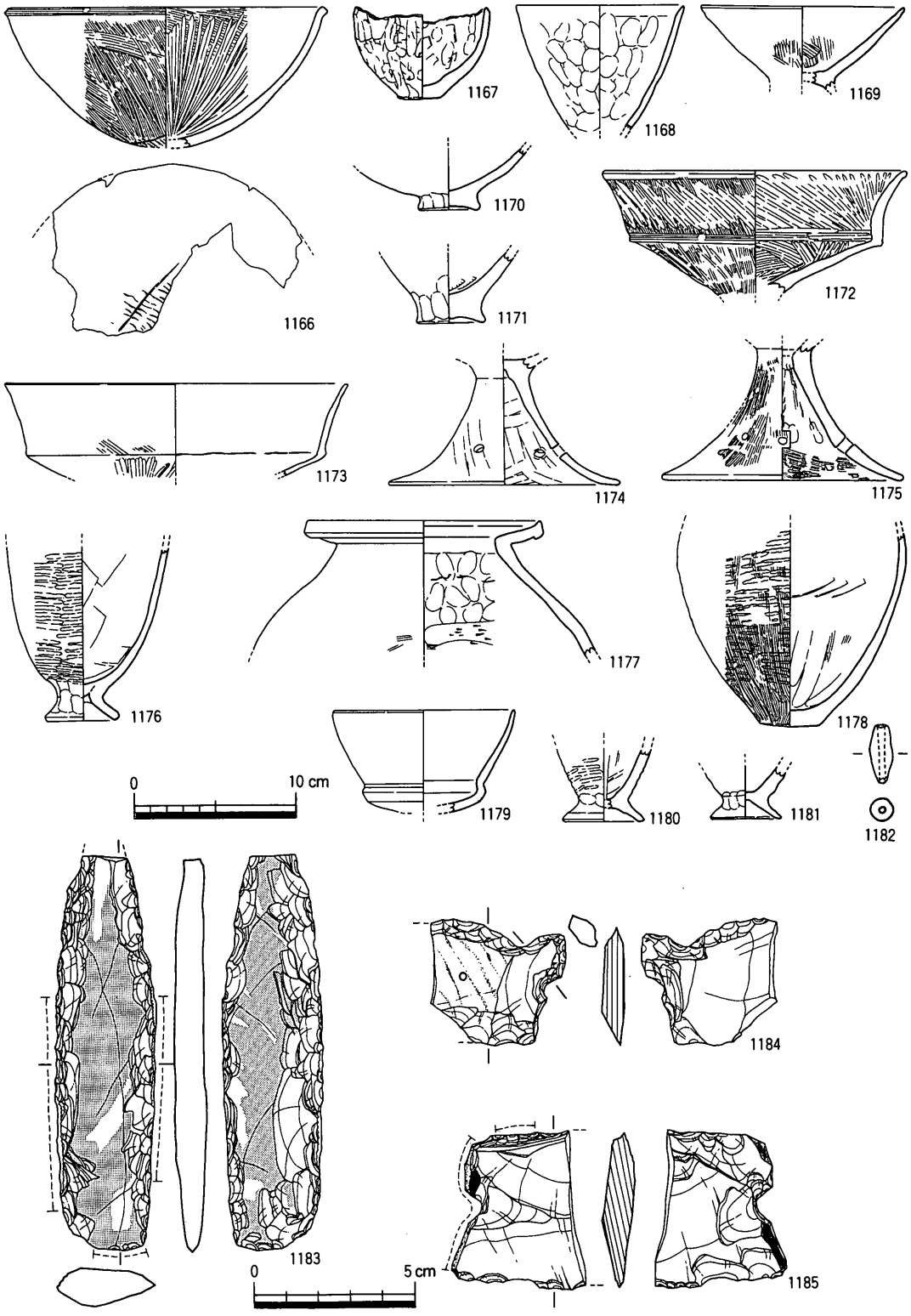
第122図　１③ＳＲ０１出土土器⑥（1/4）



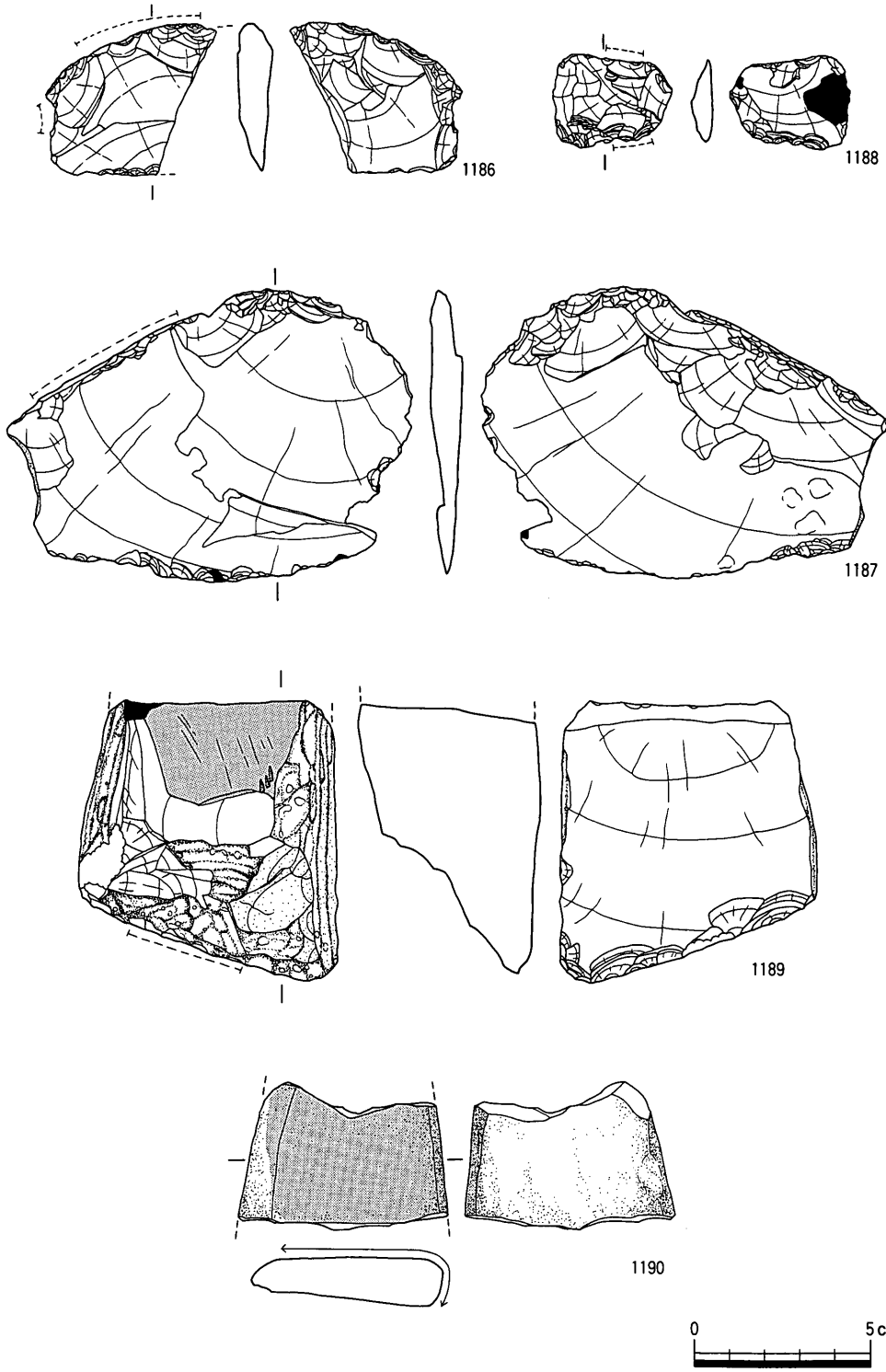
第123図　1③ＳＲ０１出土土器⑦（1/4）



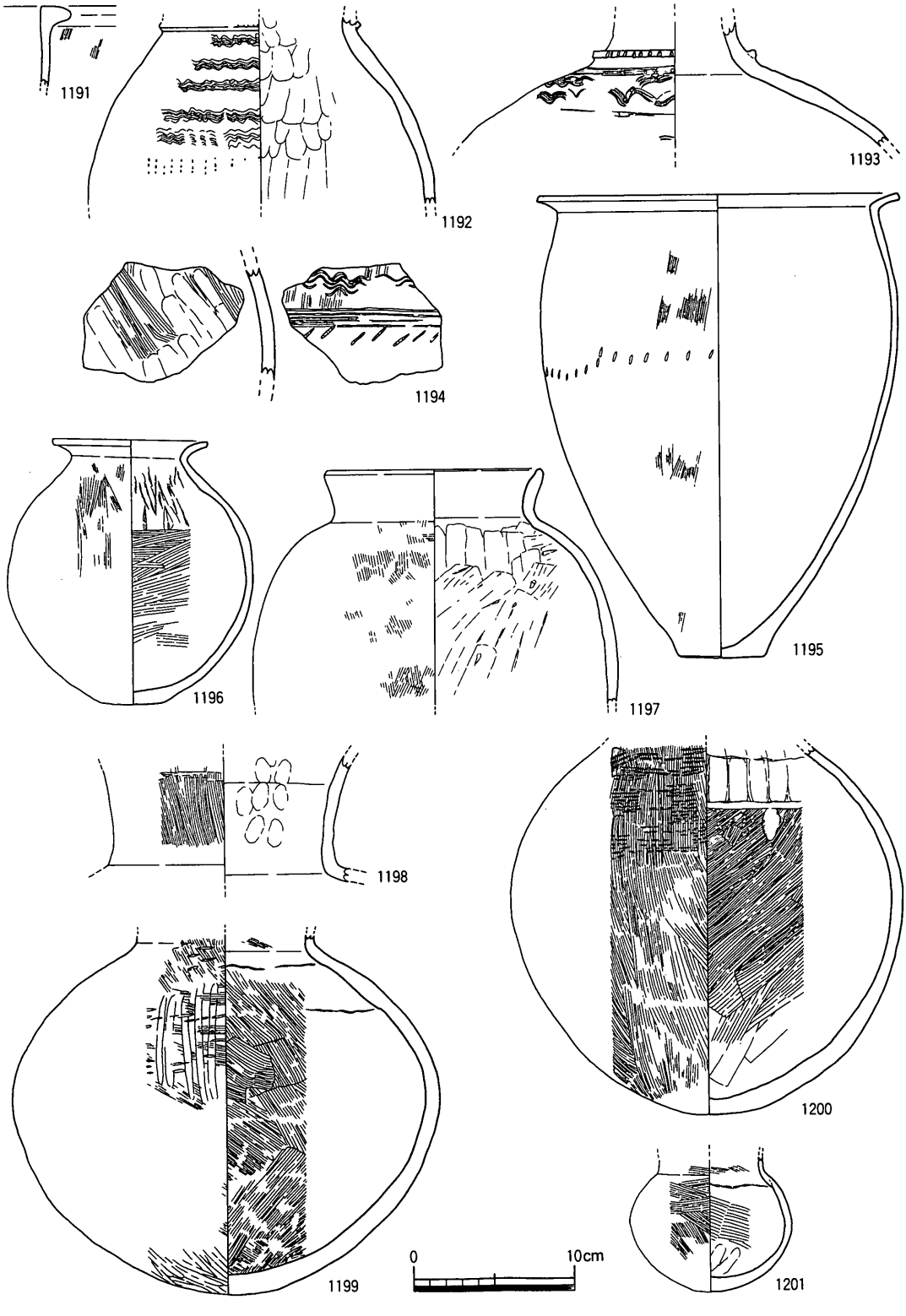
第124図　1③ＳＲ０１出土土器⑧（1/4）



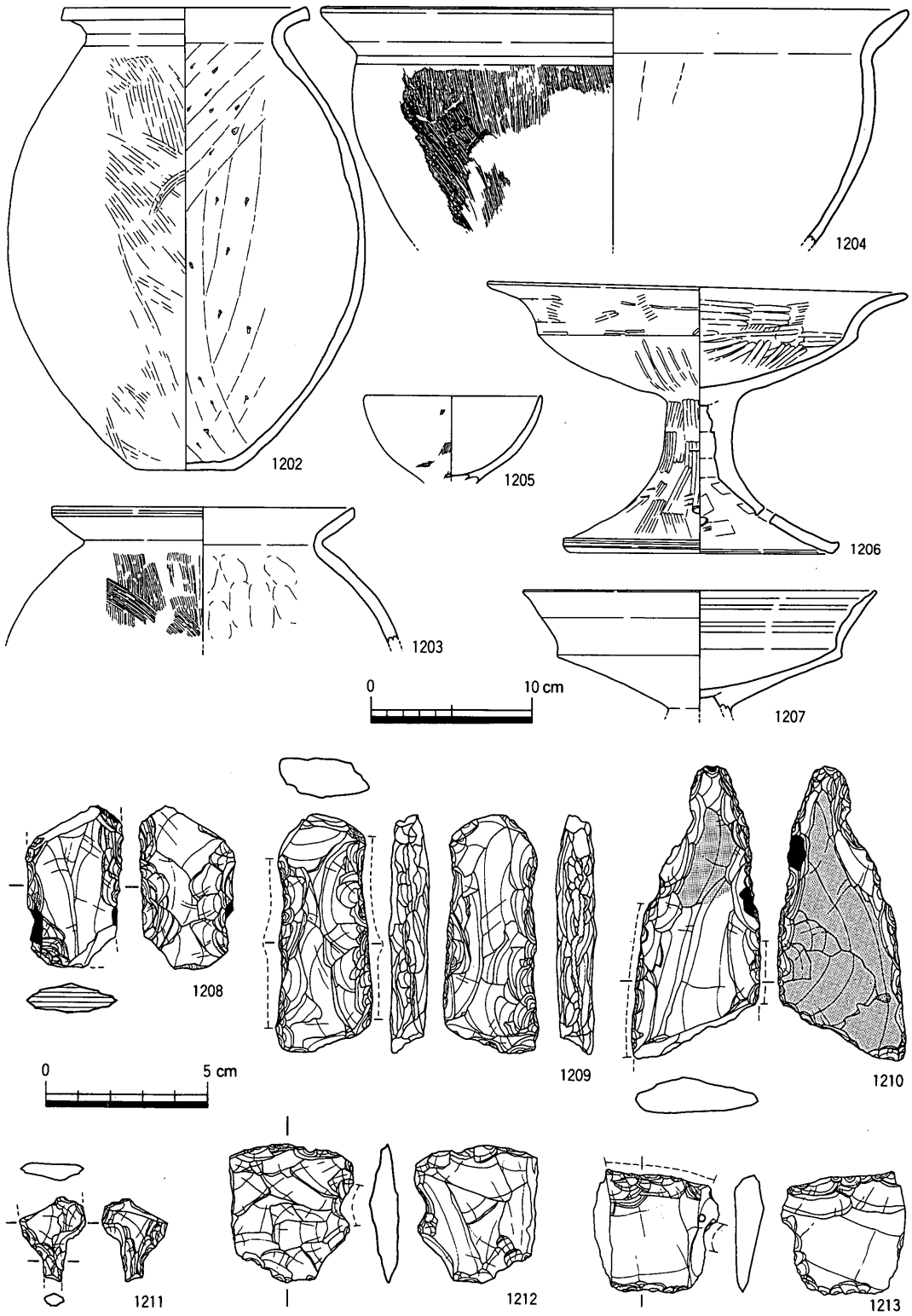
第125図　1③ＳＲ０１出土土器⑨（1/4）・石器①（1/2）



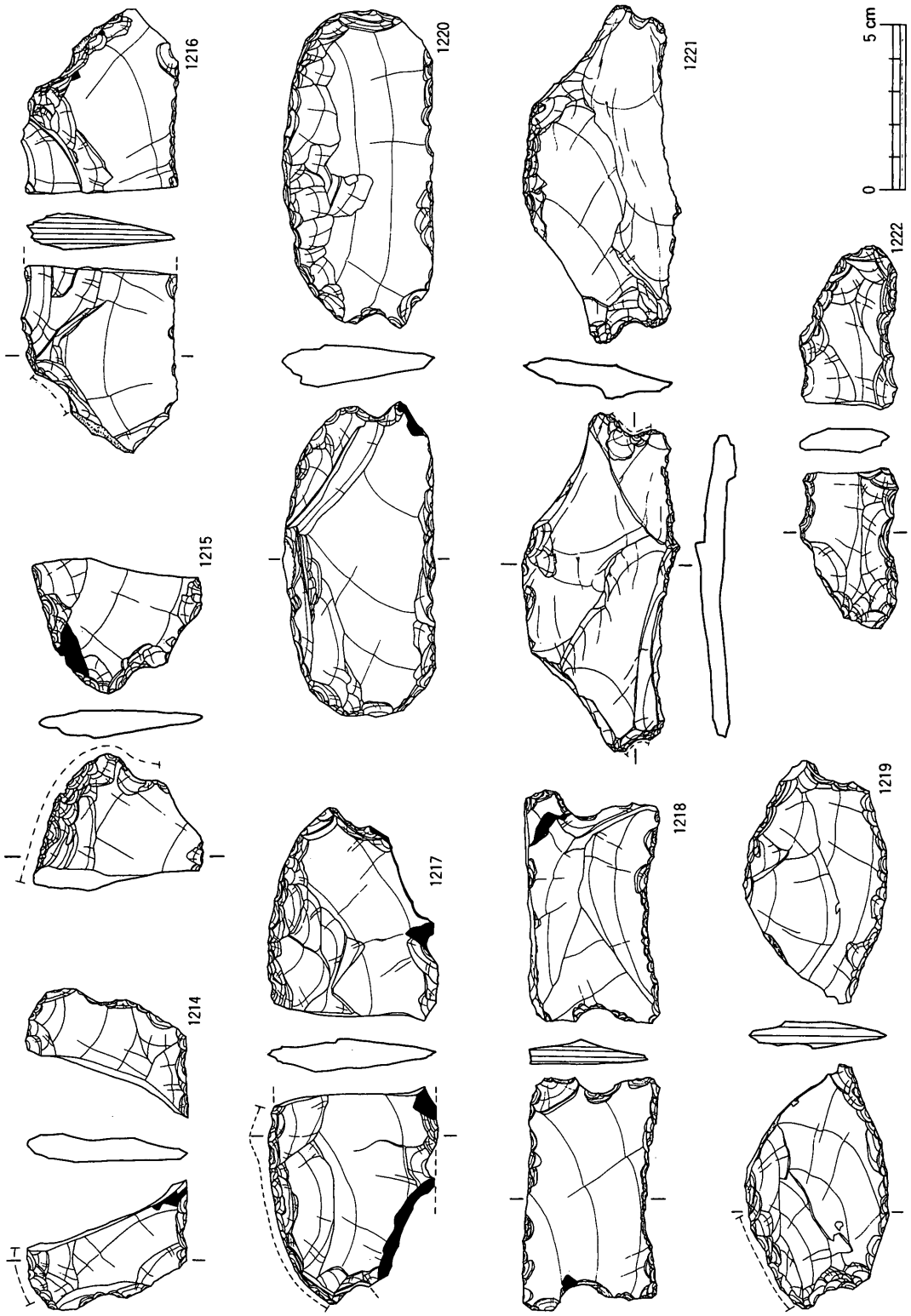
第126図　１③ＳＲ０１出土石器②（1/2）



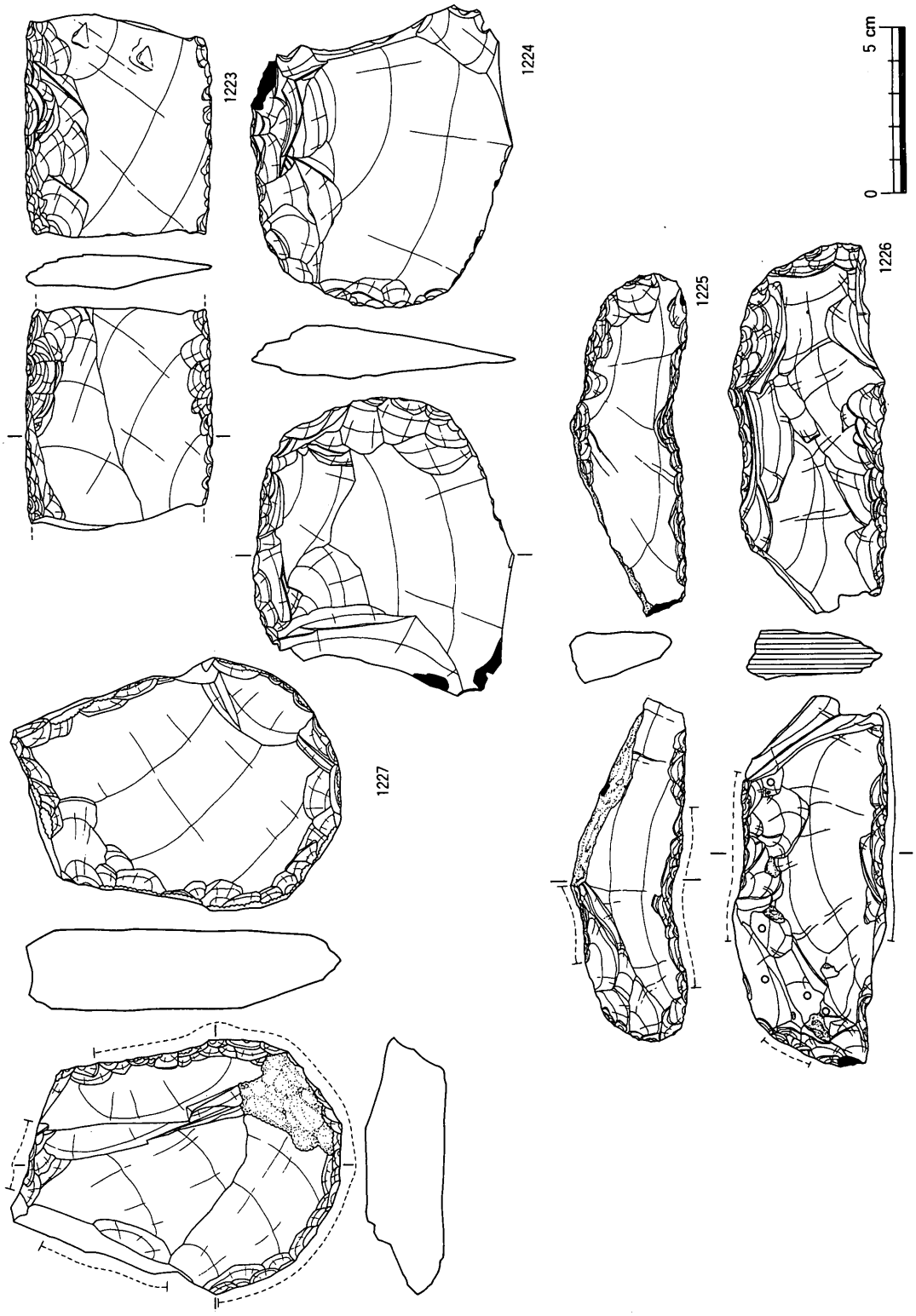
第127図　２①ＳＲ０１出土土器①（1/4）



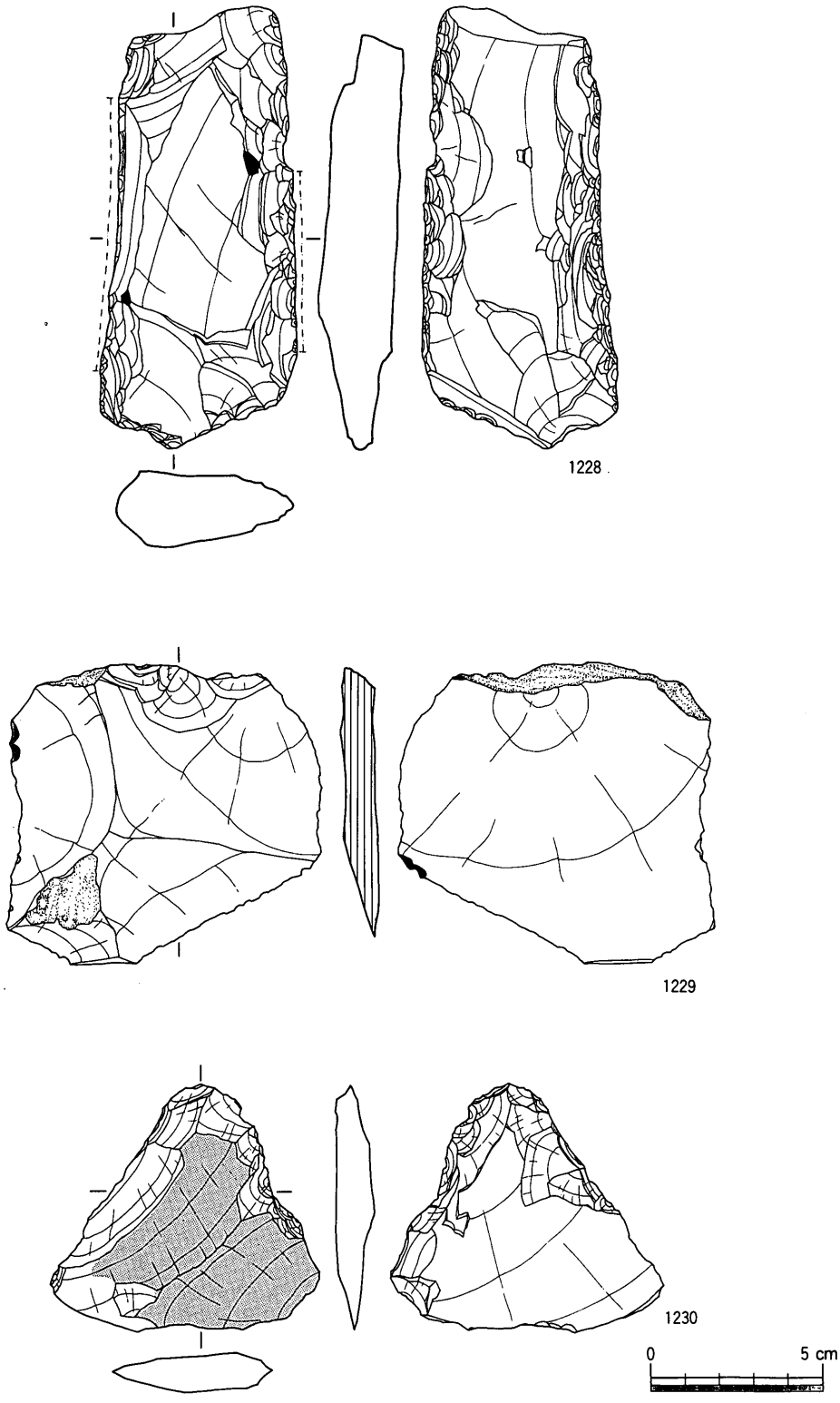
第128図　２①ＳＲ０１出土土器②（1/4）・石器①（1/2）



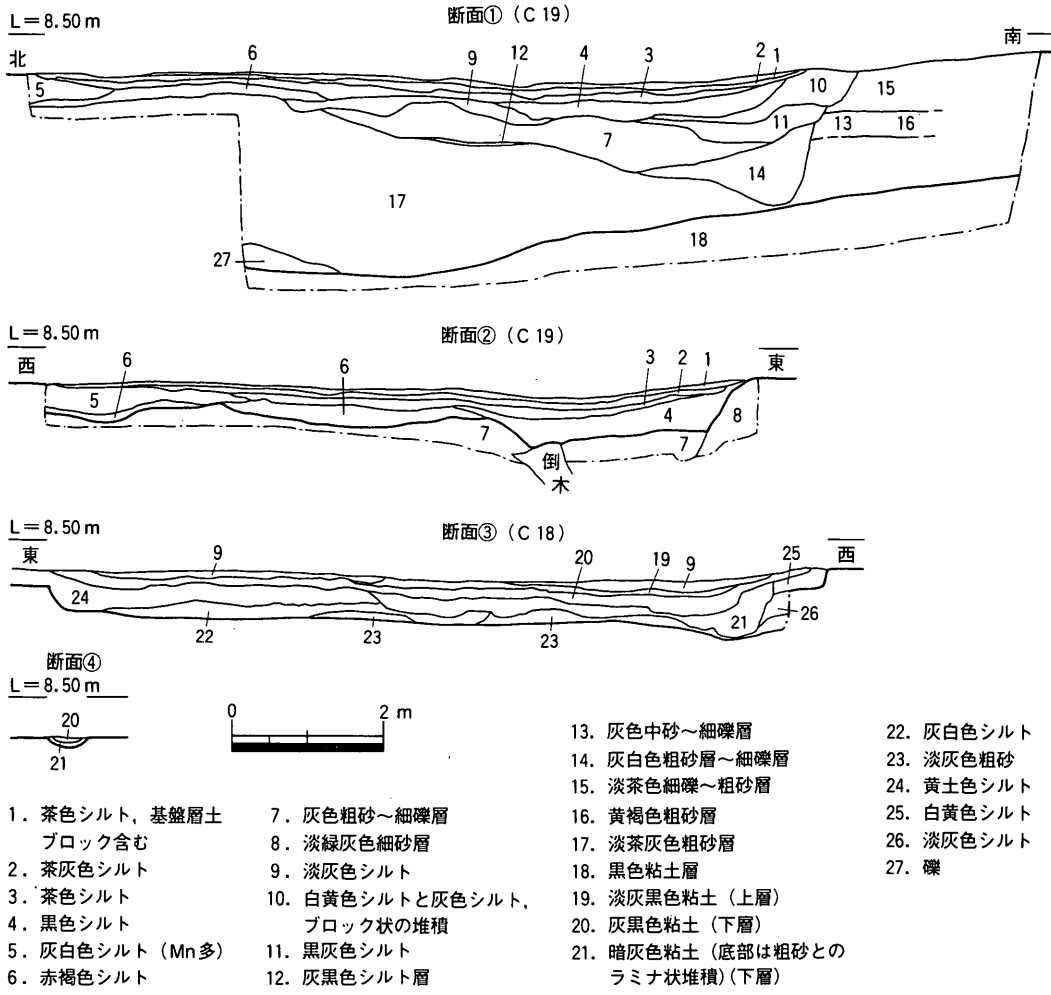
第129図　2①ＳＲ０１出土石器②（1/2）



第130図　2①ＳＲ０１出土石器③（1/2）



第131図　2①ＳＲ０１出土石器④（1/2）

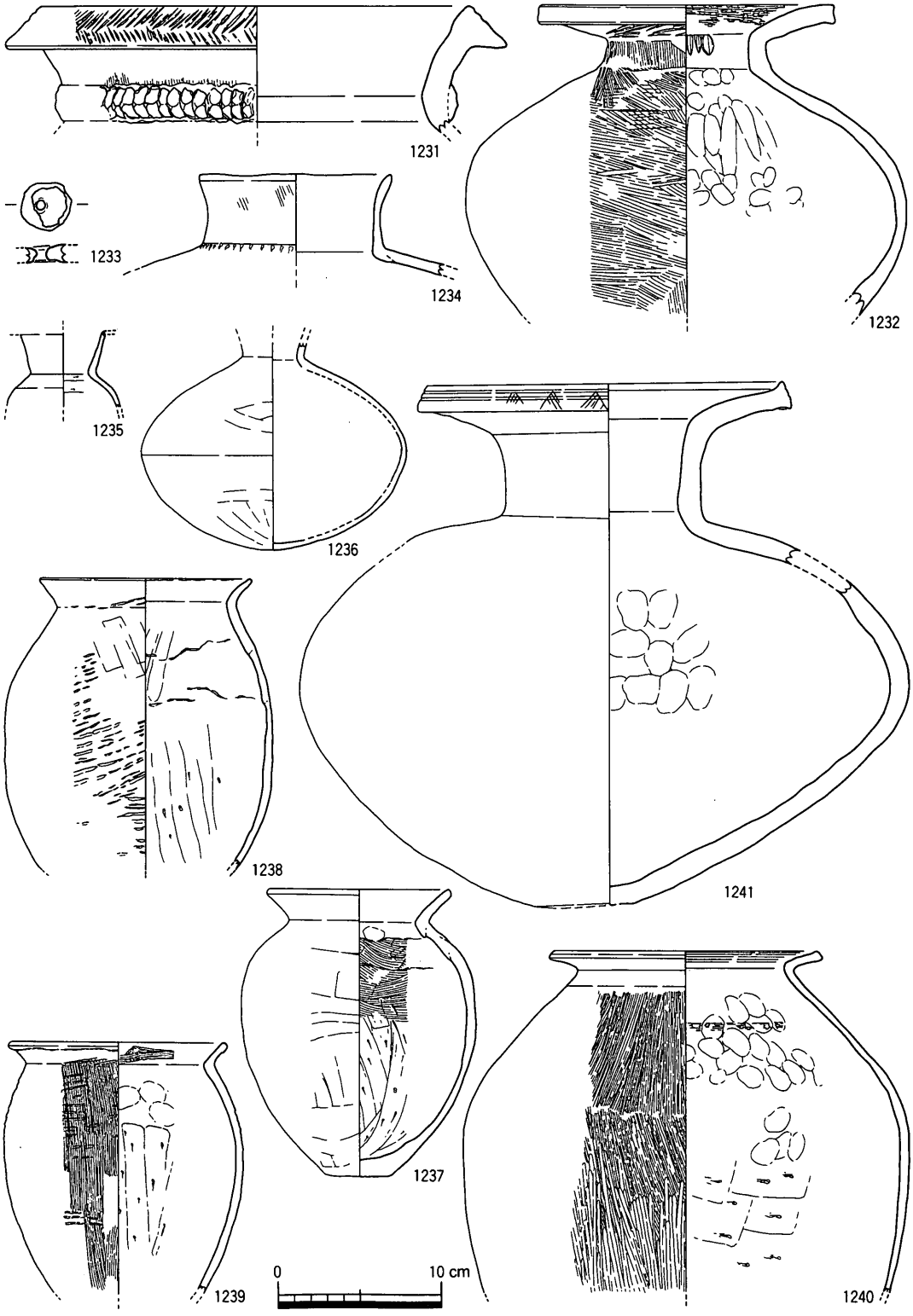


1．茶色シルト，基盤層土ブロック含む
2．茶灰色シルト
3．茶色シルト
4．黒色シルト
5．灰白色シルト（Mn多）
6．赤褐色シルト
7．灰色粗砂～細礫層
8．淡緑灰色細砂層
9．淡灰色シルト
10．白黄色シルトと灰色シルト，ブロック状の堆積
11．黒灰色シルト
12．灰黒色シルト層
13．灰色中砂～細礫層
14．灰白色粗砂層～細礫層
15．淡茶色細礫～粗砂層
16．黄褐色粗砂層
17．淡茶灰色粗砂層
18．黒色粘土層
19．淡灰黒色粘土（上層）
20．灰黒色粘土（下層）
21．暗灰色粘土（底部は粗砂とのラミナ状堆積）（下層）
22．灰白色シルト
23．淡灰色粗砂
24．黄土色シルト
25．白黄色シルト
26．淡灰色シルト
27．礫

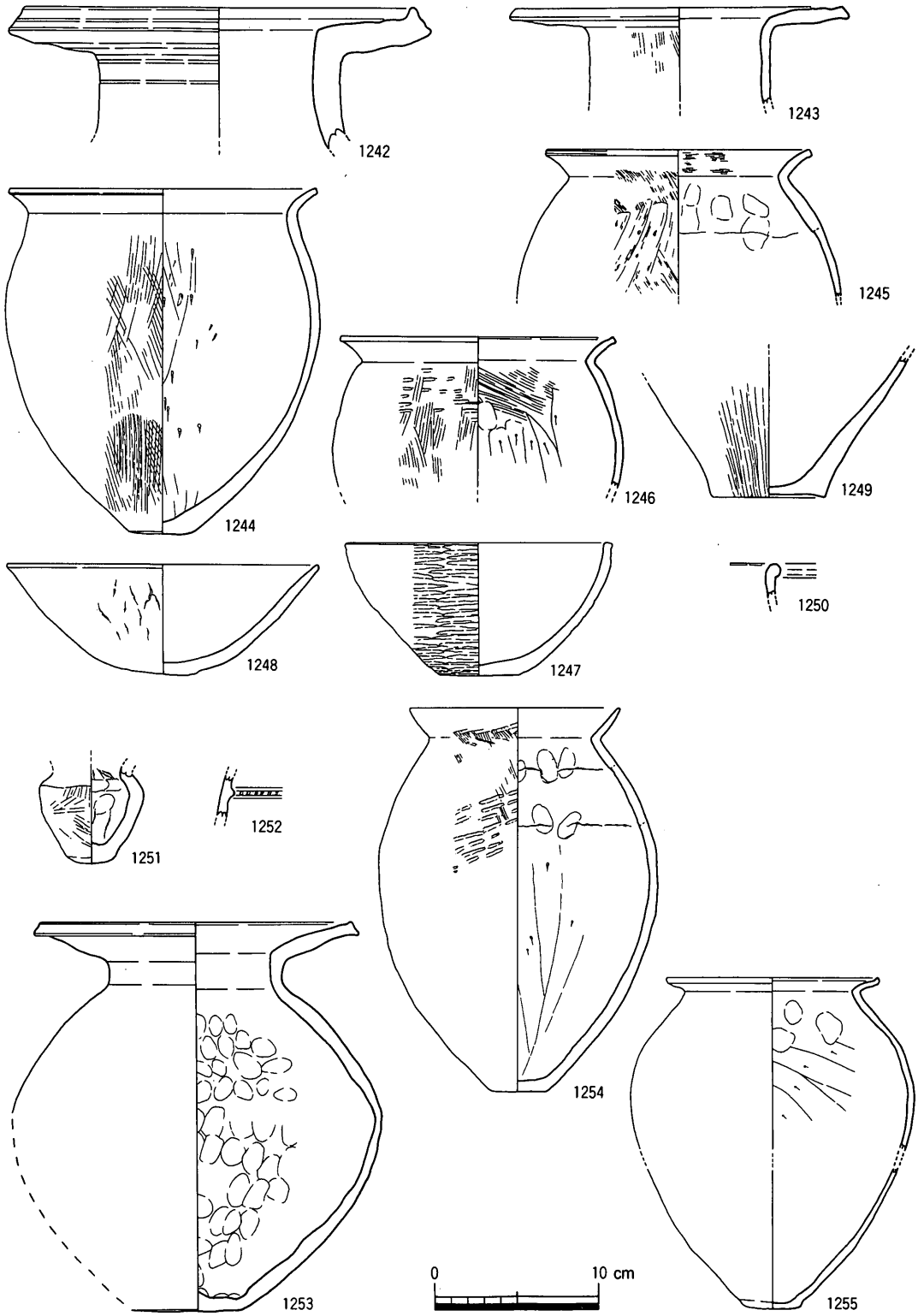
第132図　２③ＳＲ０２断面図（1/100）

る。弥生時代の流路はC18区画から東に屈曲しその後南に屈曲し，さらに西に屈曲するという複雑な方向をとる。この流路の南端の輪郭線は，現在の水田の地割線とほぼ一致する。一方，古墳時代後期の流路は２①調査区からまっすぐ南西方向に伸び，おそらく調査区外で西に屈曲するものと考えられる。遺物はC19区画から最も多量に出土している。ここでは各区画ごとに報告する。

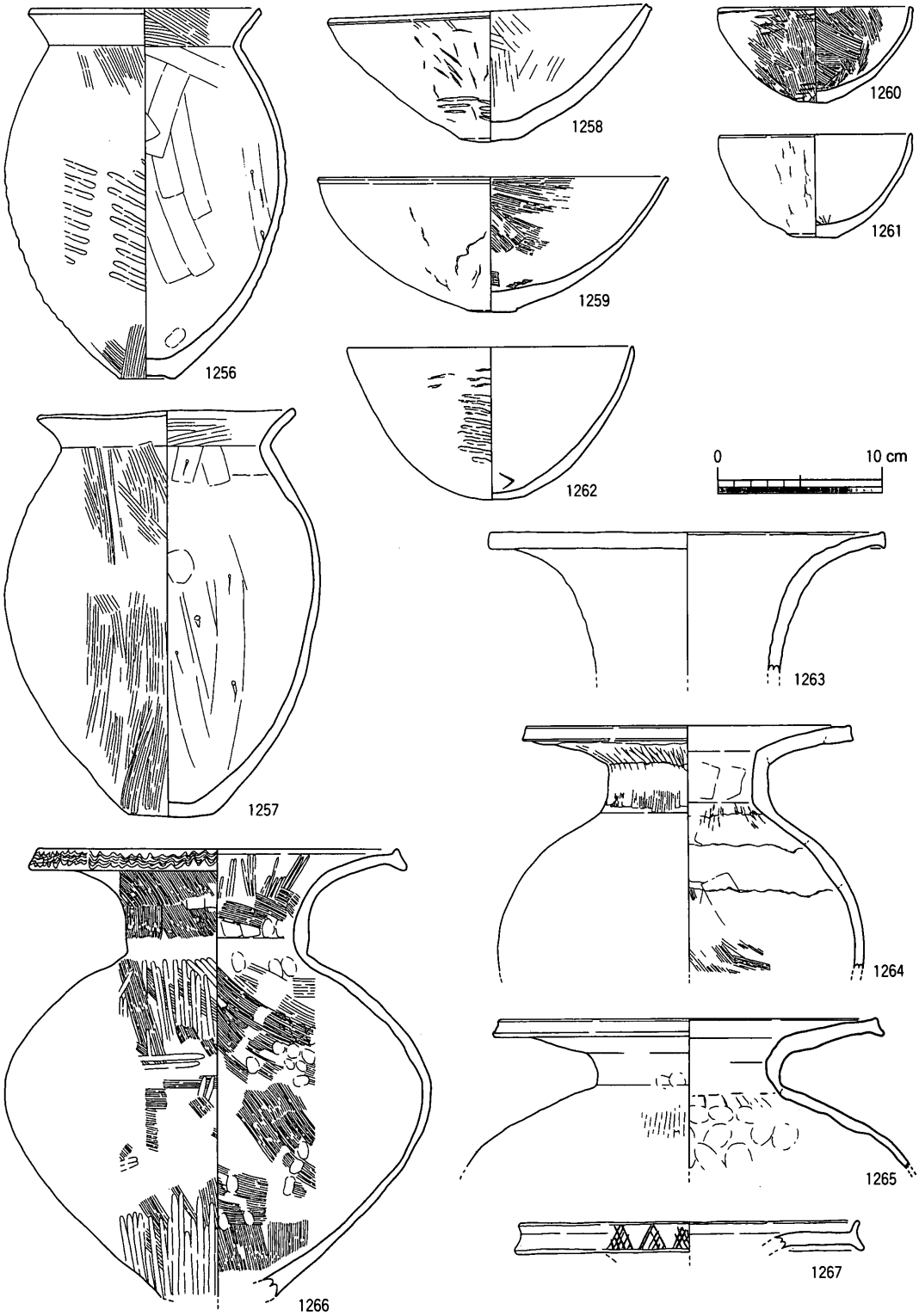
1231～1250は，C18区画から出土した土器である。1231はトレンチ中から出土した弥生時代中期の土器である。1232は弥生時代の流路（ＳＲ０２）のトレンチから出土した土器である。1233はＳＲ０２の上層埋土から出土したものである。1234～1240はＳＲ０２の下層埋土から出土したものである。1241～1250は古墳時代後期と弥生時代後期の流路が重なっている部分（ＳＲ０１）から出土した土器である。1249は弥生時代中期の土器である。



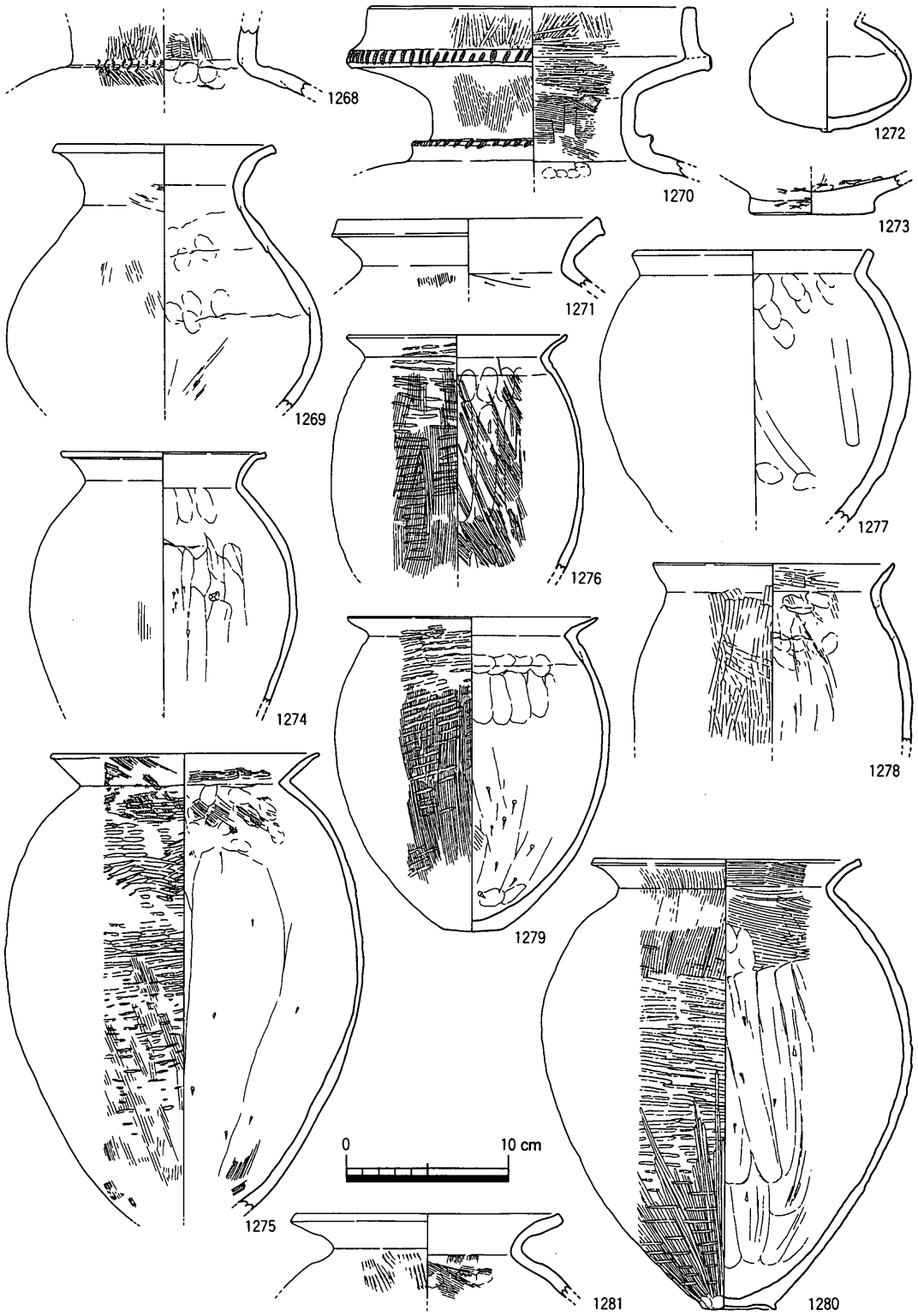
第133図　２②③ＳＲ０２・ＳＲ０１出土土器①（1/4）



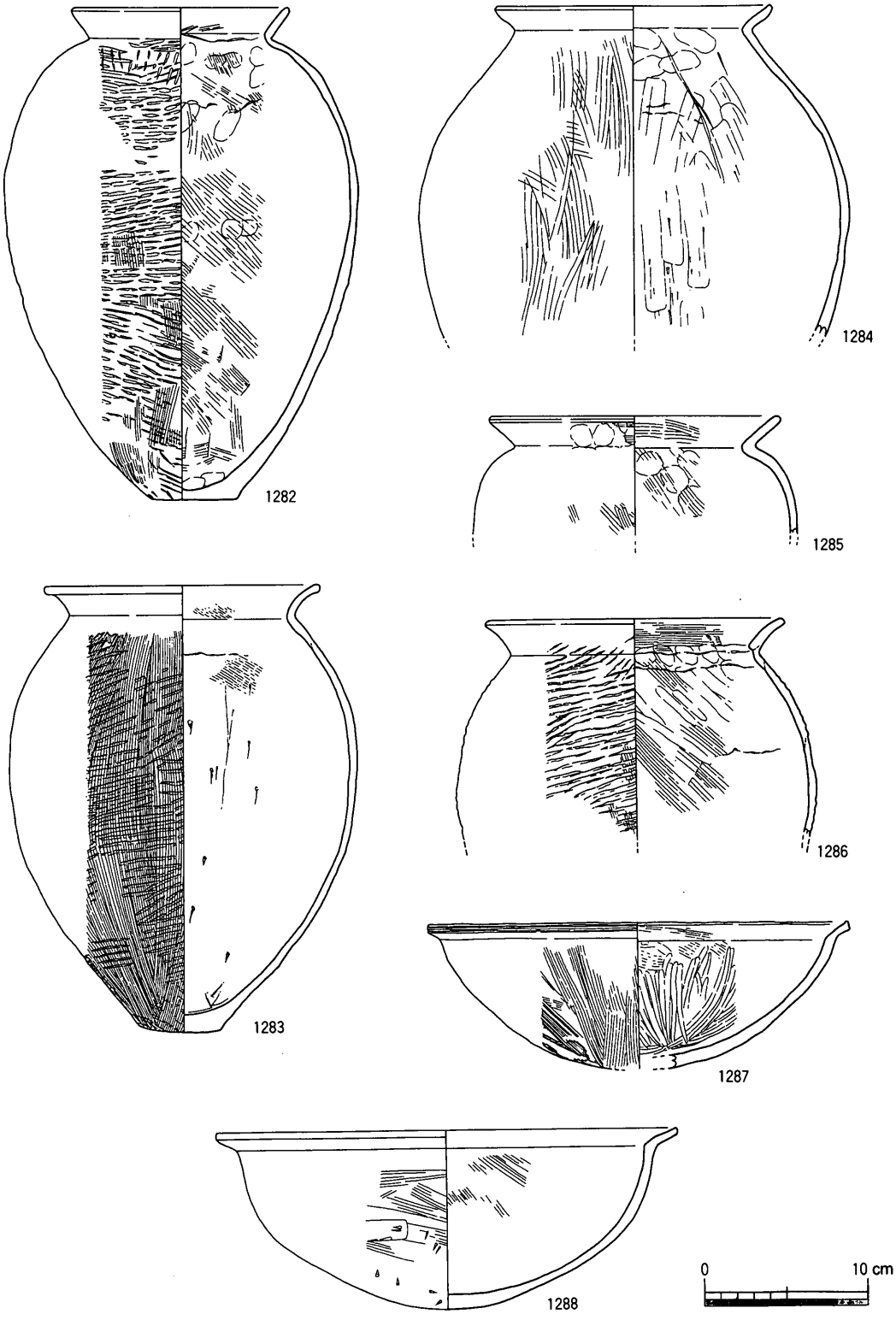
第134図　２②③ＳＲ０２・ＳＲ０１出土土器②（1/4）



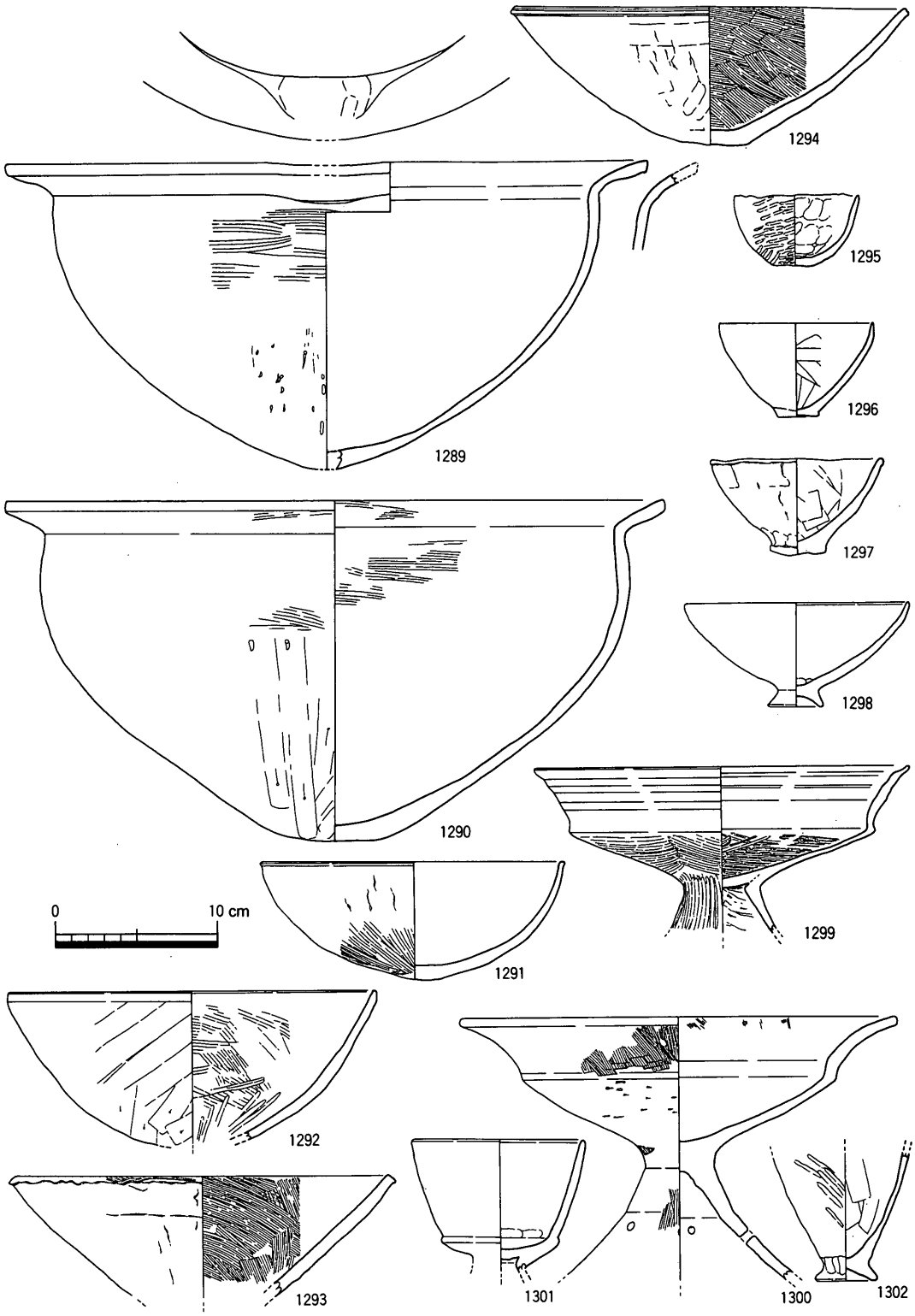
第135図　２②③ＳＲ０２出土土器①（1/4）



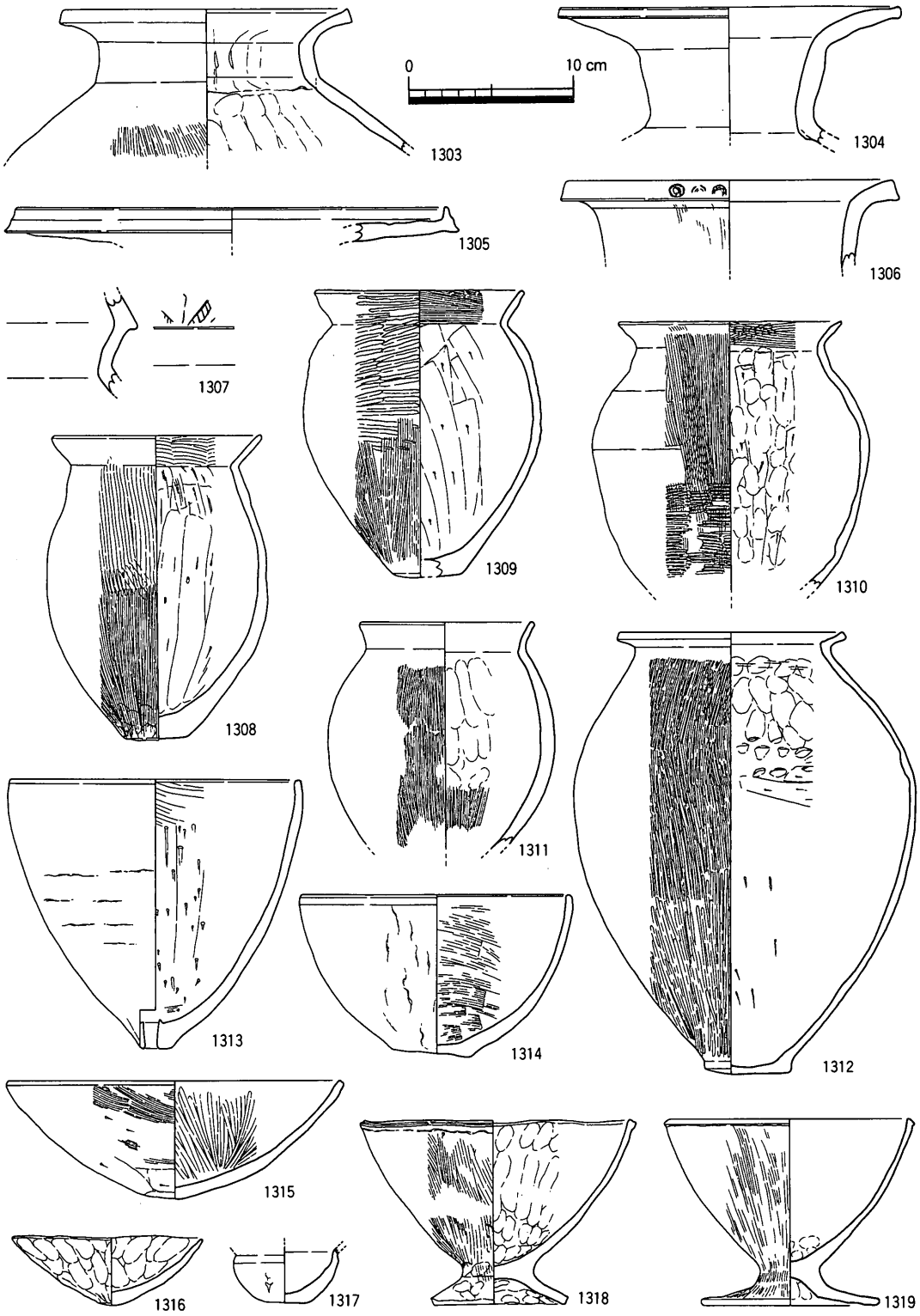
第136図　２②③ＳＲ０２出土土器②（1/4）



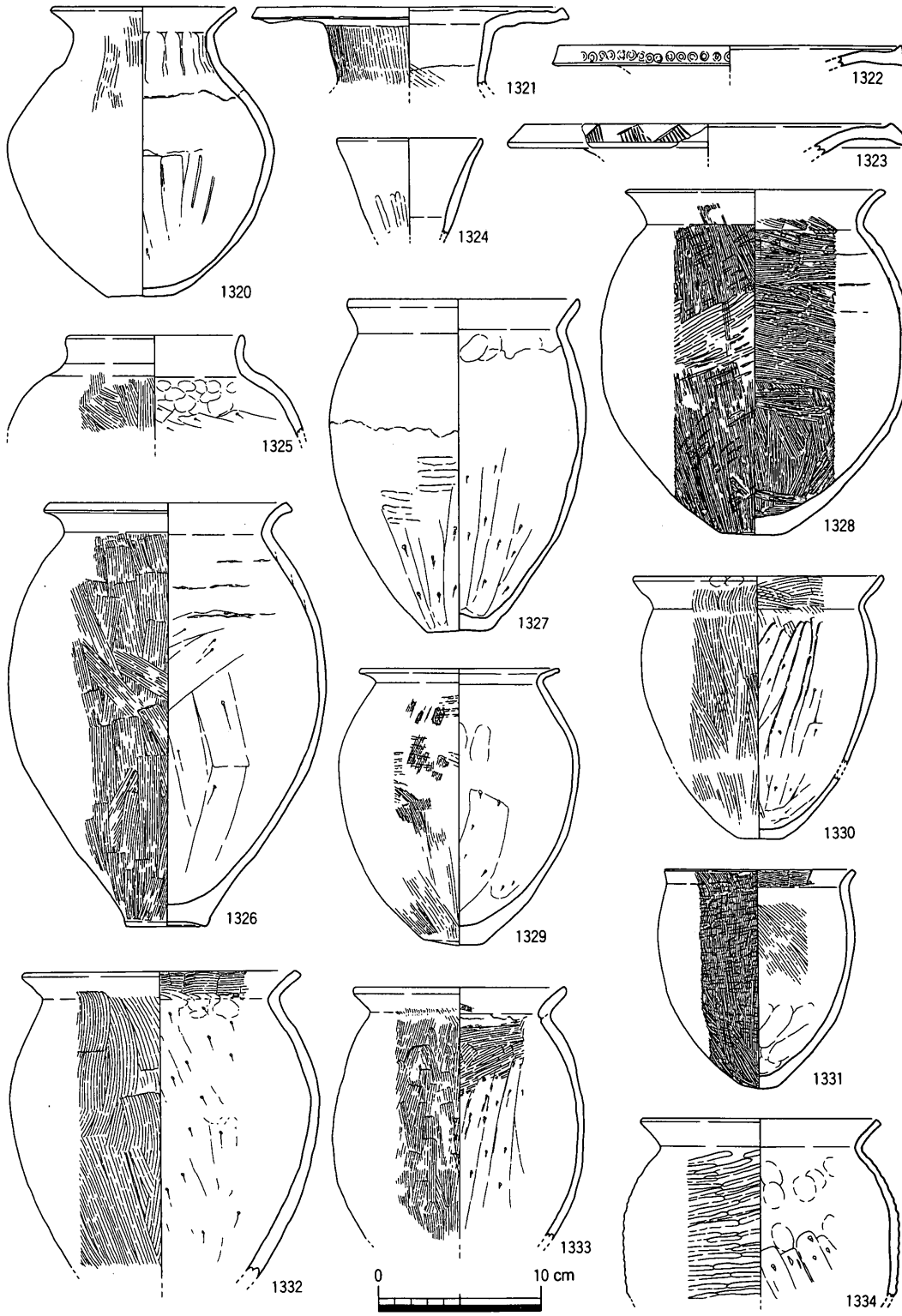
第137図　２②③ＳＲ０２出土土器③（1/4）



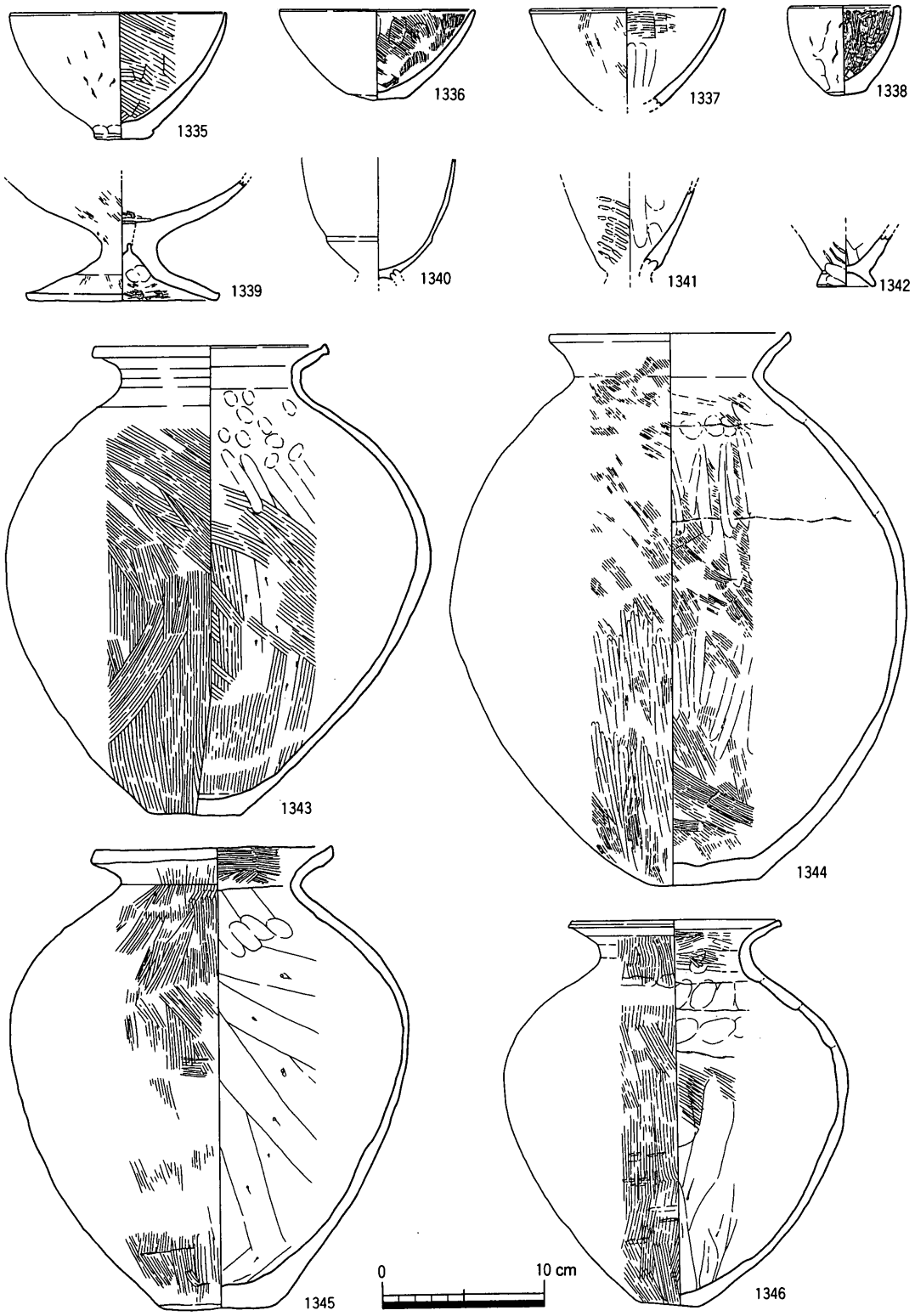
第138図　２②③ＳＲ０２出土土器④（1/4）



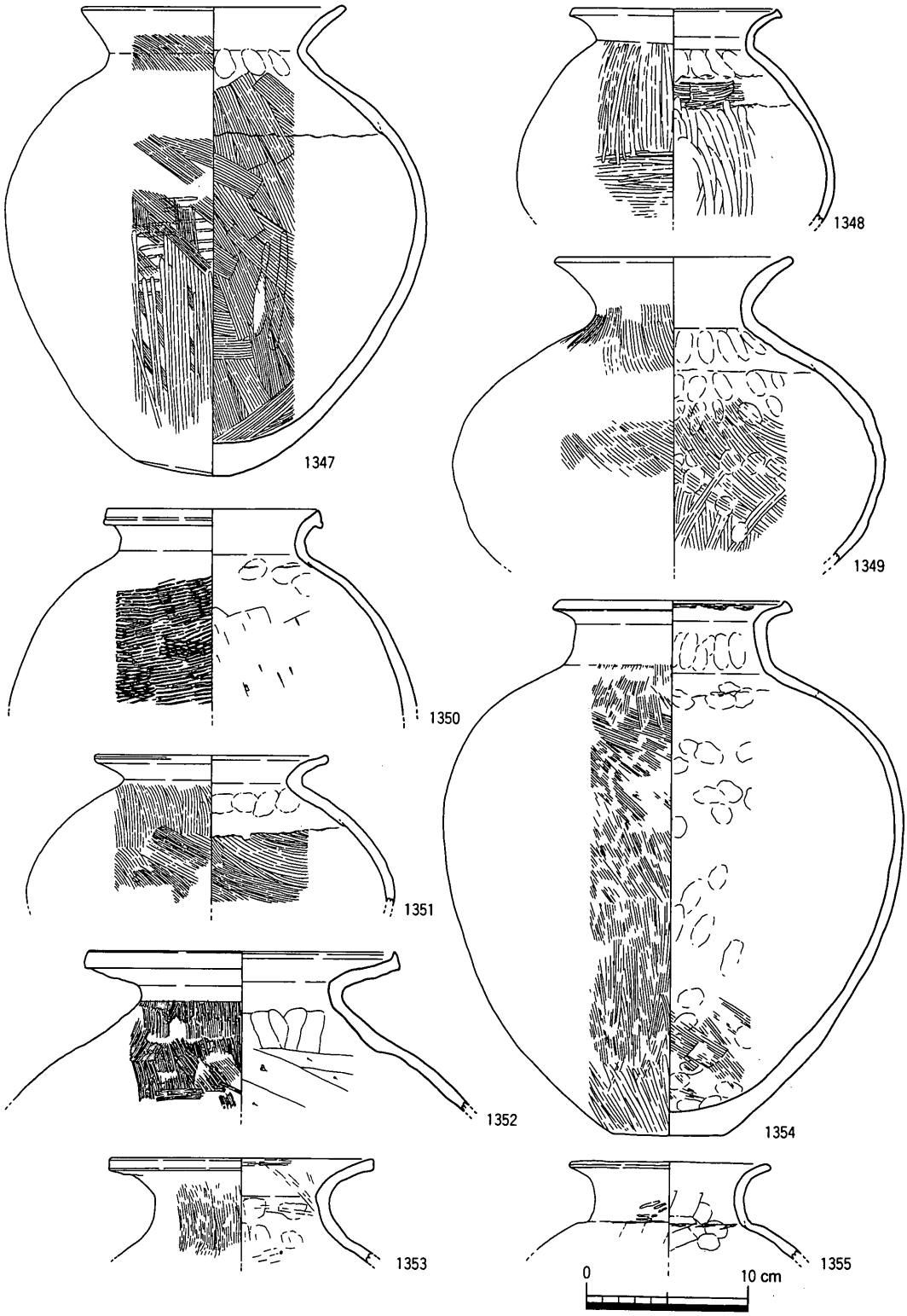
第139図　２②③ＳＲ０２出土土器⑤（1/4）



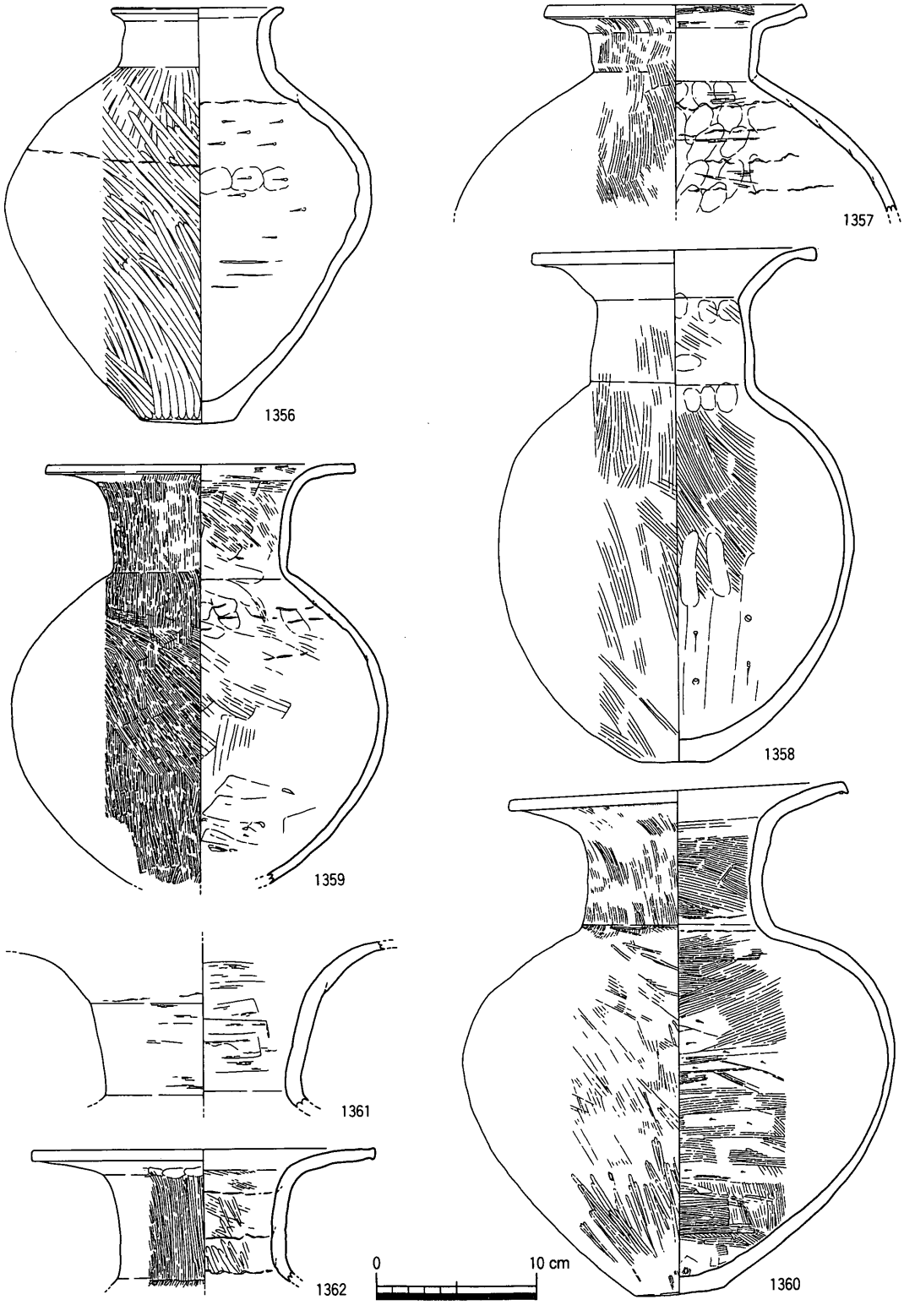
第140図　２②③ＳＲ０２出土土器⑥（1/4）



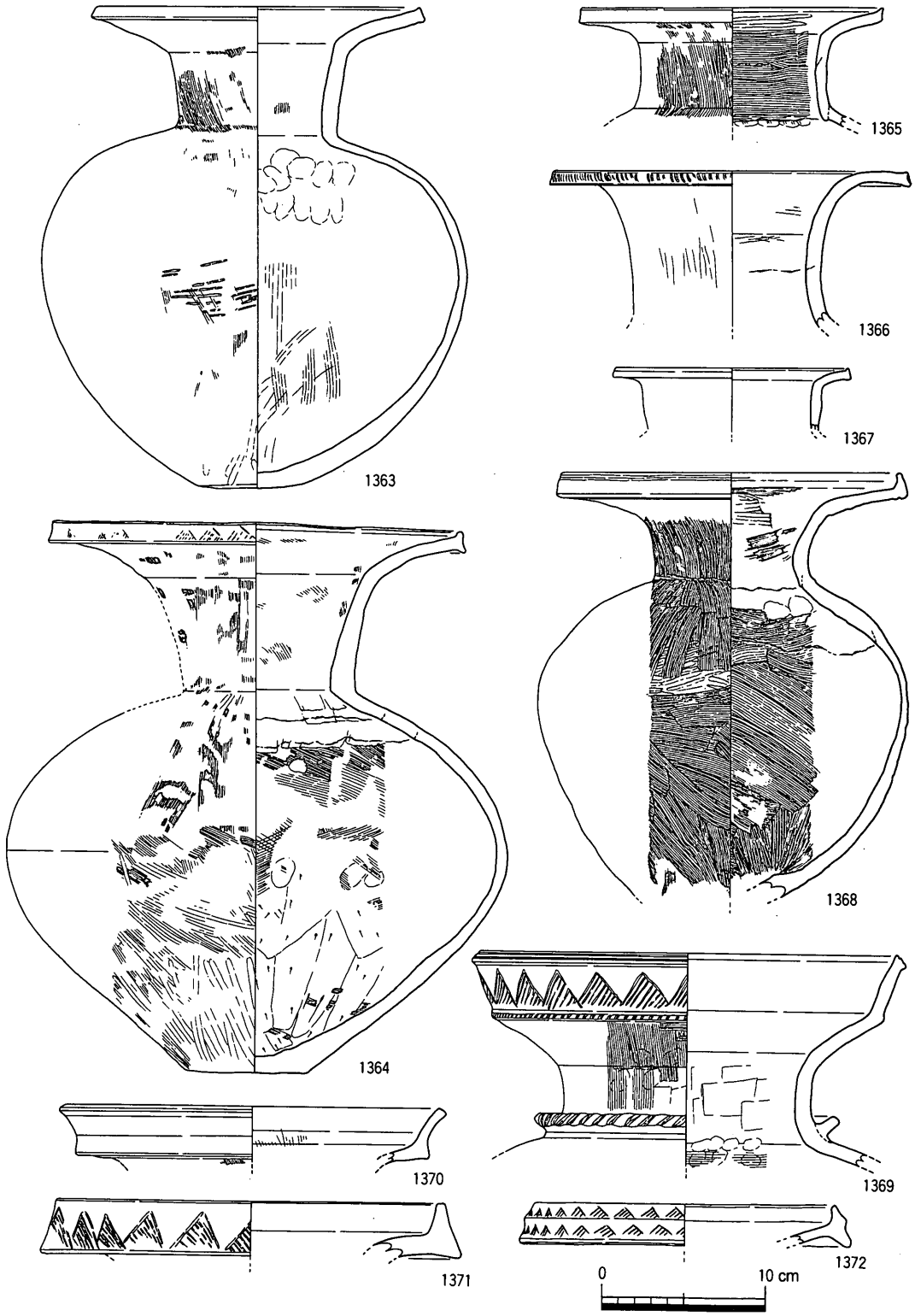
第141図　２②③ＳＲ０２出土土器⑦（1/4）



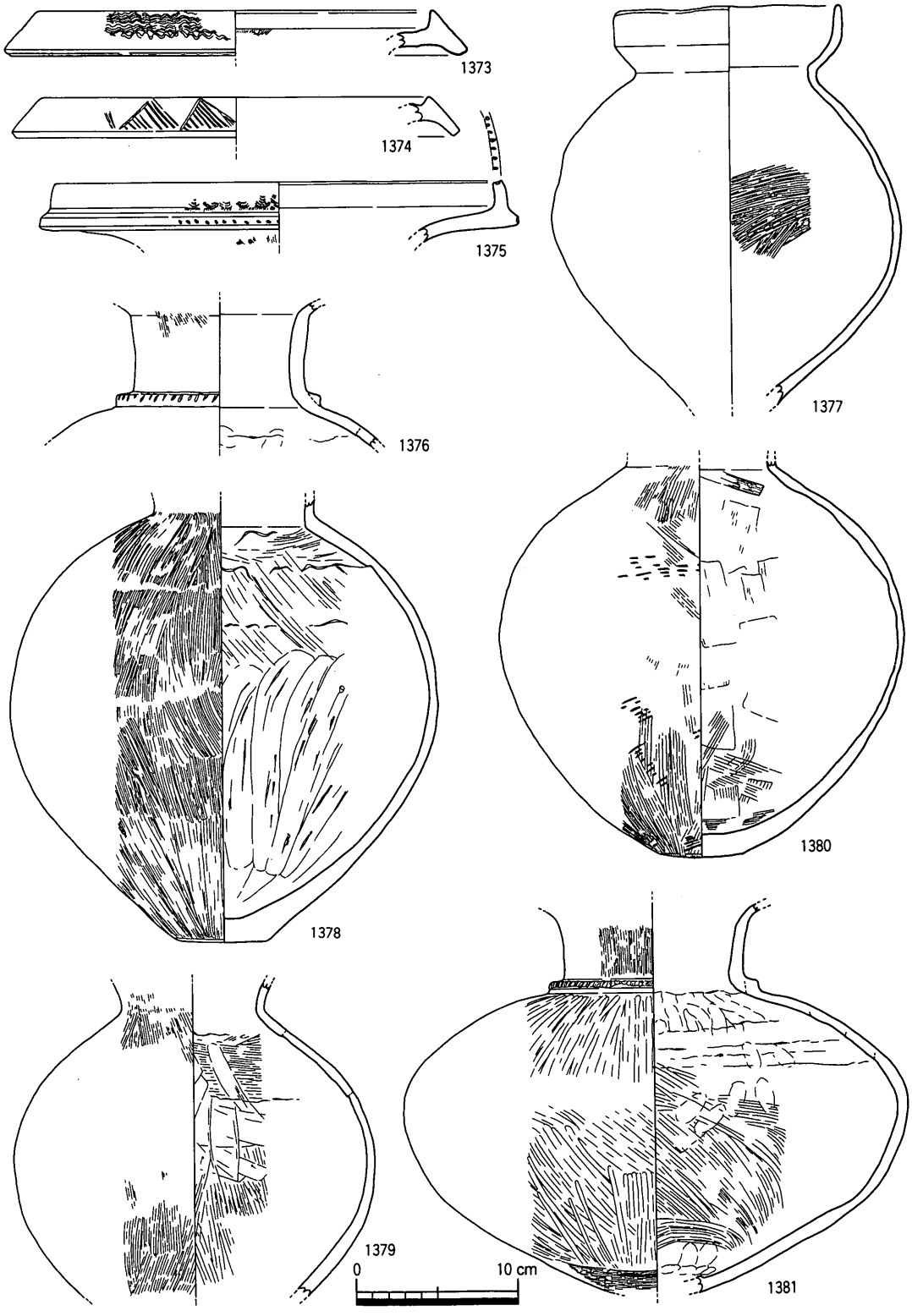
第142図　２②③ＳＲ０２出土土器⑧（1/4）



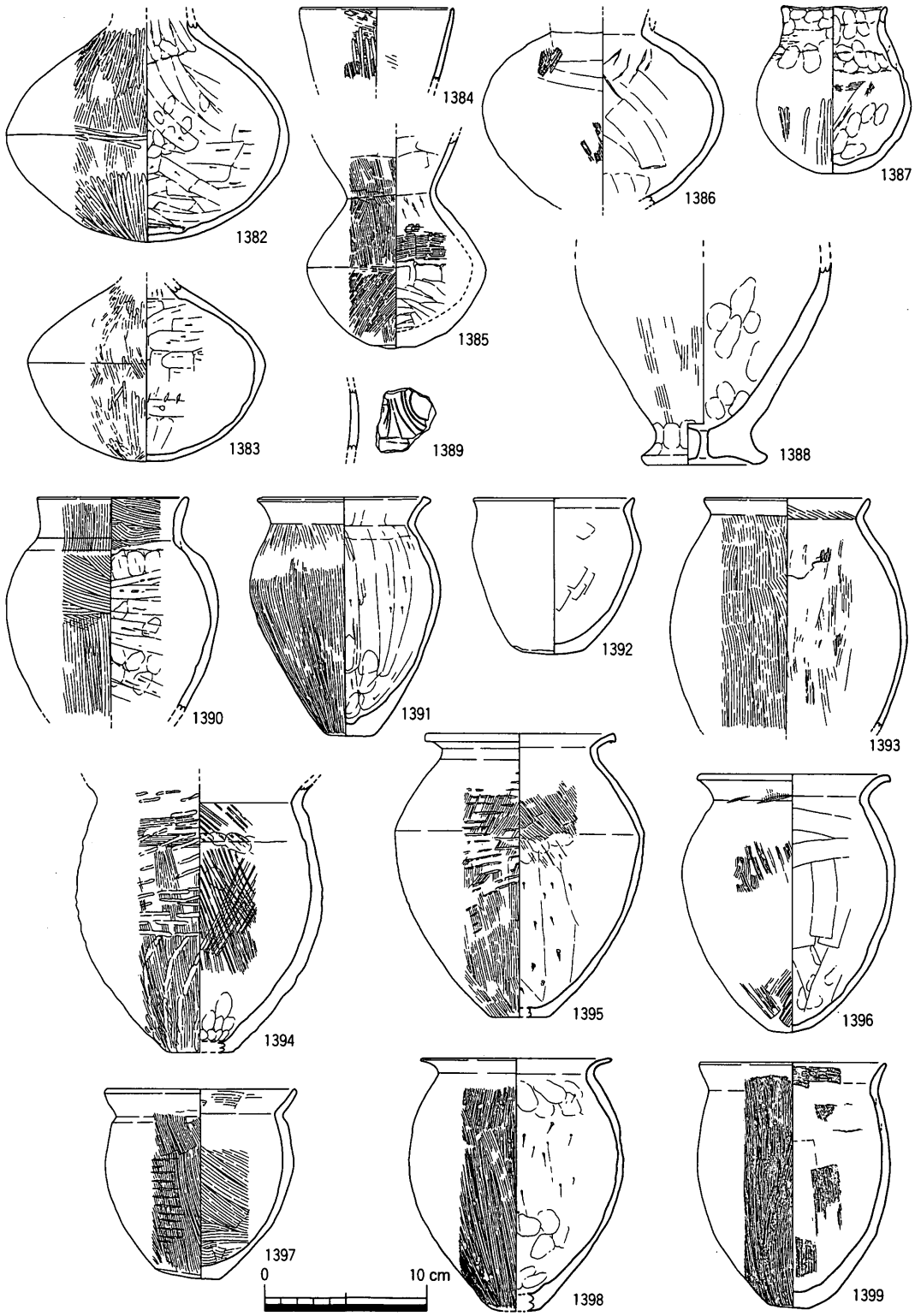
第143図　２②③ＳＲ０２出土土器⑨（1/4）



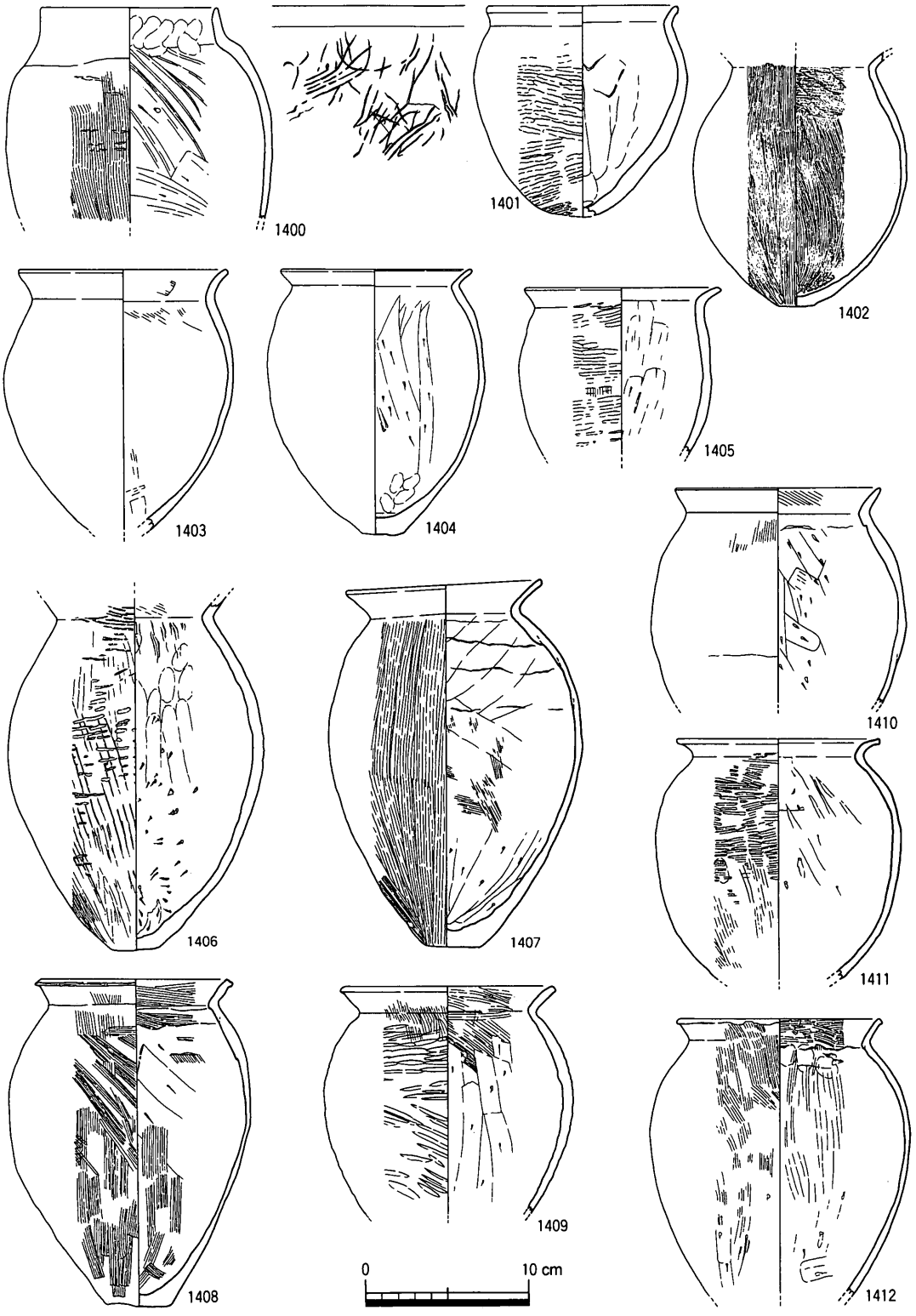
第144図　２②③ＳＲ０２出土土器⑩（1/4）



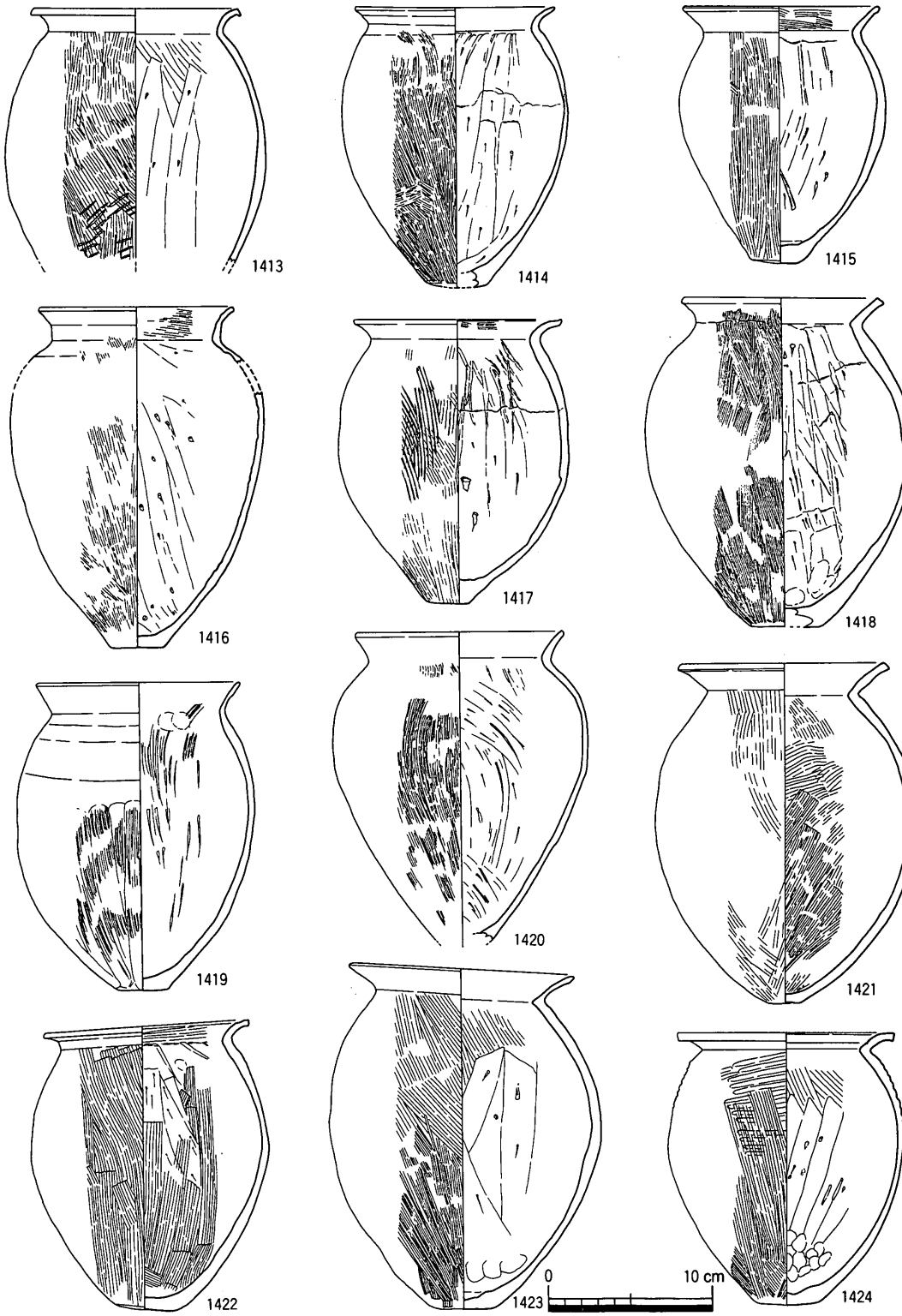
第145図　２②③ＳＲ０２出土土器⑪（1/4）



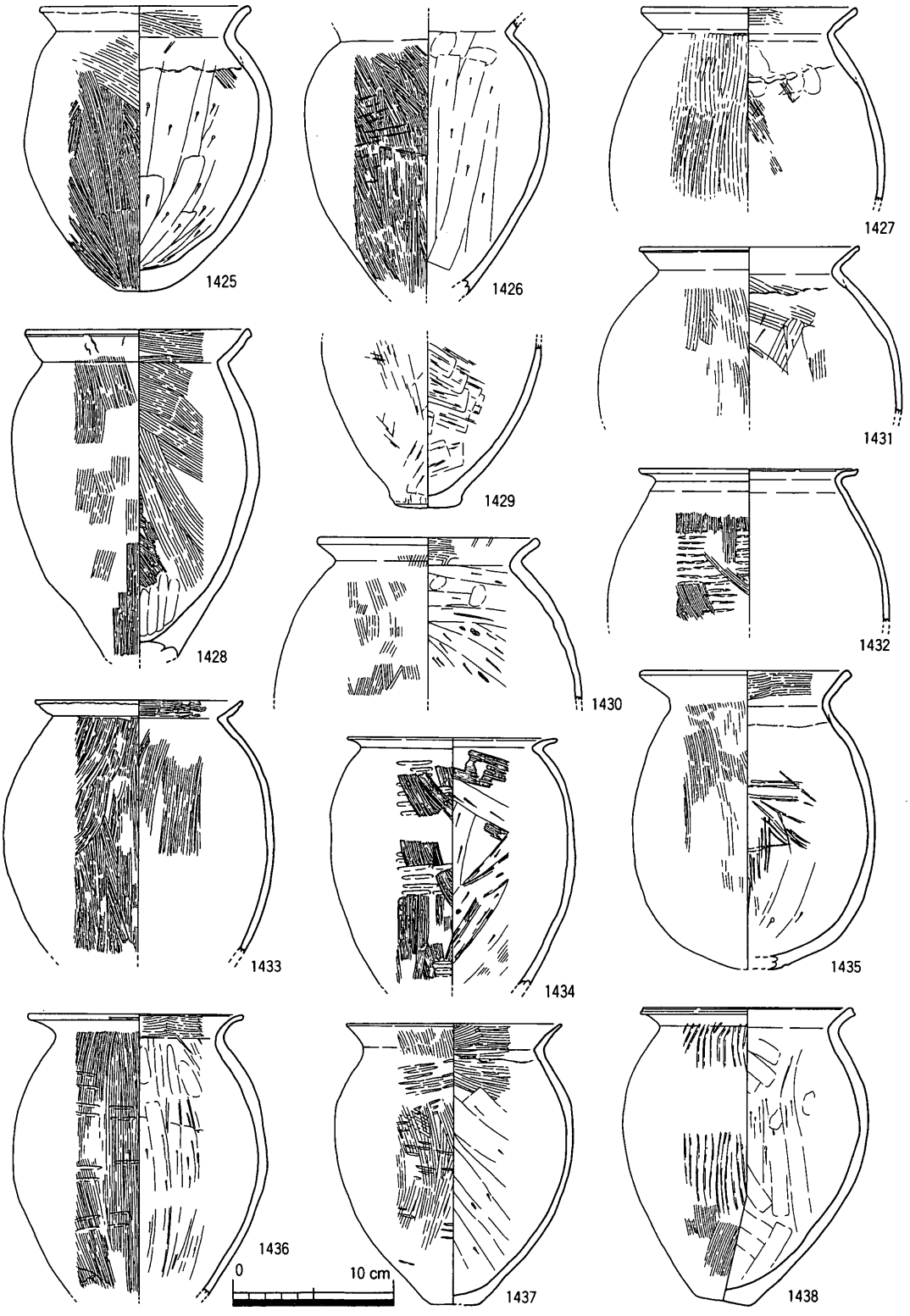
第146図　２②③ＳＲ０２出土土器⑫（1/4）



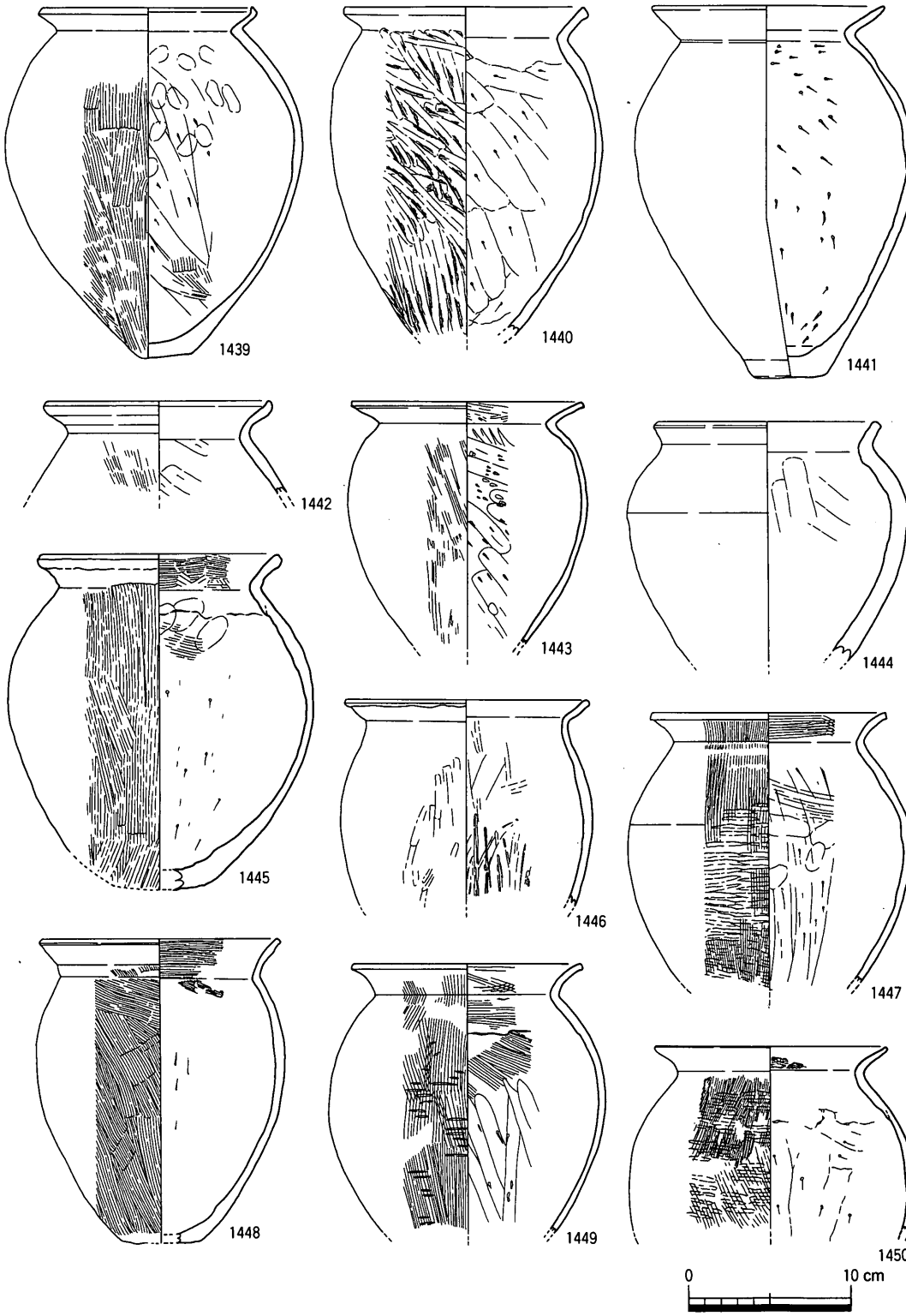
第147図　２②③ＳＲ０２出土土器⑬（1/4）



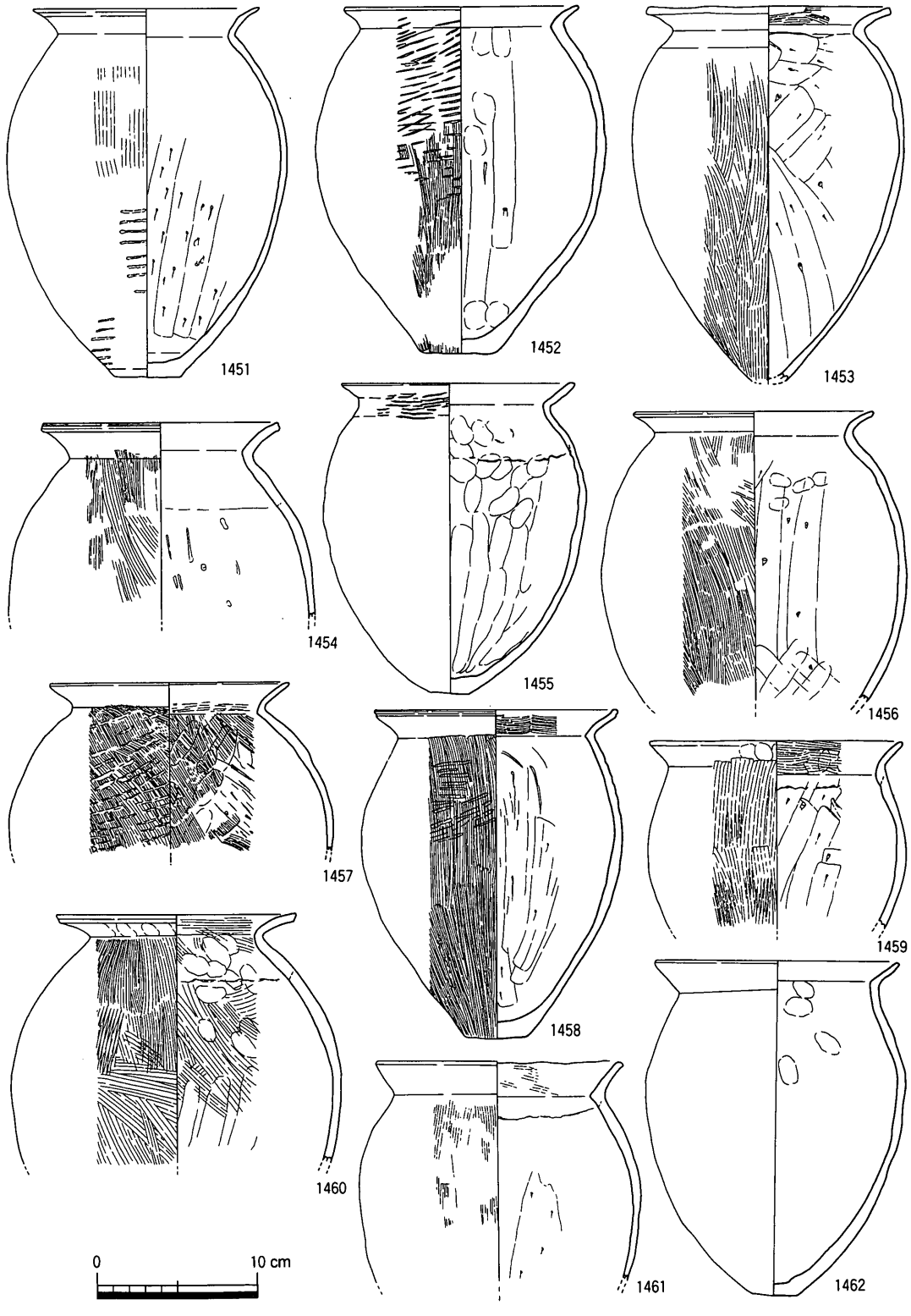
第148図　２②③ＳＲ０２出土土器⑭（1/4）



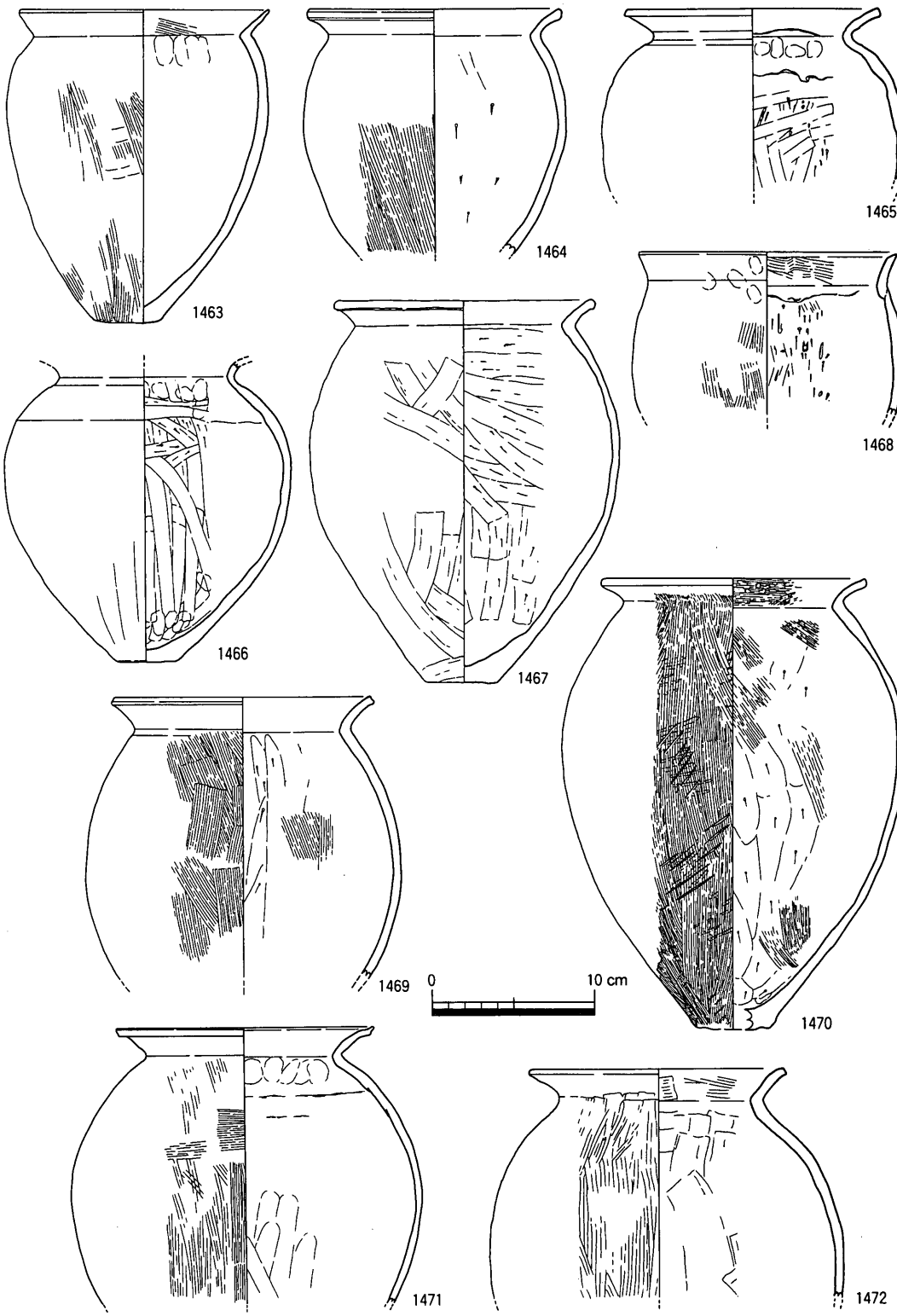
第149図　２②③ＳＲ０２出土土器⑮（1/4）



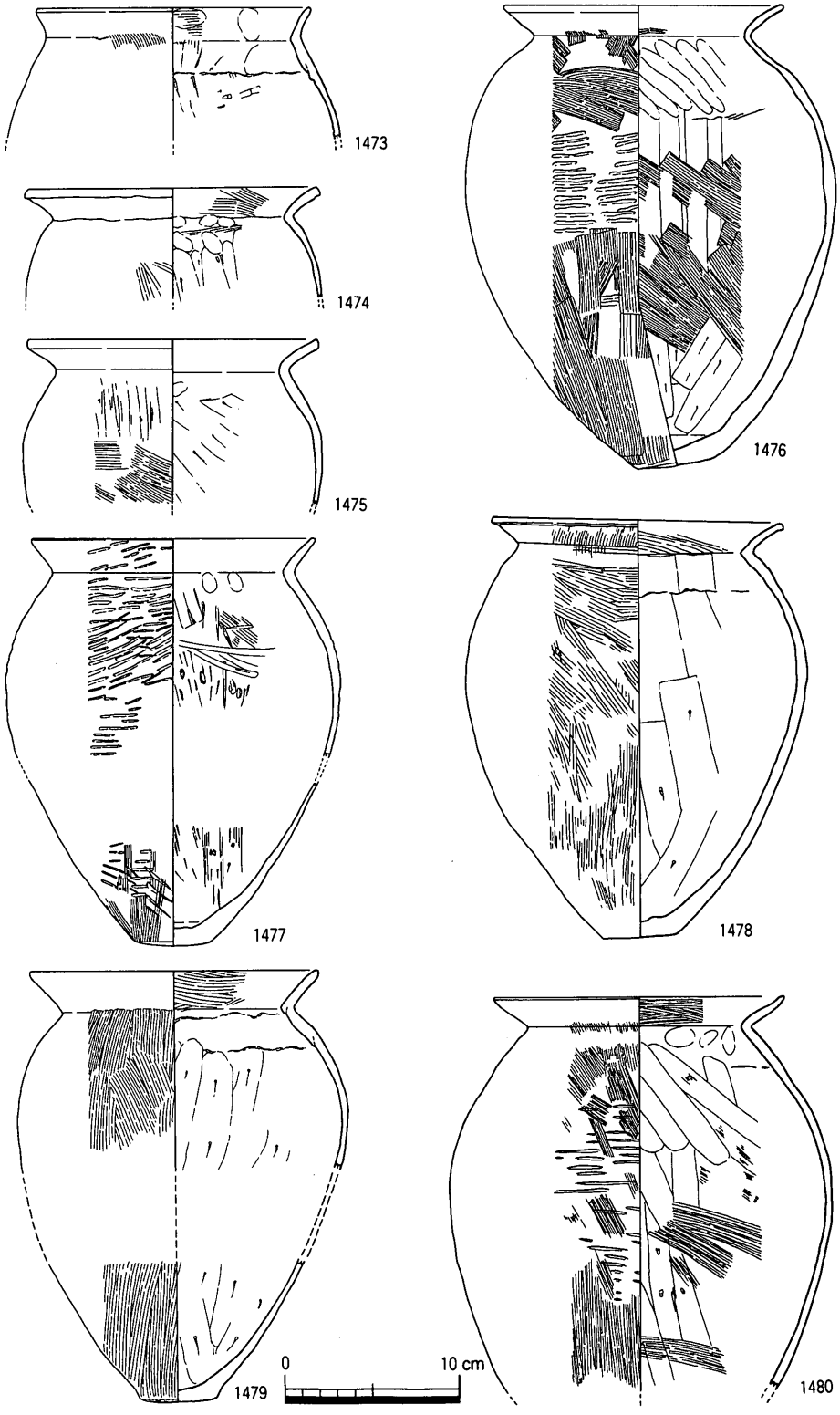
第150図　２②③ＳＲ０２出土土器⑯（1/4）



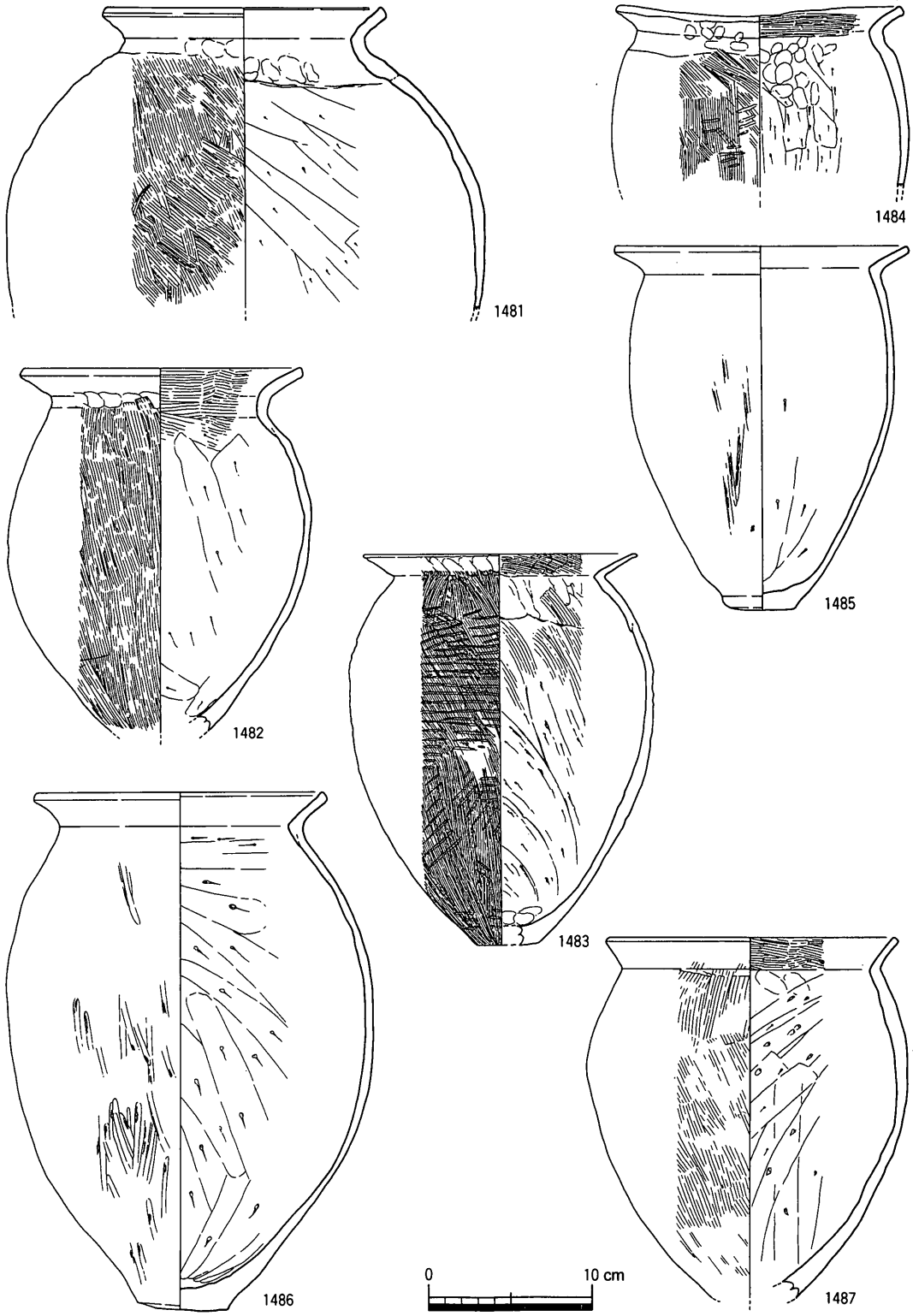
第151図　２②③ＳＲ０２出土土器⑰（1/4）



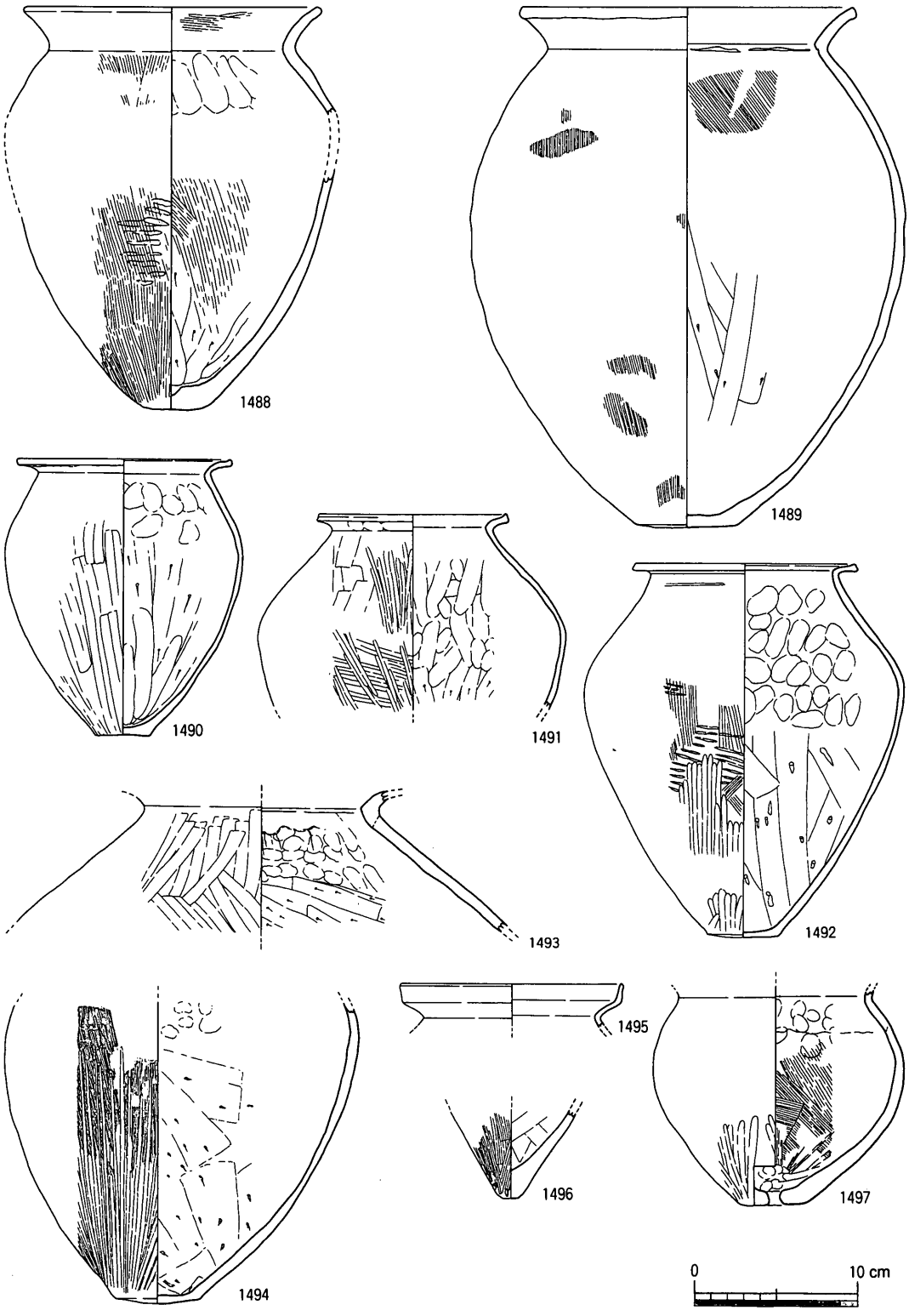
第152図　２②③ＳＲ０２出土土器⑱（1/4）



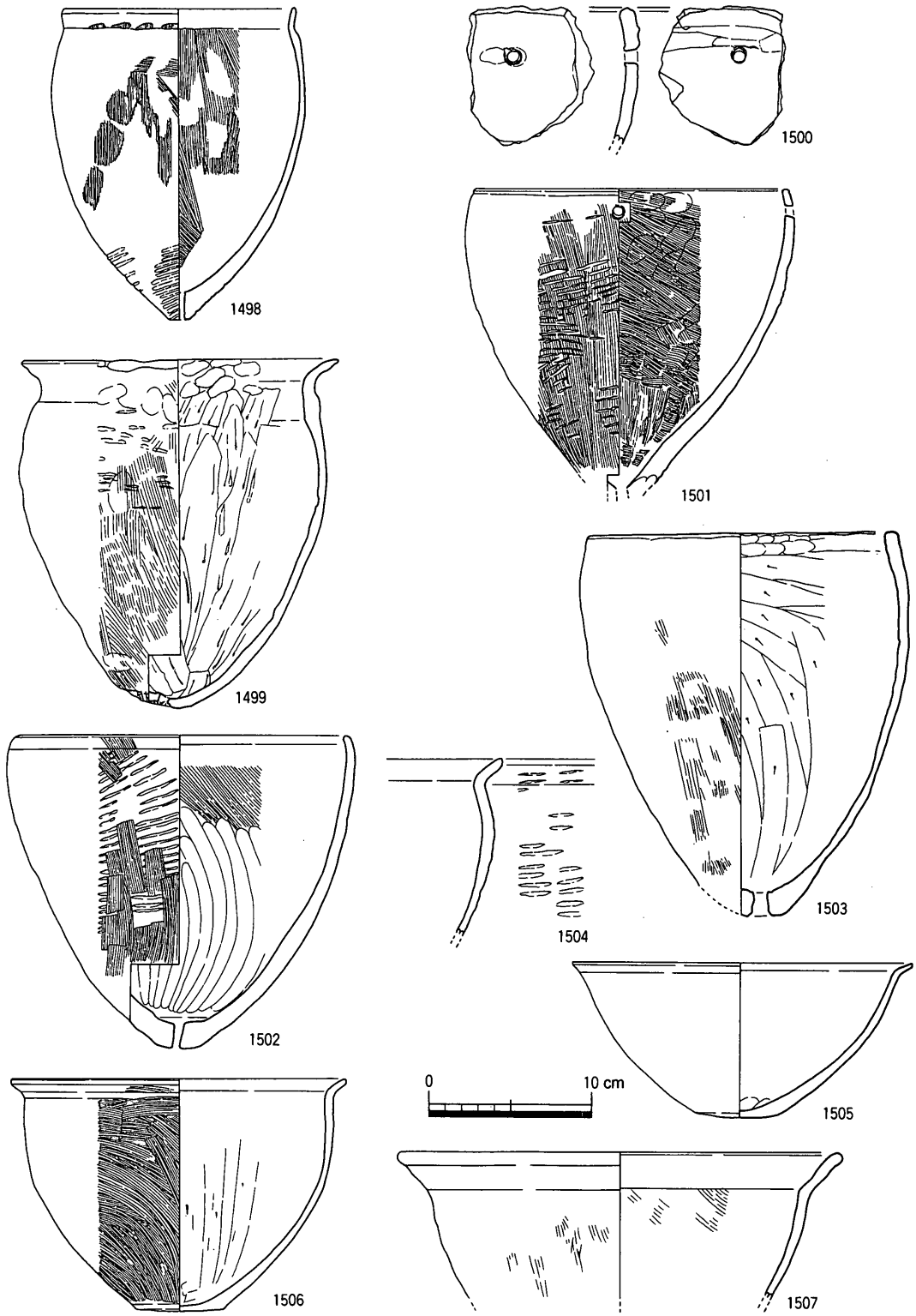
第153図　２②③ＳＲ０２出土土器⑲（1/4）



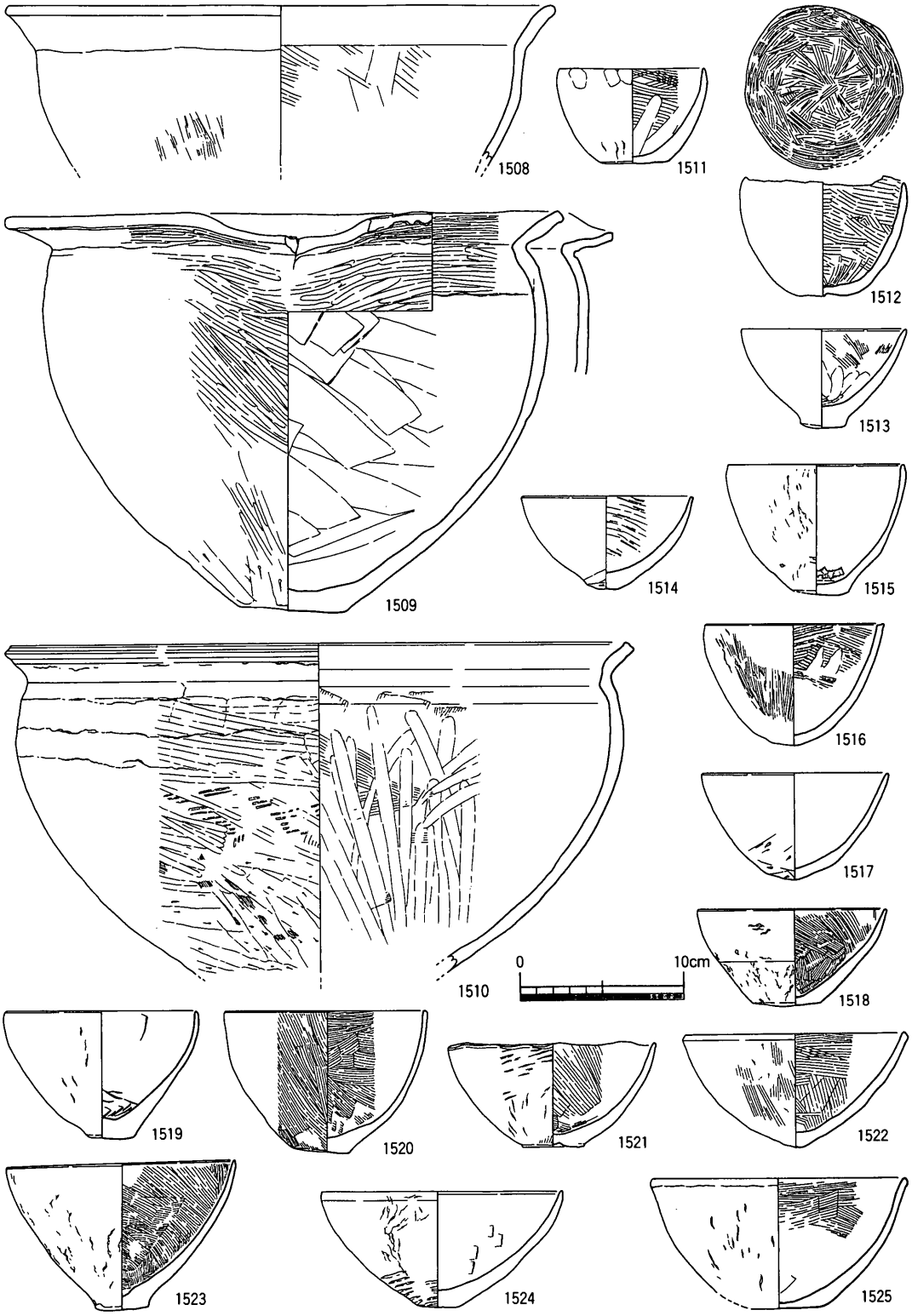
第154図　２②③ＳＲ０２出土土器⑳（1/4）



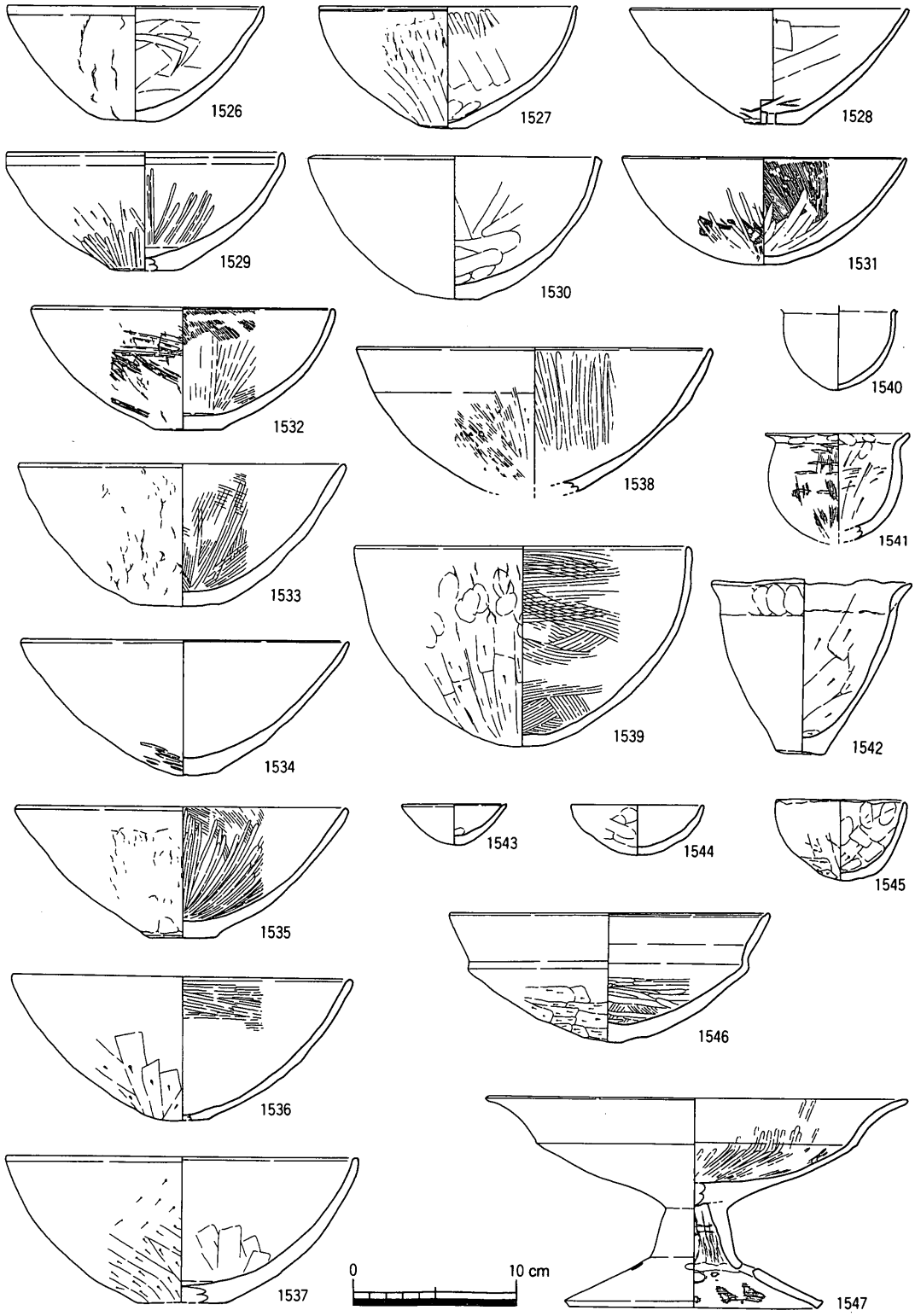
第155図　２②③ＳＲ０２出土土器㉑（1/4）



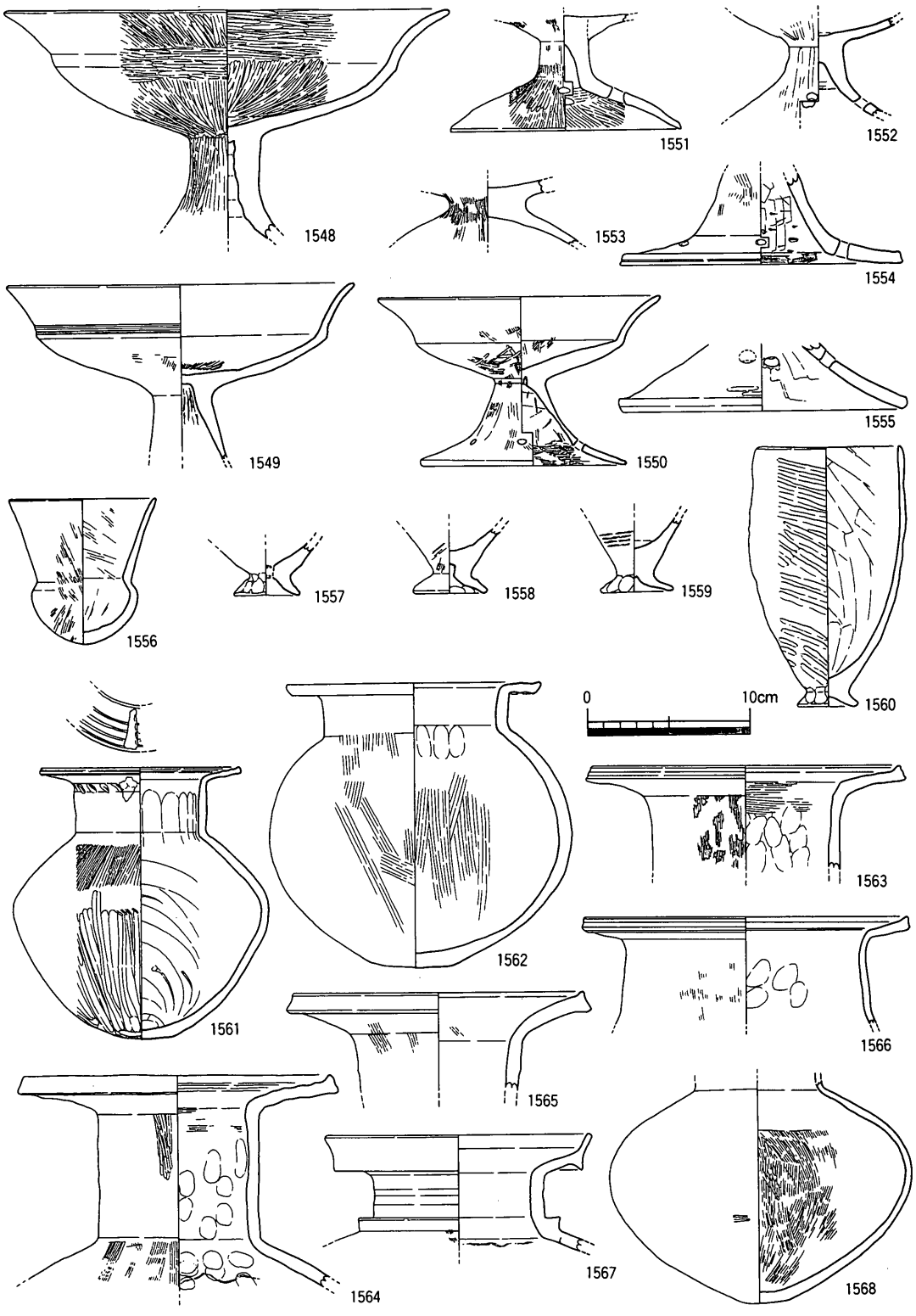
第156図　２②③ＳＲ０２出土土器㉒（1/4）



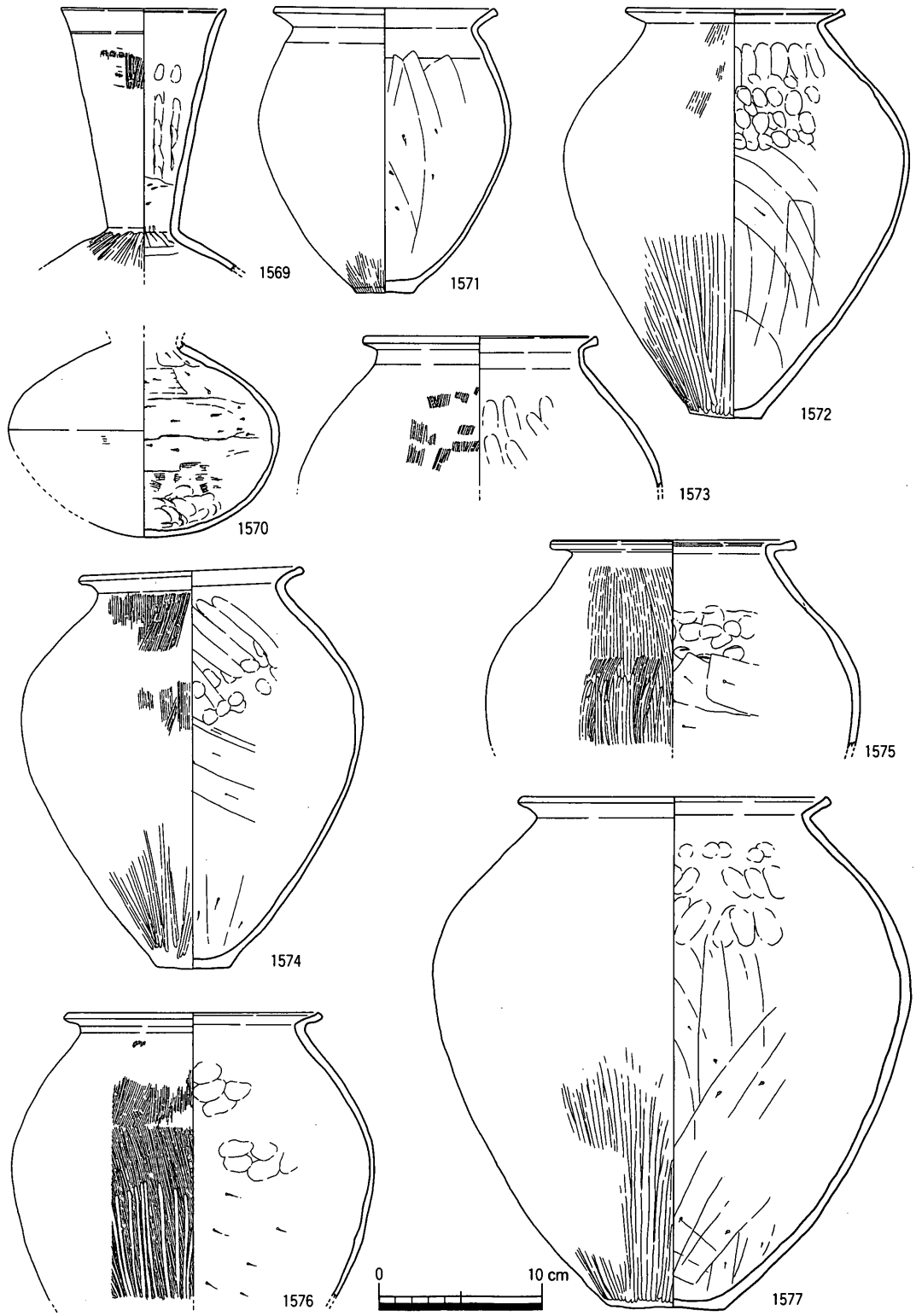
第157図　２②③ＳＲ０２出土土器㉓（1/4）



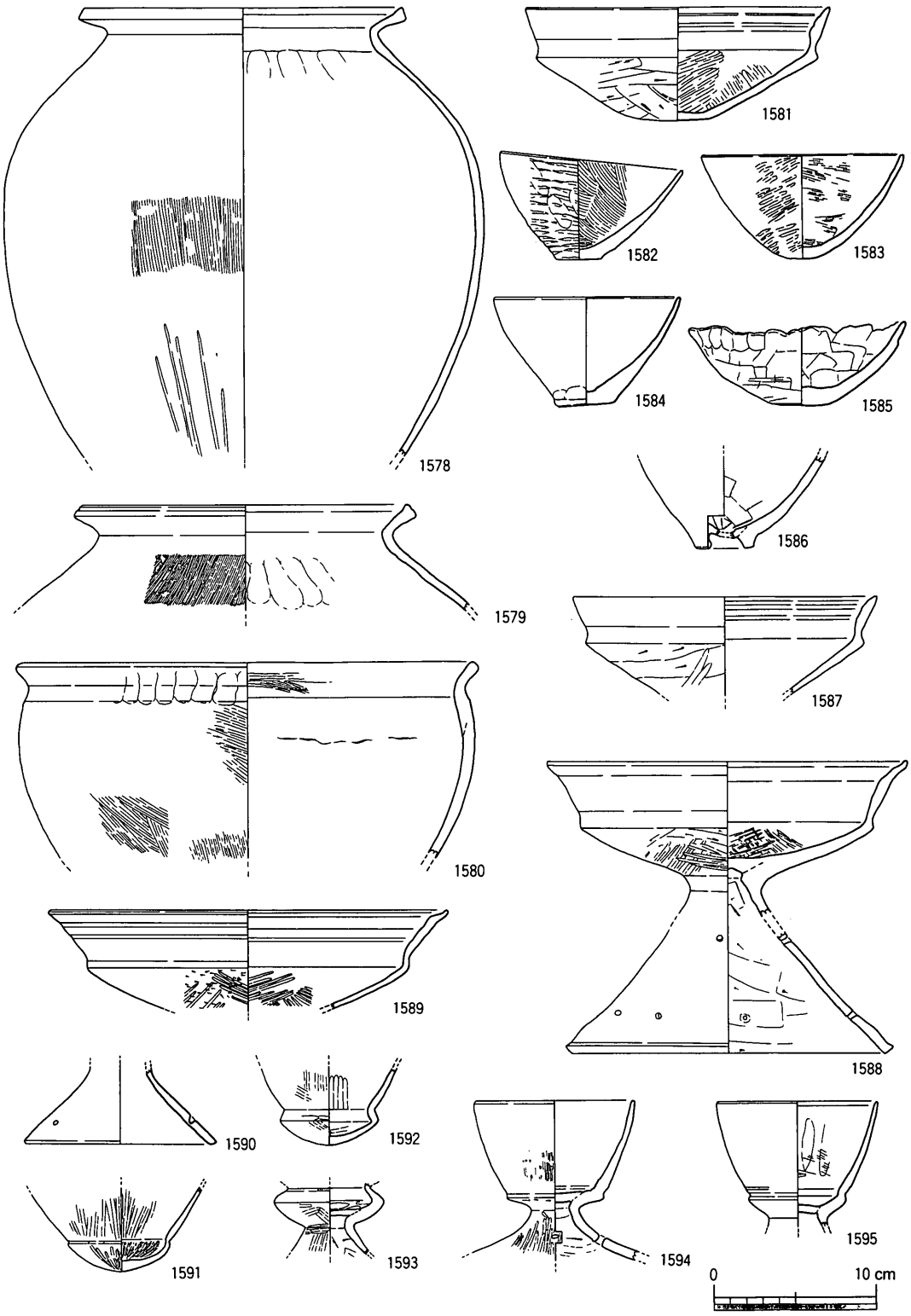
第158図　２②③ＳＲ０２出土土器㉔（1/4）



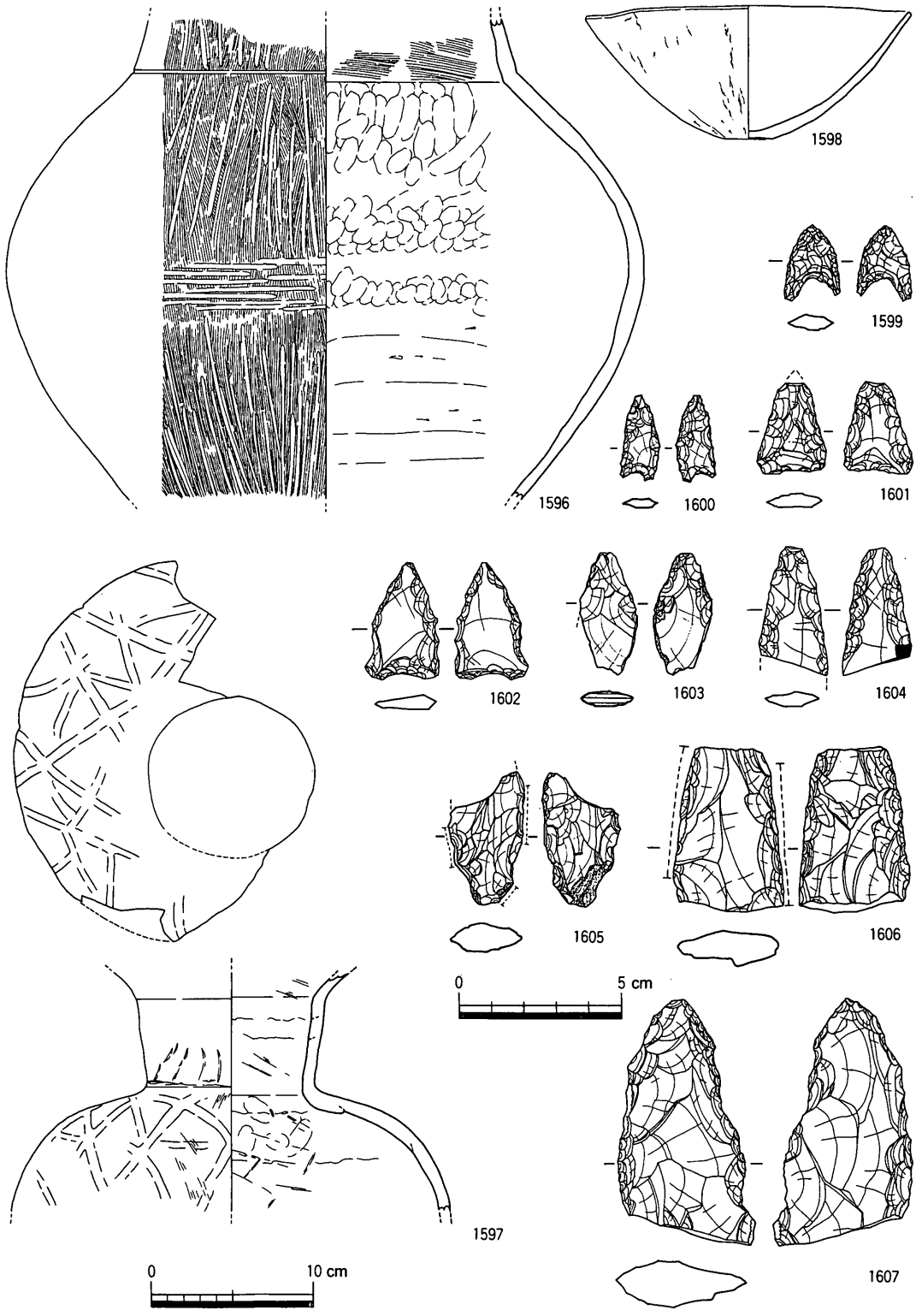
第159図　２②③ＳＲ０２出土土器㉕（1/4）



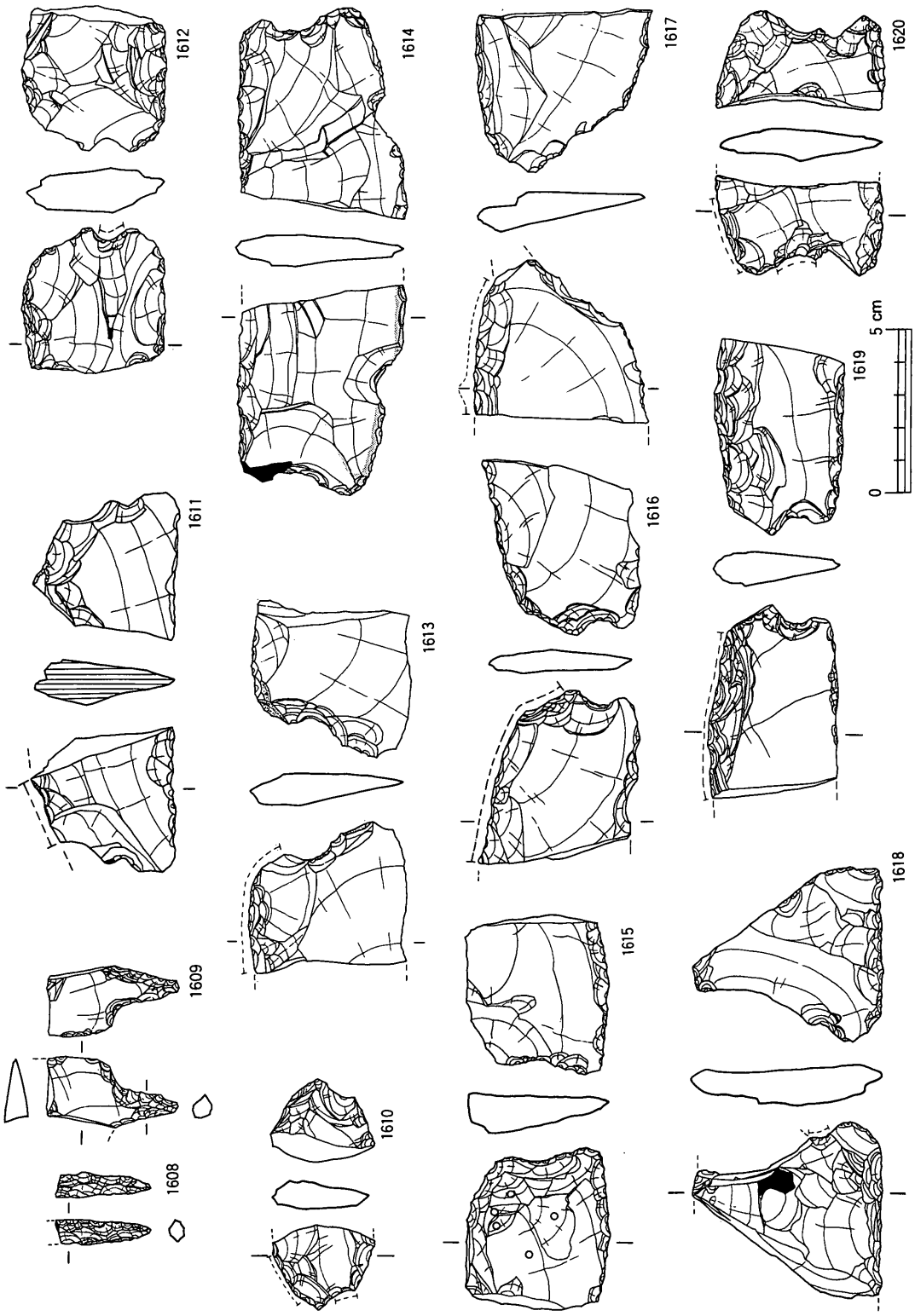
第160図　２②③ＳＲ０２出土土器㉖（1/4）



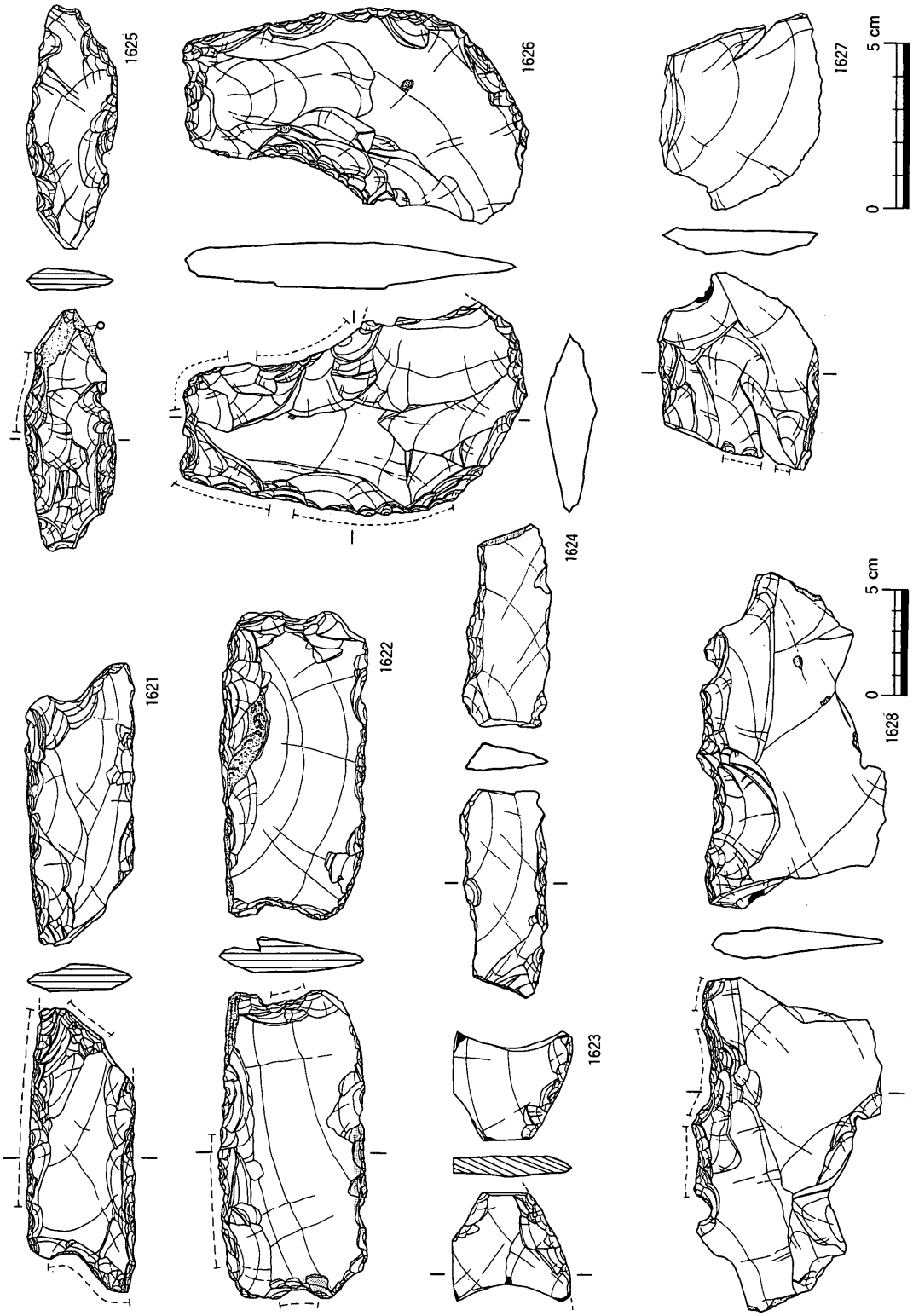
第161図　2②③ＳＲ０２出土土器㉗（1/4）



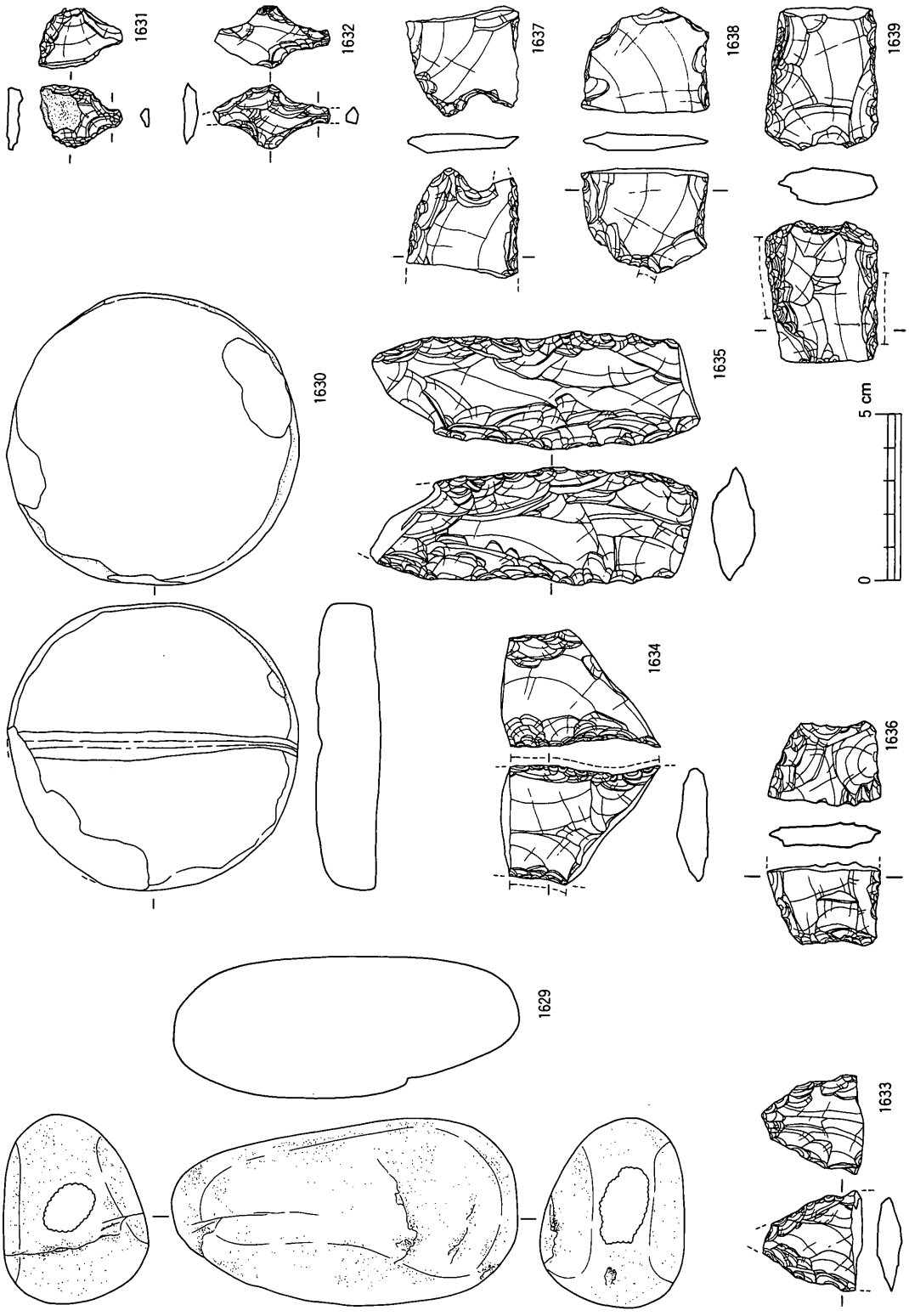
第162図　２②③ＳＲ０２出土土器㉘（1/4）・石器①（1/2）



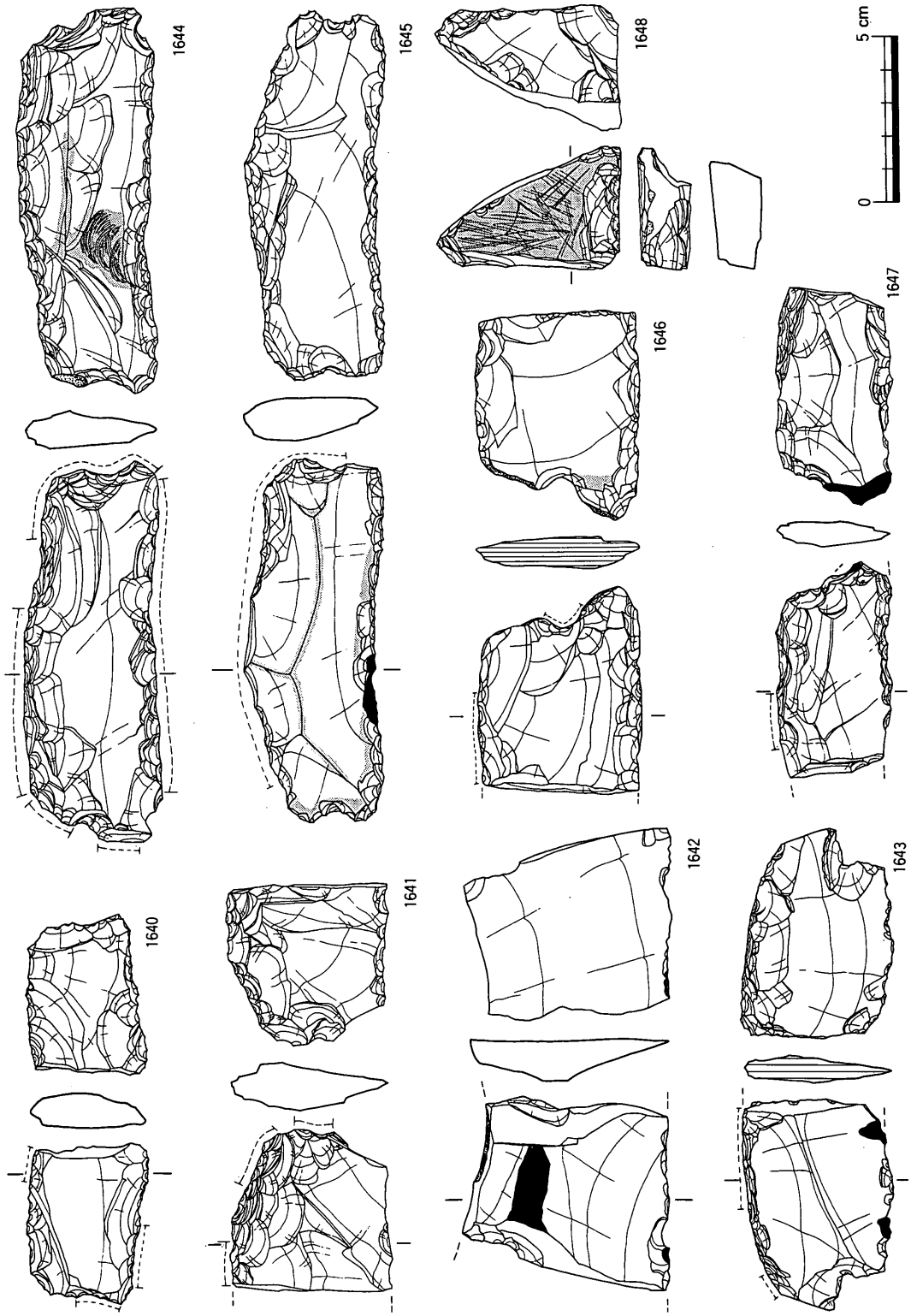
第163図　２②③ＳＲ０２出土石器②（1/2）



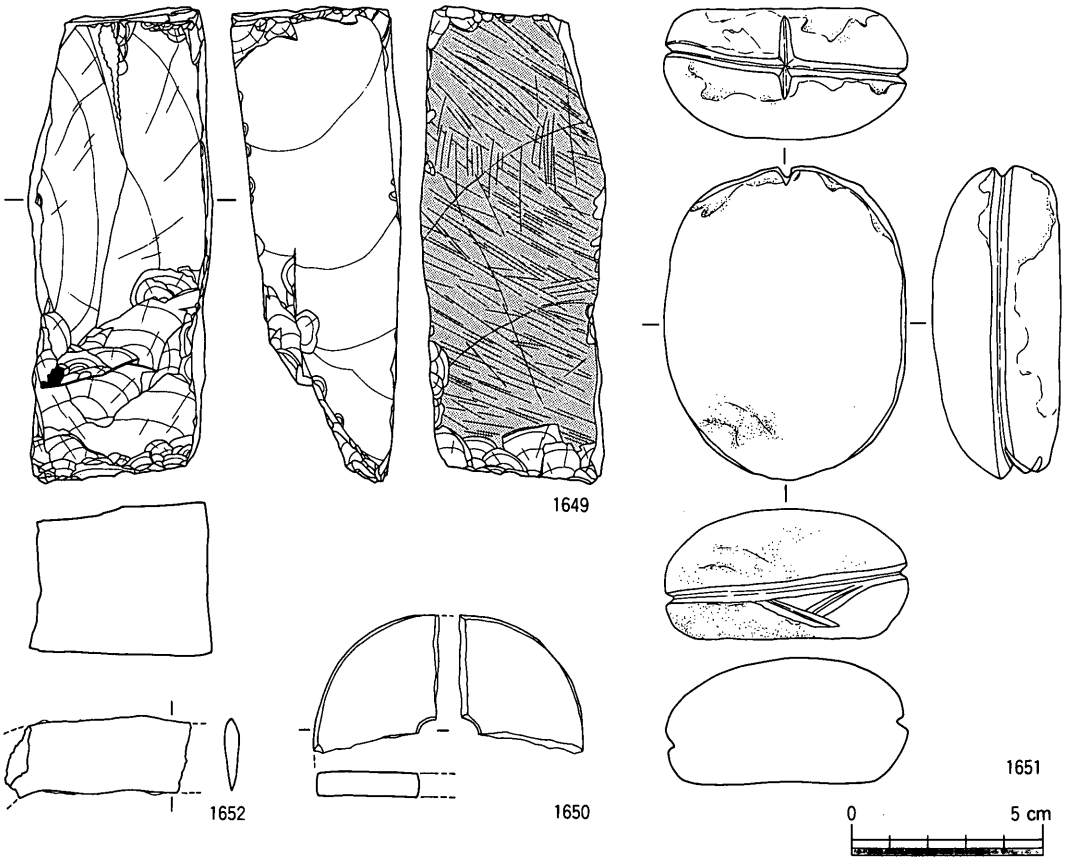
第164図　２②③ＳＲ０２出土石器③（1/2・1/3）



第165図　２②③ＳＲ０２出土石器④（1/2）



第166図　２②③ＳＲ０２出土石器⑤（1/2）



第167図　２②③ＳＲ０２出土石器⑥（1/2）・鉄器（1/2）

1250は口縁端部が巻き込むような形態であり，朝鮮系無文土器かと考えられる。

1251～1262は，D18区画から出土した土器である。1251はトレンチから出土したミニチュアの土器である。1252は弥生時代前期のものであろう。1253～1262は川底に近い黒色系シルト層から出土したものである。

1263～1302は，D19区画から出土した土器である。D18区画同様川底に近い黒色系シルト層から出土した。1302は製塩土器である。

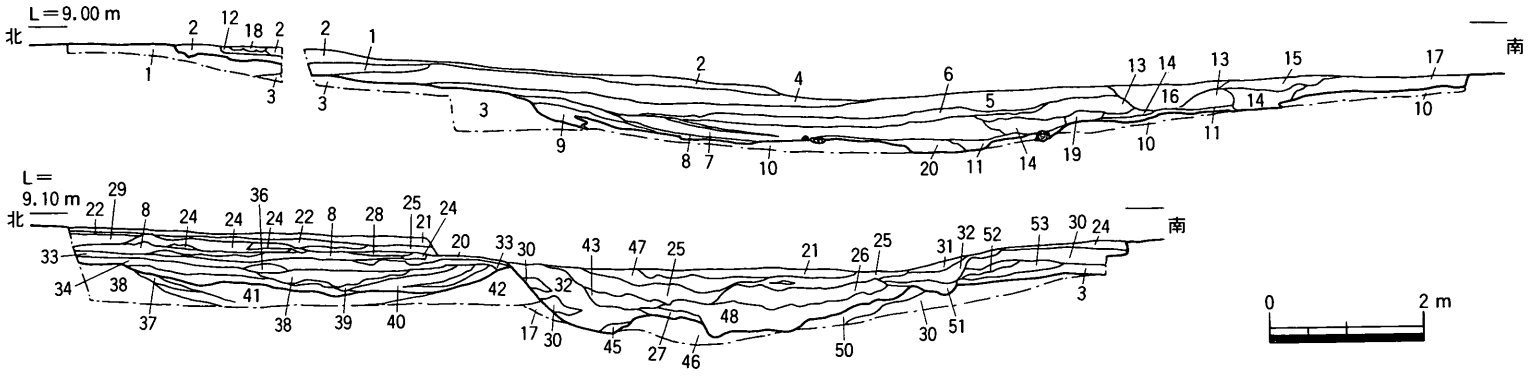
1303～1598は，C19区画から出土した土器である。このうち1303～1319はトレンチ掘削時に出土したもので，正確な出土位置は不明である。1320～1598は流路埋土から出土したものである。埋土は４層に分けて遺物を取り上げているが，ほとんどの土器が最下層の４層から出土した。４層からの土器の出土状況は，かなり密集した一括出土であった。1320～1342は，流路上層の１～３層と，流路埋土出土であるが出土層位不明の土器である。1341と1342は製塩土器である。1343～1595は，４層出土土器である。1377は受け口状の口

縁を持つ。1388は底部に焼成後穿孔がある。1389と1401は線刻がある。1493は下川津Ｂ類の甕のような形態と考えられる。1495は二重口縁の甕である。1496は，底部が尖る特異な形態である。1497は底部に焼成後の穿孔がある。1500は口縁部に穿孔があることから甑とした。1546は下川津Ｂ類土器の器形であるが，胎土に雲母あるいは角閃石を含んでいない。1556は小型丸底壺である。1557～1560は製塩土器である。1561～1595は胎土に雲母あるいは角閃石を含む土器である。1596～1598は４層より下位の層と考えられる５・６層出土土器である。1597は網目状の痕跡が残る。

1599～1651は，２②③調査区出土の石器である。1599～1630は，弥生時代流路埋土から出土した。1605～1607は石槍とした。1623～1625はスクレイパーとした。1626は石斧とした。1627は敲打痕のある石器である。1628も敲打痕があるが，石核の可能性もある。1629は敲き石である。1630は石錘である。1631～1651は２②③調査区の流路以外から出土した石器である。1633～1635は石槍とした。1648・1649は摩滅痕ある石器である。1650は紡錘車である。1651は石錘である。1652はC19区画流路埋土１層から出土した鉄鎌である。

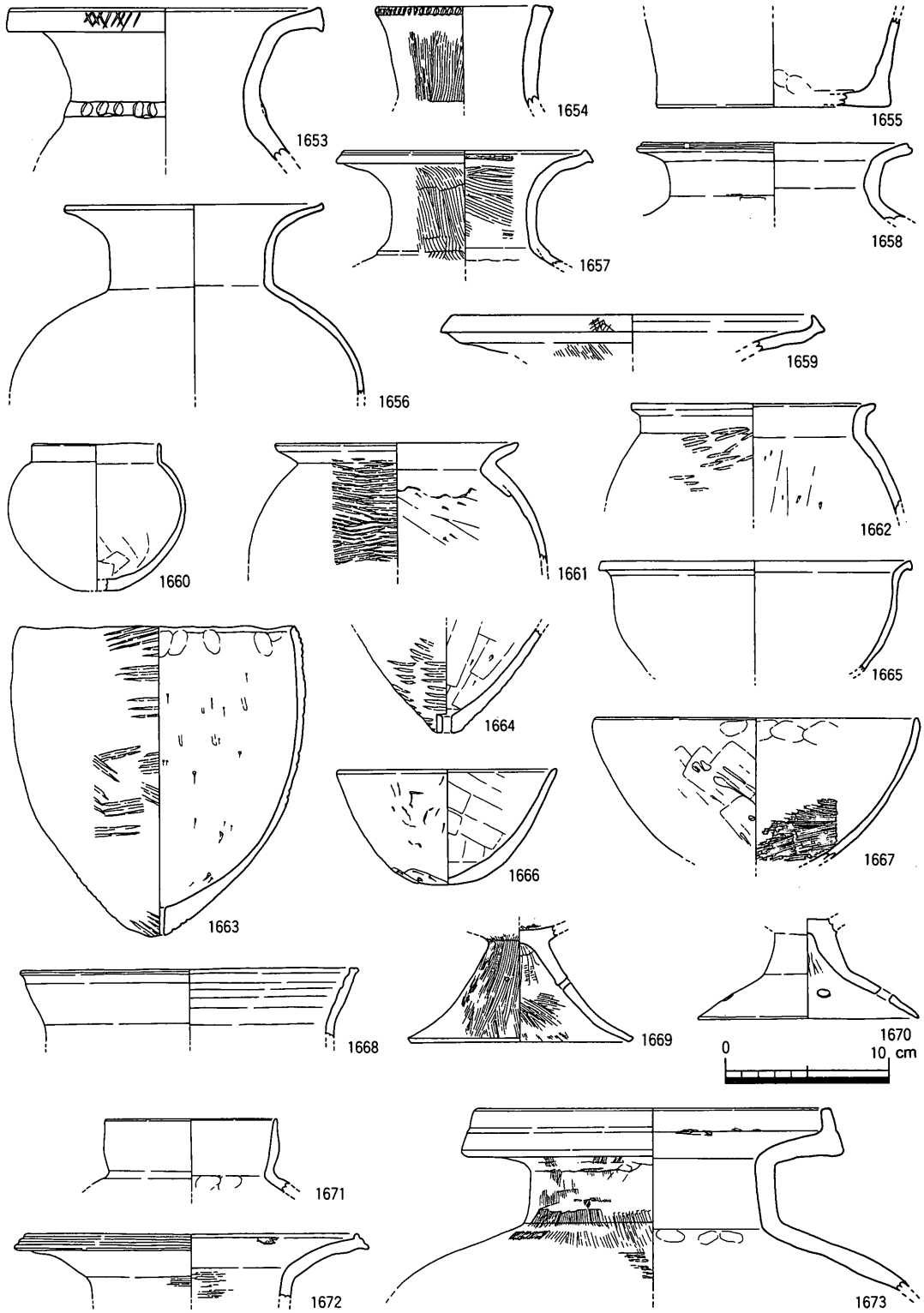
３②調査区（第168～174図）

弥生時代終末期の土器は，川跡の底面の溜まりになった窪地部分（以下，溜まりとする）の埋土からまとまって出土した。溜まりは大きく２つありそれぞれ溜まり1，溜まり２とする。1653～1670は，溜まり１から出土した。1653～1655は，弥生時代中期の土器である。1668は鉢であろうか。1671～1679は，溜まり２から出土した。1680～1686は，その他の川跡埋土出土の土器である。1680～1682は，弥生時代中期の土器である。1684は，大型の二重口縁壺である。1687～1698は流路埋土直上の層から出土した土器である。1687は弥生時代前期末頃の土器である。1688は弥生時代中期の土器である。1699と1700は出土位置不明の土器である。1701～1710は石器である。1706～1708は，スクレイパーとした。1708は大きな板状素材を利用しており，刃部の調整は連続小剥離であるが，この小剥離が調整剥離かどうかは疑問が残る。1709と1710は石斧とした。1711～1713は，木器である。いずれも流路埋土から出土した。1711は先端を尖らせている。1712は鍬先である。1713は性格不明であるが，板状素材に４つの方形孔を穿ち，その方形孔同士を断面方形の溝で連結している。木器については樹種同定を行った（第４章第３節）。

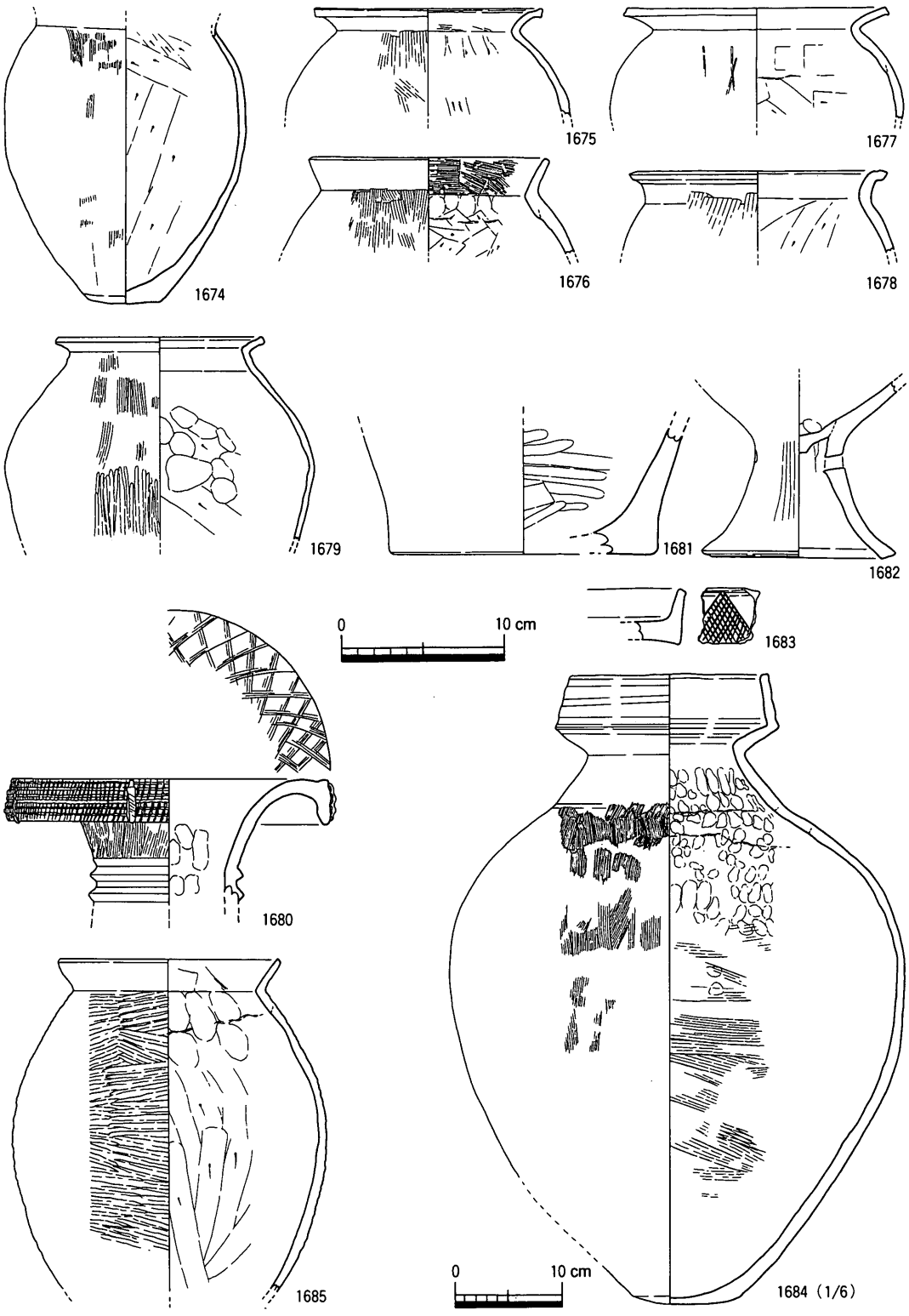


1．黄灰色シルト（基盤層土に類似）
2．灰色細砂
3．青灰色シルト
4．暗青灰色シルト
5．灰色細砂
6．灰色シルト
7．砂混り暗青灰色シルト（細砂のラミナを多量に含む）
8．暗灰色シルト
9．青灰色シルト＋暗灰色シルトのラミナ状の堆積
10．暗灰色粗砂
11．暗灰色シルト（有機質を多量に含む）
12．灰黄色シルト
13．灰黒色粗砂
14．暗青灰色シルト
15．黄色，灰色，青灰色シルトブロックよりなる
16．黒色，黄色，灰茶色，灰色シルトブロックよりなる
17．灰色砂
18．黒褐色粘土
19．灰黄色砂
20．淡灰色細砂
21．淡黒灰色粘土（水田耕土・粗砂を含む）
22．黒色粗砂
23．灰黒色シルト（砂強）
24．茶灰色粗砂
25．暗灰色粘土
26．暗灰色粘土（黄色砂をラミナ状に含む）
27．黒色砂
28．黒色砂（シルト含む）
29．灰褐色シルト
30．淡灰茶色砂
31．淡黒色シルト
32．黒色ブロック（黒粘＋暗灰茶シルト）
33．暗灰色砂
34．淡青灰色砂
35．淡青灰色細砂
36．灰白色砂
37．灰色シルト（有機質を含む）
38．淡青灰色細砂
39．淡青灰色シルト
40．暗青灰色砂
41．灰茶色粗砂
42．淡灰黄色粗砂
43．淡黒茶色シルト
44．黒色粘土
45．灰色粘土
46．淡黒色ブロック層（黒粘＋暗灰茶シルト）
47．淡黒色粘土
48．淡黒色粘土（粗砂含む）
49．淡黒色ブロック層
50．灰色シルトブロック層（暗灰粘＋青灰シルト＋黄灰砂）
51．淡灰黄色砂
52．黄灰色砂
53．青灰色砂

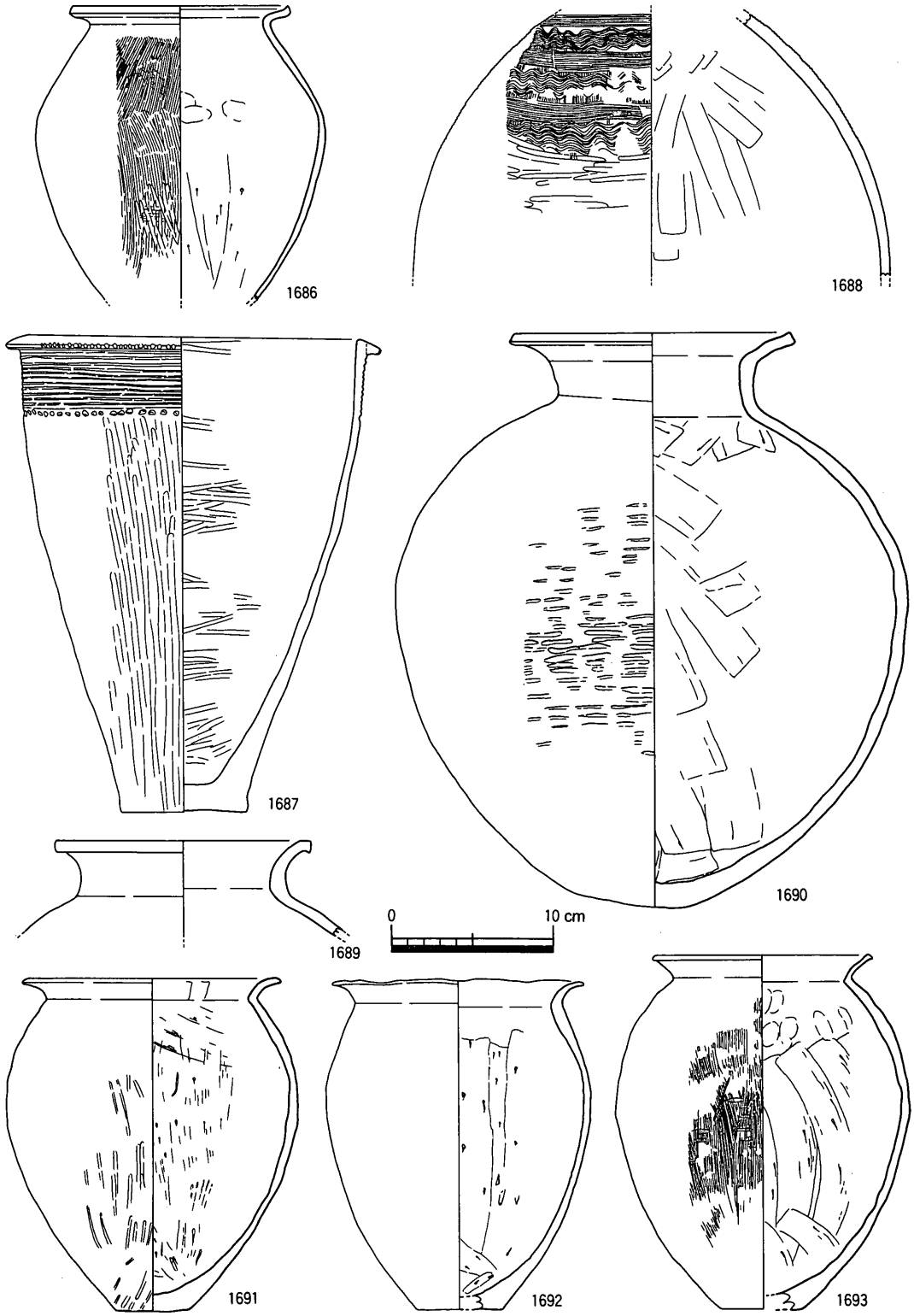
第168図　3②ＳＲ０１断面図（1/100）



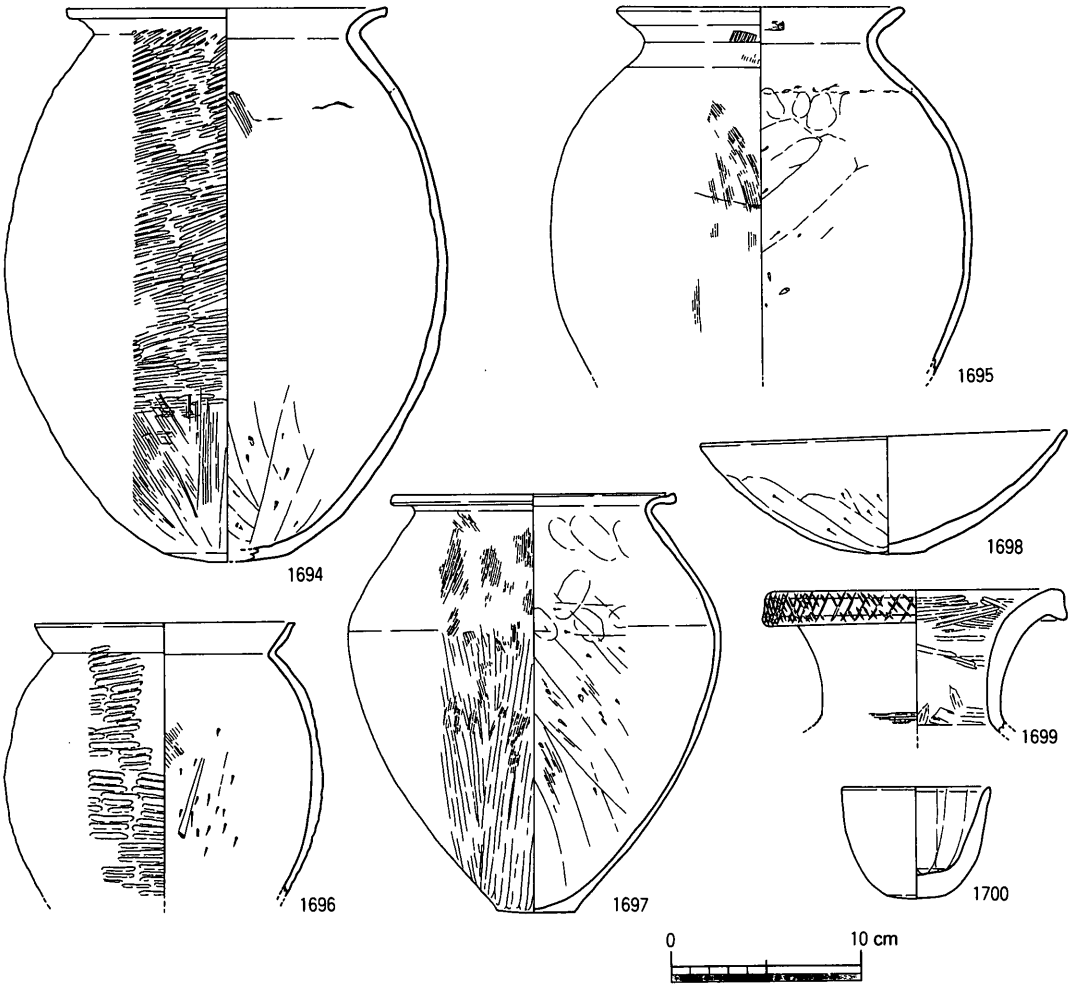
第169図　3②ＳＲ０１出土土器①（1/4）

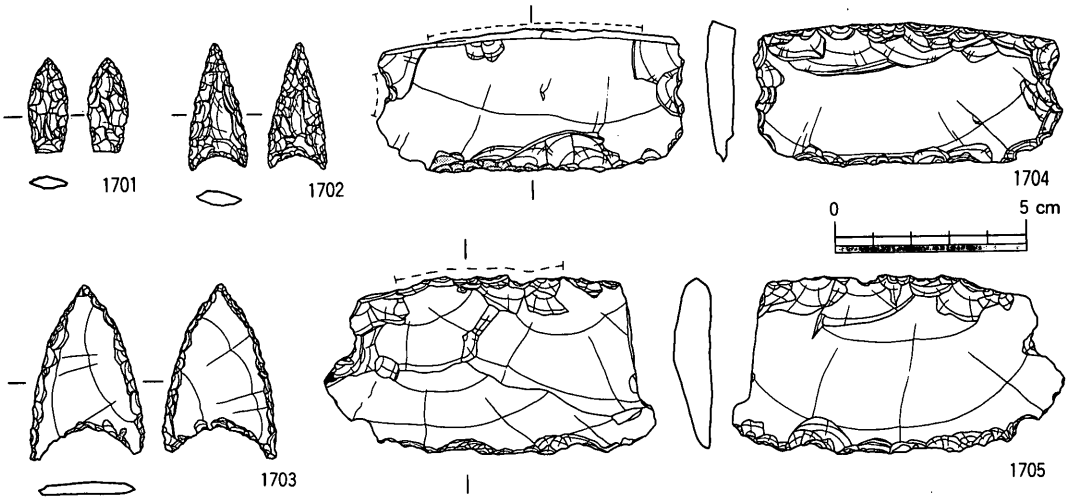


第170図　3②ＳＲ０１出土土器②（1/4・1/6）

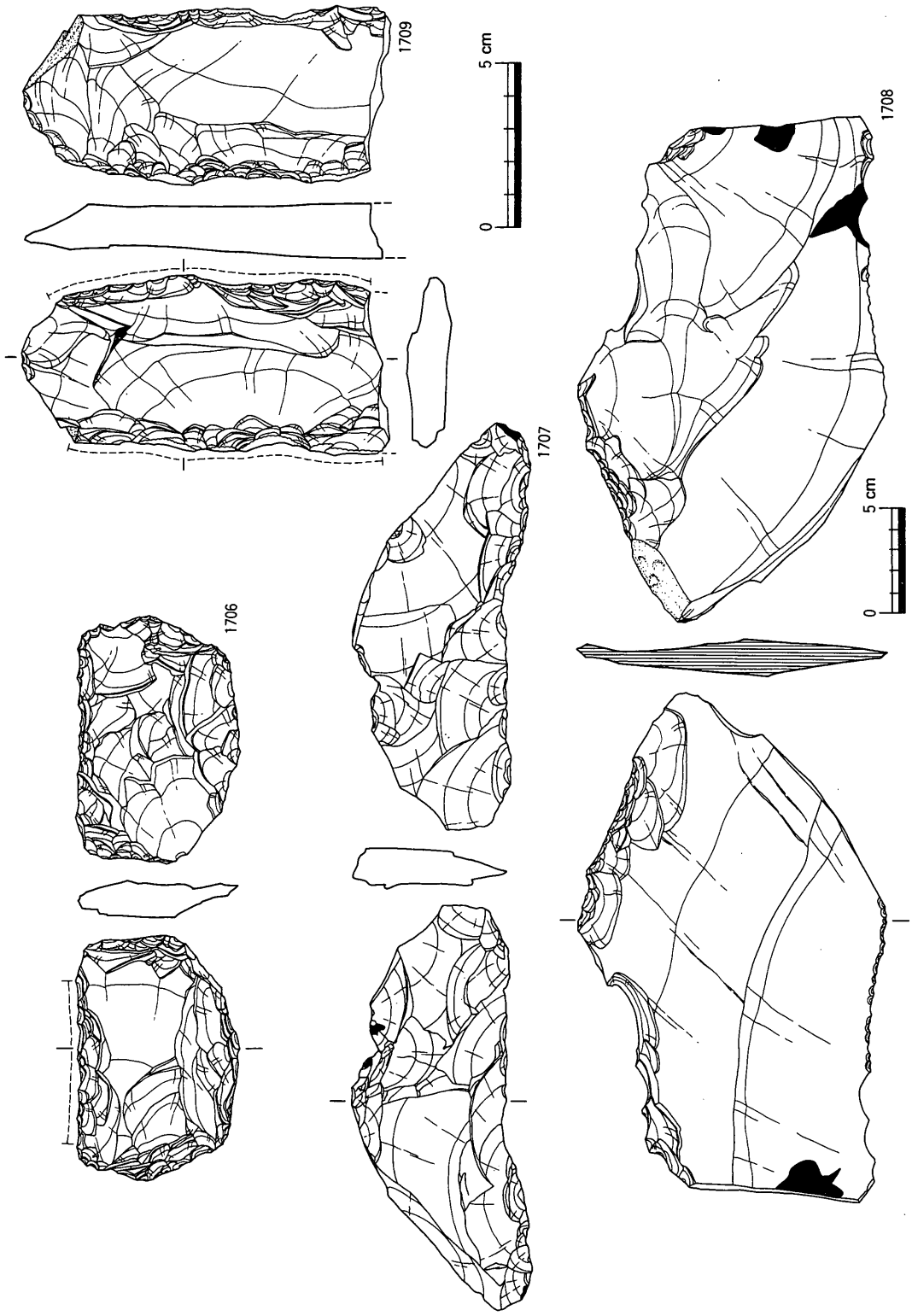


第171図　3②ＳＲ０１出土土器③（1/4）

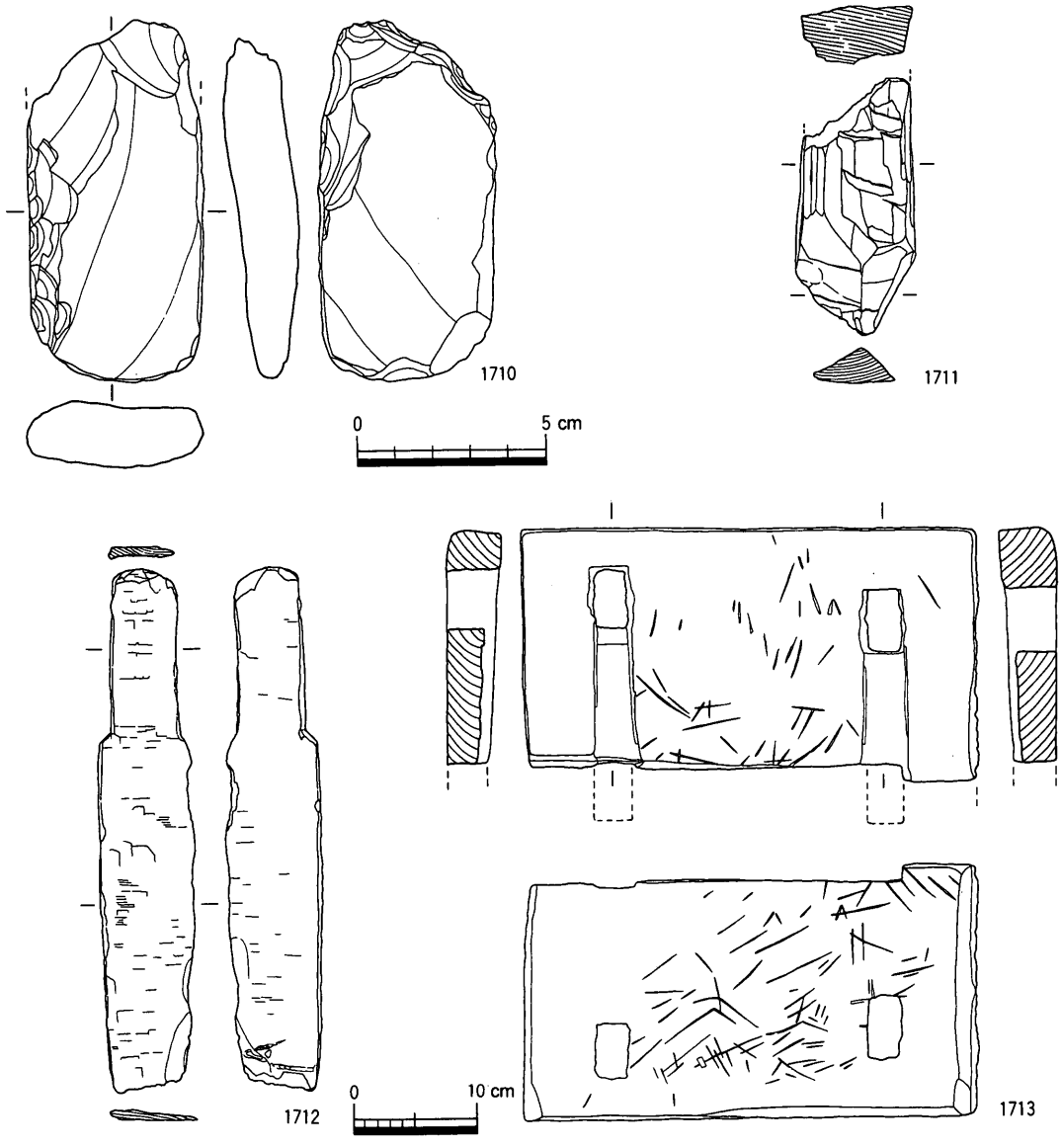




第172図　3②ＳＲ０１出土土器④（1/4）・石器①（1/2）



第173図　3②ＳＲ０１出土石器②（1/2、1/3）



第174図　3②ＳＲ０１出土石器③（1/2）・木器（1/6）

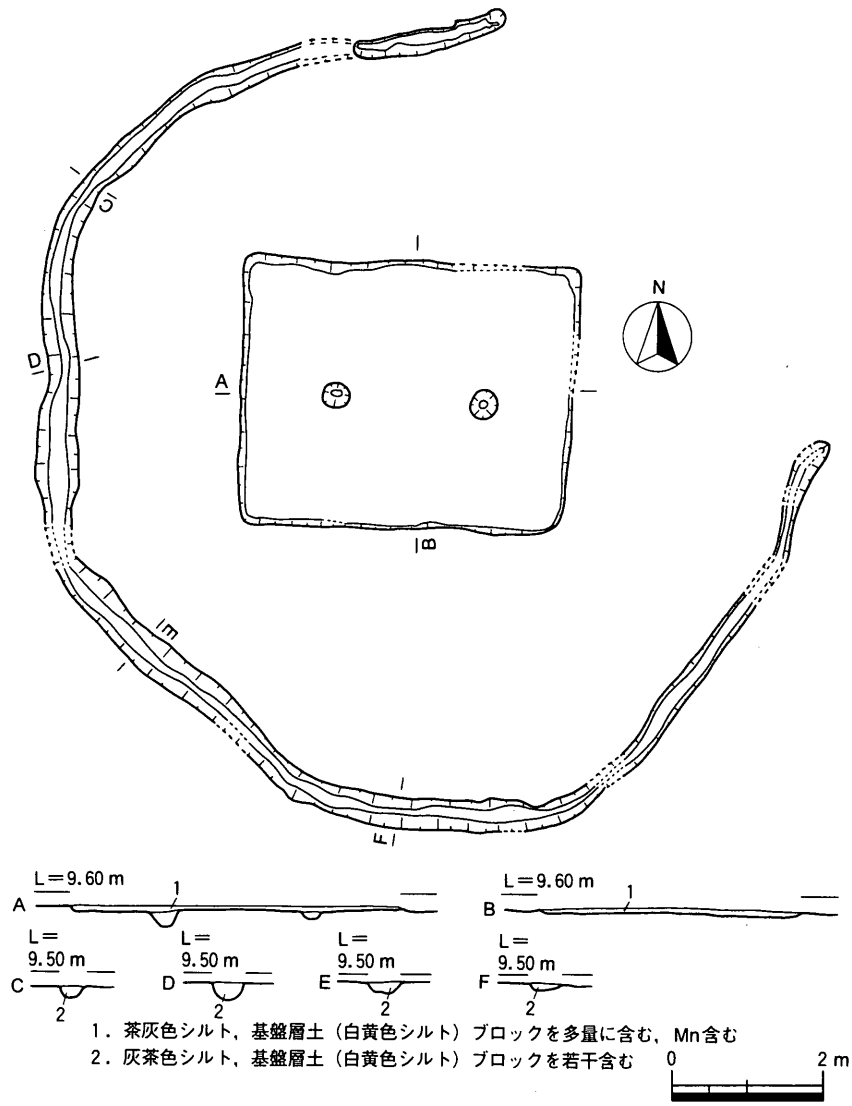
6　古墳時代後期～平安時代

竪穴住居跡

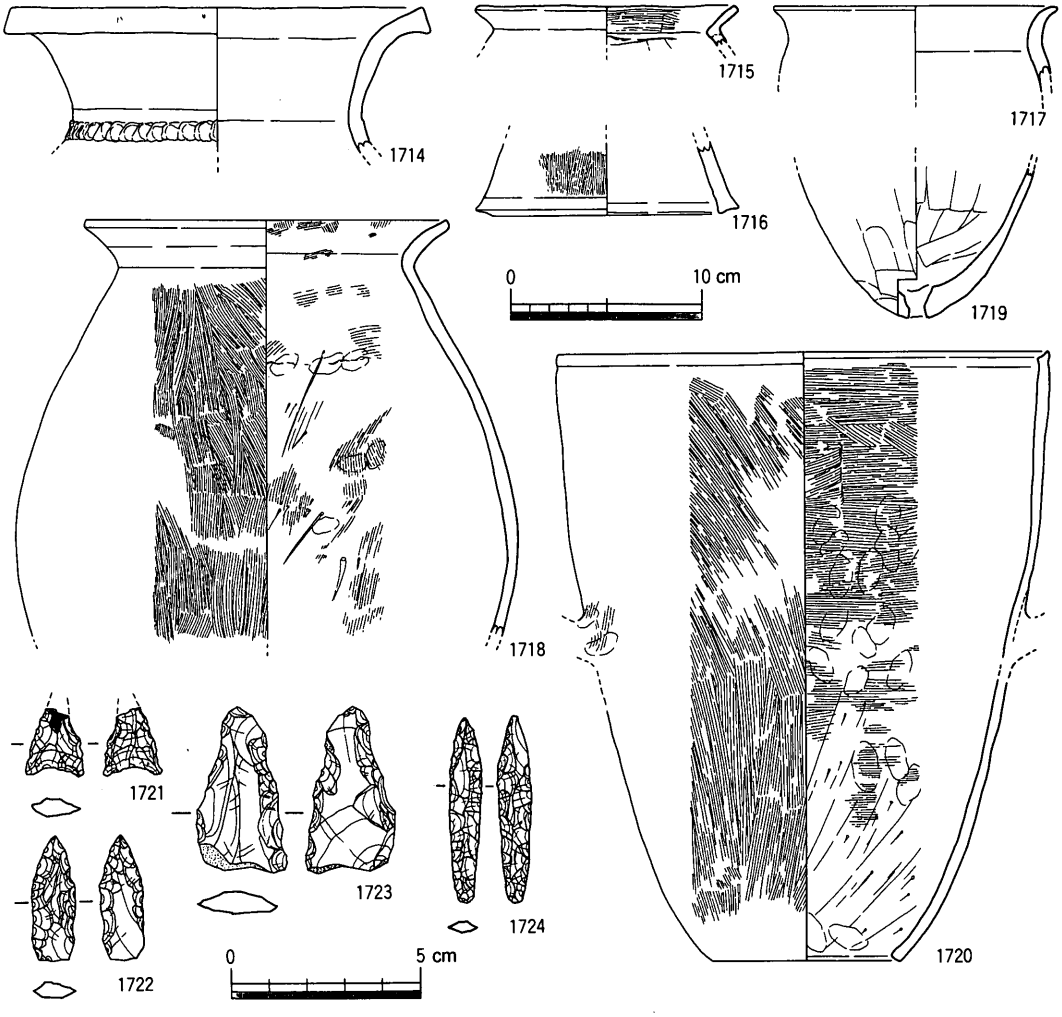
２④⑤ＳＨ０３，ＳＤ１３（第175・176図）

B20・C20区画に位置する。周溝ＳＤ１３をもつ長方形の竪穴住居跡である。ＳＨ０３の残存状況はきわめて悪く，深さ数cmしか埋土は残存していない。埋土は基盤層土を多く含む茶灰色シルトである。主柱穴は２つである。炉跡及び竈跡は検出していない。ＳＤ

１３の埋土は灰茶色シルトであり，深さは10～20cm程度である。遺物はコンテナ１箱程度である。1714～1716は，竪穴住居跡部分から出土した土器であり，いずれも弥生土器である。1717～1720はいずれもＳＤ１３から出土した土器であり，これらが本竪穴住居跡の時期を示していると思われる。長胴甕及び甑が出土している。1721～1724は石器である。



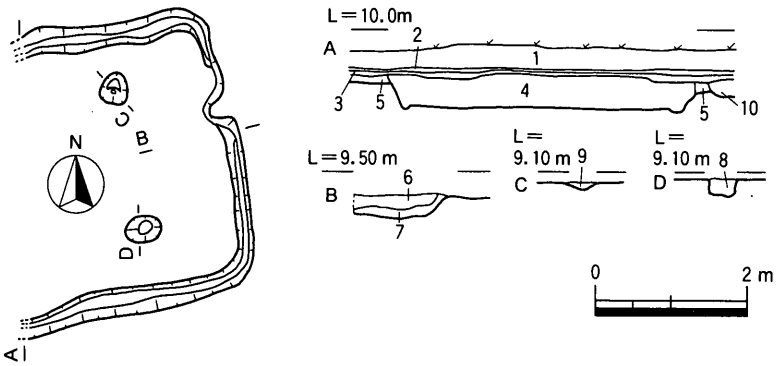
第175図　２④⑤ＳＨ０３・ＳＤ１３平・断面図（1/100）



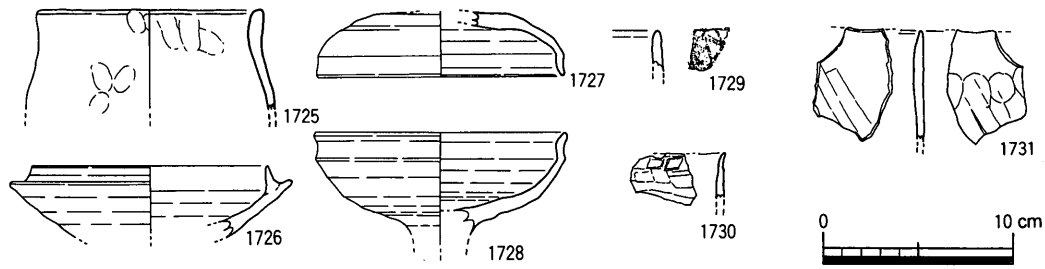
第176図　２④⑤ＳＨ０３・ＳＤ１３出土土器（1/4）・石器（1/2）

２④⑤ＳＨ０９（第177図）

B20区画に位置する。方形の竪穴住居跡である。壁溝が存在する。埋土は基盤層土を含む茶色シルトである。東壁には内側へ突出した部分がある。この付近の埋土には焼土粒を含むことから，この突出部が竈である可能性があるが，調査時にはそういう認識はなく，十分な検討を行っていない。埋土からはコンテナ１箱の遺物が出土している。1726と1727はTK209段階の資料であろう。1728はＳＨ０９付近を遺構検出していた時に出土したもので，ＳＨ０９か後述するB20ＳＸ０２に伴うものであろう。1729～1731は製塩土器である。



1．耕作土
2．白灰色シルト（Fe）
3．白灰色シルト
4．基盤層土（白黄色シルト）ブロック混茶色シルト
5．茶色シルト
6．焼土粒混暗茶色シルト
7．基盤層土（白黄色シルト）ブロック混茶黒色シルト
8．灰茶色シルト，基盤層土ブロック少量混入
9．灰茶色シルト，基盤層土ブロック少量混入，焼土粒微量混入
10．灰茶色シルト

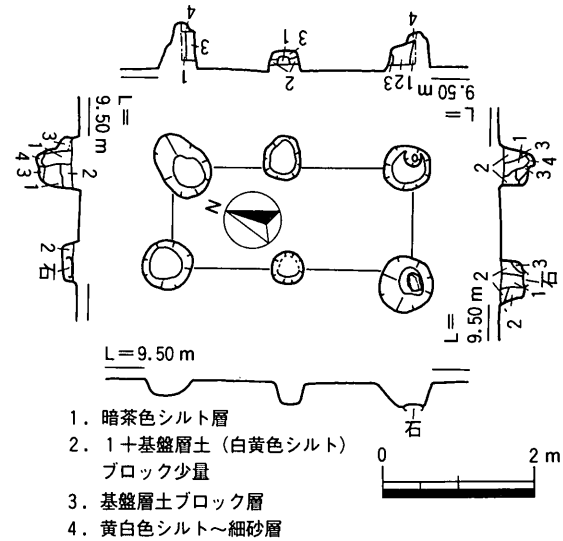


第177図　２④⑤ＳＨ０９平・断面図（1/100）及び出土土器（1/4）

掘立柱建物跡

２④⑤ＳＢ０１（第178図）

B20・C20区画に位置する。ＳＢ１４と同様１間×２間の掘立柱建物跡である。主軸方位は，N15°Wである。ＳＤ１３より新しい。出土遺物は細片で少量であり，詳細な時期は不明であるが，7世紀頃の須恵器が出土している。

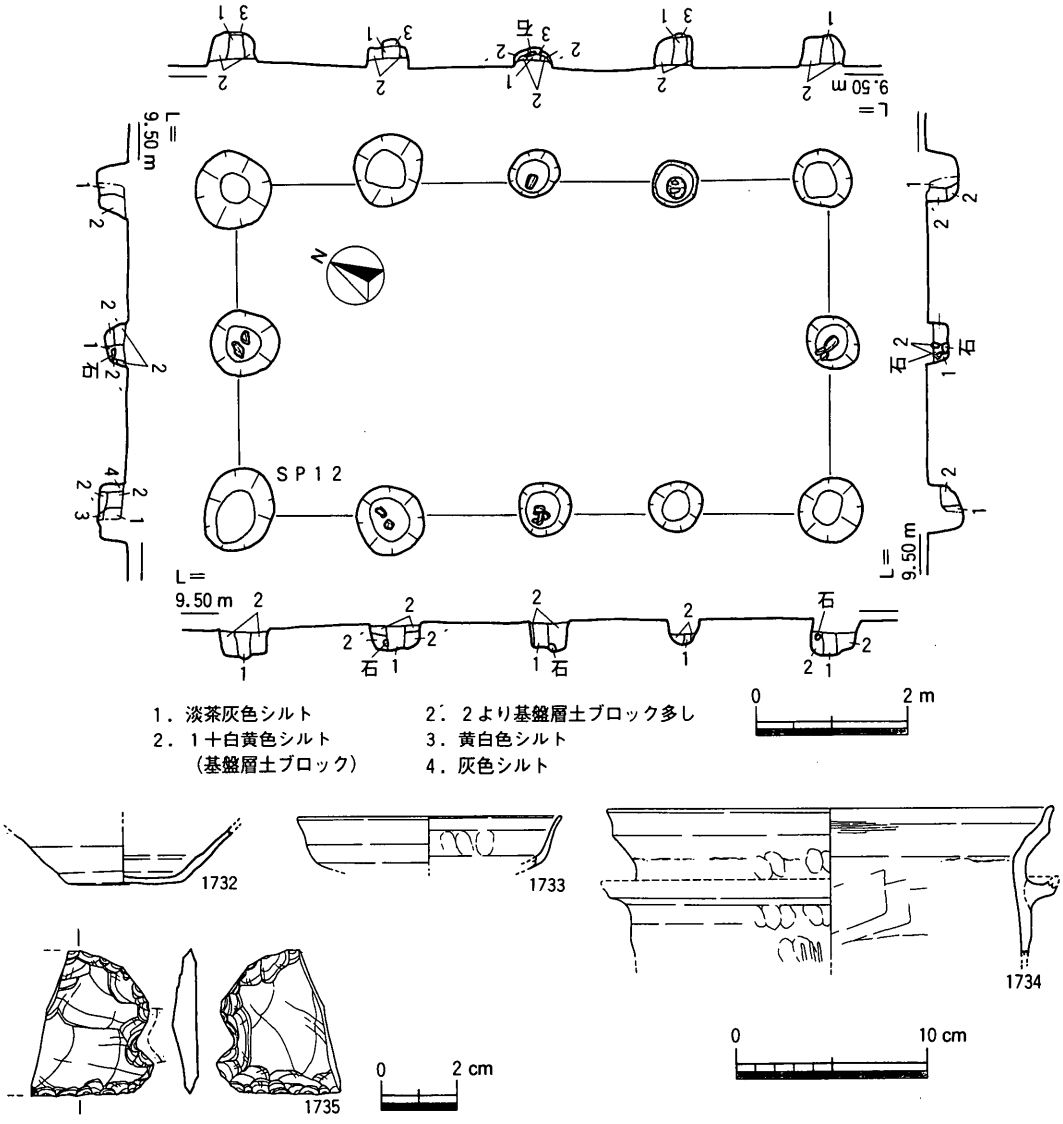


1．暗茶色シルト層
2．１十基盤層土（白黄色シルト）ブロック少量
3．基盤層土ブロック層
4．黄白色シルト～細砂層

第178図　２④⑤ＳＢ０１平・断面図（1/100）

２④⑤ＳＢ０２（第179図）

B21・C21区画に位置する。平面規模２間×４間で，主軸方位はN29°Wである。ＳＢ０８及びＳＢ１３と柱間距離及び方位がほぼ同じである。柱穴柱痕からは平安時代の遺物が出土している。B21ＳＰ１２から1735の石庖丁が出土している。もともとＳＨ０１に伴うものかもしれない。

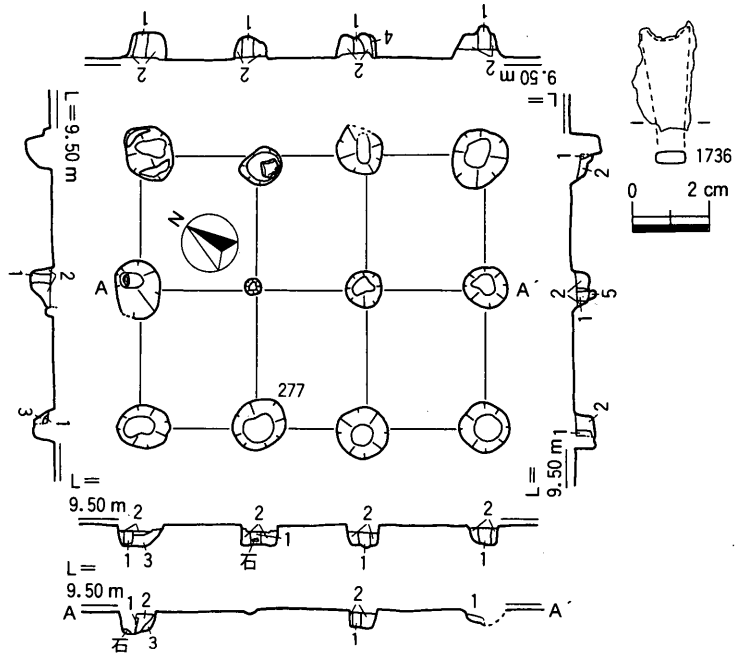


第179図　２④⑤ＳＢ０２平・断面図（1/100）及び出土土器（1/4）・石器（1/2）

２④⑤ＳＢ０３（第180図）

C21区画に位置する。２間×３間の総柱建物跡である。主軸方位は，N32°Wである。ＳＢ０８と重なる。中世の遺物が出土する柱穴より古く，ＳＨ０２及びＳＤ０８より新しい。

出土遺物はいずれも細片で，詳細な時期は不明であるが，奈良時代頃の須恵器の坏蓋が出土している。1736はＳＰ２７７から出土した鉄器である。錆が進み，詳細は不明である。

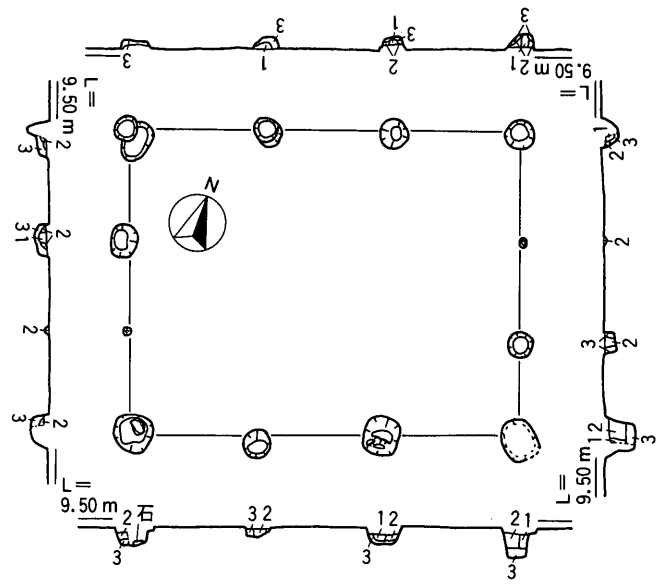


1．茶灰色シルト
2．１と基盤層土（白黄色シルト）ブロック
3．２に比べて基盤層土ブロックの量が多い
4．灰色シルト

第180図　２④⑤ＳＢ０３平・断面図（1/100）及び出土鉄器（1/2）

２④⑤ＳＢ０４（第181図）

C20・C21区画に位置する。平面規模２間×３間で，主軸方位は，N71°Ｅである。中世の遺物を出土する柱穴より古く，ＳＤ０８より新しい。出土遺物は細片の土器が少量のみであり，詳細な時期は不明である。



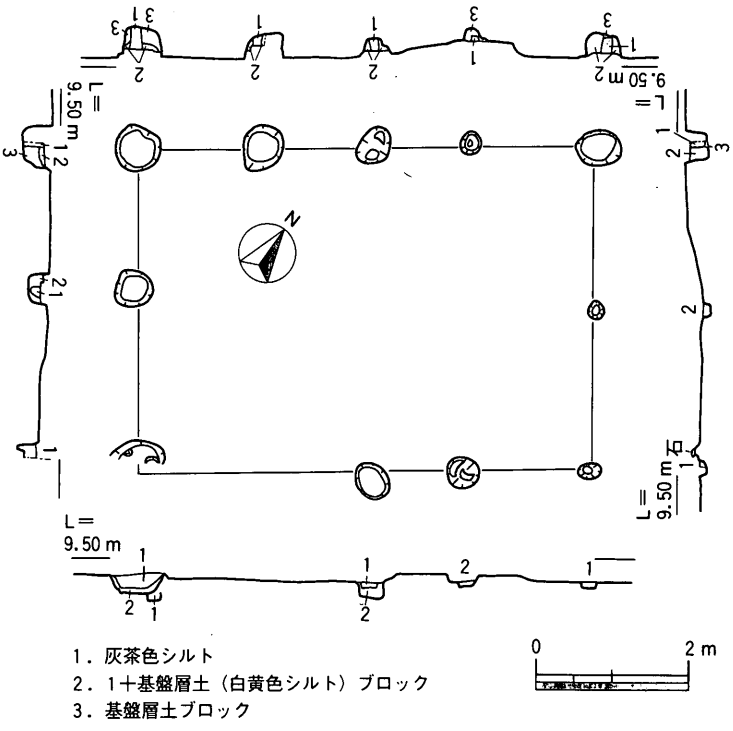
1．黒茶色シルト層
2．基盤層土混り黒茶色シルト層（黒茶色が多い）
3．基盤層土混り黒茶色シルト層（基盤層土が多い）

第181図　２④⑤ＳＢ０４平・断面図（1/100）

２④⑤ＳＢ０６（第182図）

C21・C22区画に位置する。平面規模２間×４間で，主軸方位は，N58°Eである。ＳＢ０３とほぼ同じ方向である。中世の土坑ＳＫ０１及び溝跡ＳＤ０１より古い。

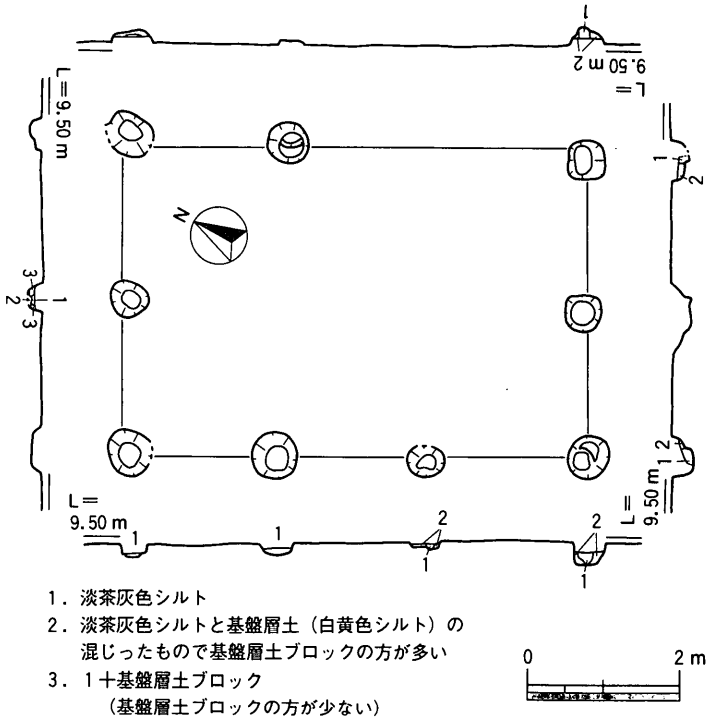
出土遺物は細片少量で，詳細な時期は不明である。



第182図　２④⑤ＳＢ０６平・断面図（1/100）

２④⑤ＳＢ０８（第183図）

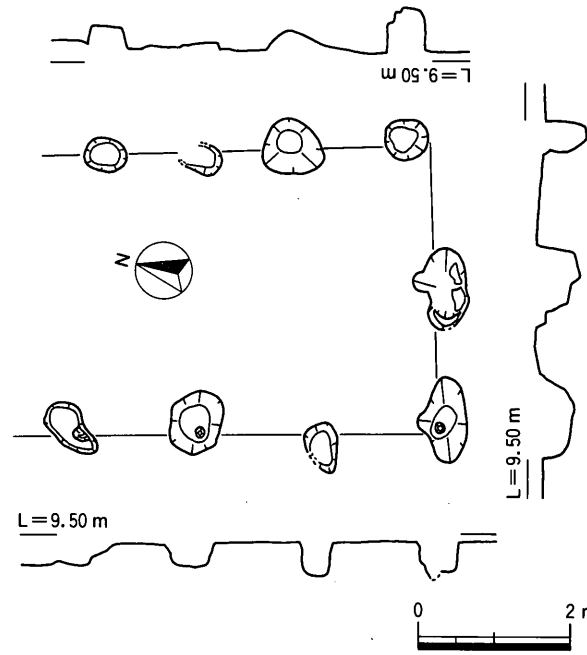
C21区画に位置する。平面規模２間×３間で，主軸方位はN29°Wである。柱間距離及び方向ともＳＢ０２とほぼ同じである。ＳＨ０２及びＳＤ０８より新しく，中世のＳＫ０２より古い。



第183図　２④⑤ＳＢ０８平・断面図（1/100）

２④⑤ＳＢ０９（第184図）

C20区画に位置する。平面規模は２間×３間以上である。主軸方位は，N15°Wで，ＳＢ１４とほぼ同じである。北側は川跡の埋没に伴い，川跡肩部が崩壊し，川跡肩部に存在していた当掘立柱建物跡は部分的に削平されている。柱穴はほぼ同じ場所で数回の掘削を受け，柱穴平面形は不整形である。ＳＨ０５より新しく，ＳＤ０２より古い。



第184図　２④⑤ＳＢ０９平・断面図（1/100）

２④⑤ＳＢ１０（第185図）

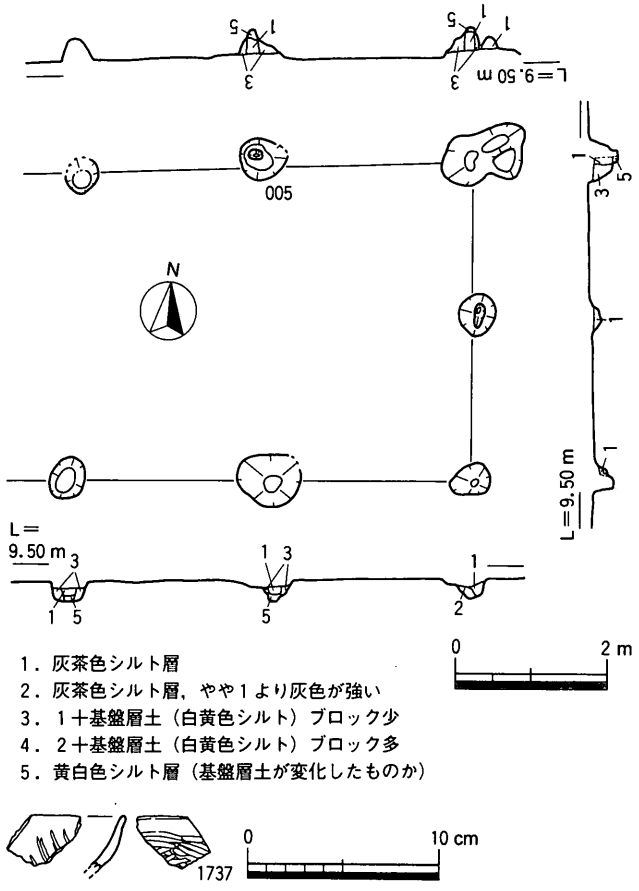
B21・C20・C21区画に位置する。平面規模は，一部調査区外に存在すると考えて，２間×２間以上である。主軸方位はN85°Ｅである。C21ＳＰ００５からは中世の瓦器1737が出土しているが，平面形態からは古代の掘立柱建物跡である可能性が高いことから，ＳＰ００５は中世の柱穴と重複しているものと考えられ，他の柱穴から出土している須恵器の高坏等がこの掘立柱建物跡の年代を示しているものと考えられる。

２④⑤ＳＢ１１（第186図）

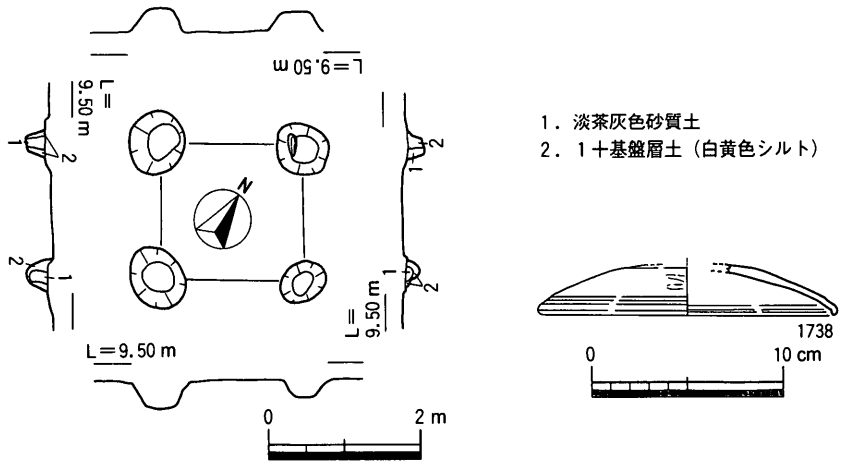
D20区画に位置する。平面規模は，１間×１間である。主軸方位は，N56°Ｅである。ＳＰ２５６から土師器の坏蓋1738が出土している。ＳＫ０７と位置がほぼ重なる。

２④⑤ＳＢ１２（第187図）

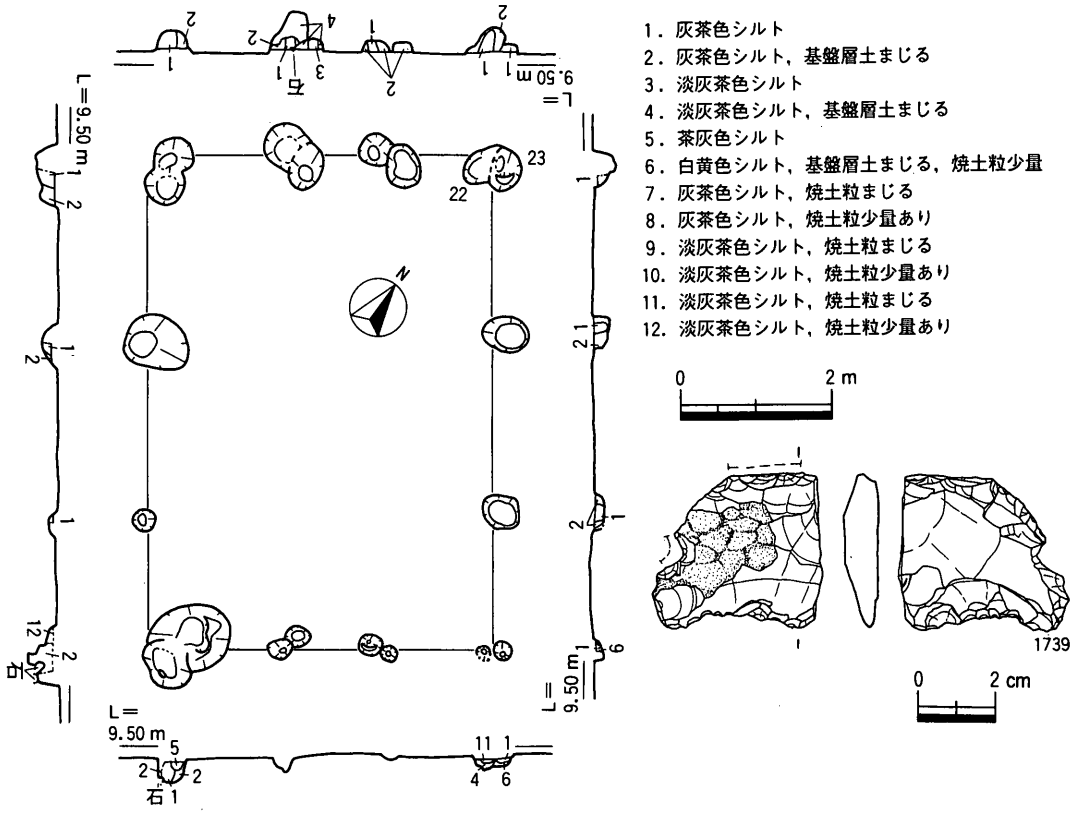
C20・C21区画に位置する。平面規模は，３間×３間である。主軸方位は，N36°Wである。北側柱と南側柱に同じ位置に柱穴が重複して存在し，どちらからも特に時期の違う遺



第185図　2④⑤ＳＢ１０平・断面図（1/100）及び出土土器（1/4）



第186図　2④⑤ＳＢ１１平・断面図（1/100）及び出土土器（1/4）



第187図　２④⑤ＳＢ１２平・断面図（1/100）及び出土石器（1/2）

物が出土していないことから，同じ建物の立て替えの可能性がある。ＳＰ２２あるいはＳＰ２３から石庖丁1739が出土している。

２④⑤ＳＢ１３（第188図）

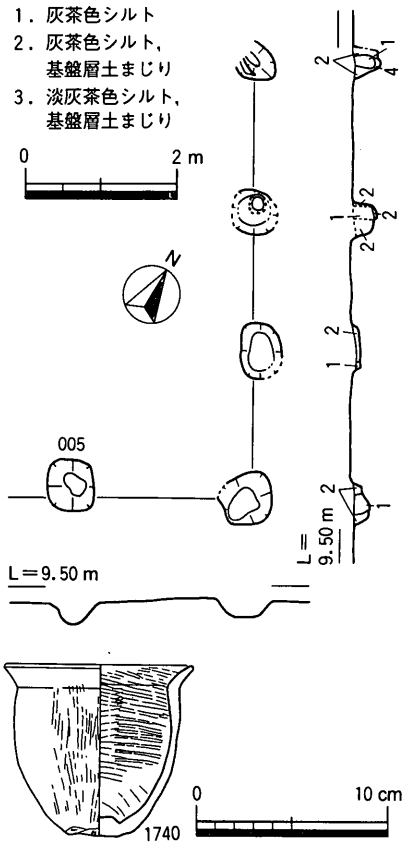
B20・B21・C20・C21区画に位置する。一部調査区外に存在し，平面規模は不明であるが，２間以上×３間以上である。主軸方位は，N31°Wである。主軸方位及び柱間距離はＳＢ０２とほぼ同じであり，平面位置もＳＢ０２と同時併存していたことを示唆する。出土遺物は須恵器，土師器が少量出土している。B21ＳＰ００５からは弥生土器1740が出土しているが，この柱穴はＳＨ０１と重なる位置にあることから，この遺物はＳＨ０１に伴う可能性が高い。

２④⑤ＳＢ１４（第189図）

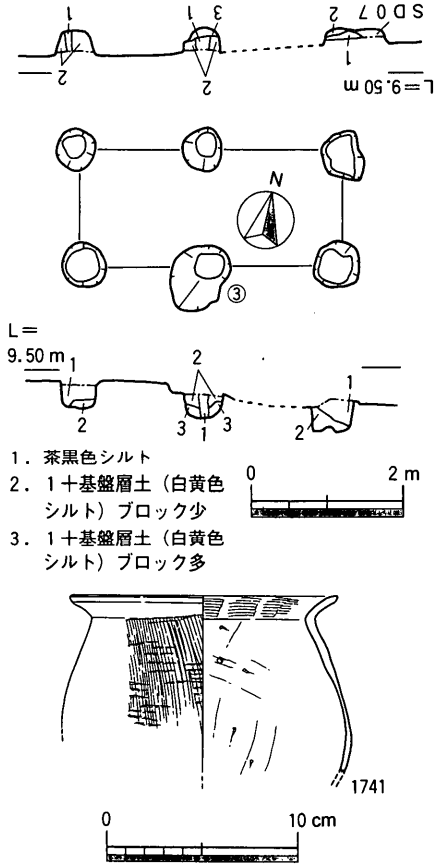
C20区画に位置する。平面規模は，１間×２間である。主軸方位は，N78°Ｅである。ＳＨ０５より新しく，ＳＤ０７より古い。柱穴③から弥生土器1741が出土しているが，この柱穴はＳＨ０５と重なることから，この遺物はＳＨ０５に伴う可能性が高い。

２④⑤ＳＢ１５（第190図）

E19・E20区画に位置する。平面規模は２間×２間である。柱穴１穴は調査区外に存在する。主軸方位は，N74°Wである。ＳＨ１０より新しい。



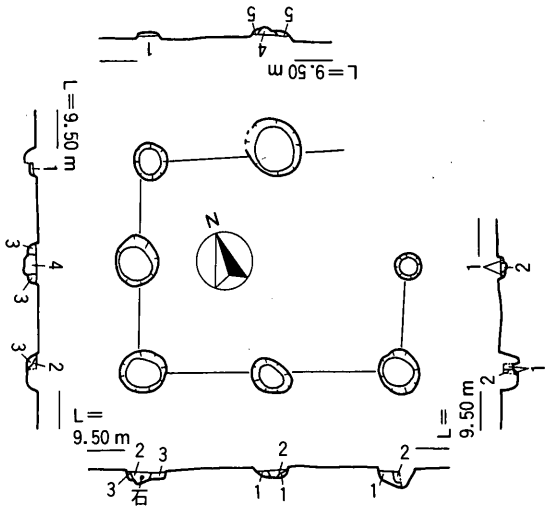
第188図　２④⑤ＳＢ１３平・断面図（1/100）及び出土土器（1/4）



第189図　２④⑤ＳＢ１４平・断面図（1/100）及び出土土器（1/4）

２④⑤ＳＢ１６（第191図）

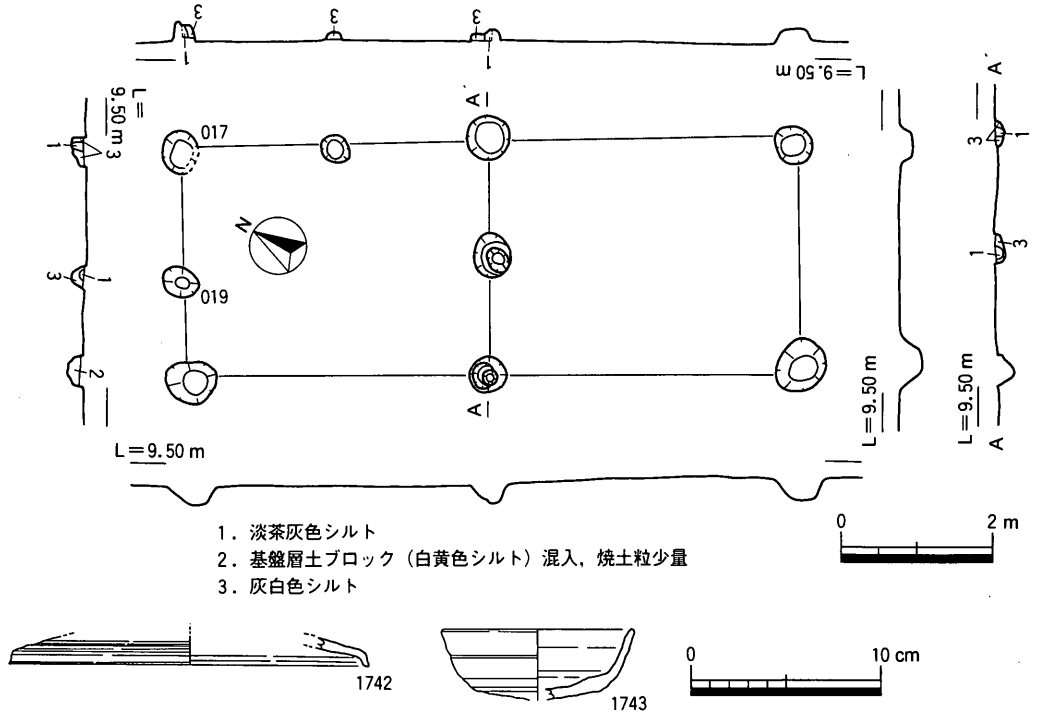
D19・D20区画に位置する。平面規模は，２間×３間である。主軸方位は，N30°Eである。柱穴埋土から奈良時代頃の遺物が出土している。1742は，D19ＳＰ０１９から出土した須恵器の坏蓋である。1743はD19ＳＰ０１７から出土した須恵器高坏である。



1．淡茶灰色シルト，基盤層土まじり
2．茶黒色シルト
3．淡茶灰色シルト，基盤層土まじり，炭・焼土粒混入
4．茶黒色シルト，炭・焼土粒混入
5．茶黒色シルト，基盤層土まじり

0　2 m

第190図　２④⑤ＳＢ１５平・断面図（1/100）



1．淡茶灰色シルト
2．基盤層土ブロック（白黄色シルト）混入，焼土粒少量
3．灰白色シルト

0　2 m

第191図　２④⑤ＳＢ１６平・断面図（1/100）及び出土土器（1/4）

土坑

1①調査区では，弥生時代終末期から古墳時代終末期と考えられる遺構面で土坑及び不明遺構を検出したが，出土遺物に土師器及び須恵器を含むものがあることから古墳時代終末期の遺構と考え，ここで報告する。

1①ＳＫ０１（第192図）

D15・D16区画に位置する。遺物は出土していない。

1①ＳＫ０２（第193図）

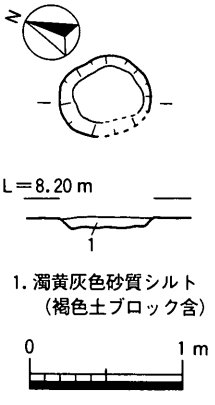
D16区画に位置する。埋土に炭及び焼土ブロックを含み，土坑底には炭化物層の堆積が見られる。ＳＫ０１より新しい。出土遺物は弥生土器１片である。

1①ＳＫ０３（第194図）

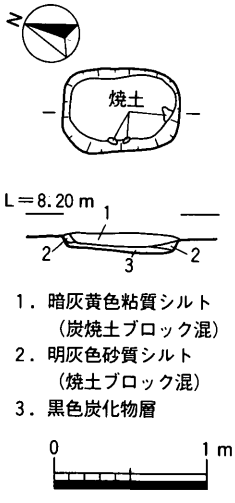
D16区画に位置する。浅い土坑である。埋土に炭化物及び焼土ブロックを含み，底面には熱を受けている痕跡がある。出土遺物は，弥生土器及び土師器の破片がそれぞれ１片出土している。

1①ＳＫ０４（第195図）

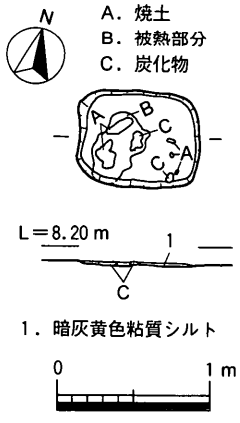
D16区画に位置する。浅い土坑である。出土遺物は無い。



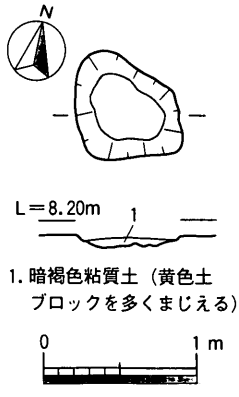
第192図
1①ＳＫ０１
平・断面図（1/50）



第193図
1①ＳＫ０２
平・断面図（1/50）



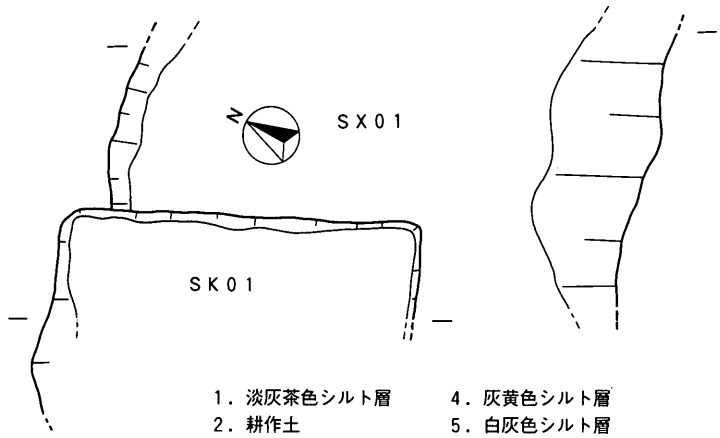
第194図
1①ＳＫ０３
平・断面図（1/50）

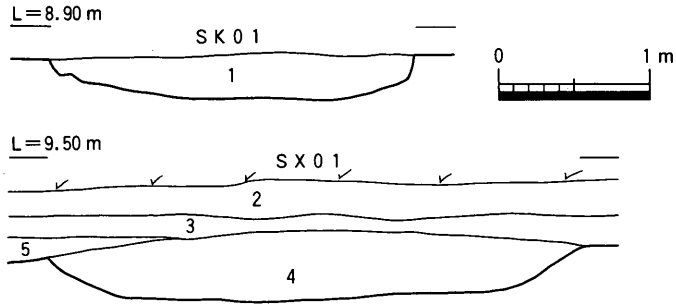


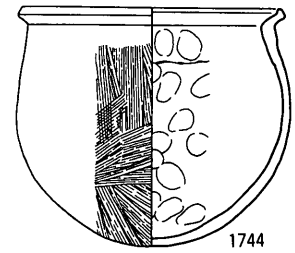
第195図
1①ＳＫ０４
平・断面図（1/50）

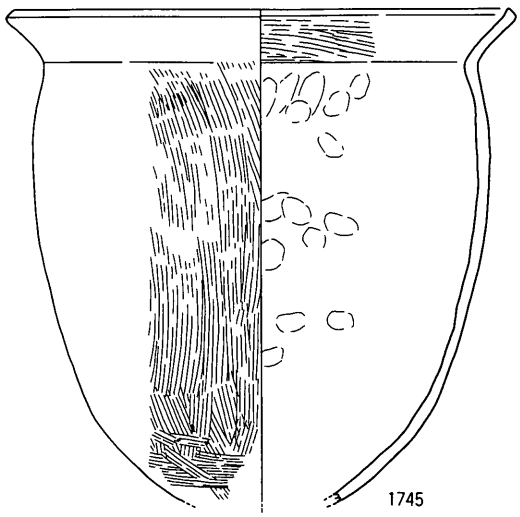
2②ＳＫ０１（第196図）

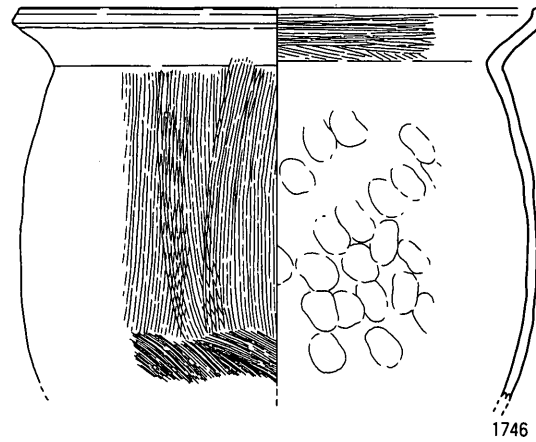
D18区画に位置する。トレンチにより壊され詳細は不明であるが，方形平面をなす。埋土は単層である。奈良時代頃の遺物が出土している。

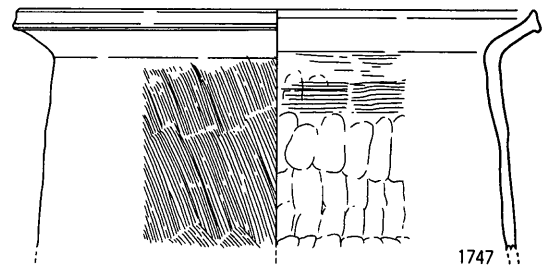


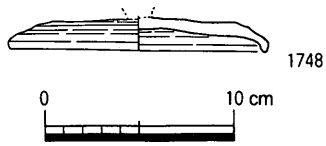








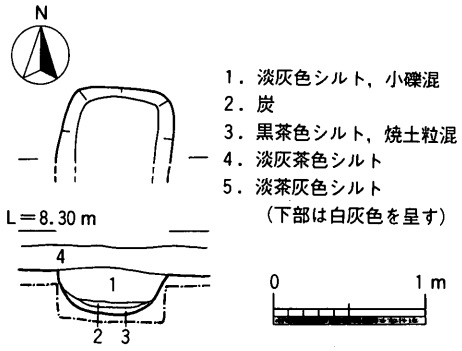




第196図　２②ＳＫ０１・ＳＸ０１平・断面図（1/50）及びＳＫ０１出土土器（1/4）

2③ＳＫ０１（第197，226図）

C18区画に位置する。遺物は出土していないので詳細な時期は不明であるが，古墳時代終末期の流路埋土より上層の奈良時代の遺物の包含層からの掘り込みが見られことから，奈良時代前後であろう。埋土には底部付近に炭層を含む。



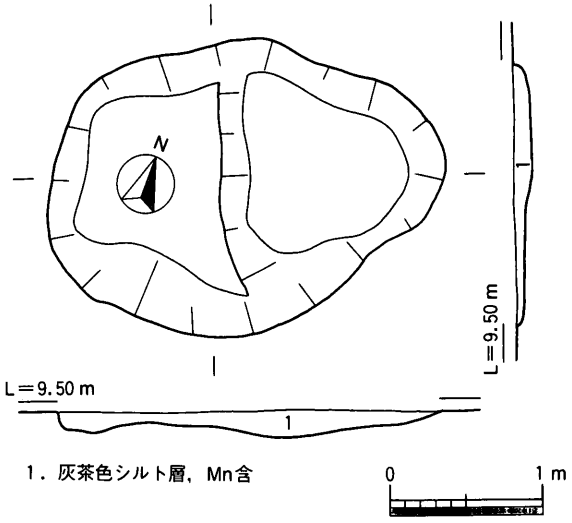
第197図　2③ＳＫ０１平・断面図（1/50）

2④⑤ＳＫ０６（第198図）

C21区画に位置する。ＳＨ０２より新しい。床面は凹凸が見られる。

2④⑤ＳＫ０７（第199図）

D20区画に位置する。ＳＢ１１と位置が重なる。浅いものであり，遺構かどうかは疑問が残る。埋土からは奈良時代頃の遺物が若干出土している。1749と1750はいずれも土師器の坏蓋である。



第198図　2④⑤ＳＫ０６平・断面図（1/50）

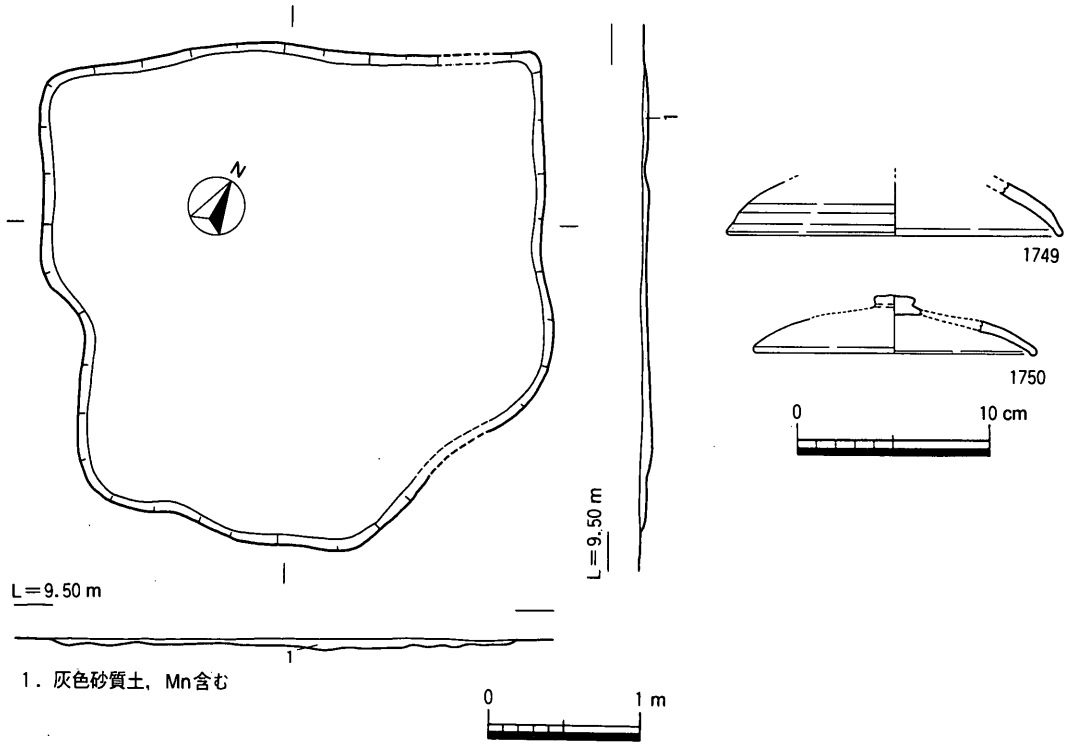
不明遺構

1①ＳＸ０１（第200図）

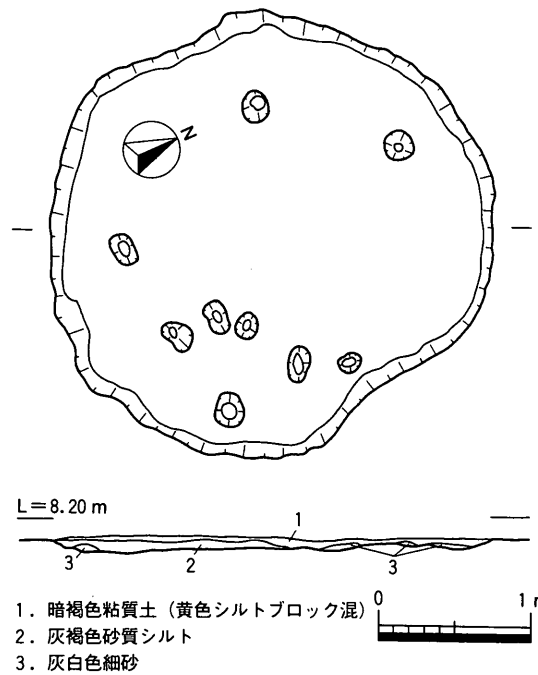
D15区画に位置する。不整形なピットを伴う遺構である。遺物は弥生土器片１と須恵器片１である。

1①ＳＸ０２（第201図）

C15・C16・D15・D16区画に位置する。平面形は不整形で，深さも浅いものである。弥生土器，土師器，須恵器及び石器がわずかの量出土している。1751は石槍である。



第199図　２④⑤ＳＫ０７平・断面図（1/50）及び出土土器（1/4）



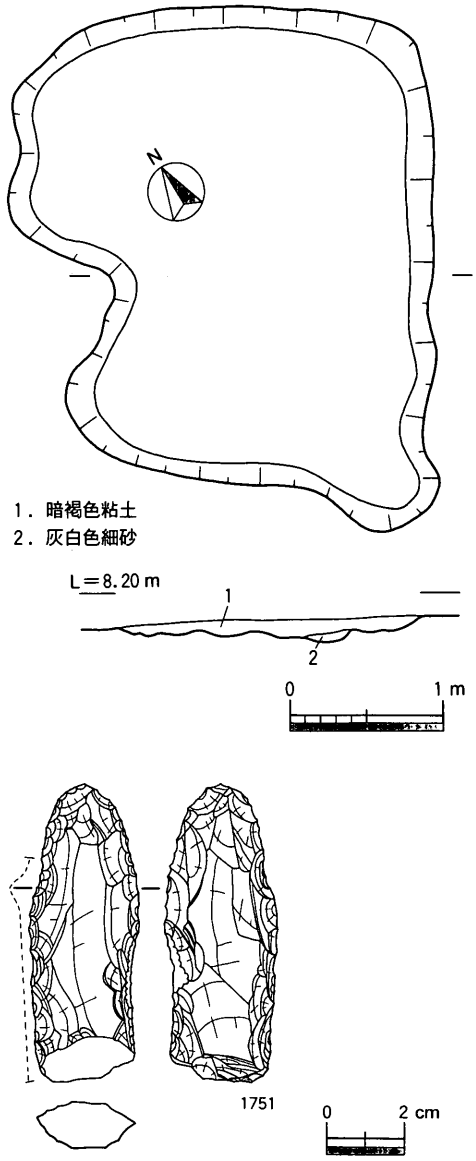
第200図　１①ＳＸ０１平・断面図（1/50）

2②ＳＸ０１（第196図）

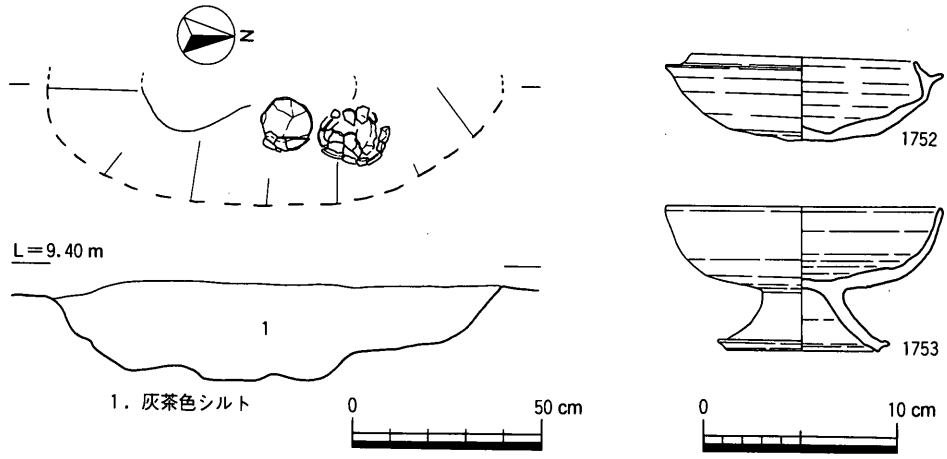
D18区画に位置する。2②ＳＫ０１より古いが，埋土に須恵器片をわずかではあるが含むことから，奈良時代前後であろう。調査区東壁断面では，中央部がやや盛り上がった畦畔状の遺構である。西はＳＫ０１断面図作成位置までは，確認できるが，2②調査区西壁断面図作成位置では確認できない。埋土は堅く，Mn斑が多量にみられる。

2④⑤ＳＸ０２（第202図）

B20区画に位置する。調査区の境界付近で検出したもので，遺構のほとんどは調査区外に存在するものと考えられる。浅い土坑状の遺構であり，須恵器の坏1752と高坏1753が2個ほぼ完形で出土している。土坑墓の遺物である可能性も考えられる。



第201図　1①ＳＸ０２平・断面図（1/50）及び出土石器（1/2）

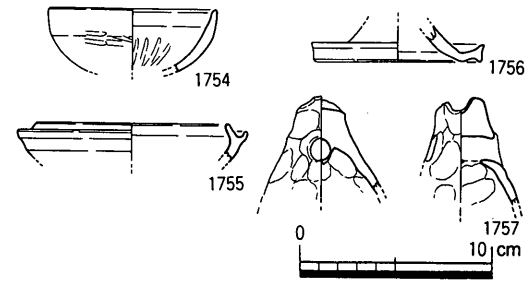


第202図　２④⑤ＳＸ０２平・断面図（1/20）及び出土土器（1/4）

溝跡

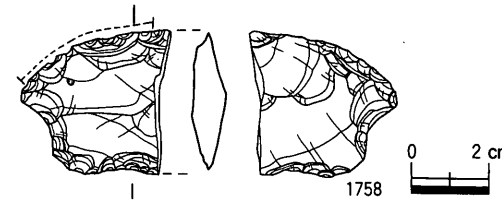
２④⑤ＳＤ０７（第204図）

C20・C21・D21区画に位置する。途中２か所が途切れているが，残存状況はよくないため，本来途切れていたのどうかは不明である。ＳＨ０５と重なる部分は幅深さとも大きくなっている。1759及び1760は土師器の甕である。1761は内面に暗文のある土師器の皿であろう。1762～1768は須恵器である。1764は坏の可能性がある。1769～1771は石器である。1772は，ガラス小玉である。ＳＨ０５と重なる部分から出土した。重量は0.7ｇである。

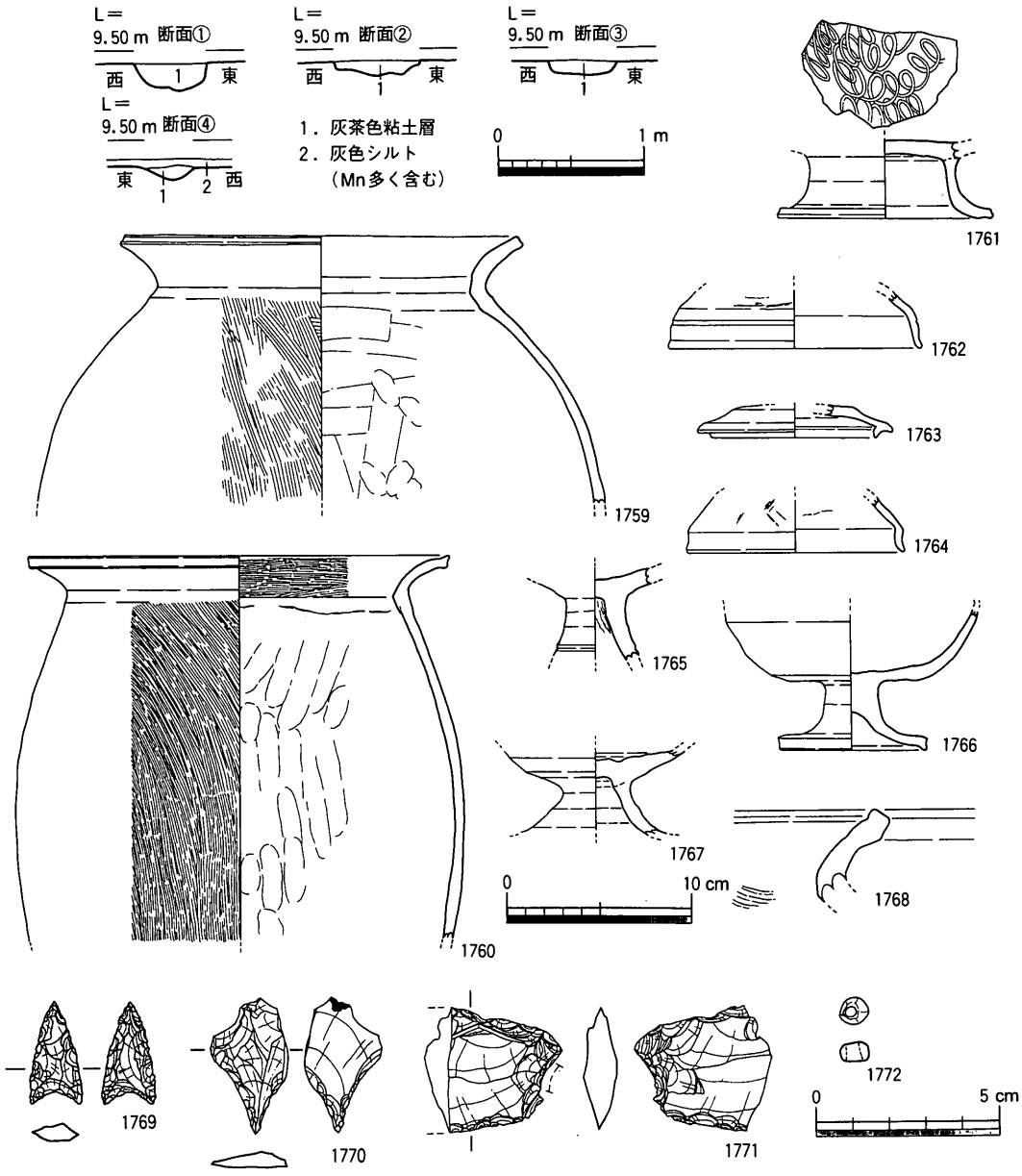


２④⑤ＳＤ１０（第203図）

C20区画に位置する。ＳＤ０７及びＳＤ１１より古い。しかし出土遺物を見るとほとんど時期差は無いものと考えられる。1754は土師器である。1755と1756は須恵器である。1757は飯蛸壺である。1758は石庖丁である。



第203図　２④⑤ＳＤ１０出土土器（1/4）・石器（1/2）

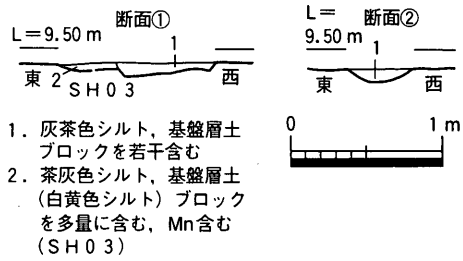


第204図　2④⑤ＳＤ０７断面図（1/50）及び出土土器（1/4）・石器（1/2）・ガラス玉（1/2）

2④⑤ＳＤ１１（第205図）

C20区画に位置する。ＳＤ１３及びＳＨ０３より新しい。ＳＤ０７と方向が類似するため，同時期の可能性があろう。また，ＳＤ１１南端部は若干東に曲がるように見え，また

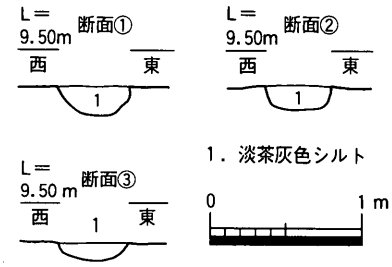
ＳＤ０７はＳＨ０４と重なる部分で途切れるが，その部分で南からのびてきた溝跡が西に曲がるように見えることから，ＳＤ１１とＳＤ０７がここでそれぞれ直角に向きを変えてつながる可能性もある。



第205図　２④⑤ＳＤ１１断面図（1/50）

２②・２④⑤ＳＤ１８（第206図）

D19・E19・E20区画に位置する。ＳＢ１６とほぼ同じ方向である。須恵質の平瓦が出土している。



第206図　２④⑤ＳＤ１８断面図（1/50）

川跡及び水田跡（第207図）

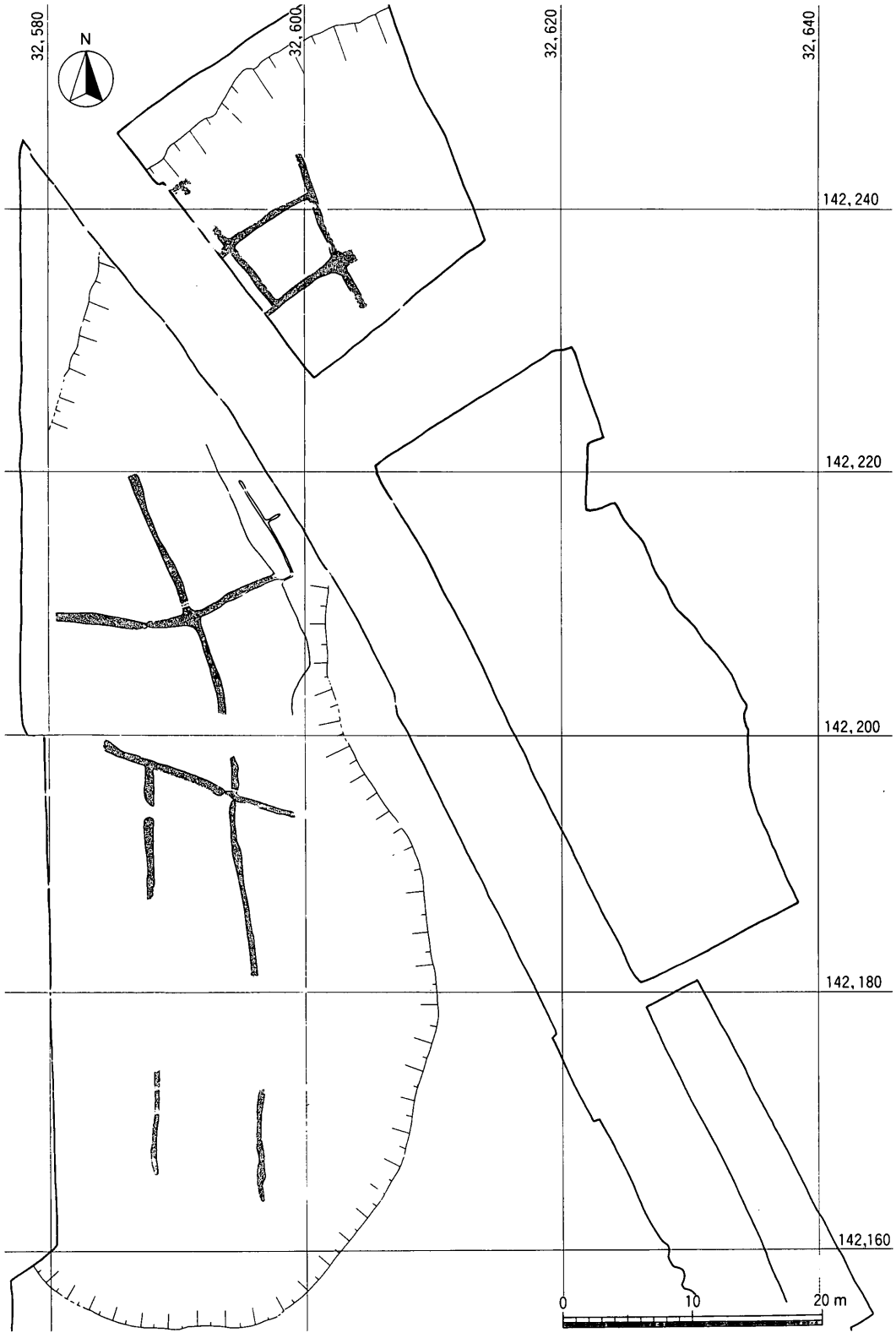
１①調査区（第32，208～213図）

川跡は６・７層の斜行堆積後，５層では水平堆積が見られる。５層において水田跡が検出された（第208図）。平面的に検出できたのは部分的にとどまる。調査区西半の川跡部分であり，東半分は，水田を覆う洪水砂により削平されたものと考えられる。畦畔の高さは調査区壁断面によれば10cm程度である。また水田耕作土層と考えられた部分の土壌（５c層）のプラント・オパール分析を行ったところ，プラント・オパールを多量に検出できた（第４章第１節分析結果）。

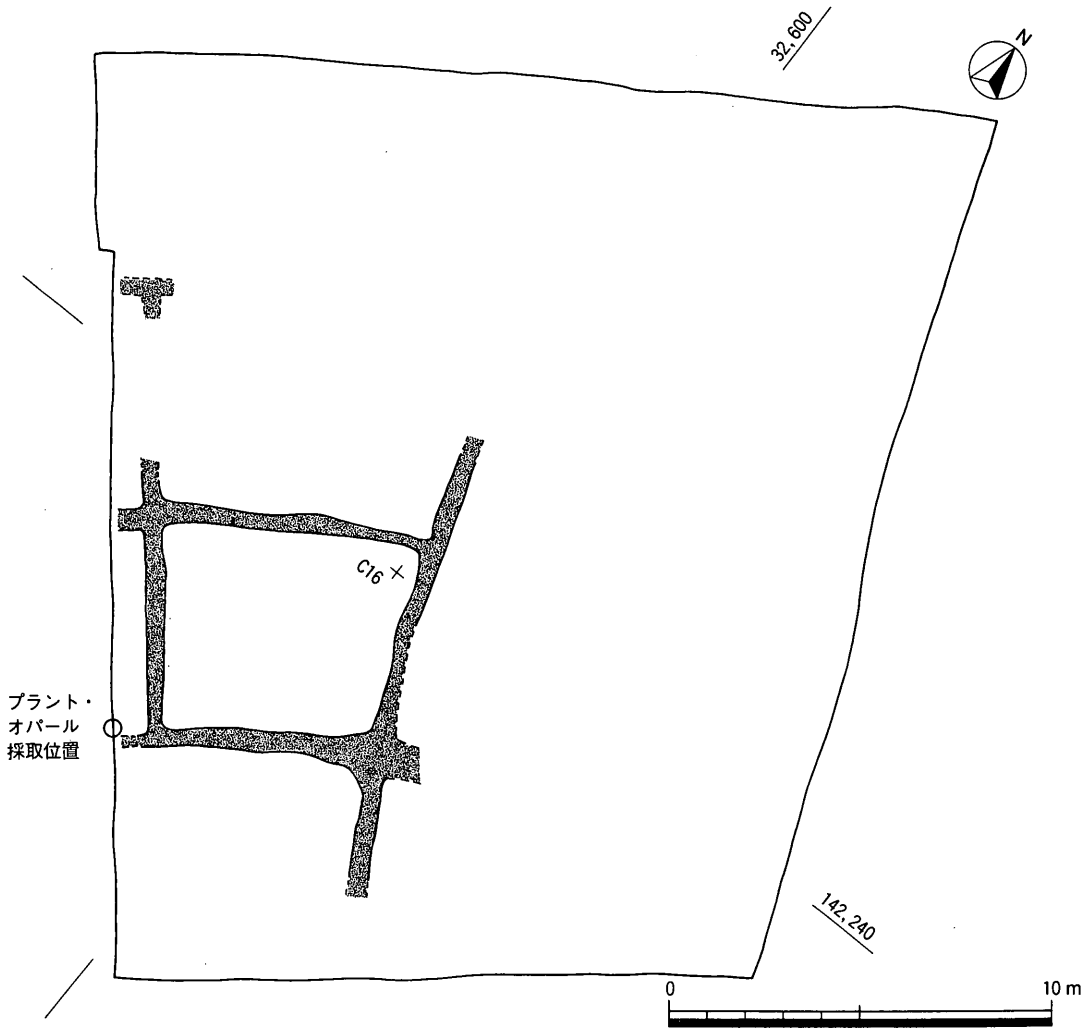
川跡の最終埋没土（６・７層）から，古墳時代後期から奈良時代までの土器が多量に出土している。この後川跡は水田として使用された。したがって水田の上限年代は奈良時代である。1773～1802は土師器である。1775は把手の剝落痕がある。把手は一つである。1803～1828は須恵器である。1829は弥生土器である。1830は紡錘車である。1831～1833は，遺構検出時に出土したものである。1831は弥生土器である。1833は薬壺の蓋である。

また，ここで６・７層以上の層から出土した石器及びこの調査区の出土位置不明の石器をまとめて掲載しておく。1834は石鏃である。1835は石槍である。1836～1842は石錐である。1843～1848は石庖丁である。1849は石鎌とした。1850～1852はスクレイパーとした。1853は太型蛤刃石斧である。1854は扁平片刃石斧である。

1855は５aあるいは５b層から出土した鉄鎌とみられる鉄器である。



第207図　古代水田跡平面図（1/500）

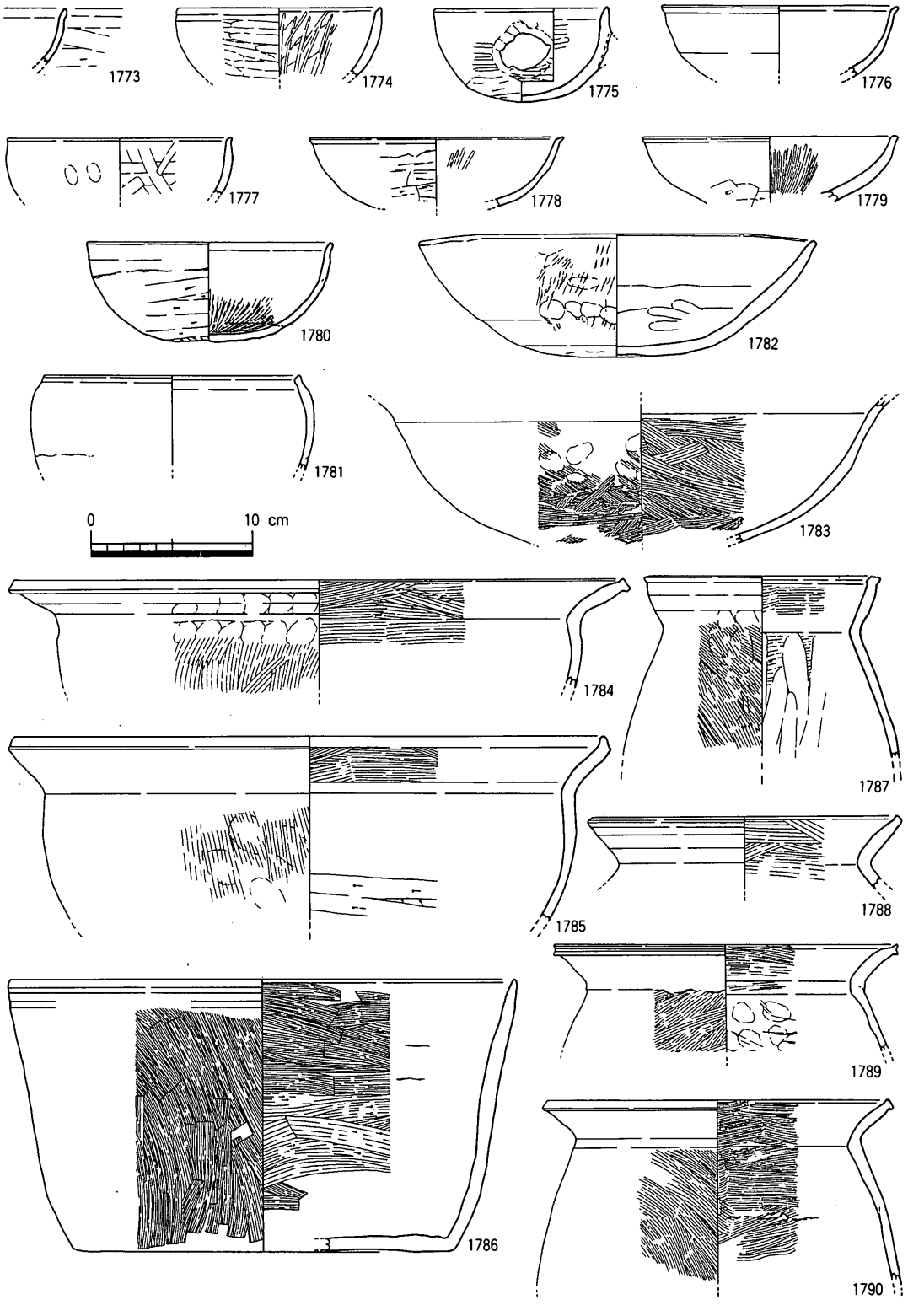


第208図　1①調査区下層水田跡平面図（1/200）

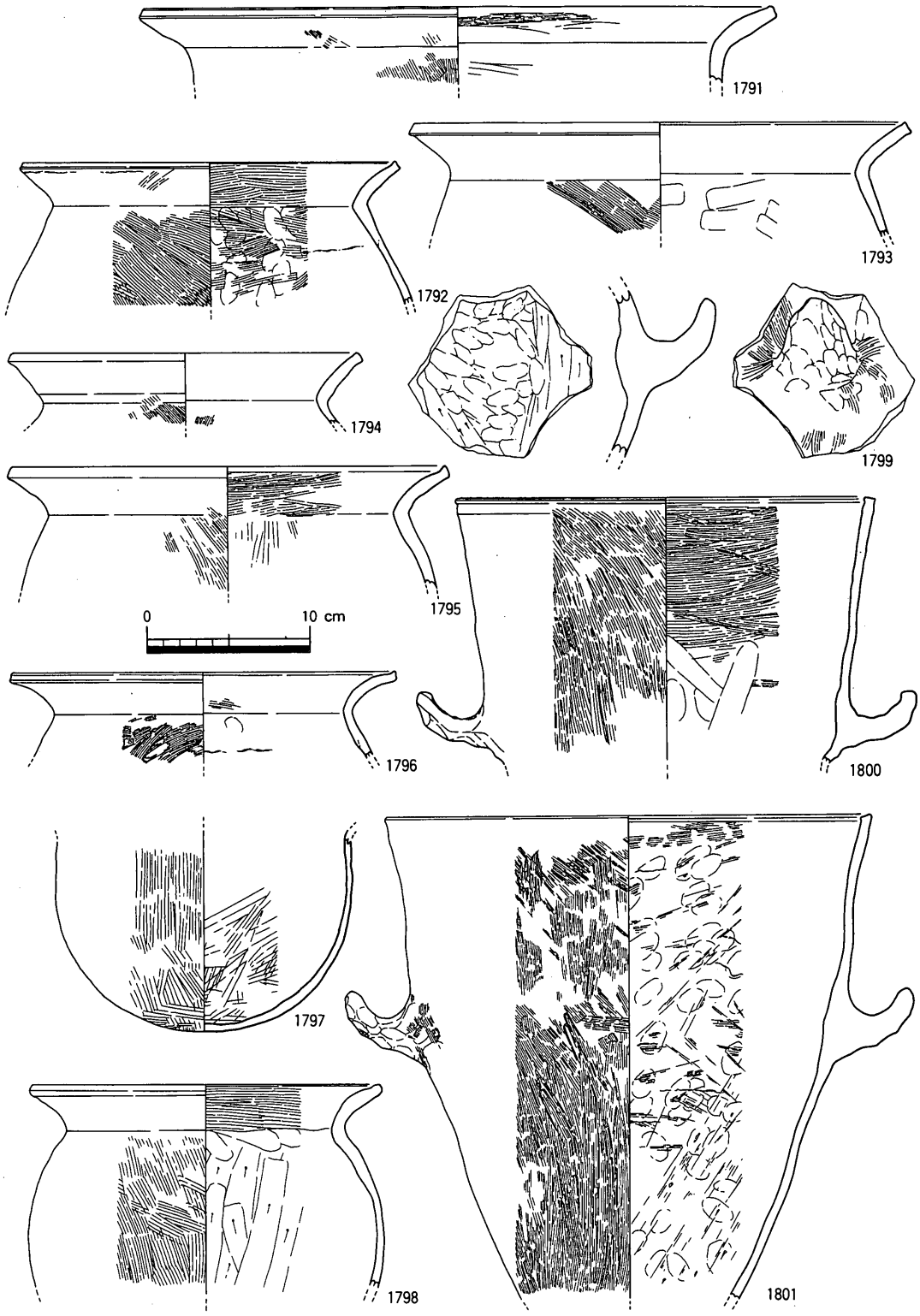
また，7層からは獣骨が出土しており，奈良国立文化財研究所の松井章氏鑑定によれば，鹿角，イノシシあるいは豚，牛馬，タイ，フグ，ネズミ，蛇等がみられるという。

1②③調査区（第214～218図）

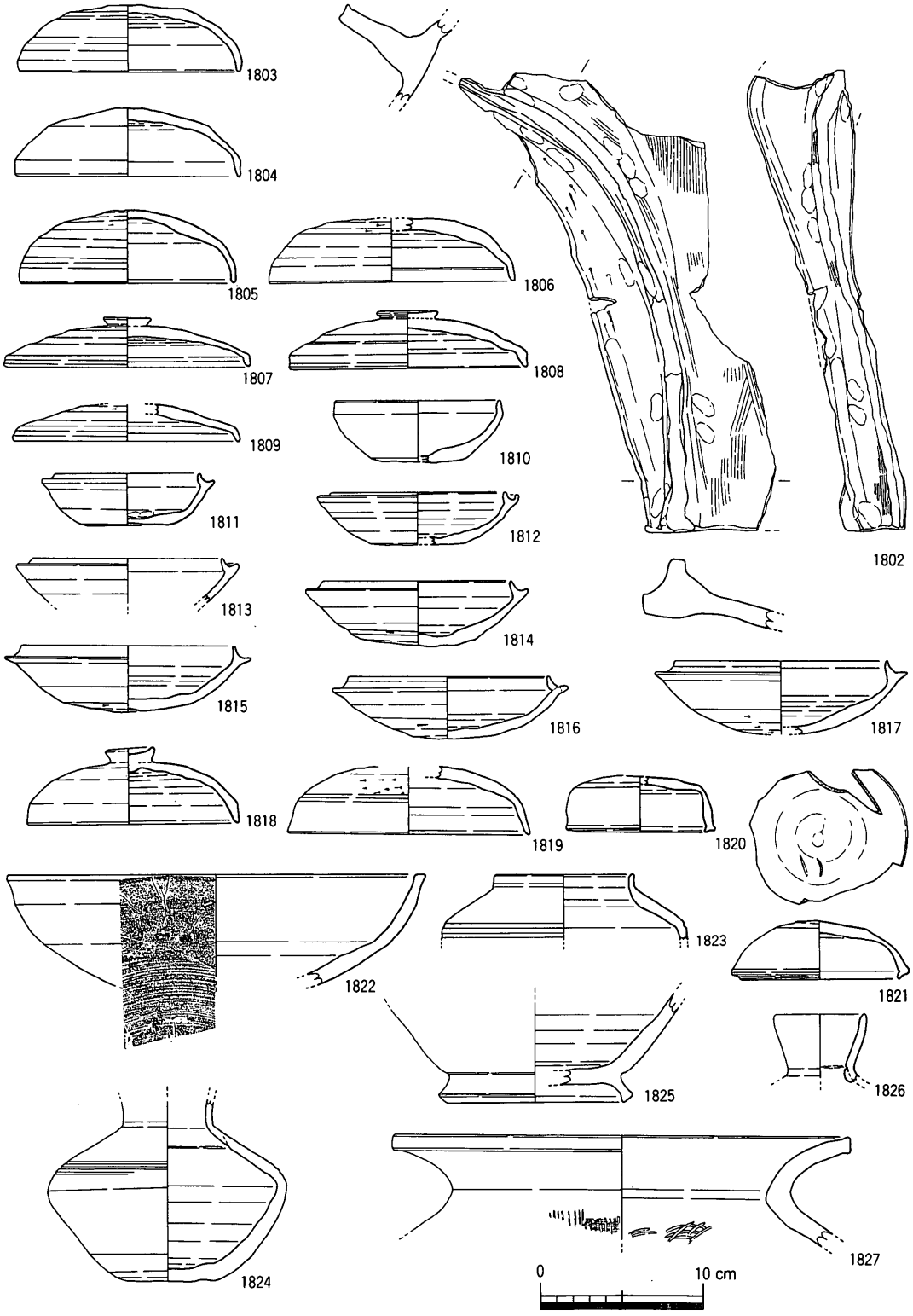
この調査区においても，弥生時代終末期の黒色土系の川底堆積層が，古墳時代後期頃に再び水流により掘削されている。このため，弥生時代終末期の遺物とほとんど同じ標高で，埋土の最下層から古墳時代終末期頃の遺物が多量に出土している。1856～1866は土師器である。1858と1859は同一個体であろう。1867～1934は須恵器である。1916は底部穿孔である。1930は横瓶である。1935～1937は飯蛸壺である。1938は土錘である。1939は不明土製品である。中空の三角柱状の脚の一部分かと思われる。1940～1947は木器である。このうち一部については樹種鑑定を行っている。1940は鉄斧の柄である。1941は横槌である。一部に焦げた痕跡がある。1943は竪杵である。大半の部分が焦げている。1944は杭である。



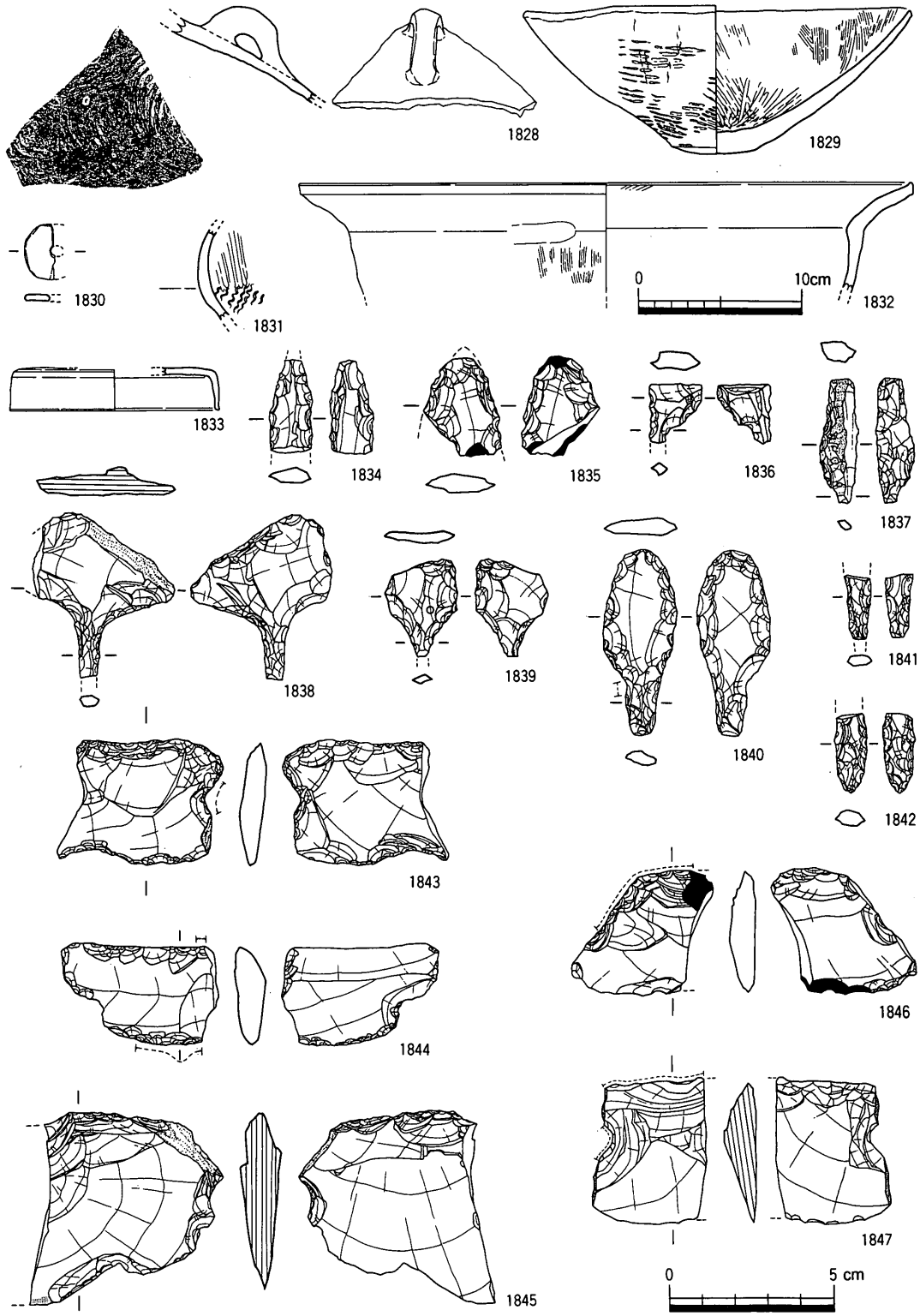
第209図　１①ＳＲ０１出土土器①（1/4）



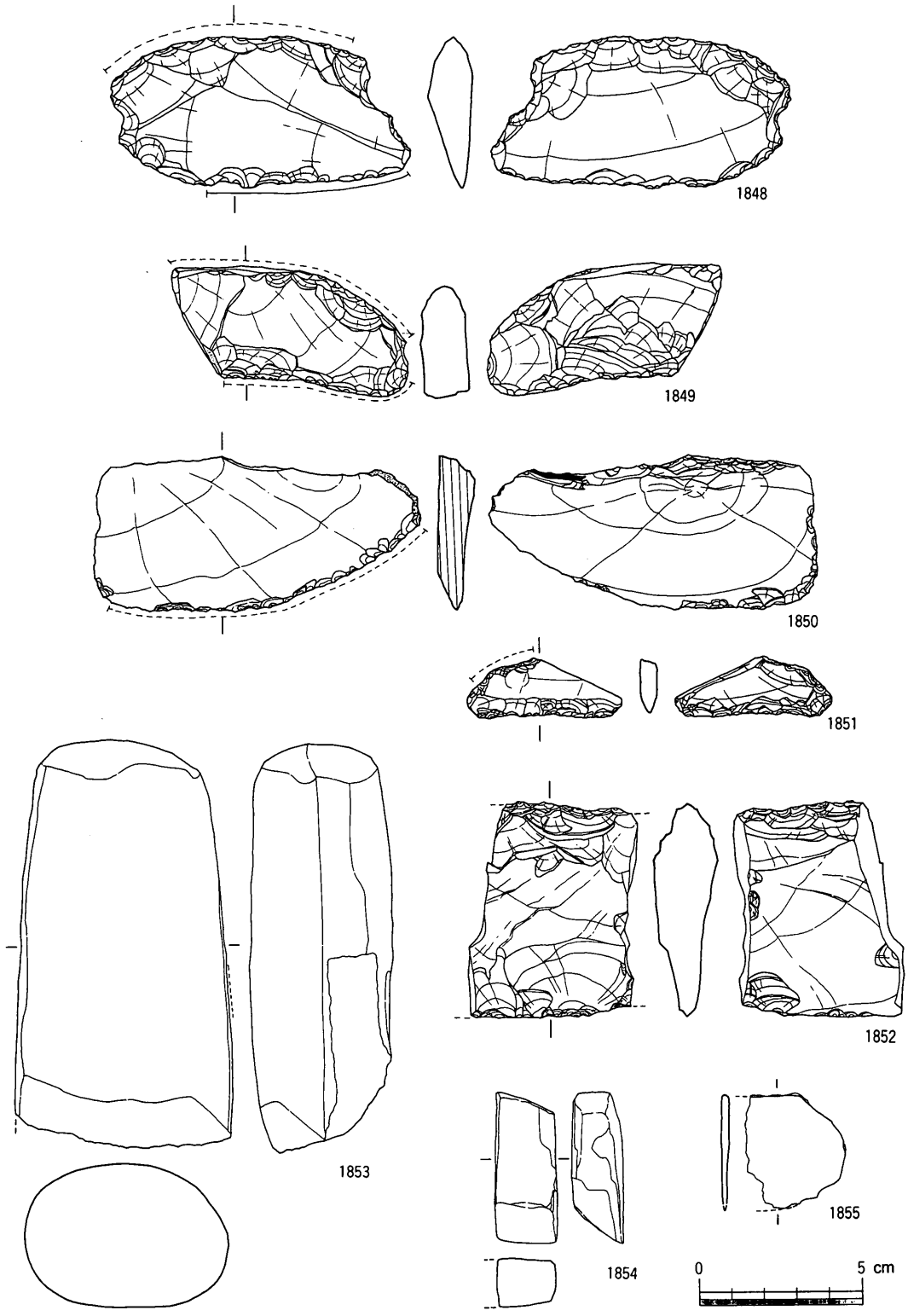
第210図　1①ＳＲ０１出土土器②（1/4）



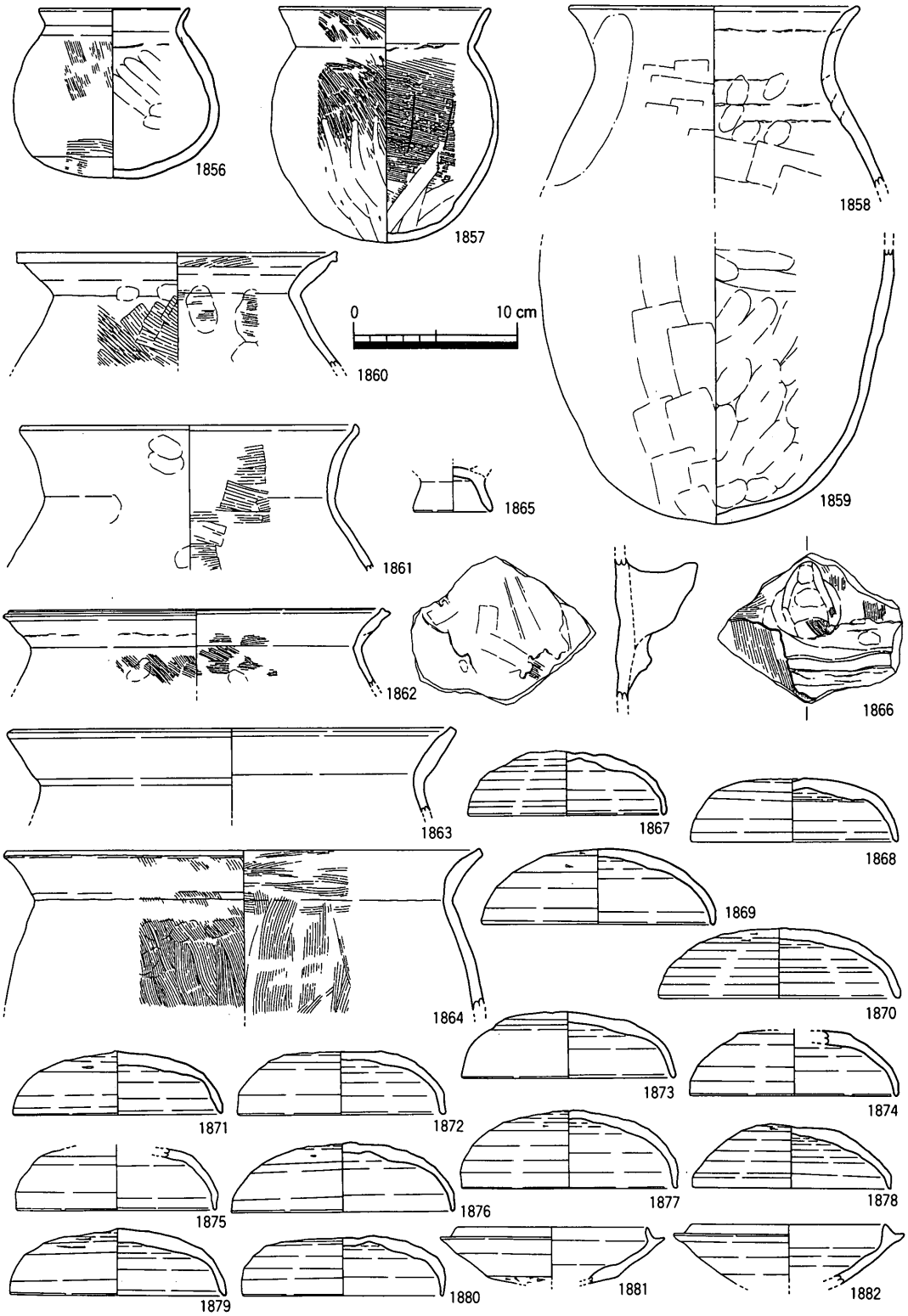
第211図　１①ＳＲ０１出土土器③（1/4）



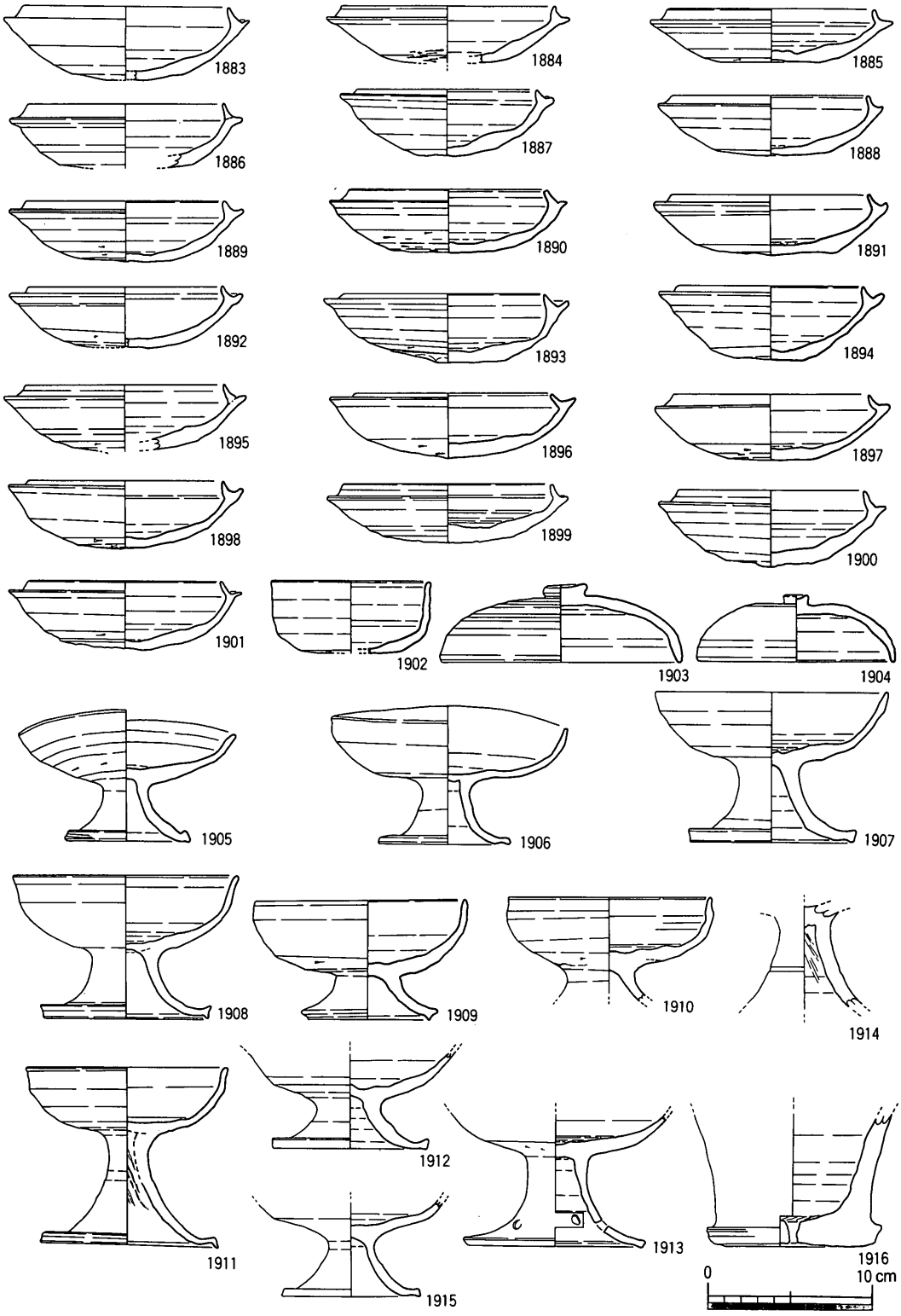
第212図　１①ＳＲ０１出土土器④（1/4）・石器①（1/2）



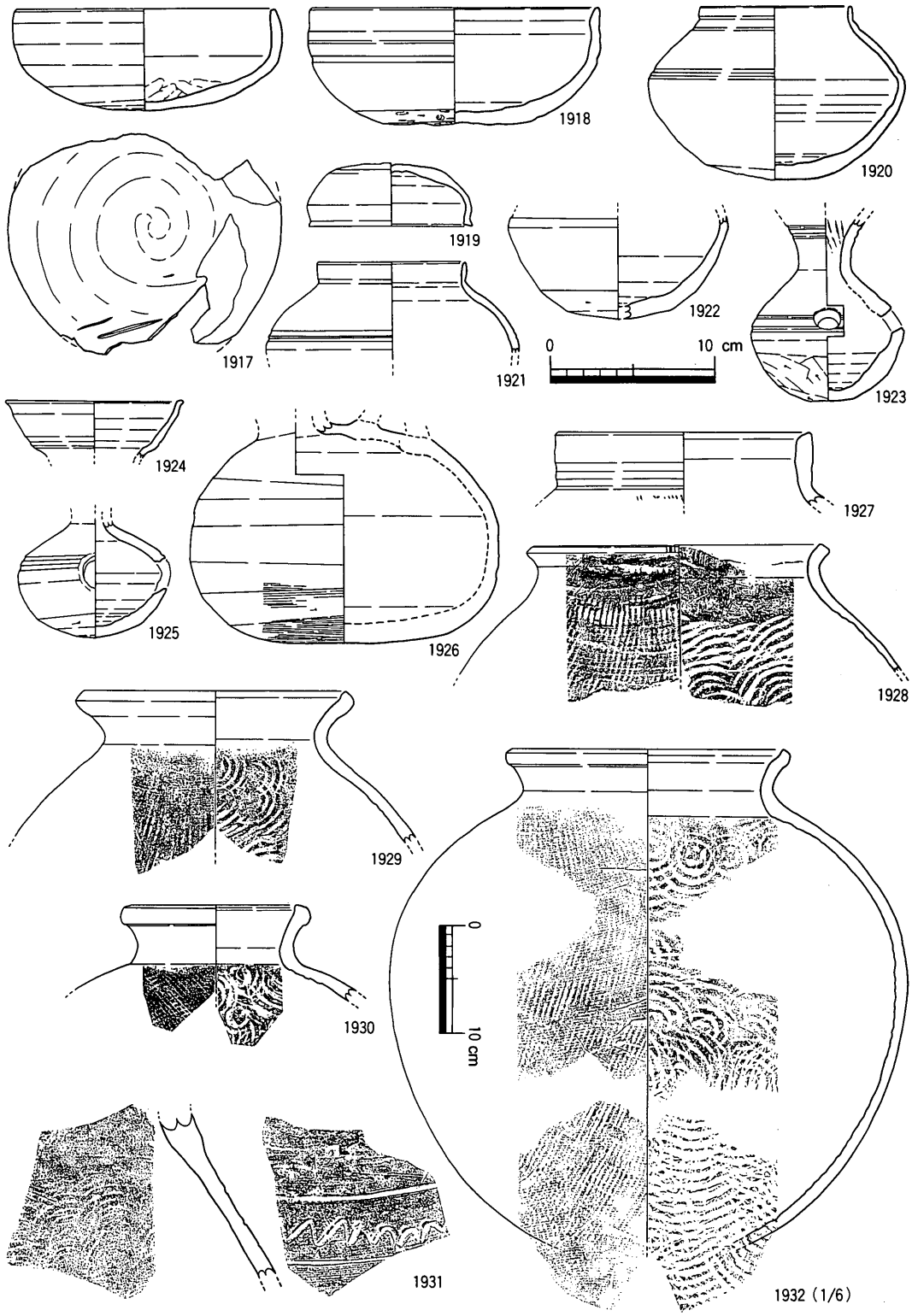
第213図　1①ＳＲ０１出土石器②（1/2）・鉄器（1/2）



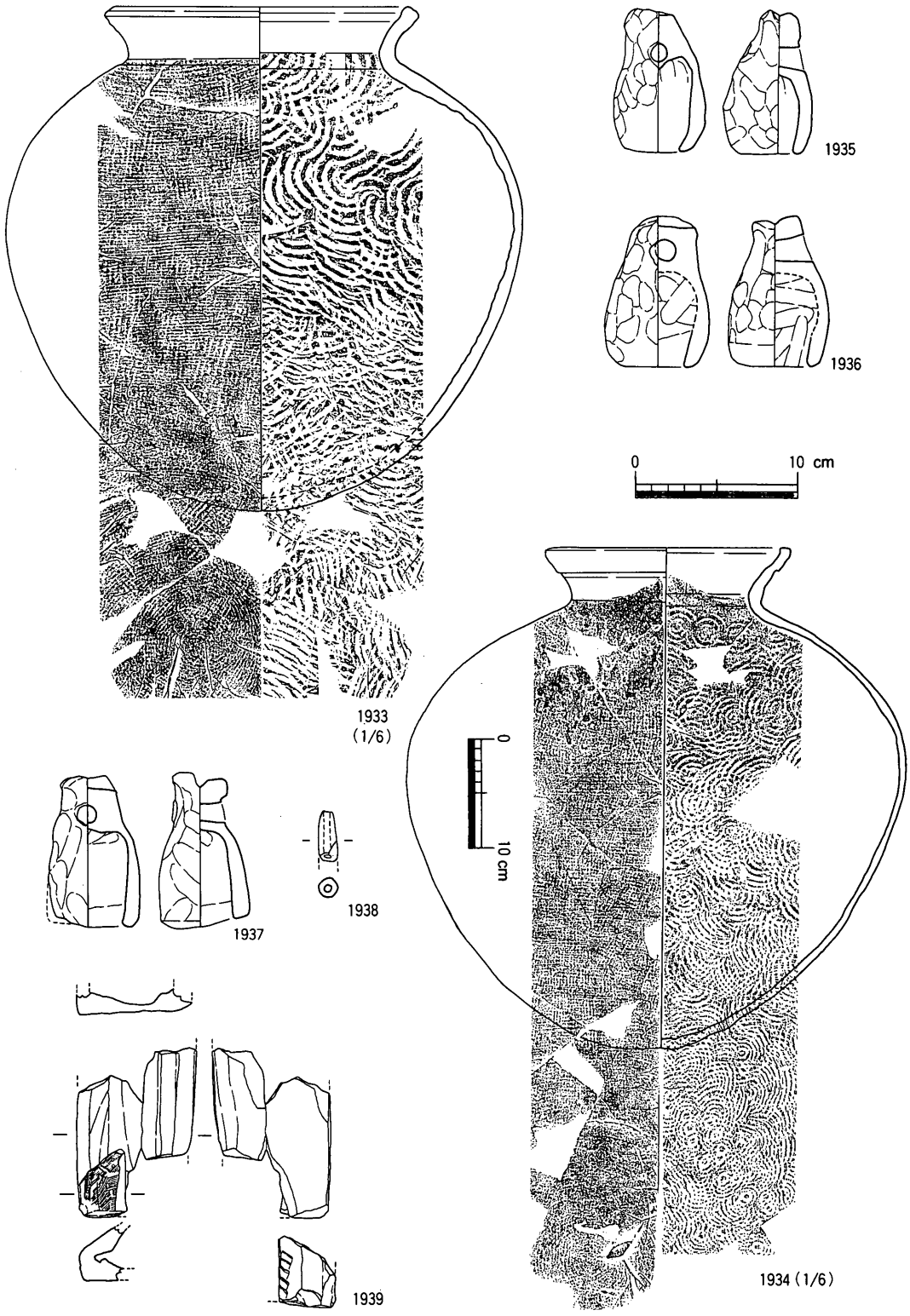
第214図　１②③ＳＲ０１出土土器①（1/4）



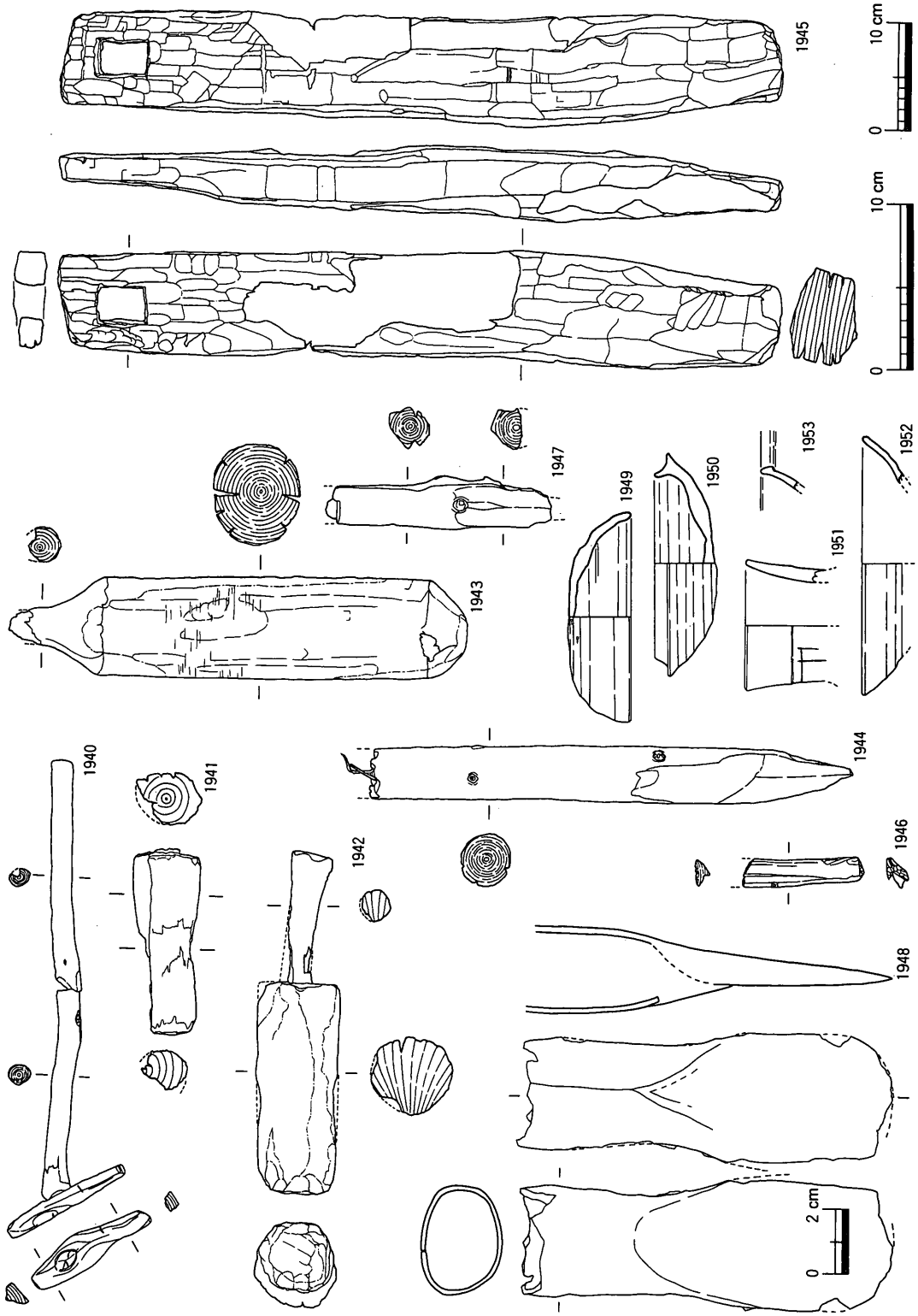
第215図　1②③ＳＲ０１出土土器②（1/4）



第216図　１②③ＳＲ０１出土土器③（1/4，1/6）



第217図　1②③ＳＲ０１出土土器④（1/4，1/6）



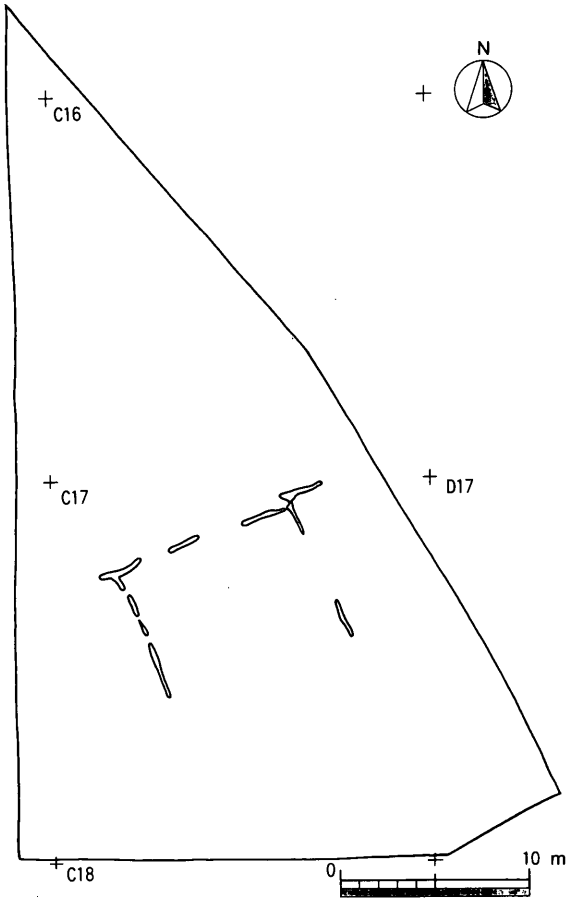
第218図　１②③ＳＲ０１出土土器⑤（1/4）・木器（1/6）・鉄器（1/2）

1945は性格不明である。1946及び1947は部分的に加工痕が見られるにすぎない。1948は袋状鉄斧である。1949～1953はトレンチ出土遺物及び出土層位不明遺物である。後世の遺物も含むがここで報告しておく。1952は灰釉陶器である。1953は中国産白磁椀である。

また，この調査区においても獣骨が出土している。松井章氏の鑑定によれば，馬の骨が多いようである。

2①調査区（第34，219～225図）

この調査区の川跡の埋土の状況は1①調査区とほぼ同じである。この調査区においては，第1面は中世の遺構検出面で，以下4つの遺構検出面があり，最下層の第5面が川跡検出面である。C17区画第4面において奈良時代の水田跡が検出されており，これは1①調査区から連続する同時期の水田跡である。畦畔の高さは5cm程度である。畦畔には部分的に途切れた部分がある。またＳＤ０５は，水田への取水溝と考えられる。第3面においては，鋤溝が検出されている。

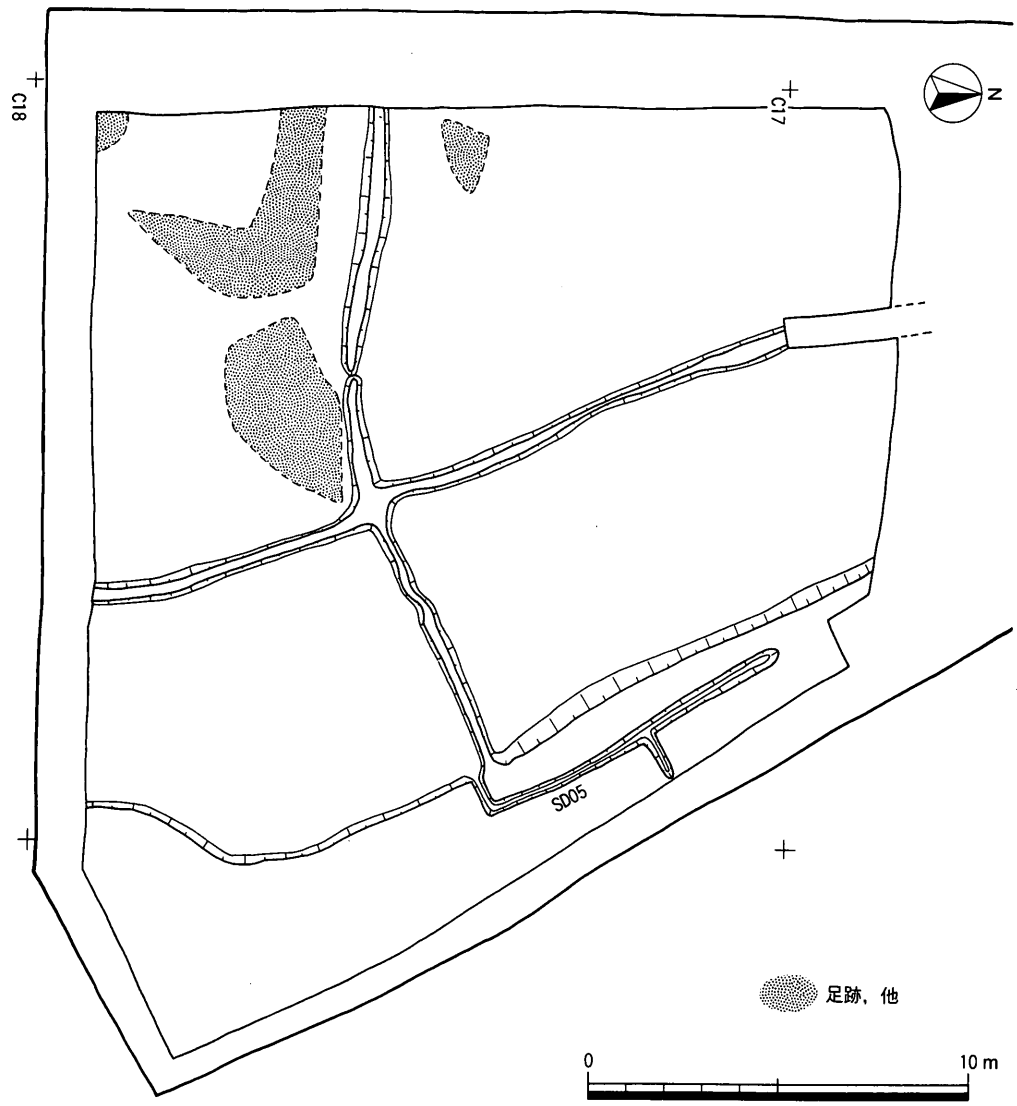


第219図　2①調査区第3面遺構平面図（1/400）

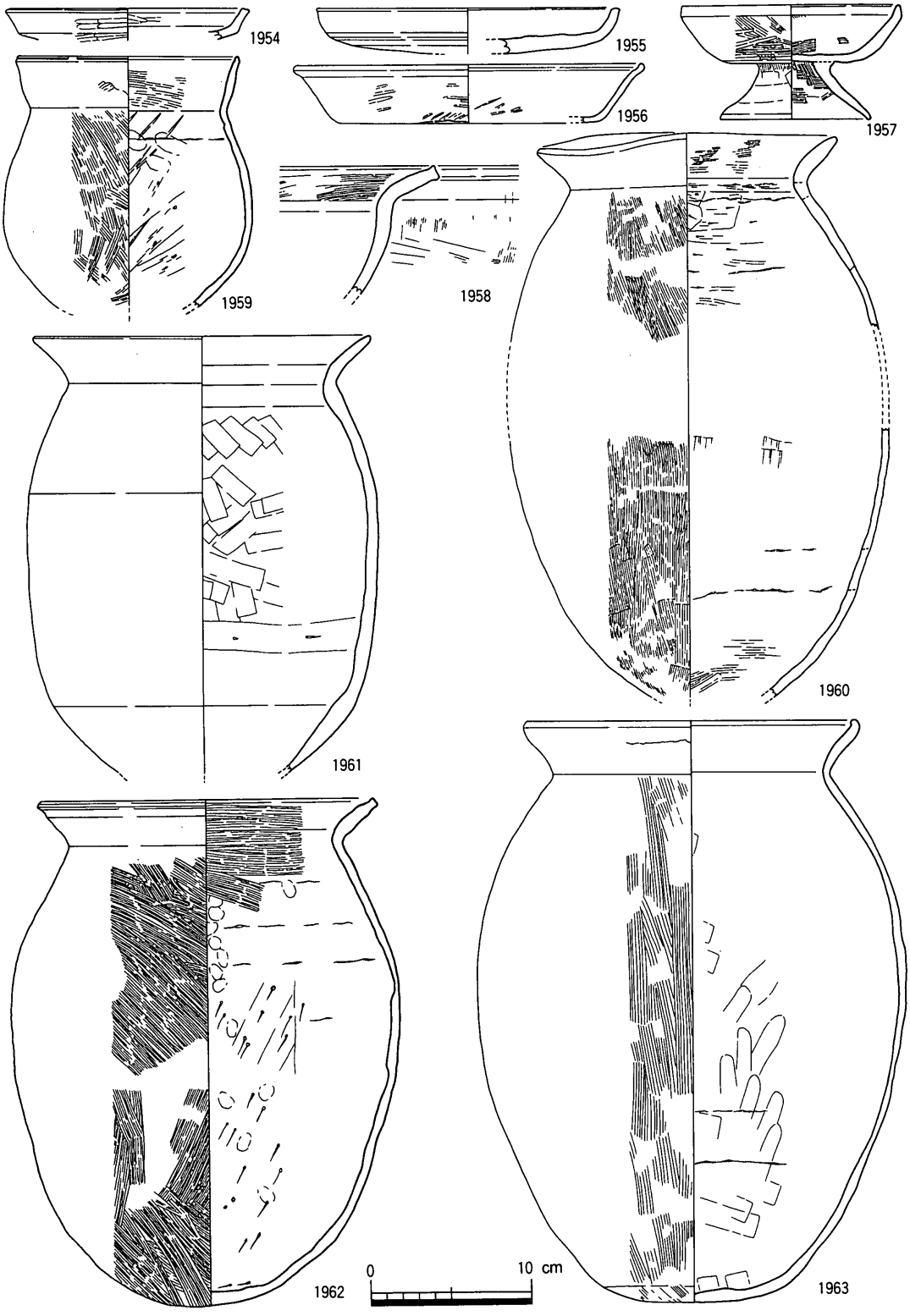
1954～2021は，川跡埋土の出土遺物である。古墳時代後期から奈良時代の遺物である。1954～1966は，土師器である。1956は赤彩が残る。1967～2020は須恵器である。1968は坏身の可能性がある。2000と2002は二方透かしの高坏である。2009と2010は甑である。2021は製塩土器である。2022は，鉄鏃状の鉄器である。2023・2024は，木器である。2023は穿孔がある。2024は一部に加工痕が残るに過ぎない。

またここで，川跡埋土より上層の遺物及びトレンチ等出土の出土層位不明の遺物についても報告しておく。2025～2030は第1面検出時に出土した遺物である。2025は土師器の坏

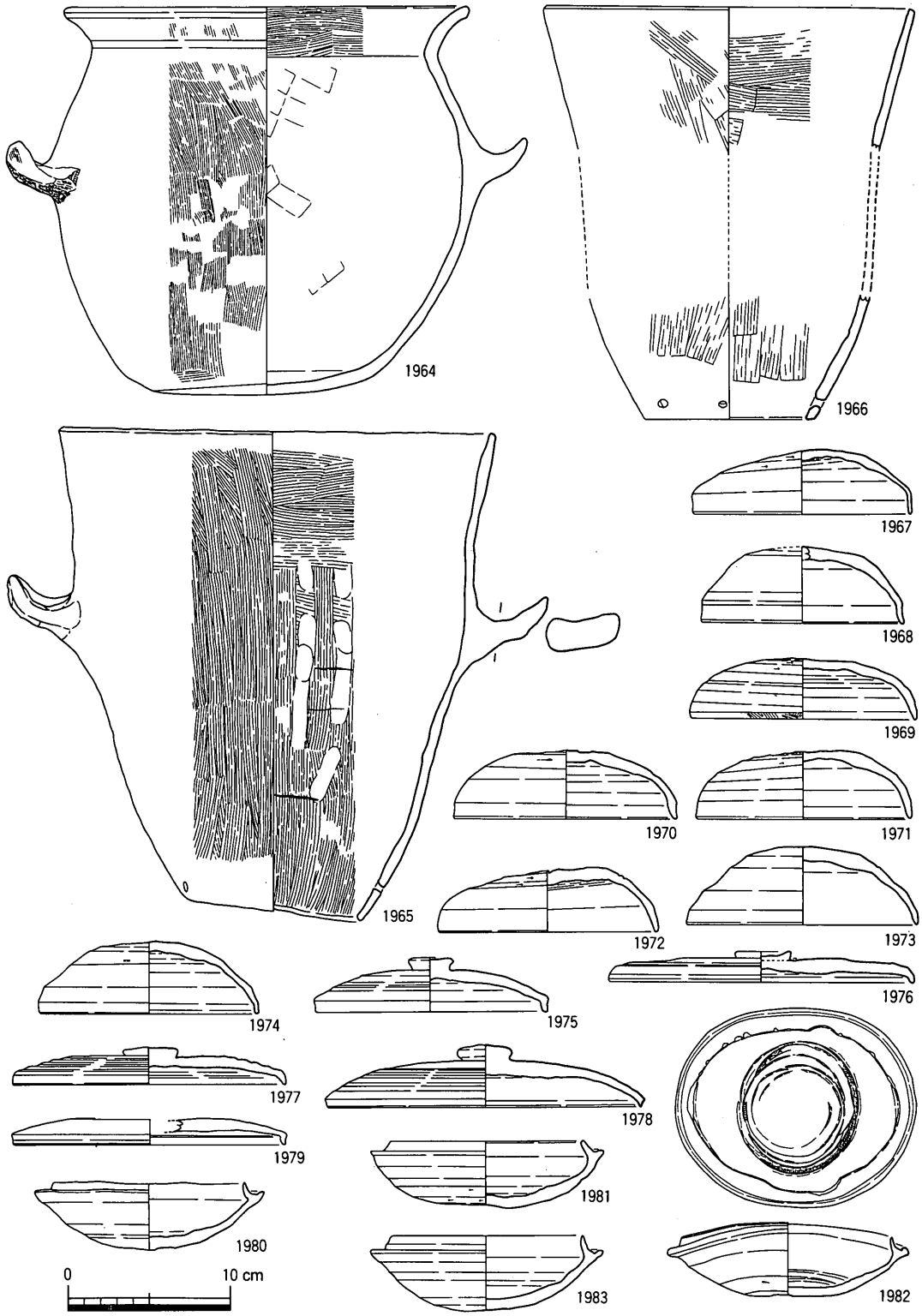
である。2026は須恵器であるが，焼成時に胎土内の空気が膨張して，器壁が所々で大きく膨れている。2027と2028は緑釉陶器である。2029と2030は中国産白磁椀である。2031は第２面検出時に出土した土錘である。2032と2033は第３面検出時に出土した緑釉陶器である。2034は第３面と第４面の間の層から出土した褐釉陶器である。2035～2041は，トレンチ出土の遺物である。2035は須恵器の蓋であろうか。内面にヘラミガキ調整が見られる。2036は須恵器鉢であるが，内面に刺突孔がある。2037は緑釉陶器である。2038～2040は灰



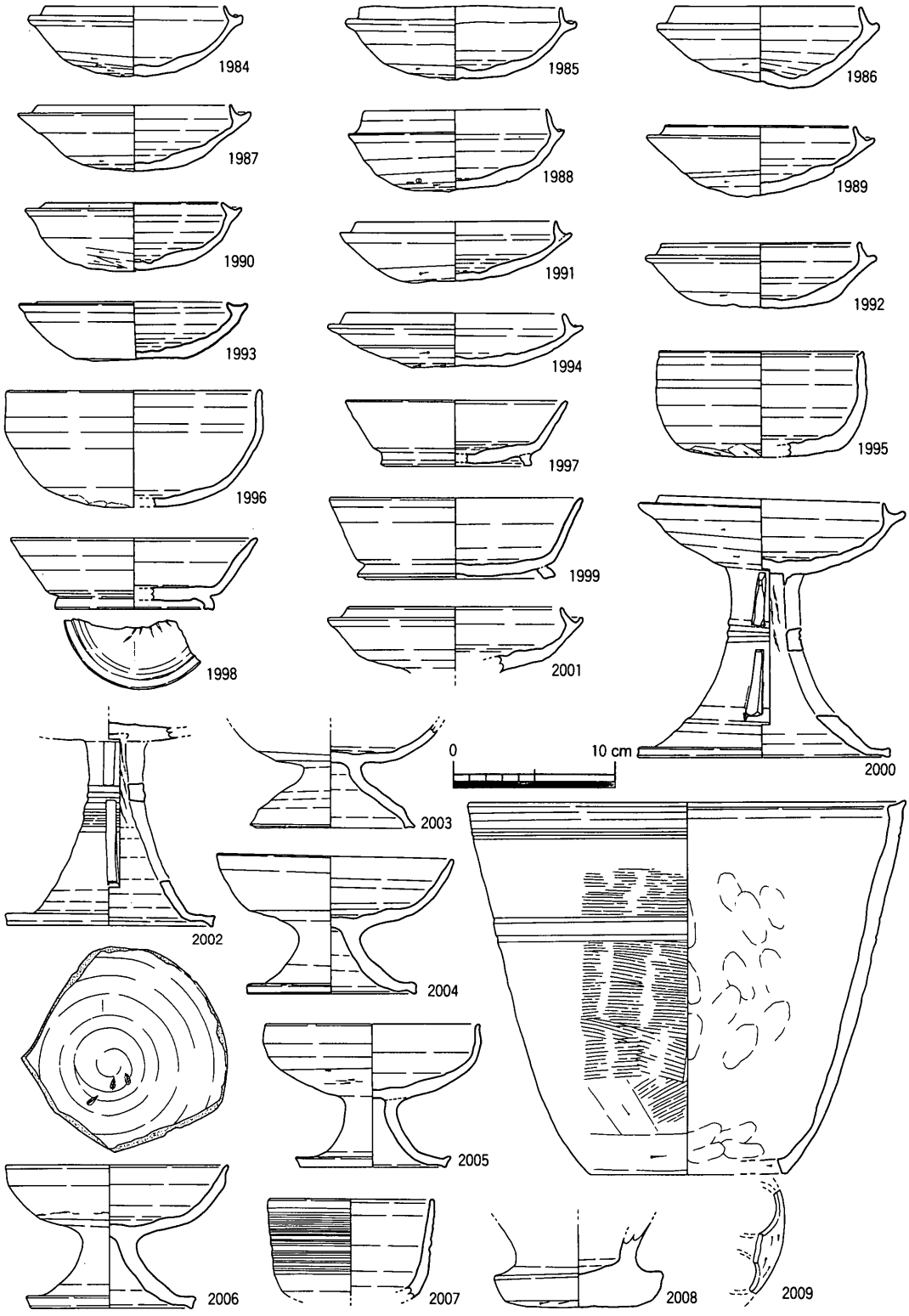
第220図　２①調査区第４面水田跡平面図（1/200）



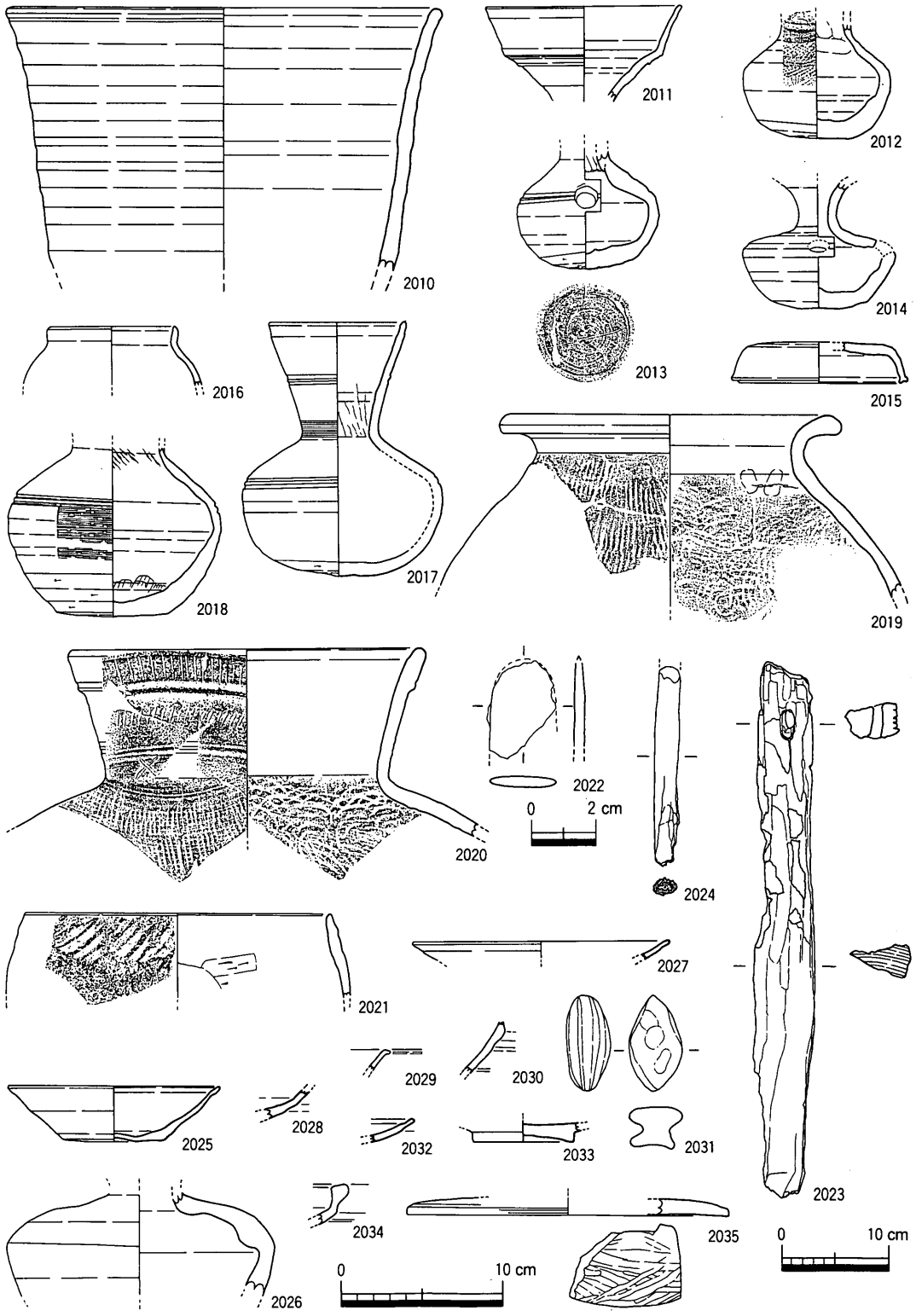
第221図　2①ＳＲ０１出土土器①（1/4）



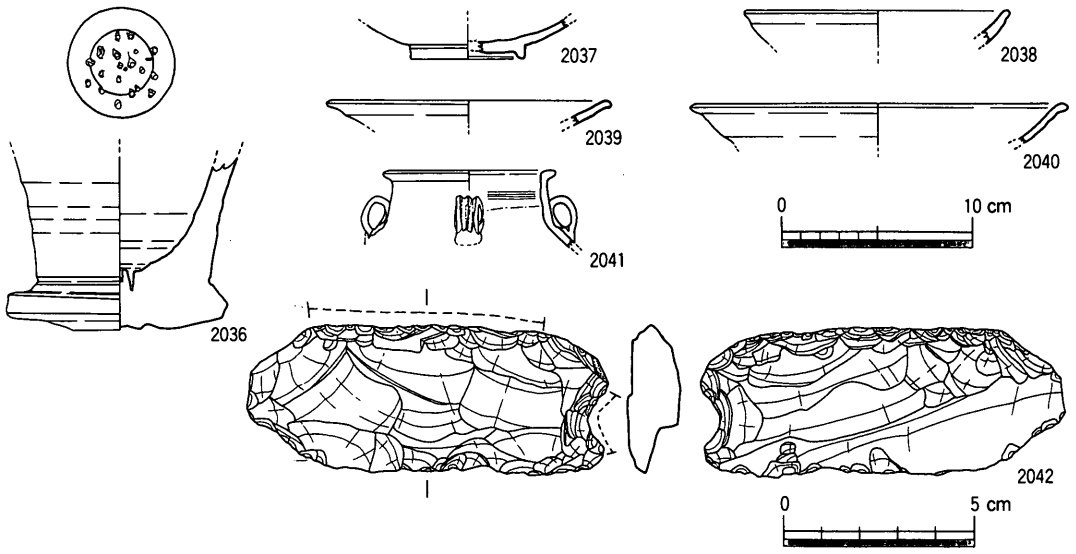
第222図　2①ＳＲ０１出土土器②（1/4）



第223図　2①ＳＲ０１出土土器③（1/4）



第224図　2①ＳＲ０１出土土器④（1/4）・木器（1/6）・鉄器（1/2）



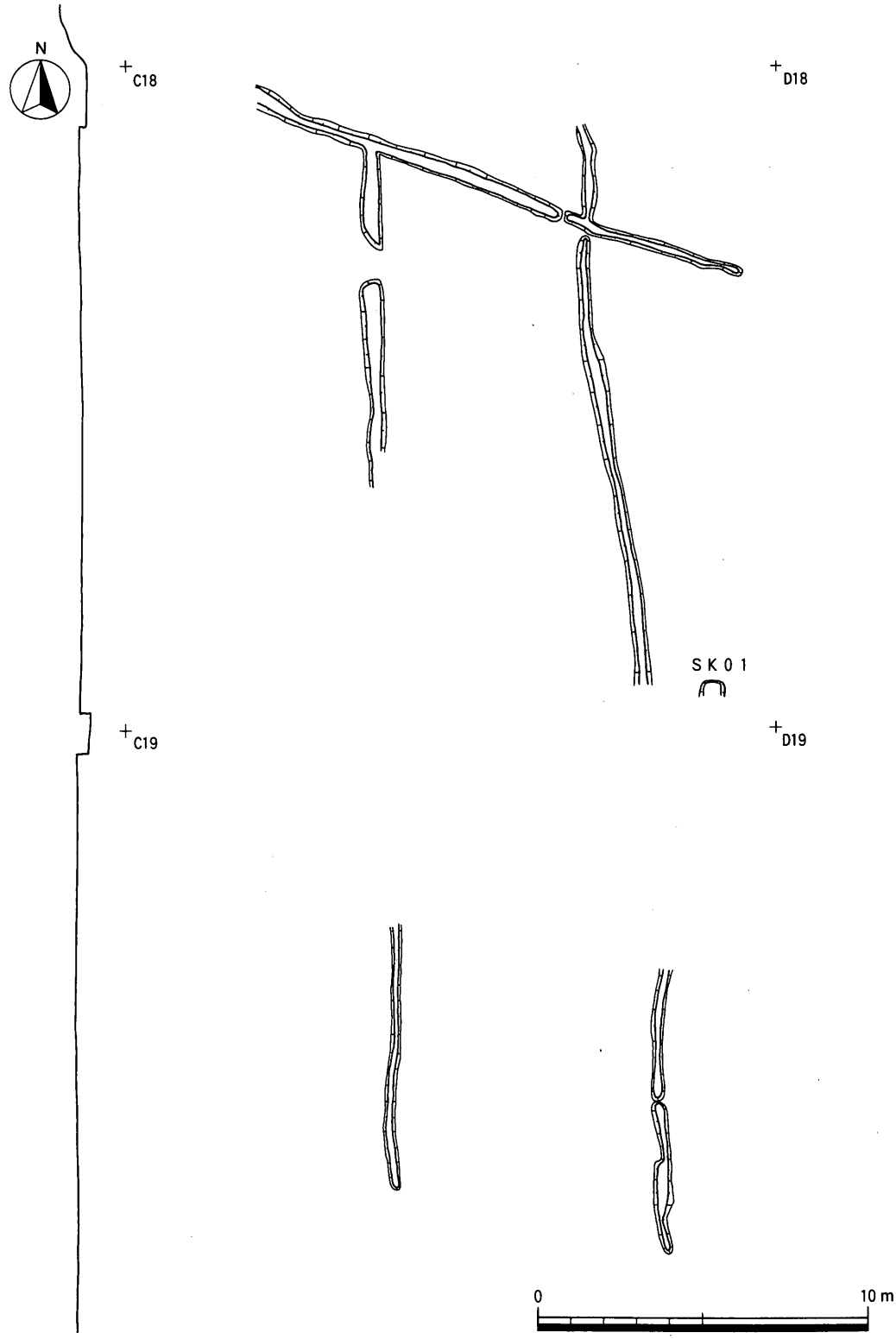
第225図　2①ＳＲ０１出土土器⑤（1/4）・石器（1/2）

釉陶器である。2040については口径がやや確実でない。2041は褐釉陶器の水注である。耳の数は不明である。また2042はＳＤ０５出土の石庖丁である。

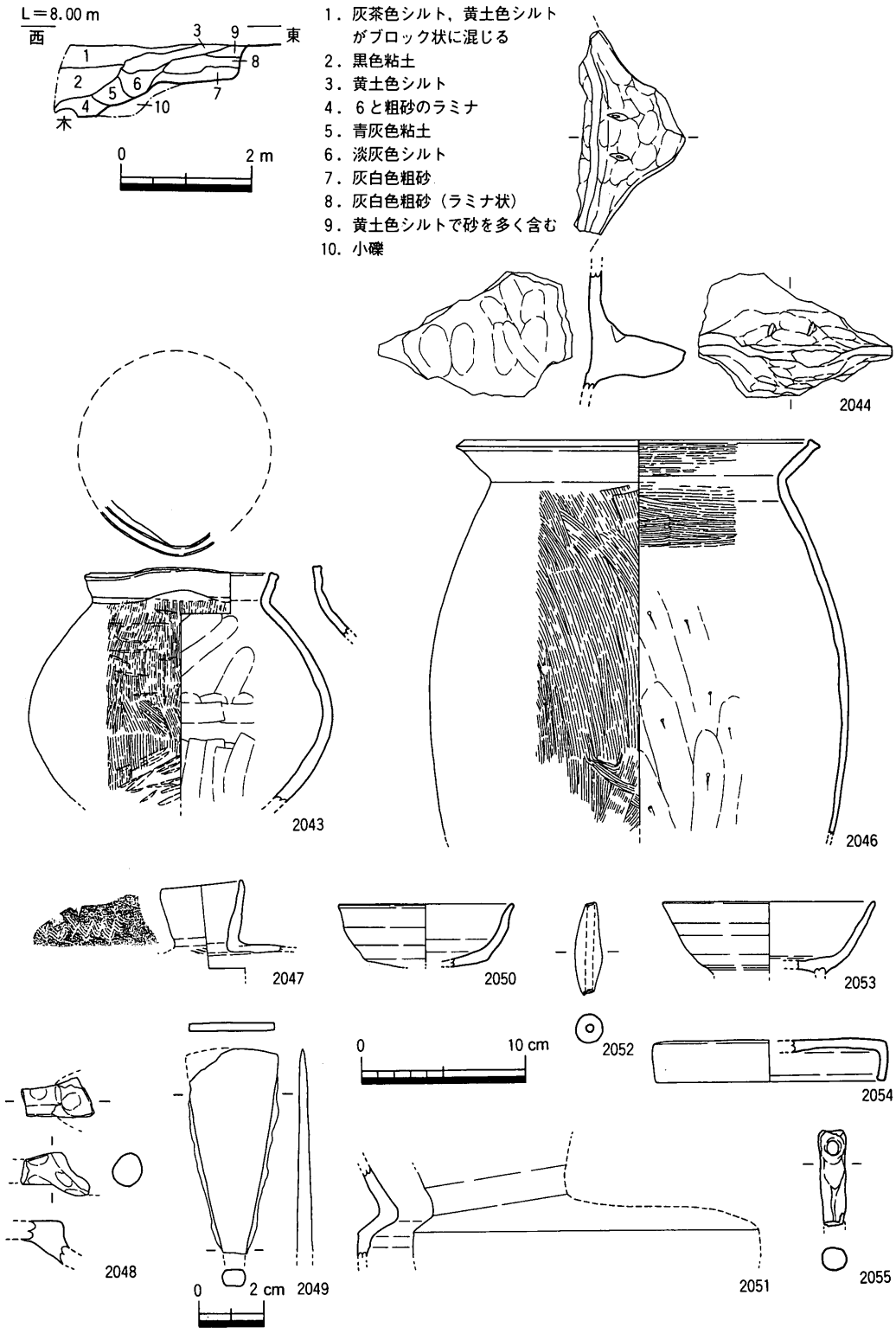
２②③調査区（第35，226～228図）

この調査区においては，弥生時代の流路と古墳時代の流路の位置が部分的にずれている。古墳時代の流路は２①調査区からまっすぐ南西方向へと上る。またここにおいても２①調査区から連続する奈良時代の水田跡（10層）を検出した。部分的に畦畔が途切れる部分がある。畦畔の高さは５cm程度である。

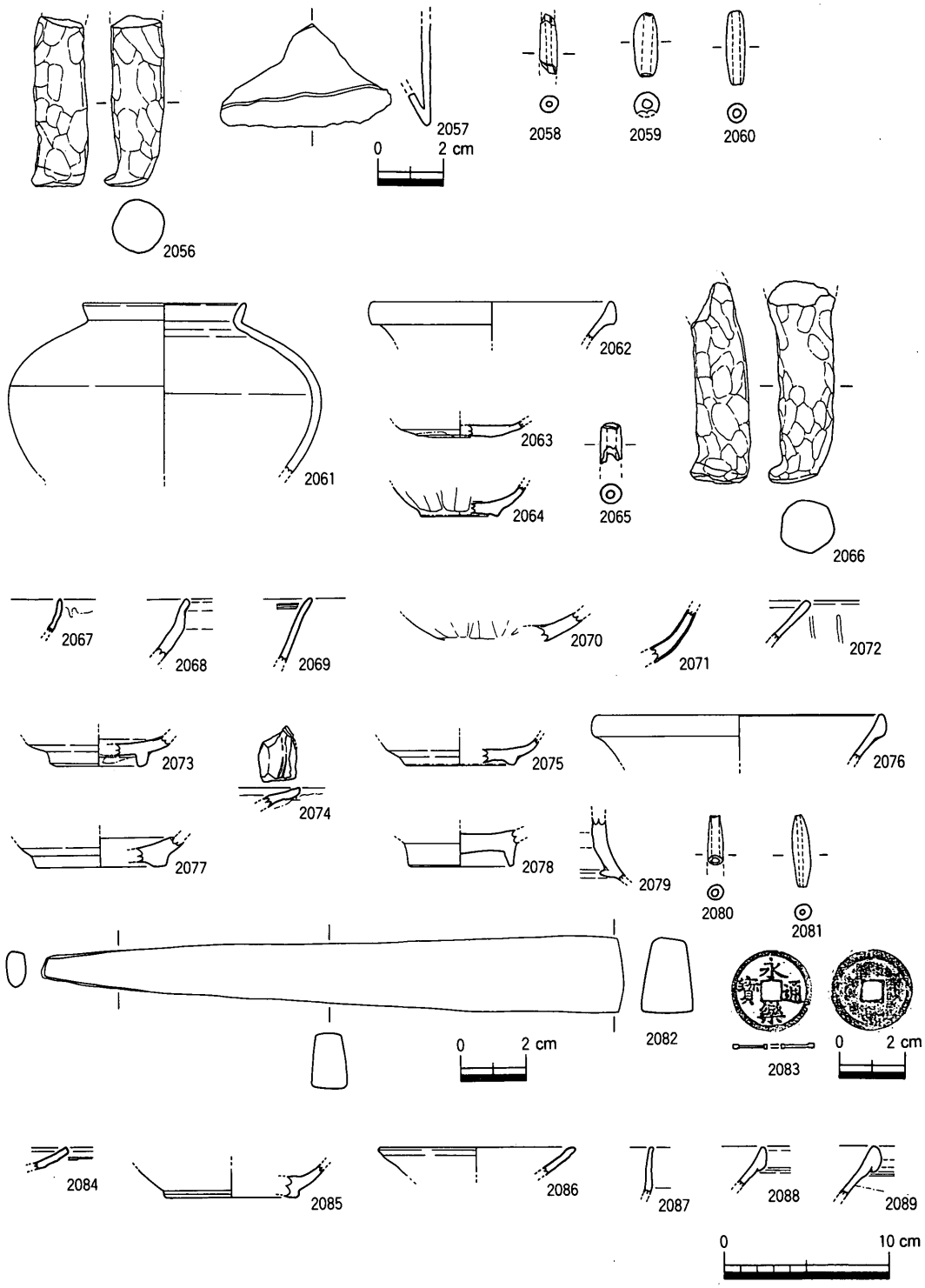
ここでは流路埋土より上の層から出土した遺物を報告する。遺物の出土層名はこの調査区中央の東西断面図（第35図）の番号を用いる。2043は，D19区画川跡１・２層（16・17層）から出土した土器である。2044は同じく川跡１層（16層）から出土した土器である。把手上面に２つの穿孔がある。2046～2048は10層出土の遺物である。2048は舟形土製品の一部であろうか。2049は鉄鏃であろう。2050～2052は９層あるいは10層出土土器である。2053～2056は，水田跡を覆う洪水砂層である８層あるいは９層出土の遺物である。2055は棒状土錘である。2056は土馬の足であろう。須恵質である。2057は鉄製鋤先である。2058～2060は６層あるいは７層出土の土錘である。2061～2066は６層出土遺物である。2061は須恵器である。2062と2063は中国産白磁である。2064は中国産青白磁である。



第226図　2③調査区水田跡平面図（1/200）



第227図　２③ＳＲ０１断面図（1/100）及び出土土器（1/4）・鉄器（1/2）



第228図　2③調査区出土土器（1/4）・鉄器（1/2）・銅銭（1/2）

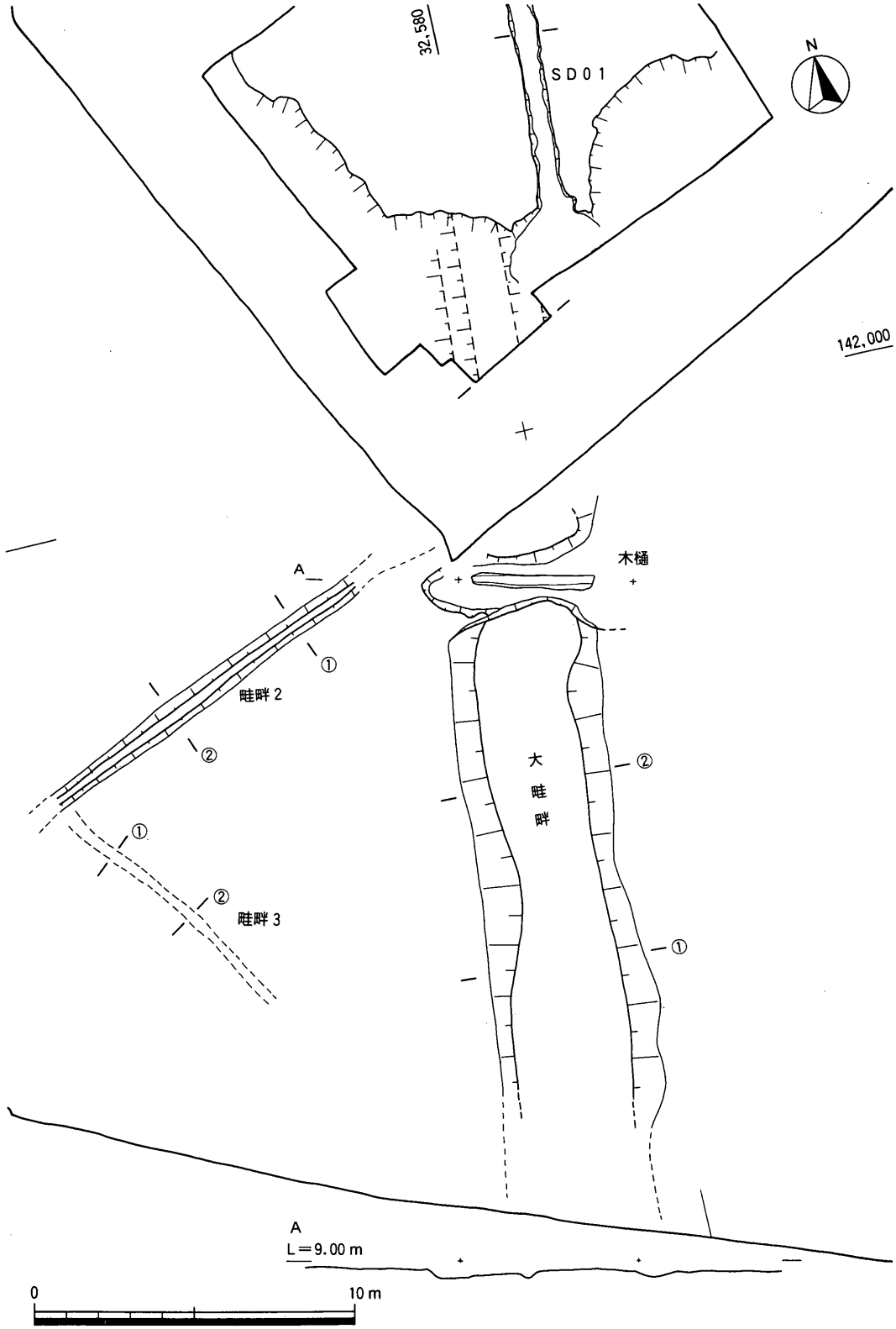
2065は土錘である。2066は土馬である。2067～2081は５層出土の遺物である。2067は灰釉陶器である。2068は褐釉陶器である。2069～2074は中国産青磁である。2075～2079は中国産白磁である。2080と2081は土錘である。2082は不明鉄器である。2083は初鋳年1408年の「永楽通寶」である。2084は５層より上の層から出土した緑釉陶器である。2085～2089はトレンチ及び出土位置不明の遺物である。2085は緑釉陶器である。2086は灰釉陶器である。2087は褐釉陶器である。2088と2089は中国産白磁椀である。

３①②調査区（第229～233図）

この調査区においては，古墳時代の明確な流路は見られない。弥生時代終末期の溜まりは，徐々に埋没し，奈良時代にはほぼ水平になり水田化されている。水田には大畦畔を伴う。調査区断面図（第37図）では，Ⅲ①層でほぼ水平になっており，大畦畔はこの層の直上に作られている。調査時には，このⅢ①層とその直上のⅡ⑦層を水田耕作土と認識していたが，それぞれの層から採集した土壌資料を分析した結果，Ⅲ①層ではプラント・オパールが全く検出されず，その上層のⅡ⑦層から多量に検出されることから，耕作土はⅡ⑦層のみであることが判明した（分析結果は，第４章第１節）。なおⅡ⑦層は調査区西壁面と北壁面の西半では，明瞭には観察されない。

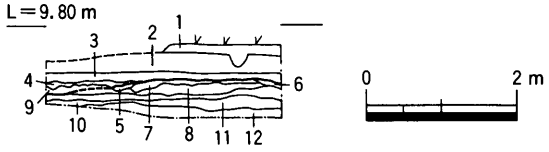
大畦畔は，木樋の部分で一部途切れるが，３①(3)調査区まで伸びている。調査区壁面の断面図によれば，底幅約4.8m，高さ約0.3mである。３①(3)調査区では南端部断面（第230図）にわずかに大畦畔の延長が観察できるが，それより北では平面でも，断面でも大畦畔は観察されない。大畦畔上部は後世に削平されているので，北側ではおそらく削平により残存していないのであろう。また，この大畦畔が観察されなくなる部分から，基盤層の上がりが観察されることから，元々これより北側が比較的高燥な部分であったため，大畦畔そのものも高いものではなかったことも考えられる。また３①(3)ＳＤ０１は大畦畔東端の延長線上にあることから，これが大畦畔に関連する溝であることは確実である。また，３②調査区北壁断面で大畦畔対応層（第40図18・19層）を調査区北壁沿い（大畦畔より東部分）に観察できたことから，大畦畔は３①(3)調査区と３②調査区の間に東西方向にも存在していた可能性がある。

大畦畔を途中で横切るような形で木樋を検出した。針葉樹（第４章第３節分析結果）の丸太を刳り抜いて作られている。杭で止めていることや木樋埋土から考えて開渠である。木樋底の標高は東から西へ低くなっており，東から西へ流水していたことが考えられる。



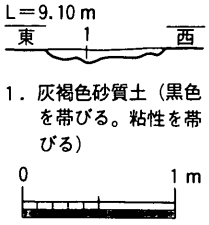
第229図　3調査区水田跡平・断面図（1/200）

3①(3)南壁断面



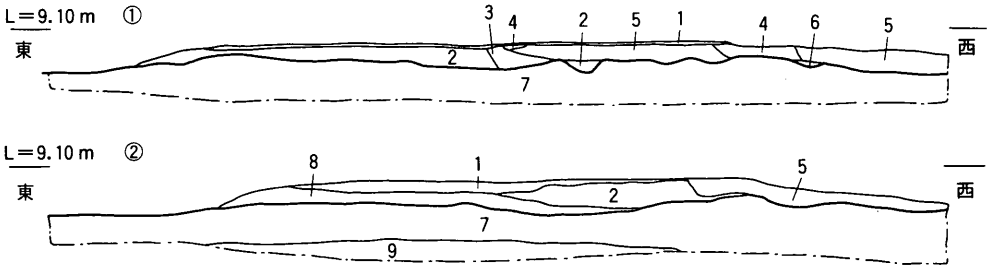
1．黒灰色砂質土層（宅地造成以前の耕作土）
2．黄白色砂質土層（床土）
3．灰色砂質土層（遺物包含層、最大径0.2cmの小礫を多く包蔵）
4．灰色砂質土層（遺物包含層）
5．黒色砂質土層（水田畦畔状遺構）
6．黒色砂質土層（水田畦畔状遺構）
7．黒灰色土塊と黄色土塊が混在する土壌（水田畦畔状遺構）
8．黒灰色砂質土層（水田畦畔状遺構）
9．灰色砂質土層（水田畦畔状遺構に伴う耕作土か）
10．灰色砂質土層（ＳＸ０２）
11．黒色砂質土層（ＳＸ０２）
12．灰色砂質土層

3①(3)ＳＤ０１



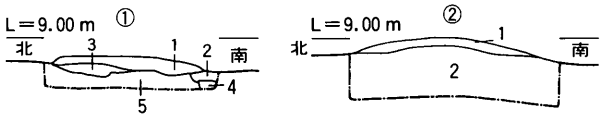
1．灰褐色砂質土（黒色を帯びる。粘性を帯びる）

3②大畦畔



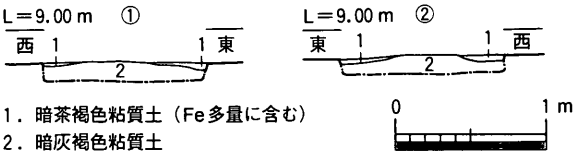
1．混明黄茶褐色粘質土
2．濁暗灰黒褐色粘質土（粗砂含む）
3．濁暗灰黒褐色粘質土（茶が強い）
4．濁暗灰黒褐色粘質土（粗砂及び基盤層土の土を含む）
5．濁暗灰黒褐色粘質土（４よりやや粘質）
6．濁暗灰黒褐色粘質土（３＋基盤層土）
7．暗灰褐色粘質土（暗黄色粘土を若干含む旧河道埋土）
8．暗灰黒褐色粘質土
9．濁暗灰色細砂層

畦畔２



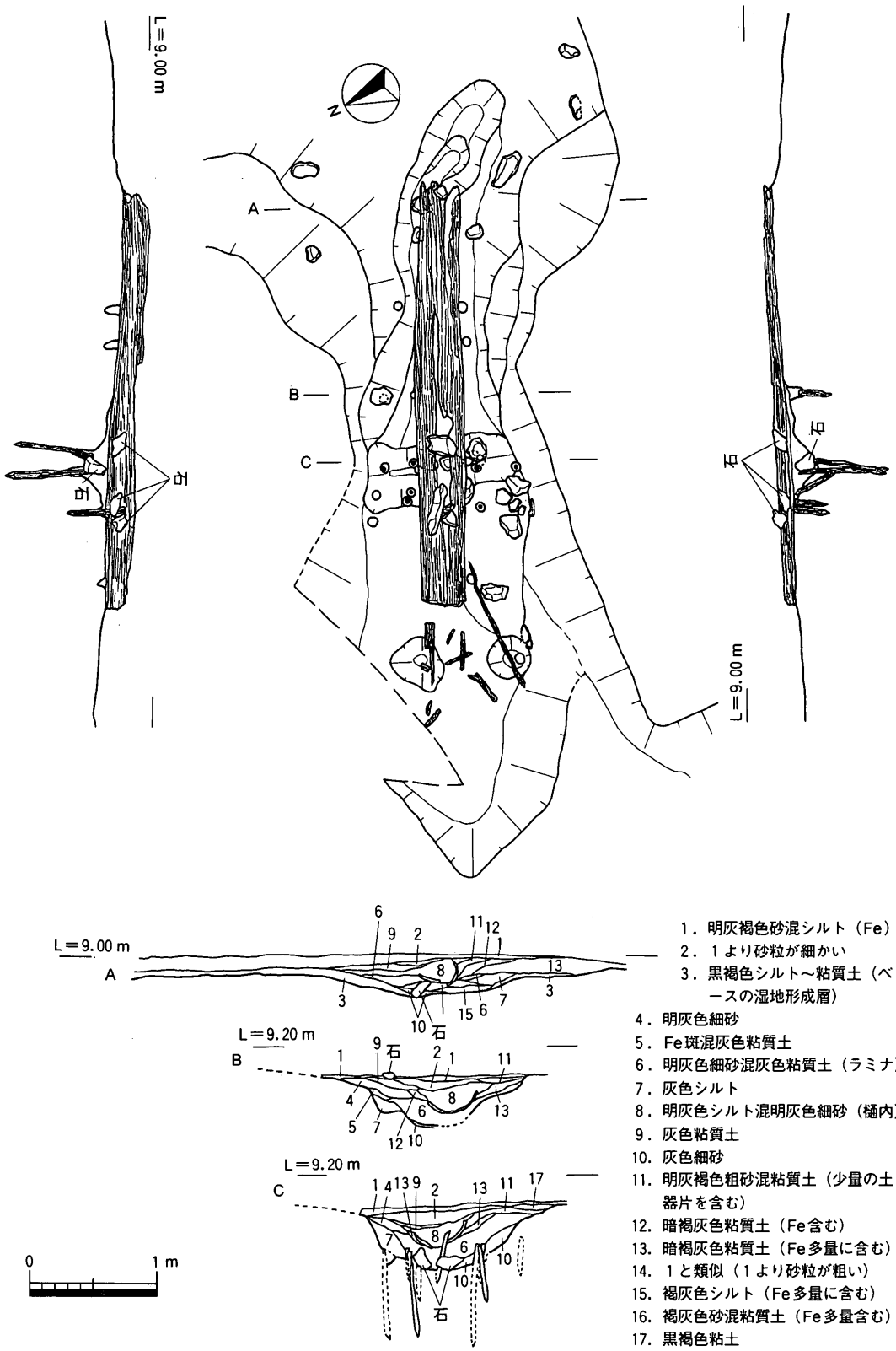
1．濁明茶灰褐色粘質土
2．暗灰褐色粘質土
3．濁暗灰褐色砂質土（粗砂）
4．暗灰褐色粘質土（3㎜大の砂粒若干含む）
5．濁明灰褐色砂質土

畦畔３



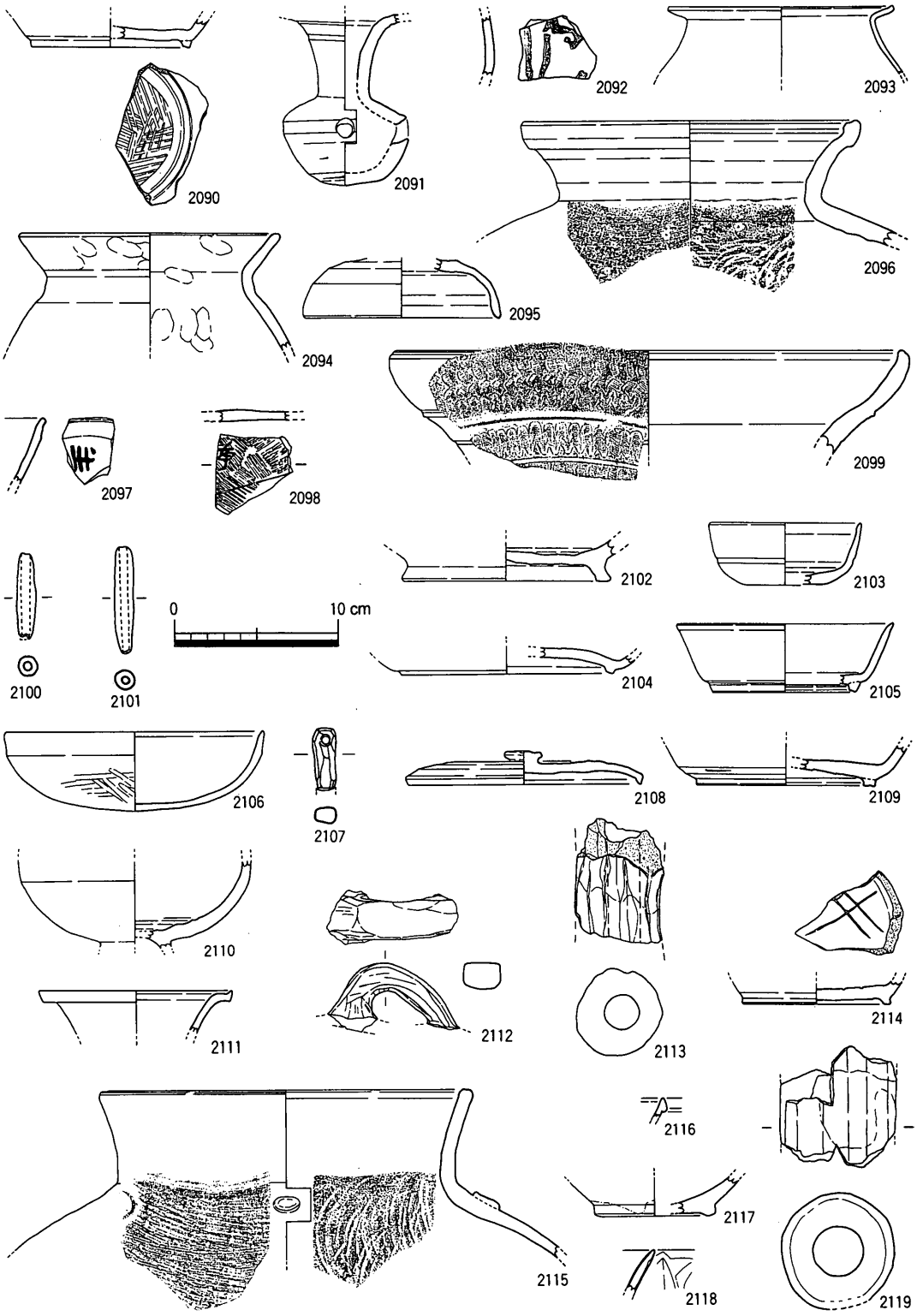
1．暗茶褐色粘質土（Fe多量に含む）
2．暗灰褐色粘質土

第230図　３調査区畦畔及び溝跡断面図（1/100，1/50）

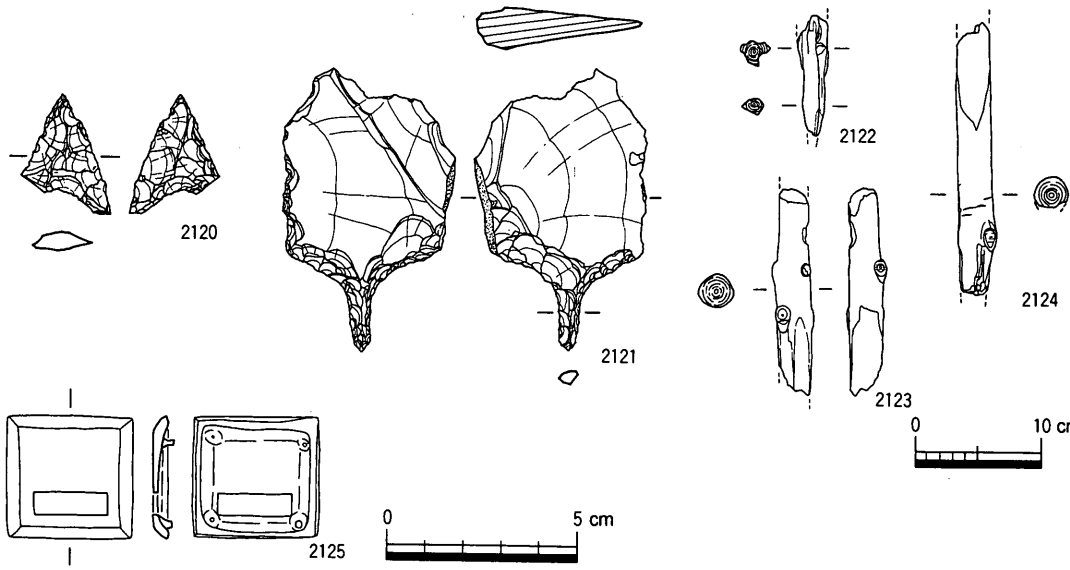


1．明灰褐色砂混シルト（Fe）
2．1より砂粒が細かい
3．黒褐色シルト～粘質土（ベースの湿地形成層）
4．明灰色細砂
5．Fe斑混灰色粘質土
6．明灰色細砂混灰色粘質土（ラミナ）
7．灰色シルト
8．明灰色シルト混明灰色細砂（樋内）
9．灰色粘質土
10．灰色細砂
11．明灰褐色粗砂混粘質土（少量の土器片を含む）
12．暗褐灰色粘質土（Fe含む）
13．暗褐灰色粘質土（Fe多量に含む）
14．1と類似（1より砂粒が粗い）
15．褐灰色シルト（Fe多量に含む）
16．褐灰色砂混粘質土（Fe多量含む）
17．黒褐色粘土

第231図　3②木樋平・断面図（1/50）



第232図　3②調査区出土土器（1/4）



第233図　3②調査区出土石器（1/2）・木器（1/6）・青銅器（1/2）

木樋より下層には，砂と粘質土のラミナ状堆積が見られることから，素掘り溝の状態で通水していた時期もあった。また3②調査区北壁断面図で木樋西端のすぐ北側部分には溝跡が記録されており，溝底の標高は木樋西端より若干低い。おそらく大畦畔西側に沿って北側に続いているものと考えられるが，3①(3)と3②調査区の間は未調査であるので，詳細は不明である。

水田畦畔は，大畦畔のほかに1条検出した。畦畔2は底幅約1.0～1.3m，高さ約0.1～0.2mである。畦畔3は帯状に検出された鉄分沈着層の欠損部で，幅約0.4mである。その他，調査区東壁面と南壁面（第36・38図）でⅡ⑦層が途切れる部分も，水田畦畔の可能性がある。

2090～2092は水田より下層から出土した遺物である。2090は外底にタタキメが見られる。2092は墨書状の痕跡がある土師器である。2093～2096は3①調査区から出土した水田より下層に対応する包含層から出土した土器である。2097～2101は水田耕作土から出土した。2097及び2098は墨書のある須恵器である。2098は坏底部破片で，タタキメが存在する。これらより水田が奈良時代のものであることが考えられる。2102～2105は木樋と関連して出土した土器である。2106と2107は水田面よりやや上から出土した遺物である。2108～2113は，3①調査区において大畦畔より上層の包含層から出土した土器である。2112は平瓶把手である。2113はふいごの羽口である。図の上部は溶融している。2114～2119は出土層位不明の遺物である。2114は須恵器の高台付坏である。線刻がみられる。2115は須恵器

の甕で，肩部にボタン状浮文がある。2116と2117は中国産白磁である。2118は中国産青磁である。2119はふいごの羽口である。外面表面付近は還元状態を呈しているが，内面は酸化状態である。2120と2121は奈良時代以降の包含層から出土した石器である。2122～2124は水田耕作土直下の層から出土した木器である。いずれも一部の加工痕が残るに過ぎない。2125はＳＤ０１から出土した銅製帯金具巡方の表金具である。重さは12.1gである。この帯金具の出土位置から約40m離れたⅣ区の掘立柱建物跡の柱穴から，巡方の裏金具が出土している。この２つ留め具の突起と穴の部分の位置が一致することから本来はセットで使用されていた可能性がある。

7　中世

掘立柱建物跡（第234図）

１③調査区において，中世の集落跡の一部を検出したが，建物跡の復元はできなかった。2126は，１③ＳＰ０２５から出土した土師器坏である。

２④⑤調査区においては，柱穴の密度が高いため建物跡の復元は残念ながらできなかった。古代の掘立柱建物跡以外の柱穴のほとんどは平安時代末以降の中世の時期と考えられる。ここでは柱穴出土の遺物を掲載するにとどめたい。2127は弥生時代前期土器である。2128は弥生時代中期の土器である。2129は土製紡錘車である。2130は土師器の坏である。2144は瓦器椀である。2145は刻印花文のある土師器である。2147は石庖丁である。2148は太型蛤刃石斧である。2149は不明鉄器である。

土坑

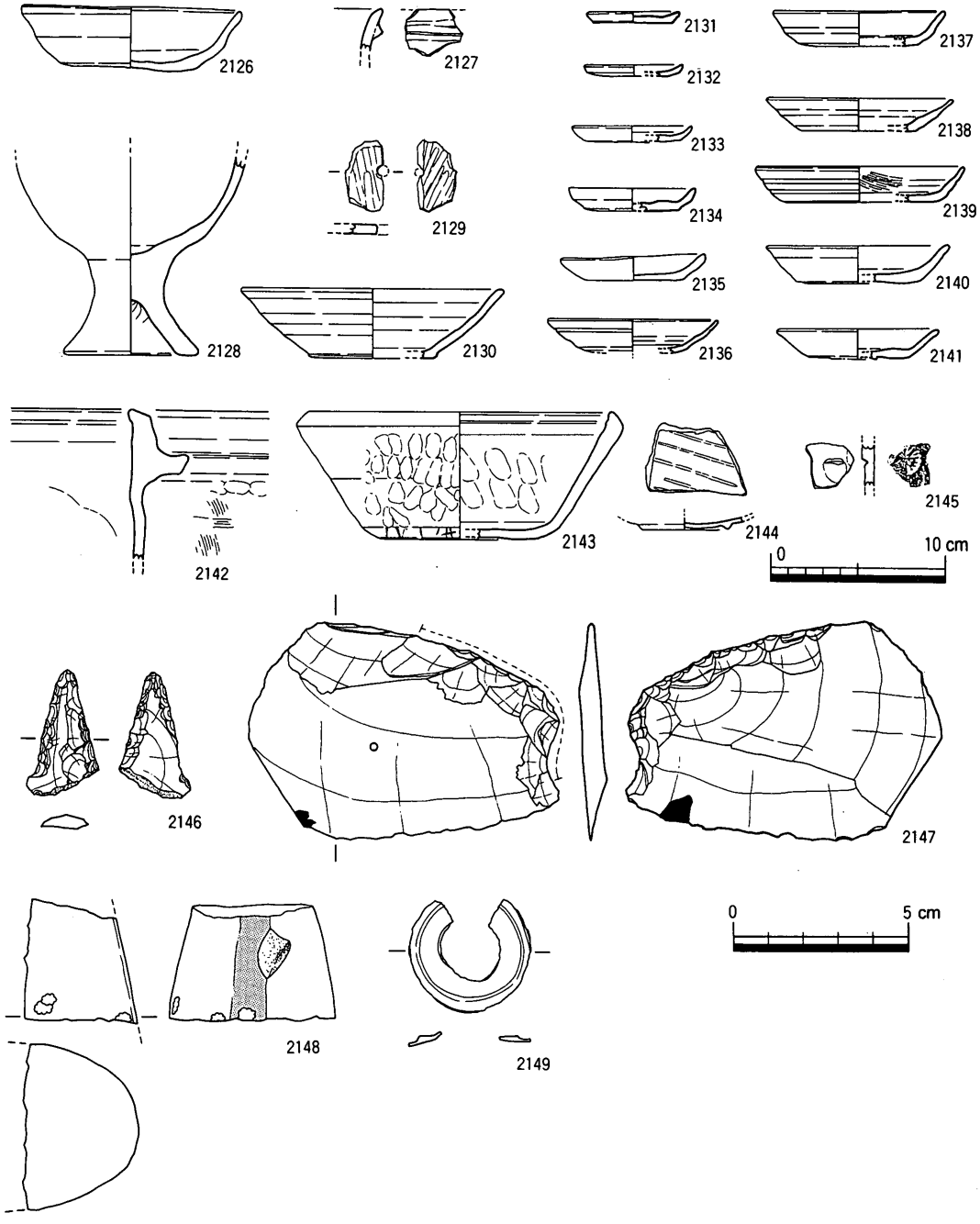
１③ＳＫ０３（第235図）

E19区画に位置する。調査区外に伸びる。コンテナ1/2程度の遺物が出土している。土師器・須恵器・黒色土器・西村産瓦質土器・瓦器・亀山焼等が出土している。出土土器から考えれば，室町時代のものであろう。

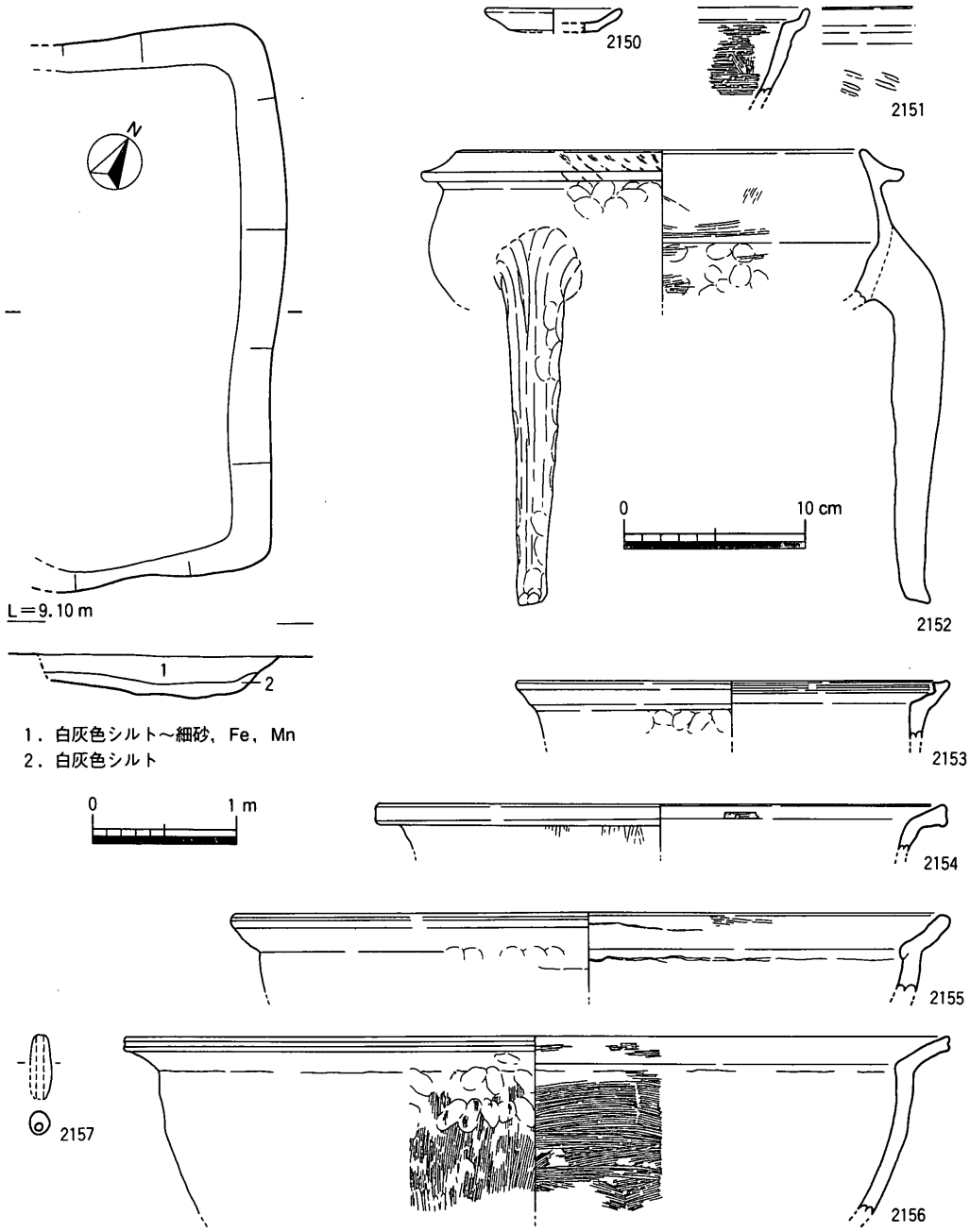
１③ＳＫ０４（第236図）

E19区画に位置する。遺構の大部分は調査区外にあるものと考えられる。遺構南端部は溝の末端の形状をなす。調査面積の割には出土遺物は多く，コンテナ1/2箱程度出土している。土師器・須恵器・西村産瓦質土器及び瓦器等が出土している。出土遺物からは鎌倉

時代後半頃の時期が考えられる。



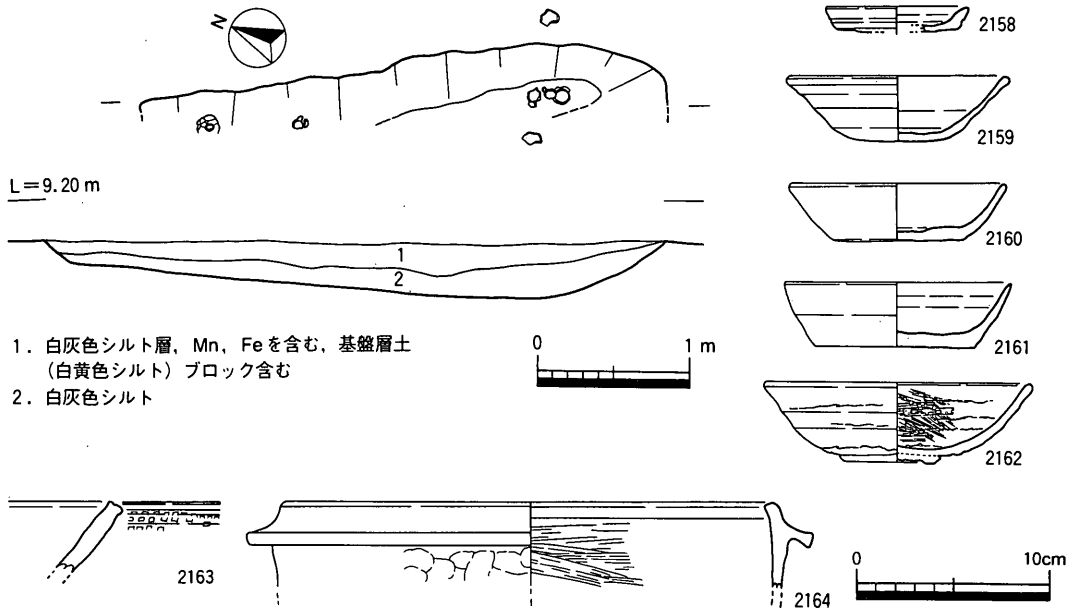
第234図　2④⑤調査区柱穴出土土器（1/4）・石器（1/2）・鉄器（1/2）



第235図　１③ＳＫ０３平・断面図（1/50）及び出土土器（1/4）

２④⑤ＳＫ０１（第238図）

C21区画に位置する。平面形は不整形であり，床面も凹凸が多い。埋土は砂質土である。出土遺物はコンテナ1/3箱程度である。土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・備前焼及び中

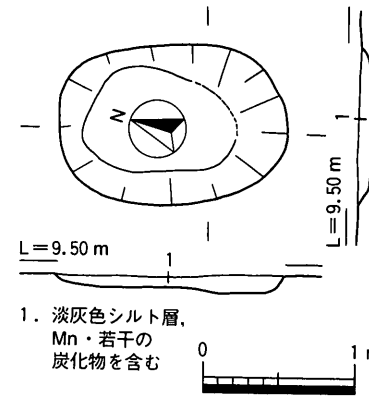


第236図　１③ＳＫ０４平・断面図（1/50）及び出土土器（1/4）

国産白磁が出土している。2168は須恵質椀である。2173は中国産白磁である。土師器鉢，甕及び足釜などから考えれば，15世紀前半頃であろう。

２④⑤ＳＫ０２（第237図）

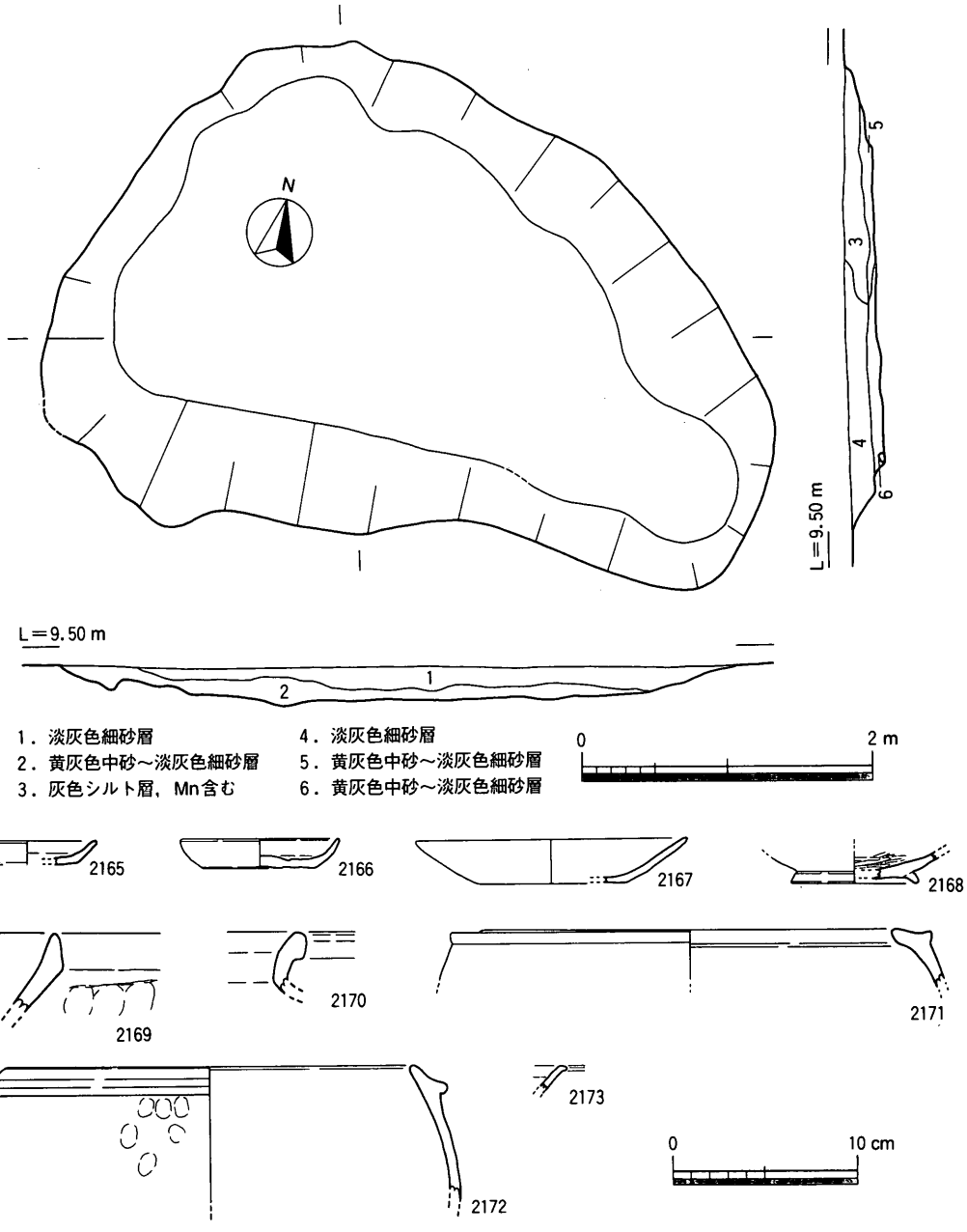
C21区画に位置する。ＳＨ０２及びＳＢ０８より新しい。土師器及び須恵器が若干出土している。鎌倉時代頃か。



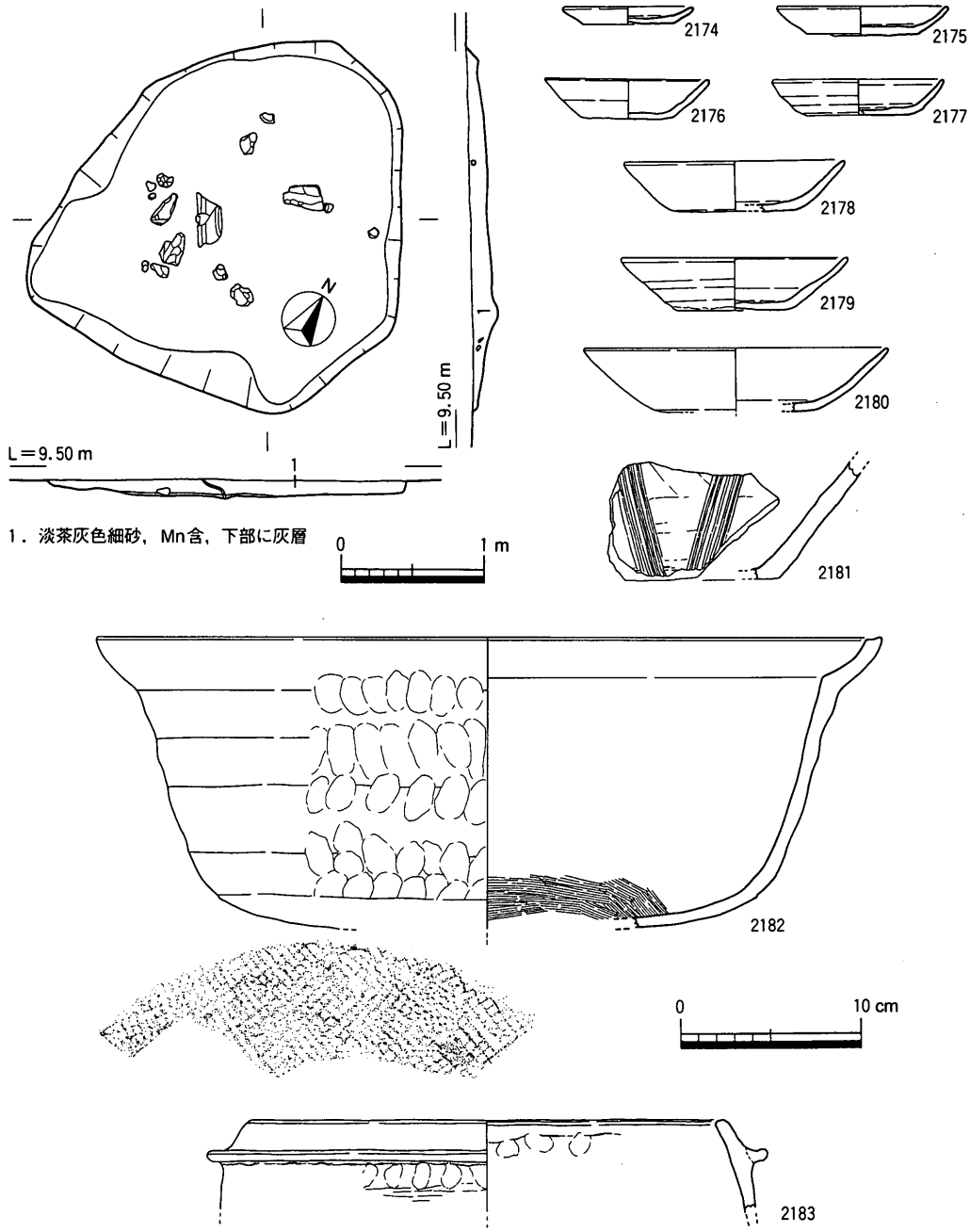
第237図　２④⑤ＳＫ０２平・断面図（1/50）

２④⑤ＳＫ０３（第239図）

C21・D20・D21区画に位置する。平面形は不整形で，床面も凹凸が多い。コンテナ1/2箱程度の遺物が出土している。土師器・須恵器及び備前焼擂鉢が出土している。2182及び2183から15世紀前後の時期が考えられよう。



第238図　２④⑤ＳＫ０１平・断面図（1/50）及び出土土器（1/4）



第239図　２④⑤ＳＫ０３平・断面図（1/50）及び出土土器（1/4）

２④⑤ＳＫ０４（第240図）

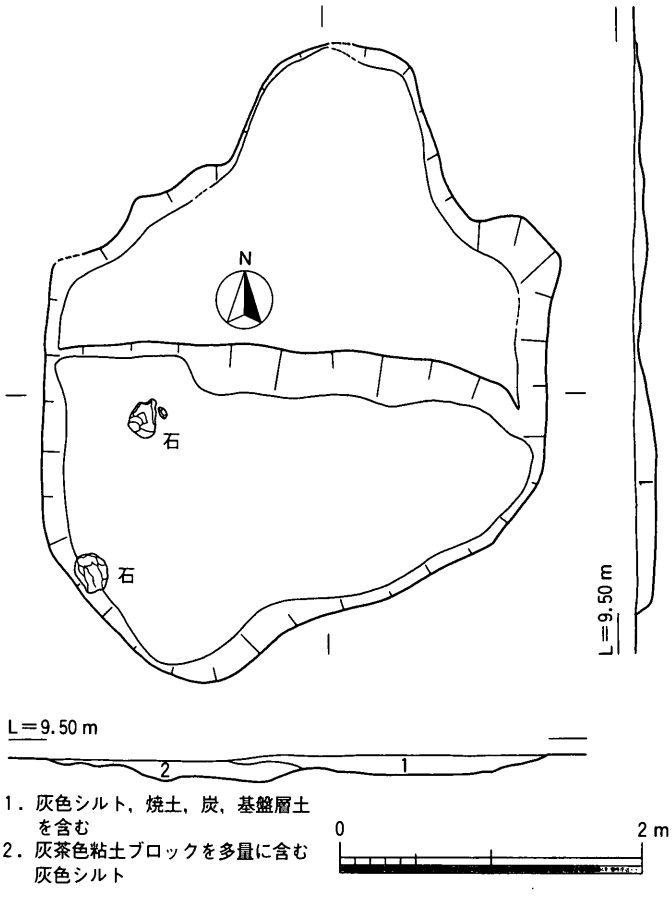
C21・D21区画に位置する。平面形は不整形で，底面も凹凸が多い。土師器・須恵器・瓦器及びいぶし焼きの平瓦が出土している。埋土は焼土及び炭を含む。出土遺物からＳＫ０３と同じ時期が考えられる。

2④⑤ＳＫ０５（第241図）

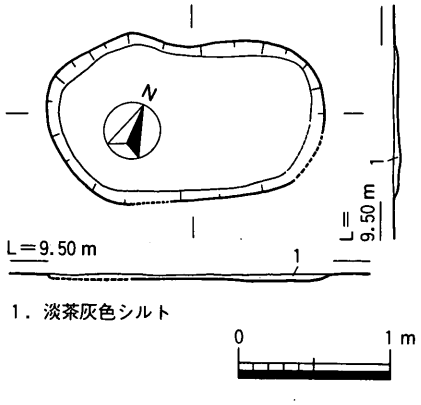
C21区画に位置する。非常に浅いので，遺構かどうかも疑問がある。遺物は弥生土器が少量出土しているが，埋土から中世と判断した。

2④⑤ＳＫ１１（第242図）

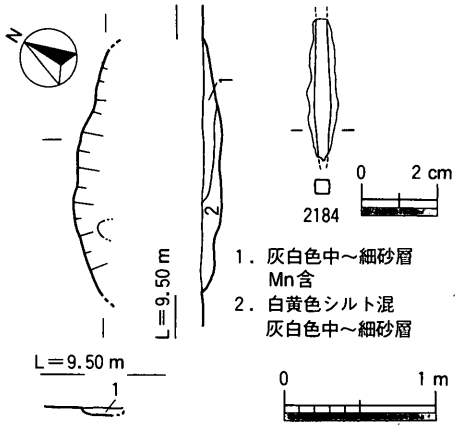
D21区画に位置する。非常に浅くやや長い遺構であることから，溝の肩の一部かもしれない。土師器の皿が出土している。2184は鉄錐状の鉄器である。



第240図　2④⑤ＳＫ０４平・断面図（1/50）



第241図　2④⑤ＳＫ０５平・断面図（1/50）



第242図　2④⑤ＳＫ１１平・断面図（1/50）及び出土鉄器（1/2）

２④⑤ＳＫ１５（第243図）

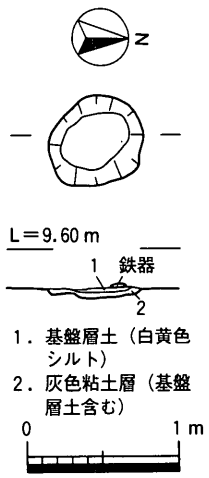
D21区画に位置する。浅い遺構である。土師器片少量と鉄刀が出土している。鉄刀2185は，木質部がわずかに残存している。土坑墓に伴う副葬品かもしれない。

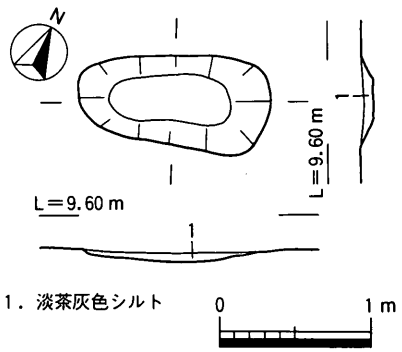
２④⑤ＳＫ１６（第244図）

C21区画に位置する。弥生土器及び須恵器の破片が少量出土している。埋土及び形態がＳＫ１７に類似することから土坑墓の可能性もある。

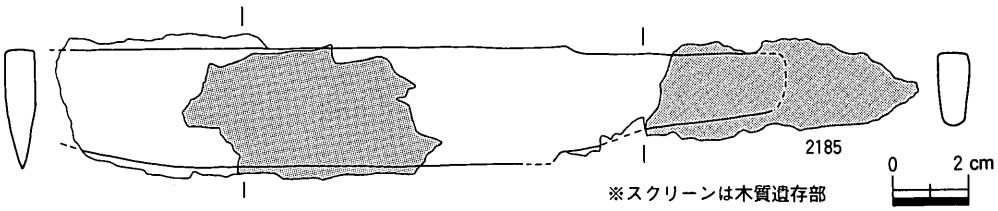
２④⑤ＳＫ１７（第245図）

C21区画に位置する。人骨が出土したことにより，土坑墓であることが判明した。深さは浅く，人骨の遺存状況から見るとかなり削平されていたようである。頭蓋骨及び顎の周辺特に歯の残存状況は比較的良好である。埋土から平安時代の須恵器の小破片が出土していることや，埋土土質から考えて中世の所産であろう。





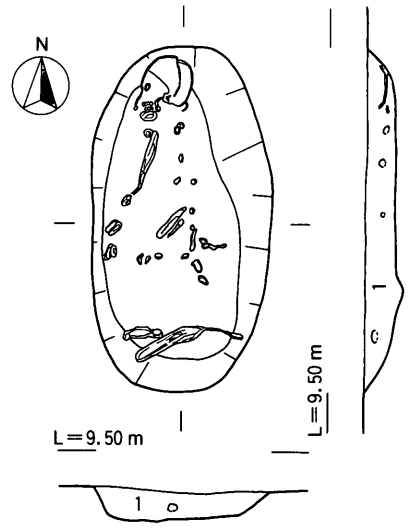
第244図　２④⑤ＳＫ１６平・断面図（1/50）



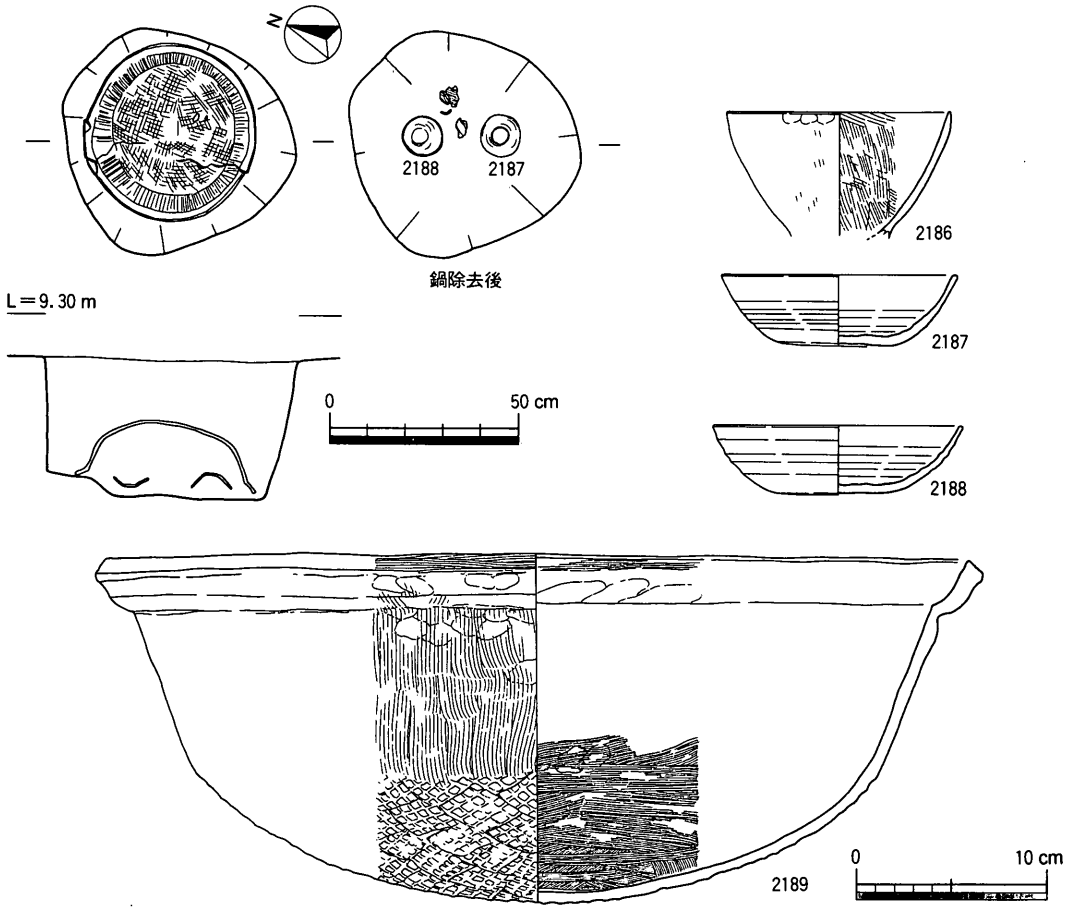
第243図　２④⑤ＳＫ１５平・断面図（1/50）及び出土鉄器（1/2）

２④⑤C20ＳＰ０５７（第246図）

調査時にピットとして番号をつけているが，土坑として報告する。伏せられた土師器鍋の中に土師器の坏が２つ置かれていた。坏のうち一つは口縁を上にして，一つは口縁を下にして置かれていた。土坑掘り方は，土師器鍋より少し大きい程度である。埋土からは弥生土器2186が出土しているが，おそらくこれは本来ＳＨ０４埋土中のものであろう。



第245図　２④⑤ＳＫ１７平・断面図（1/50）

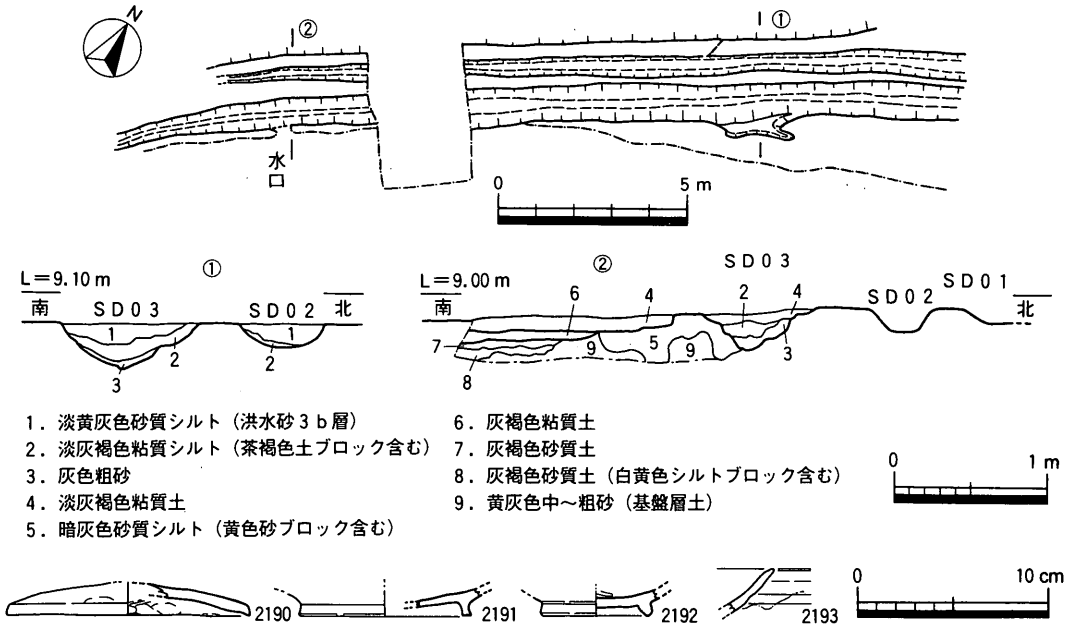


第246図　２④⑤C20ＳＰ０５７平・断面図（1/20）・出土土器（1/4）

溝跡

1①ＳＤ01・02・03（第247図）

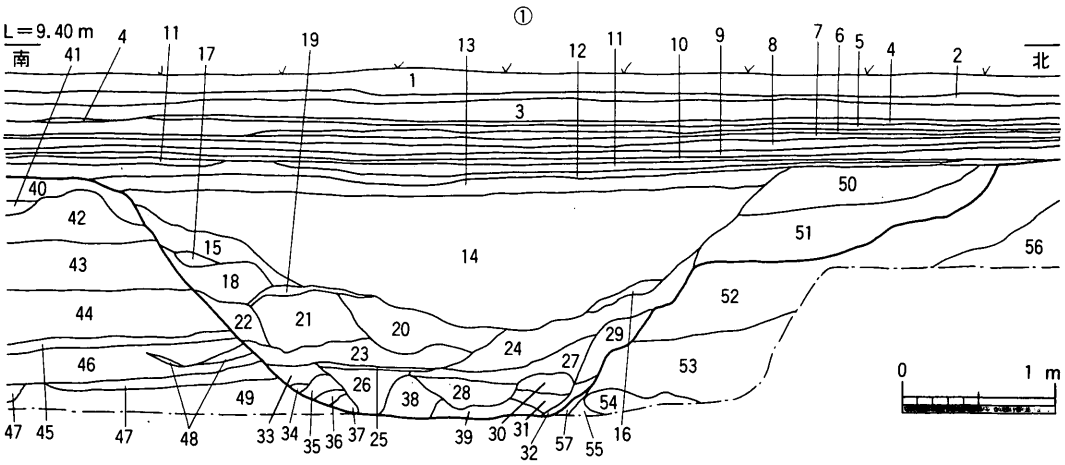
調査区北端で，川跡北側に沿うように検出された溝跡である。埋土から鎌倉時代頃の遺物が出土している。このうちＳＤ０３については，中世の水田跡を覆う洪水砂層３ｂ層（第247図１層）で埋まっていることや，水田畦畔に沿っていることから，水田に水を供給する溝跡であったことがわかる。2190～2193はＳＤ０３から出土した土器である。2190と2191は土師器である。2190は蓋であろうか。2192は黒色土器Ａ類椀である。2193は陶器灰釉皿である。後世の遺物の混入であろう。



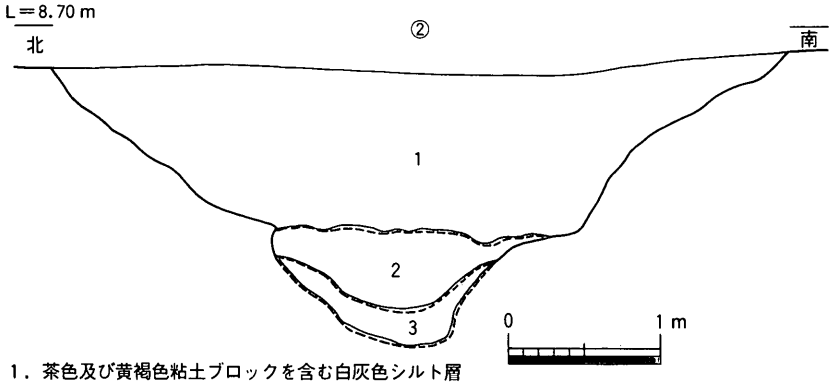
第247図　1①ＳＤ01・02・03平面図（1/200）・断面図（1/50）及び出土土器（1/4）

1②・2①ＳＤ01（第248～250図）

Ｖ字形断面の大溝である。調査範囲が狭いため，底面標高では流水方向を決定することはできないが，現在の土地の標高及び遺構検出面の標高は，東側の方が高いことから流水方向も東から西であろう。おそらく大束川からの取水溝であろう。埋土には鉄分沈着層がみられる。最終埋没土層（第248図14層）下面からは長さ4.5ｍの杭が出土した。遺物は，弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・緑釉陶器・灰釉陶器・中国産白磁・平瓦等が出土している。出土遺物は鎌倉時代頃までのものである。2194は弥生土器である。2195～2197は土師器である。2197は把手である。2198～2201は須恵器である。2202は黒色

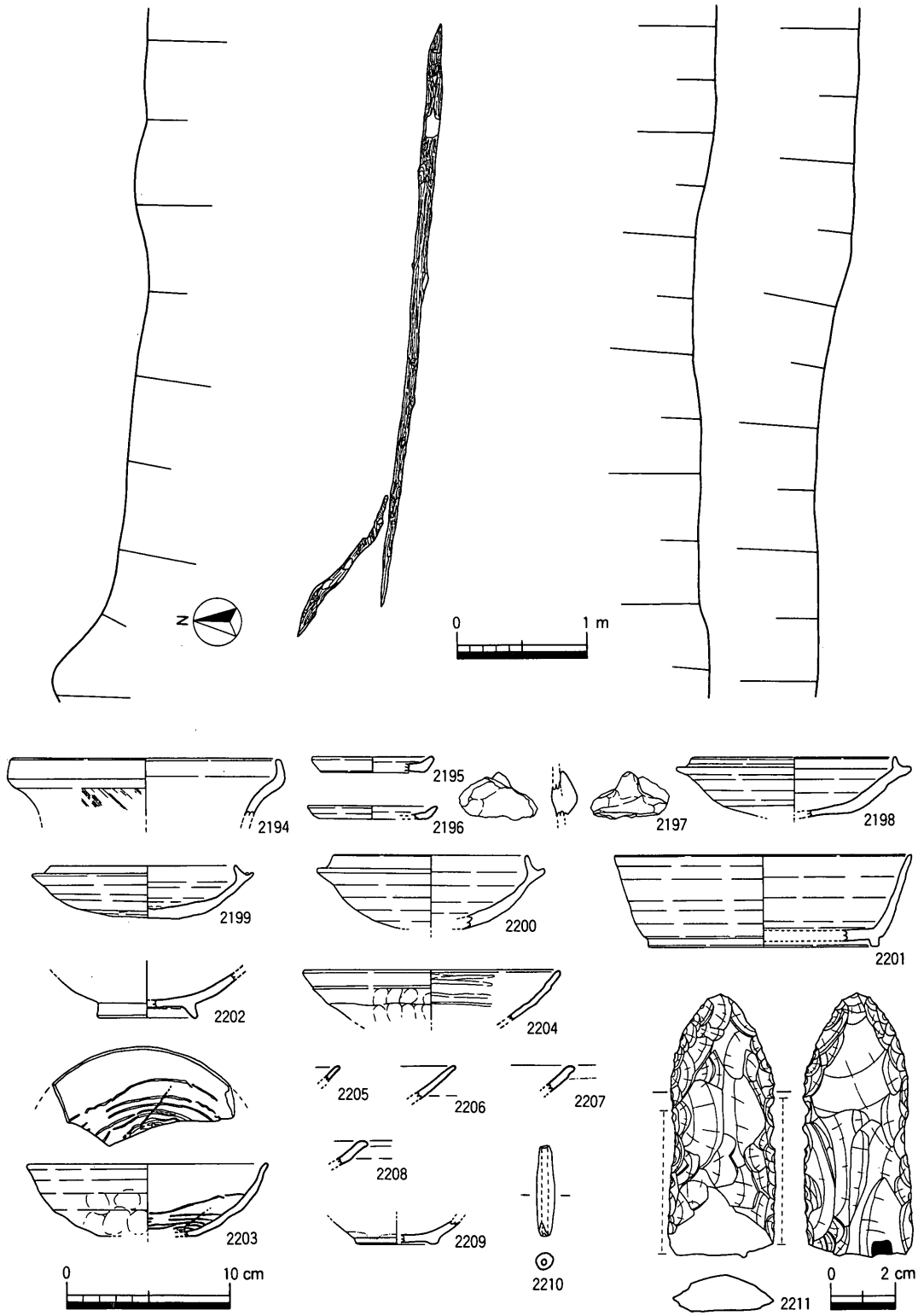


1．耕作土
2．赤橙色細礫混じり（φ～0.5 cm）粘質シルト
3．灰色細礫混じり（φ～0.5 cm）粘質シルト
4．灰橙色細砂
5．灰橙色粘質シルト
6．灰色シルト
7．橙色シルト
8．灰色シルト
9．橙色シルト
10．灰色シルト
11．橙色シルト
12．灰色シルト
13．淡灰褐色シルト
14．褐色粘土（ブロック状）混じり灰褐色シルト（黄色粘質シルト，灰色小礫をブロック状に含む）
15．灰色小礫（φ～0.5 cm）混じり粗砂
16．灰青色シルト
17．褐灰色シルト
18．褐灰色粘質シルト
19．黄灰色シルト
20．灰青色粘質シルト
21．黄色シルト混じり褐灰色粘質シルト
22．黄灰色シルト
23．淡黄色～淡青灰色シルト
24．灰青色粘土
25．黄褐色細砂
26．淡黄色シルト
27．淡青灰色シルト
28．淡青灰色細砂
29．淡黄灰色シルト
30．青灰色粘質シルト
31．淡青灰色細砂
32．淡黄灰色細砂
33．茶褐色粗砂
34．淡黄色シルト
35．茶褐色粗砂混じり小礫
36．淡黄色シルト混じり粗砂
37．茶褐色小礫（φ～0.7 cm）
38．黄褐色シルト混じり小礫（φ～0.7 cm）
39．淡青灰色小礫
40．淡橙灰色細砂 } 洪水堆積物
41．灰色粘質シルト }
42．灰色小礫（φ～0.7 cm）混じり粗砂
43．濁黄色シルト
44．灰色小礫（φ～0.7 cm）混じり粗砂
45．褐灰色細砂
46．褐灰色粗砂混じり小礫（φ～0.5 cm）
47．淡灰色粗砂
48．濁淡灰褐色シルト
49．褐灰色粗砂混じり小礫（φ～0.7 cm）
50．茶褐色粘土
51．茶褐色粘土混じり濁黄色粘土
52．濁黄色粘土
53．灰黄色シルト
54．灰色小礫（φ～1 cm）
55．灰色細砂
56．褐灰色小礫（φ～0.5 cm）混じり粗砂

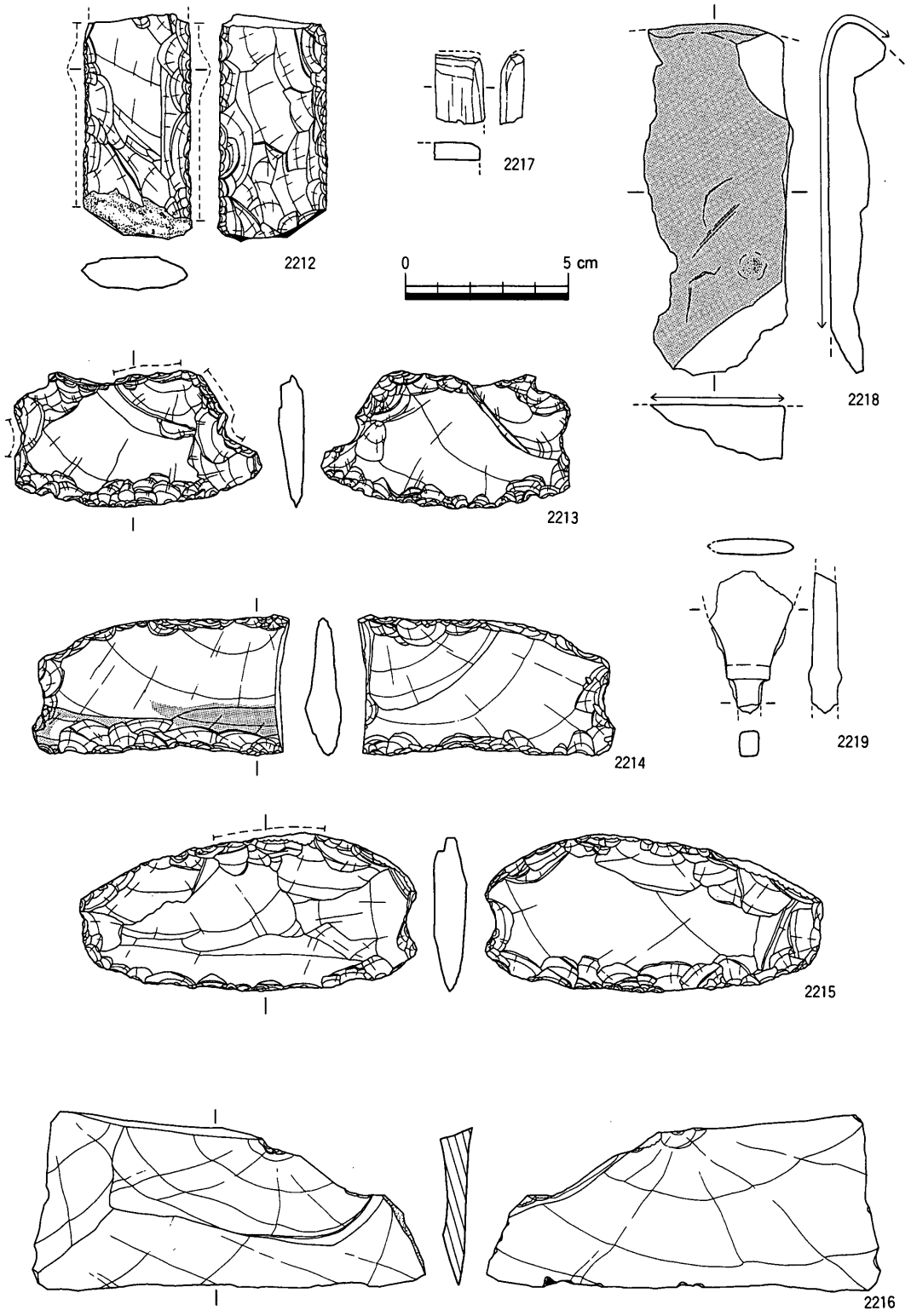


1．茶色及び黄褐色粘土ブロックを含む白灰色シルト層
2．青灰色シルトと灰白中～細砂のラミナ状堆積
3．灰白色シルトと灰白中～細砂のラミナ状堆積
--- 鉄分沈着層

第248図　1②・2①ＳＤ０１断面図（1/50）

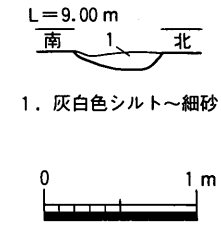


第249図　2①ＳＤ０１平面図（1/50）及び出土土器（1/4）・石器①（1/2）



第250図　２①ＳＤ０１出土石器②（1/2）・鉄器（1/2）

土器Ａ類椀である。2203と2204は瓦器椀である。2205と2206は緑釉陶器である。2207と2208は灰釉陶器である。2209は中国産白磁である。2210は土錘である。2211～2218は石器である。2211と2212は石槍で，同一個体の可能性がある。2216は横長剥片である。2217は扁平片刃石斧あるいは柱状片刃石斧の破片である。2218は摩滅痕ある石器である。2219は鉄鏃である。

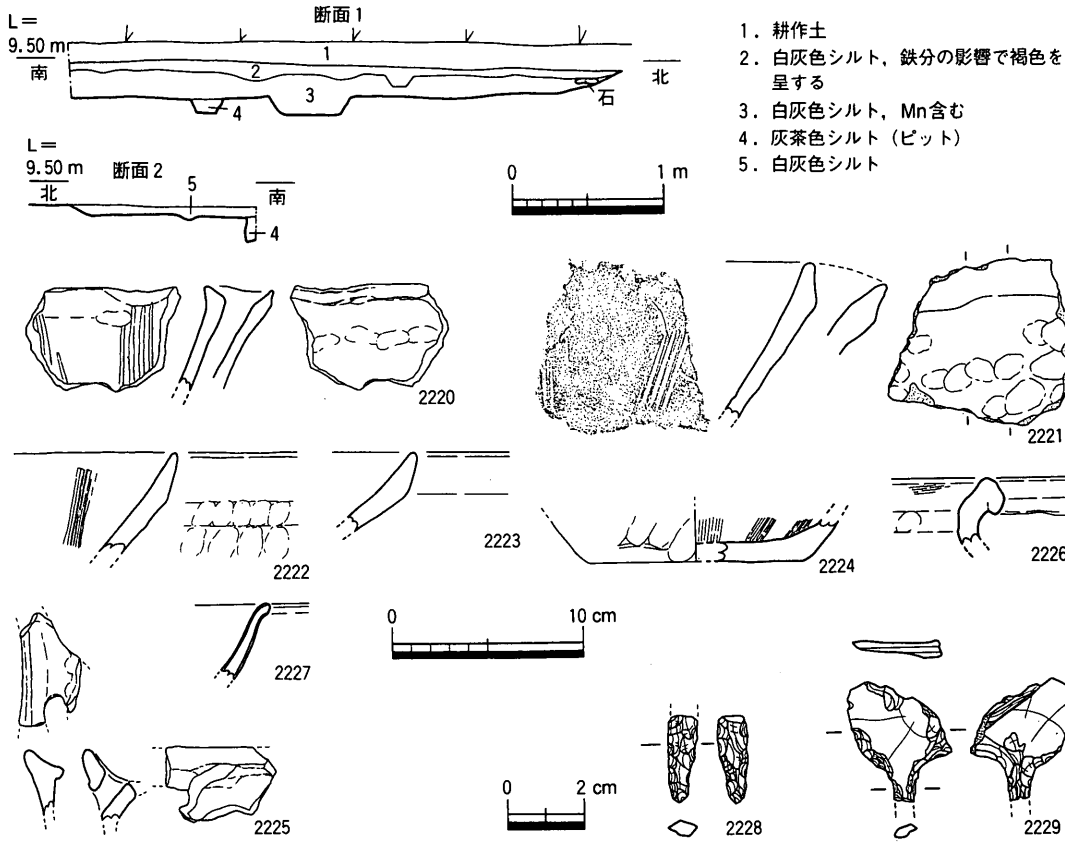


第251図　１②ＳＤ０２断面図（1/50）

１②ＳＤ０２（第251図）

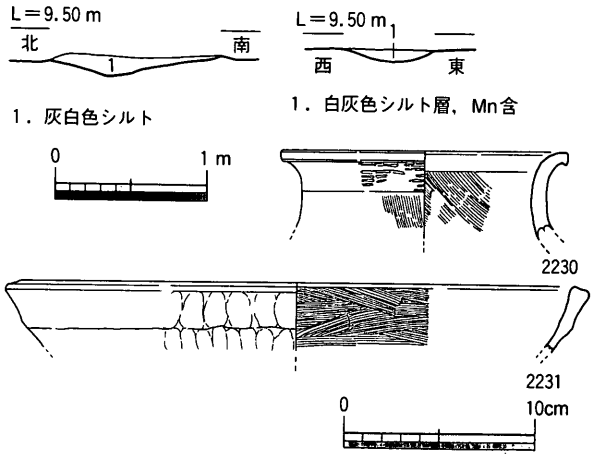
E18区画に位置する。浅い溝である。埋土及び出土遺物から鎌倉時代頃の時期が考えられる。

２④⑤ＳＤ０１（第252図）



第252図　２④⑤ＳＤ０１断面図（1/50）及び出土土器（1/4）・石器（1/2）

２④⑤調査区南端に沿う溝跡である。調査区南西隅で北側へ曲がる。調査区内には一部分しか存在しないため，規模は不明である。土師器・須恵器・須恵質平瓦が出土している。2220～2226は土師器である。15世紀前後の遺物と考えられる。2227は中国産青磁椀である。2228と2229は石錐である。



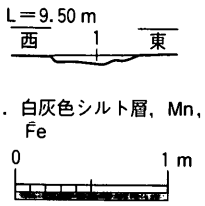
第253図　２④⑤ＳＤ０２断面図（1/50）及び出土土器（1/4）

２④⑤ＳＤ０２・１４（第253図）

C20区画に位置する。ＳＤ０２とＳＤ１４は本来は一続きの溝跡であろう。弥生土器・土師器及び須恵器が出土している。2230は弥生土器である。もとは弥生時代終末期のＳＤ１２埋土中の遺物であろう。2231がこの溝の埋没時期を示す資料であろう。

２④⑤ＳＤ０４・０５（第254・255図）

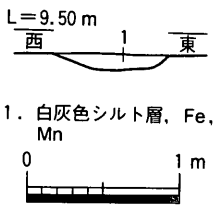
D20区画に位置する。本来は一続きの溝跡であろう。遺物はわずかに土師器片２及び須恵器甕片１のみであり，詳細な時期は不明である。埋土から考えて中世の時期であろう。



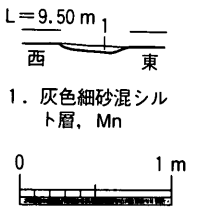
第254図　２④⑤ＳＤ０４断面図（1/50）

２④⑤ＳＤ０６（第256図）

C21区画に位置する。浅く短い溝跡である。埋土から弥生土器・土師器・瓦器椀及び焼土が出土している。



第255図　２④⑤ＳＤ０５断面図（1/50）



第256図　２④⑤ＳＤ０６断面図（1/50）

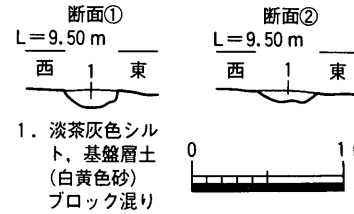
２④⑤ＳＤ１７（第257図）

E20区画に位置する。浅い溝跡である。弥生土器・土師器・須恵器の小片が出土している。

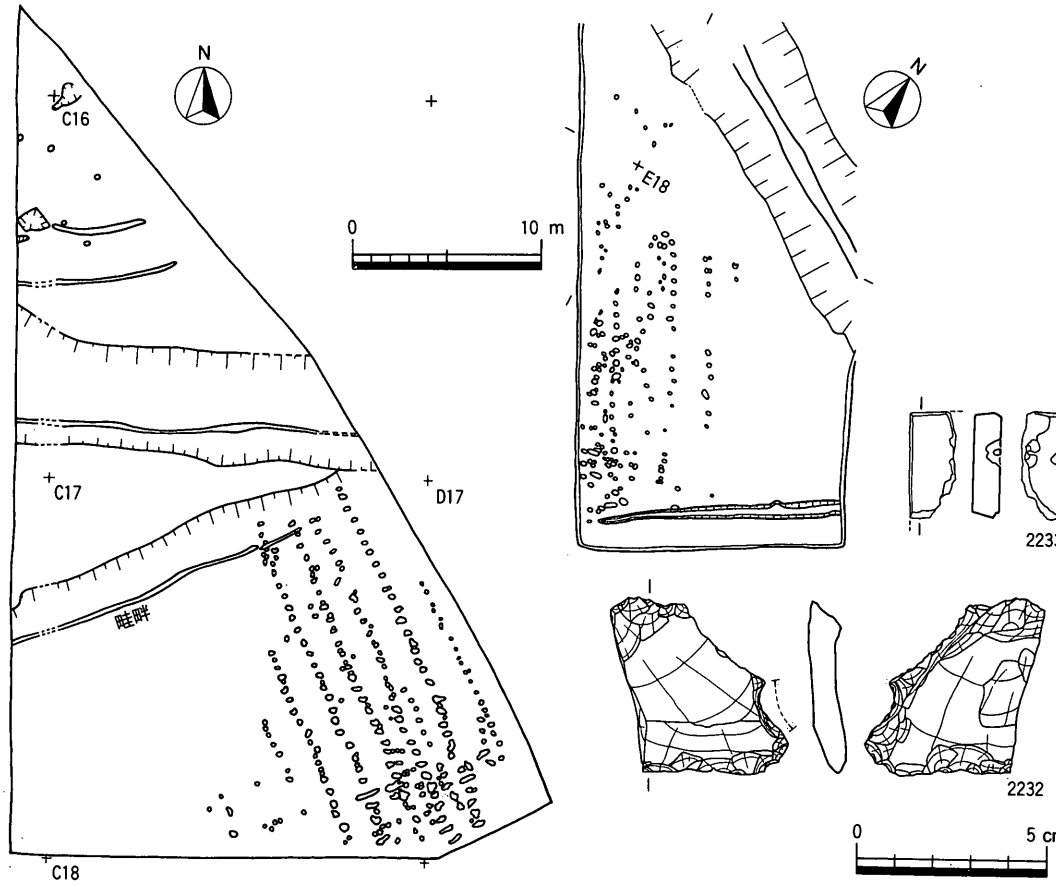
水田跡等

1①調査区（第247図）

３b層で埋没した水田跡を検出した。先述したようにＳＤ０３がこの水田の取水溝であり，ＳＤ０３沿いには部分的に畦畔が存在する。水口を１ヶ所確認している。３b層からは瓦器椀，３c層からは土師器の椀が出土していることから，鎌倉時代ころの水田であろう。この水田土壌層もプラント・オパール分析を行っている（第４章第１節）。その結果，３c層をピークにして，上層の３b層と下層の４a層でも高い個体数のプラント・オパールを確認し，水田跡であることが確実となった。



第257図　２④⑤ＳＤ１７断面図（1/50）



第258図　１②・２①調査区ピット群平面図（1/400）及び出土石器（1/2）

1②・2①調査区（第258図）

ＳＤ０１検出面で，多数のピット検出した。この面は２①調査区では第１面に当たる。これらのピットは列をなすものの，形は不整で，深さも浅いものである。このため柱穴ではなく，畑作に伴う作物の抜き取り痕の可能性等が考えられる。また，２①調査区で畦畔跡としたのは，鉄分沈着層の欠落部分である。

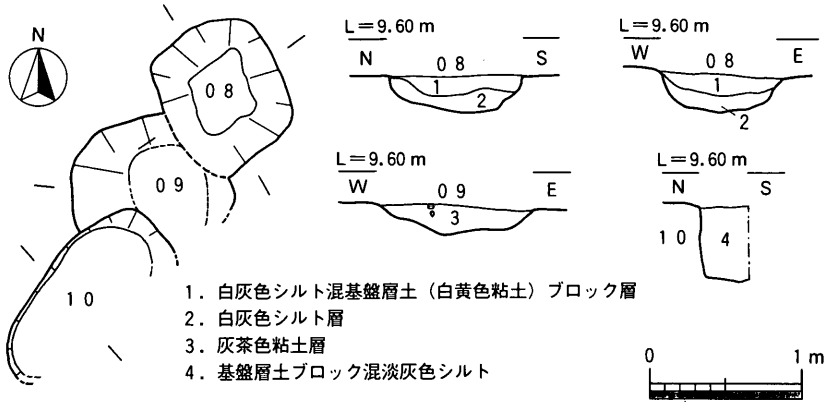
2232は２①調査区ピットから出土した石庖丁である。2233は２①調査区第１面遺構検出時に出土した石帯である。サヌカイト製である。

8　近世以降

明確に遺物で時期決定できないものの，他の遺跡でよく見られる水溜状の土坑を近世以降の遺構として，報告しておく。

2④⑤ＳＫ０８・０９・１０（第259図）

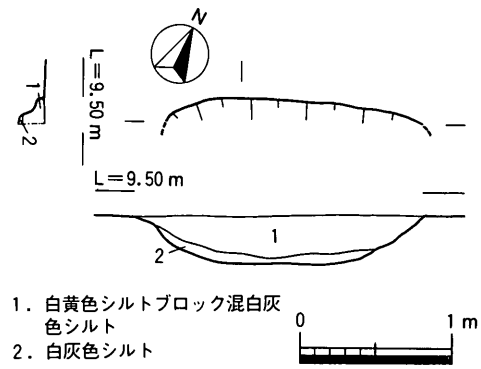
D21区画に位置する。新旧関係の見られる遺構である。ＳＫ０９・１０は基盤層土ブロックを含む埋土であり，埋め戻されたものと考えられる。ＳＫ１０は調査区外に伸びており，全体の規模は不明である。ＳＫ０８からは須恵質の平瓦が出土した。ＳＫ０９からは弥生土器が出土している。ＳＫ１０からは弥生土器・土師器・須恵器がわずかに出土している。



第259図　２④⑤ＳＫ０８・０９・１０平・断面図（1/50）

２④⑤ＳＫ１２（第260図）

E20区画に位置する。調査区内には一部しか存在しないため，規模は不明である。埋土に基盤層土ブロックを含むことから，埋め戻されていることがわかる。土師器片及び備前焼甕の破片が出土している。



第260図　２④⑤ＳＫ１２平・断面図（1/50）

２④⑤ＳＫ１３（第261図）

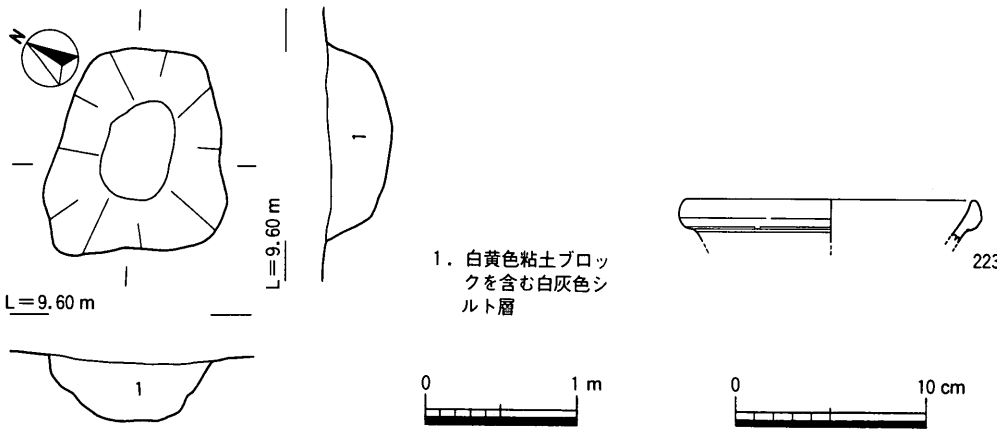
D21区画に位置する。埋土に基盤層土ブロックを含むことから，埋め戻されていることがわかる。土師器，近世陶器及び中国産白磁2234が出土している。

２④⑤ＳＫ１８（第262図）

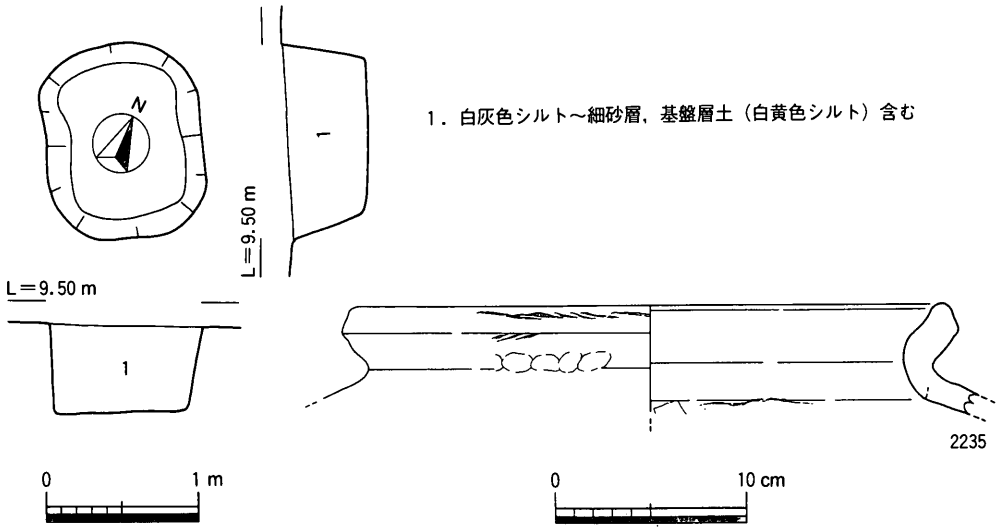
C20区画に位置する。埋土に基盤層土ブロックを含むことから，埋め戻されていることがわかる。弥生土器・土師器・須恵器が出土している。2235は中世の土師器甕である。

２④⑤ＳＫ２１（第263図）

C20区画に位置する。土師器・須恵器が出土している。



第261図　２④⑤ＳＫ１３平・断面図（1/50）及び出土土器（1/4）

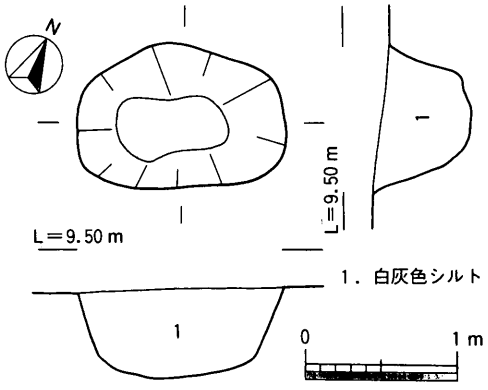


第262図　２④⑤ＳＫ１８平・断面図（1/50）及び出土土器（1/4）

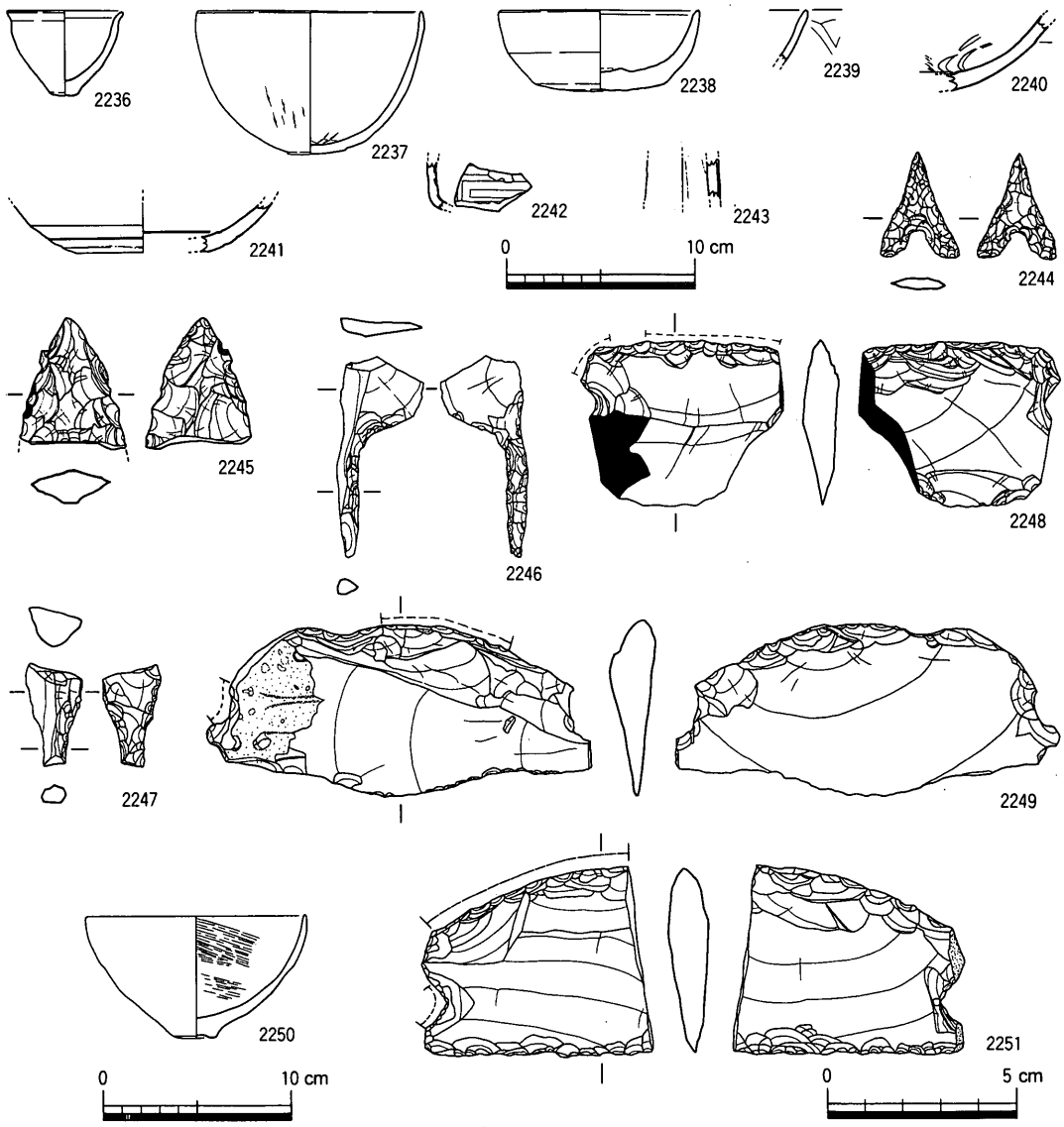
9　出土位置不明の遺物

最後に，出土位置不明の遺物を報告する。

2236～2243は２④⑤調査区で，主に遺構検出時に出土した遺物である。2236と2237は弥生土器である。2238は須恵器である。2239～2243は中国産青磁である。2242は香炉であろうか。2244～2249は石器である。2245は石槍である。2250と2251は出土位置不明の遺物である。



第263図　２④⑤ＳＫ２１平・断面図（1/50）



第264図　2④⑤調査区出土土器（1/4）・石器（1/2）他

第４章　自然科学調査の成果

第１節　香川県，川津一ノ又遺跡Ⅲ区におけるプラント・オパール分析

株式会社　古環境研究所

１．はじめに

植物珪酸体は，ガラスの主成分である珪酸（SiO_2）が植物の細胞内に蓄積したものであり，植物が枯死した後も微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。プラント・オパール（植物珪酸体）分析は，この微化石を遺跡土壌などから検出し，その組成や量を明らかにする方法であり，イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている。

川津一ノ又遺跡北部地区の発掘調査では，中世とされる土層から水路と水口を伴う水田遺構が，さらに，奈良時代とされる土層からも水田遺構が検出された。そこで，これらの遺構における稲作の検証ならびにその他の層における稲作跡の探査を目的にプラント・オパール分析を行うことになった。

２．試料

調査地点は，１－①調査区西壁の北端より６ｍ地点と３－②調査区南壁の東端より41m地点の２地点である。

試料は，１－①調査区では上位より淡灰褐色粘質土（３ｂ層，試料①），灰褐色粘質土（３ｃ層，試料②），橙灰色砂質土（４ａ層，試料③），灰黄色砂質シルト（４ｃ層，試料④），洪水砂（５ｂ層，試料⑤），淡茶褐色粘土（５ｃ層，試料⑥，⑦）の７点，３－②調査区では上位より粗砂が多量に混じる暗灰色砂質土（Ⅱ③層，試料⑧），粗砂混じり灰色粘土（Ⅱ⑦層，試料⑨），粗砂混じり淡黒灰色粘土（Ⅲ①層，試料⑩）の３点の計10点である。このうち，中世の水田遺構が検出されていたのは３ｃ層，奈良時代の水田遺構は５ｃ層およびⅢ①層である。また，試料はいずれも遺跡の調査担当者によって採取されたものである。

３．分析法

プラント・オパールの抽出と定量は，「プラント・オパール定量分析法（藤原，

1976）」をもとに，次の手順で行った。

1）試料土の絶乾（105℃・24時間）

2）試料土約1gを秤量，ガラスビーズ添加（直径約40μm，約0.02g）

※電子分析天秤により1万分の1gの精度で秤量

3）電気炉灰化法による脱有機物処理

4）超音波による分散（300W・42KHz・10分間）

5）沈底法による微粒子（20μm以下）除去，乾燥

6）封入剤（オイキット）中に分散，プレパラート作成

7）検鏡・計数

検鏡は，おもにイネ科植物の機動細胞に由来するプラント・オパール（以下，プラント・オパールと略す）を同定の対象とし，400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は，ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。

検鏡結果は，計数値を試料1g中のプラント・オパール個数（試料1gあたりのガラスビーズ個数に，計数されたプラント・オパールとガラスビーズの個数の比率を乗じて求める）に換算して示した。また，おもな分類群については，この値に試料の仮比重（1.0と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重，単位：10^{-5}g）を乗じて，単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出し図示した。換算係数は，イネは赤米，キビ族はヒエ，ヨシ属はヨシ，ウシクサ族はススキ，タケ亜科については数種の平均値を用いた。その値は，それぞれ2.94（種実重は1.03），8.40，6.31，1.24，0.48である（杉山・藤原，1987）。

4．分析結果

採取された試料すべてについて分析を行った結果，イネ，ヨシ属，シバ属，ウシクサ族，タケ亜科の各分類群のプラント・オパールが検出された。これらの分類群について定量を行い，その結果を第8表と第265図，第266図に示した。以下，各地点ごとに検出状況を記す。

1）1－①区

本地点では，試料①～試料⑦について分析を行った。イネは試料⑤を除く各試料より検出された。試料①，②，③では比較的高い密度である。ヨシ属は試料④，⑤，⑦より検出

されたが，いずれも低い密度である。シバ属は試料①より検出されたが低い密度である。ウシクサ族は試料②，③，⑤，⑥，⑦より検出されたが，いずれも低い密度である。タケ亜科はすべての試料より検出された。試料①以外はいずれも高い密度である。

2）3－②区

本地点では，試料⑧～⑩について分析を行った。イネは試料⑧と⑨より検出された。試料⑨ではやや高い密度である。ヨシ属は試料⑧と⑩より検出されたがこれも低い密度である。ウシクサ族はすべての試料より検出された。試料⑩では比較的高い密度である。タケ亜科はすべての試料より高い密度で検出された。

5．考察

（1）稲作の可能性について

稲作跡（水田跡）の検証や探査を行う場合，通常，イネのプラント・オパールが試料1gあたりおよそ5,000個以上の密度で検出された場合に，そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している。また，プラント・オパール密度にピークが認められれば，上層から後代のものが混入した危険性は考えにくく，密度はそれほど高くなくても稲作が行われ

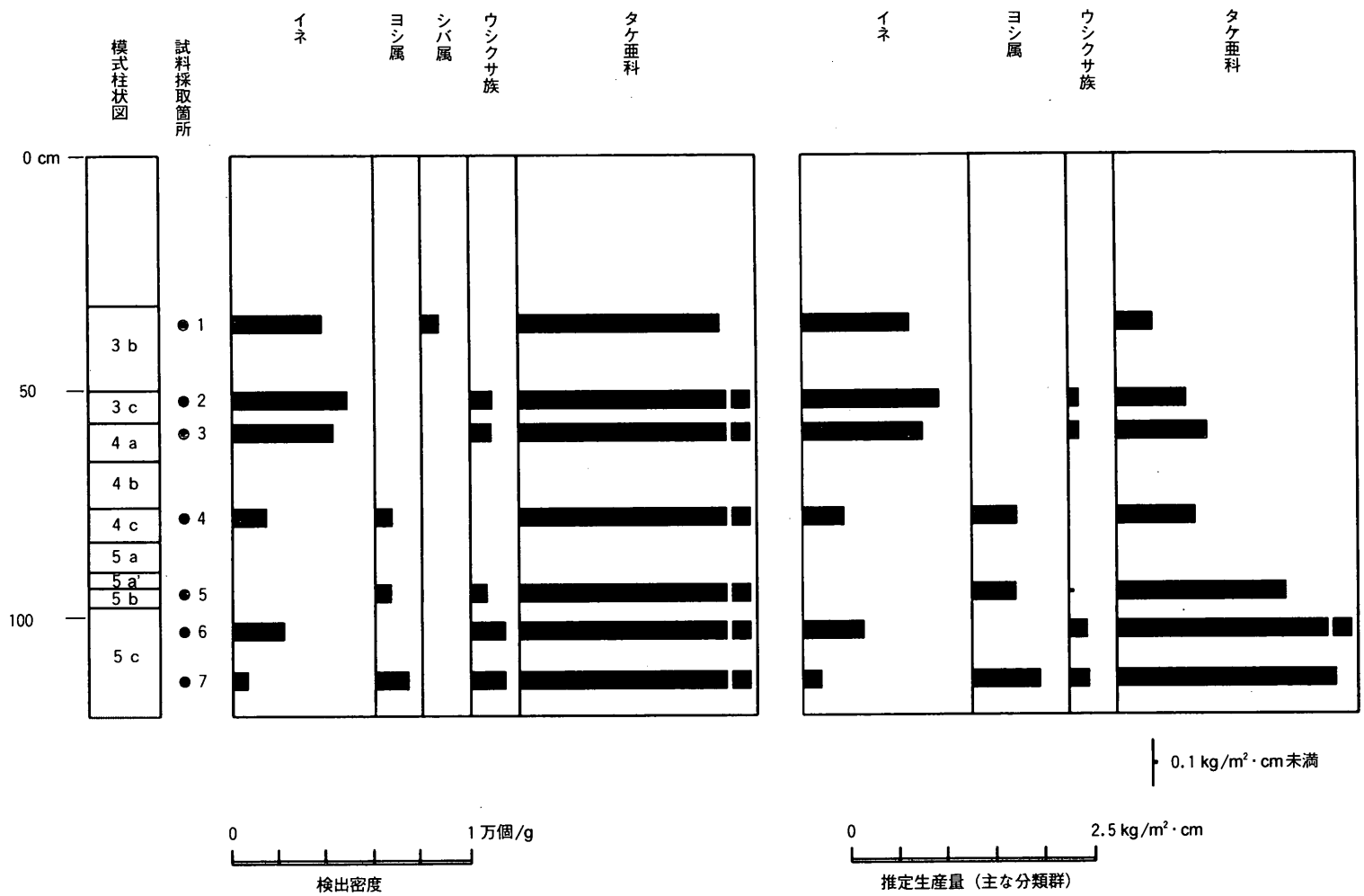
検出密度（単位：×100個/g）

分類群＼試料	1－①区							3－②区		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
イネ	39	49	43	15		22	7	7	28	
キビ族(ヒエ属など)										
ヨシ属				8	7		15	15		7
シバ属	8									
ウシクサ族(ススキ属など)		10	9		7	15	15	15	7	39
タケ亜科(おもにネザサ節)	85	157	205	175	365	580	479	162	133	397

推定生産量（単位：kg/m²・cm）

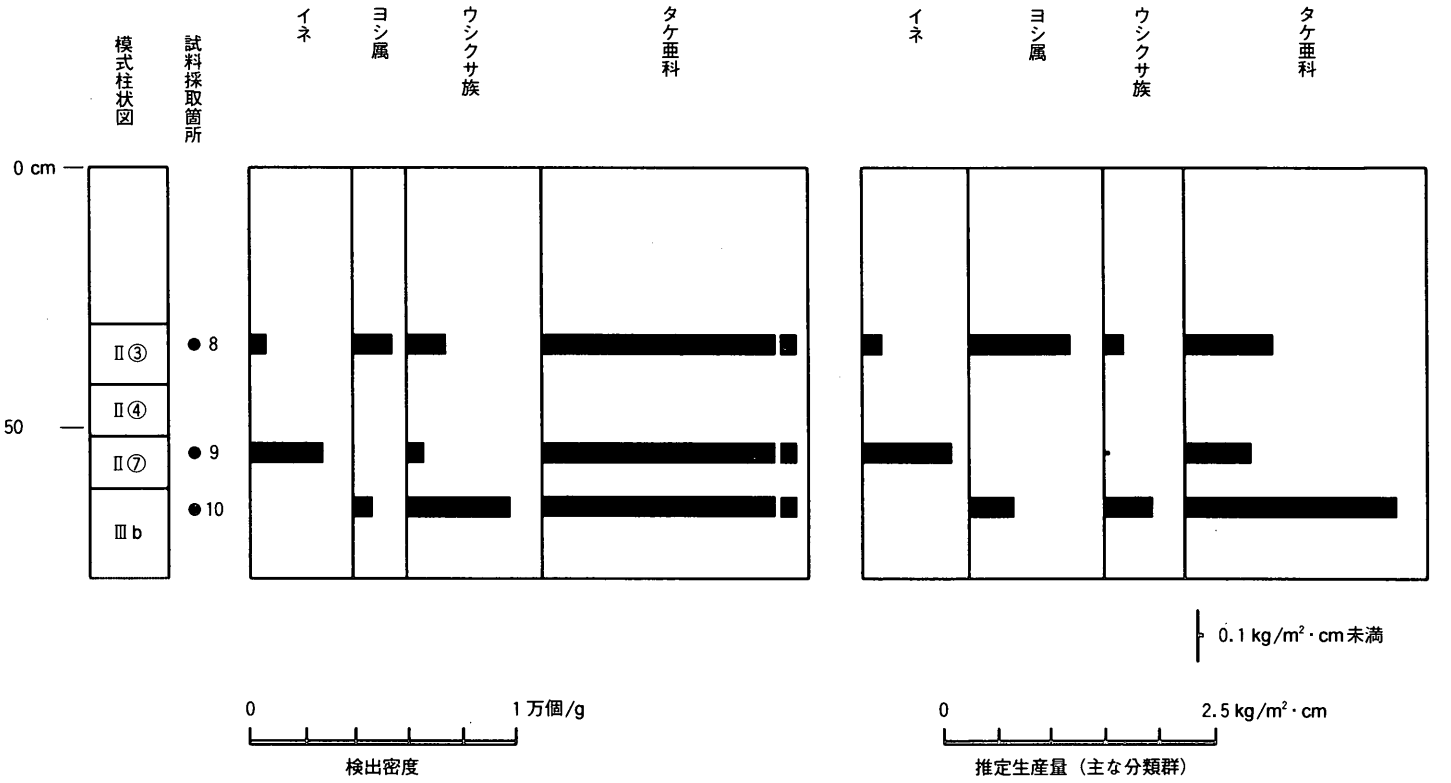
イネ	1.14	1.44	1.26	0.45		0.66	0.22	0.22	0.83	
（イネ籾）	0.40	0.51	0.44	0.16		0.23	0.08	0.08	0.29	
キビ族(ヒエ属など)										
ヨシ属				0.48	0.46		0.94	0.93		0.41
ウシクサ族(ススキ属など)		0.12	0.11		0.09	0.18	0.19	0.18	0.09	0.48
タケ亜科(おもにネザサ節)	0.41	0.75	0.98	0.84	1.75	2.78	2.30	0.78	0.64	1.94

第8表　川津一ノ又遺跡のプラント・オパール分析結果



第265図　川津一ノ又遺跡（1－①）におけるプラント・オパール分析結果

※主な分類群について表示。



第266図　川津一ノ又遺跡（３－②）におけるプラント・オパール分析結果
※主な分類群について表示。

ていた可能性は高いと考えられる。以上のことを基準として，各地点について考察を行う。

1） 1－①区

ここでは，試料①，②，③，④，⑥，⑦よりイネのプラント・オパールが検出された。したがって，これらの試料が採取された層準において稲作が行われていた可能性が考えられる。このうち，試料②ではプラント・オパール密度がおよそ5,000個/gと高い値であり，ピークが認められる。また，試料①と③でも密度が4,000個/g前後と比較的高い値である。さらに，試料⑥では密度は2,200個/gとやや低いものの，直上の試料⑤からはまったく検出されていないことから，上層からの混入の危険性は考えにくい。以上のことから，試料①，②，③，⑥が採取された各層準については稲作跡である可能性が高いと考えられる。なお，発掘調査では試料②と⑥の層準より水田跡が検出されており，分析結果はこれを裏付けるものである。

2） 3－②区

ここでは，試料⑧と⑨よりイネのプラント・オパールが検出された。したがって，これらの試料が採取された層準において稲作が行われていた可能性が考えられる。なお，発掘調査で水田耕土とされていた試料⑩の層準からはイネのプラント・オパールは検出されておらず，矛盾する結果となった。これについては，直上の試料⑨の層準が比較的高い密度であることから，あるいは大畦畔に伴う水田は試料⑨の層準であるのかも知れない。

（2）プラント・オパール分析からみた植生・環境

一般に，ヨシ属は湿地等の湿ったところに生育し，ウシクサ族（ススキ属など）やタケ亜科は比較的乾いた環境のところに生育することが知られている。このことから，これらの植物の出現状況を検討することによって，堆積当時の環境（乾燥・湿潤）を推定することができる。

本遺跡では，全体にタケ亜科が優勢でヨシ属はごく少量である。とくに，試料⑤，⑥，⑦および⑩の層準ではタケ亜科が卓越している。したがって，本遺跡一帯は古代より概ね乾いた環境で推移してきたと推定される。

また，上記のことと，土層断面に鉄分の集積やマンガン粒の沈積が認められることなどから，本遺跡で検出されたかあるいは包蔵が予想される水田跡の形態は，地下水位の低い乾田型であったと推定される。

6．まとめ

川津一ノ又遺跡においてプラント・オパール分析を行い，検出された水田跡における稲作の検証ならびにその他の層における稲作跡の探査を試みた。その結果，水田遺構が検出されていた層準より採取された試料②と⑥からはイネのプラント・オパールが高い密度で検出されたことから，これらの層が稲作跡であることが分析的に確認された。また，その他では試料①，③，⑨の層準についても稲作跡である可能性が高いと判断された。

〈引用文献〉

杉山真二・藤原宏志（1987）川口市赤山陣屋跡遺跡におけるプラント・オパール分析．赤山－古環境編－．川口市遺跡調査会報告，10，281－298.

藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－，考古学と自然科学，9：15－29.

藤原宏志（1979）プラント・オパール分析法の基礎的研究(3)－福岡・板付遺跡（夜臼式）水田および群馬・日高遺跡（弥生時代）水田におけるイネ（O.sativa L.）生産総量の推定－，考古学と自然科学，12：29－41.

藤原宏志・杉山真二（1984）プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)－プラント・オパール分析による水田址の探査－，考古学と自然科学，17：73－85.

第2節　川津一ノ又遺跡から出土した木製品の樹種

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

川津一ノ又遺跡周辺では，これまでにも下川津遺跡，川津下樋遺跡，川津中塚遺跡で，出土した木製品などの樹種同定から過去の用材選択が明らかにされている（島地・林，1990；能城・鈴木，1990；パリノ・サーヴェイ株式会社，1996；パリノ・サーヴェイ株式会社，1995；パリノ・サーヴェイ株式会社，1995）。これらの調査結果を見ると，合計で53種類（針葉樹9種類，広葉樹44種類）の木材が確認されており，様々な種類の木材が利用されていたことがうかがえる。確認された主な樹種は，下川津遺跡の花粉分析結果（パリノ・サーヴェイ株式会社，1990）や川津下樋遺跡の植物遺体（種子・葉）の同定結果（パリノ・サーヴェイ株式会社，1996）でも認められている。このことから，遺跡周辺に生育していた樹木を利用した可能性が指摘されている。

本報告では，川津一ノ又遺跡から出土した木製品の樹種を明らかにし，当該期の用材選択

について検討する。

1．試料

試料は，出土した古墳時代の木製品５点（試料番号１～５）である。各木製品の詳細については，樹種同定結果と共に第９表に記した。

2．方法

剃刀の刃を用いて，試料の木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の３断面の徒手切片を作製する。切片は，ガム・クロラール（抱水クロラール・アラビアゴム粉末・グリセリン・蒸留水の混合液）で封入し，プレパラートとした。プレパラートは，生物顕微鏡で木材組織の特徴を観察し，種類を同定する。

3．結果

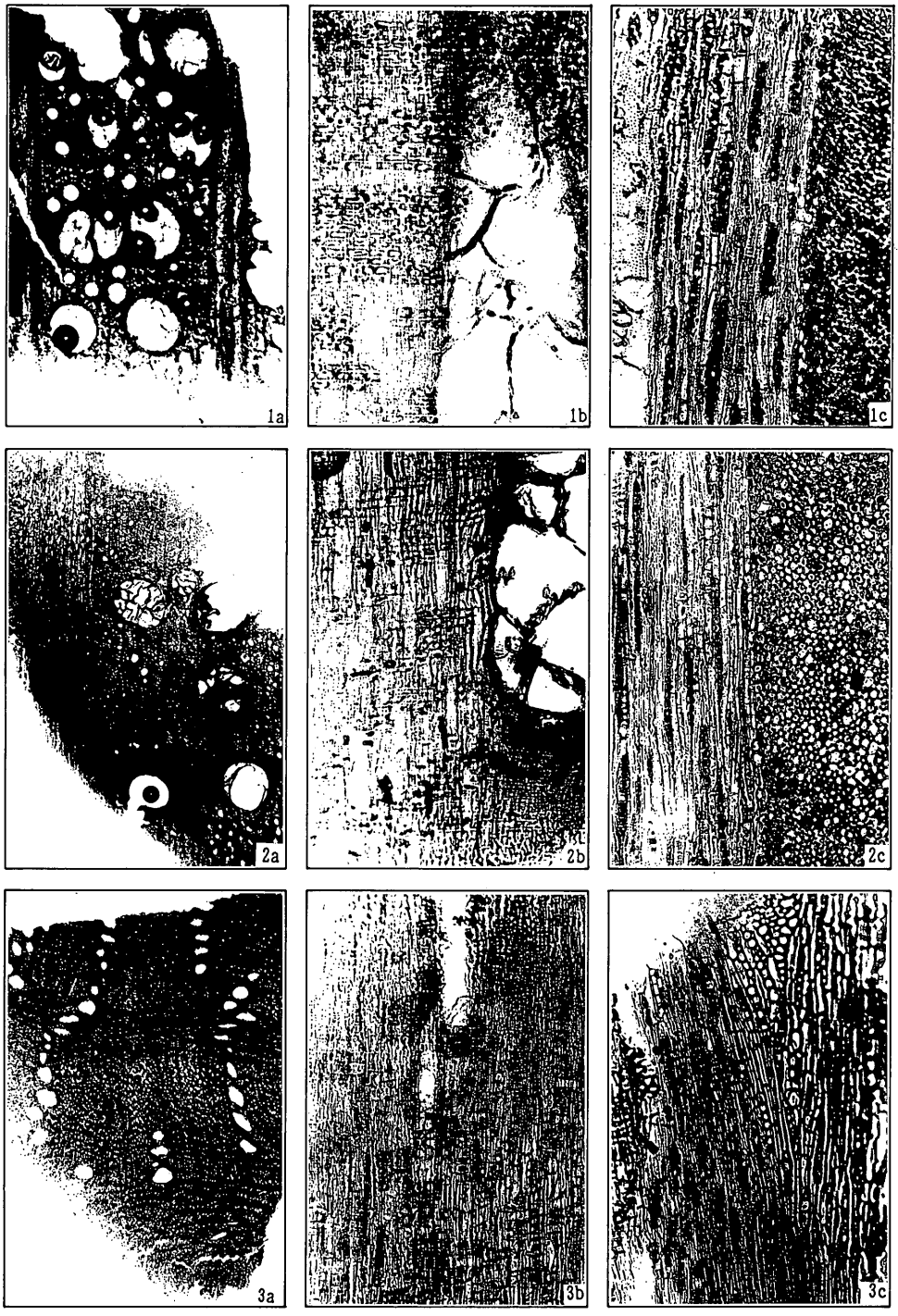
樹種同定結果を第９表に示す。試料はいずれも広葉樹で，５種類（コナラ属コナラ亜属クヌギ節・コナラ属コナラ亜属コナラ節・コナラ属コナラ亜属・コナラ属アカガシ亜属・シキミ）に同定された。各種類の解剖学的特徴などを以下に記す。

・コナラ属コナラ亜属クヌギ節（*Quercus* subgen. *Lepidobalanus* sect. *Cerris* sp.）　ブナ科

環孔材で孔圏部は１～３列，孔圏外で急激に管径を減じたのち，漸減しながら放射状に配列する。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性，単列，１～20細胞高のものと複合放射組織とがある。

試料番号	出土位置	用途	時代・時期	樹　種	報告書遺物番号
1	Ⅲ区1②北東Gr.最下層	斧柄	古墳時代（６世紀後半～７世紀）	コナラ属コナラ亜属	1940
2	Ⅲ区1② ＳＲ０２ｇ層	横槌	古墳時代（６世紀後半～７世紀）	コナラ属コナラ亜属クヌギ節	1942
3	Ⅲ区1② ＳＲ０２ｇ層	横槌	古墳時代（６世紀後半～７世紀）	コナラ属アカガシ亜属	1941
4	Ⅲ区1② ＳＲ０２ｇ層	竪杵	古墳時代（６世紀後半～７世紀）	シキミ	1943
5	Ⅲ区1② ＳＲ０２ｇ層	不明	古墳時代（６世紀後半～７世紀）	コナラ属コナラ亜属コナラ節	1945

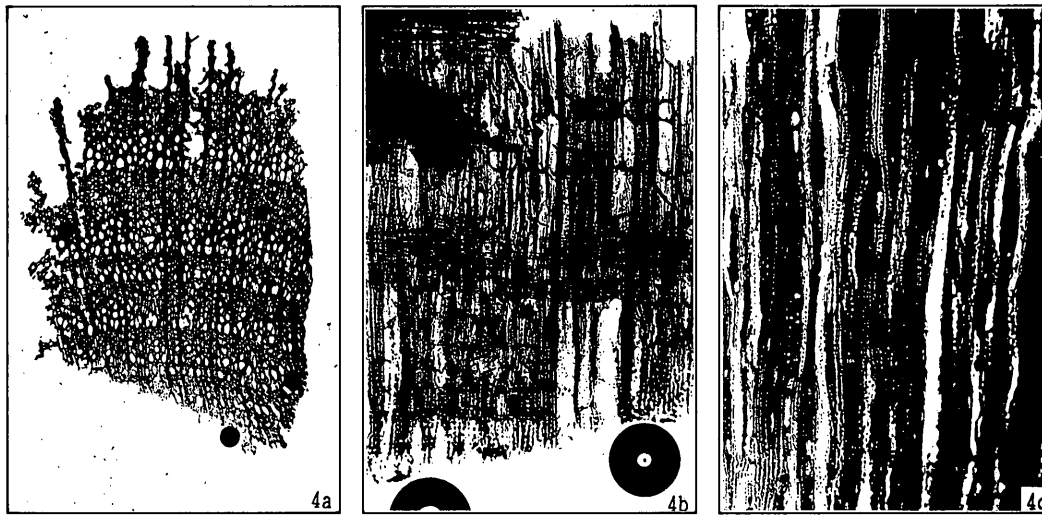
第９表　木製品の樹種同定結果



1．コナラ属コナラ亜属クヌギ節（試料番号２）
2．コナラ属コナラ亜属コナラ節（試料番号５）
3．コナラ属アカガシ亜属（試料番号３）
a：木口、b：柾目、c：板目

200 μm：a
200 μm：b、c

第267図　木材の顕微鏡写真(1)



4．シキミ（試料番号4）
a：木口，b：柾目，c：板目

200 μm：a
200 μm：b，c

第268図　木材の顕微鏡写真(2)

・コナラ属コナラ亜属コナラ節（*Quercus* subgen. *Lepidobalanus* sect. *Prinus* sp.）　ブナ科

環孔材で孔圏部は1～2列，孔圏外で急激に管径を減じたのち，漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性，単列，1～20細胞高のものと複合放射組織とがある。

・コナラ属コナラ亜属（*Quercus* subgen. *Lepidobalanus* sp.）　ブナ科

環孔材で，孔圏部は1～2列である。孔圏外小道管は，保存が良好ではないために観察できない。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列する。放射組織は単列組織と複合放射組織とがある。以上の特徴からコナラ亜属と判断できるが，小道管の配列が不明なためにクヌギ節かコナラ節かの同定には至らなかった。

・コナラ属アカガシ亜属（*Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis* sp.）　ブナ科

放射孔材で，管壁厚は中庸～厚く，横断面では楕円形，単独で放射方向に配列する。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性，単列，1～15細胞高のものと複合放射組織とがある。

・シキミ（*Illicium anisatum* L.）　シキミ科シキミ属

散孔材で管壁厚は中庸～薄く，横断面では多角形，単独または2～4個が複合する。道

管は階段穿孔を有し，壁孔は階段状～対列状に配列する。道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅱ～Ⅰ型，1～2細胞幅，1～20細胞高。

4．考察

斧柄にはコナラ亜属，横槌にはクヌギ節およびアカガシ亜属，堅杵にはシキミがそれぞれ確認された。斧柄や横槌の結果は，本遺跡の北方約1.5～2kmに位置する下川津遺跡で得られた結果（島地・林，1990；能城・鈴木，1990）とも調和的である。同様の結果は，香川県以外にも全国各地でみることができる（島地・伊東，1988；伊東，1990）。コナラ属の木材は堅く高い強度を有している。また，下川津遺跡や川津下樋遺跡で推定されている古植生（パリノ・サーヴェイ株式会社，1990，1996）から，コナラ亜属（クヌギ節を含む）やアカガシ亜属は周辺で普通に見られた樹種と考えられる。これらのことが本地域で斧柄や横槌に多数利用された背景として考えられる。

堅杵については，下川津遺跡でヒサカキが1点確認されているが，他には県内で樹種を明らかにした例は知られていない。そのため，本地域における用材選択の傾向は明らかではない。しかし，東大阪市鬼虎川遺跡でシキミの堅杵が確認されていることを考慮すれば，本地域においても堅杵の用材として適材と考えられていた可能性がある。シキミは，下川津遺跡・川津下樋遺跡・川津中塚遺跡の調査では1点も確認されていない。しかし，シキミはカシ林やモミ・ツガ林の林床に普通に見られる樹種であり，これまでの調査で推定されている古植生から遺跡周辺で生育していたことが推定される。堅杵についても，他の用途と製品に周辺で入手可能な木材の中から適材を選択・利用していたことが推定される。

〈引用文献〉

伊東隆夫(1990)日本の遺跡から出土した木材の樹種とその用途Ⅱ．木材研究・資料，26，p.91－189.

パリノ・サーヴェイ株式会社（1990)下川津遺跡における花粉・珪藻分析委託報告．「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡　－第2分冊－」，p.479－518，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公団.

パリノ・サーヴェイ株式会社(1995)川津中塚遺跡出土の木製品の樹種「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第十五冊　龍川四条遺跡」，p.198－203，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団.

パリノ・サーヴェイ株式会社(1996)川津下樋遺跡における植物性遺物の同定．「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第二十一冊　川津下樋遺跡」，p.174－185，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団.

島地　謙・林　昭三(1990)昭和61年度調査の分析委託結果．「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡　－第２分冊－」，p.520－532，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公団．

島地　謙・伊東　隆夫編(1988)日本の遺跡出土木製品総覧．p.296，雄山閣．

能城修一・鈴木三男(1990)昭和63年度調査の分析委託結果．「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡　－第２分冊－」，p.533－567，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公団．

第３節　川津一ノ又遺跡から出土した木材の樹種

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

川津一ノ又遺跡では，これまでにも古墳時代の斧柄・横槌・堅杵・用途不明木製品について樹種同定が行われ，コナラ亜属クヌギ節・アカガシ亜属・シキミ等が確認されている（前節資料）。同様の結果は，本遺跡に比較的近い下川津遺跡から出土した木製品の樹種同定結果（島地・林，1990；能城・鈴木1990）でも確認されている。これらの樹種は，下川津遺跡や川津下樋遺跡で推定されている古植生（パリノ・サーヴェイ株式会社，1990，1996）とも調和的である。

本報告では，弥生時代中期～終末期および奈良・平安時代の遺構から出土した木製品の樹種を明らかにし，用材選択に関する資料を得る。

１．試料

試料は，弥生時代中期～終末期の自然河川跡（ＳＲ０１，０２）から出土した木製品３点と，奈良・平安時代の大畦畔を横切るような形で設置されていた木樋１点である。各試料の詳細については，樹種同定結果と共に第10表に記した。

２．方法

剃刀の刃を用いて木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の３断面の徒手切片を作製し，ガム・クロラール（抱水クロラール，アラビアゴム粉末，グリセリン，蒸留水の混合液）で封入し，プレパラートを作製する。作製したプレパラートは，生物顕

微鏡で観察・同定する。

3．結果

樹種同定結果を第10表に示す。試料番号３は，仮道管を主とし道管が認められないことから針葉樹であることは確認できたが，木材組織の保存状態が良好ではないために樹種の同定には至らなかった。他の試料は，針葉樹１種類（ヒノキ属）と広葉樹２種類（コナラ属アカガシ亜属・ケヤキ）に同定された。各種類の主な解剖学的特徴を以下に記す。

・ヒノキ属（*Chamaecyparis* sp.）　ヒノキ科

早材部から晩材部への移行は緩やか～やや急で，晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部に限って認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され，柔細胞壁は滑らか，分野壁孔はヒノキ型で１～４個。放射組織は単列，１～15細胞高。

・コナラ属アカガシ亜属（*Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis* sp.）　ブナ科

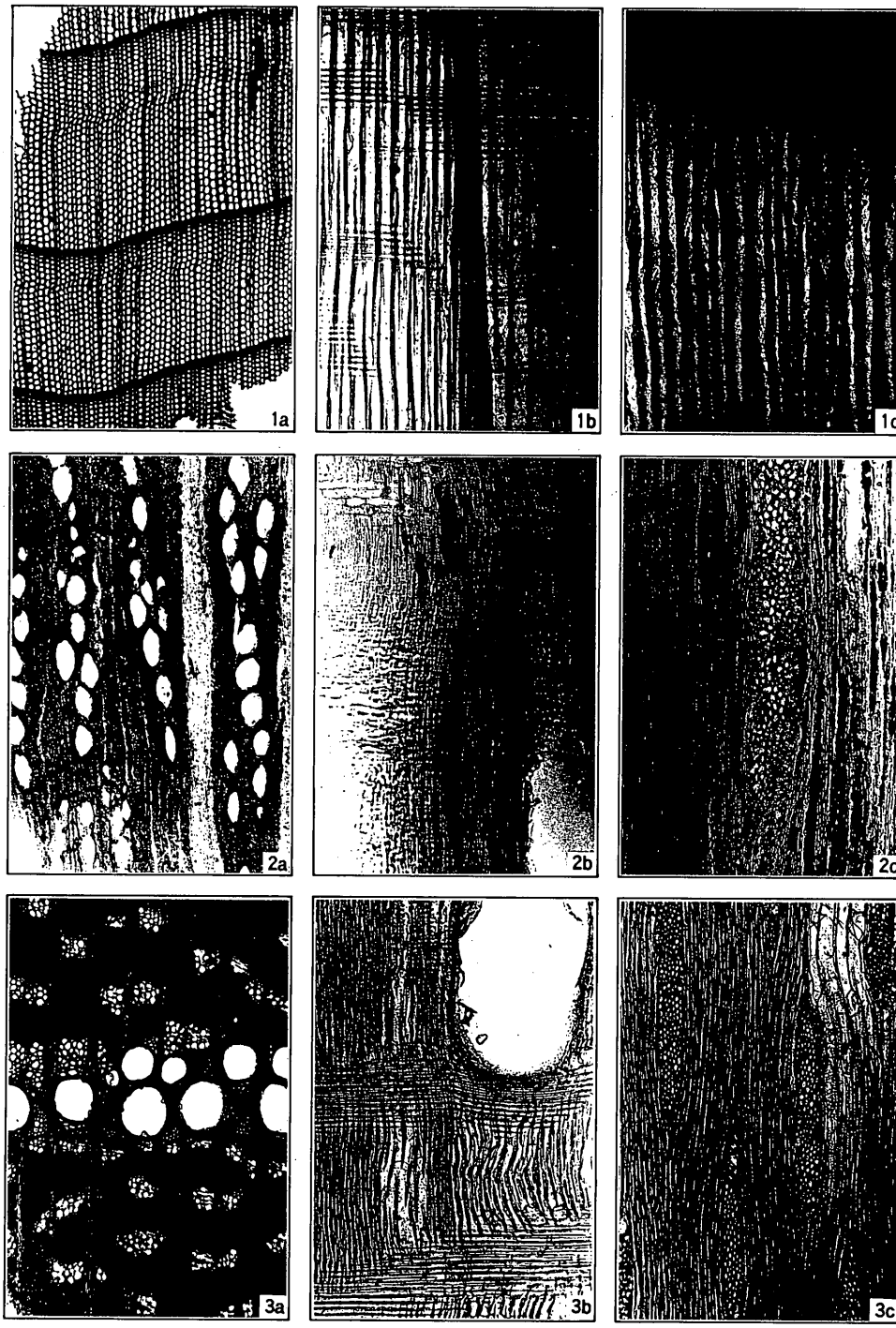
放射孔材で，管壁厚は中庸～厚く，横断面では楕円形，単独で放射方向に配列する。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性，単列，１～15細胞高のものと複合放射組織とがある。

・ケヤキ（*Zelkova serrata*（Thunb.）Makino）　ニレ科ケヤキ属

環孔材で孔圏部は１～２列，孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減，塊状に複合し接線・斜方向の紋様をなす。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列，小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅲ型，１～10細胞幅，１～50細胞高で，上限の縁辺部を中心に結晶細胞が顕著に認められる。柔組織は周囲状。

試料番号	出土位置	用途	時代・時期	樹　　種	報告書遺物番号
1	3②区ＳＲ０１	不明	弥生時代中期～終末期	ヒノキ属	1713
2	3②区ＳＲ０２	鍬	弥生時代中期～終末期	コナラ属アカガシ亜属	1712
3	3②区大畦	木樋	奈良・平安時代	針葉樹	挿図第213
4	3②区ＳＲ０１	不明	弥生時代中期～終末期	ケヤキ	1711

第10表　樹種同定結果



1．ヒノキ属（試料番号１）
2．コナラ属アカガシ亜属（試料番号２）
3．ケヤキ（試料番号４）
a：木口，b：柾目，c：板目

200 μm：a
200 μm：b，c

第269図　木材の顕微鏡写真(3)

4．考察

出土した木製品は，鍬１点，木樋１点，用途不明２点である。鍬はアカガシ亜属，木樋は針葉樹，用途不明はヒノキ属とケヤキにそれぞれ同定された。

鍬の樹種については，西日本を中心に多くの遺跡で調査されており，時代・時期に関わらずアカガシ亜属が多いことが明らかとなっている（島地・伊東，1988；伊東，1991）。香川県においても，下川津遺跡，林・坊城遺跡，龍川五条遺跡，鴨部・川田遺跡で鍬・鋤の樹種同定が行われている（島地・林，1990；鈴木・能城，1990；パリノ・サーヴェイ株式会社，1993a；未公表資料）。その結果でもアカガシ亜属が多数確認されており，アカガシ亜属を中心とした用材選択が行われていたことが推定される。今回の結果もその一例といえる。

木樋は針葉樹であった。木樋については，郡家一里屋遺跡で８世紀後半の試料がニレ科に同定された例が知られている（パリノ・サーヴェイ株式会社，1993b）。しかし，県内で他に奈良・平安時代の木樋の樹種を明らかにした例は知られていない。奈良・平安時代の木樋については，全国的にも用材を明らかにした例が少なく，当該期の用材選択の詳細は不明である。近世の江戸では，多数の木樋について樹種同定が行われており，ヒノキ属を中心とした針葉樹が多いことが明らかとなっている（パリノ・サーヴェイ株式会社，1988，1996；高橋・橋本，1995など）。香川県では，高松市内から出土した近世の木樋が複維管束亜属（いわゆるニヨウマツ類）という報告例がある（市原・宮田，1984）。

針葉樹は一般に加工が容易で，近世の木樋に多いヒノキ属は耐水性に優れた材質を有している。そのため，木樋以外にも曲物などに多数確認されている（島地・伊東，1988；伊東，1991）。香川県でも東山崎・水田遺跡，太田下・須川遺跡，鴨部・川田遺跡などで曲物にヒノキ属が確認された例が知られている（パリノ・サーヴェイ株式会社，1992；未公表資料）。この結果から，香川県においても古くからヒノキ属が耐水性を必要とする用途に利用されていたことが推定される。ヒノキ属は，今回調査を行った用途不明木製品（試料番号１）に確認されており，本遺跡で古くから利用されていた可能性がある。これらのことを考慮すれば，奈良・平安時代の木樋にヒノキ属などの針葉樹が利用されていたことは充分考えられる。今回は樹種を明らかにすることができなかったが，今後類例を増やして確認したい。

用途不明木製品はヒノキ属とケヤキであった。両種とも，これまでにも県内の遺跡で確認されており（島地・林，1990；能城・鈴木，1990；パリノ・サーヴェイ株式会社，

1992，1993aなど），それぞれの材質を生かした用材選択が行われていたと考えられる。本遺跡でも用途に合わせた樹種の使い分けが行われていた可能性がある。今後さらに資料を蓄積することで，より詳細な用材選択の実態が明らかにできよう。

〈引用文献〉

市原輝士・宮田忠彦(1984) わが町の歴史　高松，p.239，　文一総合出版.

伊東隆夫(1990)日本の遺跡から出土した木材の樹種とその用途Ⅱ．木材研究・資料，26，p.91－189.

能城修一・鈴木三男(1990)昭和63年度調査の分析委託結果．「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡－第2分冊－」，p.533－567，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公団.

パリノ・サーヴェイ株式会社(1988) 木製品の樹種同定．「東京都千代田区　紀尾井町遺跡調査報告書　本文編」，p.524－534，千代田区紀尾井町遺跡調査会.

パリノ・サーヴェイ株式会社(1990)．下川津遺跡における花粉・珪藻分析委託報告．「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡　－第2分冊－」，p.479－518，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公団.

パリノ・サーヴェイ株式会社(1992)木製品の樹種．「高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第1冊　東山崎・水田遺跡　第1分冊」，p.358－368，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局.

パリノ・サーヴェイ株式会社(1993a) 林・坊城遺跡自然河川出土木材の樹種．「高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第2冊　林・坊城遺跡」，p.224－238，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局

パリノ・サーヴェイ株式会社(1993b)郡家一里屋遺跡出土木材等分析委託業務報告．「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第十二冊　郡家一里屋遺跡」，p.227－233，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団

パリノ・サーヴェイ株式会社(1996)自然科学分析．「汐留遺跡（第3分冊）　－汐留遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書－」，p.103－253，汐留地区遺跡調査会

パリノ・サーヴェイ株式会社(1996)川津下樋遺跡における植物性遺物の同定．「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第二十一冊　川津下樋遺跡」，p.174－185，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団.

島地　謙・林　昭三(1990)昭和61年度調査の分析委託結果．「瀬戸大橋に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡　－第2分冊－」，p.520－532，香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公団.

島地　謙・伊東隆夫編(1988)日本の遺跡出土木製品総覧．p.296，雄山閣.

高橋　敦・橋本真紀夫(1995)遺構構築材料の同定．「飯田町遺跡」，p.467－480，飯田町遺跡調査会.

第５章　まとめ

第１節　遺構の変遷（第270～275図）

弥生時代中期以前の遺構は検出されていないが，遺物は旧石器，縄文土器及び弥生前期の土器が検出されている。

弥生時代中期

Ⅲ区においては住居跡は検出されていないものの，川跡から多量の土器が出土している。弥生時代中期の土器が砂層中から出土することから，この時期の川跡は流水が存在していたことがわかる。また確実に弥生時代中期と考えられるのは３①(2)ＳＤ０１である。

弥生時代終末期

この時期が遺構・遺物とも一番多い。弥生時代中期に流水の存在した川跡は，埋土の黒色系の粘質土から弥生時代終末頃の遺物が大量に出土することから，この時期には流水がなく埋没を始めたものと考えられる。ここで建物遺構及び溝跡の変遷をまとめておく。

遺構の前後関係が明らかなのは，ＳＤ０３がＳＨ０６・０７より新しいこと及びＳＤ１２がＳＨ０８より新しいことである。遺構の配置状況からは，ＳＤ０８とＳＨ０２，ＳＤ１２とＳＨ０８・ＳＨ０１がそれぞれ密接な関係があることがわかる。また主軸方位からはＳＨ０１，ＳＨ０２，ＳＨ０４，ＳＢ０５及びＳＤ０３がほぼ同じ方位であることから，同じ時期の可能性がある。これらから，ＳＨ０１，ＳＨ０２，ＳＨ０４，ＳＢ０５，ＳＤ０３，ＳＤ０８及びＳＤ１２が同時期で，これに先行するものとしてＳＨ０６・０７及びＳＨ０８が考えられる。ＳＨ０１，ＳＨ０２及びＳＨ０４はいずれも埋土から下川津Ⅴ式の土器が出土していることから，同時期と考えることができる。ＳＤ０３とＳＤ０８は連続する溝であり，埋土からは下川津Ⅳ～Ⅴ式の遺物が出土している。ＳＤ１２は埋土から下川津Ⅴ式の土器が出土している。以上から，ＳＢ０５を除き出土遺物からも同時性を考えることは可能であろう。またＳＨ０６・０７及びＳＨ０８からは下川津Ⅲ～Ⅳ式頃の遺物が出土しており，遺構の前後関係と矛盾はない。ＳＨ０５は円形竪穴住居跡であり，ＳＨ０４と近接していることから，ＳＨ０４と同時期ではなく，やや古い可能性を考えてい

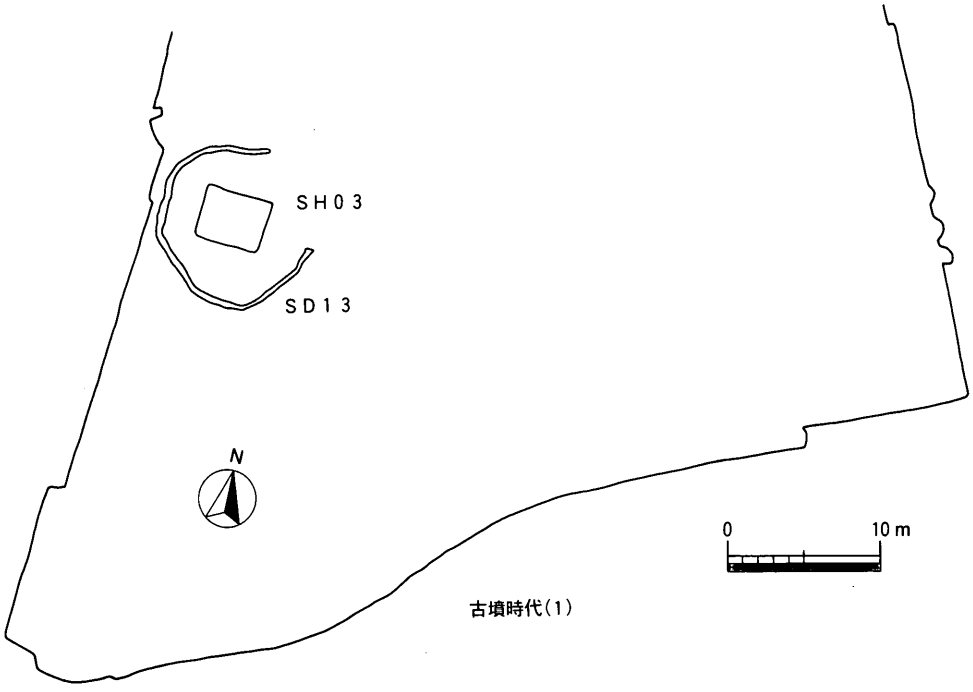
たが，埋土からは下川津Ⅴ～Ⅵ式の遺物が出土しており，ＳＨ０４と併存していたかやや後出する可能性がある。ＳＨ１０は炉跡から下川津Ⅴ式頃の土器が出土しているので，ＳＨ０４他と同じ時期であろう。

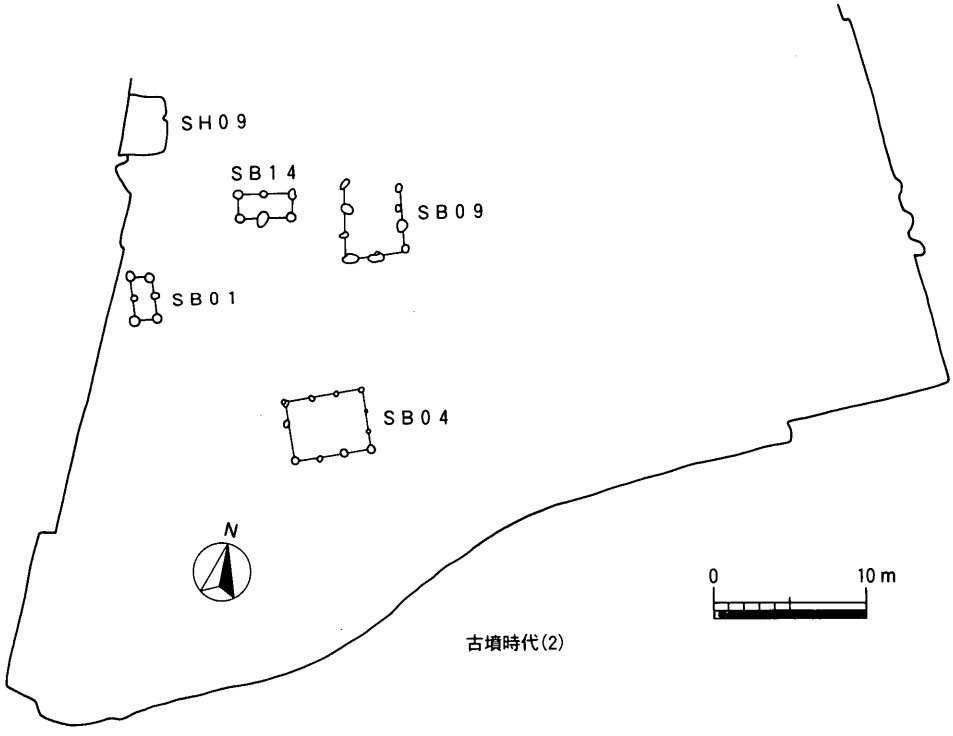
古墳時代後期から平安時代（第270～272図）

まず，掘立柱建物跡と竪穴住居跡の変遷についてまとめておく。確実な遺構の新旧関係は以下のとおりである。

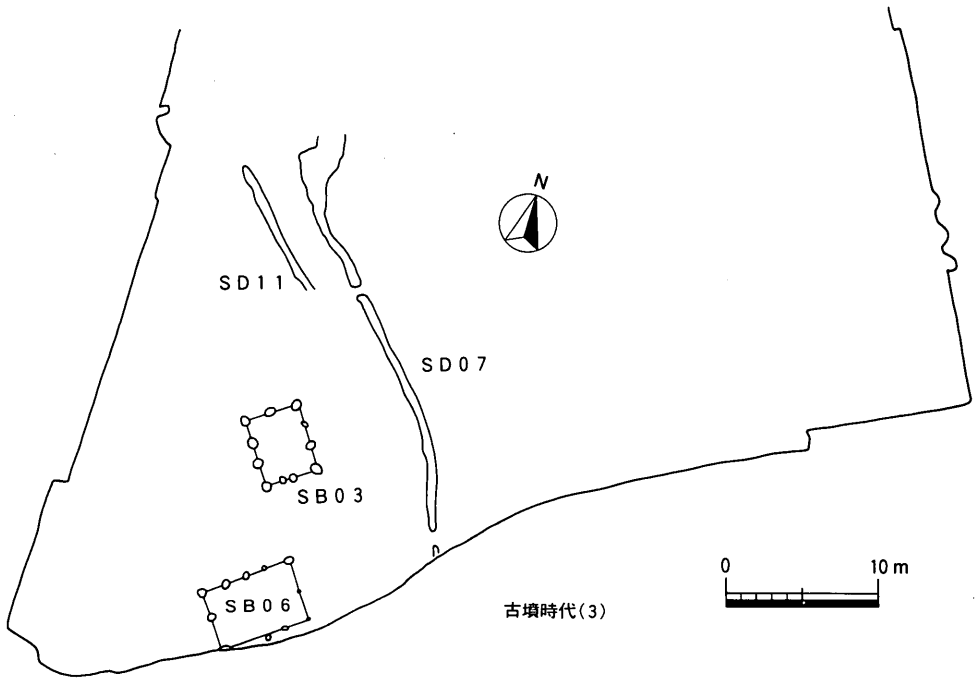
古	新
ＳＨ０３	ＳＤ１１
ＳＨ０３（ＳＤ１３）	ＳＢ０１
ＳＨ０３（ＳＤ１３）	ＳＢ１２
ＳＢ１４	ＳＤ０７

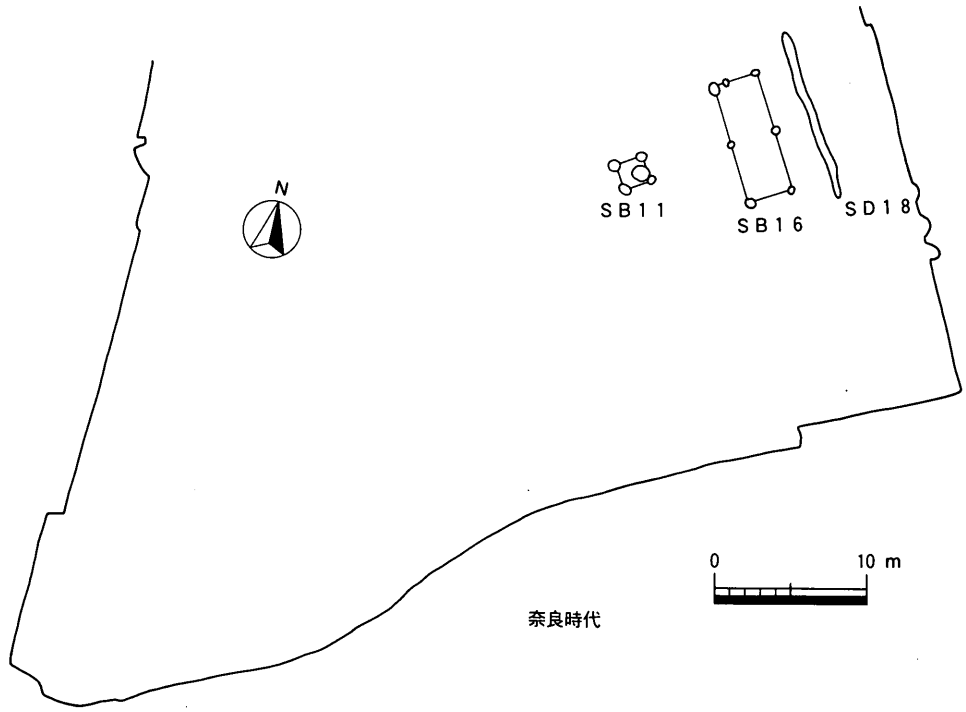
重複で同時存在しないものは，ＳＢ１０とＳＢ０２，ＳＢ１０とＳＢ１３，ＳＢ１０とＳＢ１２，ＳＢ１２とＳＢ０８，ＳＢ０８とＳＢ０３である。また同時存在の可能性が高いものは，ＳＢ０２，ＳＢ０８及びＳＢ１３で，これらは主軸方位及び柱間距離がきわめて類似している。このほか，主軸方向の類似性を根拠に同時性が考えられる組み合わせは，ＳＢ０１，ＳＢ０４　，ＳＢ０９及びＳＢ１４，並びにＳＢ０３及びＳＢ０６，並びにＳＢ１１及びＳＢ１６である。これらの時期については，ＳＢ０２・ＳＢ０８・ＳＢ１３の群は，ＳＢ０２柱穴から平安時代前半（９世紀後半頃）の土器が出土したことから，おおむね平安時代前半と考えられよう。ＳＤ０７とＳＤ１１は平面形及び出土遺物から７世紀中葉頃（TK217）の同時期の遺構であると考えられるので，これより古いＳＢ１４・ＳＢ０１・ＳＢ０４・ＳＢ０９の群は７世紀中葉以前であろう。またＳＨ０９はTK209～TK217型式の須恵器を出土し，ＳＢ１４他の群とほぼ同じ主軸方向であることから，同時期と考え，このことからＳＢ１４群も７世紀前葉頃と考えられる。また，ＳＢ０３・ＳＢ０６はＳＤ０７と方向が一致することから同時期と考えて７世紀中葉頃であろう。ＳＢ１１及びＳＢ１６は，主軸方向はＳＢ０２群と同じであるが，柱穴出土遺物及びこの群に関連を持つであろうＳＤ１８出土遺物からは奈良時代の時期が考えられる。このことは逆にＳＢ０２群が奈良時代遡ることを示唆するものかもしれないが，ここでは出土遺物から平安時代としておく。ＳＢ１０，ＳＢ１２及びＳＢ１５については，年代決定の根拠はない。ＳＨ０３はＳＢ１４群より古いことから７世紀前葉以前であるが，周溝ＳＤ１３から土師器の甑が出土していることと，



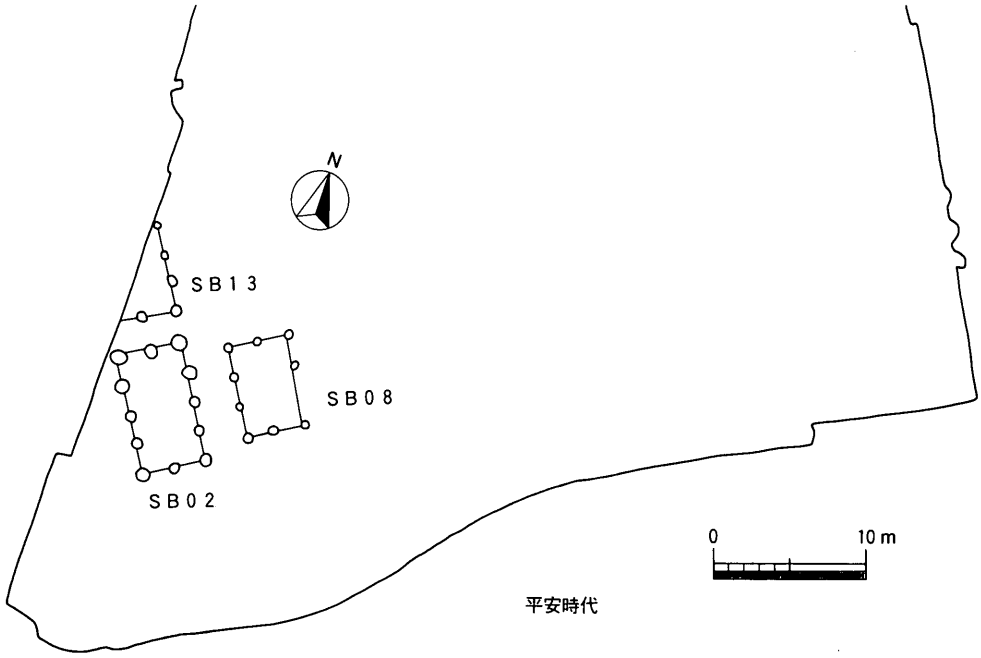


第270図　古墳時代～平安時代建物変遷図(1)（1/500）





第271図　古墳時代～平安時代建物変遷図(2)（1/500）



第272図　古墳時代～平安時代建物変遷図(3)（1/500）

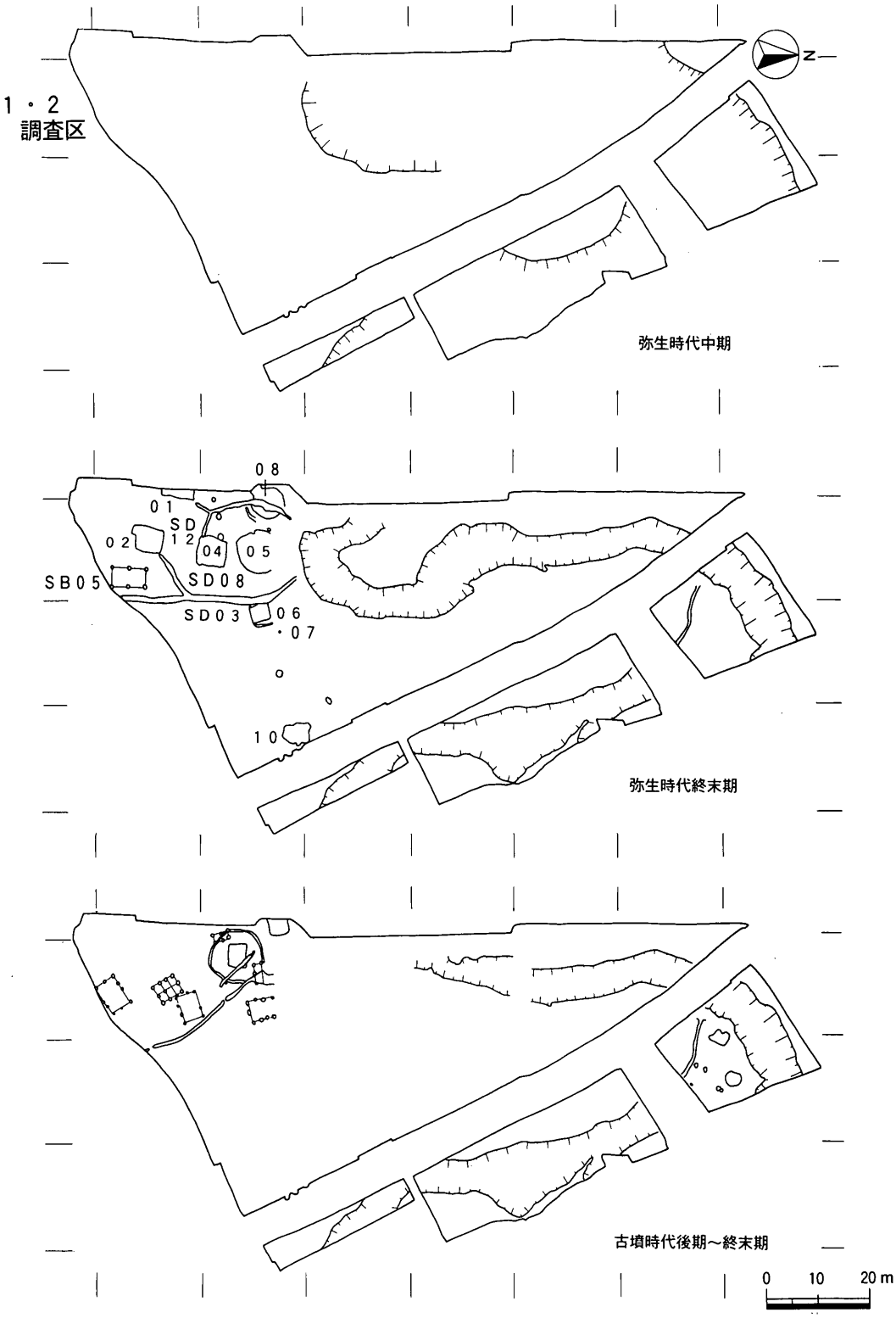
下川津遺跡の調査成果[1]では6世紀後葉に真北に近い方位を持つ住居跡が存在することから，6世紀後葉頃としておく。以上まとめると，第270～272図のようになる。

川跡部分は，弥生時代終末期に埋没を開始したものの，7世紀以前に一時期水流が存在したようで，川底部分から7世紀頃の遺物が出土する。しかしながら奈良時代には，川跡はほぼ埋没し水田化されたようである。水田耕作土及びそれを覆う洪水砂層からは平安時代に下る遺物は出土していない。また，3②調査区では奈良時代の水田畦畔とともに畦道状の大畦畔を検出している。

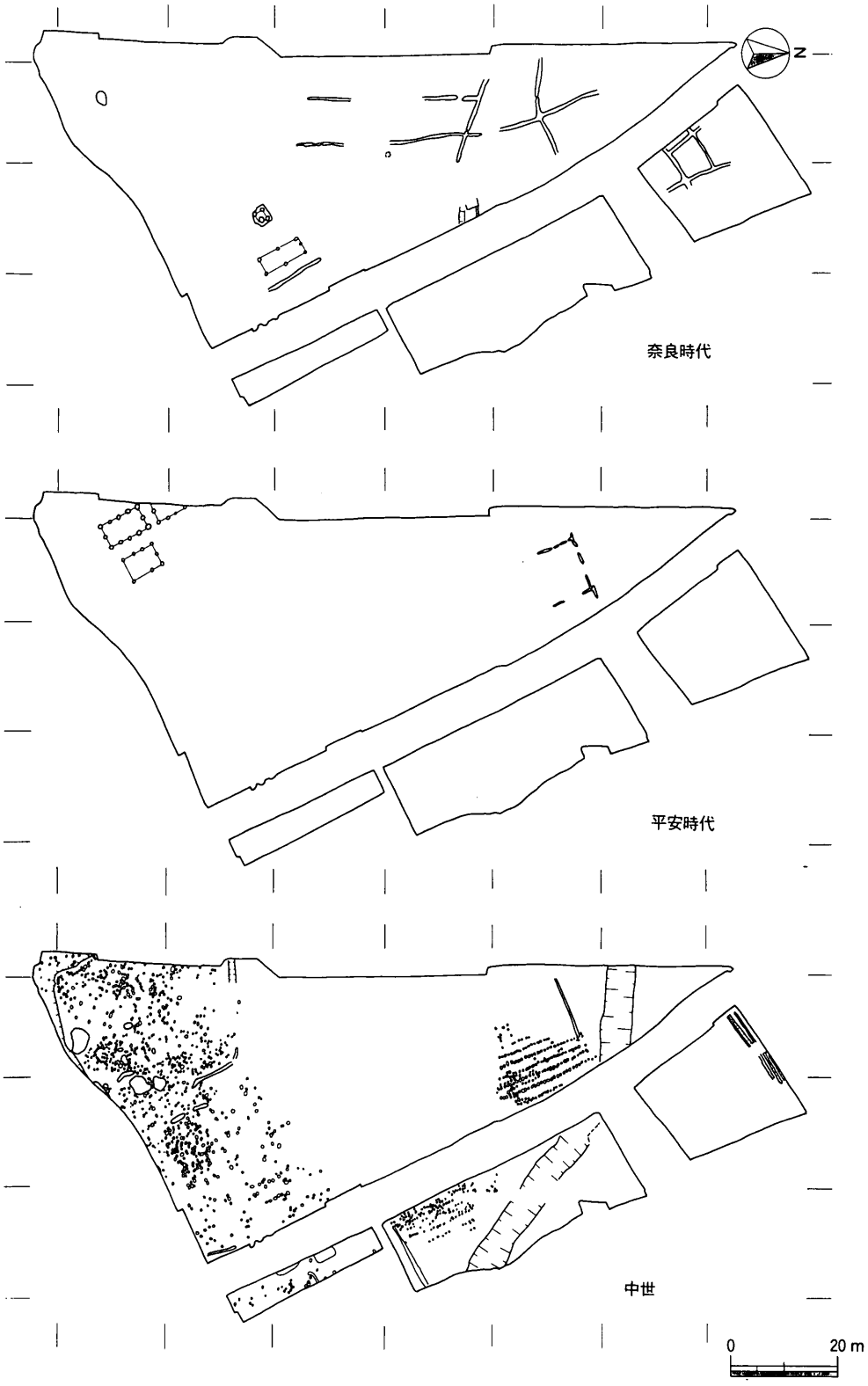
中世

柱穴は多数検出したので，建物跡が存在したことは確実であるが，建物そのものは復元できていない。出土遺物は，中国産陶磁器や瓦器椀あるいは土師質の鍋・釜から平安時代末から16世紀前後にわたるので，集落の存続時期も同じであろう。また，2④⑤調査区南端には，方形区画溝と考えられる溝が存在する。また土坑墓も検出している。低湿地部分

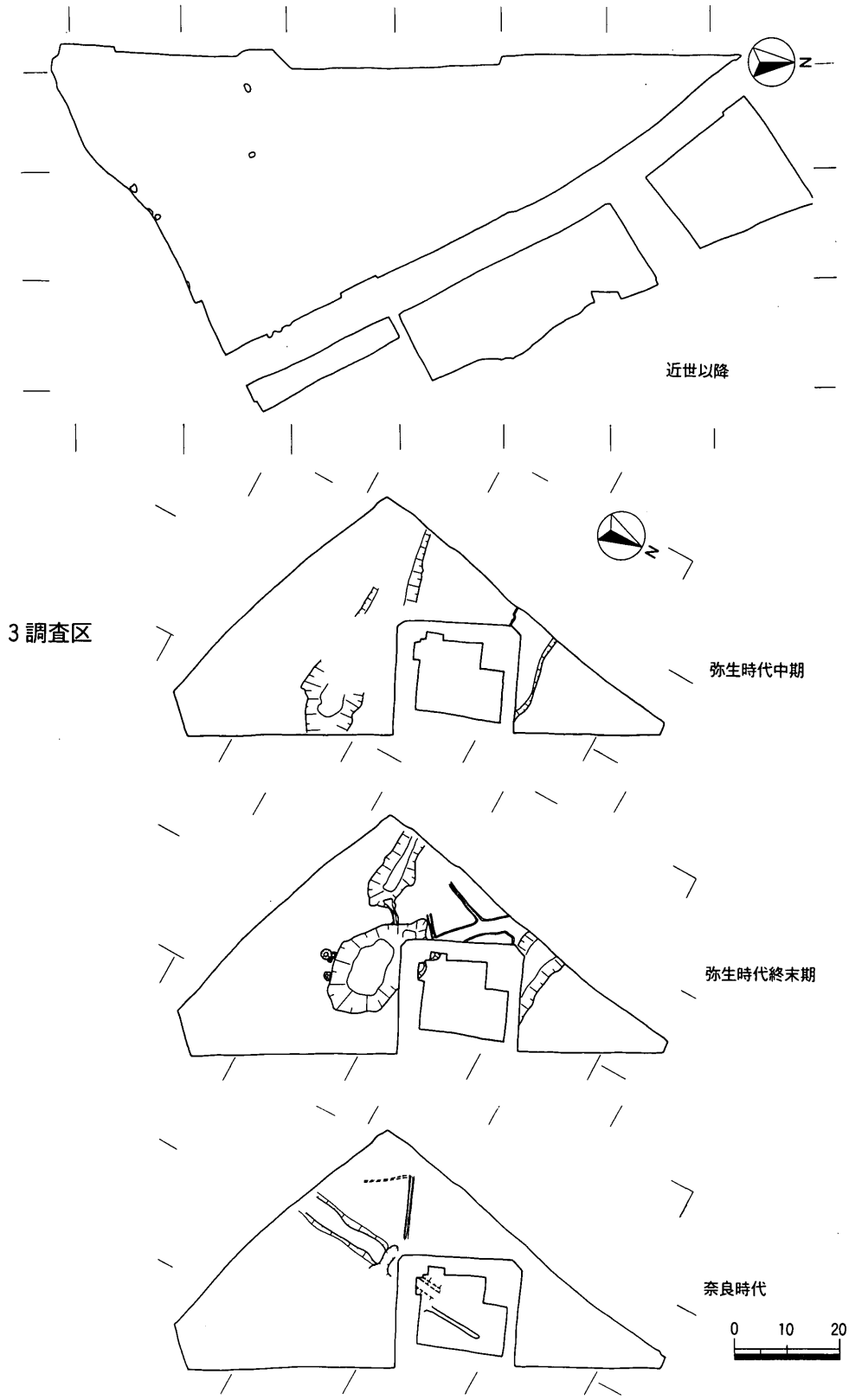
(1)西村尋文「第Ⅴ章第4節下川津遺跡における6～8世紀の集落構造と動向」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡』香川県教育委員会，(財)香川県埋蔵文化財調査センター，本州四国連絡橋公団　1990



第273図　遺構変遷図(1)（1/1,250）



第274図　遺構変遷図(2)（1/1,250）



第275図　遺構変遷図(3)（1/1,250）

は引き続き水田が作られていたようで，一部で水田畦畔跡が検出される他，土層断面には何層もの鉄分沈着層が見られる。

近世

わずかに水溜状の遺構が存在するのみである。

第2節　弥生時代の石器について

川津一ノ又遺跡Ⅲ区からは，約1万8000点の石器剥片が出土しているが，このうちほとんどがサヌカイト製である。これらの種類ごとの内訳は第11表のとおりである。いわゆる製品に限っても多数にのぼるため，実測作業は以下のように遺物の選択を行って実施した。

1　石鏃は，弥生時代の時期の限られる遺構から出土したものを中心とした。

2　石庖丁，石錐，石槍及び磨製石器は原則全点とし，その他の石器は時期の限られる遺構で残存状況の良いものとした。

3　剥片類（使用痕，二次加工等のあるもの）は，弥生時代中期の遺構を中心に時期の限られる遺構のみとした。

4　その他，特に掲載すべきと判断したもの。

また，剥片を含めたサヌカイト製石器の総重量一覧が第12表である。

器種		点数
打製石器	石鏃	228
	石槍	22
	石錐	39
	石庖丁	166
	石鎌	4
	スクレイパー	700
	石斧	144
	楔形石器	29
	原石・盤状剥片	39
	調整痕	4938
	砕片	12546
	その他	34
計		18889
磨製石器	太型蛤刃石斧	6
	柱状片刃石斧	1
	扁平片刃石斧	6
	砥石	10
	紡錘車	1
	石錘	5
	台石	1
計		30

第11表　弥生時代石器

器種	重量(g)
石鏃	364
石槍	758
石錐	217
石庖丁	4,471
石鎌	130
スクレイパー	21,824
石斧	10,591
楔形石器	628
原石・盤状剥片	14,195
調整痕	67,410
砕片	61,426
その他	2,370
計	184,382

第12表　サヌカイト石器重量

第3節　灰釉陶器について

川津一ノ又遺跡では，10点の小破片の灰釉陶器椀及び皿が出土している。いずれも猿投窯編年で黒笹90号窯式から折戸53号窯式のものである。現在の所，公表されている資料を見る限りにおいては，県内出土資料

は少ない。緑釉陶器が平安期の遺跡では，量を問わなければほとんどの遺跡で出土するようであるのとは，対照的である（川津一ノ又遺跡では緑釉陶器は11点出土している）。現時点では，灰釉陶器の出土状況について評価できる段階とは考えられないため，ここでは一覧表（第13表）と資料の実測図（第276図）を掲載するにとどめたい。なお資料の実測図は今回実測したものであり，4は中世の山茶碗である。また，讃岐国分寺及び讃岐国府跡からはおそらく多量の資料が出土しているものと思われるが，実態を把握していないので，ここでは掲載していない。

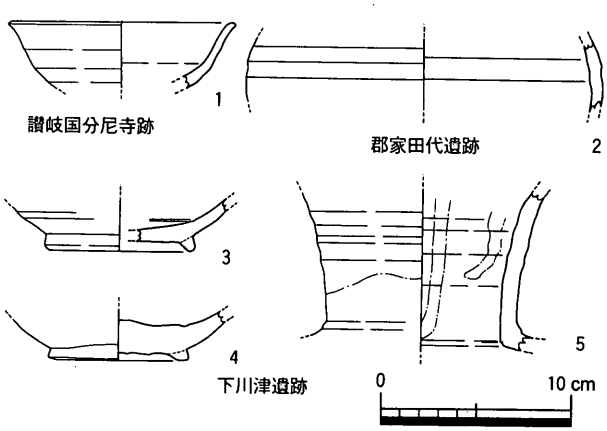
遺跡名	器種	数量
買田岡下遺跡	高台	1
中村遺跡	高台	1
石田遺跡	椀	1
郡家田代遺跡	高台	1
郡家田代遺跡	壺	1
龍川四条遺跡	段皿	1
龍川四条遺跡	高台	1
郡家一里屋遺跡	椀	1
郡家一里屋遺跡	皿	3
郡家一里屋遺跡	壺	1
郡家一里屋遺跡	高台	2
下川津遺跡	椀	1
下川津遺跡	壺	1
下川津遺跡	山茶碗	1
讃岐国分尼寺跡	椀	1
川津一ノ又遺跡	椀	4
川津一ノ又遺跡	皿	3
川津一ノ又遺跡	口縁	3
六条・上所遺跡	壺	1

第13表　香川県内出土の灰釉陶器

第4節　帯飾りについて

川津一ノ又遺跡ではⅢ区部分から銅製帯金具巡方（表）が出土し，Ⅳ区からは同一個体と考えられる巡方（裏）が出土している。現在のところ，県内出土資料は少ない。ここでは，過去の集成表[(1)]に一部追加・修正を加えるに留める。

また，石帯も川津一ノ又遺跡から出土しているので，一覧表を掲載する。

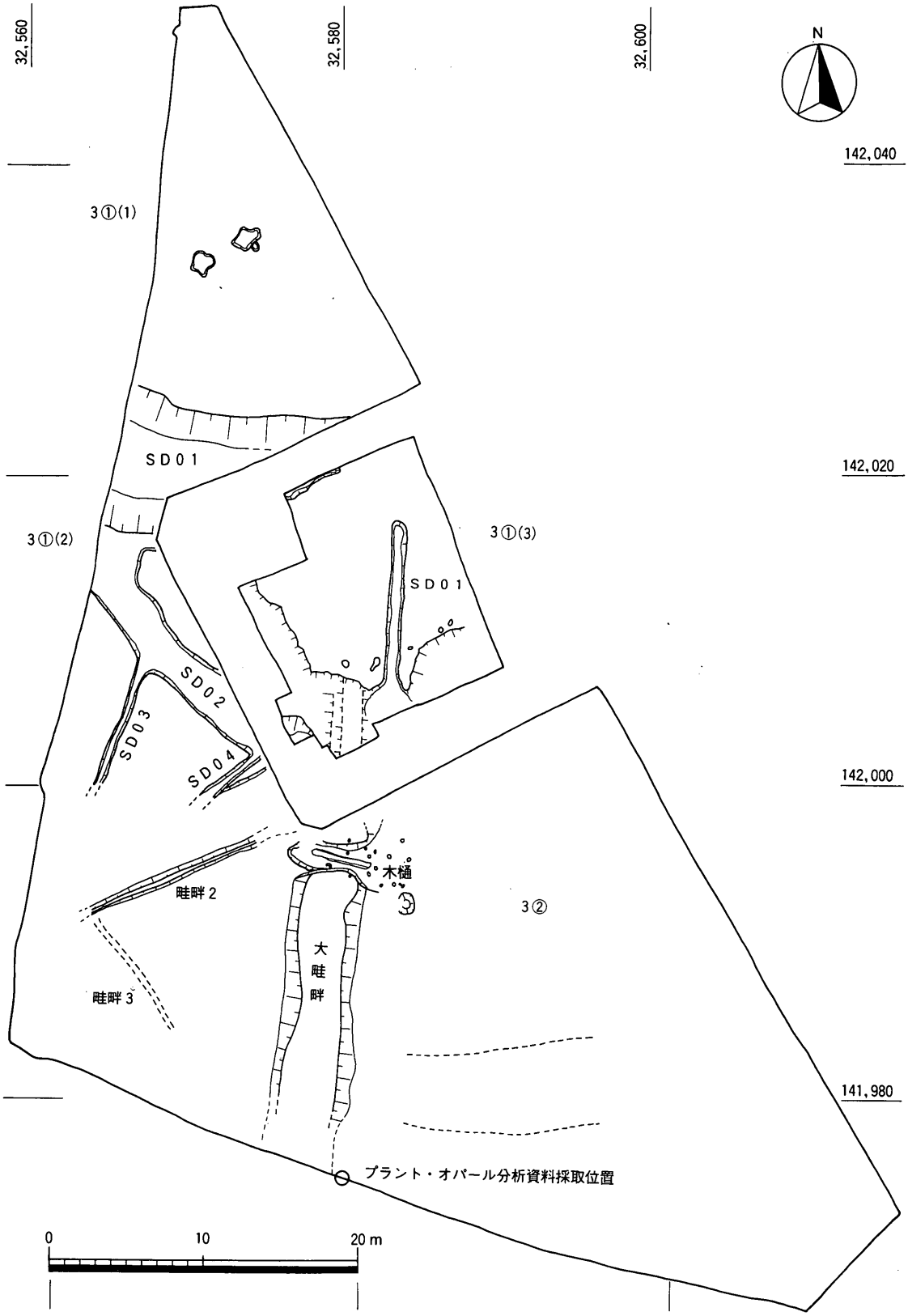


第276図　灰釉陶器・山茶碗（1/4）

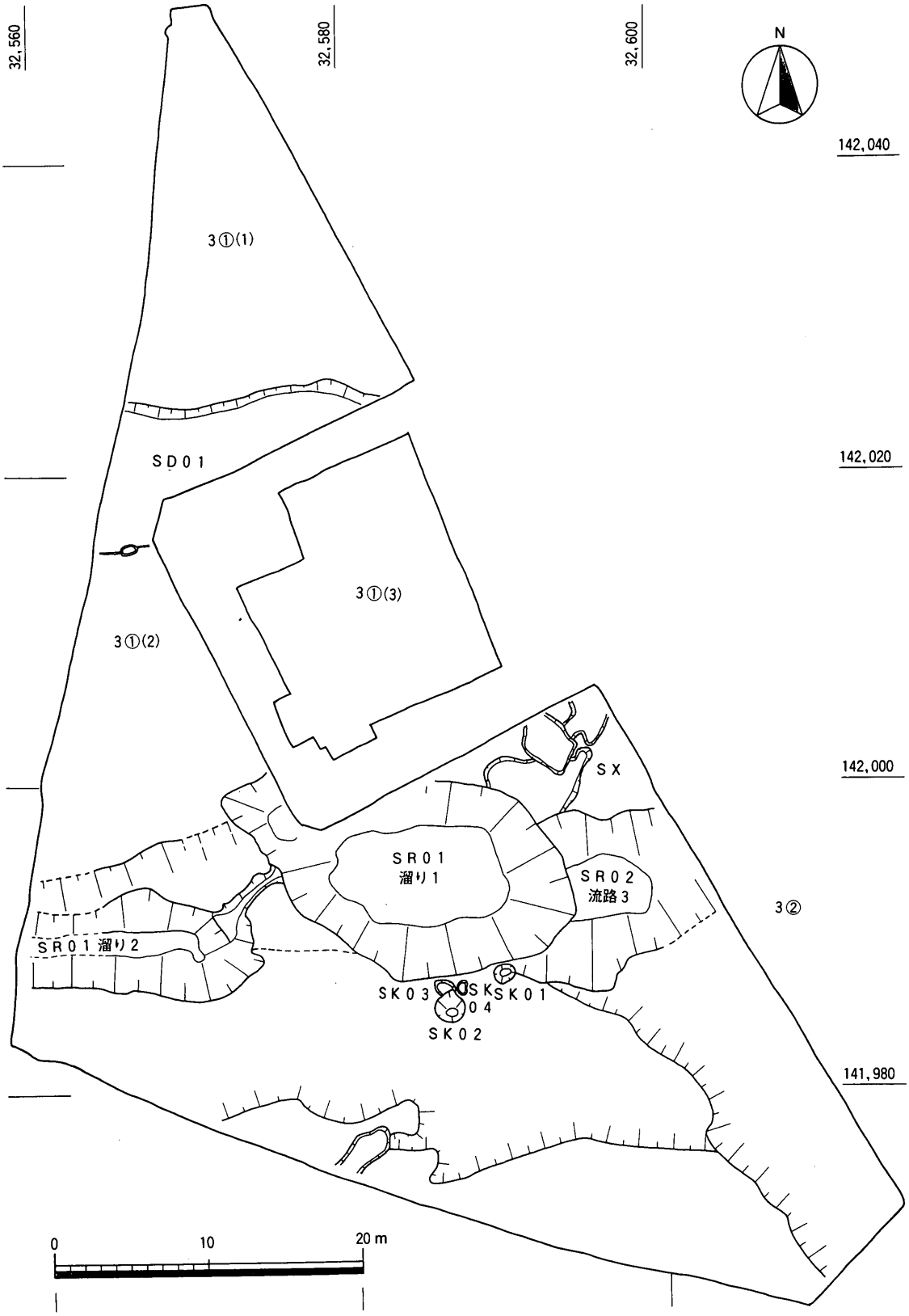
（1）(財)香川県埋蔵文化財調査センター「川津一ノ又遺跡Ⅲ区」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報平成3年度』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団高松建設局　1992

	遺跡名	種類	縦(mm)	横(mm)	材質	文献
帯金具	中村遺跡	巡方（表）	30	31	銅	四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第一冊
	羽佐島遺跡	巡方（表）	26	27	銅	瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　Ⅲ
	大浦浜遺跡	丸鞆（表）	15	24	銅	瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　Ⅴ
	大浦浜遺跡	丸鞆（表，裏）	20	30	銅	瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　Ⅴ
	大浦浜遺跡	鉸具	23	33	銅，渡金あり	瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　Ⅴ
	川津一ノ又遺跡	巡方（表）	32	33	銅	本報告，四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報平成３年度
	前田東・中村遺跡	巡方（表）	21	26	銅	高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第３冊
	前田東・中村遺跡	巡方（表）	37	34	銅	高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第３冊
	川津一ノ又遺跡	巡方（裏）		29	銅	未報告
	買田岡下遺跡	丸鞆（環状構造）	20	32		国道バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成４年度
	買田岡下遺跡	巡方（表）	27	29	銅	国道バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成４年度
石帯	下川津遺跡	丸鞆	26	38	水晶	瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ　下川津遺跡
	川津一ノ又遺跡	巡方			サヌカイト	本報告
	川津東山田遺跡	巡方	40	40		四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成２年度
	国分寺下日名代遺跡	巡方				四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報　平成元年度
	郡家一里屋遺跡	丸鞆			サヌカイト	四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第十二冊

第14表　香川県内出土の帯飾り



第277図　3調査区上層遺構配置図（1/400）



第278図　3調査区下層遺構配置図（1/400）

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
114	20	49	縄文土器	深鉢	3②C28 SR01 溜り ⑨	*	細礫多量	2.5Y7/3 浅黄色	不明	不明	
115	20	49	縄文土器	深鉢	1②北東Gr. 人力7層	1/8	粗砂多量	2.5Y6/2 灰黄色	不明	不明	
116	20	49	縄文土器	深鉢	3②3Tr. 西壁 ｶﾍﾞｶｷ一括	*	長石・石英粗砂多量	2.5Y5/2 暗灰黄色	不明	条痕	
117	20		縄文土器	深鉢	3②第3微高地 縄文	1/8	細礫多量	2.5Y6/3 にぶい黄色～7.5YR2/3 極暗褐色	不明	上半ﾖｺﾅﾃﾞ，下半条痕	
118	21		弥生土器	壺	3①(2) SD01 弥生中期の溝	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/2 灰褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
119	21		弥生土器	壺	3①(2) SD01 弥生中期の溝	2/8	長石・石英中砂多量	10YR4/1 褐灰色	ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
120	21		弥生土器	壺	3①(2) SD01 弥生中期の溝	1/8	長石・石英粗砂少量	7.5YR5/3 にぶい褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
121	21	50	弥生土器	壺	3①(2) SD01 弥生中期の溝	1/8	長石・石英粗砂含	10YR2/2 黒褐色～2.5Y7/2 灰黄色	不明	不明	
122	21	50	弥生土器	鉢	3①(2) SD01 弥生中期の溝	5/8	長石・石英中砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	底に4穴
123	21		弥生土器	甕	3①(2) SD01 弥生中期の溝	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR4/1 褐灰色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
124	21		紡錘車		3①(2) SD01 弥生中期の溝	8/8	粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	不明	不明	
177	29	50	弥生土器	壺	3②SX	2/8	細礫少量	2.5Y7/2 灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
178	29		弥生土器	壺	3②SX	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y4/2 暗灰黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
179	29	50	弥生土器	壺	3②SX	8/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂含	10YR3/1 黒褐色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
180	29		弥生土器	壺	3②SX	2/8	長石・石英粗砂少量	2.5Y8/1 灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
181	29		弥生土器	壺	3②SX	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y2/1 黒色	ﾅﾃﾞ	不明	
182	29		弥生土器	壺	3②SX	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y4/3 ｵﾘｰﾌﾞ褐色	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ後櫛描文	
183	29		弥生土器	壺	3②SX	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/3 にぶい黄褐色	不明	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	
184	29		弥生土器	甕	3②SX	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/2 灰黄褐色	ﾅﾃﾞ	不明	
185	41		弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y3/2 黒褐色	ﾊｹﾒ	不明	
186	41	50	弥生土器	壺	1①C16SR02 9	5/8	長石・石英細礫多量	2.5YR6/8 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	上半ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
187	41		弥生土器	壺	1①SR02 9	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/4 にぶい赤褐色	不明	ﾖｺﾅﾃﾞ	
188	41	50	弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/6 明黄褐色	不明	ﾖｺﾅﾃﾞ	
189	41		弥生土器	壺	1①SR02 弥生中期流路9	2/8	長石・石英粗砂含	7.5YR8/4 浅黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ	
190	41	50	弥生土器	壺	1①SR02 9	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/4 にぶい黄色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
191	41		弥生土器	壺	1①SR02 9	1/8	長石・石英中砂多量	7.5YR6/4 にぶい橙色	不明	ﾖｺﾅﾃﾞ	
192	41		弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂含	10YR6/4 にぶい黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	

第15表　土器観察表(1)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
193	41		弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b	1/8	長石・石英中砂少量	2.5Y7/2灰黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
194	41	50	弥生土器	壺	1①SR02 9	6/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
195	41		弥生土器	壺	1①SR02 9	1/8	長石・石英粗砂含	7.5YR7/4にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
196	41	50	弥生土器	壺	1①SR02 弥生中期流路9	8/8	長石・石英粗砂含	10YR5/2灰黄褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
197	41		弥生土器	壺	1①SR02 9	1/8	長石・石英粗砂含	7.5YR4/1褐灰色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
198	41		弥生土器	壺	1①SR02 弥生中期流路9	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4にぶい橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
199	41		弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b	1/8	長石・石英粗砂少量	2.5Y7/2灰黄色	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
200	41		弥生土器	壺	1①SR02 弥生中期流路9	1/8	長石・石英中砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後端部ﾖｺﾅﾃﾞ	
201	41	50	弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	不明	
202	41		弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂含	5YR7/2明褐灰色	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ，口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
203	42		弥生土器	壺	1①SR02 弥生中期流路9	1/8	長石・石英細砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ	不明	
204	42		弥生土器	壺	1①SR02 弥生中期流路9	1/8	長石・石英粗砂含	5YR6/4にぶい橙色	不明	ﾊｹﾒ	
205	42		弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/1褐灰色～5YR5/3にぶい赤褐色	不明	不明	
206	42		弥生土器	壺	1①SR02 9	1/8	長石・石英粗砂少量	10YR6/6明黄褐色	ﾍﾗｶｷ	ﾊｹﾒ	
207	42		弥生土器	甕	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR8/2灰白色	不明	ﾖｺﾅﾃﾞ	
208	42		弥生土器	甕	1①SR02 9	1/8	長石・石英粗砂含	7.5YR4/2灰褐色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ，口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
209	42		弥生土器	甕	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	2/8	長石・石英粗砂少量	2.5YR3/2暗赤褐色～2.5YR5/4にぶい赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
210	42		弥生土器	甕	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
211	42		弥生土器	甕	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/3にぶい褐色	不明	ﾖｺﾅﾃﾞ	
212	42		弥生土器	甕	1①SR02 9	1/8	長石・石英粗砂少量	2.5Y7/4浅黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
213	42		弥生土器	甕	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂少量	10YR7/4にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
214	42		弥生土器	甕	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b	2/8	長石・石英粗砂含	5YR6/6橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
215	42		弥生土器	甕	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂少量	7.5YR4/2灰褐色	胴ﾊｹﾒ，口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
216	42		弥生土器	甕	1①C16SR02 9	1/8	長石・石英中砂含	10YR5/2灰黄褐色	頸ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
217	42		弥生土器	甕	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	不明	ﾖｺﾅﾃﾞ	
218	42		弥生土器	甕	1①SR02 9	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/2灰褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
219	42		弥生土器	甕	1①SR02 9	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
220	42	51	弥生土器	高坏	1①SR02 9	5/8	長石・石英粗砂少量	10YR5/2灰黄褐色～2.5Y7/4浅黄色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	

第16表　土器観察表(2)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
221	42		弥生土器	高坏	1①SR02 弥生中期流路9	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁端部ﾖｺﾅﾃﾞ	
222	42		弥生土器	高坏	1①SR02 9	5/8	長石・石英粗砂含	10R6/8 赤橙色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
223	42	51	弥生土器	高坏	1①SR02 9	2/8	長石・石英細礫含	7.5YR4/1 褐灰色	不明	不明	
224	42		弥生土器	高坏	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9c	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3 にぶい黄色	坏部ﾍﾗﾐｶﾞｷ，脚板ﾅﾃﾞ(ｹｽﾞﾘ状)	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
225	43	51	弥生土器	高坏	1①SR02 9	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	上部ﾅﾃﾞ，下部ﾊｹﾒ後端部ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
226	43		弥生土器	高坏	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂少量	10R4/6 赤色	不明	不明	
227	43	51	弥生土器	高坏	1①SR02 9	8/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2 灰黄色	端部ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ，端部ﾖｺﾅﾃﾞ	
228	43		弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	8/8	長石・石英細礫多量	7.5YR5/6 明褐色	ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
229	43		弥生土器	底部	1①SR02 弥生中期流路9	4/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8 赤色	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
230	43		弥生土器	底部	1①SR02 9	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/4 にぶい黄色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
231	43		弥生土器	底部	1①SR02 弥生中期流路9	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/3 にぶい黄褐色	ﾐｶﾞｷ状ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
232	43		弥生土器	甕	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b	6/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3 にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
233	43		弥生土器	底部	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	3/8	長石・石英粗砂少量	10R5/8 赤色	ﾊｹﾒ	不明	
234	43		弥生土器	底部	1①SR02 弥生中期流路9	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR4/2 灰黄褐色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
235	43		弥生土器	底部	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	1/8	長石・石英粗砂少量	2.5Y6/3 にぶい黄色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
236	43		弥生土器	底部	1①SR02 9	8/8	長石・石英粗砂少量	10YR5/2 灰黄褐色	ﾅﾃﾞ	不明	
237	43		弥生土器	壺	1①SR02 9	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4 にぶい橙色	ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
238	43		弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d	8/8	長石・石英粗砂少量	10YR5/3 にぶい黄褐色	不明	不明	
239	43		弥生土器	底部	1①SR02 9	8/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/4 浅黄色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
240	43		弥生土器	底部	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b	2/8	長石・石英粗砂含	5YR4/1 褐灰色	ﾍﾗｶｷ後ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
241	43		弥生土器	底部	1①SR02 弥生中期流路9	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR4/2 灰赤色～2.5Y7/3 浅黄色	ﾅﾃﾞ	不明	
242	43		弥生土器	底部	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b	1/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂少量	10YR7/2 にぶい黄橙色～7.5YR 3/2 黒褐色	ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
243	43		弥生土器	底部	1①SR02 弥生中期流路9	2/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6 橙色	ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
244	43		弥生土器	底部	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9c	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/1 灰白色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
245	43		弥生土器	底部	1①SR02 弥生中期流路9	6/8	長石・石英細礫多量	10YR4/2 灰黄褐色～5Y7/1 灰白色	ﾊｹ後ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
246	43		弥生土器	底部	1①SR02 弥生中期流路9	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/3 淡黄色	ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
247	43		弥生土器	底部	1①SR02 9	2/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6 橙色	板ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
248	43		弥生土器	底部	1①SR02 弥生中期流路9	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR4/2 灰黄褐色～10R5/6 赤色	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	

第17表　土器観察表(3)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
249	43		弥生土器	壺	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b	3/8	長石・石英粗砂多量	10R5/4 赤褐色	不明	不明	焼成後穿孔
250	43		弥生土器	甕	1①SR02 西壁ﾄﾚﾝﾁ 9c	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/3 淡赤橙色	不明	不明	焼成後穿孔
251	43		紡錘車		1①SR02 9	4/8	長石・石英粗砂含	7.5YR7/3 にぶい橙色			土器片再利用
280	48		弥生土器	壺	1②SR02 川底粗砂	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3 にぶい黄橙色	ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
281	48		弥生土器	壺	1②SR02 川底粗砂	1/8	長石・石英粗砂含	10YR5/2 灰黄褐色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	胴下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
282	48	51	弥生土器	壺	1②SR02 川底粗砂	2/8	長石・石英粗砂含	10YR5/3 にぶい黄褐色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
283	48		弥生土器	底部	1②SR02 川底粗砂	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR4/2 灰黄褐色～2.5Y7/3 浅黄色	ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
284	48		弥生土器	底部	1②SR02 川底粗砂	4/8	長石・石英細砂含	2.5Y7/3 浅黄色	板ﾅﾃﾞ，ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
285	48		弥生土器	底部	1②SR02 川底粗砂	8/8	長石・石英細礫少量	10YR6/2 灰黄褐色～5YR7/4 にぶい橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
286	48		弥生土器	底部	1②SR02 川底粗砂	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/1 褐灰色	ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
287	48		弥生土器	底部	1②SR02 川底粗砂	8/8	長石・石英粗砂含	2.5Y8/3 淡黄色～10YR5/2 灰黄褐色	ﾍﾗｶｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
288	48	51	弥生土器	甕	1②SR02 川底粗砂	7/8	長石・石英中砂多量	2.5Y6/3 にぶい黄色	不明	不明	焼成後穿孔
289	48	51	弥生土器	甕	1②SR02 川底粗砂	5/8	長石・石英粗砂少量	2.5Y8/2 灰白色～10R5/8 赤色	ﾍﾗｶｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	焼成後穿孔
290	48	51	弥生土器	底部	1②SR02 川底粗砂	2/8	長石・石英粗砂少量	7.5YR5/1 褐灰色～10R6/6 赤橙色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	底部穿孔中途終了
291	48		弥生土器	鉢	1②SR02 川底粗砂	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3 にぶい黄色	指ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
292	48		弥生土器	高坏	1②SR02 川底粗砂	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/4 にぶい黄褐色	ﾅﾃﾞ後脚端ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ，脚端ﾖｺﾅﾃﾞ	
293	49	51	弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01確認Tr. 砂層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5YR4/4 にぶい赤褐色	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
294	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01南区 粗砂層(手掘り)	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量	10YR4/3 にぶい黄褐色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
295	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01南区 粗砂層	2/8	長石・石英粗砂含	5YR6/3 にぶい橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
296	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01中区 粗砂層	2/8	長石・石英中砂多量，雲母中砂含	2.5Y5/2 暗灰黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
297	49	51	弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01中区 底面付近粗砂層	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
298	49	52	弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01中区 底面付近粗砂層	1/8	長石・石英粗砂含	5YR7/3 にぶい橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
299	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01南区 粗砂層	3/8	長石・石英中砂含，雲母中砂少量	7.5YR8/3 浅黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
300	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01中区 粗砂層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/6 明赤褐色	指頭痕	不明	
301	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01中区 粗砂層	2/8	長石・石英粗砂含	10YR8/2 灰白色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ	

第18表　土器観察表(4)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
302	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01南区 粗砂層(手掘り)	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	10YR5/3にぶい黄褐色	頸ヨコナデ	頸ヨコナデ	
303	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01中区 粗砂層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2灰黄色	ナデ	不明	
304	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01中区 粗砂層	1/8	長石・石英中砂含	2.5Y8/1灰白色	ハケメ	ヘラミガキ	
305	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01南区 粗砂層	1/8	長石・石英粗砂含	10YR4/2灰黄褐色	ナデ後ヘラミガキ	ハケメ	
306	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01南区 粗砂層(手掘り)	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ハケメ	ヘラミガキ	
307	49	52	弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01中区 粗砂層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色～2.5Y7/1灰白色	下半ヘラミガキ，上半板ナデ	ハケメ	
308	49		弥生土器	壺	2①C17第5面 SR01中区 底面付近粗砂層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2灰黄色～10YR4/1褐灰色	ハケメ後ヘラミガキ	不明	
309	49		弥生土器	甕	2①C17第5面 SR01中区 粗砂層(手掘り)	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y5/2暗灰黄色	ヘラミガキ	ヘラミガキ	
310	50		弥生土器	甕	2①C17第5面 SR01中区 粗砂層	1/8	長石・石英粗砂含	7.5YR8/3浅黄橙色	口縁ヨコナデ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
311	50		弥生土器	甕	2①C17 SR02 中央Tr.東側粗砂中	2/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ，胴ヘラミガキ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
312	50		弥生土器	甕	2①C17第5面 SR01中区 底面付近粗砂層	1/8	長石・石英少量	2.5Y7/3浅黄色	口縁ハケメ，胴ヘラミガキ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
313	50		弥生土器	甕	2①C17第5面 SR01中区 底面付近粗砂層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	摩滅により不明	頸ヨコナデ	
314	50	52	弥生土器	甕	2①C17第5面 SR01中区 粗砂層	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	ヘラミガキ	ヘラミガキ	
315	50		弥生土器	鉢	2①C17第5面 SR01中区 底面付近粗砂層	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR4/2灰黄褐色	ヨコナデ	ハケメ後ヘラミガキ	
316	50	52	弥生土器	高坏	2①C17 SR01 南Tr. 粗砂層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ハケメ後ヨコナデ	ヘラミガキ	
317	50		弥生土器	高坏	2①C17第5面 SR01中区 底面付近粗砂層	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/2灰黄褐色	ハケメ後脚端ヨコナデ	ハケメ後ヨコナデ	
318	50		紡錘車		2①C16第5面 SR01北区 39層	*	長石・石英細砂含	2.5Y7/2灰黄色	ヘラミガキ	ヘラミガキ	土器片転用
319	50		弥生土器	壺	2①C17 SR02 濁黄色シルト	3/8	長石・石英粗砂含	7.5YR6/3にぶい褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	
320	50	52	弥生土器	壺	2①C17 SR02 南側側溝 褐灰色シルト	3/8	長石・石英細礫多量	10YR3/2黒褐色	不明	不明	
321	50	52	弥生土器	壺	2①SR02 濁黄色細砂	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	ハケメ，口縁ヘラミガキ	ヘラミガキ，口縁ヨコナデ	
322	50		弥生土器	甕	2①SR02 濁黄色細砂	1/8	長石・石英粗砂含	5YR3/2暗赤褐色	口縁ヨコナデ，胴ヘラミガキ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラミガキ	
323	50	52	弥生土器	甕	2①SR02 濁黄色細砂	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	ナデ	口縁ヨコナデ，胴下半ヘラミガキ	
324	50		弥生土器	甕	2①C17 SR02 濁黄色シルト	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	口縁ヨコナデ	口縁ヨコナデ	

第19表　土器観察表(5)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
325	50		弥生土器	甕	2①SR02 濁黄色細砂	5/8	長石・石英粗砂多量	5YR3/2 暗赤褐色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
326	50		紡錘車		2①B17，C17 西側 Tr.（第1遺構面より75～120cm）SR02	*	粗砂多量	10YR8/3 浅黄橙色	不明	不明	
327	50		土錘		2①B17，C17 西側 Tr.（第1遺構面から0～75cm）SR02	*	細砂含	7.5YR8/3 浅黄橙色	不明	不明	
328	51	52	弥生土器	壺	2①B17 SK02 茶褐色粘土	3/8	長石・石英粗砂含	2.5YR4/4 にぶい赤褐色	板ﾅﾃﾞ	上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
329	51	52	弥生土器	壺	2①B16 SK02 濁黄色粘土	3/8	長石・石英粗砂少量	2.5YR3/2 暗赤褐色～5YR8/3 淡橙色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
330	51		弥生土器	甕	2①C16 西側 Tr.（SK02）	1/8	長石・石英粗砂含	10YR6/3 にぶい黄橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
331	51		弥生土器	甕	2①B16 SK02 濁黄色粘土	2/8	長石・石英粗砂少量	2.5Y8/2 灰白色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
332	51		弥生土器	甕	2①C16 西側 Tr.（SK02）	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4 にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
333	51	53	弥生土器	甕	2①B17 SK02 茶褐色粘土	6/8	長石・石英細礫少量	2.5YR6/4 にぶい橙色～2.5YR 3/1 暗赤灰色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
356	54	53	弥生土器	壺	3②SR02 流路3	2/8	長石・石英粗砂含	10YR4/2 灰黄褐色	板ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後胴下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
357	54		弥生土器	壺	3②C28 SR02 流路3	3/8	長石・石英細礫多量	5Y8/2 灰白色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
358	54		弥生土器	壺	3②C28 SR02 流路3	2/8	長石・石英細礫多量	2.5Y8/2 灰白色	不明	不明	
359	54		弥生土器	壺	3②C28 SR02 流路3	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/2 灰白色	不明	不明	
360	54		弥生土器	壺	3②B28，C28 SR02 流路3 ⑩粗砂混じり暗灰褐色シルト	1/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/3 浅黄色	不明	ﾊｹﾒ	
361	54		弥生土器	鉢	3②C28 SR02 流路3 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	1/8	長石・石英粗砂多量	10R5/6 赤色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
362	54	53	弥生土器	高坏	3②C28 SR02 流路3 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/2 灰白色	不明	不明	
363	54		弥生土器	高坏	3②C28 SR02 流路3 ⑩	3/8	長石・石英粗砂少量	2.5Y7/2 灰黄色	ﾊｹﾒ後脚端ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	透孔3穴
364	54	53	弥生土器	脚	3②C28 SR02 流路3 ⑪	8/8	長石・石英細砂含	5Y8/2 灰白色	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
365	54	53	弥生土器	鉢	3②C28 SR02 流路3 砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2 灰黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
366	54	53	弥生土器	不明	3②B28，C28 SR02 流路3 機械掘削	6/8	長石・石英粗砂多量	5Y7/1 灰白色	指頭痕	不明	
367	54	53	弥生土器	壺	3②C28 SR02 流路3 ⑪	5/8	長石・石英粗砂多量，角閃石粗砂多量	5YR6/8 橙色	口縁ﾍﾗﾐｶﾞｷ，頸ﾊｹﾒ	頸ﾊｹﾒ	
368	54	53	弥生土器	壺	3②C28 SR02 流路3 ⑪	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量	7.5YR6/4 にぶい橙色	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
369	54		弥生土器	壺	3②C28 SR02 流路3 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	

第20表　土器観察表(6)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
370	54	53	弥生土器	壺	3②B28，C28 SR02流路3 ⑩粗砂混じり暗灰褐色シルト	1/8	長石・石英粗砂含	7.5YR7/3にぶい橙色	ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
371	54	53	弥生土器	甕	3②SR02流路3	5/8	長石・石英細礫多量	5Y6/2灰ｵﾘｰﾌﾞ色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	不明	
372	54		弥生土器	甕	3②C28 SR02流路3 ⑩	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
373	54		弥生土器	甕	3②SR02流路3	3/8	長石・石英細礫多量	10YR6/4にぶい黄橙色	胴上半指頭痕，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	不明	
374	55		弥生土器	鉢	3②B28，C28 SR02流路3 ⑩粗砂混じり暗灰褐色シルト	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
375	55	54	弥生土器	高坏	3②C28 SR02流路3 ⑪	1/8	長石・石英粗砂少量	10YR8/4浅黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
376	55		弥生土器	高坏	3②C28 SR02流路3 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	透孔3
377	55	112	土師器	壺	3②B28 SR01溜り1 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	*	粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	不明	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
378	55	112	土師器	壺	3②B28，C28 SR02流路3 ⑩粗砂混じり暗灰褐色シルト	*	粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	不明	不明	
379	55	112	土師器	壺	3②B28 SR01溜り1 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	*	粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	不明	ﾀﾀｷﾒ	
380	55	112	土師器	壺	3②B28 SR01溜り1 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	*	粗砂多量	10YR6/4にぶい黄橙色	指頭痕	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
381	55	112	土師器	壺	3②B28，C28 SR02流路3機械掘削	*	粗砂含	5Y7/2灰白色	不明	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
382	55	112	土師器	壺	3②B28 SR01溜り1 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	*	粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	不明	ﾀﾀｷﾒ	
383	55	112	土師器	甕	3②B28 SR01溜り1 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	*	粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	不明	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
384	55	112	土師器	壺	3②B28 SR01溜り1 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	*	粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	不明	ﾀﾀｷﾒ	
385	55	112	土師器	壺	3②C28 SR02流路3 ⑪	1/8	粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	頸ﾊｹﾒ，胴ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
386	55	54	土師器	壺	3②C28 SR02流路3 ⑪	1/8	粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	指頭痕	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
387	55	112	土師器	壺	3②B28 SR01溜り1 Ⅶ1 (4Tr.)	*	粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	指頭痕	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
388	55	112	土師器	壺	3②B28，C28 SR02流路3機械掘削	*	粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	指頭痕	ﾀﾀｷﾒ	
389	55	112	土師器	壺	3②B28 SR01溜り1 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	*	粗砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	指頭痕	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
390	55	54	製塩土器		3②B28，C28 SR02流路3機械掘削	7/8	粗砂多量	2.5Y8/2灰白色	指ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
391	55	54	弥生土器	壺	3②C28 SR02流路3一括	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/2灰黄色	不明	ﾊｹﾒ	口縁内面櫛描垂線13ヶ所

第21表　土器観察表(7)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
392	56	54	弥生土器	壺	3②B28第2微高地 暗灰黒色砂質土	6/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/3にぶい赤褐色	不明	ﾊｹﾒ	
393	56	54	弥生土器	壺	3②第3微高地	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	指ﾅﾃﾞ	不明	
394	56	55	弥生土器	甕	3②B29地山上	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾊｹﾒ	
409	59		弥生土器	壺	2④⑤SH03③	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/8橙色	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
410	59		弥生土器	鉢	2④⑤SH01② 1層	1/8	長石・石英中砂含	2.5YR5/8明赤褐色	ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
411	59		弥生土器	鉢	2④⑤SH01	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	板ﾅﾃﾞ	不明	
412	59		弥生土器	壺	2④⑤SH01① 1層	1/8	長石・石英粗砂多量，角閃石粗砂多量	5YR5/6明赤褐色	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	不明	
413	59		弥生土器	甕	2④⑤SH01② 1層	2/8	長石・石英中砂含	5YR6/3にぶい橙色	板ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	焼成後穿孔
414	59		弥生土器	鉢	2④⑤SH01Tr. 北	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
415	59		弥生土器	高坏	2④⑤SH01Tr. 南	1/8	長石・石英粗砂含	5YR4/2灰褐色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
416	59		弥生土器	壺	2④⑤SH01Tr. 北	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/1灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	不明	
417	59		弥生土器	壺	2④⑤SH01Tr. 南	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
418	59		弥生土器	高坏	2④⑤SH01Tr. 南	1/8	長石・石英細砂含	5YR6/6橙色	不明	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
424	60		弥生土器	甕	2④⑤SH02 床面ｶﾞﾘｶｹ	1/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
425	60		弥生土器	甕	2④⑤SH01 北 1層	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
426	60		弥生土器	鉢	2④⑤SH02 No.6（床直）	5/8	長石・石英細礫少量	2.5YR5/6明赤褐色	板ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ	
427	60		弥生土器	甕	2④⑤SH02 No.9（床直）	8/8	長石・石英粗砂含	7.5YR5/6明褐色	板ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
428	60		弥生土器	壺	2④⑤SH02④ 壁溝2つ分混	8/8	長石・石英細礫多量	10YR8/4浅黄橙色	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
429	61	55	弥生土器	甕	2④⑤SH02 No.1（第1層）	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
430	61		弥生土器	甕	2④⑤SH02③ 1層灰ｼﾙﾄ	4/8	長石・石英粗砂含	7.5YR7/4にぶい橙色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
431	61		弥生土器	甕	2④⑤SH02② 1層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
432	61		弥生土器	甕	2④⑤SH02① 層	1/8	長石・石英粗砂含	5YR3/3暗赤褐色～2.5YR5/6明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
433	61		弥生土器	鉢	2④⑤SH02 No.4 第2層	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR8/3浅黄橙色	ﾊｹﾒ	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ，底ﾊｹﾒ	
434	61		弥生土器	鉢	2④⑤SH02② 中央落	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/3淡黄色	板ﾅﾃﾞ	不明	
435	61		弥生土器	鉢	2④⑤SH02③ 2層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	不明	ﾊｹﾒ	
436	61		弥生土器	壺	2④⑤SH02(4)	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR4/3にぶい赤褐色	指頭痕	ﾊｹﾒ	
437	61	55	弥生土器	鉢	2④⑤SH02(4)	1/8	粗砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	不明	ﾀﾀｷﾒ	片口：赤色顔料
438	61		弥生土器	壺ﾐﾆﾁｭｱ	2④⑤SH02(4)	8/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂含	5YR3/3暗赤褐色	指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	

第22表　土器観察表(8)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
439	61		弥生土器	壺	2④⑤SH02(4)	1/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂含	5YR5/6 明赤褐色	ヨコナデ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	櫛描4条
440	61		弥生土器	壺	2④⑤SH02(4)	1/8	長石・石英粗砂含	10YR8/3 浅黄橙色	口縁ヨコナデ，頸ヘラミガキ	ヨコナデ	
455	63		弥生土器	壺	2④⑤SH04 No.14(床直)	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/8 明赤褐色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ後ヨコナデ	
456	63	55	弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.10(床直)	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	口縁ヨコナデ，胴上半板ナデ	板ナデ	
457	63		弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.13(床直)	7/8	長石・石英粗砂少量	5YR7/6 橙色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ後ヘラミガキ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ，底部ハケメ後ナデ	
458	63		弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.14(床直)	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	ヘラケズリ後ハケメ	タタキメ後ハケメ	
459	63		弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No.15(床直)	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	板ナデ	ハケメ後ヘラミガキ	
460	63		弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No3の下(床直)	2/8	長石・石英粗砂含	2.5YR7/6 橙色	ハケメ	指頭痕	
461	63		弥生土器	鉢	2④⑤SH04① SD10との切り合い部分	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	ヨコナデ	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	
462	63		弥生土器	壺	2④⑤SH04 No.8 第2層	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4 にぶい橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	
463	63		弥生土器	壺	2④⑤SH04 畦3 ②層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6 橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	
464	63		弥生土器	壺	2④⑤SH04 No.8 第2層	1/8	長石・石英粗砂多量	10R6/8 赤橙色	ヨコナデ	口縁ハケメ後ヨコナデ	
465	63		弥生土器	壺	2④⑤SH04④ 2層茶灰土	1/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6 橙色～10YR8/4 浅黄橙色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
466	63		弥生土器	壺	2④⑤SH04③ 2層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6 橙色	ヨコナデ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
467	63		弥生土器	壺	2④⑤SH04 No.30 第2層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6 橙色	ヨコナデ後ヘラミガキ	ハケメ後ヨコナデ	
468	64	55	弥生土器	壺	2④⑤SH04 No.09 第2層	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6 橙色	口頸ヨコナデ，胴指ナデ	口頸ヨコナデ，胴上半ヘラミガキ，下半タタキメ後ハケメ	
469	64		弥生土器	壺	2④⑤SH04③ 2層茶灰土	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6 橙色	不明	ヨコナデ	
470	64	55	弥生土器	壺	2④⑤SH04 No.07 第2層	6/8	長石・石英粗砂多量	5YR8/4 淡橙色	口頸ヨコナデ，胴ハケメ後下半ヘラケズリ	口縁ハケメ後ヨコナデ，胴上半ハケメ，下半タタキメ後ヘラミガキ	
471	64		弥生土器	壺	2④⑤SH04 No.02 第2層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6 橙色	指頭痕	ハケメ	
472	64		弥生土器	壺	2④⑤SH04 No.30 第2層	3/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	7.5YR5/4 にぶい褐色	指頭痕	ハケメ後ヨコナデ	
473	64		弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.31 第2層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y5/2 暗灰黄色	口縁ヨコナデ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
474	64		弥生土器	甕	2④⑤SH04 畦4 ③④層(断面図)	1/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂含，角閃石粗砂多量	5YR6/6 橙色	ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
475	64		弥生土器	甕	2④⑤SH04 畦2 ⑦層(断面図)	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR4/4 にぶい赤褐色	ハケメ	ヘラケズリ	
476	64	56	弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.16 第2層	3/8	長石・石英粗砂含	7.5YR4/2 灰褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ，底板ナデ	口縁ヨコナデ	
477	64		弥生土器	甕	2④⑤SH04 畦1 ②層(断面図)	1/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/6 橙色	口縁ヨコナデ，胴指頭痕	ハケメ後ヨコナデ	

第23表　土器観察表(9)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
478	64	56	弥生土器	甕	2④⑤SH04④3層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
479	64		弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.03 第2層	2/8	長石・石英粗砂含	5YR6/8橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
480	64		弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.31 第2層	2/8	長石・石英粗砂含	10YR8/4浅黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
481	64		弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.34 第2層	4/8	長石・石英中砂多量	2.5YR6/8橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
482	64		弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.30 第2層	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴指頭痕	胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
483	64		弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.30 第2層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	指頭痕	
484	64		弥生土器	甕	2④⑤SH04 No.5 第2層	1/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8赤色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
485	65	56	弥生土器	甕	2④⑤SH04③1層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口～胴上半ﾊｹﾒ，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
486	65		弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No.27 第2層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
487	65	56	弥生土器	鉢	2④⑤SH04④2層茶灰土	1/8	長石・石英細礫含	10R5/6赤色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	焼成前穿孔1
488	65		弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No.30 第2層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
489	65		弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No.01 第2層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/4浅黄色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
490	65		弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No.03 第2層	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
491	65		弥生土器	鉢	2④⑤SH04④3層	1/8	長石・石英細礫多量	5YR3/4暗赤褐色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
492	65		弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No.8 第2層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	ﾊｹﾒ	不明	
493	65	56	弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No.11(第2層)	8/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8赤色	板ﾅﾃﾞ	不明	
494	65		弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No.27 第2層	6/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
495	65		弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No.27 第2層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/8明赤褐色	ﾊｹﾒ後板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
496	65	56	弥生土器	鉢	2④⑤SH04④No.28 3層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6橙色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾀﾀｷﾒ	
497	65	56	弥生土器	高坏	2④⑤SH04④No.27 3層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
498	65	56	弥生土器	鉢	2④⑤SH04②	7/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/4にぶい赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
499	65		弥生土器	壺	2④⑤SH04④2層茶灰土	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	指頭痕	ﾊｹﾒ	
500	65	56	弥生土器	壺	2④⑤SH04 No.8 第2層	7/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂含，角閃石粗砂多量	5YR6/6橙色	坏ﾖｺﾅﾃﾞ，脚ﾍﾗｹｽﾞﾘ	坏ﾖｺﾅﾃﾞ，脚ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
501	65	56	弥生土器	壺	2④⑤SH04④第1層	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
502	65		弥生土器	壺	2④⑤SH04畦4 ①層	1/8	長石・石英粗砂多量	10R6/8赤橙色	不明	ﾖｺﾅﾃﾞ	
503	65		弥生土器	鉢	2④⑤SH04 No.18 第1層	2/8	長石・石英粗砂含	5YR6/6橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ	
504	65		弥生土器	壺	2④⑤SH04 Tr.1	1/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
505	65		弥生土器	甕	2④⑤SH04Tr.	1/8	長石・石英中砂含	5YR6/8橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	

第24表　土器観察表(10)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
530	68	57	弥生土器	壺	2④⑤SH05④ 2層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	不明	胴ﾀﾀｷﾒ	
531	68		弥生土器	甕	2④⑤SH05 (炉上部)第2層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
532	68		弥生土器	甕	2④⑤SH05 畦2 ②層	1/8	長石・石英粗砂含	7.5YR7/6 橙色	胴板ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
533	68		弥生土器	壺	2④⑤SH05④ 壁際土器 2層	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/8 橙色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
534	68		弥生土器	鉢	2④⑤SH05④ 壁際土器 2層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR4/3 にぶい赤褐色	ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
535	68	57	弥生土器	鉢	2④⑤SH05④ 2層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
536	68		弥生土器	鉢	2④⑤SH05③ ②層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
537	68		弥生土器	鉢	2④⑤SH05③ 2層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR4/6 赤褐色	指頭痕	ﾊｹﾒ	
538	68		弥生土器	鉢	2④⑤SH05④ 壁際土器 2層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	口縁指頭痕，底板ﾅﾃﾞ	指頭痕	
539	69	57	弥生土器	蓋	2④⑤SH05③ 2層	8/8	長石・石英粗砂含	2.5YR4/6 赤褐色	ﾊｹﾒ	指頭痕	
540	69	57	弥生土器	壺	2④⑤SH05 (炉上部)第2層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	坏ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	不明	
541	69		弥生土器	壺	2④⑤SH05③ 2層	1/8	長石・石英細砂含	5YR7/4 にぶい橙色	指頭痕	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
542	69		弥生土器	甕	2④⑤SH05③ 1層黒色土	1/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂含，角閃石粗砂多量	7.5YR5/6 明褐色	指頭痕	不明	
543	69		弥生土器	甕	2④⑤SH05③ 1層黒色土	1/8	長石・石英粗砂含	7.5YR6/6 橙色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
544	69		弥生土器	甑	2④⑤SH05④ 1層黒色土	8/8	長石・石英粗砂含	5YR6/6 橙色	板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
545	69		弥生土器	壺	2④⑤SH05③ 1層黒色土	2/8	雲母粗砂多量，角閃石粗砂多量	5YR6/6 橙色	不明	頸ﾊｹﾒ	
546	69		弥生土器	甕	2④⑤SH05Tr. (東西，北)	4/8	長石・石英中砂多量	2.5YR3/2 暗赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
566	70	57	弥生土器	壺	2④⑤SH06 or SH07	3/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6 橙色～2.5YR3/2 暗赤褐色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
567	70		弥生土器	甕	2④⑤SH06 Ⅲ区壁溝内	5/8	長石・石英粗砂多量	5YR4/2 灰褐色	胴上半ﾊｹﾒ，下半板ﾅﾃﾞ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
568	70		弥生土器	甕	2④⑤SP007 埋土	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	
569	70		弥生土器	甕	2④⑤SH06 Ⅳ区	1/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/3 にぶい褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
570	70		弥生土器	鉢	2④⑤SH06 Ⅰ区 No.5	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y8/3 淡黄色	不明	ﾊｹﾒ	
571	70	57	弥生土器	鉢	2④⑤SH06	5/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4 にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	
572	71		弥生土器	鉢	2④⑤SP007 埋土	1/8	長石・石英粗砂含	5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ	
579	73	57	弥生土器	甕	2④⑤SH08 No.5	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4 にぶい橙色～7.5YR 4/1 褐灰色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ状ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
580	73		弥生土器	鉢	2④⑤SH08 No.6	8/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6 橙色	ﾊｹﾒ	不明	
581	73		弥生土器	甕	2④⑤SH08 No.2	7/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	5YR3/1 黒褐色～5YR6/3 にぶい橙色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾊｹﾒ後胴下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	

第25表　土器観察表(11)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
582	73		弥生土器	甕	2④⑤SH08 No.4	1/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂含，角閃石粗砂多量（B類土器）	5YR6/6橙色	口縁ヨコナデ，胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ後下半ヘラミガキ	
583	73		弥生土器	鉢	2④⑤SH08 炉跡	2/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6橙色	ヘラミガキ	ハケメ	
584	73		弥生土器	鉢	2④⑤SH08③	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂含	10YR6/4にぶい黄橙色	ハケメ	タタキメ	
585	73		弥生土器	鉢	2④⑤SH08③	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/1灰白色	板ナデ	底板ナデ	
586	73		弥生土器	鉢	2④⑤SH08 No.3	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/3淡黄色	ハケメ	不明	底部籾痕
593	75		弥生土器	鉢	2④⑤SH10 炉址①	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/4にぶい黄橙色	ハケメ	タタキメ	
594	75		弥生土器	鉢	2④⑤SH10 炉②	2/8	長石・石英粗砂含	10YR6/4にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，内面ハケメ	タタキメ	
599	77	57	弥生土器	壺	2④⑤SB05⑤ C21 SP373	3/8	長石・石英細砂含，雲母細砂含	7.5YR7/4にぶい橙色	不明	不明	
600	77	57	弥生土器	壺	2④⑤SB05⑤ C21 SP373	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR4/3にぶい赤褐色	指頭痕	ヘラケズリ	
602	78		弥生土器	甕	2④⑤SK22	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/3浅黄橙色	不明	ハケメ	
604	80		弥生土器	壺	2④⑤SK24	1/8	長石・石英粗砂含	10YR8/2灰白色	ヨコナデ	不明	
605	80		弥生土器	甕	2④⑤SH03 南 土坑状	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR3/3暗褐色	不明	ヘラミガキ	
608	83		弥生土器	甕	3②SK02	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	胴ハケメ	口頸ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
609	83		弥生土器	甕	3②SK02	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	ハケメ	
610	83		弥生土器	鉢	3②SK02	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/4にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後ナデ	不明	
611	83		弥生土器	甕	3②SK04	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色	ヘラケズリ後ハケメ	ハケメ	
614	84	57	弥生土器	壺	2④⑤SD03① 南 第1層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/6橙色	不明	ハケメ後ヨコナデ	
615	84		弥生土器	壺	2④⑤SD03② 南部分 第1層（ピットのまわりの畦部分）	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/4にぶい橙色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
616	84		弥生土器	壺	2④⑤SD03② 中央 第1層	6/8	砂粒含まず	5YR7/4にぶい橙色	不明	頸ハケメ	
617	84		弥生土器	壺	2④⑤SD03② 第1層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/6明赤褐色	胴指ナデ	ハケメ後胴ヘラミガキ	
618	84	58	弥生土器	壺	2④⑤SD03 第1層P6	7/8	長石・石英粗砂含	5YR6/6橙色	不明	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
619	84	58	弥生土器	壺	2④⑤SD03 第1層P8	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/4浅黄橙色	底指頭痕	ヘラミガキ	
620	84		弥生土器	壺	2④⑤SD03 ③北側 1層	1/8	長石・石英粗砂含	5YR6/8橙色	ヨコナデ	ハケメ後ヨコナデ	
621	84	58	弥生土器	壺	2④⑤SD03 第1層P10	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
622	84	58	弥生土器	甕	2④⑤SD03 ②北 第1層	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色～10YR5/2灰黄褐色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ後指ナデ	タタキメ後ハケメ	
623	84		弥生土器	甕	2④⑤SD03 第1層P1	4/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂含	5YR4/2灰褐色	口縁ハケメ，胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ後ヘラナデ	

第26表　土器観察表(12)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
624	84		弥生土器	甕	2④⑤SD03 ②北 第1層	3/8	長石・石英粗砂含	7.5YR6/4 にぶい橙色	胴ﾊｹﾒ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ	
625	84		弥生土器	甕	2④⑤SD03.② 中央(②中央南半分) 第1層	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/8 橙色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
626	84		弥生土器	甕	2④⑤SD03① 第1層	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR4/2 灰黄褐色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ	
627	84	58	弥生土器	甕	2④⑤SD03 畦1 1層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/3 淡黄色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ, 胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ後板ﾅﾃﾞ	口縁ﾀﾀｷﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ, 胴ﾀﾀｷﾒ後板ﾅﾃﾞ	
628	84		弥生土器	甕	2④⑤SD03 1層	1/8	長石・石英細礫含	2.5YR5/8 明赤褐色	胴指頭痕	ﾀﾀｷﾒ	
629	85		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 中央 第1層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
630	85	58	弥生土器	甕	2④⑤SD03② 中央 第1層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/6 橙色	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
631	85		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 中央 第1層	3/8	長石・石英粗砂含	10R4/6 赤色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ, 胴ﾊｹﾒ	
632	85		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 南 ①層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ, 胴ﾊｹﾒ	
633	85		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 南 ①層	1/8	長石・石英細礫多量	2.5YR7/8 橙色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
634	85		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 中央 第1層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/4 にぶい赤褐色	胴ﾊｹﾒ	不明	
635	85		弥生土器	甑	2④⑤SD03① 層P5	6/8	長石・石英粗砂含	2.5YR4/6 赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
636	85		弥生土器	鉢	2④⑤SD03② 中央(②中央南半分) 第1層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/6 明赤褐色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ, 胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
637	85	58	弥生土器	ﾐﾆﾁｭｱ鉢	2④⑤SD03② 中央 第1層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	不明	不明	
638	85	58	弥生土器	鉢	2④⑤SD03 第1層P9	5/8	長石・石英粗砂少量	5YR6/6 橙色	板ﾅﾃﾞ	不明	
639	85		弥生土器	鉢	2④⑤SD03② 北 第1層	8/8	長石・石英粗砂多量	10R5/6 赤色	不明	不明	
640	85		弥生土器	鉢	2④⑤SD03② 北 第1層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	不明	不明	
641	85		弥生土器	鉢	2④⑤SD03① 南 第1層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ, 底ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	
642	85		弥生土器	鉢	2④⑤SD03② 南 ①層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/6 明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
643	85		弥生土器	鉢	2④⑤SD03① 南 第1層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
644	85		弥生土器	鉢	2④⑤SD03 1層	2/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/8 橙色	ﾊｹﾒ	不明	
645	85		弥生土器	鉢	2④⑤SD03 第1層P2	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
646	85		弥生土器	鉢	2④⑤SD03② 南 ①層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口頸ﾀﾀｷﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ, 胴ﾀﾀｷﾒ後ﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
647	86		弥生土器	高坏	2④⑤SD03② 北 第1層	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6 橙色	不明	ﾊｹﾒ	
648	86		弥生土器	高坏	2④⑤SD03② 北 第1層	1/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/6 橙色	不明	ﾊｹﾒ	
649	86		弥生土器	高坏	2④⑤SD03② 中央 第1層	6/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4 にぶい黄橙色	不明	底ﾍﾗﾐｶﾞｷ, 脚ﾊｹﾒ	
650	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03② 中央 第1層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ, 頸ﾊｹﾒ, 底指頭痕	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
651	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03① 北 ②層	1/8	長石・石英中砂少量	10YR7/2 にぶい黄橙色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ, 頸ﾊｹﾒ	

第27表　土器観察表(13)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
652	86	58	弥生土器	壺	2④⑤SD03② 南 第2層⑯	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕，下半板ﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
653	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03① 北②層	8/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/6 明赤褐色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
654	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03③ と④の間　第2層	1/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR8/4 浅黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
655	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03③ ②層	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4 にぶい黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
656	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03④ ②層	1/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂多量	5YR5/4 にぶい赤褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
657	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03① 北②層	1/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂多量	5YR4/6 赤褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
658	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03② 南側 第2層	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4 にぶい橙色	胴板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
659	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03② 層	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量（B類土器）	5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸指頭痕	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
660	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03 畦1　2層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/4 淡黄色	ﾊｹﾒ	頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
661	86		弥生土器	壺	2④⑤SD03④ ②層	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含	10YR6/4 にぶい黄橙色	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
662	86		弥生土器	甕	2④⑤SD03③ ②層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	ﾊｹﾒ後胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
663	86		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 南 2層⑥	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色～2.5YR4/4 にぶい赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
664	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 南 第2層⑱	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
665	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 北 第1層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/8 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ	
666	87	59	弥生土器	甕	2④⑤SD03③ と④の間 第2層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
667	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03③ ②層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
668	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 中央 第2層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ	
669	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03① 南 第2層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ	
670	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03① 南 第2層	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/6 明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ	
671	87	59	弥生土器	甕	2④⑤SD03② 南 第2層⑭	8/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/8 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，板ﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
672	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 中央 第2層	1/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	胴上半ﾊｹﾒ，下半指ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
673	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 南 第2層⑱	3/8	長石・石英粗砂含	2.5YR4/6 赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
674	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 南 ①層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
675	87	59	弥生土器	甕	2④⑤SD03④ ②層	6/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4 にぶい橙色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
676	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 南部分 第2層（ﾋﾟｯﾄのまわりの畦部分）	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	

第28表　土器観察表(14)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
677	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03① 北 ②層	1/8	長石・石英粗砂含	5YR4/2灰褐色	指ナデ	タタキメ	
678	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03① 南 第2層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ハケメ，胴指頭痕後ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
679	87		弥生土器	甕	2④⑤SD03(①)②層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	胴ヘラケズリ	ハケメ	
680	88		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 南部分②層(ピットのまわりに残した畦部分)	2/8	長石・石英粗砂含	10YR7/4にぶい黄橙色	胴上半指ナデ，下半板ナデ	胴ハケメ	
681	88		弥生土器	甕	2④⑤SD03① 北 ②層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	指頭痕	板ナデ後ヘラミガキ	
682	88		弥生土器	甕	2④⑤SD03① 南 第2層	2/8	長石・石英中砂多量	2.5YR6/8橙色	口縁ハケメ	ハケメ	
683	88		弥生土器	甕	2④⑤SD03(①)2層	1/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6橙色	指頭痕	不明	
684	88	59	弥生土器	甕	2④⑤SD03③ と④の間 第2層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/6橙色	口縁ハケメ	胴ハケメ	
685	88		弥生土器	鉢	2④⑤SD03② 中央 第2層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR4/8赤褐色	ハケメ	タタキメ	
686	88		弥生土器	鉢	2④⑤SD03② 南 第2層⑰	2/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
687	88		弥生土器	鉢	2④⑤SD03① 北 ②層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
688	88	59	弥生土器	鉢	2④⑤SD03② 南 第2層⑬	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/1灰白色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
689	88		弥生土器	鉢	2④⑤SD03③ 北側部分第2層	4/8	長石・石英細礫多量	2.5YR7/8橙色	ハケメ	タタキメ	
690	88		弥生土器	鉢	2④⑤SD03① 南 第2層	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y3/2黒褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口縁ヨコナデ	
691	88	59	弥生土器	鉢	2④⑤SD03③ 2層	8/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂含	2.5YR5/8明赤褐色	ヘラミガキ	ハケメ	
692	88		弥生土器	鉢	2④⑤SD03② 南側 第2層	2/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/8明赤褐色	ハケメ	ハケメ	
693	88	59	弥生土器	鉢	2④⑤SD03 (SD07と分岐部分) 第2層	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR3/2黒褐色	ハケメ	不明	
694	88		弥生土器	鉢	2④⑤SD03(①)2層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	ハケメ	不明	
695	88		弥生土器	鉢	2④⑤SD03③ と④の間 第2層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	ハケメ	不明	
696	88		弥生土器	鉢	2④⑤SD03③ ②層	1/8	長石・石英粗砂含	10R5/6赤色	ハケメ	ハケメ	
697	88		弥生土器	壺	2④⑤SD03② 中央 第2層	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/6明黄褐色～2.5YR7/6橙色	不明	ハケメ	
698	88		弥生土器	壺	2④⑤SD03③ と④の間 第2層	3/8	長石・石英中砂含	7.5YR6/4にぶい橙色	ハケメ	ハケメ	
699	88		弥生土器	壺	2④⑤SD03① 北 ②層	6/8	長石・石英中砂多量，雲母細砂含	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ	口縁ハケメ，頸ヨコナデ，底ヘラケズリ後ミガキ	
700	88		弥生土器	壺	2④⑤SD03① 南 第2層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	不明	ヘラミガキ	
701	88		弥生土器	高坏	2④⑤SD03① 南 第2層	2/8	長石・石英粗砂含	5YR5/6明赤褐色	ハケメ	ハケメ	透孔2孔1組6孔
702	88		弥生土器	高坏	2④⑤SD03② 南 第2層①	4/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4にぶい橙色	ハケメ	ハケメ後ヘラミガキ	

第29表　土器観察表(15)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
703	88		弥生土器	高坏	2④⑤SD03② 南側 第2層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/3 淡黄色	板ナデ	ヘラミガキ	
704	88		弥生土器	壺	2④⑤SD03③ 北部 第3層	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6 橙色	口縁ハケメ後ヨコナデ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
705	88		弥生土器	壺	2④⑤SD03② 南 ②層	3/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量	5YR6/6 橙色	指頭痕後ヨコナデ	ハケメ後ヨコナデ	
706	88		弥生土器	壺	2④⑤SD03② 中央（ピット周囲）第3層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/8 橙色	指頭痕	不明	
707	88		弥生土器	甕	2④⑤SD03① 北 第3層	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4 にぶい橙色	ハケメ	タタキメ後ハケメ	
708	88		弥生土器	甕	2④⑤SD03① 南 第3層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/8 橙色	ハケメ	タタキメ後ハケメ	
709	89		弥生土器	甕	2④⑤SD03① 南 第3層	2/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8 赤色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
710	89		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 中央 第2層	5/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6 橙色	不明	タタキメ，ハケメ	
711	89		弥生土器	甕	2④⑤SD03④ 3層	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/4 浅黄橙色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ	
712	89		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 中央 第2層	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR8/4 淡橙色	不明	タタキメ	
713	89	59	弥生土器	甕	2④⑤SD03② 中央 第2層	6/8	長石・石英粗砂少量	2.5YR6/8 橙色～5YR5/3 にぶい赤褐色	口縁ヨコナデ，胴上半ハケメ，胴下半板ナデ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラミガキ状ナデ	
714	89		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 南側 第3層	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量，角閃石粗砂多量	7.5YR5/4 にぶい褐色	口頸ハケメ後ヨコナデ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
715	89		弥生土器	甕	2④⑤SD03② 北 第3層	1/8	長石・石英中砂含	2.5YR6/8 橙色	ハケメ	ハケメ	
716	89		弥生土器	甑	2④⑤SD03④ 3層溝底	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	板ナデ	不明	
717	89		弥生土器	鉢	2④⑤SD03④ 第3層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/4 淡黄色	ハケメ	タタキメ後ハケメ	
718	89		弥生土器	鉢	2④⑤SD03④ 3層溝底	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	板ナデ	不明	
719	89		弥生土器	鉢	2④⑤SD03② 北 第3層	6/8	雲母細砂含	5YR6/6 橙色	ハケメ	不明	
720	89		弥生土器	鉢	2④⑤SD03④ 第3層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	ハケメ	不明	
721	89		弥生土器	高坏	2④⑤SD03② 南 ①層	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/4 浅黄橙色	坏ヘラミガキ	口縁ヘラミガキ，底ヘラケズリ後ヘラミガキ，脚ハケメ後ヘラミガキ	
722	89		紡錘車		2④⑤SD03④ 第3層	4/8	粗砂含	5YR6/6 橙色	不明	不明	土器片転用
723	89		弥生土器	甕	2④⑤SD03①	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂少量	2.5YR5/8 明赤褐色	口縁ヨコナデ，胴板ナデ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
724	89		弥生土器	甕	2④⑤SD03①	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3 浅黄色	口縁ハケメ後ヨコナデ，胴板ナデ後ヘラケズリ	タタキメ	
725	89		弥生土器	鉢	2④⑤SD03③（ピット周囲の畦部分）	6/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/4 浅黄橙色	ハケメ	不明	
726	89	59	弥生土器	高坏	2④⑤SD03① 北側（畦下）	1/8	長石・石英粗砂含	5YR3/3 暗赤褐色	不明	口縁ヨコナデ，胴ヘラミガキ	
760	92	60	弥生土器	壺	2④⑤SD08 第1層	8/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/8 明赤褐色	口縁ハケメ	ハケメ	
761	92		弥生土器	鉢	2④⑤SD08 第1層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	ハケメ	指頭痕	

第30表　土器観察表(16)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
762	92		弥生土器	壺	2④⑤SD08 畦 第2層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	不明	不明	
763	92	60	弥生土器	壺	2④⑤SD08 西 2層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ後ヨコナデ	
764	92	60	弥生土器	甕	2④⑤SD08 第2層と第3層の境	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口頸ヨコナデ，胴指ナデ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
765	92		弥生土器	鉢	2④⑤SD08 畦 第2層	3/8	長石・石英細砂含	2.5YR7/6橙色	不明	指頭痕	
766	92		弥生土器	鉢	2④⑤SD08 第2層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	不明	不明	
767	92		弥生土器	甕	2④⑤SD08	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/6明赤褐色	ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ	
768	92		弥生土器	甕	2④⑤SD08 SB04⑦周辺	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	口頸ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
769	92	60	弥生土器	鉢	2④⑤SD08	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	ヘラミガキ	ハケメ	内面赤色顔料
770	92		弥生土器	鉢	2④⑤SB04⑦ C21 SP254	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	ハケメ	タタキメ	
772	93		弥生土器	壺	2④⑤SD12① No.2 第1層	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	口縁ヨコナデ，頸ヘラミガキ	口縁タタキメ後ヨコナデ，頸ヨコナデ，胴ハケメ	
773	93	60	弥生土器	壺	2④⑤SD12① Tr. 黒色土中心	1/8	長石・石英粗砂少量	2.5YR6/8橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	
774	93		弥生土器	壺	2④⑤SD12① No.4 第1層	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ後ヘラミガキ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ後ヘラミガキ	
775	93		弥生土器	壺	2④⑤SD12① 黒色土	1/8	長石・石英粗砂含	5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ後ヘラミガキ，頸ハケメ後ヘラミガキ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ後ヘラミガキ	
776	93		弥生土器	壺	2④⑤拡張区 SD12Tr. 黒色土中心	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ	口縁ヨコナデ，頸ヘラミガキ，胴ハケメ	
777	93		弥生土器	壺	2④⑤SD12① 層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/8橙色	ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
778	93		弥生土器	壺	2④⑤SD12① No.1 第1層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	口頸ハケメ，胴上半ハケメ後ナデ，胴下半ハケメ後ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
779	93		弥生土器	壺	2④⑤SD12① 1層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/8橙色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ，胴ハケメ後ナデ	口縁ヨコナデ，頸胴ハケメ	
780	93		弥生土器	壺	2④⑤SD12① No.3 第1層	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量，角閃石粗砂含	5YR5/6明赤褐色	ミガキ	タタキメ後ハケメ	
781	93		弥生土器	壺	2④⑤SD12① 黒色土	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/8橙色	ハケメ	ハケメ	
782	93	60	弥生土器	壺	2④⑤SD12① 層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口頸ヨコナデ	口頸タタキメ	
783	94	60	弥生土器	壺	2④⑤SD12② SD13より南	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	ハケメ後ナデ	ハケメ後口縁ヨコナデ	
784	94	60	弥生土器	甕	2④⑤SD12① 層	2/8	長石・石英細礫多量	7.5YR8/4浅黄橙色	胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
785	94		弥生土器	甕	2④⑤SD12① 黒色土	3/8	長石・石英粗砂含	10YR7/4にぶい黄橙色～5YR3/3暗赤褐色	口縁ハケメ後ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴タタキメ	
786	94		弥生土器	鉢	2④⑤SD12① 南 第1層	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4にぶい黄橙色	ヘラミガキ	口縁ヨコナデ	
787	94		弥生土器	鉢	2④⑤SD12① 南 第1層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/4浅黄色	口縁ヨコナデ	口縁ヨコナデ，底ヘラケズリ	

第31表　土器観察表(17)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
788	94	60	弥生土器	鉢	2④⑤SD12① No.2 第1層	7/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/6 明赤褐色	ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
789	94	60	弥生土器	鉢	2④⑤SD12① 黒色土	6/8	長石・石英粗砂含	5YR5/6 明赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
790	94		弥生土器	高坏	2④⑤SD12① 黒色土	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/8 橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
791	94		弥生土器	高坏	2④⑤SD12① No.3 第1層	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/1 灰白色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	透孔4
792	94	61	弥生土器	壺	2④⑤SD12① 層	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含	7.5YR6/4 にぶい橙色	指ﾅﾃﾞ	頸ﾊｹﾒ，底ﾐｶﾞｷ	
793	94	61	弥生土器	壺	2④⑤SD12① 層	8/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂多量，角閃石粗砂多量	5YR6/6 橙色	不明	壺底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
794	94	61	弥生土器	壺	2④⑤SD12① No.2 第1層	4/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂含，角閃石粗砂多量	5YR6/6 橙色	体ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ，脚ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
795	94		飯蛸壺		2④⑤SD12① 層	8/8	粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	指ﾅﾃﾞ	指頭痕	
796	94	61	弥生土器	壺	2④⑤SD12② 2層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/8 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
797	94	61	弥生土器	壺	2④⑤SD12④⑤間畦 第2層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	頸ﾊｹﾒ，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴上半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
798	94	61	弥生土器	壺	2④⑤SD12① 2層	6/8	長石・石英粗砂多量，結晶片岩含	10R5/6 赤色	不明	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
799	94		弥生土器	甕	2④⑤SD12③④間畦 2層	8/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3 にぶい黄色	ﾊｹﾒ後胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ	
800	94	61	弥生土器	甕	2④⑤SD12③ 2層	7/8	長石・石英細礫多量	2.5YR6/8 橙色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
801	94		弥生土器	鉢	2④⑤SD12③ 2層	4/8	長石・石英粗砂含	5YR6/6 橙色	板ﾅﾃﾞ	不明	
802	94		弥生土器	鉢	2④⑤SD12② 2層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
803	95		弥生土器	鉢	2④⑤SD12① 2層	7/8	長石・石英粗多量	2.5YR6/8 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	
804	95		弥生土器	鉢	2④⑤SD12③ 2層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
805	95	61	弥生土器	壺	2④⑤SD12① 2層	6/8	長石・石英粗砂含	10YR8/4 浅黄橙色	不明	不明	
806	95	61	弥生土器	壺	2④⑤SD12③④間畦 2層	7/8	長石・石英粗砂含	10YR7/4 にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
807	95		弥生土器	壺	2④⑤SD12③（SH03 中央より南）	2/8	長石・石英細礫多量	10YR7/4 にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
808	95		弥生土器	壺	2④⑤SD12③（SH03 中央より南）	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/8 橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
809	95		弥生土器	鉢	2④⑤SD12（Tr.）	7/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/8 明赤褐色	ﾊｹﾒ	不明	
810	95		紡錘車		2④⑤SD12④1，2層混	3/8	粗砂含	2.5YR6/6 橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	土器片転用
821	96		弥生土器	壺	3①(2) SD01 弥生後期 中層	2/8	長石・石英粗砂含	5Y8/2 灰白色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
822	96	61	弥生土器	壺	3①(2) SD01 灰黒色粘質層（土器溜り）	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	

第32表　土器観察表(18)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
823	96		弥生土器	壺	3①(2) SD01 弥生後期の溝	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量，角閃石粗砂含	7.5YR5/4 にぶい褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
824	96	62	弥生土器	壺	3①(2) SD01 灰黒色粘質層（土器溜り）	7/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2 灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
825	96		弥生土器	甕	3①(2) SD01 灰黒色粘質層（土器溜り）	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色～10YR 3/1 黒褐色	口縁ﾊｹﾒ，胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後胴上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗﾅﾃﾞ	
826	96		弥生土器	甕	3①(2) SD01	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/8 橙色	口縁ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
827	96		弥生土器	甕	3①(2) SD01	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR8/4 淡橙色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾊｹﾒ	
828	96		弥生土器	甕	3①(2) SD01 灰黒色粘質層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3 浅黄色	口縁ﾊｹﾒ，胴板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
829	96		弥生土器	甕	3①(2) SD01 灰黒色粘質層（土器溜り）	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/8 橙色	不明	ﾊｹﾒ	
830	96	62	弥生土器	甕	3①(2) SD01 灰黒色粘質層（土器溜り）	5/8	長石・石英細礫多量	10YR6/3 にぶい黄橙色	不明	ﾊｹﾒ	
831	96		弥生土器	甕	3①(2) SD01 灰黒色粘質層	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2 灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
832	96		弥生土器	甑	3①(2) SD01 灰黒色粘質層	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/1 灰白色	ﾊｹﾒ，指頭痕	ﾊｹﾒ	
833	96	62	弥生土器	鉢	3①(2) SD01 弥生後期 下層	2/8	長石・石英粗砂多量	5Y7/2 灰白色	ﾊｹﾒ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ	
834	96		弥生土器	鉢	3①(2) SD01 弥生後期 下層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2 灰黄色	不明	ﾖｺﾅﾃﾞ	
835	96		弥生土器	鉢	3①(2) SD01 灰黒色粘質層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3 にぶい黄色	口縁ﾊｹﾒ，胴板ﾅﾃﾞ	胴ﾊｹﾒ	
836	96		弥生土器	鉢	3①(2) SD01	1/8	長石・石英中砂含	N7/0 灰白色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
837	96	62	弥生土器	鉢	3①(2) SD01 灰黒色粘質層（土器溜り）	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
838	96		弥生土器	鉢	3①(2) SD01 灰黒色粘質層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3 浅黄色	板ﾅﾃﾞ後ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
839	96		弥生土器	鉢	3①(2) SD01 灰黒色粘質層	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	10YR6/3 にぶい黄橙色	不明	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	
840	96		弥生土器	鉢	3①(2) SD01	1/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量	10YR6/3 にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	不明	
841	96		弥生土器	高坏	3①(2) SD01 灰黒色粘質層（土器溜り）	5/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	7.5YR4/4 褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
842	96		弥生土器	高坏	3①(2) SD01 弥生後期の溝	4/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂多量，角閃石粗砂多量	7.5YR6/4 にぶい橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
849	97		弥生土器	壺	3①(2)弥生後期の落ち第1層	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	10YR6/4 にぶい黄橙色	不明	口頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
850	97		弥生土器	甕	3①(2)弥生後期の落ち 第1層	4/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/1 灰白色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾊｹﾒ	
851	97		弥生土器	甕	3①(2)弥生後期の落ち 第1層	1/8	長石・石英粗砂含	10YR6/2 灰黄褐色	不明	胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	

第33表　土器観察表(19)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
852	98		弥生土器	鉢	3①(2) SD04 第2層	1/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂多量，角閃石粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後指ナデ	口縁ヨコナデ	
853	100		弥生土器	壺	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
854	100		弥生土器	壺	3①(2) SD02	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/2灰白色	不明	ハケメ	
855	100		弥生土器	壺	3①(2) SD02 No.61	1/8	長石・石英細礫多量	5YR6/4にぶい橙色	ハケメ	ハケメ	
856	100	62	弥生土器	壺	3①(2) SD02 No.27	6/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/2灰黄色	口頸ヨコナデ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
857	100		弥生土器	壺	3①(2) SD 02No.28	1/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	10YR7/4にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ	口頸ヨコナデ	径は不確実
858	100	62	弥生土器	壺	3①(2) SD02 No.03	3/8	長石・石英細礫多量	10YR7/2にぶい黄橙色	口頸ヨコナデ	口頸ヨコナデ	
859	100		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.53	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
860	100		弥生土器	甕	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	1/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	胴ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ	
861	100		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.03	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/2灰白色	胴下半ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
862	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.11	5/8	長石・石英細礫多量	2.5Y6/2灰黄色	口頸ヨコナデ，胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
863	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.30	3/8	長石・石英粗砂含	10YR5/2灰黄褐色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ	
864	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.40	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
865	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	3/8	長石・石英中砂含	2.5Y7/2灰黄色	胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
866	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.18	4/8	長石・石英細礫多量	10YR7/3にぶい黄橙色	胴ヘラケズリ	タタキメ後底ハケメ	
867	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.49	3/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
868	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.16	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/2灰黄褐色	ナデ	胴上半ハケメ，下半板ナデ	
869	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.59	3/8	長石・石英細礫多量	10YR7/4にぶい黄橙色	胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
870	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.32	5/8	長石・石英細礫多量	10YR6/2灰黄褐色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
871	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	胴ヘラケズリ	ハケメ	
872	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	1/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR5/4にぶい褐色	胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキ後ハケメ	
873	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02	4/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2灰黄色	胴下半ヘラケズリ	胴タタキメ	
874	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁板ナデ，胴ヘラケズリ	ハケメ	
875	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	4/8	長石・石英細礫多量	2.5YR6/6橙色	胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
876	101		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.32	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/2灰白色	指ナデ	不明	
877	102		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.30	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	不明	タタキメ後ハケメ	
878	102		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.55	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	胴下半ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ	
879	102		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.59	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/4にぶい橙色	ヘラケズリ	頸胴タタキメ後ハケメ	

第34表　土器観察表(20)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
880	102		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.40	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5Y7/2灰白色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
881	102		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.58	2/8	長石・石英細礫多量	5YR2/2黒褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
882	102		弥生土器	甕	3①(2) SD02 No.33	1/8	長石・石英細礫多量	2.5Y6/3にぶい黄色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
883	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.06	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/2にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
884	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ﾊｹﾒ	下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
885	102	62	弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.10	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量，角閃石粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾊｹﾒ	不明	
886	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02	6/8	長石・石英細礫多量	5YR6/6橙色	不明	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
887	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 灰黒色質層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
888	102	62	弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.23	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	不明	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
889	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.57	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	不明	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
890	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.48	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	不明	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
891	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.02	4/8	長石・石英細礫多量	2.5Y6/3にぶい黄色	不明	不明	
892	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.40	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	不明	不明	
893	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.33	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量，角閃石粗砂含	10YR6/4にぶい黄橙色	不明	不明	
894	102	62	弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.33	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	不明	ﾊｹﾒ	
895	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/2にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
896	102		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.02	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾊｹﾒ	不明	
897	103		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 No.37	1/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/3にぶい褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	頸ﾀﾀｷﾒ	
898	103		弥生土器	鉢	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾊｹﾒ	底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
899	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	1/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	10YR5/3にぶい黄褐色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
900	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.06	6/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂含，角閃石粗砂含	10YR7/2にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	不明	
901	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 灰黒色粘質層	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量，角閃石粗砂少量	10YR5/4にぶい黄褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
902	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.43	7/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	

第35表　土器観察表(21)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
903	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.51	8/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂少量，角閃石粗砂多量（B類土器）	5YR7/4 にぶい橙色	不明	口縁ヨコナデ，底ヘラケズリ後ヘラミガキ	
904	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.01	3/8	長石・石英粗砂多量，角閃石粗砂多量	2.5Y6/3 にぶい黄色	口縁ヨコナデ，底ヘラミガキ	不明	
905	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.15	5/8	長石・石英粗砂多量，角閃石粗砂多量	5YR6/4 にぶい橙色	不明，脚ヘラケズリ	底ハケメ	
906	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.34	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量，角閃石粗砂多量	10YR6/3 にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，底ヘラミガキ	口縁ヨコナデ	
907	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.36	2/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂多量，角閃石中砂多量	7.5YR6/4 にぶい橙色	坏ヘラミガキ	不明	透孔上段3孔，下段不明
908	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.07	4/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	底ヘラミガキ，脚ヘラケズリ	不明	透孔下段2，上段1残在
909	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.09	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂含，角閃石粗砂多量	7.5YR6/4 にぶい橙色	ヘラケズリ	不明	透穴上段2，下段2
910	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.08	4/8	長石・石英粗砂多量，角閃石粗砂多量	5YR5/6 明赤褐色	不明	不明	透孔下段3，上段推定3
911	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.34	6/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂多量，角閃石粗砂含	10YR6/3 にぶい黄橙色	不明	不明	
912	103	62	弥生土器	器台	3①(2) SD02 No.19	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/3 浅黄橙色	不明	不明	透孔4穴
913	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.04	5/8	長石・石英細礫多量	10YR6/3 にぶい黄橙色	ハケメ後底ヘラミガキ	口縁ハケメ後ヨコナデ	
914	103		弥生土器	高坏	3①(2) SD02 No.54	5/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/3 にぶい橙色	不明	ハケメ	
915	104		弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/2 灰黄褐色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
916	104	62	弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	3/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂含	2.5Y6/3 にぶい黄色	ヨコナデ	ハケメ後ヨコナデ	
917	104		弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2 灰黄色	ヨコナデ	ヨコナデ	
918	104		弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	ハケメ後ヨコナデ	ヨコナデ	
919	104		弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	3/8	長石・石英粗砂含	7.5YR7/4 にぶい橙色	胴ヘラケズリ	頸ハケメ	
920	104	63	弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	2/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3 にぶい黄橙色	口頸ヨコナデ	口頸ハケメ後ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
921	104		弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3 にぶい黄色	口頸ヨコナデ，胴ハケメ後ナデ	ハケメ後胴下半ヘラミガキ	
922	104		弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/4 にぶい赤褐色	ハケメ	タタキメ後ハケメ	
923	104		弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	指頭痕後ハケメ	ハケメ	

第36表　土器観察表(22)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
924	104		弥生土器	長頸壺	1②SR02 g層	5/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
925	104	63	弥生土器	甕	1②SR02 g'層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	板ナデ	ハケメ	
926	104	63	弥生土器	甕	1②SR02 g'層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	指ナデ	胴上半タタキメ	
927	104		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	口縁ヨコナデ，胴板ナデ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
928	104		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	口縁ハケメ後ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
929	104		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/2灰黄色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
930	104		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
931	104		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y5/3黄褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口頸ヨコナデ	
932	104		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	口縁ヨコナデ，胴指頭痕	口縁ヨコナデ	
933	104	63	弥生土器	甕	1②SR02 g'層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ後ハケメ	タタキメ後ハケメ	
934	104		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR4/2灰黄褐色	胴ヘラケズリ後板ナデ	胴ヘラミガキ	
935	104		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	2/8	長石・石英粗砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
936	105		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口頸ハケメ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴タタキメ	
937	105		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	頸ハケメ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
938	105		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	1/8	長石・石英細礫多量	7.5YR6/4にぶい橙色	胴ヘラケズリ	不明	
939	105		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	ハケメ	ハケメ	
940	105		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ハケメ	不明	
941	105		弥生土器	底部	1②SR02 g'層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/2灰黄褐色	ヘラケズリ	ハケメ	
942	105		弥生土器	底部	1②SR02 g'層	3/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR4/2灰褐色	ハケメ	タタキメ後ハケメ	
943	105		弥生土器	甕	1②SR02 g'層	3/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	ケズリ	ハケメ	
944	105	63	弥生土器	甑	1②SR02 g'層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ハケメ後胴下半ナデ	ハケメ後口縁ヨコナデ	
945	105		弥生土器	鉢	1②SR02 g'層	1/8	長石・石英粗砂含	5YR6/4にぶい橙色	ハケメ	ハケメ	
946	105		弥生土器	鉢	1②SR02 g'層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	不明	ハケメ	
947	105		弥生土器	鉢	1②SR02 g'層	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/2灰黄色	ハケメ	ハケメ	
948	105		弥生土器	底部	1②SR02 g'層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/2灰白色	ハケメ，指ナデ	ハケメ	
949	105		弥生土器	底部	1②SR02 g'層	6/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	ハケメ	亀裂多	
950	105		弥生土器	鉢	1②SR02 g'層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	板ナデ	不明	
951	105		弥生土器	鉢	1②SR02 g'層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	板ナデ	不明	
952	105	63	弥生土器	甕	1②SR02 g'層	5/8	長石・石英細礫含	2.5Y7/2灰黄色	指ナデ	口縁ヨコナデ，胴板ナデ	

第37表　土器観察表(23)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
953	105	63	弥生土器	鉢	1②SR02 g' 層	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3 にぶい黄橙色	指ﾅﾃﾞ	指頭痕	
954	105		弥生土器	鉢	1②SR02 g' 層	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4 にぶい橙色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
955	106	63	弥生土器	高坏	1②SR02 g' 層	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/3 浅黄橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
956	106	63	弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	7/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
957	106	64	弥生土器	壺	1②SR02 g' 層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/3 淡赤橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	頸ﾖｺﾅﾃﾞ，脚ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
958	106	64	弥生土器	蓋	1②SR02 g' 層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/3 浅黄色	ﾊｹﾒ	指ﾅﾃﾞ	
959	106		弥生土器	鉢	1②SR02 g' 層	5/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3 にぶい黄色	指頭痕	指頭痕	
960	106		紡錘車		1②SR02 g' 層	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3 にぶい黄橙色	不明	不明	
961	107	64	弥生土器	壺	1②西 Gr. SR01 下層	6/8	長石・石英粗砂含	5YR7/4 にぶい橙色	板ﾅﾃﾞ	胴上半ﾊｹﾒ，下半板ﾅﾃﾞ	
962	107	64	弥生土器	壺	1②SR01 下層	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
963	107	64	弥生土器	壺	1②SR01③下層	6/8	長石・石英細礫多量	2.5Y8/2 灰白色	口縁ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
964	107		弥生土器	壺	1②SR02 g層	2/8	長石・石英粗砂多量	5Y6/2 灰ｵﾘｰﾌﾞ色	頸ﾍﾗﾐｶﾞｷ	不明	
965	107	64	弥生土器	壺	1②東西畦 ④層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	不明	ﾊｹﾒ	
966	107		弥生土器	壺	1②北端 Tr. 白砂層(地山)	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含，角閃石細砂含	7.5YR5/4 にぶい褐色	ﾊｹﾒ	胴上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
967	107		弥生土器	壺	1②SR02 g層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
968	107	64	弥生土器	底部	1②SR02 g層	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/2 にぶい黄橙色	不明	ﾊｹﾒ	
969	107	64	弥生土器	底部	1②SR02 g層	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/2 にぶい黄橙色	不明	不明	底部焼成後穿孔
970	107	64	弥生土器	高坏	1②SR02 g層	2/8	長石・石英細礫多量	10YR3/1 黒褐色	坏部ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
971	107	64	弥生土器	壺	1②西 Gr. SR01 下層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR4/4 にぶい赤褐色	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
972	107	65	弥生土器	壺	1②SR01③下層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
973	108	65	弥生土器	壺	1②西 Gr. SR01 下層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4 にぶい黄橙色	ﾅﾃﾞ	口頸ﾀﾀｷﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
974	108	65	弥生土器	壺	1②南東 Gr. f 層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	頸指頭痕，口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
975	108		弥生土器	壺	1②SR02 g層	2/8	長石・石英粗砂含	5Y7/2 灰白色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
976	108		弥生土器	壺	1②SR02 g層	1/8	長石・石英中砂含	5Y7/2 灰白色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
977	108		弥生土器	壺	1②SR01③下層	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	10YR5/4 にぶい黄褐色	不明	頸ﾊｹﾒ	
978	108		弥生土器	壺	1②SR01③下層	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/6 明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ	
979	108		弥生土器	壺	1②SR01③下層	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	不明	

第38表　土器観察表(24)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
980	108		弥生土器	壺	1②西Gr.SR01下層	8/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含	10YR7/3にぶい黄橙色	口頸ヨコナデ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ後ヨコナデ	
981	108		弥生土器	壺	1②南東Gr. f層	6/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	口縁ヨコナデ，胴指頭痕	ヨコナデ	
982	108	65	弥生土器	壺	1②東西畦⑮層	4/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
983	108		弥生土器	壺	1②SR02 g層	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，胴指頭痕	口頸ヨコナデ，胴ヘラミガキ	
984	108	65	弥生土器	壺	1②北東Gr. SR01Tr.	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量，角閃石粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	胴指頭痕	口縁ヨコナデ，頸胴ハケメ	
985	109		弥生土器	甕	1②SR02 g層	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/2灰黄色	ハケメ	ハケメ	
986	109		弥生土器	壺	1②北Tr.流路灰黒粘土層	3/8	長石・石英細礫多量	7.5YR7/4にぶい橙色	胴下半指ナデ	不明	
987	109	65	弥生土器	壺	1②西Gr.SR01下層	5/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	7.5YR5/4にぶい褐色	胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	ハケメ後ミガキ	
988	109	65	弥生土器	壺	1②南東Gr. f層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	ナデ	ヘラミガキ	外底にヘラ描文
989	109		弥生土器	壺	1②SR01 9層	1/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂含	2.5Y7/3浅黄色	ハケメ	ヘラミガキ	線刻
990	109		弥生土器	壺	1②SR02 g層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/2灰黄色	ハケメ後指ナデ	ハケメ	
991	109		弥生土器	壺	1②SR02 g層	1/8	長石・石英粗砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	口縁ハケメ後ヨコナデ，頸指頭痕	ハケメ後口縁ヨコナデ	
992	109		弥生土器	壺	1②SR02 g層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ハケメ	ハケメ後口頸ヨコナデ	
993	110	66	弥生土器	壺	1②SR01③上層	6/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	胴下半ヘラケズリ，他指頭痕，口縁ヨコナデ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ，底ヘラミガキ	
994	110		弥生土器	ミニチュア甕	1②SR01③下層	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	口縁ハケメ後ナデ，胴下半ヘラミガキ	ハケメ	
995	110		弥生土器	甕	1②SR02 川底粗砂	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	ハケメ後ヘラケズリ，口縁ヨコナデ	ハケメ後口縁ヨコナデ	
996	110		弥生土器	甕	1②SR01③下層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y8/2灰白色	口縁ハケメ，胴ハケメ後ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ	
997	110	66	弥生土器	甕	1②SR01②下層	4/8	長石・石英細礫多量	10YR8/2灰白色～5YR6/6橙色	胴下半ヘラケズリ	不明	
998	110		弥生土器	甕	1②西Gr.SR01下層	6/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/4浅黄橙色	口縁ヨコナデ，胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキ後ハケメ	
999	110		弥生土器	甕	1②SR02 g層	5/8	長石・石英粗砂多量	5Y6/3オリーブ黄色	ヘラケズリ	ハケメ	
1000	110		弥生土器	甕	1②南東Gr. 7層	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR4/6赤褐色	口縁ハケメ，胴ハケメ後ヘラケズリ	ハケメ後口縁ヨコナデ	
1001	110		弥生土器	甕	1②SR02 g層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y8/2灰白色	頸～胴上半ハケメ，胴下半ヘラケズリ	口頸ハケメ後ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1002	110	66	弥生土器	甕	1②SR01②下層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1003	110		弥生土器	甕	1②南東Gr. f層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラケズリ	タタキメ	
1004	110		弥生土器	鉢	1②SR02 g層	4/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂含	2.5Y7/2灰黄色	板ナデ	タタキメ	

第39表　土器観察表(25)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1005	111		弥生土器	鉢	1②南東Gr. f層	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ	
1006	111		弥生土器	鉢	1②SR02 g層	4/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2灰黄色	ハケメ	タタキメ	
1007	111		弥生土器	鉢	1②SR01②下層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/8橙色	ハケメ	ヨコナデ	
1008	111		弥生土器	鉢	1②SR02 g層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2灰黄色	指頭痕	不明	
1009	111	66	弥生土器	鉢	1②SR02 g層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ヘラケズリ	
1010	111	66	弥生土器	高坏	1②SR02 g層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/4にぶい橙色	坏ヘラミガキ，脚ハケメ	口縁ヨコナデ，底～脚ハケメ	
1011	111		弥生土器	高坏	1②SR01③下層	8/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	坏部ヘラミガキ	口縁ヨコナデ，底上半ヘラケズリ，下半ハケメ，脚板ナデ	
1012	111		弥生土器	高坏	1②SR02 g層	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂少量	5Y7/2灰白色	坏部ヘラミガキ	坏底～脚上部ヘラケズリ	
1013	111	66	弥生土器	高坏	1②SR02 g層	1/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂含，角閃石粗砂含	10YR5/3にぶい黄褐色	ヘラミガキ	ヘラミガキ	内外面赤彩
1014	111	66	弥生土器	高坏	1②SR02 g層	2/8	長石・石英細砂少量，雲母細砂少量，角閃石粗砂含	2.5Y6/2灰黄色	ヘラケズリ	脚端ヨコナデ，脚ヘラミガキ	
1015	111	66	弥生土器	壺	1②南東Gr. 南西隅Tr.	4/8	長石・石英粗砂含	5YR6/4にぶい橙色	口頸ヨコナデ，胴ナデ	ナデ	
1016	111		弥生土器	壺	1②SR01③下層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	坏ヨコナデ，脚ヘラケズリ	ヘラミガキ	透孔上段4，下段4
1017	111		弥生土器	壺	1②南東Gr. f層	2/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂含，角閃石粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	ヨコナデ	頸ヨコナデ	
1018	111		弥生土器	支脚	1②SR01③上層	3/8	長石・石英粗砂含	7.5YR5/4にぶい褐色	—	不明	
1060	117	67	弥生土器	壺	1③畦南9層 11層多	5/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	指頭痕	ハケメ	
1061	117		弥生土器	壺	1③畦南11層	3/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石中砂含	7.5YR5/4にぶい褐色	口縁ヨコナデ，頸～胴上半指頭痕，胴下半ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ後ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラミガキ	
1062	117	67	弥生土器	壺	1③畦 11層	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/4にぶい黄橙色～10YR 3/1黒褐色	胴ヘラケズリ	不明	
1063	117	67	弥生土器	壺	1③畦南 11層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ヨコナデ	ヨコナデ	
1064	117	67	弥生土器	壺	1③畦南9層 11層多	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	頸ヘラミガキ	頸ハケメ	
1065	117		弥生土器	壺	1③畦 11層	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/4浅黄橙色～2.5YR6/6橙色	口縁ヨコナデ，胴上半ハケメ	口縁ヨコナデ，頸～胴上半ヘラミガキ，胴下半ハケメ	
1066	117		弥生土器	壺	1③畦 11層	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR4/2灰褐色	ヘラケズリ	ヘラミガキ	
1067	117		弥生土器	壺	1③畦 11層	5/8	長石・石英細礫少量	10YR7/4にぶい黄橙色	ハケメ	ヘラミガキ	
1068	117		弥生土器	壺	1③畦 11層	2/8	長石・石英粗砂含	10YR8/4浅黄橙色	ケズリ状ハケメ	ハケメ	
1069	117	67	弥生土器	壺	1③ハウス横東壁黒茶シルト	8/8	長石・石英粗砂含	5YR7/4にぶい橙色	胴ハケメ後指ナデ	頸ヨコナデ，胴ハケメ	

第40表　土器観察表(26)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
1070	118		弥生土器	壺	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ層	6/8	長石・石英粗砂少量	2.5YR5/6 明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
1071	118	67	弥生土器	壺	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ層	5/8	長石・石英粗砂少量	5Y8/1 灰白色	口頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾅﾃﾞ後下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1072	118		弥生土器	底部	1③畦南 11層	6/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4 にぶい黄橙色	不明	指頭痕	木葉圧痕
1073	118		弥生土器	甕	1③畦 11層	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1074	118		弥生土器	甕	1③畦 11層	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含，角閃石粗砂多量，B類	5YR5/6 明赤褐色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1075	118		弥生土器	甕	1③畦南 11層	7/8	長石・石英中砂含，雲母中砂含，角閃石中砂含	7.5YR6/4 にぶい橙色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1076	118		弥生土器	甕	1③畦南 11層	2/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6 橙色	ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1077	118		弥生土器	甕	1③畦 11層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3 にぶい黄橙色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾀﾀｷﾒ	
1078	118		弥生土器	甕	1③畦南 11層	6/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8 赤色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1079	118		弥生土器	甕	1③畦南 11層	4/8	長石・石英粗砂含	7.5YR7/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾀﾀｷﾒ，胴ﾊｹﾒ	
1080	118	67	弥生土器	甕	1③畦南 11層	7/8	長石・石英粗砂含	10YR8/4 浅黄橙色	口縁～胴上半ﾊｹﾒ，胴下半指ﾅﾃﾞ	口頸ﾊｹﾒ，胴ﾀﾀｷﾒ，底ﾊｹﾒ	
1081	118		弥生土器	甕	1③畦 11層	5/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6 橙色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後板ﾅﾃﾞ	
1082	119	67	弥生土器	甕	1③畦 11層	6/8	長石・石英中砂含	5YR4/2 灰褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1083	119		弥生土器	甕	1③畦南 11層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色～10YR 8/4 浅黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾀﾀｷﾒ，下半ﾊｹﾒ	
1084	119	67	弥生土器	甕	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	4/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂含，角閃石粗砂含	5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸板ﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1085	119		弥生土器	甕	1③畦南 11層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1086	119		弥生土器	甕	1③畦 11層	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/2 灰黄褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1087	119	68	弥生土器	甕	1③畦南 11層	7/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6 橙色～2.5YR3/1 暗赤灰色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後胴上半ﾊｹﾒ，胴下半ﾍﾗﾅﾃﾞ	
1088	119		弥生土器	甕	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	口縁ﾀﾀｷﾒ後ﾅﾃﾞ，胴上半ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ，下半ﾀﾀｷﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1089	119		弥生土器	甕	1③畦南 11層	4/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3 にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	
1090	119		弥生土器	甕	1③畦南 11層	7/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1091	119		弥生土器	甕	1③畦南 11層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1092	119	68	弥生土器	甕	1③畦 11層	7/8	長石・石英粗砂含	5Y7/2 灰白色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後胴下半ﾊｹﾒ	

第41表　土器観察表(27)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1093	119	68	弥生土器	甕	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	8/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6 橙色～7.5YR4/1 褐灰色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1094	120	68	弥生土器	甕	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	5/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6 橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1095	120	68	弥生土器	甕	1③畦南 11層	7/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4 にぶい橙色	胴ﾅﾃﾞ後上半ﾊｹﾒ	胴上半ﾊｹﾒ	
1096	120	68	弥生土器	甕	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	4/8	長石・石英粗砂含	5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1097	120	68	弥生土器	甕	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR4/2 灰褐色～5YR7/6 橙色	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾀﾀｷﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1098	120		弥生土器	甕	1③畦南 11層	7/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8 赤色	口縁ﾊｹﾒ，胴上半板ﾅﾃﾞ，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
1099	120		弥生土器	甕	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR4/6 赤褐色	口縁ﾊｹﾒ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1100	120		弥生土器	甕	1③畦 11層	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6 橙色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
1101	120		弥生土器	甕	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	口縁板ﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	板ﾅﾃﾞ	
1102	120		弥生土器	甕	1③畦 11層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸指ﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1103	120		弥生土器	甕	1③畦 11層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1104	120		弥生土器	甕	1③畦南 11層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6 明赤褐色～2.5Y 3/3 暗赤褐色	指頭痕後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1105	120		弥生土器	甕	1③畦 11層	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/4 にぶい赤褐色～7.5YR 3/2 黒褐色	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1106	121		弥生土器	甑	1③畦 11層	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/6 明赤褐色	板ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
1107	121		弥生土器	鉢	1③畦南 11層	1/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/3 浅黄色	ﾊｹﾒ	不明	
1108	121		弥生土器	鉢	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	3/8	長石・石英粗砂少量	2.5YR5/6 明赤褐色	板ﾅﾃﾞ	不明	
1109	121		弥生土器	鉢	1③畦南 11層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1110	121		弥生土器	鉢	1③畦南 11層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	板ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
1111	121		弥生土器	鉢	1③畦南 11層	1/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8 赤色	口縁ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1112	121		弥生土器	鉢	1③畦南 11層	6/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6 橙色	ﾊｹﾒ後板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
1113	121		弥生土器	鉢	1③畦南 11層	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
1114	121		弥生土器	鉢	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8 明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1115	121		弥生土器	鉢	1③畦南 11層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6 橙色	ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
1116	121		弥生土器	鉢	1③畦南 11層	4/8	長石・石英粗砂含	2.5YR4/8 赤褐色	ﾊｹﾒ後板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
1117	121		弥生土器	鉢	1③畦南 11層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1118	121		弥生土器	鉢	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/6 橙色	板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1119	121		弥生土器	鉢	1③畦南 11層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4 にぶい黄橙色	板ﾅﾃﾞ	下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	

第42表　土器観察表(28)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1120	121	68	弥生土器	鉢	1③畦南 11層	8/8	長石・石英中砂含，雲母中砂含，角閃石中砂含，B類土器	2.5Y6/2灰黄色	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1121	121	68	弥生土器	高坏	1③畦南 11層	7/8	長石・石英粗砂含	2.5Y8/3淡黄色	坏ﾍﾗﾐｶﾞｷ，脚端ﾖｺﾅﾃﾞ	坏ﾍﾗﾐｶﾞｷ，脚ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1122	121	69	弥生土器	高坏	1③畦南 11層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1123	121	69	弥生土器	高坏	1③畦南 9層 11層多	4/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量，B類	2.5YR5/6明赤褐色	坏口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，坏底ﾍﾗﾐｶﾞｷ，脚ﾍﾗｹｽﾞﾘ	坏口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，坏底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	透孔上段2，下段2孔1対3組
1124	121	69	弥生土器	壺	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ	6/8	長石・石英粗砂含	5YR6/6橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底指ﾅﾃﾞ，脚ﾊｹﾒ	胴ﾊｹﾒ，脚端ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
1125	121		弥生土器	鉢	1③東部拡区黒茶ｼﾙﾄ層	7/8	長石・石英粗砂多量	10R4/4赤褐色	ﾅﾃﾞ	不明	
1126	121	69	製塩土器	*	1③畦 11層	5/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
1127	122	69	弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	5/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	口頸ﾊｹﾒ，胴上半ﾍﾗｹｽﾞﾘ，下半ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後胴下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1128	122	69	弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾊｹﾒ	
1129	122	69	弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	5/8	長石・石英細礫多量	10YR8/2灰白色	不明	胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1130	122		弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/1灰白色	不明	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1131	122	69	弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	4/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/6橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
1132	122		弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/4にぶい黄褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1133	122	70	弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
1134	122	70	弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	7/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6橙色	胴指頭痕	頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1135	122		弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	2/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3にぶい黄橙色	不明	ﾀﾀｷﾒ	
1136	122		弥生土器	底部	1③ 11層下部砂層	6/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/6明赤褐色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1137	123		弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	3/8	長石・石英粗砂含	5Y8/2灰白色	底部指頭痕，胴ﾊｹﾒ	胴ﾊｹﾒ後底部ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1138	123	70	弥生土器	壺	1③ 11層下部砂層	8/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	指頭痕	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1139	123	70	弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	7/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4にぶい橙色	胴指ﾅﾃﾞ	不明	
1140	123	70	弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕後，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾊｹﾒ，下半ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1141	123		弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	6/8	長石・石英細礫多量	2.5YR6/8橙色	不明	不明	
1142	123	70	弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	5/8	長石・石英粗砂含	2.5Y8/2灰白色	口縁ﾊｹﾒ，胴板ﾅﾃﾞ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1143	123		弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR4/6赤褐色	口頸胴上半ﾊｹﾒ，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ	
1144	123	70	弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/2灰白色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1145	123		弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	5/8	長石・石英粗砂多量	5YR8/4淡橙色	胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	

第43表　土器観察表(29)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
1146	123		弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1147	123		弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	3/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1148	123		弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1149	124		弥生土器	甕	1③ 11層下部砂層	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6橙色	胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1150	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	6/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	板ﾅﾃﾞ	不明	
1151	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y4/2暗灰黄色	板ﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	
1152	124	70	弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/6橙色～10YR8/3浅黄橙色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1153	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6橙色	ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1154	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1155	124	70	弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	5/8	長石・石英粗砂含	7.5YR8/4浅黄橙色	ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
1156	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	1/8	長石・石英粗砂含	10YR7/4にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1157	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	不明	不明	
1158	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6橙色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
1159	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	1/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4にぶい橙色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
1160	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	6/8	長石・石英粗砂含	5YR6/4にぶい橙色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
1161	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	8/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	不明	不明	
1162	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/4浅黄橙色	ﾊｹﾒ後板ﾅﾃﾞ	不明	
1163	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/2にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ	不明	
1164	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾊｹﾒ，胴ﾊｹﾒ	
1165	124		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	3/8	長石・石英粗砂含	10YR4/2灰黄褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1166	125		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	2/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1167	125	70	弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	8/8	長石・石英粗砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	板ﾅﾃﾞ後指ﾅﾃﾞ	指ﾅﾃﾞ	
1168	125		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/6明黄褐色	指頭痕	指頭痕	
1169	125		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	5/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2灰黄色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1170	125		弥生土器	鉢	1③ 11層下部砂層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	不明	台部指頭痕	
1171	125		弥生土器	底部	1③ 11層下部砂層	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR3/1黒褐色	ﾊｹﾒ	指頭痕	
1172	125		弥生土器	高坏	1③ 11層下部砂層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1173	125		弥生土器	高坏	1③ 11層下部砂層	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色	不明	口縁ﾊｹﾒ，底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1174	125		弥生土器	高坏	1③ 11層下部砂層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	板ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	透孔4

第44表　土器観察表(30)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1175	125		弥生土器	高坏	1③ 11層下部砂層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	透孔2孔1組が2組以上
1176	125		製塩土器		1③ 11層下部砂層	3/8	粗砂含	2.5Y7/2 灰黄色	板ﾅﾃﾞ	胴ﾀﾀｷﾒ，脚指頭痕	
1177	125	71	弥生土器	壺	1③Tr.	3/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6 橙色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴上半ﾖｺﾅﾃﾞ	
1178	125		弥生土器	甕	1③Tr.	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3 にぶい黄色	指ﾅﾃﾞ，板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1179	125		弥生土器	壺	1③Tr.	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	5YR4/4 にぶい赤褐色	不明	不明	
1180	125		製塩土器		1③Tr.	2/8	粗砂多量	10R5/6 赤色～5YR6/8 橙色	板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
1181	125		製塩土器		1③Tr.	4/8	粗砂含	5YR6/6 橙色	ﾅﾃﾞ	不明	
1182	125		土錘		1③Tr.	8/8	粗砂多量	2.5Y7/1 灰白色	不明	不明	
1191	127		弥生土器	甕	2①C17第4面掘削(北西田)覆土洪水砂	1/8	長石・石英粗砂含	10YR8/3 浅黄橙色	不明	ﾊｹﾒ	
1192	127		弥生土器	壺	2①C17南側側溝拡張掘り下げ	1/8	長石・石英細礫少量	2.5YR6/8 橙色	ﾅﾃﾞ	不明	
1193	127		弥生土器	壺	2①C17第4面掘り下げ(機械)覆土洪水砂層及びその上層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/4 にぶい橙色	不明	不明	
1194	127		弥生土器	壺	2①C17第5面SR01中区 黒色粘土	1/8	長石・石英粗砂少量	10YR5/2 灰黄褐色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1195	127	71	弥生土器	甕	2①B16，B17，C16，C17西側Tr. 灰褐色粘質ｼﾙﾄ	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR3/3 暗赤褐色	不明	ﾊｹﾒ	
1196	127	71	弥生土器	壺	2①C17第5面SR01南Tr. 黄灰色粗砂層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1197	127	71	弥生土器	壺	2①C16第5面SR01北区 28～30層黒粘	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1198	127		弥生土器	壺	2①C16第5面SR01北Tr. 西部 黒色粘土層	8/8	長石・石英粗砂多量	5Y8/2 灰白色	指頭痕，ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
1199	127	71	弥生土器	壺	2①C16第5面SR01北区 28～30層黒色粘土層他	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/1 灰白色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾅﾃﾞ	
1200	127	71	弥生土器	壺	2①C17第5面SR01南Tr. 黄灰色粗砂層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	胴上半指頭痕，下半ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1201	127	71	弥生土器	壺	2①C17SR01南中 黒色粘土	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/2 灰白色	頸胴ﾊｹﾒ，底指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1202	128		弥生土器	甕	2①C16第5面SR01北Tr. 西部 黒色粘土混じり粗砂	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1203	128	71	弥生土器	壺	2①C17第5面SR01中区 黒色粘土	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	指頭痕	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	

第45表　土器観察表(31)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1204	128	71	弥生土器	鉢	2①C17第5面SR01中区 黒色粘土	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR4/1褐灰色～2.5Y7/2灰黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁部ﾖｺﾅﾃﾞ	
1205	128		弥生土器	鉢	2①C17第5面SR01南Tr. 黒褐色粘土層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	不明	ﾊｹﾒ	
1206	128	72	弥生土器	高坏	2③南Gr. 東Tr.	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	坏ﾍﾗﾐｶﾞｷ，脚上半ｹｽﾞﾘ，下半ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ，脚端ﾖｺﾅﾃﾞ	透孔4
1207	128	72	弥生土器	高坏	2①S17南壁SR01	3/8	長石・石英細礫含，雲母中砂含，角閃石粗砂多量(B類)	5YR5/6明赤褐色	不明	不明	
1231	133	72	弥生土器	壺	2③北Gr.Tr.中	1/8	長石・石英粗砂含	7.5YR3/1黒褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
1232	133	72	弥生土器	壺	2③北Tr.5	8/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂少量	7.5YR7/4にぶい橙色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	口縁ﾀﾀｷﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，頸胴ﾊｹﾒ	
1233	133		紡錘車		2③北Gr.SR02①上層	*	粗砂含	7.5YR3/2黒褐色～2.5Y8/2灰白色	不明	不明	土器片転用
1234	133	72	弥生土器	壺	2③北SR02①下層	4/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	不明	ﾊｹﾒ	
1235	133	72	弥生土器	壺	2③北SR02①下層	3/8	長石・石英粗砂含	7.5YR7/4にぶい橙色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	不明	
1236	133		弥生土器	壺	2③北SR02②下層	7/8	長石・石英粗砂多量，角閃石粗砂多量	5YR6/6橙色	不明	不明	
1237	133	72	弥生土器	甕	2③北Gr.SR02下層	4/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/4浅黄色	胴上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	不明	
1238	133		弥生土器	甕	2③北SR02①下層	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾀﾀｷﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後一部板ﾅﾃﾞ	
1239	133		弥生土器	甕	2③北SR02③	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4にぶい橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1240	133		弥生土器	甕	2③北Gr.SR02下層	4/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂多量，角閃石細砂多量，B類土器	7.5YR5/6明褐色	胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ，胴上半ﾊｹﾒ後指頭痕，口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1241	133	72	弥生土器	壺	2③北Gr.SR01①上層	4/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂多量，角閃石粗砂少量	5YR6/6橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	不明	
1242	134		弥生土器	壺	2③北Gr.SR01①②上層	4/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂含	5YR6/6橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ	
1243	134	73	弥生土器	壺	2③北SR01①下層	4/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量(B類土器)	7.5YR5/4にぶい褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
1244	134		弥生土器	甕	2③北SR01①下層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1245	134		弥生土器	甕	2③北SR01①上層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1246	134		弥生土器	甕	2③北SR01①下層	2/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂多量，角閃石粗砂少量，B類	2.5Y5/2暗灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ	

第46表　土器観察表(32)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1247	134	73	弥生土器	鉢	2③北SR01①下層	7/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂多量	2.5Y6/2灰黄色	ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
1248	134		弥生土器	鉢	2③北Gr.SR01②上層	5/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/2灰黄色	不明	不明	
1249	134		弥生土器	底部	2③北Gr.SR01②下層	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/1褐灰色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾅﾃﾞ	炭化物付着
1250	134	73	朝鮮系無文土器	甕	2③北Gr.SR01①下層	1/8	粗砂含	5YR7/4にぶい橙色	不明	不明	
1251	134	73	弥生土器	ﾐﾆﾁｭｱ壺	2②西Tr.	8/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1252	134		弥生土器	甕	2②北人力8層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	不明	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1253	134	73	弥生土器	壺	2②北 東Tr.⑮層以下	5/8	長石・石英細礫多量	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	ﾐｶﾞｷ	
1254	134	73	弥生土器	甕	2②北 東Tr.⑮層以下	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR8/4淡橙色～2.5Y8/2灰白色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1255	134		弥生土器	甕	2②北 西Tr.⑮層以下	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6橙色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1256	135	73	弥生土器	甕	2②北人力10層	6/8	長石・石英細礫少量	5Y8/2灰白色	口縁ﾊｹﾒ，胴板ﾅﾃﾞ	胴上・下端ﾊｹﾒ，胴中央ﾀﾀｷﾒ	
1257	135	73	弥生土器	甕	2②北 東Tr.⑮層以下	6/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/4浅黄色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
1258	135		弥生土器	鉢	2②北 東Tr.⑮層以下	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
1259	135		弥生土器	鉢	2②北人力10層	5/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	ﾊｹﾒ	不明	
1260	135		弥生土器	鉢	2②北 西Tr.⑮層以下	4/8	長石・石英粗砂含	5YR6/4にぶい橙色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1261	135		弥生土器	鉢	2②北 西Tr.⑮層以下	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	板ﾅﾃﾞ	不明	
1262	135		弥生土器	鉢	2②北 東Tr.⑬層以下	6/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
1263	135		弥生土器	壺	2②南 東Tr.⑮層以下	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR8/4淡橙色	不明	不明	
1264	135	74	弥生土器	壺	2②南 東Tr.⑮層以下	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂含	2.5Y7/2灰黄色	頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1265	135		弥生土器	壺	2②南 東Tr.⑮層以下	6/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1266	135	74	弥生土器	壺	2②南 東Tr.⑮層以下	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含	10YR5/3にぶい黄褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ，胴指頭痕後ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1267	135		弥生土器	壺	2②南 東Tr.⑮層以下	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ	口径不確実
1268	136		弥生土器	壺	2②南 西Tr.黒色土⑮層以下	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	頸ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	頸胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1269	136		弥生土器	壺	2②南 東Tr.⑮層以下	4/8	長石・石英細礫多量	2.5Y6/2灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1270	136	74	弥生土器	壺	2②南 東Tr.⑮層以下	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ，頸ﾊｹﾒ，胴指頭痕	口縁ﾍﾗﾐｶﾞｷ，頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾖｺﾅﾃﾞ	
1271	136		弥生土器	壺	2②南 西Tr.⑮層以下	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/1灰白色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1272	136	74	弥生土器	壺	2②畦部分人力10層	8/8	長石・石英中砂多量	2.5Y7/2灰黄色	不明	不明	
1273	136		弥生土器	壺	2②南 西Tr.⑮層以下	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	
1274	136		弥生土器	甕	2②南 西Tr.⑮層以下	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/4浅黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	

第47表　土器観察表(33)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1275	136		弥生土器	甕	2②畦部分 人力10層	4/8	長石・石英粗 砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ハケメ，胴ハケメ後ヘラケズリ	口縁ハケメ後ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1276	136		弥生土器	甕	2②畦部分 人力10層	3/8	長石・石英粗 砂多量	2.5YR7/8橙色	ヘラケズリ後ハケメ	タタキメ後ハケメ	
1277	136	74	弥生土器	甕	2②南 東Tr. ⑮層以下	3/8	長石・石英細 礫多量	5Y7/2灰白色	胴指ナデ	不明	
1278	136		弥生土器	甕	2②南 西Tr. ⑮層以下	3/8	長石・石英粗 砂多量	10YR6/3にぶい 黄橙色	口縁ハケメ，胴ケズリ状ハケメ	頸胴ハケメ	
1279	136		弥生土器	甕	2②畦部分 人力10層	5/8	長石・石英細 礫多量	2.5YR6/6橙色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1280	136	74	弥生土器	甕	2②南 東Tr. ⑮層以下	7/8	長石・石英粗 砂含	2.5Y7/2灰黄色	口頸ハケメ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1281	136	74	弥生土器	甕	2②南 西Tr. ⑮層以下	3/8	長石・石英粗 砂多量	2.5Y6/2灰黄色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1282	137		弥生土器	甕	2②南 東Tr. ⑮層以下	4/8	長石・石英細 礫含	2.5YR6/6橙色， 2.5Y7/2灰黄色	指頭痕後ハケメ	タタキメ後ハケメ	
1283	137	74	弥生土器	甕	2②南 東Tr. ⑮層以下	4/8	長石・石英粗 砂含	2.5Y6/2灰黄色	口頸ハケメ後ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1284	137		弥生土器	甕	2②南 東Tr. ⑮層以下	3/8	長石・石英粗 砂多量	7.5YR6/3にぶい褐色	口頸ヨコナデ，胴ヘラケズリ後ナデ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1285	137		弥生土器	甕	2②南 人力第 8層(最下層)	1/8	長石・石英粗 砂多量	10YR7/3にぶい 黄橙色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ，胴指頭痕後ハケメ	ハケメ後口頸ヨコナデ	
1286	137		弥生土器	甕	2②南 西Tr. ⑮層以下	2/8	長石・石英粗 砂多量	2.5YR6/6橙色	ハケメ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ	
1287	137		弥生土器	鉢	2②南 西Tr. 黒色土⑮層以下	2/8	長石・石英細 礫含	2.5Y6/3にぶい 黄色	口頸ハケメ，胴ヘラミガキ	ハケメ	
1288	137		弥生土器	鉢	2②南 東Tr. ⑮層以下	6/8	長石・石英粗 砂多量	2.5YR5/6明赤 褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後指ナデ	口縁ヨコナデ，胴上半ハケメ，下半ヘラケズリ後ハケメ	
1289	138	75	弥生土器	鉢	2②南 西Tr. ⑮層以下	1/8	長石・石英粗 砂多量	10YR8/4浅黄橙 色～2.5YR4/6 赤褐色	不明	口縁ヨコナデ，胴上半ハケメ，下半ヘラケズリ	
1290	138	75	弥生土器	鉢	2②南 西Tr. 大部分人力8層	3/8	長石・石英粗 砂多量	2.5YR5/6明赤 褐色	ハケメ	ハケメ後口縁ヨコナデ 胴下半ヘラケズリ	
1291	138	75	弥生土器	鉢	2②南 東Tr. ⑮層以下	6/8	長石・石英粗 砂含	2.5Y7/3浅黄色	ナデ	底ハケメ	
1292	138		弥生土器	鉢	2②南 西Tr. ⑮層以下	6/8	長石・石英粗 砂含	2.5Y7/3淡黄色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラミガキ	口縁ヨコナデ，胴下半ヘラケズリ	
1293	138		弥生土器	鉢	2②南 東Tr. ⑮層以下	2/8	長石・石英粗 砂含	2.5Y6/3にぶい 黄色	ハケメ	口縁ハケメ	
1294	138		弥生土器	鉢	2②南 人力第 8層(最下層)	2/8	長石・石英粗 砂含	7.5YR6/4にぶい 橙色	ハケメ	底指頭痕	
1295	138		弥生土器	鉢	2②畦部分 人力10層	7/8	長石・石英粗 砂含	7.5YR7/3にぶい 橙色	ナデ	タタキメ	
1296	138	75	弥生土器	鉢	2②南 人力第 8層(最下層)	8/8	長石・石英粗 砂多量	10YR6/3にぶい 黄橙色	板ナデ	不明	
1297	138		弥生土器	鉢	2②南 西Tr. ⑮層以下	8/8	長石・石英粗 砂多量	2.5Y7/4浅黄色	板ナデ	不明	
1298	138		弥生土器	鉢	2②南 東Tr. ⑮層以下	2/8	長石・石英粗 砂含	10YR8/4浅黄橙 色	不明	不明	
1299	138		弥生土器	高坏	2②南 西Tr. 黒色土⑮層以下	2/8	長石・石英粗 砂含，雲母細 砂含，角閃石 中砂含	7.5YR6/4にぶい 橙色	坏底格子ヘラミガキ，口縁ヨコナデ，脚ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，坏底ヘラケズリ後格子ヘラミガキ，脚ヘラミガキ	赤色顔料坏部内面残存
1300	138		弥生土器	高坏	2②南 東Tr. ⑮層以下	6/8	長石・石英粗 砂多量，雲母 粗砂含	10YR7/3にぶい 黄橙色	口縁ヨコナデ後ハケメ	口縁ヨコナデ後ハケメ，坏底ヘラケズリ，脚ハケメ	透孔5

第48表　土器観察表(34)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1301	138		弥生土器	壺	2②南 東Tr. ⑮層以下	8/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量（B類土器）	2.5Y6/2灰黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1302	138		製塩土器		2②南 西Tr. ⑮層以下	6/8	粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
1303	139		弥生土器	壺	2③南Gr. 東Tr.	7/8	長石・石英細礫多量	7.5YR6/4にぶい橙色	不明	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1304	139		弥生土器	壺	2③南 西側Tr.	6/8	長石・石英粗砂多量	10R6/8赤橙色	不明	不明	擬口縁の可能性
1305	139		弥生土器	壺	2③南 洪水砂中	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y5/3黄褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1306	139		弥生土器	壺	2③南 西側Tr.	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/4にぶい赤褐色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
1307	139	75	弥生土器	壺	2③南Tr.	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1308	139	75	弥生土器	甕	2③南Tr.	7/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8赤色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾊｹﾒ	
1309	139		弥生土器	甕	2③南Tr.	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1310	139		弥生土器	甕	2③南Gr. 東Tr.	4/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3にぶい黄橙色	口縁ﾊｹﾒ，指頭痕後ﾅﾃﾞ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1311	139		弥生土器	甕	2③南 西側Tr.	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/4にぶい橙色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1312	139	75	弥生土器	甕	2③南Tr.	6/8	長石・石英中砂含，角閃石粗砂多量（B類土器）	10YR7/3にぶい黄橙色～10YR 2/2黒褐色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1313	139	75	弥生土器	甑	2③南Tr.	4/8	長石・石英細礫多量	7.5YR6/6橙色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	不明	
1314	139	76	弥生土器	鉢	2③南Tr.	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	ﾊｹﾒ	不明	
1315	139	76	弥生土器	鉢	2③南ｶﾍﾞｷﾘ	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	
1316	139	76	弥生土器	鉢	2③南Tr.	7/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂含	5YR6/6橙色	指頭痕	指頭痕	
1317	139	76	弥生土器	鉢	2③南Gr. 西壁清掃	8/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3にぶい黄橙色	ﾅﾃﾞ	不明	
1318	139	76	弥生土器	鉢	2③南Tr.	6/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	指頭痕，指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ，脚指頭痕	
1319	139	76	弥生土器	鉢	2③南Tr.	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	脚指頭痕	ﾊｹﾒ	
1320	140	76	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 2層	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	不明	
1321	140		弥生土器	壺	2③南Gr.SR01 1層	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/4にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
1322	140		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 2層	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1323	140		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 1層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR4/6赤褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1324	140		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 2層	3/8	長石・石英粗砂含	7.5YR6/4にぶい橙色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1325	140		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 1層	2/8	長石・石英粗砂含	10YR7/4にぶい黄橙色	指頭痕	ﾊｹﾒ	擬口縁の可能性
1326	140		弥生土器	甕	2③南Gr. 西壁断面SR 最下層	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/4にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	

第49表　土器観察表(35)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1327	140	76	弥生土器	甕	2③南Gr.SR埋土西壁断面 黒色ｼﾙﾄ層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ，口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ，口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1328	140		弥生土器	甕	2③東西Tr.黒色土一括	6/8	長石・石英粗砂含	10YR7/4にぶい黄橙色	頸胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1329	140	76	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02②	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/2にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1330	140		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02②	5/8	長石・石英粗砂含	2.5Y8/3淡黄色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
1331	140	76	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02② 1層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/3淡黄色	口～胴上半ﾊｹﾒ，胴下半ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1332	140		弥生土器	甕	2③南Gr.SR01 1層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾊｹﾒ	
1333	140		弥生土器	甕	2③南Gr.畦 2層	6/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ後上半ﾊｹﾒ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1334	140		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02② 1層	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/4にぶい黄褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ	
1335	141		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02② 1層	6/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/8明赤褐色	ﾊｹﾒ	不明	
1336	141		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02② 2層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	指頭痕後ﾊｹﾒ	不明	
1337	141		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02② 1層	4/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/8明赤褐色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1338	141	77	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02①南端 1層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	ﾊｹﾒ	不明	
1339	141	77	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02② 3層	5/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	脚部ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1340	141	77	弥生土器	壺	2③東西Tr.黒色土一括	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/4にぶい橙色	不明	不明	
1341	141		製塩土器		2③南Gr.SR02③1層	1/8	細礫多量	10YR8/3浅黄橙色	不明	ﾀﾀｷﾒ	
1342	141		製塩土器		2③南Gr.SR02③ 2層	3/8	粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	板ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
1343	141	77	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02③ 4層	5/8	長石・石英細砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1344	141	77	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02① 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	5Y7/2灰白色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾅﾃﾞ後ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸胴ﾊｹﾒ後下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1345	141	77	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02② 4層	4/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6橙色	口縁ﾊｹﾒ，頸指頭痕，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
1346	141		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02② 4層	6/8	長石・石英粗砂少量	5Y8/2灰白色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾊｹﾒ，胴下半ﾊｹﾒ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1347	142	77	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02① 4層	7/8	長石・石英多量	10YR8/3浅黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾅﾃﾞ後ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷ後ﾊｹﾒ後胴下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1348	142		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02② 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ，板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1349	142	77	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02② 4層	7/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/4浅黄色	胴上半指頭痕，下半ﾊｹﾒ	胴ﾊｹﾒ	
1350	142		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02① 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾀﾀｷﾒ	
1351	142	78	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02③ 4層	4/8	長石・石英粗砂多量	5Y6/2灰ｵﾘｰﾌﾞ色～2.5Y3/2黒褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上端指頭痕，以下ﾊｹﾒ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	

第50表　土器観察表(36)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
1352	142		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	口縁ヨコナデ，胴指頭痕後ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1353	142		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	口縁ハケメ後ヨコナデ，頸ナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，頸胴ハケメ	
1354	142	78	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英細礫多量	2.5Y8/3淡黄色	指頭痕後ハケメ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ，底ヘラミガキ	
1355	142		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ヨコナデ，頸板ナデ，胴指頭痕	口縁ヨコナデ，頸タタキメ後ヨコナデ	
1356	143	78	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/2灰白色	胴ヘラケズリ	胴ヘラミガキ	
1357	143		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ハケメ，頸ヨコナデ，胴指頭痕	ハケメ後口頸ヨコナデ	
1358	143	78	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	7/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/3浅黄色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ，胴上半ハケメ後ナデ，下半ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1359	143		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	口頸～胴上半ハケメ，胴下半ヘラケズリ	ハケメ	
1360	143	78	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	7/8	長石・石英粗砂含む	2.5Y7/2灰黄色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ，胴ヘラケズリ後ハケメ	口縁ヨコナデ，胴上半ハケメ，下半ヘラミガキ	
1361	143		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	頸板ナデ	ヨコナデ	
1362	143		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂含	7.5YR7/4にぶい橙色	口縁ヨコナデ後ミガキ，頸ハケメ後ヘラミガキ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
1363	144	78	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ヨコナデ，胴上半指頭痕，下半ハケメ	口頸ヨコナデ，頸ハケメ，胴タタキメ後ハケメ後下半ヘラミガキ	
1364	144	78	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	5Y8/2灰白色	口縁ヨコナデ，頸胴ハケメ，胴下半ヘラケズリ後ハケメ	口縁ヨコナデ，頸胴ハケメ後胴下半ヘラミガキ	
1365	144		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4にぶい黄橙色	口縁ヘラミガキ，頸ハケメ	口縁ハケメ後ヨコナデ，頸ハケメ	
1366	144		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/2灰白色	ヨコナデ	ヨコナデ	
1367	144		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	6/8	長石・石英細礫多量	2.5Y6/3にぶい黄色	不明	不明	
1368	144	78	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	5Y7/1灰白色	ハケメ	ハケメ	
1369	144	79	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ③ 4層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ヨコナデ，頸板ナデ，胴ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ，胴ヨコナデ	
1370	144		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ③ 4層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ハケメ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
1371	144		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR8/4淡橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	
1372	144	79	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/6橙色	不明	不明	
1373	145		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	1/8	長石・石英細礫多量	2.5Y8/2灰白色	ハケメ後ヨコナデ	ハケメ後ヨコナデ	
1374	145		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	1/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含	10YR7/4にぶい黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	
1375	145	79	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	1/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂含	2.5Y8/2灰白色	口縁ヨコナデ	不明	
1376	145		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色	不明	頸ハケメ	

第51表　土器観察表(37)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1377	145	79	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR8/3浅黄橙色	ﾊｹﾒ	不明	
1378	145	79	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英細礫多量	2.5YR6/8橙色	ﾊｹﾒ後胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
1379	145		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	4/8	長石・石英粗砂含	5Y7/2灰白色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1380	145		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1381	145	79	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英細礫多量	2.5YR5/6明赤褐色	胴上半指頭痕，下半ﾊｹﾒ	頸ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1382	146		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ③ 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	5Y7/2灰白色	胴指頭痕後ﾍﾗｹｽﾞﾘ，底指頭痕	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1383	146		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ③ 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	底指ﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1384	146		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂含，雲母細砂含	5YR6/4にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1385	146	79	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	胴上半ﾊｹﾒ，下半板ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1386	146		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ③ 4層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	板ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1387	146	79	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	指頭痕	口頸指頭痕，胴ﾍﾗﾅﾃﾞ	
1388	146	79	弥生土器	甑	2③南Gr.SR02 ① 4層	4/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/3浅黄色	不明	ﾊｹﾒ	焼成後穿孔
1389	146		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	1/8	長石・石英細礫含	2.5Y7/3浅黄色	ﾅﾃﾞ	不明	
1390	146		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	4/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4にぶい橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴指頭痕後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
1391	146	80	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂含	5YR4/2灰褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1392	146	80	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1393	146	80	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	4/8	長石・石英粗砂含	2.5YR4/4にぶい赤褐色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1394	146		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色～10YR 6/3にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1395	146		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英細礫多量	10YR5/3にぶい黄褐色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1396	146	80	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英細礫多量	10YR7/2にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1397	146	80	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR3/6暗赤褐色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1398	146		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	5Y7/2灰白色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1399	146	80	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	5/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1400	147		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ②③間畦 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4にぶい黄橙色	口頸指頭痕，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1401	147	81	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂含	2.5Y8/2灰白色	板ﾅﾃﾞ後指ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ	
1402	147	80	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1403	147		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ②③間畦 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	頸ﾊｹﾒ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ	
1404	147	81	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂含	5YR6/4にぶい橙色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	不明	

第52表　土器観察表(38)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1405	147		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	5Y8/2灰白色	胴ヘラケズリ	タタキメ	
1406	147	81	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ハケメ，胴指頭痕後ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ	
1407	147	81	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	口縁ヨコナデ，胴上半ハケメ後ナデ，胴下半ハケメ後ヘラケズリ	ハケメ後口縁ヨコナデ	
1408	147		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	7/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/2灰黄色	口頸ハケメ後端部ヨコナデ，胴ヘラケズリ後ハケメ	ハケメ後口縁ヨコナデ	
1409	147		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口頸ハケメ，胴ハケメ後ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，タタキメ後ハケメ	
1410	147		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
1411	147		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1412	147		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ハケメ，胴上半板ナデ，下半ヘラケズリ	ハケメ後胴下半ヘラケズリ	
1413	148		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/3淡黄色	胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1414	148		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4にぶい黄橙色～2.5Y5/2暗灰黄色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1415	148	81	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1416	148		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
1417	148	81	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3にぶい黄橙色	口縁ハケメ後ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1418	148		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/2灰黄褐色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	ハケメ	
1419	148		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂含	5YR7/4にぶい橙色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1420	148		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英細礫多量	7.5YR8/3浅黄橙色	胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
1421	148	81	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	ハケメ，口縁ヨコナデ	ハケメ，口縁ヨコナデ	
1422	148	82	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色～7.5YR6/3にぶい褐色	口縁ハケメ後ヨコナデ，胴ヘラケズリ後ハケメ	ハケメ後口縁ヨコナデ	
1423	148	82	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/4にぶい橙色～7.5YR4/2灰褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1424	148	82	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1425	149	82	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ハケメ後胴ヘラケズリ	ハケメ後口縁ヨコナデ	
1426	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1427	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英細礫多量	2.5YR6/6橙色	指頭痕後ハケメ	ハケメ	
1428	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色～2.5Y3/2黒褐色	ハケメ，底指ナデ	ハケメ	
1429	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英細礫多量	7.5YR7/4にぶい橙色	板ナデ	板ナデ	
1430	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ②③間畦 4層	2/8	長石・石英粗砂含	10YR5/2灰黄褐色～7.5YR6/4にぶい橙色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	ハケメ	

第53表　土器観察表(39)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1431	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラケズリ後板ナデ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1432	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR5/4にぶい赤褐色	口縁ヨコナデ	口頸ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1433	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	ハケメ	ハケメ	
1434	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色～7.5YR 2/2黒褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ後ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1435	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	5/8	長石・石英細礫含	2.5Y7/3浅黄色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	ハケメ後口縁ヨコナデ	
1436	149		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	口縁ハケメ，胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1437	149	82	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	7/8	長石・石英粗砂少量	5Y8/2灰白色	ハケメ後胴下半ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ	
1438	149	82	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/8橙色	胴板ナデ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1439	150	82	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	7/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/2灰黄色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	ハケメ後口頸ヨコナデ	
1440	150		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/3にぶい黄褐色～7.5YR 2/2黒褐色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴板ナデ	
1441	150	82	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英細礫多量	10YR8/3浅黄橙色	胴ヘラケズリ	不明	
1442	150		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	5/8	長石・石英粗砂少量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ胴ハケメ	
1443	150		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1444	150		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/2灰黄褐色～10YR3/1黒褐色	胴指ナデ	不明	擬口縁の可能性
1445	150	83	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/6橙色	口縁ハケメ，胴ハケメ後ヘラケズリ	ハケメ	
1446	150		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5Y5/2暗灰黄色	口縁ヨコナデ，胴板ナデ，後下半ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴板ナデ	
1447	150		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英細砂含	2.5Y8/3淡黄色	口縁ハケメ，胴板ナデ後ヘラケズリ後指ナデ	タタキメ後ハケメ	
1448	150		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4にぶい黄橙色	口縁ハケメ，胴上半ミガキ，下半ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1449	150		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	7/8	長石・石英粗砂少量	2.5Y7/1灰白色	ハケメ後胴下半ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1450	150		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	胴タタキメ後ハケメ	
1451	151		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	5Y8/2灰白色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1452	151	83	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色～2.5YR4/3にぶい赤褐色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁タタキメ後ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1453	151		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1454	151		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y5/2暗灰黄色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1455	151	83	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	ナデ	口縁タタキメ	
1456	151		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	5/8	長石・石英細礫多量	7.5YR5/3にぶい褐色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ後下半ナデ	ハケメ後口縁ヨコナデ	

第54表　土器観察表(40)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
1457	151		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	胴ハケメ後ヘラケズリ	胴タタキメ後ハケメ	
1458	151	83	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6橙色	口縁ハケメ後ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1459	151		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR3/3暗赤褐色～10R5/8赤色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	ハケメ	
1460	151		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	粗砂多量	2.5Y4/2暗灰黄色	口頸ハケメ，胴下半指ナデ後ハケメ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1461	151		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/3にぶい橙色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
1462	151	83	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	不明	ナデ	
1463	152	83	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR8/3淡橙色	口縁ハケメ，胴ナデ	タタキメ後ハケメ	
1464	152		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	4/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2灰黄色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1465	152		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	胴下半ヘラケズリ	不明	
1466	152		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/8明赤褐色	ヘラケズリ後板ナデ	胴下半板ナデ	
1467	152		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	4/8	長石・石英粗砂多量	5Y7/2灰白色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴板ナデ	
1468	152		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	口縁ハケメ，胴ハケメ後ヘラケズリ	ハケメ	
1469	152		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	長石・石英細礫多量	10YR8/3浅黄橙色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ後ハケメ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1470	152		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英細礫多量	2.5Y7/3浅黄色	口頸ハケメ，胴ハケメ後ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1471	152		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，胴指ナデ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1472	152		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3にぶい黄橙色	口縁ハケメ，胴板ナデ	ハケメ後口縁ヨコナデ	
1473	153		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	7/8	長石・石英細礫多量	5YR5/8明赤褐色	口頸ハケメ，胴ヘラケズリ	頸ハケメ	
1474	153		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂含	5YR7/4にぶい橙色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1475	153		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ②③間畦 4層	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴上半板ナデ，下半ハケメ	
1476	153	83	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂含	10YR7/2にぶい黄橙色	口縁ハケメ，頸指頭痕，胴ヘラケズリ後ハケメ	口縁ハケメ後ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1477	153		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂含	10YR7/3にぶい黄橙色	胴ハケメ後ヘラケズリ後板ナデ	タタキメ後底部ハケメ	
1478	153	83	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	7/8	長石・石英粗砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	口縁ハケメ後端ヨコナデ，胴ヘラケズリ	ハケメ後口縁端ヨコナデ	
1479	153		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	5/8	長石・石英細礫多量	2.5Y8/2灰白色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
1480	153		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ハケメ，胴上半ハケメ後ナデ，下半ヘラケズリ後ハケメ	タタキメ後ハケメ	
1481	154		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	頸指頭痕，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1482	154		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/2灰黄褐色	口頸ハケメ，胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
1483	154	84	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	口頸ハケメ，胴ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ	
1484	154		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/6明赤褐色	口縁ハケメ，胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	口頸指頭痕，胴ハケメ	

第55表　土器観察表(41)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1485	154	84	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1486	154	84	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英細礫多量	10YR7/3にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ状ﾅﾃﾞ	
1487	154		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/4赤褐色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
1488	155		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	4/8	長石・石英粗砂多量	5Y7/2灰白色	口縁ﾊｹﾒ，胴下半ﾊｹﾒ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1489	155	84	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8橙色	胴上半ﾊｹﾒ，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
1490	155		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴下半板ﾅﾃﾞ	
1491	155		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 4層	4/8	長石・石英粗砂含	2.5Y5/2暗灰黄色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半板ﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ，胴下半ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1492	155	84	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半指頭痕，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ，胴下半ﾀﾀｷﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1493	155		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	指ﾅﾃﾞ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	板ﾅﾃﾞ	
1494	155		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英粗砂含	10YR4/1褐灰色	胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1495	155		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2灰黄色	不明	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1496	155		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	8/8	長石・石英中砂含	5Y7/2灰白色	板ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1497	155	84	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ②③間畦 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/3にぶい橙色	胴上半指頭痕，下半ﾊｹﾒ	胴下半ﾍﾗﾐｶﾞｷ	焼成後穿孔
1498	155	84	弥生土器	甑	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後胴上半ﾊｹﾒ	
1499	156	85	弥生土器	甑	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/8橙色	口頸指頭痕後ﾍﾗｹｽﾞﾘ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	底部焼成前穿孔
1500	156		弥生土器	甑	2③南Gr.SR02 ① 4層	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3浅黄色	不明	不明	
1501	156	85	弥生土器	甑	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英粗砂含	5YR6/4にぶい橙色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1502	156	85	弥生土器	甑	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/4にぶい橙色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1503	156	85	弥生土器	甑	2③南Gr.SR02 ① 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	口縁指頭痕，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
1504	156		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ③ 4層	1/8	粗砂多量	2.5Y8/2灰白色	不明	ﾀﾀｷﾒ	
1505	156	85	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英細礫多量	5YR5/4にぶい赤褐色	不明	不明	
1506	156	85	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1507	156		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1508	157	85	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ②③間畦 4層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1509	157	85	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6橙色	口頸ﾍﾗﾐｶﾞｷ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁から胴上半ﾍﾗﾐｶﾞｷ，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1510	157	85	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/8明赤褐色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴上半ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	

第56表　土器観察表(42)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1511	157	86	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4 にぶい橙色	ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	指頭痕	
1512	157	86	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	ﾊｹﾒ	不明	
1513	157	86	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	ﾊｹﾒ	不明	
1514	157		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/3 にぶい橙色	板ﾅﾃﾞ	底指ﾅﾃﾞ	
1515	157		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	粗砂含	2.5Y5/2 暗灰黄色	底ﾊｹﾒ	不明	
1516	157	86	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/6 橙色	ﾊｹﾒ後指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1517	157		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ① 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	不明	底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1518	157		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	10YR4/1 褐灰色	ﾊｹﾒ	不明	
1519	157		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	2.5Y6/2 灰黄色	板ﾅﾃﾞ	不明	
1520	157	86	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ③ 4層	7/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/3 浅黄色	底ﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1521	157	86	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4 にぶい橙色	ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1522	157	86	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂含	2.5YR6/6 橙色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1523	157	86	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6 橙色	ﾊｹﾒ	不明	
1524	157	86	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3 にぶい黄色	板ﾅﾃﾞ	底ﾀﾀｷﾒ	
1525	157		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2 灰黄色	ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1526	158	86	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英含	5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1527	158	87	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂含	10YR7/4 にぶい黄橙色	口縁ﾍﾗﾐｶﾞｷ	板ﾅﾃﾞ	
1528	158	87	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/3 にぶい橙色	板ﾅﾃﾞ	底ﾀﾀｷﾒ	焼成後穿孔
1529	158	87	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	4/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/8 明赤褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1530	158		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英細礫多量	10YR8/3 浅黄橙色	指ﾅﾃﾞ	不明	
1531	158		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3 にぶい黄色～2.5YR 5/6 明赤褐色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1532	158		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2 灰黄色	ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1533	158	87	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英細礫多量	2.5Y8/2 灰白色	ﾊｹﾒ	不明	
1534	158		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8 赤色	不明	底ﾀﾀｷﾒ	
1535	158	87	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	不明	
1536	158	87	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂含	2.5Y8/2 灰白色	口縁ﾊｹﾒ	胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1537	158		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/4 にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1538	158		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/4 にぶい黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾊｹﾒ状ｹｽﾞﾘ	

第57表　土器観察表(43)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1539	158	87	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ③ 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口縁ヨコナデ，胴下半ヘラケズリ	
1540	158	87	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/4浅黄色	不明	不明	
1541	158	87	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ③ 4層	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y5/2暗灰黄色	口縁指頭痕，胴ヘラケズリ	タタキメ後ハケメ	
1542	158	88	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	ヘラケズリ	不明	
1543	158		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y8/2灰白色	ナデ	不明	
1544	158		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ① 4層	6/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/2灰黄色	ナデ	指頭痕	
1545	158	88	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ③ 4層	8/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ヨコナデ，底部ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴下半ヘラケズリ	
1546	158	88	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ① 4層	5/8	長石・石英粗砂含	10YR5/2灰黄褐色	口縁ヨコナデ，底ハケメ後ヘラミガキ	口縁ヨコナデ，底ヘラケズリ	
1547	158	88	弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	長石・石英少量	2.5Y8/2灰白色	坏ヘラミガキ，脚ハケメ	不明	透孔4
1548	159	88	弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ③ 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	坏ヘラミガキ，脚ナデ	ヘラミガキ	
1549	159	88	弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英中砂含	7.5YR6/4にぶい橙色	ハケメ	ハケメ	
1550	159		弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6橙色	坏ヘラミガキ，脚上半ヘラケズリ，下半ハケメ	坏底ヘラミガキ，脚ハケメ，脚端ヨコナデ	透孔6
1551	159		弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ① 4層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	脚ハケメ	ハケメ後ヘラミガキ	透孔4
1552	159		弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英細礫多量	5YR7/6橙色	不明	ヘラミガキ	透孔4
1553	159		弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英細礫多量	5YR7/8橙色	不明	ハケメ	
1554	159		弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	脚上半ヘラケズリ，下半ハケメ	ハケメ	透孔6
1555	159		弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ③ 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	板ナデ，脚端ヨコナデ	ヘラミガキ，脚端ヨコナデ	透孔4
1556	159	88	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	5/8	長石・石英粗砂少量	2.5Y8/4淡黄色	口縁ヨコナデ，頸ハケメ，胴指ナデ	口縁ヨコナデ，頸胴ハケメ	
1557	159		製塩土器		2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	粗砂多量	10R6/4にぶい赤橙色～10YR 8/3浅黄橙色	不明	不明	
1558	159		製塩土器		2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	不明	不明	
1559	159		製塩土器		2③南Gr.SR02 ②③間畦 4層	5/8	粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	ナデ	タタキメ	
1560	159	88	製塩土器		2③南Gr.SR02 ③ 4層	7/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	上半板ナデ，下半指ナデ	タタキメ	
1561	159	89	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石中砂含	10YR6/4にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴上半ハケメ，胴下半ヘラミガキ	焼成前亀裂補修痕
1562	159	89	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	7/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量，角閃石中砂多量，B類土器	10YR6/2灰黄褐色	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1563	159		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量，角閃石中砂含（B類土器）	7.5YR6/4にぶい橙色	口縁ヨコナデ，頸指頭痕	口縁ヨコナデ，頸ハケメ後ヨコナデ	

第58表　土器観察表(44)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1564	159		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	1/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，頸胴指頭痕後ハケメ	口縁ヨコナデ，胴ヘラミガキ，胴ハケメ	
1565	159		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ③ 4層	4/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	口縁ヨコナデ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
1566	159		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	1/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂少量	5YR6/6橙色	口縁ヨコナデ	口縁ヨコナデ，ハケメ後ヨコナデ	
1567	159	89	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ③ 4層	3/8	長石・石英粗砂多量，角閃石粗砂多量	10YR4/2灰黄褐色	胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
1568	159	89	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	4/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂多量，角閃石粗砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	ハケメ	不明	
1569	160		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英細砂含，角閃石中砂含	2.5YR6/6橙色	口縁ヨコナデ，頸ヘラケズリ	口頸ハケメ後ヨコナデ，胴ヘラミガキ	
1570	160		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂含，角閃石粗砂多量（B類土器）	7.5YR6/4にぶい橙色	胴ヘラケズリ，底指頭痕	不明	
1571	160		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂多量，角閃石粗砂多量	5YR6/6橙色	口頸ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1572	160	89	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含，角閃石粗砂含，B類土器	5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ，頸指頭痕，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴下半ヘラミガキ	
1573	160		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ②③間畦 4層	5/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂少量，角閃石粗砂多量	5YR6/6橙色	口頸ヨコナデ，胴指頭痕	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1574	160	89	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ③ 2層	5/8	長石・石英粗砂多量，金雲母細砂少量，角閃石粗砂多量	7.5YR6/3にぶい褐色	口縁ヨコナデ，胴上半指頭痕，胴下半ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ，胴ヘラミガキ	
1575	160		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ① 4層	6/8	長石・石英細砂含，雲母細砂少量，角閃石細砂少量（B類土器）	2.5Y6/2灰黄色	口頸ヨコナデ，胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ後下半ヘラミガキ	
1576	160		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂含，角閃石粗砂含（B類土器）	7.5YR3/2黒褐色	口頸ヨコナデ，胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ後下半ヘラミガキ	
1577	160	89	弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂少量，角閃石粗砂多量	7.5YR4/1褐灰色～5YR5/6明赤褐色	口縁ヨコナデ，頸ヨコナデ，胴ヘラケズリ	胴下半ヘラミガキ	
1578	161		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ②③間畦 4層	5/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂少量，角閃石粗砂多量（B類土器）	7.5YR5/4にぶい褐色	頸指頭痕	口頸ヨコナデ，胴ハケメ後下半ヘラミガキ	
1579	161		弥生土器	甕	2③南Gr.SR02 ② 4層	4/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含，角閃石粗砂含（B類土器）	5YR6/6橙色	口縁ヨコナデ，胴指頭痕	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	

第59表　土器観察表(45)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1580	161	89	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量	7.5YR3/2黒褐色～7.5YR6/4にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1581	161	90	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	7.5YR4/4褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底三分割ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1582	161		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	7.5YR5/2灰褐色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
1583	161		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量	7.5YR5/4にぶい褐色	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷﾒ	
1584	161		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂含，角閃石粗砂多量	2.5Y5/2暗灰黄色	不明	不明	
1585	161		弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英細礫含，雲母粗砂多量	7.5YR5/4にぶい褐色	板ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
1586	161	90	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	板ﾅﾃﾞ	不明	
1587	161		弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ② 4層	2/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂多量，角閃石粗砂多量（B類土器）	7.5YR6/4にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1588	161	90	弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ② 4層	7/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含	2.5Y7/2灰黄色	坏口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底4分割ﾍﾗﾐｶﾞｷ，脚ﾍﾗｹｽﾞﾘ	坏口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底4分割ﾍﾗﾐｶﾞｷ，脚端ﾖｺﾅﾃﾞ	透孔数上段不明，下段2孔1組で3組
1589	161		弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ③ 4層	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量，角閃石粗砂含（B類土器）	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1590	161		弥生土器	高坏	2③南Gr.SR02 ② 4層	8/8	長石・石英粗砂多量，角閃石粗砂多量	5YR6/6橙色	不明	不明	穿孔5（不貫通）位置は不規則
1591	161	90	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含	7.5YR5/4にぶい褐色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1592	161	90	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	5/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量	5YR7/6橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口頸ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ，胴上半ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ，胴下半ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	
1593	161		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ② 4層	6/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂多量，角閃石粗砂多量（B類土器）	2.5Y6/3にぶい黄色	坏指ﾅﾃﾞ，脚ﾍﾗｹｽﾞﾘ	頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴～脚ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1594	161		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	2/8	長石・石英粗砂多量，角閃石粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ，脚ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1595	161		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 4層	2/8	長石・石英粗砂含，雲母中砂多量，角閃石粗砂多量	5YR5/6明赤褐色	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	頸胴ﾖｺﾅﾃﾞ	

第60表　土器観察表(46)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1596	162		弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 5，6層	1/8	長石・石英細砂含，雲母粗砂多量，角閃石粗砂多量（B類土器）	10YR4/1褐灰色	頸ﾊｹﾒ，胴上半指頭痕，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1597	162	90	弥生土器	壺	2③南Gr.SR02 ① 5，6層	4/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR4/2灰褐色	板ﾅﾃﾞ後指ﾅﾃﾞ	胴ﾊｹﾒ後ﾐｶﾞｷ	胴部外面に縄状の痕跡
1598	162	90	弥生土器	鉢	2③南Gr.SR02 ① 5，6層	7/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含	10YR5/3にぶい黄褐色	ﾅﾃﾞ	底部ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1653	169		弥生土器	壺	3②C28 SR01 溜り1 ⑦暗黒色粘土ブロック層（黒色シルト中に⑧の暗灰黒色粘土ブロックが多量に混入）	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	不明	不明	
1654	169	90	弥生土器	壺	3②C28 SR01 溜り1 東肩 ⑨	8/8	長石・石英粗砂含	10YR4/2灰黄褐色	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1655	169		弥生土器	底部	3②C28 SR01 溜り1 ⑨砂混じり淡黒色シルト	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y5/1黄灰色	ﾅﾃﾞ	不明	
1656	169	90	弥生土器	壺	3②SR01溜り1 Ⅶ2（4Tr.）	3/8	長石・石英粗砂多量	5Y7/2灰白色	不明	不明	
1657	169		弥生土器	壺	3②B28 SR01 溜り1 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	2/8	ｶﾞﾗｽ状細砂含	2.5Y8/2灰白色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
1658	169		弥生土器	壺	3②B28 SR01 溜り1 Ⅶ1（4Tr.）	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	不明	不明	
1659	169		弥生土器	壺	3②B28 SR01 溜り1 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁端ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
1660	169		弥生土器	壺	3②B28 SR01 溜り1 Ⅶ1（4Tr.）	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	胴板ﾅﾃﾞ	不明	
1661	169		弥生土器	甕	3②C28 SR01 溜り1 ⑦暗黒色粘土ブロック層（黒色シルト中に⑧の暗灰黒色粘土ブロックが多量に混入）	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/1灰白色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾀﾀｷﾒ	
1662	169		弥生土器	甕	3②SR01溜り1 Ⅶ2（4Tr.）	1/8	長石・石英粗砂多量	5Y6/2灰ｵﾘｰﾌﾞ色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	胴ﾀﾀｷﾒ	
1663	169		弥生土器	甑	3②B28 SR01 溜り1 Ⅶ1（4Tr.）	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3浅黄色	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ	
1664	169		弥生土器	甑	3②C28 SR01 溜り1 ⑨砂混じり淡黒色シルト	8/8	長石・石英粗砂含	2.5Y7/2灰黄色	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾀﾀｷﾒ	
1665	169		弥生土器	鉢	3②B28 SR01 溜り1 Ⅶ1（4Tr.）	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	不明	不明	
1666	169		弥生土器	鉢	3②B28 SR01 溜り1 Ⅶ1（4Tr.）	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	板ﾅﾃﾞ	底部ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1667	169		弥生土器	鉢	3②B28 SR01 溜り1 ⑨砂混じり淡黒色ｼﾙﾄ	3/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	

第61表　土器観察表(47)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1668	169		弥生土器	鉢	3②C28 SR01 溜り1 ⑨砂混じり淡黒色シルト	1/8	長石・石英粗砂含，雲母粗砂多量，角閃石粗砂多量（B類土器）	10YR7/3にぶい黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	
1669	169		弥生土器	高坏	3②B28 SR01 溜り1 Ⅶ1 (4Tr.)	8/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	底ヘラミガキ，脚ハケメ	ハケメ	
1670	169		弥生土器	高坏	3②SR01 溜り1 一括	4/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	不明	不明	
1671	169		弥生土器	壺	3②B28 SR01 溜り2 黒色ブロック（黒粘＋暗灰茶シルト）	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	不明	不明	
1672	169		弥生土器	壺	3②B28 SR01 溜り2 淡黒色粘土(粗砂を含む)	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	頸部ヘラミガキ	口縁ヨコナデ，頸ハケメ	
1673	169	90	弥生土器	壺	3②B28 SR01 溜り2 淡黒色粘土（粗砂を含む）	2/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/2灰黄色	口縁ヨコナデ	口頸ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
1674	170		弥生土器	甕	3②SR01 溜り2 一括	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3にぶい黄色	ヘラケズリ	ハケメ	
1675	170		弥生土器	甕	3②B28 SR01 溜り2 灰色シルトブロック層（暗灰粘＋青灰シルト＋黄灰砂）	2/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3にぶい黄色	口縁ハケメ後ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1676	170		弥生土器	甕	3②B28 SR01 溜り2 淡黒色粘土(粗砂を含む)	1/8	長石・石英粗砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	胴ハケメ	
1677	170		弥生土器	甕	3②B28 SR01 溜り2 淡黒色粘土(粗砂を含む)	1/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/2灰黄色	胴下半ヘラケズリ	不明	
1678	170		弥生土器	甕	3②B28 SR01 溜り2 淡黒色粘土(粗砂を含む)	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/3にぶい黄褐色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1679	170		弥生土器	甕	3②B28 SR01 溜り2 黒色ブロック(黒粘＋暗灰茶シルト)	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母粗砂含，角閃石粗砂多量（B類土器）	7.5YR5/3にぶい褐色	口頸ヨコナデ，胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴上半ハケメ，下半ハケメ後ヘラミガキ	
1680	170	91	弥生土器	壺	3②C28 SR01 溜り ⑨	8/8	長石・石英粗砂含	5Y7/1灰白色	ナデ	ハケメ後口縁ヨコナデ，棒状浮文7つ	
1681	170		弥生土器	壺	3②C28 SR01 溜り ⑨	3/8	長石・石英細礫多量	10YR8/3浅黄橙色	ナデ	不明	
1682	170	91	弥生土器	高坏	3②C28 SR01 黒褐色粘質土	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/2灰白色	不明	脚ヘラミガキ	透孔2
1683	170		弥生土器	壺	3②C28 SR01 溜り ⑨	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2灰黄色	ヨコナデ	ヨコナデ	
1684	170	91	弥生土器	壺	3②SD01	4/8	長石・石英粗砂多量，角閃石粗砂含	10YR6/3にぶい黄橙色	口頸ヨコナデ，胴上半指頭痕，下半ハケメ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1685	170		弥生土器	甕	3②第3微高地 Ⅳ16	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色～10R 5/6赤色	口縁板ナデ，胴ヘラケズリ	胴タタキメ	

第62表　土器観察表(48)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1686	171		弥生土器	甕	3②C28 SR01 黒褐色粘質土	5/8	長石・石英細砂少量，雲母中砂含，角閃石中砂含（B類土器）	5YR6/3 にぶい橙色	口頸ヨコナデ，胴上半指頭痕，胴下半ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ後下半ヘラミガキ	
1687	171	91	弥生土器	甕	3②C28 Ⅲ1	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y6/3 にぶい黄色	ヘラミガキ	ヘラミガキ	
1688	171	91	弥生土器	壺	3②C28 Ⅲ1	2/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR2/3 極暗褐色	板ナデ	胴ハケメ後ヘラミガキ	
1689	171		弥生土器	壺	3②C28 Ⅲ1	5/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	口縁ヨコナデ	口縁ヨコナデ	
1690	171	91	弥生土器	壺	3②C28（大きいカメ） Ⅲ1	5/8	長石・石英細礫多量	2.5Y6/2 灰黄色	口縁ヨコナデ，胴板ナデ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ	
1691	171		弥生土器	甕	3②C28 Ⅲ1	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3 にぶい黄橙色	口縁ヨコナデ，胴ヘラケズリ後上部ナデ	口縁ヨコナデ，胴ヘラナデ	
1692	171		弥生土器	甕	3②C28 Ⅲ1	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ	
1693	171		弥生土器	甕	3②C28（3個分） Ⅲ1	2/8	長石・石英粗砂含	5Y7/2 灰白色	胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
1694	172	91	弥生土器	甕	3②C28 Ⅲ1	3/8	長石・石英細礫多量	2.5Y6/2 灰黄色	口縁ヨコナデ，胴下半ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後下半ハケメ	
1695	172		弥生土器	甕	3②C28，D28 Ⅲ1	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，頸胴ハケメ	
1696	172		弥生土器	甕	3②C28（3個分） Ⅲ1	4/8	長石・石英粗砂多量	5Y6/3 オリーブ黄色	胴ヘラケズリ	タタキメ	
1697	172		弥生土器	甕	3②C28，D28 Ⅲ1	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂多量，角閃石粗砂含	2.5Y6/3 にぶい黄色	口頸ヨコナデ，胴上半指頭痕，下半ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴上半ハケメ，下半ヘラミガキ	
1698	172		弥生土器	鉢	3②C28（3個分） Ⅲ1	5/8	長石・石英粗砂含	2.5Y6/3 にぶい黄色	不明	下半ヘラケズリ	
1699	172	91	弥生土器	壺	3②排土中	7/8	長石・石英粗砂多量	10YR3/2 黒褐色	ヘラミガキ	ヨコナデ	
1700	172	92	弥生土器	鉢	3②試掘Tr.4Tr.間ユンボ掘削	5/8	長石・石英粗砂多量	10YR5/2 灰黄褐色	指ナデ	不明	
1714	176		弥生土器	壺	2④⑤SH03③	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR8/4 淡橙色	不明	不明	
1715	176		弥生土器	甕	2④⑤SH03③2層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	ハケメ	ヨコナデ	
1716	176		弥生土器	高坏	2④⑤SH03③1，2層地山混土	1/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8 赤色	脚端ヨコナデ	ハケメ後ヨコナデ	
1717	176		土師器	甕	2④⑤SD13（SH04内）	2/8	長石・石英粗砂多量	10R5/6 赤色	ヨコナデ	ヨコナデ	
1718	176		土師器	甕	2④⑤SD13①	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y7/4 浅黄色	胴ケズリ状ハケメ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1719	176	92	土師器	甑	2④⑤SD13④	4/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4 にぶい黄橙色	指ナデ	板ナデ	
1720	176	92	土師器	甑	2④⑤SD13⑥SH04内	3/8	粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	ハケメ後下半ヘラケズリ	ハケメ	
1725	177		土師器	甕	2④⑤SH09第1層	1/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6 橙色	指頭痕	指頭痕	
1726	177		須恵器	坏	2④⑤SH08拡区SH09	2/8	粗砂少量	5B6/1 青灰色	回転ナデ	回転ナデ	
1727	177		須恵器	坏蓋	2④⑤SH08拡区SH09	2/8	粗砂少量	5P7/1 明紫灰色	回転ナデ	回転ナデ，天井回転ヘラキリ後ナデ	
1728	177		須恵器	高坏	2④⑤SH08付近ガリカケ	4/8	粗砂少量	7.5Y7/1 灰白色	回転ナデ	回転ナデ，坏底回転ヘラケズリ後回転ナデ	

第63表　土器観察表(49)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
1729	177		製塩土器		2④⑤SH08 拡区SH09	1/8	粗砂多量	5YR4/6赤褐色	不明	ﾀﾀｷﾒ	
1730	177		製塩土器		2④⑤SH08 拡区SH09	1/8	粗砂多量	7.5Y3/1オリーブ黒色	不明	ﾀﾀｷﾒ	
1731	177		製塩土器		2④⑤SH08 拡区SH09	*	中砂含	2.5YR5/6明赤褐色	ﾅﾃﾞ	指頭痕	
1732	179		土師器	坏	2④⑤SB02⑪ C21 SP030	4/8	細砂含	2.5YR6/8橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後板ﾅﾃﾞ	
1733	179		須恵器	坏	2④⑤SB02⑤ C21 SP068	1/8	粗砂含	5B3/1暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1734	179	92	土師器	羽釜	2④⑤SB02③ C21 SP051	1/8	中砂多量	10YR5/2灰黄褐色	口縁ﾊｹﾒ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1737	185		瓦器	椀	2④⑤SB10⑥ C21 SP005	1/8	中砂含	5YR7/6橙色	ﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1738	186	92	土師器	坏蓋	2④⑤SB11④ D20 SP256	2/8	粗砂少量	10R5/8赤色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1740	188	92	弥生土器	甕	2④⑤B21 SP005	8/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR5/6明赤褐色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1741	189		弥生土器	甕	2④⑤SB14③	5/8	長石・石英細礫含	2.5YR6/8橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ後ﾊｹﾒ	
1742	191		須恵器	坏蓋	2④⑤SB16⑦ D19 SP019	1/8	粗砂含	N8/0灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1743	191		須恵器	坏	2②SB16⑥ (D19 SP017)	7/8	粗砂含	5PB5/1青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1744	196		土師器	甕	2②SK01	7/8	長石・石英粗砂多量	5YR4/2灰褐色	指頭痕	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1745	196	92	土師器	甕	2②東Tr. 黄灰色細砂混粘質ｼﾙﾄ	4/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色～2.5Y8/3淡黄色	口縁ﾊｹﾒ，胴指頭痕	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1746	196	92	土師器	甕	2②東Tr. 黄灰色細砂混粘質ｼﾙﾄ	3/8	長石・石英粗砂多量	5YR3/2暗赤褐色～7.5YR5/4にぶい褐色	口縁ﾊｹﾒ，胴指頭痕後ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1747	196	92	土師器	甕	2②東Tr. 黄灰色細砂混粘質ｼﾙﾄ	2/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色～7.5YR3/1黒褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ，胴指頭痕	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1748	196	92	須恵器	坏蓋	2②北東部土坑SK	3/8	細砂含	5PB6/1青灰色	回転ﾅﾃﾞ，中央ﾅﾃﾞ	口縁回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
1749	199		土師器	坏蓋	2④⑤SK07①	1/8	砂粒含まず	10R5/8赤色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	赤彩
1750	199		土師器	坏蓋	2④⑤SK07①	1/8	砂粒含まず	10R4/8赤色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	赤彩
1752	202	93	須恵器	坏	2④⑤SX02	8/8	粗砂含	5PB5/1青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1753	202	93	須恵器	高坏	2④⑤SX02	7/8	粗砂含	N5/0灰色	回転ﾅﾃﾞ，坏部輪状圧痕	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1754	203		土師器	坏	2④⑤SD10	1/8	中砂含	5YR7/6橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1755	203		須恵器	坏	2④⑤SD10Tr.	1/8	砂粒含まず	5PB7/1明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1756	203		須恵器	高坏	2④⑤SD10Tr.	2/8	中砂少量	N5/0灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1757	203		飯蛸壺		2④⑤SD10 (SH05内)	6/8	粗砂多量	2.5YR6/6橙色	指頭痕	指頭痕	
1759	204		土師器	甕	2④⑤SD07 (SH05①を切る部分)	2/8	粗砂多量	10R6/8赤橙色	板ﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1760	204	93	土師器	甕	2④⑤SD07 (SH05を切る部分)	5/8	粗砂含	5YR6/6橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴指頭痕	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1761	204	93	土師器	皿	2④⑤SD07 (SH05①を切る部分)	4/8	粗砂含	2.5YR6/8橙色	皿部暗文，脚回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	

第64表　土器観察表(50)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
1762	204		須恵器	坏蓋	2④⑤SD07③	1/8	粗砂少量	N8/0灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
1763	204		須恵器	坏蓋	2④⑤SD07	1/8	砂粒含まず	5PB7/1明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	外面自然釉
1764	204		須恵器	坏蓋	2④⑤SD07（SH05①を切る部分）	1/8	砂粒含まず	5PB5/1青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1765	204		須恵器	高坏	2④⑤SD07①	7/8	粗砂含	5GY7/1明ｵﾘｰﾌﾞ灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1766	204	93	須恵器	高坏	2④⑤SD07（SH05内）ｱｾﾞ	8/8	粗砂多量	N8/0灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
1767	204		須恵器	高坏	2④⑤SD07（SH05①を切る部分）	7/8	砂粒含まず	N3/0暗灰色	回転ﾅﾃﾞ，坏底ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
1768	204		須恵器	甕	2④⑤SD07	1/8	粗砂含	5P6/1紫灰色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1773	209		土師器	坏	1①D15SR01北肩 6・7	1/8	中砂含	5YR7/8橙色	不明	下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1774	209		土師器	椀	1①SR01 7	1/8	細砂含	2.5YR6/8橙色	ﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1775	209		土師器	坏	1①D15SR01北肩 6・7	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/2灰白色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	上半ﾍﾗﾐｶﾞｷ，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1776	209	93	土師器	坏	1①C15SR01 6	2/8	長石・石英粗砂含	5YR6/6橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1777	209		土師器	鉢	1①C15SR01 6	1/8	粗砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	
1778	209		土師器	椀	1①SR01 6・7	1/8	中砂含	2.5YR7/8橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1779	209		土師器	坏	1①SR01 6・7	1/8	粗砂多量	5YR6/8橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1780	209	93	土師器	坏	1①D15SR01北肩 6・7	4/8	長石・石英粗砂含	5YR7/6橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1781	209	93	土師器	鉢	1①SR01 7	2/8	粗砂多量	2.5YR7/6橙色	不明	不明	
1782	209	93	土師器	鉢	1①SR01 7	2/8	粗砂多量	10YR8/2灰白色	ﾅﾃﾞ	底部ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1783	209		土師器	鉢	1①SR01 7層	1/8	粗砂多量	5YR8/4淡橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1784	209		土師器	鉢	1①SR01 6・7	2/8	中砂多量	2.5YR7/8橙色～7.5YR8/4浅黄橙色	ﾊｹﾒ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1785	209	94	土師器	鉢	1①SR01 6・7	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR7/8橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾅﾃﾞ後下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1786	209	94	土師器	鉢	1②SR01 7	2/8	長石・石英粗砂多量，雲母中砂少量	10YR8/2灰白色	ﾊｹﾒ後下半ﾊｹﾒ状ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1787	209	94	土師器	甕	1①SR01 6・7	3/8	長石・石英粗砂多量，雲母細砂含	2.5Y8/3淡黄色	ﾊｹﾒ後胴指ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1788	209		土師器	甕	1①SR01 6・7	2/8	粗砂含	5YR6/6橙色	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1789	209		土師器	甕	1①C15SR01 6	3/8	粗砂含	2.5YR5/8明赤褐色	口頸ﾊｹﾒ，胴板ﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1790	209		土師器	甕	1①D15SR01北肩 6・7	1/8	長石・石英粗砂含	5YR6/6橙色	ﾊｹﾒ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1791	210		土師器	甕	1①SR01 6・7	1/8	粗砂含	5YR7/6橙色	口縁ﾊｹﾒ，頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口頸ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1792	210	94	土師器	甕	1①SR01 7層	2/8	粗砂少量	7.5YR7/4にぶい橙色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後口頸ﾖｺﾅﾃﾞ	
1793	210		土師器	甕	1①SR01 7層	1/8	粗砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1794	210		土師器	甕	1①SR01 6・7	1/8	粗砂多量	5YR7/8橙色	胴ﾊｹﾒ	胴ﾊｹﾒ	

第65表　土器観察表(51)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
1795	210		土師器	甕	1①SR01 6・7	1/8	粗砂含	5YR6/6 橙色	口縁ハケメ，胴板ナデ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1796	210		土師器	甕	1①SR01 6・7	2/8	粗砂含	5YR7/8 橙色	ハケメ後ヨコナデ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1797	210	94	土師器	甕	1①SR01 6	6/8	長石・石英細砂含	5Y7/3 浅黄色	ハケメ	ハケメ	
1798	210	94	土師器	甕	1①SR01 7	2/8	粗砂含	2.5YR6/8 橙色	口縁ハケメ，胴ヘラケズリ	口頸ヨコナデ，胴ハケメ	
1799	210		土師器	甕	1①C15SR01 機械掘削 7	1/8	粗砂多量	5YR7/8 橙色	指ナデ後ヘラケズリ	ハケメ	
1800	210	94	土師器	甑	1①C15SR01 6	6/8	粗砂多量	10YR8/2 灰白色	ハケメ，下半指頭痕	ハケメ	
1801	210	94	土師器	甑	1①C15SR01 6	2/8	粗砂含	10YR7/4 にぶい黄橙色	ハケメ後下半ヘラケズリ	ハケメ	
1802	211	95	土師器	竈	1①SR01 6・7	8/8	粗砂多量	7.5YR8/3 浅黄橙色	指ナデ	ハケメ後指ナデ	
1803	211	95	須恵器	坏蓋	1①SR01 7	6/8	粗砂多量	5B4/1 暗青灰色	回転ナデ	回転ナデ，天井回転ヘラキリ後ナデ	
1804	211		須恵器	坏蓋	1①D15SR01 北肩 6・7	8/8	粗砂多量	5PB4/1 暗青灰色	回転ナデ	回転ナデ，天井回転ヘラキリ	
1805	211	95	須恵器	坏蓋	1①D15SR01 7b	8/8	粗砂含	N8/0 灰白色	回転ナデ	回転ナデ，天井回転ヘラケズリ	
1806	211		須恵器	坏蓋	1①SR01 7	2/8	砂粒含まず	N8/0 灰白色	回転ナデ，天井ナデ	回転ナデ，天井回転ヘラケズリ	
1807	211		須恵器	坏蓋	1①D15SR01 北肩 6・7	7/8	粗砂含	5P6/1 紫灰色	回転ナデ，天井ナデ	回転ナデ，天井回転ヘラケズリ後回転ナデ	
1808	211	95	須恵器	坏蓋	1①SR01 6・7	1/8	粗砂含	5PB7/1 明青灰色	回転ナデ	回転ナデ，天井回転ヘラケズリ後ナデ	
1809	211		須恵器	坏蓋	1①SR01 6・7	3/8	粗砂少量	5B6/1 青灰色	口縁回転ナデ，天井ナデ	口縁回転ナデ，天井回転ヘラケズリ後回転ナデ	
1810	211		須恵器	坏	1①SR01 6・7	1/8	粗砂含	5PB6/1 青灰色	回転ナデ底ナデ	回転ナデ，底回転ヘラキリ	
1811	211	95	須恵器	坏	1①SR01 7	8/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色	回転ナデ	回転ナデ，底回転ヘラキリ	
1812	211		須恵器	坏	1①SR01 6・7	1/8	中砂少量	5PB6/1 青灰色	回転ナデ	回転ナデ	外面自然釉
1813	211		須恵器	坏	1①SR01 6・7	2/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色～5B2/1 青黒色	回転ナデ	回転ナデ	
1814	211	95	須恵器	坏	1①D15SR01 7b	6/8	粗砂多量	5PB5/1 青灰色	回転ナデ	回転ナデ，天井回転ヘラキリ後ナデ	
1815	211		須恵器	坏蓋	1①C15SR01 機械掘削 7	4/8	粗砂少量	5PB7/1 明青灰色	回転ナデ，底ナデ	回転ナデ，胴下半回転ヘラケズリ	
1816	211		須恵器	坏	1①D15SR01 7b	3/8	粗砂含	5PB4/1 暗青灰色	回転ナデ，底ナデ	回転ナデ，底回転ヘラケズリ	
1817	211		須恵器	坏	1①SR01 7	3/8	粗砂少量	5PB4/1 暗青灰色	回転ナデ，底ナデ	回転ナデ，底回転ヘラケズリ	
1818	211	95	須恵器	蓋	1①SR01 7	2/8	細砂含	N7/0 灰白色	回転ナデ	回転ナデ，天井回転ヘラケズリ後回転ナデ	
1819	211		須恵器	蓋	1①SR01 7	2/8	粗砂多量	7.5Y7/1 灰白色	回転ナデ，天井ナデ	口縁回転ナデ，天井回転ヘラケズリ後回転ナデ	高坏の可能性もある
1820	211	95	須恵器	壺蓋	1①SR01 7	4/8	粗砂含	10Y6/1 灰色	自然釉	回転ナデ，底回転ヘラケズリ	
1821	211	95	須恵器	壺蓋	1①SR01 6・7	3/8	中砂多量	5PB7/1 明青灰色	回転ナデ	回転ナデ，底回転ヘラキリ	
1822	211	95	須恵器	鉢	1①C15SR01 7	2/8	粗砂少量	7.5YR6/3 にぶい褐色	回転ナデ	上半回転ナデ，下半カキメ	

第66表　土器観察表(52)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
1823	211	96	須恵器	壺	1①C15SR01 7c	1/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1824	211	96	須恵器	壺	1①SR01 7	6/8	中砂多量	5B6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1825	211		須恵器	壺	1①SR01 6・7	1/8	粗砂含	5B3/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1826	211		須恵器	平瓶	1①SR01 6・7	5/8	粗砂含	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1827	211		須恵器	甕	1①SR01 6・7	1/8	中砂含	5PB6/1 青灰色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴平行ﾀﾀｷ	
1828	212	96	須恵器	甕	1①C15SR01 機械掘削 7	1/8	粗砂少量	5PB7/1 明青灰色	青海波ﾀﾀｷ	不明	
1829	212		弥生土器	鉢	1①C15SR01 7c	6/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/4 にぶい黄橙色	ﾊｹﾒ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾀﾀｷﾒ	
1830	212		紡錘車		1①SR01 7	*	粗砂多量	2.5YR6/6 橙色	不明	不明	土器片転用
1831	212		弥生土器	壺	1①SR01ｶﾞﾘｶｹ	1/8	長石・石英粗砂少量	2.5YR6/6 橙色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1832	212		土師器	鉢	1①C15SR01 精査	1/8	粗砂少量	5YR7/6 橙色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1833	212	96	須恵器	蓋	1①SR01ｶﾞﾘｶｹ	1/8	粗砂含	5P6/1 紫灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1856	214	96	土師器	壺	1②SR02 e層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR7/6 橙色	胴指ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1857	214	96	土師器	甕	1②北東Gr. 人力7層	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/3 淡黄色～2.5Y4/1 黄灰色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後板ﾅﾃﾞ	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後板ﾅﾃﾞ	
1858	214	96	土師器	甕	1②北東Gr. 人力7層	5/8	粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	板ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
1859	214	96	土師器	甕	1②東西畦⑮層	7/8	粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	胴上半指ﾅﾃﾞ	板ﾅﾃﾞ	
1860	214		土師器	甕	1②北東Gr. 人力7層	1/8	粗砂多量	10YR8/2 灰白色	ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1861	214	96	土師器	甕	1②北東Gr. 人力7層	2/8	粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後ﾅﾃﾞ	不明	
1862	214		土師器	甕	1②SR02 e層	2/8	粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1863	214		土師器	甕	1②SR02 g層	1/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y4/1 黄灰色～2.5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	不明	
1864	214	96	土師器	甕	1②SR02 g層	3/8	粗砂含	2.5Y7/2 灰黄色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ後板ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	
1865	214	97	土師器	皿	1②東西畦④層	4/8	中砂多量	7.5YR7/6 橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1866	214	97	土師器	把手	1②東西畦⑮層	1/8	粗砂多量	10YR8/3 浅黄橙色	ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
1867	214	97	須恵器	坏蓋	1③ 10層	8/8	粗砂含	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ヘラキリ未調整	
1868	214	97	須恵器	坏蓋	1②SR02 g層	4/8	粗砂含	7.5Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1869	214	97	須恵器	坏蓋	1②SR02 川底粗砂	6/8	粗砂含	10Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1870	214		須恵器	坏蓋	1②北東Gr. SR01 検出面ｶﾞﾘｶｹ	4/8	中砂含	7.5GY6/1 緑灰色	回転ﾅﾃﾞ，天井ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1871	214	97	須恵器	坏蓋	1③ 11層 下部砂層	7/8	粗砂含	5PB4/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	口縁回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1872	214		須恵器	坏蓋	1②東西畦⑮層	3/8	粗砂含	N8/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1873	214		須恵器	坏蓋	1③ 9層	3/8	粗砂少量	N4/0 灰色	回転ﾅﾃﾞ，天井ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ，回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	

第67表　土器観察表(53)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1874	214		須恵器	坏蓋	1②西 Gr. SR01 上層	4/8	粗砂多量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
1875	214		須恵器	坏蓋	1②SR01② 下層	4/8	粗砂含	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1876	214	97	須恵器	坏蓋	1②SR01② 下層	7/8	粗砂多量	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ後天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1877	214		須恵器	坏蓋	1②西 Gr. SR01 上層	4/8	粗砂含	5B6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ，天井ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1878	214	97	須恵器	坏蓋	1②北東 Gr. 人力7層	8/8	粗砂多量	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	外面自然釉
1879	214	97	須恵器	坏蓋	1②北東 Gr. 人力7層	8/8	粗砂含	5B6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ，天井ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1880	214	97	須恵器	坏蓋	1②北東 Gr. 人力7層	8/8	粗砂含	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1881	214		須恵器	坏	1②SR02 川底粗砂	1/8	粗砂多量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
1882	214		須恵器	坏	1②SR02 g層	1/8	粗砂含	N7/0 灰白色～2.5GY4/1 暗ｵﾘｰﾌﾞ灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1883	215		須恵器	坏	1②SR01 下層	3/8	中砂含	10Y4/1 灰色～7.5Y8/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ，底ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ，回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1884	215		須恵器	坏	1②SR02 g層	2/8	粗砂含	N5/0 灰色	回転ﾅﾃﾞ，底ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1885	215		須恵器	坏	1②SR02 g層	4/8	粗砂多量	5B4/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1886	215		須恵器	坏	1③ 9層	1/8	粗砂少量	N6/0 灰色	回転ﾅﾃﾞ，底ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	外面墨
1887	215		須恵器	坏	1③ 9層	4/8	粗砂多量	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1888	215	97	須恵器	坏	1③ 10' 層	7/8	粗砂多量	7.5Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
1889	215		須恵器	坏	1③ 10層	8/8	粗砂含	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，下半回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1890	215	97	須恵器	坏	1③ 11層 下部砂層	8/8	粗砂多量	10BG5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1891	215	97	須恵器	坏	1③ 11層 下部砂層	8/8	粗砂少量	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1892	215	98	須恵器	坏	1②東西畦 ④層	7/8	粗砂含	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1893	215	98	須恵器	坏	1②東西畦 ⑮層	7/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	緋襷
1894	215	98	須恵器	坏	1②東西畦 ⑮層	8/8	粗砂少量	N2/0 黒色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1895	215		須恵器	坏	1②西 Gr. SR01 上層	1/8	粗砂含	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1896	215	98	須恵器	坏	1②南東 Gr. SR02 b,c,d層	6/8	粗砂多量	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1897	215	98	須恵器	坏	1②SR01③ 下層	6/8	粗砂多量	5Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1898	215	98	須恵器	坏	1②SR01③ 下層	5/8	粗砂少量	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1899	215		須恵器	坏	1②北東 Gr. 人力7層	2/8	粗砂多量	5GY6/1 ｵﾘｰﾌﾞ灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1900	215	98	須恵器	坏	1②北東 Gr. 人力7層	7/8	粗砂多量	10Y8/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ，ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1901	215	98	須恵器	坏	1②北東 Gr. 人力7層	8/8	粗砂含	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	

第68表　土器観察表(54)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
1902	215	98	須恵器	坏	1②東西畦⑮層	4/8	粗砂多量	2.5GY4/1 暗ｵﾘｰﾌﾞ灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ヘラキリ	
1903	215	98	須恵器	高坏蓋	1②北東Gr. SR01Tr.	8/8	粗砂多量	7.5Y6/1 灰色	回転ﾅﾃﾞ，天井ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1904	215	98	須恵器	坏蓋	1②SR02 川底粗砂	2/8	粗砂少量	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	口縁回転ﾅﾃﾞ，天井部回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後下半回転ﾅﾃﾞ	
1905	215	98	須恵器	高坏	1②SR01 上層	5/8	粗砂含	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
1906	215	99	須恵器	高坏	1②SR01③ 下層	8/8	粗砂多量	7.5Y8/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
1907	215	99	須恵器	高坏	1②北東Gr. SR01Tr.	8/8	粗砂多量	5Y8/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1908	215	99	須恵器	高坏	1②SR02 g層	6/8	粗砂含	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1909	215	99	須恵器	高坏	1②東西畦⑮層	7/8	粗砂含	N3/0 暗灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1910	215	99	須恵器	高坏	1②北東Gr. 人力7層	6/8	粗砂含	7.5Y8/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ，底ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
1911	215	99	須恵器	高坏	1②北東Gr. 人力7層	6/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1912	215		須恵器	高坏	1②南東 Gr.Tr. 壁清掃	4/8	粗砂多量	N8/0 灰白色～N6/0 灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1913	215	99	須恵器	高坏	1②SR01② 上層	8/8	粗砂多量	7.5Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ	透孔4
1914	215		須恵器	高坏	1②南東Gr. SR02 b,c,d層	6/8	粗砂含	10Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1915	215	99	須恵器	高坏	1②北東Gr. Tr.ﾍﾟﾀﾄﾘ	7/8	粗砂少量	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	全面に自然釉
1916	215	99	須恵器	擂鉢	1②SR02 g層	4/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	回転ﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	焼成前穿孔
1917	216	100	須恵器	椀	1②東西畦⑮層	5/8	砂粒含まず	N2/0 黒色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底部回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1918	216	100	須恵器	鉢	1②北東Gr. 人力7層	5/8	粗砂多量	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾍﾗｷﾘ	
1919	216	100	須恵器	壺蓋	1②東西畦⑮層	5/8	粗砂少量	2.5GY3/1 暗ｵﾘｰﾌﾞ灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1920	216	100	須恵器	壺	1②南東 Gr.Tr.	4/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色～2.5Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
1921	216	100	須恵器	壺	1②SR02 g層	2/8	粗砂少量	10YR7/1 灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1922	216		須恵器	壺	1②SR02 g層	4/8	粗砂少量	10Y6/1 灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1923	216	100	須恵器	甕	1②東西畦⑮層	8/8	粗砂含	N8/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底静止ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1924	216		須恵器	甕	1②SR02 川底粗砂	1/8	粗砂含	5G4/1 暗緑灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
1925	216	100	須恵器	甕	1②SR02 g層	8/8	粗砂多量	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底部静止ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1926	216	100	須恵器	平瓶	1②SR02 g層	8/8	粗砂含	5GY3/1 暗ｵﾘｰﾌﾞ灰色	不明	胴上半回転ﾅﾃﾞ，下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ｶｷﾒ	
1927	216		須恵器	壺	1③畦南 9層 11層多	3/8	粗砂少量	5PB4/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	口頸回転ﾅﾃﾞ，胴平行ﾀﾀｷ	
1928	216	100	須恵器	甕	1②北東Gr. 人力7層	1/8	粗砂含	2.5Y3/2 黒褐色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴平行ﾀﾀｷ後ｶｷﾒ	

第69表　土器観察表(55)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1929	216		須恵器	甕	1②東西畦 ⑮層	2/8	粗砂多量	5Y3/1 オリーブ黒色～5Y7/1 灰白色	胴同心円ﾀﾀｷ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴平行ﾀﾀｷ後ｶｷﾒ	
1930	216		須恵器	横瓶	1③東部拡区 黒茶ｼﾙﾄ層	1/8	粗砂含	5PB5/1 青灰色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴平行ﾀﾀｷ後ｶｷﾒ	
1931	216		須恵器	甕	1②SR02 g層	1/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色	同心円ﾀﾀｷ後ﾖｺﾅﾃﾞ	ｶｷﾒ	
1932	216	101	須恵器	甕	1②SR02 g層	4/8	長石・石英粗砂含	N8/0 灰白色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴平行ﾀﾀｷ	
1933	217	101	須恵器	壺	1②SR02 g層	8/8	粗砂含	N7/0 灰色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴平行ﾀﾀｷ後ｶｷﾒ	
1934	217	101	須恵器	甕	1②SR02 g層	6/8	粗砂多量	5P6/1 紫灰色～5PB3/1 暗青灰色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴格子ﾀﾀｷﾒ後ｶｷﾒ	
1935	217		飯蛸壺		1③畦南 9層 11層多	8/8	粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	不明	指頭痕	
1936	217		飯蛸壺		1②東西畦 ⑮層	8/8	粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	指ﾅﾃﾞ	指頭痕	
1937	217		飯蛸壺		1②東西畦 ⑮層	7/8	粗砂多量	2.5Y8/2 灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	不明	
1938	217		土錘		1③ｶﾞﾘｶｹ及び機械掘削	*	中砂含	10YR8/3 浅黄橙色	不明	不明	
1939	217		不明		1③東部拡区 黒茶ｼﾙﾄ	*	粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	
1949	218	101	須恵器	坏蓋	1②南北Tr.	5/8	粗砂含	7.5Y6/1 灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1950	218	101	須恵器	坏	1②南北Tr.	8/8	粗砂多量	5B3/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
1951	218	101	須恵器	壺	1②南北Tr.	2/8	粗砂少量	7.5Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	外に2本の線刻
1952	218	117	灰釉陶器	皿	1②南北Tr.	1/8	砂粒含まず	2.5Y8/1 灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
1953	218	121	中国産白　磁	椀	1③ｶﾞﾘｶｹ及び機械掘削	1/8	砂粒含まず	10Y8/1 灰白色	施釉，貫入	施釉，貫入	Ⅱ類
1954	221	101	土師器	皿	2①C16 第5面 SR01 北区 灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	3/8	砂粒含まず	10R5/8 赤色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1955	221		土師器	皿	2①C16 第5面 SR01 北区 ⑭灰色ｼﾙﾄ～⑯淡灰黄ｼﾙﾄ	2/8	粗砂多量	5YR7/6 橙色	回転ﾅﾃﾞ	口縁回転ﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1956	221	102	土師器	皿	2①C16 第5面 SR01 北区 灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	1/8	細砂含	2.5YR5/8 明赤褐色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	赤彩
1957	221	102	土師器	高坏	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	4/8	粗砂多量	2.5YR6/8 橙色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ後坏部ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
1958	221		土師器	鉢	2①C16 第5面 SR01 北区 灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	1/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/4 にぶい赤褐色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1959	221	102	土師器	甕	2①C16 第5面 SR01 北区 28～30層	3/8	粗砂多量	5YR6/8 橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1960	221	102	土師器	甕	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	3/8	粗砂多量	5YR8/4 淡橙色	口縁ﾊｹﾒ，胴板ﾅﾃﾞ	胴ﾊｹﾒ	
1961	221	102	土師器	甕	2①C16 第5面 SR01 北 Tr. 西部 黒色粘土層	7/8	粗砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ，ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	

第70表　土器観察表(56)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1962	221	102	土師器	甕	2①C16 第5面 SR01 北 Tr. 北壁 28層	6/8	長石・石英粗砂多量	2.5Y8/2 灰白色	口頸ﾊｹﾒ，胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ	
1963	221	102	土師器	甕	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	6/8	粗砂多量	7.5YR6/4 にぶい橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾅﾃﾞ	胴ﾊｹﾒ	
1964	222	103	土師器	甕	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	5/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/2 灰褐色	口縁ﾊｹﾒ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
1965	222	102	土師器	甑	2①C16 第5面 SR01 北 Tr. 西部 黒色粘土層	6/8	細礫含	5Y8/1 灰白色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	
1966	222	103	土師器	甑	2①C16 第5面 SR01 北 Tr. 西部 黒色粘土層	7/8	粗砂多量	2.5Y8/2 灰白色	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	透穴1つは貫通せず
1967	222	103	須恵器	坏蓋	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	6/8	粗砂含	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1968	222	103	須恵器	坏蓋	2①C16 第5面 SR01 北区　灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	7/8	粗砂含	N4/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ヘラキリ	
1969	222	103	須恵器	坏蓋	2①C16 第5面 SR01 北区　28層～30層黒色粘土層他	8/8	粗砂含	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ，口縁ﾊｹﾒ	
1970	222	103	須恵器	坏蓋	2①C16 第5面 SR01 北 Tr. 西部 黒色粘土層	7/8	粗砂少量	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｷﾘ後回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1971	222	103	須恵器	坏蓋	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	7/8	粗砂含	N8/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1972	222	103	須恵器	坏蓋	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	7/8	粗砂含	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1973	222	103	須恵器	坏蓋	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	5/8	粗砂多量	N5/0 灰色	回転ﾅﾃﾞ	天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
1974	222	103	須恵器	坏蓋	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	7/8	粗砂含	5PB4/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1975	222		須恵器	坏蓋	2①C16 第5面 SR01 北区　灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	8/8	粗砂含	2.5Y8/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
1976	222		須恵器	坏蓋	2①C16 第5面 SR01 北区　灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	3/8	粗砂多量	2.5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色	回転ﾅﾃﾞ，天井ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1977	222		須恵器	坏蓋	2①C16 第5面 SR01 北区　灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	3/8	粗砂含	N5/0 灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1978	222	103	須恵器	坏蓋	2①C16 第5面 SR01 北区　灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	2/8	粗砂含	N8/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1979	222		須恵器	坏蓋	2①C16 第5面 SR01 北区　灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	7/8	粗砂少量	5PB5/1 青灰色～5B3/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
1980	222		須恵器	坏	2①C17SR01 南端 黒色粘土(写)	8/8	粗砂含	5PB6/1 青灰色～5PB3/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底ヘラキリ	

第71表　土器観察表(57)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1981	222	104	須恵器	坏	2①C17SR01 南端 黒色粘土(写)	8/8	粗砂含	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ後底部回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1982	222	104	須恵器	坏	2①C17SR01 南端 黒色粘土(写)	8/8	粗砂多量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底静止ﾍﾗｹｽﾞﾘ	内面に円柱状木材の圧痕
1983	222	104	須恵器	坏	2①C17SR01 南端 黒色粘土(写)	8/8	細砂含	10YR8/4 浅黄橙色～10Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底部未調整	
1984	223	104	須恵器	坏	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	7/8	粗砂含	5PB4/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1985	223	104	須恵器	坏	2①C17SR01 南端 黒色粘土(写)	8/8	粗砂少量	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ後底部ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1986	223	104	須恵器	坏	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	2/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底部ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1987	223	104	須恵器	坏	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	8/8	粗砂含	10Y8/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1988	223	104	須恵器	坏	2①SR01 (本流)北 ⑭灰色ｼﾙﾄ～⑯黄灰色ｼﾙﾄ(洪水砂)	8/8	長石・石英粗砂含	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1989	223	104	須恵器	坏	2①C16 第5面 SR01 北 Tr.	8/8	中砂多量	5PB7/1 明青灰色～5RP4/1 暗紫灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1990	223	104	須恵器	坏	2①C16 第5面 SR01 北 Tr. 西部 黒色粘土層	7/8	粗砂含	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底静止ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1991	223	104	須恵器	坏	2①C16 第5面 SR01 北区 28～30層	7/8	粗砂多量	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1992	223	104	須恵器	坏	2①C16 第5面 SR01 北区 28層～30層黒色粘土層他	6/8	粗砂少量	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ，底ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	緋襷
1993	223	104	須恵器	坏	2①C16 第5面 SR01 北区 ⑭灰色ｼﾙﾄ ⑯淡灰黄ｼﾙﾄ	6/8	粗砂多量	10Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1994	223		須恵器	坏	2①C17 第5面 SR01 南区 黒色粘土層	4/8	粗砂含	N8/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1995	223	104	須恵器	椀	2①C16 第5面 SR01 北 Tr. 西部 黒色粘土層	4/8	粗砂含	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底静止ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1996	223		須恵器	椀	2①C16 第5面 SR01 北区 灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	4/8	粗砂多量	N5/0 灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底静止ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
1997	223	105	須恵器	高台付坏	2①C16 第5面 SR01 北区 ⑲茶灰色粘質ｼﾙﾄ 21茶灰色粘質ｼﾙﾄ	4/8	粗砂含	5P6/1 紫灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
1998	223	105	須恵器	高台付坏	2①C16 第5面 SR01 北区 ⑭灰色ｼﾙﾄ ⑯淡灰黄ｼﾙﾄ	3/8	粗砂含	5B5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	

第72表　土器観察表(58)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
1999	223	105	須恵器	高台付坏	2①C16 第5面 SR01 北区 ⑭灰色ｼﾙﾄ～⑯淡灰黄ｼﾙﾄ	5/8	粗砂含	N8/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2000	223	105	須恵器	高坏	2①C17SR01 (本流)南 黒色粘土層(ｺﾝﾎﾟ)	7/8	粗砂少量	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
2001	223		須恵器	高坏	2①C17 SR01 南壁 黒色粘土	1/8	粗砂含	5PB6/1 青灰色～5PB3/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
2002	223	105	須恵器	高坏	2①C16 第5面 SR01 北 Tr. 東部 黒色粘土層	8/8	粗砂少量	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2003	223	105	須恵器	高坏	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	7/8	砂粒含まず	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2004	223	105	須恵器	高坏	2①C16 第5面 SR01 北区 28～30層	8/8	粗砂含	5Y8/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ，坏底ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｷﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
2005	223	105	須恵器	高坏	2①C16 第5面 SR01 地区 28層 黒色粘土層他 28層～30層	6/8	粗砂多量	5B4/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
2006	223	105	須恵器	高坏	2①C16 第5面 SR01 北区 28～30層	5/8	粗砂含	N8/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，坏底回転ﾍﾗｷﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
2007	223	105	須恵器	坏	2①C16 第5面 SR01 北区 28～30層	2/8	粗砂少量	10G4/1 暗緑灰色～N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	ｶｷﾒ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
2008	223	106	須恵器	鉢	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	8/8	砂粒含まず	N8/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底静止ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2009	223	106	須恵器	甑	2①C17 第5面 SR01 中区 黒色粘土	1/8	粗砂多量	N8/0 灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ｶｷﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2010	224	106	須恵器	甑	2①C16 第5面 SR01 北区 灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	2/8	粗砂少量	2.5Y7/1 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2011	224	106	須恵器	甕	2①C16 第5面 SR01 北区 28～30層	4/8	粗砂含	5GY6/1 ｵﾘｰﾌﾞ灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2012	224	106	須恵器	甕	2①C17 第5面 SR01 南区 黒色粘土層	3/8	粗砂含	10Y6/1 灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2013	224	106	須恵器	甕	2①C16SR01 北Tr. 西部 黒色粘土層	8/8	中砂含	N7/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底部回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2014	224	106	須恵器	甕	2①C16 第5面 SR01 北区 灰色ｼﾙﾄ～淡灰黄ｼﾙﾄ	6/8	砂粒含まず	N7/0 灰白色～2.5GY5/1 オリーブ灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ，底静止ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2015	224	106	須恵器	壺蓋	2①C16 第5面 SR01 北区 28～30層	2/8	粗砂少量	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2016	224	106	須恵器	壺	2①C16 第5面 SR01 北区 ⑭灰色ｼﾙﾄ⑯淡灰黄ｼﾙﾄ	1/8	砂粒含まず	5B4/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2017	224	107	須恵器	壺	2①C16 第5面 SR01 地区 28層 黒色粘土層他 28層～30層	8/8	粗砂多量	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，頸ｶｷﾒ，底ﾍﾗｹｽﾞﾘ	

第73表　土器観察表(59)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
2018	224	107	須恵器	壺	2①C17SR01 南端 黒色粘土 (写)	8/8	長石・石英粗砂含	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	胴上半回転ﾅﾃﾞ，下半カキメ後ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2019	224	107	須恵器	甕	2①C16 第5面 SR01 北区 ⑲茶灰色粘質ｼﾙﾄ 21茶灰色粘質ｼﾙﾄ	3/8	粗砂多量	7.5Y7/1 灰白色～5PB2/1 青黒色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴平行ﾀﾀｷﾒ	
2020	224	107	須恵器	甕	2①C16 第5面 SR01 北区 ⑭灰色ｼﾙﾄ～⑯淡灰黄ｼﾙﾄ	6/8	粗砂含	5PB3/1 暗青灰色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴平行ﾀﾀｷ後カキメ	
2021	224		製塩土器		2①C17 第5面 SR01 南区 黒色粘土層	1/8	粗砂多量	10YR5/2 灰黄褐色～2.5Y6/3 にぶい黄色	胴ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口縁ﾀﾀｷﾒ	
2025	224	107	土師器	坏	2①B16,B17, C16,C17 第1面上面精査中 橙色ｼﾙﾄ	3/8	砂粒含まず	2.5YR6/8 橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ヘラキリ	
2026	224	107	須恵器	壺	2①C16,C17 の境界付近第1面上面精査 灰褐色粘質ｼﾙﾄ層	8/8	粗砂少量	5PB3/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	胴下半ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ	
2027	224	114	緑釉陶器	皿	2①B16,B17, C16,C17 第1面上面精査 灰褐色粘質ｼﾙﾄ	1/8	細砂少量	10Y6/2 オリーブ灰色	施釉	施釉	硬陶
2028	224	114	緑釉陶器	皿	2①B16,B17, C16,C17 第1面上面精査 灰褐色粘質ｼﾙﾄ	1/8	細砂少量	7.5Y7/2 灰白色	施釉	施釉	硬陶
2029	224	121	中国産白磁	椀	2①C16 第1面上面精査 灰褐色粘質ｼﾙﾄ～橙色ｼﾙﾄ	1/8	砂粒含まず	5Y7/1 灰白色	施釉	施釉	
2030	224	121	中国産白磁	椀	2①B16,B17, C16,C17 第1面上面精査 灰褐色粘質ｼﾙﾄ	1/8	砂粒含まず	5Y8/2 灰白色	施釉，貫入	施釉，貫入	
2031	224		土錘		2①C17 第2面上面精査	7/8	中砂多量	5YR4/4 にぶい赤褐色	不明	*	
2032	224	115	緑釉陶器	皿	2①C17 第3面上面精査	1/8	中砂少量	10Y7/2 灰白色	施釉	施釉	軟陶
2033	224	115	緑釉陶器	底部	2①C17 第3面上面精査	4/8	中砂少量	7.5Y7/2 灰白色	不明	施釉	軟陶
2034	224	118	褐釉陶器	鉢	2①C17 第4面覆土洪水砂層及びその上層	1/8	砂粒含まず	7.5YR2/2 黒褐色	施釉	施釉	
2035	224		須恵器	蓋	2①C16,C17 東側側溝	1/8	細砂含	5PB6/1 青灰色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾍﾗｹｽﾞﾘ，天井ﾅﾃﾞ	
2036	225	107	須恵器	鉢	2①B17 西かﾍﾞぎわ 黒色粘質ｼﾙﾄ直上	6/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
2037	225	114	緑釉陶器	皿	2①C17 側溝掘り下げ	2/8	粗砂少量	7.5Y5/3 灰オリーブ色	施釉	高台内面無釉	削り出し高台・硬陶
2038	225	117	灰釉陶器	椀	2①B16,B17, C16,C17 西側 Tr. 灰褐色粘質ｼﾙﾄ	1/8	砂粒含まず	5Y8/1 灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
2039	225	117	灰釉陶器	皿	2①C17 南側側溝拡張掘り下げ	1/8	砂粒含まず	5Y8/1 灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	

第74表　土器観察表(60)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
2040	225	117	灰釉陶器	皿	2①C17南半分壁精査中第1遺構面より上	1/8	砂粒含まず	2.5Y7/3浅黄色	ヨコナデ	ヨコナデ	
2041	225	118	褐釉陶器	壺	2①C17南側側溝拡張掘り下げ	2/8	粗砂含	2.5Y3/3暗オリーブ褐色	口頸施釉	施釉	
2043	227		土師器	壺	2③南Gr.SR02②1層	2/8	長石・石英粗砂多量	10R5/6赤色	口縁ヨコナデ，胴上半指ナデ，下半板ナデ	口縁ヨコナデ，胴タタキメ後ハケメ	
2044	227	107	土師器	甑	2③南Gr.SR02 1層	*	粗砂多量	10R5/6赤色	指頭痕	指頭痕	
2046	227	107	土師器	甕	2③南Gr.SR02①　1層直上の層	2/8	粗砂多量	10YR5/4にぶい黄褐色	口頸ハケメ，胴ヘラケズリ	口縁ヨコナデ，胴ハケメ	
2047	227	108	須恵器	平瓶	2③南Gr.ガリカケ流路検出面	1/8	粗砂含	5PB7/1明青灰色	回転ナデ	回転ナデ	
2048	227		舟形土製品		2③南Gr.SR02①　1層直上の層	*	粗砂多量	7.5YR6/3にぶい褐色	不明	不明	
2050	227	108	須恵器	坏	2③南畦畔検出面	3/8	粗砂多量	N7/0灰白色	回転ナデ	回転ナデ	
2051	227	108	須恵器	平瓶	2③南畦畔検出面	2/8	粗砂含	N8/0灰白色	回転ナデ	回転ナデ	
2052	227		土錘		2③南畦畔検出予定面ガリカケ	8/8	粗砂多量	10YR7/4にぶい黄橙色	不明	不明	
2053	227		須恵器	坏	2③北洪水砂中	1/8	粗砂少量	7.5GY3/1暗緑灰色	回転ナデ	回転ナデ	
2054	227	108	須恵器	壺蓋	2②北人力4層	3/8	粗砂含	N7/0灰白色	回転ナデ	口縁回転ナデ，天井回転ナデ	
2055	227		土錘		2③北洪水砂中	*	粗砂多量	10YR6/4にぶい黄橙色	*	不明	
2056	228	113	土馬		2②南人力4層	*	中砂多量	5Y7/1灰白色	*	指頭痕	
2058	228		土錘		2②人力3層	6/8	細砂少量	10YR7/4にぶい黄橙色	不明	不明	
2059	228		土錘		2②南人力3層	8/8	細砂含	10YR2/1黒色	不明	不明	
2060	228		土錘		2②南人力3層	8/8	細砂含	10YR2/2黒褐色	不明	不明	
2061	228	108	須恵器	壺	2④⑤北部落込灰シルト最下層(8.5m)Fe沈	2/8	粗砂少量	5P7/1明紫灰色	回転ナデ	回転ナデ	
2062	228	121	中国産白磁	椀	2④⑤北部落込灰色シルト層8.6m	1/8	砂粒含まず	10Y7/2灰白色	施釉	施釉	
2063	228	123	中国産白磁	皿	2④⑤北部落込8.6m灰シルト	3/8	砂粒含まず	7.5Y7/2灰白色	施釉，貫入	底無釉，貫入	V類
2064	228	108	青白磁	椀	2④⑤北部落込8.6m灰シルト	2/8	砂粒含まず	10BG7/1明青灰色	施釉	底無釉	
2065	228		土錘		2④⑤北部落込灰色シルト層8.6m	*	粗砂少量	2.5Y6/3にぶい黄色	不明	不明	
2066	228	113	土馬		2④⑤北部落込灰色シルト層8.6m	*	中砂多量	N7/0灰白色	*	指頭痕	
2067	228	117	灰釉陶器	椀	2②北Gr.人力2層	1/8	砂粒含まず	5Y6/1灰色	ヨコナデ	ヨコナデ	
2068	228	118	褐釉陶器	椀	2③北人力1層	1/8	粗砂少量	10YR2/2黒褐色	施釉	施釉	
2069	228	119	中国産青磁	椀	2②北　人力1層Fe集積層	1/8	砂粒含まず	7.5Y4/3暗オリーブ色	施釉	施釉	
2070	228		中国産青磁	椀	2③南Gr.人力2層c	1/8	砂粒含まず	5GY5/1オリーブ灰色	施釉	施釉	

第75表　土器観察表(61)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺 構 名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
2071	228	119	中国産 青　磁	椀	2②南　人力1 層鉄分集積層	1/8	細砂含	10Y5/2オリーブ灰色	施釉	施釉	割れ面に漆
2072	228		中国産 青　磁	椀	2②北 人力1層	1/8	砂粒含まず	10Y5/2オリーブ灰色	施釉	施釉	
2073	228		中国産 青　磁	椀	2③北 人力1層	2/8	砂粒含まず	10Y4/2オリーブ灰色	施釉	高台内面無釉	
2074	228	120	中国産 青　磁	皿	2③南 人力1層	1/8	砂粒含まず	10Y6/2オリーブ灰色	施釉	底無釉	
2075	228	123	中国産 白　磁	皿	2②北 人力1層	1/8	砂粒含まず	10Y8/1灰白色	施釉	畳付無釉	
2076	228	121	中国産 白　磁	椀	2② 人力Fe集積層	1/8	砂粒含まず	10Y7/1灰白色	施釉	施釉	
2077	228	122	中国産 白　磁	椀	2③北 人力1層	1/8	砂粒含まず	2.5GY7/1明オリーブ灰色	施釉	無釉	
2078	228	122	中国産 白　磁	椀	2④⑤北部落込 8.75m鉄分集積層	8/8	砂粒含まず	7.5Y7/2灰白色	施釉	無釉	
2079	228	123	中国産 白　磁	壺	2③南Gr. 人力1層	1/8	砂粒含まず	7.5Y7/1灰白色	施釉	施釉	
2080	228		土錘		2③南Gr. 人力2層c	4/8	中砂含	7.5YR6/4にぶい橙色	不明	不明	
2081	228		土錘		2③北 人力2層	8/8	粗砂含	2.5YR6/4にぶい橙色	不明	不明	
2084	228	114	緑釉陶器	皿	2③北Gr. 機械1層	1/8	砂粒含まず	10Y5/2オリーブ灰色	施釉	施釉	
2085	228	116	緑釉陶器	椀	2②西Tr.	1/8	細砂含	10Y4/2オリーブ灰色	施釉	施釉	硬陶
2086	228	117	灰釉陶器	皿	2③北Tr. 壁清掃	1/8	砂粒含まず	N8/0灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
2087	228	118	褐釉陶器	椀	2②西壁清掃	1/8	砂粒含まず	10YR2/3黒褐色	施釉	施釉	
2088	228	121	中国産 白　磁	椀	2②ｶﾞﾘｶｹ	1/8	砂粒含まず	7.5Y8/1灰白色	施釉	施釉	
2089	228	121	中国産 白　磁	椀	2③東西Tr. ｶﾍﾞｶｷ	1/8	砂粒含まず	7.5Y7/2灰白色	施釉	口縁施釉	
2090	232		須恵器	高台付坏	3②B28 SR01 溜り1 Ⅲ2	3/8	粗砂少量	N8/0灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底平行ﾀﾀｷ	
2091	232	108	須恵器	鉢	3②B28 SR01 溜り2　淡黒色粘土(粗砂を含む)	8/8	粗砂含	N4/0灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2092	232	108	土師器	不明	3②C28 SR01 溜り ⑨	*	粗砂多量	5Y7/2灰白色	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	不明	墨書？
2093	232		弥生土器	甕	C・D26区 SX02	1/8	長石・石英粗砂含，角閃石粗砂多量	10YR6/3にぶい黄橙色	不明	不明	
2094	232		弥生土器	甕	C・D26区 SX02	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR6/4にぶい黄橙色	不明	不明	
2095	232		須恵器	坏蓋	C・D26区 SX02	6/8	粗砂少量	5B6/1青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
2096	232	108	須恵器	甕	C・D26区 SX03	2/8	粗砂少量	5PB7/1明青灰色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ後ﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ｶｷﾒ	
2097	232	113	須恵器	坏	3②畦畔1東 Ⅱ7	1/8	中砂含	10Y6/1灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	墨書
2098	232	113	須恵器	坏	3②畦畔1東 Ⅱ7	*	中砂含	N7/0灰白色	不明	平行ﾀﾀｷ	墨書
2099	232	109	須恵器	甕	3②畦畔1東 Ⅱ7	1/8	粗砂少量	5PB7/1明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2100	232		土錘		3②B28 Ⅱ⑥	8/8	粗砂少量	2.5YR7/4淡赤橙色	不明	不明	

第76表　土器観察表(62)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
2101	232		土錘		3②B28 Ⅱ⑥	8/8	細砂少量	7.5YR8/1 灰白色	不明	不明	
2102	232		須恵器	高台付坏	3②Ⅲ2の上層の灰色がかった粘土(大ｱｾﾞ東ﾜｷ北端)水口	3/8	粗砂少量	5P7/1 明紫灰色～5PB3/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2103	232		須恵器	坏	3②木樋のみぞ(粘土)水口	2/8	粗砂多量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ，底ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
2104	232		須恵器	高台付坏	3②木樋の溝(上層砂)水口	3/8	細砂少量	5PB5/1 青灰色	胴ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
2105	232		須恵器	高台付坏	3②木樋のみぞ(粘土)水口	1/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2106	232	109	土師器	皿	3②B28 SR02 流路1 Ⅱ4 (4Tr.)	3/8	長石・石英粗砂多量	7.5YR7/6 橙色	不明	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	
2107	232		土錘		3②中央畦より東C28 Ⅱ 1,2,6	6/8	粗砂含	2.5Y7/1 灰白色	*	不明	
2108	232		須恵器	坏蓋	C・D26区 第3・4・5層	1/8	細砂含	5B6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，天井回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2109	232		須恵器	高台付坏	C・D26区 第4・5層	4/8	中砂含	5B6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，胴下半回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
2110	232	109	須恵器	壺	C・D26区 第3・4・5層	1/8	粗砂含	N8/0 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	胴上半回転ﾅﾃﾞ，下半回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ後ﾅﾃﾞ	
2111	232		須恵器	壺	C・D26区 第4層	1/8	砂粒含まず	5PB7/1 明青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2112	232		須恵器	平瓶	C・D26区 第4層	8/8	粗砂少量	5PB7/1 明青灰色	—	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2113	232	109	吹子の羽口		C・D26区 第3・4・5層	8/8	粗砂多量	5P6/1 紫灰色～2.5Y7/4 浅黄色	不明	不明	部分溶融
2114	232	109	須恵器	高台付坏	3②ｶﾞﾘｶｹ (4Tr.東)黒色粘土(最上層)上	2/8	粗砂含	5PB4/1 暗青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2115	232	109	須恵器	甕	3②C28⑨ (機械掘削)	3/8	粗砂含	5PB6/1 青灰色	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴同心円ﾀﾀｷ後ﾖｺﾅﾃﾞ	口頸ﾖｺﾅﾃﾞ，胴平行ﾀﾀｷ後ｶｷﾒ	
2116	232	121	中国産白磁	椀	3①(2) 機械掘削	1/8	砂粒含まず	5GY8/1 灰白色	施釉	施釉	
2117	232	122	中国産白磁		3②不明	2/8	砂粒含まず	7.5Y7/1 灰白色	施釉	底無釉	
2118	232		中国産青磁	椀	3②不明	1/8	砂粒含まず	5G7/1 明緑灰色	施釉	施釉	
2119	232	109	吹子の羽口		3②仮設道除去	*	粗砂多量	5PB5/1 青灰色～2.5YR5/6 明赤褐色	不明	不明	
2126	234	109	土師器	坏	1③ SP025	5/8	細砂含	10YR7/2 にぶい黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｷﾘ	
2127	234		弥生土器	甕	2④⑤B21 SP062	1/8	粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	不明	不明	
2128	234	109	弥生土器	高坏	2④⑤B20 SP017	3/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8 赤色	ﾐｶﾞｷ	不明	
2129	234		紡錘車		2④⑤C21 SP468	*	細砂含	7.5YR3/2 黒褐色～2.5Y7/3 浅黄色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	土器転用
2130	234	110	土師器	坏	2④⑤C20 SP015	2/8	細砂多量	5YR6/6 橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	

第77表　土器観察表(63)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
2131	234		土師器	皿	2④⑤D21 SP023 SP024 SP025	2/8	中砂含	2.5YR7/8 橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2132	234		土師器	皿	2④⑤C21 SP377	2/8	粗砂多量	5YR7/4 にぶい橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2133	234		土師器	皿	2④⑤D20 SP023	2/8	中砂含	7.5YR8/3 浅黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2134	234		土師器	皿	2④⑤C21 SP166	1/8	粗砂多量	2.5Y8/2 灰白色	回転ﾅﾃﾞ，底ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2135	234	110	土師器	皿	2④⑤C20 SP120	8/8	中砂多量	10R6/6 赤橙色～5YR8/3 淡橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｷﾘ	
2136	234		土師器	皿	2④⑤C21 SP432	1/8	粗砂含	10YR7/3 にぶい黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
2137	234		土師器	皿	2④⑤C21 SP432	1/8	粗砂多量	7.5YR8/4 浅黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2138	234		土師器	坏	2④⑤C21 SP347 SP349	1/8	細砂含	5YR8/4 淡橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底板ﾅﾃﾞ	
2139	234		土師器	皿	2④⑤D20 SP174	1/8	中砂含	10YR5/2 灰黄褐色	ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
2140	234		土師器	皿	2④⑤C21 SP003 SP004 混	2/8	砂粒含まず	7.5YR8/4 浅黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2141	234	110	土師器	皿	2④⑤C21 SP003	6/8	粗砂含	7.5YR8/4 浅黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2142	234		土師器	鍋	2④⑤C21 SP003	1/8	粗砂多量	10YR6/1 褐灰色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴板ﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
2143	234	110	土師器	鉢	2④⑤C21 SP451	4/8	粗砂多量	10YR8/4 浅黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	
2144	234		瓦器	椀	2④⑤D20 SP174	2/8	中砂含	5YR6/3 にぶい橙色～N4/0 灰色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	指頭痕	
2145	234		土師器	鍋	2④⑤D20 SP182	*	粗砂多量	2.5Y3/1 黒褐色	指頭痕	不明	押印
2150	235		土師器	皿	1③SK03 南 上層	2/8	粗砂多量	10YR8/2 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2151	235		土師器	鍋	1③SK03 南 上層	1/8	中砂多量	7.5YR3/2 黒褐色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾀﾀｷﾒ	
2152	235	110	土師器	釜	1③SK03 南 上層	2/8	粗砂多量	7.5YR3/2 黒褐色	ﾊｹﾒ	口縁指頭痕後ﾖｺﾅﾃﾞ	
2153	235		土師器	鍋	1③SK03 北 上層	1/8	粗砂含	10YR4/2 灰黄褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	
2154	235		土師器	鍋	1③SK03 南 上層	1/8	粗砂含	10YR2/2 黒褐色	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ	
2155	235		土師器	鍋	1③SK03 畦 上層	1/8	粗砂多量	5YR2/2 黒褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
2156	235		土師器	鍋	1③SK03 畦 上層	1/8	粗砂多量	7.5YR4/2 灰褐色	口縁ﾊｹﾒ後ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴ﾊｹﾒ	
2157	235		土錘		1③SK03 北 上層	6/8	粗砂含	7.5YR2/1 黒色	不明	不明	
2158	236		土師器	皿	1③SK04	2/8	粗砂多量	7.5YR7/6 橙色	不明	底ﾍﾗｷﾘ	
2159	236		土師器	坏	1③SK04	6/8	粗砂含	2.5Y8/2 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2160	236	110	土師器	坏	1③SK04	8/8	粗砂多量	2.5Y8/2 灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ，ﾊｹ状圧痕	
2161	236	110	土師器	坏	1③SK04	5/8	粗砂多量	10YR7/3 にぶい黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2162	236	110	瓦質土器	椀	1③SK04	8/8	粗砂少量	N7/0 灰白色	板ﾅﾃﾞ，底指頭痕	口縁～胴上半ﾖｺﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
2163	236		瓦質土器	鉢	1③SK04	1/8	中砂含	N6/0 灰色	ﾖｺﾅﾃﾞ	格子ﾀﾀｷ後ﾅﾃﾞ	

第78表　土器観察表(64)

番号	挿図	図版	種類	器種	遺構名	残存率	胎土	色調	内面調整	外面調整	備考
2164	236		土師器	釜	1③SK04	1/8	粗砂多量	7.5YR7/3にぶい橙色	ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	
2165	238		土師器	皿	2④⑤SK01畦除去	1/8	中砂多量	5YR7/6橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2166	238	110	土師器	皿	2④⑤SK01Tr.	4/8	粗砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後板目痕	
2167	238		須恵器	坏	2④⑤SK01畦除去	1/8	粗砂含	7.5YR8/4浅黄橙色	不明	不明	
2168	238		須恵器	椀	2④⑤SK01畦除去	2/8	粗砂少量	N8/0灰白色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	回転ﾅﾃﾞ	
2169	238		土師器	擂鉢	2④⑤SK01②	1/8	粗砂多量	7.5YR4/6褐色	不明	不明	
2170	238		土師器	甕	2④⑤SK01Tr.	1/8	粗砂多量	5YR6/4にぶい橙色	不明	不明	
2171	238		土師器	釜	2④⑤SK01Tr.	1/8	粗砂多量	7.5YR6/6橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
2172	238		土師器	釜	2④⑤SK01②	1/8	粗砂多量	10YR6/4にぶい黄橙色	板ﾅﾃﾞ	指頭痕	
2173	238	121	中国産白磁	椀	2④⑤SK01①	1/8	砂粒含まず	7.5Y6/1灰色	施釉	施釉	
2174	239		土師器	皿	2④⑤SK03畦除去時	2/8	粗砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2175	239		土師器	皿	2④⑤SK03畦除去時	1/8	粗砂多量	2.5Y8/2灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後板圧痕	
2176	239	110	土師器	坏	2④⑤SK03 No.1	6/8	粗砂多量	5YR7/4にぶい橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2177	239		土師器	坏	2④⑤SK03Tr.	1/8	粗砂多量	10YR8/2灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
2178	239		土師器	坏	2④⑤SK03③	1/8	中砂少量	10YR8/3浅黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2179	239	110	土師器	坏	2④⑤SK03 No.3	3/8	粗砂含	5YR7/6橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転板ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2180	239	110	土師器	坏	2④⑤SK03畦除去時	2/8	粗砂含	2.5Y8/2灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2181	239		土師器	擂鉢	2④⑤SK01Tr.	1/8	細礫含	10YR8/2灰白色	板ﾅﾃﾞ	不明	
2182	239	111	土師器	鍋	2④⑤SK03 No.2	3/8	粗砂含	10YR2/2黒褐色	口～胴ﾖｺﾅﾃﾞ，底ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕，底格子ﾀﾀｷ	
2183	239		土師器	釜	2④⑤SK03②	1/8	粗砂含	2.5Y8/2灰白色	不明	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕後ﾅﾃﾞ	
2186	246		弥生土器	鉢	2④⑤C20 SP057	3/8	長石・石英粗砂多量	2.5YR6/6橙色	ﾊｹﾒ	不明	
2187	246	111	土師器	坏	2④⑤C20 SP057 No.2(S)	8/8	中砂多量	10YR8/4浅黄橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底板目圧痕	
2188	246	111	土師器	坏	2④⑤C20 SP057 No.1(N)	8/8	細砂含	2.5Y8/2灰白色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底ﾍﾗｷﾘ	
2189	246	111	土師器	鍋	2④⑤C20 SP057	8/8	粗砂多量	5YR8/3淡橙色～7.5YR3/2黒褐色	ﾖｺﾅﾃﾞ，ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ，格子ﾀﾀｷ	
2190	247		土師器	不明	1①D15SD03	1/8	粗砂多量	7.5YR8/3浅黄橙色	不明	不明	
2191	247		土師器	椀	1①D15SD03	3/8	中砂少量	2.5YR6/6橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2192	247		黒色土器A類	椀	1①D15SD03	2/8	細砂多量	2.5YR7/4淡赤橙色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	回転ﾅﾃﾞ	
2193	247		陶器	灰釉皿	1①D15SD03	1/8	細砂含	7.5Y4/3暗オリーブ色	施釉	底無釉	

第79表　土器観察表(65)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
2194	249		弥生土器	壺	2①C16 第5面SR01 北区 32層	1/8	長石・石英粗砂多量	10YR8/3 浅黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	
2195	249		土師器	皿	2①C16 SD01 最上層	4/8	粗砂多量	2.5Y8/3 淡黄色	回転ﾅﾃﾞ	底回転ﾍﾗｷﾘ	
2196	249		土師器	皿	2①C16 SD01 灰褐色ｼﾙﾄ層	1/8	粗砂少量	7.5YR7/6 橙色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ	
2197	249	111	土師器	甑	2①C16 SD01 最上層	1/8	粗砂含	2.5YR5/8 明赤褐色	指頭痕	不明	
2198	249	111	須恵器	坏	2①C16 SD01 灰褐色ｼﾙﾄ層	6/8	粗砂多量	5PB5/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ，下半ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
2199	249		須恵器	坏	2①C16 SD01 灰褐色ｼﾙﾄ層	4/8	粗砂含	2.5GY6/1 ｵﾘｰﾌﾞ灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	
2200	249		須恵器	坏	2①C16 SD01 灰褐色ｼﾙﾄ層	3/8	砂粒含まず	N4/0 灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2201	249		須恵器	高台付坏	2①C16 SD01 灰褐色ｼﾙﾄ層	1/8	粗砂少量	5PB6/1 青灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ	
2202	249		黒色土器A類	椀	1②SD01 ③ 1層	7/8	粗砂少量	2.5Y8/2 灰白色	不明	不明	
2203	249	111	瓦器	椀	2①SD01 西半部90～110cm 木杭のそば同ﾚﾍﾞﾙ 青灰色粘質ｼﾙﾄ	2/8	砂粒含まず	N4/0 灰色	ﾍﾗﾐｶﾞｷ，ﾖｺﾅﾃﾞ	指頭痕，ﾖｺﾅﾃﾞ	
2204	249		瓦器	椀	1②SD01 ② 上層	1/8	細砂含	N4/0 灰色	ﾖｺﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	
2205	249	116	緑釉陶器	皿	2①C16 SD01 最上層	1/8	細砂少量	7.5Y5/3 灰オリーブ色	施釉	施釉	硬陶
2206	249	116	緑釉陶器		2①C16 SD01 最上層	1/8	細砂含	7.5Y2/2 オリーブ黒色	施釉	施釉	硬陶
2207	249	117	灰釉陶器	皿	2①C16 SD01 灰褐色ｼﾙﾄ層	1/8	砂粒含まず	7.5Y8/1 灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	
2208	249	117	灰釉陶器	皿	2①C16 SD01 最上層	1/8	砂粒含まず	7.5Y7/1 灰白色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	2207と同一個体か
2209	249	122	中国産白磁	椀	2①C16 SD01 最上層	2/8	砂粒含まず	7.5Y7/1 灰白色	施釉	底無釉	
2210	249		土錘		2①C16 SD01 最上層	8/8	細砂含	7.5YR7/3 にぶい橙色	不明	不明	
2220	252		土師器	擂鉢	2④⑤SD01	1/8	粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ	不明	
2221	252	111	瓦質土器	擂鉢	2④⑤SD01	1/8	粗砂含	N6/0 灰色	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	
2222	252		土師器	擂鉢	2④⑤SD01	1/8	粗砂多量	10YR6/4 にぶい黄橙色～2.5Y8/1 灰白色	不明	指頭痕	
2223	252		土師器	擂鉢	2④⑤SD01	1/8	粗砂多量	2.5Y4/3 ｵﾘｰﾌﾞ褐色	不明	不明	
2224	252		土師器	擂鉢	2④⑤SD01	2/8	粗砂含	2.5Y7/2 灰黄色	ﾅﾃﾞ	不明	
2225	252		土師器	鍋	2④⑤SD01 畦西	*	粗砂多量	2.5Y8/2 灰白色	不明	不明	
2226	252		土師器	甕	2④⑤SD01 畦東	1/8	粗砂多量	2.5Y7/3 浅黄色	ﾊｹﾒ	不明	
2227	252	119	中国産青磁	椀	2④⑤SD01	1/8	砂粒含まず	2.5GY4/1 暗オリーブ灰色	施釉	施釉	
2230	253		弥生土器	壺	2④⑤SD14 西(畦より)	2/8	長石・石英粗砂多量	5YR6/6 橙色	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，頸ﾊｹﾒ	口縁ﾀﾀｷﾒ，頸ﾊｹﾒ	
2231	253		土師器	焙烙	2④⑤SD02	1/8	中砂含	2.5Y7/3 浅黄色	ﾊｹﾒ	口縁ﾖｺﾅﾃﾞ，胴指頭痕	
2234	261	121	中国産白磁	椀	2④⑤D21 SK13	1/8	砂粒含まず	2.5GY7/1 明オリーブ灰色	施釉	施釉	

第80表　土器観察表(66)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺構名	残存率	胎　土	色　調	内面調整	外面調整	備考
2235	262		土師器	甕	2④⑤SK18	2/8	粗砂多量	7.5YR8/4浅黄橙色	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷﾒ後ﾅﾃﾞ	
2236	264		弥生土器	ﾐﾆﾁｭｱ鉢	2④⑤遺構検出時	8/8	長石・石英粗砂多量	10YR7/6明黄褐色	不明	不明	
2237	264	111	弥生土器	鉢	2④⑤不明	5/8	長石・石英粗砂多量	10R5/8赤色	板ﾅﾃﾞ	不明	
2238	264	111	須恵器	坏	2⑤表土剝ぎ	4/8	粗砂含	N5/0灰色	回転ﾅﾃﾞ	回転ﾅﾃﾞ，底回転ﾍﾗｷﾘ後ﾅﾃﾞ	
2239	264		中国産青磁	椀	2④⑤駐車場下	1/8	砂粒含まず	10Y5/2オリーブ灰色	施釉	施釉	
2240	264	120	中国産青磁	盤	2④⑤駐車場下	1/8	砂粒含まず	7.5Y4/3暗オリーブ色	施釉	施釉	
2241	264		中国産白磁	椀	2④⑤SH08③	1/8	砂粒含まず	10Y7/1灰白色	施釉	底回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ，底無釉	
2242	264	120	中国産青磁	香炉	2④⑤C20北側拡張部分ｶﾞﾘｶｹ	1/8	砂粒含まず	10GY7/1明緑灰色	施釉	施釉	
2243	264	120	中国産青磁	壺	2④⑤C20北側拡張部分ｶﾞﾘｶｹ	3/8	砂粒含まず	10Y5/2オリーブ灰色	一部施釉	施釉	
2250	233	111	弥生土器	鉢	不明	7/8	長石・石英粗砂含	2.5YR5/8明赤褐色	ﾊｹﾒ	不明	

第81表　土器観察表(67)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺　構　名	重量	材　質	備　考
1	8	124	打製石器	翼状剥片	3①(2)南端2次SD01 弥生中期の溝	43.7	サヌカイト	
2	8	124	打製石器	翼状剥片	3②B28,C28 SR02流路3機械掘削	16.6	サヌカイト	
3	8	124	打製石器	二次加工ある石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	30.1	サヌカイト	
4	8	124	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01　灰黒色粘質層	34.6	サヌカイト	
5	8	124	打製石器	二次加工ある石器	3①(1) SK03	71.9	サヌカイト	
6	8	124	打製石器	二次加工ある石器	3②B28　Ⅱ6(水田耕作土)	17.6	サヌカイト	
7	8	125	打製石器	スクレイパー	3②B29 Ⅲ1	11.4	サヌカイト	
8	8	125	打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生後期下層，3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	37.5	サヌカイト	
9	8	125	打製石器	スクレイパー	3①(1) SK03	29.7	サヌカイト	
10	9	125	打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	20.2	サヌカイト	
11	9	125	打製石器	スクレイパー	3②SR01溜り1(畦畔1　2Tr.②対応)	38.0	サヌカイト	
12	9	125	打製石器	スクレイパー	3①(1)ｶﾞﾘｶｹ 壁落とし	27.4	サヌカイト	
13	9	125	打製石器	スクレイパー	3②SX	72.4	サヌカイト	
14	9	125	打製石器	スクレイパー	3②一括 Ⅲ1	31.6	サヌカイト	
15	9	125	打製石器	スクレイパー	3②畦畔1 Ⅲ4	4.8	サヌカイト	
16	9	125	打製石器	スクレイパー	3②畦畔1一括	10.6	サヌカイト	
17	9	126	打製石器	スクレイパー	3②C28 SR02流路3 ⑪	39.7	サヌカイト	
18	9	126	打製石器	スクレイパー	3②1Tr.深掘Tr.　Ⅳ1 砂層	38.6	サヌカイト	ﾛｰﾘﾝｸﾞを受けている
19	9	127	打製石器	楔形石器	3②B28(大畦付近) Ⅱ6(水田耕作土) Ⅲ1	3.7	サヌカイト	
20	9	127	打製石器	楔形石器	3②B28畦畔1西水田面ｶﾞﾘｶｹ Ⅱ⑥	13.8	サヌカイト	
21	10	127	打製石器	楔形石器	3②畦畔2②	11.7	サヌカイト	
22	10	127	打製石器	楔形石器か	3②畦畔2(西半)	17.6	サヌカイト	
23	10	127	打製石器	楔形石器	3②畦畔1(⑦上面対応)	17.3	サヌカイト	
24	10	127	打製石器	楔形石器	3②畦畔1(⑦上面対応)	17.2	サヌカイト	
25	10	127	打製石器	二次加工ある石器	3①(3) C・D26区 第4層	16.5	サヌカイト	
26	10	127	打製石器	楔形石器	3①(3) C・D26区 第4・5層	21.1	サヌカイト	
27	10	127	打製石器	楔形石器	3②C28 Ⅱ2	23.6	サヌカイト	
28	10	127	打製石器	楔形石器	3②仮設道除去	35.1	サヌカイト	
29	10	127	打製石器	楔形石器	3①(2)南端2次SD01　灰黒色粘質層	87.3	サヌカイト	
30	10	134	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	3.1	サヌカイト	
31	10	134	打製石器	二次加工ある石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期後半の溝　第1層粘質土	19.2	サヌカイト	
32	10	134	打製石器	二次加工ある石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	24.1	サヌカイト	
33	10	134	打製石器	二次加工ある石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	40.8	サヌカイト	
34	10	124	打製石器	翼状剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	10.4	サヌカイト	
35	11	124	打製石器	翼状剥片	3①(1) SK02　南端二次Ⅰ－①	63.4	サヌカイト	
36	11	124	打製石器	翼状剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	13.2	サヌカイト	
37	11	124	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD02　灰黒色粘質層	10.5	サヌカイト	
38	11	128	打製石器	横長剥片	3②C28 SR02流路3 砂混り淡黒色ｼﾙﾄ	39.1	サヌカイト	
39	11	128	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	43.8	サヌカイト	
40	11	128	打製石器	横長剥片	3②SR01溜り1一括	21.3	サヌカイト	
41	11	128	打製石器	横長剥片	3②SR01溜り1Ⅲ4(4Tr.)	23.2	サヌカイト	
42	11	128	打製石器	横長剥片	3②B28 Ⅱ5	9.3	サヌカイト	
43	11	128	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	53.2	サヌカイト	
44	11	128	打製石器	横長剥片	3①(2) SD01弥生中期の溝	39.5	サヌカイト	
45	12	128	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	67.5	サヌカイト	
46	12	128	打製石器	横長剥片	3①(2) SD01弥生中期の溝	3.1	サヌカイト	
47	12	128	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	5.9	サヌカイト	
48	12	129	打製石器	打面調整剥片	3①(2) SD01弥生中期の溝	5.7	サヌカイト	
49	12	129	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	7.3	サヌカイト	
50	12	129	打製石器	横長剥片	3①(3) C・D26区 SX03	15.8	サヌカイト	
51	12	129	打製石器	横長剥片	3②B28 SR01溜り1 Ⅲ2	11.9	サヌカイト	
52	12	129	打製石器	横長剥片	3①(3) C・D26区 第3・4・5層	6.8	サヌカイト	
53	12	129	打製石器	横長剥片	3②一括	9.4	サヌカイト	
54	12	129	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	12.4	サヌカイト	

第82表　石器観察表(1)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺　構　名	重量	材　質	備　考
55	12	129	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	11.8	サヌカイト	
56	12	129	打製石器	横長剥片	3①(3) C・D26区 第4層	12.6	サヌカイト	
57	12	129	打製石器	横長剥片	3①(3) C・D26区 第4層	12.5	サヌカイト	
58	12	130	打製石器	横長剥片	3②畦畔2②	14.4	サヌカイト	
59	12	130	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	11.6	サヌカイト	
60	12	130	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	11.9	サヌカイト	
61	13	130	打製石器	横長剥片	3②B28 SR01溜り2淡黒色粘土	17.9	サヌカイト	
62	13	130	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	26.2	サヌカイト	
63	13	130	打製石器	作業面再生剥片	3②B28 Ⅱ⑥	29.4	サヌカイト	
64	13	130	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生後期の溝(中層)	114.8	サヌカイト	
65	13	131	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝, 3①(2)ｶﾞﾘｶｹ(家の北側)	21.8	サヌカイト	
66	13	131	打製石器	縦長剥片	3②B28ｶﾞﾘｶｹ一括	38.8	サヌカイト	
67	13	131	打製石器	縦長剥片	3②B28 Ⅱ6(水田耕作土)	6.4	サヌカイト	
68	13	131	打製石器	縦長剥片	3①(3) C・D26区 第3・4・5層	7.2	サヌカイト	
69	13	131	打製石器	縦長剥片	3②C28 Ⅲ-1一括	6.1	サヌカイト	
70	13	131	打製石器	縦長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	5.9	サヌカイト	
71	13	131	打製石器	縦長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	20.0	サヌカイト	
72	14	131	打製石器	横長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	92.5	サヌカイト	
73	14	132	打製石器	横長石核	3②一括	13.4	サヌカイト	
74	14	132	打製石器	横長剥片石核	3①(3) C・D26区 第3・4・5層	56.6	サヌカイト	
75	14	132	打製石器	横長剥片石核	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	126.2	サヌカイト	
76	14	132	打製石器	横長剥片石核	3①(2)南端2次SD01弥生中期後半の溝 第1層粘質土, 3②C28 SR02流路3砂混り淡黒色ｼﾙﾄ	142.5	サヌカイト	
77	14	132	打製石器	並列多方向剥離石核	3①(2)南端2次弥生の落ち 中期	71.4	サヌカイト	
78	15	132	打製石器	横長剥片石核	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	96.9	サヌカイト	
79	15	132	打製石器	横長剥片石核	3②B28 Ⅱ⑥	88.8	サヌカイト	
80	15	132	打製石器	円盤状石核	3②C28 SR02流路3⑪	147.3	サヌカイト	
81	15	132	打製石器	円盤状石核	3②C28 SR02流路3⑪	255.8	サヌカイト	
82	15	133	打製石器	縦長剥片石核	3②C28一括 Ⅲ1	22.0	サヌカイト	
83	15	133	打製石器	石核	3①(3) C・D26区 第3・4・5層	27.1	サヌカイト	
84	16	133	打製石器	石核	3②B28(大畦付近) Ⅱ6(水田耕作土) Ⅲ1	80.3	サヌカイト	
85	16	134	打製石器	細石刃核	3②畦畔2(西半)	3.0	サヌカイト	
86	16	134	打製石器	使用痕ある石器	3②SR02流路2上面2Tr.	58.6	サヌカイト	
87	16	133	打製石器	敲打痕ある石器	3②C28 Ⅲ1	62.9	サヌカイト	
88	16	133	打製石器	敲打痕ある石器	3②B28畦畔1西水田面ｶﾞﾘｶｹ Ⅱ⑥	106.0	サヌカイト	
89	16	133	打製石器	楔形石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	497.0	サヌカイト	
90	16	126	打製石器	スクレイパー	2③南Gr.SR02②3層	13.4	サヌカイト	
91	17	126	打製石器	スクレイパー	2①C16第5面SR01北区⑲茶灰色粘質ｼﾙﾄ21茶灰色粘質ｼﾙﾄ	9.7	サヌカイト	
92	17	126	打製石器	スクレイパー	2④⑤SH08畦(南北)はずし	16.5	サヌカイト	
93	17	126	打製石器	スクレイパー	2②南 東Tr. ⑮層以下	24.4	サヌカイト	
94	17	126	打製石器	スクレイパー	2①C17南側側溝拡張掘り下げ	37.1	サヌカイト	
95	17	126	打製石器	スクレイパー	2①C17 SD01 東側側溝 青灰色粘土	37.2	サヌカイト	
96	17	126	打製石器	スクレイパー	2③南Gr.SR02③2層	92.6	サヌカイト	
97	17	127	打製石器	楔形石器	1②SD01 ② 下層	15.1	サヌカイト	
98	17	127	打製石器	楔形石器	1①D15SR01 7b	26.1	サヌカイト	
99	17	134	打製石器	二次加工ある石器	1②南北Tr.	63.0	サヌカイト	
100	17	134	打製石器	ﾌﾞﾗﾝﾃｨﾝｸﾞﾁｯﾌﾟ	2①出土地不明	2.2	サヌカイト	
101	18	124	打製石器	翼状剥片	2①C17第4面掘り下げ(機械) 覆土洪水砂層及びその上層	8.5	サヌカイト	
102	18	124	打製石器	翼状剥片	1②SD01 ② 上層	36.6	サヌカイト	ﾛｰﾘﾝｸﾞを受けている
103	18	130	打製石器	横長剥片	2④⑤SH04畦2⑦層(断面図)	5.8	サヌカイト	
104	18	130	打製石器	打面調整剥片	2②北 人力4層	7.9	サヌカイト	
105	18	130	打製石器	横長剥片	2②北 人力6層	10.9	サヌカイト	
106	18	130	打製石器	横長剥片	2①C17第5面SR01中区底面付近粗砂層	7.9	サヌカイト	

第83表　石器観察表(2)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺　構　名	重量	材　質	備　考
107	18	130	打製石器	横長剥片	2④⑤地山	9.6	サヌカイト	
108	18	130	打製石器	横長剥片	1①SR01 6・7	19.9	サヌカイト	
109	18		打製石器	縦長剥片	1②東西畦 ①～③層	3.0	サヌカイト	
110	18	131	打製石器	縦長剥片	2③南機械ｶﾞﾘｶｹ 1層	14.0	サヌカイト	ややﾛｰﾘﾝｸﾞを受けている
111	18	131	打製石器	縦長剥片	2④⑤北壁清掃，2④⑤北部落込　灰ｼﾙﾄ(最下層) 8.5mFe沈	66.8	サヌカイト	
112	18	133	打製石器	縦長剥片石核	1③Tr.	23.8	サヌカイト	
113	19	133	打製石器	縦長剥片石核	1②南北Tr.	226.7	サヌカイト	
125	22	135	打製石器	石鏃	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	2.0	サヌカイト	
126	22	136	打製石器	石錐	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	2.7	サヌカイト	
127	22		打製石器	楔形石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	25.0	サヌカイト	
128	22		打製石器	楔形石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	18.1	サヌカイト	
129	22		打製石器	楔形石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	5.6	サヌカイト	
130	22		打製石器	楔形石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	41.8	サヌカイト	
131	22	135	打製石器	石匙	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	12.0	サヌカイト	
132	22		打製石器	石庖丁	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	59.3	サヌカイト	
133	22		打製石器	石庖丁	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	17.8	サヌカイト	
134	22		打製石器	石庖丁	3①(2)南端2次SD01弥生中期後半の溝 第1層粘質土	43.6	サヌカイト	
135	23		打製石器	石庖丁	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	7.7	サヌカイト	
136	23	142	打製石器	石庖丁	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	16.6	サヌカイト	
137	23	142	打製石器	石庖丁	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	53.5	サヌカイト	
138	23	142	打製石器	石庖丁	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	73.1	サヌカイト	使用痕
139	23		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	14.4	サヌカイト	
140	23		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	13.1	サヌカイト	
141	23		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	10.8	サヌカイト	
142	23		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	17.3	サヌカイト	
143	23		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期後半の溝 第1層粘質土	20.2	サヌカイト	
144	23		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	12.0	サヌカイト	
145	24		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	24.1	サヌカイト	
146	24		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	24.2	サヌカイト	
147	24		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期後半の溝 第1層粘質土	26.3	サヌカイト	
148	24		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	27.7	サヌカイト	
149	24		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期後半の溝 第1層粘質土	11.3	サヌカイト	
150	24		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	36.9	サヌカイト	
151	24		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	17.6	サヌカイト	
152	24		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	28.4	サヌカイト	
153	24		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	58.5	サヌカイト	
154	25		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	50.6	サヌカイト	
155	25		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	46.9	サヌカイト	
156	25		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	45.0	サヌカイト	
157	25		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	24.7	サヌカイト	
158	25		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	46.6	サヌカイト	
159	25		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次弥生の落ち 中期	84.0	サヌカイト	
160	26		打製石器	石斧	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	20.4	サヌカイト	
161	26		打製石器	石斧	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	39.5	サヌカイト	
162	26		打製石器	石斧	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	57.8	サヌカイト	
163	26		打製石器	石斧	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	46.4	サヌカイト	
164	26		打製石器	石斧	3①(2)南端2次SD01弥生中期 上層	109.4	サヌカイト	
165	26		打製石器	石斧	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	119.4	サヌカイト	
166	26		打製石器	石斧	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	81.1	サヌカイト	
167	27	154	打製石器	石斧	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	179.7	サヌカイト	

第84表　石器観察表(3)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺　構　名	重量	材　質	備　考
168	27	154	打製石器	石斧	3①(2)南端2次SD01弥生中期後半の溝 第1層粘質土	266.8	サヌカイト	
169	27		打製石器	石核	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	174.4	サヌカイト	
170	27		打製石器	調製痕ある剝片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	11.2	サヌカイト	
171	27		打製石器	調整痕ある剝片	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	7.7	サヌカイト	
172	28		打製石器	二次加工ある石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	58.5	サヌカイト	
173	28		打製石器	敲打痕ある石器	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	222.9	サヌカイト	
174	28	158	磨製石器	太型蛤刃石斧	3①(2)南端2次SD01弥生中期の溝	231.0	安山岩系の脈岩	
175	28		磨製石器	砥石	3①(2)南端2次SD01弥生中期後半の溝 第1層粘質土	197.2	安山岩	
176	28		磨製石器	不明	3①(2)南端2次SD01弥生中期 砂層	94.4	安山岩	
252	44		打製石器	石鏃	1①西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d層	2.6	サヌカイト	
253	44		打製石器	石鏃	1① 9層	0.6	サヌカイト	
254	44	135	打製石器	石鏃	1①弥生中期流路　9層	2.6	サヌカイト	
255	44		打製石器	石庖丁	1①西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d層	6.0	サヌカイト	
256	44		打製石器	石庖丁	1①C15SR01北肩9層	10.1	サヌカイト	
257	44		打製石器	石庖丁	1①弥生中期流路　9層	18.7	サヌカイト	
258	44	143	打製石器	石庖丁	1①西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d層	35.5	サヌカイト	
259	44	143	打製石器	石庖丁	1①東壁ﾄﾚﾝﾁ(機械)　9層	44.8	サヌカイト	使用痕，古い剝離面
260	44		打製石器	スクレイパー	1① 9層	36.2	サヌカイト	
261	44		打製石器	スクレイパー	1①東壁ﾄﾚﾝﾁ(機械) 9層	20.4	サヌカイト	
262	45		打製石器	スクレイパー	1① 9層	88.3	サヌカイト	
263	45		打製石器	スクレイパー	1①弥生中期流路　9層	7.2	サヌカイト	
264	45		打製石器	スクレイパー	1①弥生中期流路　9層	5.7	サヌカイト	
265	45		打製石器	スクレイパー	1①西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d層	11.9	サヌカイト	
266	45		打製石器	スクレイパー	1① 9層	29.1	サヌカイト	
267	45		打製石器	スクレイパー	1①西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b層	24.6	サヌカイト	
268	45		打製石器	スクレイパー	1① 9層	26.9	サヌカイト	
269	45		打製石器	スクレイパー	1① 9層	55.0	サヌカイト	
270	45		打製石器	スクレイパー	1① 9層	31.8	サヌカイト	
271	46		打製石器	スクレイパー	1①西壁ﾄﾚﾝﾁ 9d層	56.3	サヌカイト	
272	46		打製石器	スクレイパー	1①弥生中期流路　9層	70.3	サヌカイト	
273	46		打製石器	スクレイパー	1①西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b層	122.7	サヌカイト	
274	46		打製石器	スクレイパー	1① 9層	167.7	サヌカイト	
275	46	153	打製石器	スクレイパー	1① 9層	80.8	サヌカイト	
276	47		打製石器	石斧	1①西壁ﾄﾚﾝﾁ 9b層	95.8	サヌカイト	
277	47		打製石器	使用痕ある石器	1① 9層	55.6	サヌカイト	刃部摩滅痕
278	47		打製石器	原石	1①西壁ﾄﾚﾝﾁ 9c層	1367.6	サヌカイト	
279	47	160	磨製石器	勾玉状石製品	1①弥生中期流路　9層	4.3	滑石	
334	51		打製石器	石鏃	2①C17第5面SR01南区粗砂層	0.4	サヌカイト	
335	51		打製石器	石鏃	2①C17第5面SR01南区粗砂層	0.7	サヌカイト	
336	51		打製石器	石鏃	2①C17第5面SR01南区粗砂層	1.7	サヌカイト	
337	51	135	打製石器	石鏃	2①C17第5面SR01中区底面付近粗砂層	3.1	サヌカイト	
338	51	140	打製石器	石槍	2①B17 SK02 茶褐色粘土	71.5	サヌカイト	
339	51	136	打製石器	石錐	2①C17第5面SR01南区粗砂層	6.0	サヌカイト	
340	51	143	打製石器	石庖丁	2①C17第5面SR01中区粗砂層(手掘り)	22.6	サヌカイト	
341	51	144	打製石器	石庖丁	2①C16西側Tr. 西壁壁切り中(SR02)	19.3	サヌカイト	
342	52		打製石器	石庖丁	2①C17第5面SR01中区底面付近粗砂層	25.7	サヌカイト	
343	52		打製石器	石庖丁	2①C17第5面SR01中区底面付近粗砂層	33.5	サヌカイト	古い剝離面
344	52	143	打製石器	石庖丁	2①C17第5面SR01南区粗砂層	42.7	サヌカイト	
345	52		打製石器	石庖丁	2①B17 SK02 茶褐色粘土	45.0	サヌカイト	
346	52	144	打製石器	石庖丁	2①C17西側Tr. 西壁壁切り中(SR02)	34.0	サヌカイト	
347	52	143	打製石器	石庖丁	2①C16 第5面SR01 北区 39層 灰白色細礫混じり粗砂層	73.6	サヌカイト	使用痕
348	52	143	打製石器	石庖丁	2①C17第5面SR01南区粗砂層	35.9	サヌカイト	

第85表　石器観察表(4)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺　構　名	重量	材　質	備　考
349	53		打製石器	スクレイパー	2①C17 第5面 SR01 南区粗砂層	72.7	サヌカイト	
350	53		打製石器	スクレイパー	2①C17 第5面 SR01 南区粗砂層	11.4	サヌカイト	
351	53		打製石器	スクレイパー	2①C17 第5面 SR01 南区粗砂層	28.4	サヌカイト	
352	53		打製石器	スクレイパー	2①C17 第5面 SR01 南区粗砂層	57.9	サヌカイト	
353	53		打製石器	スクレイパー	2①C17 第5面 SR01 南区粗砂層	36.0	サヌカイト	
354	53	155	打製石器	石斧	2①C17 第5面 SR01 中区粗砂層(手掘り)	66.8	サヌカイト	
355	53		打製石器	摩滅痕ある石器	2①C17 第5面 SR01 中区底面付近粗砂層	15.7	サヌカイト	
395	56		打製石器	ﾅｲﾌ形石器	3②C28 SR02 流路3 ⑪	25.7	サヌカイト	
396	56	145	打製石器	石庖丁	3②C28 SR02 流路3 ⑪	40.5	サヌカイト	
397	56	145	打製石器	石庖丁	3②C28 SR02 流路3 ⑪	42.0	サヌカイト	全体に摩滅
398	56	145	打製石器	石庖丁	3②B28,C28 SR02 流路3 ⑩粗砂混じり暗灰褐色シルト	26.3	サヌカイト	風化の程度に違い
399	57	145	打製石器	石庖丁	3②C28 SR02 流路3 ⑩	51.7	サヌカイト	
400	57	145	打製石器	石庖丁	3②C28 SR02 流路3 ⑩	43.5	サヌカイト	
401	57	138	打製石器	石槍	3②C28 SR02 流路3 ⑪	64.9	サヌカイト	
402	57		打製石器	石核	3②C28 SR02 流路3 ⑨	189.6	サヌカイト	
403	57		打製石器	摩滅痕ある石器	3②C28 SR02 流路3 ⑪	200.5	サヌカイト	
404	58	158	磨製石器	太型蛤刃石斧	3②C28 SR02 流路3 ⑩	341.6	安山岩系の脈岩	
405	58	157	磨製石器	扁平片刃石斧	3②B28,C28 SR02 流路3 ⑩粗砂混じり暗灰褐色シルト	91.5	流紋岩	
406	58		打製石器	摩滅痕ある石器	3②C28 SR02 流路3 ⑩	89.1	砂岩	
407	58		磨製石器	砥石	3②C28 SR02 流路3 ⑪	591.3	砂岩	
419	59		打製石器	石鏃	2④⑤SH01Tr. 北	1.3	サヌカイト	
420	59		打製石器	石鏃	2④⑤SH01Tr. 北	0.6	サヌカイト	
421	59		打製石器	石鏃	2④⑤SH01 ｶﾞﾘｶｹ	3.2	サヌカイト	
422	59	136	打製石器	石錐	2④⑤SH01 ｶﾞﾘｶｹ	0.3	サヌカイト	
423	59		打製石器	横長剥片	2④⑤SH01Tr. 北	46.1	サヌカイト	
441	61		打製石器	石鏃	2④⑤SH02④壁溝	0.2	サヌカイト	
442	61		打製石器	石鏃	2④⑤SH02	0.6	サヌカイト	
443	61		打製石器	石鏃	2④⑤SH02④1層	1.3	サヌカイト	
444	61		打製石器	石鏃	2④⑤SH02(Tr.1)	0.7	サヌカイト	未製品
445	61		打製石器	石鏃	2④⑤SH02②中央落2層	0.8	サヌカイト	
446	61		打製石器	石鏃	2④⑤SH02畦1 2層	0.6	サヌカイト	
447	61		打製石器	石鏃	2④⑤SH02畦3 2層	1.4	サヌカイト	
448	61	138	打製石器	石槍	2④⑤SH02(4)	12.9	サヌカイト	
449	61	136	打製石器	石錐	2④⑤SH02(1)	1.9	サヌカイト	
450	61		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH02(4)	29.9	サヌカイト	
451	61		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH02②壁溝	60.0	サヌカイト	
452	61		打製石器	横長剥片	2④⑤SH02(Tr.1)	18.7	サヌカイト	
453	62	158	磨製石器	太型蛤刃石斧	2④⑤SH02②1層	16.0	安山岩系の脈岩	
454	62			敲き石	2④⑤SH02 No.2 第1層	725.6	砂岩	
506	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04Tr.4	1.9	サヌカイト	
507	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04④3層	1.7	サヌカイト	
508	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04①3層	3.0	サヌカイト	
509	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04①1層	0.9	サヌカイト	
510	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04Tr.4	0.8	サヌカイト	
511	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04④3層	0.5	サヌカイト	
512	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04②2層	1.1	サヌカイト	
513	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04②	2.4	サヌカイト	
514	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04③3層	1.1	サヌカイト	
515	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04③3層	0.2	サヌカイト	
516	66		打製石器	石鏃	2④⑤SH04①3層	1.4	サヌカイト	
517	66	146	打製石器	石庖丁	2④⑤SH04③2層茶灰土	34.5	サヌカイト	
518	66		打製石器	石庖丁	2④⑤SH04 SD13Tr.	11.4	サヌカイト	
519	66		打製石器	石庖丁	2④⑤SH04④3層	6.6	サヌカイト	

第86表　石器観察表(5)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺　構　名	重量	材　質	備　考
520	66		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH04	24.0	サヌカイト	
521	66		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH04①2層	9.7	サヌカイト	
522	66		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH04④2層茶灰土	21.8	サヌカイト	
523	66		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH04 ③ 1層黒色土	27.0	サヌカイト	
524	66		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH04 ④ ②層	26.2	サヌカイト	
525	66		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH04ｶﾞﾘｶｹ	21.3	サヌカイト	
526	67		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH04畦1②層	42.2	サヌカイト	
527	67		打製石器	石斧	2④⑤SH04①ｶﾞﾘｶｹ	45.6	サヌカイト	
528	67		打製石器	石斧	2④⑤SH04④ No.28 3層	67.9	サヌカイト	
529	67		磨製石器	石皿	2④⑤SH04 No.24 第2層	1138.6	安山岩	
547	69		打製石器	石鏃	2④⑤SH05③2層	0.9	サヌカイト	
548	69		打製石器	石鏃	2④⑤SH05④2層	1.1	サヌカイト	
549	69		打製石器	石鏃	2④⑤SH05①2層	1.5	サヌカイト	
550	69		打製石器	石鏃	2④⑤SH05③床面ｶﾞﾘｶｹ	1.2	サヌカイト	
551	69		打製石器	石鏃	2④⑤SH05 2層	0.5	サヌカイト	
552	69		打製石器	石鏃	2④⑤SH05③2層	1.0	サヌカイト	
553	69		打製石器	石鏃	2④⑤SH05④2層	1.0	サヌカイト	
554	69	136	打製石器	石錐	2④⑤SH05 (2) 第1層	6.7	サヌカイト	使用痕
555	69	136	打製石器	石錐	2④⑤SH05②2層	3.0	サヌカイト	
556	69		打製石器	石庖丁	2④⑤SH05畦2②層	7.9	サヌカイト	
557	69		打製石器	石庖丁	2④⑤SH05畦2②層	20.9	サヌカイト	
558	69	146	打製石器	石庖丁	2④⑤SH05 ③ 1層黒色	52.7	サヌカイト	
559	69		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH05③2層	8.8	サヌカイト	
560	69		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH05③2層	20.3	サヌカイト	使用痕
561	69		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH05畦3壁溝	19.1	サヌカイト	
562	69		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH05畦2②層	22.3	サヌカイト	
563	69		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH05畦2②層	18.9	サヌカイト	
564	69		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH05③2層	57.2	サヌカイト	
565	69	157	磨製石器	柱状片刃石斧	2④⑤SH05①2層	84.0	片岩	
573	71		打製石器	石鏃	2④⑤SH06 Ⅲ区 D-6	0.5	サヌカイト	
574	71		打製石器	石錐	2④⑤SH06 Ⅰ区	1.0	サヌカイト	
575	71		打製石器	石鏃	2④⑤SH06 Ⅲ区	6.9	サヌカイト	
576	71	136	打製石器	石錐	2④⑤SH06 Ⅱ区(側溝)	2.4	サヌカイト	
577	71		打製石器	石庖丁	2④⑤SH07内D10 Ⅰ区	37.4	サヌカイト	
578	71		打製石器	スクレイパー	2④⑤SH06 P7埋土	25.1	サヌカイト	
587	74		打製石器	石鏃	2④⑤SH08③	0.6	サヌカイト	
588	74		打製石器	石鏃	2④⑤SH08拡区SH08(SH09外)	0.8	サヌカイト	
589	74		打製石器	石鏃	2④⑤SH08③	0.5	サヌカイト	
590	74		打製石器	石鏃	2④⑤SH08炉跡	0.4	サヌカイト	
591	74		打製石器	石槍？	2④⑤SH08貼床	12.5	サヌカイト	
592	74	146	打製石器	石庖丁	2④⑤SH08 SD02①	22.7	サヌカイト	
595	75	136	打製石器	石錐	2④⑤SH10②	3.1	サヌカイト	
596	75		打製石器	石庖丁	2④⑤SH10炉③	25.9	サヌカイト	
597	75	146	打製石器	石庖丁	2④⑤SH10①(Tr.内)	24.2	サヌカイト	
598	75			砥石	2④⑤SH10 SP008	110.6	片岩	
601	77		打製石器	石鏃	2④⑤SB05③ C21 SP414	1.4	サヌカイト	
603	79	157	磨製石器	扁平片刃石斧	2④⑤SK26	18.8	流紋岩	
606	80	147	打製石器	石庖丁	2④⑤SK24	40.0	サヌカイト	使用痕
607	80	159	磨製石器	太型蛤刃石斧	2④⑤SK24②	721.9	安山岩系の脈岩	敲打痕
612	83		打製石器	二次加工ある剥片	3②SK02	369.8	サヌカイト	
613	83	157	磨製石器	扁平片刃石斧	3②SK01	6.1	緑泥片岩	
727	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03④ ②層	0.2	サヌカイト	
728	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03④ ②層	0.5	サヌカイト	
729	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03(SD07と分岐部分)第2層	0.5	サヌカイト	
730	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03Tr.5 2層	1.6	サヌカイト	

第87表　石器観察表(6)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺　構　名	重量	材　質	備　考
731	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03②南部分 第2層	1.2	サヌカイト	
732	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03④ ②層	2.3	サヌカイト	
733	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03畦3 3層	2.5	サヌカイト	
734	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03①第2層	1.9	サヌカイト	
735	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03②中央 ①層	1.7	サヌカイト	
736	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03②南部分 第2層	1.2	サヌカイト	
737	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03①南 ②層	0.9	サヌカイト	
738	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03畦1 1層	1.7	サヌカイト	
739	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03（SD07と分岐部分）第2層	1.0	サヌカイト	
740	90		打製石器	石鏃	2④⑤SD03（SD07との分岐部分）第2層	3.4	サヌカイト	
741	90	135	打製石器	有舌尖頭器	2④⑤SD03①	18.3	サヌカイト	
742	90	136	打製石器	石錐	2④⑤SD03①南 ①②層	0.9	サヌカイト	
743	90	136	打製石器	石錐	2④⑤SD03②北部分 第3層	2.0	サヌカイト	
744	90	136	打製石器	石錐	2④⑤SD03③ ②層	3.3	サヌカイト	
745	90	136	打製石器	石錐	2④⑤SD03② ①層	5.6	サヌカイト	
746	90		打製石器	石庖丁	2④⑤SD03②南側 第2,3層	3.1	サヌカイト	
747	90		打製石器	石庖丁	2④⑤SD03②	3.9	サヌカイト	
748	90		打製石器	石庖丁	2④⑤SD03①北 ②層	15.2	サヌカイト	
749	90	142	打製石器	石庖丁	2④⑤SD03④ ②層	19.0	サヌカイト	
750	90	142	打製石器	石庖丁	2④⑤SD03④ ②層	28.0	サヌカイト	使用痕
751	90		打製石器	スクレイパー	2④⑤SD03（SD07との分岐部分）第2層	12.1	サヌカイト	
752	90		打製石器	スクレイパー	2④⑤SD03（①）②層	15.2	サヌカイト	
753	91		打製石器	スクレイパー	2④⑤SD03②南部分 第2層	18.8	サヌカイト	
754	91		打製石器	楔形石器	2④⑤SD03③の南 ②層	6.8	サヌカイト	
755	91		打製石器	楔形石器	2④⑤SD03④	26.6	サヌカイト	
756	91		打製石器	横長剥片	2④⑤SD03Tr.2	23.0	サヌカイト	
757	91	160		石錘	2④⑤SD03②南部分 第2層	125.4	安山岩	
758	91		磨製石器	不明	2④⑤SD03②中央 第2層	2.7	砂岩	被熱
759	91		打製石器	敲打痕ある石器	2④⑤SD03P5 第1層	56.5	安山岩	
771	92		打製石器	楔形石器	2④⑤SD08西Tr.	9.7	サヌカイト	
811	95		打製石器	石鏃	2④⑤SD12①第2層	0.4	サヌカイト	
812	95		打製石器	石鏃	2④⑤SD12⑥	1.1	サヌカイト	
813	95		打製石器	石鏃	2④⑤SD12①1層	0.7	サヌカイト	
814	95		打製石器	石鏃	2④⑤SD12⑤第1層	1.6	サヌカイト	
815	95		打製石器	石庖丁	2④⑤SD12①黒色土	24.1	サヌカイト	
816	95		打製石器	スクレイパー	2④⑤SD12③（SH03中央より南）	8.4	サヌカイト	
817	95		打製石器	スクレイパー	2④⑤SD12①黒色土	23.2	サヌカイト	
818	95		打製石器	スクレイパー	2④⑤SD12④2層	111.3	サヌカイト	
819	95		打製石器	石斧	2④⑤拡張区 SD12Tr. 黒色土中心	92.3	サヌカイト	
820	95		打製石器	楔形石器	2④⑤SD12畦2 2層	13.6	サヌカイト	
843	97		打製石器	石鏃	3①(2)南端2次弥生後期の落ち 第1層	1.4	サヌカイト	
844	97		打製石器	石庖丁	3①(2)南端2次SD01弥生後期 上層	64.1	サヌカイト	
845	97		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01	29.1	サヌカイト	
846	97		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01 灰黒色粘質層	62.0	サヌカイト	
847	97		打製石器	スクレイパー	3①(2)南端2次SD01 灰黒色粘質層	119.5	サヌカイト	
848	97		打製石器	縦長剥片	3①(2)南端2次SD01弥生後期の溝（中層）	27.5	サヌカイト	
1019	111		打製石器	石鏃	1②SR01③上層	2.2	サヌカイト	
1020	111		打製石器	石鏃	1②南北Tr.	5.6	サヌカイト	
1021	111		打製石器	石鏃	1②SR01③ 下層	9.8	サヌカイト	
1022	111	139	打製石器	石槍	1②SR02 g層	6.5	サヌカイト	
1023	111	139	打製石器	石槍	1②SR02 g' 層	40.2	サヌカイト	
1024	112	139	打製石器	石槍	1②東西畦 ⑮層	33.1	サヌカイト	
1025	112	139	打製石器	石槍	1②SR02 g' 層	35.0	サヌカイト	
1026	112	137	打製石器	石錐	1②SR01② 下層	1.5	サヌカイト	
1027	112	137	打製石器	石錐	1③ 8層	3.4	サヌカイト	
1028	112	137	打製石器	石錐	1②SR01③ 上層	1.9	サヌカイト	

第88表　石器観察表(7)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺　構　名	重量	材　質	備　考
1029	112		打製石器	石庖丁	1②北東Gr.SR01Tr.	5.6	サヌカイト	
1030	112		打製石器	石庖丁	1②南東Gr. 南西隅Tr.	7.9	サヌカイト	
1031	112	148	打製石器	石庖丁	1②SR02 川底粗砂	13.1	サヌカイト	
1032	112		打製石器	石庖丁	1③ ⑥⑦層	21.5	サヌカイト	使用痕
1033	112		打製石器	石庖丁	1②南東Gr. 南西隅Tr.	19.0	サヌカイト	
1034	112	148	打製石器	石庖丁	1②北東Gr. 人力7層	40.9	サヌカイト	
1035	112		打製石器	石庖丁	1②北東Gr. 人力7層	29.1	サヌカイト	
1036	112	148	打製石器	石庖丁	1②南東Gr.Tr. 壁清掃	39.4	サヌカイト	
1037	112	149	打製石器	石庖丁	1②北東Gr. 人力7層	43.4	サヌカイト	
1038	113	149	打製石器	石庖丁	1②北Tr.	73.0	サヌカイト	
1039	113	149	打製石器	石庖丁	1②SR02 g層	66.0	サヌカイト	
1040	113	149	打製石器	石庖丁	1②北Tr.	65.5	サヌカイト	
1041	113		打製石器	石鏃	1②SR02 g' 層	31.9	サヌカイト	
1042	114		打製石器	スクレイパー	1②東西畦 ⑮層	33.3	サヌカイト	
1043	114		打製石器	スクレイパー	1②SR02 川底粗砂	42.9	サヌカイト	
1044	114		打製石器	スクレイパー	1②SR02 川底粗砂	24.8	サヌカイト	
1045	114		打製石器	スクレイパー	1②SR02 川底粗砂	86.4	サヌカイト	
1046	114		打製石器	スクレイパー	1②SR02 川底粗砂	110.7	サヌカイト	
1047	114		打製石器	スクレイパー	1②東西畦 ⑮層	91.0	サヌカイト	
1048	115	153	打製石器	スクレイパー	1②SR02 g層	88.4	サヌカイト	
1049	115	153	打製石器	スクレイパー	1②東西畦 ⑮層	99.3	サヌカイト	
1050	115	156	打製石器	石斧	1②北東Gr. 人力7層	188.0	サヌカイト	
1051	115	156	打製石器	石斧	1②北東Gr. 人力7層	156.6	サヌカイト	
1052	116		打製石器	楔形石器	1②SR02 川底粗砂	6.2	サヌカイト	
1053	116		打製石器	楔形石器	1②SR01③ 上層	9.4	サヌカイト	
1054	116		打製石器	楔形石器	1②SR02 g' 層	12.3	サヌカイト	
1055	116		打製石器	使用痕	1②SR02 g' 層	100.2	サヌカイト	
1056	116			石錘	1②SR02 g層	11.5	流紋岩	
1057	116			摩滅痕のある石器	1②西Gr.SR01 下層	83.4	緑泥片岩	
1058	116			砥石	1②東西畦 ⑥⑦層	163.8	頁石	
1059	116			砥石	1②北東Gr. 人力7層	350.8	砂岩	
1183	125	138	打製石器	石槍	1③東部拡区 黒茶ｼﾙﾄ	60.4	サヌカイト	
1184	125	135	打製石器	石匙	1③ 11層下部砂層	13.7	サヌカイト	
1185	125	148	打製石器	石庖丁	1③ 11層下部砂層	22.2	サヌカイト	
1186	126	148	打製石器	石庖丁	1③畦南 11層	18.7	サヌカイト	
1187	126		打製石器	スクレイパー	1③東部拡区 黒茶ｼﾙﾄ	106.6	サヌカイト	
1188	126		打製石器	楔形石器	1③ 11層下部砂層	5.4	サヌカイト	
1189	126		打製石器	摩滅痕	1③ 11層下部砂層	394.2	サヌカイト	
1190	126			砥石	1③ 11層下部砂層	48.7	砂岩	
1208	128	141	打製石器	石槍	2①C16 SR01 北区 ⑭灰色ｼﾙﾄ～⑯淡灰黄ｼﾙﾄ(洪水砂)	16.2	サヌカイト	
1209	128		打製石器	石斧	2①C16第5面SR01北区 22～26' 層黒褐色粘土層	36.5	サヌカイト	
1210	128	141	打製石器	石槍	2①B16,B17,C16,C17西側Tr.灰褐色粘質ｼﾙﾄ	47.4	サヌカイト	
1211	128	137	打製石器	石錐	2①C17南側側溝拡張掘り下げ	2.2	サヌカイト	
1212	128		打製石器	石庖丁	2①C17第4面掘り下げ(機械) 覆土洪水砂層及びその上層	18.4	サヌカイト	
1213	128		打製石器	石庖丁	2①C17第3面上面精査	16.3	サヌカイト	
1214	129		打製石器	石庖丁	2①C17側溝掘り下げ	14.0	サヌカイト	
1215	129		打製石器	石庖丁	2①B16,B17,C16,C17西側Tr.(SR02)濁黄色ｼﾙﾄ	16.7	サヌカイト	
1216	129		打製石器	石庖丁	2①C16・17第1面上面精査中橙色ｼﾙﾄ～灰褐色粘質ｼﾙﾄ	30.7	サヌカイト	
1217	129	157	打製石器	石庖丁	2①C16第5面SR01北区 28層～30層黒色粘土層他	42.1	サヌカイト	
1218	129	144	打製石器	石庖丁	2①B17,C17南側溝	26.3	サヌカイト	
1219	129		打製石器	石庖丁	2①C17第5面SR01中区黒色粘土	32.2	サヌカイト	
1220	129	150	打製石器	石庖丁	2①C17第5面SR01中区黒色粘土	64.6	サヌカイト	
1221	129	150	打製石器	石庖丁	2①B16,B17,C16,C17西側Tr.灰褐色粘質ｼﾙﾄ	49.4	サヌカイト	

第89表　石器観察表(8)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺　構　名	重量	材　質	備　考
1222	129		打製石器	石鏃	2③北SR01② 下層	13.6	サヌカイト	
1223	130		打製石器	スクレイパー	2①C16第5面SR01北Tr. 西部黒色粘土層	67.4	サヌカイト	使用痕
1224	130		打製石器	スクレイパー	2①C16第5面SR01 北区 ⑭灰色ｼﾙﾄ～⑯淡灰黄ｼﾙﾄ(洪水砂)	122.6	サヌカイト	
1225	130		打製石器	スクレイパー	2①C16第5面SR01北区 22～26' 層黒褐色粘土層	49.6	サヌカイト	
1226	130		打製石器	スクレイパー	2③北SR01③ 最下層	114.1	サヌカイト	使用痕
1227	130		打製石器	石斧	2①C16 SR01 北区 ⑭灰色ｼﾙﾄ～⑯淡灰黄ｼﾙﾄ(洪水砂)	271.5	サヌカイト	
1228	131		打製石器	石斧	2①C17第2面上面精査	195.1	サヌカイト	
1229	131		打製石器	横長剥片	2③北SR01② 下層	95.1	サヌカイト	
1230	131		打製石器	磨滅痕ある石器	2①C16第5面SR01北Tr. 東部	49.6	サヌカイト	
1599	162		打製石器	石鏃	2③南Gr.SR02②4層	1.1	サヌカイト	
1600	162		打製石器	石鏃	2③南Gr.SR02②4層	0.9	サヌカイト	
1601	162		打製石器	石鏃	2③南Gr.SR02③4層	2.6	サヌカイト	
1602	162		打製石器	石鏃	2③南Gr.SR02②4層	4.4	サヌカイト	
1603	162		打製石器	石鏃	2③南Gr.SR02②4層	3.0	サヌカイト	未製品
1604	162		打製石器	石鏃	2③南Gr.SR02②4層	3.5	サヌカイト	
1605	162	138	打製石器	石槍	2②南 西Tr. 黒色土⑮層以下	8.1	サヌカイト	
1606	162	138	打製石器	石槍	2②北 西Tr. ⑮層以下	27.5	サヌカイト	
1607	162	138	打製石器	石槍	2③南Gr.SR02②③間畦4層	42.0	サヌカイト	
1608	163	136	打製石器	石錐	2③南Gr.SR02②2層	0.9	サヌカイト	
1609	163	136	打製石器	石錐	2②南Gr. 2層	5.6	サヌカイト	
1610	163		打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02②4層	6.3	サヌカイト	
1611	163		打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02①4層	21.3	サヌカイト	
1612	163		打製石器	石庖丁	2③北SR02① 上層	30.4	サヌカイト	
1613	163	151	打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02③4層	20.9	サヌカイト	
1614	163	151	打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02②4層	32.4	サヌカイト	使用痕
1615	163		打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02②4層	30.0	サヌカイト	一部に風化剝離面
1616	163	151	打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02②2層	22.0	サヌカイト	
1617	163		打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02②3層	25.8	サヌカイト	
1618	163		打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02②2層	37.0	サヌカイト	
1619	163	151	打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02②4層	31.2	サヌカイト	
1620	163		打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02①4層	15.8	サヌカイト	
1621	164	151	打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02③4層	37.3	サヌカイト	
1622	164	151	打製石器	石庖丁	2③南Gr.SR02①2層	65.4	サヌカイト	使用痕
1623	164		打製石器	スクレイパー	2③北Gr.SR02① 下層	9.7	サヌカイト	
1624	164		打製石器	スクレイパー	2③南Gr.SR02②4層	18.5	サヌカイト	
1625	164		打製石器	スクレイパー	2③南Gr.SR02③3層	17.8	サヌカイト	
1626	164	155	打製石器	石斧	2③南Gr.SR02②4層	97.7	サヌカイト	
1627	164		打製石器	敲打痕ある石器	2③南Gr.SR02②4層	25.6	サヌカイト	
1628	164		打製石器	敲打痕ある石器	2③南Gr.SR02①4層	166.8	サヌカイト	
1629	165			敲き石	2③南Gr.SR02①4層	402.5	ｱﾌﾟﾗｲﾄ	
1630	165	160		石錘	2③南Gr.SR02②4層	223.7	安山岩	
1631	165		打製石器	石錐	2②南 人力2層	2.3	サヌカイト	
1632	165	137	打製石器	石錐	2②掘削 人力1層	3.6	サヌカイト	
1633	165	141	打製石器	石槍	2②北 人力1層	7.0	サヌカイト	
1634	165		打製石器	石槍	2②東西畦 人力1層	19.8	サヌカイト	
1635	165	141	打製石器	石槍	2③南旧河道検出面ｶﾞﾘｶｹ	59.6	サヌカイト	
1636	165		打製石器	石庖丁	2③北旧河道検出面ｶﾞﾘｶｹ	7.3	サヌカイト	
1637	165	144	打製石器	石庖丁	2③南Gr. 流路検出面ｶﾞﾘｶｹ	7.9	サヌカイト	
1638	165		打製石器	石庖丁	2③北Gr. 機械1層	9.2	サヌカイト	
1639	165		打製石器	石庖丁	2④⑤北部落込 8.6m灰ｼﾙﾄ層	22.6	サヌカイト	
1640	166		打製石器	石庖丁	2②北 人力1層	24.6	サヌカイト	
1641	166		打製石器	石庖丁	2③北Gr. 西Tr. 清掃	35.8	サヌカイト	
1642	166		打製石器	石庖丁	2③C18西側Tr.	53.8	サヌカイト	
1643	166	144	打製石器	石庖丁	2③南Tr.	31.0	サヌカイト	

第90表　石器観察表(9)

番号	挿図	図版	種　類	器　種	遺　構　名	重量	材　質	備　考
1644	166	150・161	打製石器	石庖丁	2② 耕作土直下包含層	81.7	サヌカイト	摩滅痕
1645	166	150	打製石器	石庖丁	2③南Gr. 流路検出面ｶﾞﾘｶｹ	74.9	サヌカイト	使用痕
1646	166	144	打製石器	石庖丁	2②南 人力4層	49.6	サヌカイト	
1647	166		打製石器	石庖丁	2②北 人力2層	26.7	サヌカイト	
1648	166		打製石器	研磨痕ある石器	2②南 人力2層	42.1	サヌカイト	
1649	167		打製石器	摩滅痕ある石器	2②南 人力3層	389.3	サヌカイト	
1650	167	160	磨製石器	紡錘車	2③南東側Tr.	14.5	安山岩	
1651	167	160		石錘	2③北SR01① 下層	249.2	流紋岩	
1701	172		打製石器	石鏃	3②C28 SR01溜り1⑨砂混じり淡黒色シルト	0.9	サヌカイト	
1702	172		打製石器	石鏃	3②B28 第2微高地	1.9	サヌカイト	
1703	172	135	打製石器	石鏃	3②C28 SR01溜り1	4.5	サヌカイト	
1704	172	145	打製石器	石庖丁	3②C28 SR01 黒褐色粘質土	34.6	サヌカイト	刃部摩滅
1705	172	145	打製石器	石庖丁	3②B28第2微高地 暗灰黒色砂質土	40.9	サヌカイト	
1706	173		打製石器	スクレイパー	3②C28 SR01溜り1 Ⅶ1(4Tr.)	53.2	サヌカイト	
1707	173		打製石器	スクレイパー	3②B28 SR01溜り2 淡黒色粘土	77.2	サヌカイト	
1708	173		打製石器	スクレイパー	3②D28(1Tr.内)砂層(Ⅳ1層)	542.9	サヌカイト	
1709	173		打製石器	石斧	C・D26区 第3・4・5層	145.2	サヌカイト	
1710	174		打製石器	石斧	3②B28 SR01溜り2 一括	118.8	安山岩	
1721	176		打製石器	石鏃	2④⑤SH03②	0.9	サヌカイト	
1722	176		打製石器	石鏃	2④⑤SH03Tr.(西南)	1.6	サヌカイト	
1723	176		打製石器	石鏃	2④⑤SD13④	6.4	サヌカイト	
1724	176	136	打製石器	石錐	2④⑤SD13②	1.2	サヌカイト	
1735	179		打製石器	石庖丁	2④⑤SB02① B21 SP012	8.7	サヌカイト	
1739	187	147	打製石器	石庖丁	2④⑤C20 SP022 SP023	20.8	サヌカイト	
1751	201	140	打製石器	石槍	1①D15SX02	40.2	サヌカイト	
1758	203		打製石器	石庖丁	2④⑤SD10ﾍﾞﾙﾄ部分 第2層(下層)	16.3	サヌカイト	
1769	204		打製石器	石鏃	2④⑤SD07(SH05内及び近く)	1.3	サヌカイト	
1770	204	137	打製石器	石錐	2④⑤C21 SD07	2.9	サヌカイト	
1771	204		打製石器	石庖丁	2④⑤SD07南	12.0	サヌカイト	
1834	212		打製石器	石鏃	1①C15,D15,C16,D16南側溝4a・4b	2.1	サヌカイト	
1835	212	141	打製石器	石槍	1①C15,C16,D15,D16南側溝3b・3c	4.3	サヌカイト	
1836	212		打製石器	石錐	1①C15SR01 7c	1.7	サヌカイト	
1837	212	137	打製石器	石錐	1①C15SR01 7c	1.8	サヌカイト	
1838	212	137	打製石器	石錐	1①C15SR01 7c	12.4	サヌカイト	
1839	212	137	打製石器	石錐	1①C15SR01 7	2.4	サヌカイト	
1840	212	137	打製石器	石錐	1①D15SR01北肩6・7層	7.6	サヌカイト	
1841	212	137	打製石器	石錐	1①6・7層	0.6	サヌカイト	
1842	212	137	打製石器	石錐	1①C15,C16,D15,D16南側溝3b・3c	1.2	サヌカイト	
1843	212		打製石器	石庖丁	1①C15SR01 7層	19.5	サヌカイト	
1844	212		打製石器	石庖丁	1①3b層(淡灰褐色砂層ｼﾙﾄ)	15.4	サヌカイト	
1845	212		打製石器	石庖丁	1①3b・5a	42.0	サヌカイト	使用痕
1846	212		打製石器	石庖丁	1①C15西側溝5層(一部黄ﾌﾞﾛｯｸ含黒色粘土)	14.5	サヌカイト	
1847	212		打製石器	石庖丁	1①排土中	21.1	サヌカイト	
1848	213	144	打製石器	石庖丁	1① 第7層	57.5	サヌカイト	使用痕
1849	213		打製石器	石鎌	1①C15 6層	51.2	サヌカイト	
1850	213		打製石器	スクレイパー	1①南肩(SR01深い部分)6・7層	51.3	サヌカイト	刃部使用による摩滅
1851	213		打製石器	スクレイパー	1①D15SR01北肩6・7	5.7	サヌカイト	
1852	213		打製石器	スクレイパー	1①D15SR01 7b	89.0	サヌカイト	
1853	213	159	磨製石器	太型蛤刃石斧	1①排土中	640.8	?	
1854	213	157	磨製石器	扁平片刃石斧	1①D15SR01 7b	26.1	片岩	
2042	225	152	打製石器	石庖丁	2①C17第4面SD05	63.7	サヌカイト	
2120	233		打製石器	石鏃	3①(2)南端2次 第3層	2.2	サヌカイト	
2121	233		打製石器	石錐	3①(2)南端2次 第3層	23.7	サヌカイト	
2146	234		打製石器	石鏃	2④⑤D20 SP263	2.5	サヌカイト	

第91表　石器観察表(10)